長坂町埋蔵文化財発掘調査報告書第21集

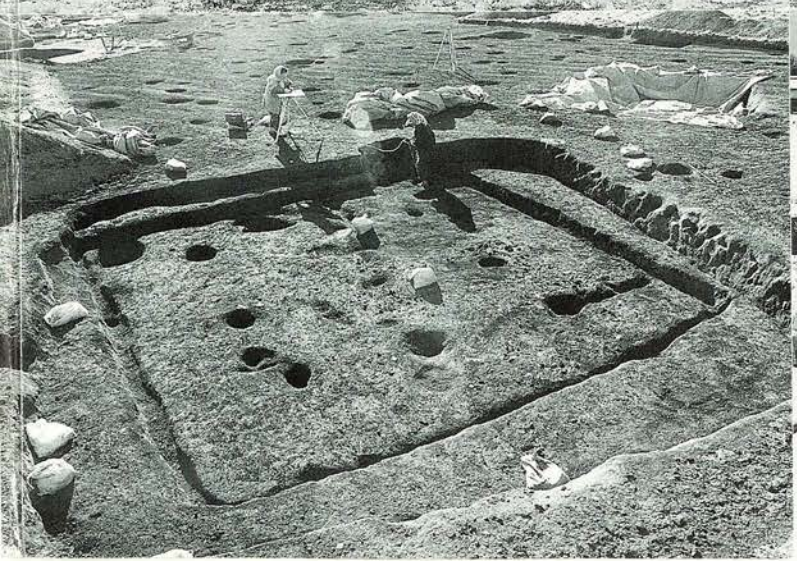
RYŪKAKUNISHI-SITE

龍角西遺跡

県営広域営農団地農道整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査

2001. 3

長坂町教育委員会　峡北土地改良事務所



序

長坂町は広大な八ヶ岳南麓のほぼ中央に位置し、国蝶オオムラサキの生息地として全国的に知られているように、自然に恵まれた高原の町です。それとともに、およそ200ヶ所に上る遺跡の密集地帯としても知られています。

長坂町教育委員会では各種の開発事業に際し、このように数多い遺跡の保護をはかりつつ、必要に応じて発掘調査を実施し、記録として遺跡の内容を後世に伝えるための文化財保護事業を推進しております。

本書は、平成９・10年度の２ヶ年に渡り、山梨県営広域営農団地農道整備事業にともない発掘調査を実施した龍角西遺跡の調査報告書です。龍角西遺跡では古墳時代の集落、平安時代の集落、中世の集落が多数の遺物とともに発見されました。中でも、古墳時代の集落は前期から中期にかけて営まれ、特に中期の集落は県内でもあまり調査例のない貴重な発見となりました。

また、中世においては、道路状遺構と考えられる溝や方形竪穴状遺構が発見されました。これらは、県道を挟んで西側の紺屋遺跡からも同じような方形竪穴状遺構が発見されており、紺屋遺跡と合わせて、中世の集落形態に迫れる調査事例であります。

最後に、龍角西遺跡の調査にあたり、格別なご理解をいただいた長坂下条地区の皆様をはじめとする関係各位に厚く御礼申し上げます。本書が広く教育や研究の場で活用されることを期待しています。

2001年３月

長坂町教育委員会
教育長　瀬戸龍徳

例　　言

1．本書は、1997（平成９）年度および1998（平成10）年度に実施した山梨県北巨摩郡長坂町長坂下条字龍角地内に所在する龍角西遺跡の発掘調査報告書である。

2．発掘調査は、県営広域営農団地農道整備事業に伴う事前調査であり、山梨県峡北土地改良事務所より委託を受けて長坂町教育委員会が実施したものである。

3．本書の執筆・編集は、村松佳幸（長坂町教育委員会学芸員）が行った。

4．発掘調査および整理作業において一部の調査･業務を以下の各機関・各位に委託および依頼した。

Ａ区　基準点測量　㈱新生測量
　　航空写真　㈱フジテクノ
Ｂ区　基準点測量・航空測量
　　㈱シン技術コンサル
　　自然科学分析　㈱パリノ・サーヴェイ

5．遺構・遺物の写真撮影は村松が行った。

6．本報告書に関わる出土品及び記録図面・写真等は、長坂町教育委員会に保管している。

7．発掘調査および報告書作成にあたっては、下記の方々に多大なご指導、ご教示を賜った。記して深く感謝の意を表す次第である。
小野正敏（国立歴史民族博物館）　畑大介　宮澤公雄　平野修　櫛原功一（山梨文化財研究所）　小林健二（山梨県教育委員会学術文化財課）　保坂康夫　笠原みゆき　石神孝子（山梨県埋蔵文化財センター）　室伏徹（勝沼町教育委員会）　閏間俊明（韮崎市教育委員会）　渡邊泰彦（大泉村教育委員会）　出澤力（佐久市教育委員会）　長谷川誠（國學院大學大学院生）

凡　　例

1．掲載した遺構・遺物実測図の縮尺は、原則として下記のとおりである。

遺構　調査区全体図：1/400
　　住居跡・竪穴状遺構・近代建物跡：1/60
　　方形竪穴状遺構：1/30、1/60
　　溝：1/80、1/100、1/120
　　Ｂ区土層断面図1/100
　　カマド：1/30　　土坑：1/30
遺物　縄文土器：1/3
　　石器：2/3、1/3、1/2
　　土師器・須恵器・灰釉陶器：1/4
　　古銭：2/3　　羽口：1/3

2．遺構図版中の遺物分布図のマークは各図版中に示してある。

3．遺構・遺物図版中のスクリーントーンは以下のとおりである。

黒色土器		須恵器	
灰釉陶器		石器作業面	
焼土		主柱穴	
硬化面	破線部		

4．拓影図で両面を載せてあるものは、断面左側が外面、右側が内面である。

5．遺構および遺物写真の縮尺は統一されていない。

6．遺構図中の断面図脇にある数値は標高を示す。

7．第１図は、株式会社写測2000年調製、1/25,000長坂町全図（国土地理院発行1/25,000地形図を複製したもの）を基に作成した。

8．第２図は、国際航業株式会社1994年調製1999年修正、1/10,000長坂町全図を基に作成した。

龍角西遺跡目次

序
例　言
本文目次
図版目次
表 目 次
写真図版目次
第１章　調査の経過と概要……1
　第１節　発掘調査に至る経過……1
　第２節　発掘調査の概要……1
　第３節　発掘調査組織……1
第２章　遺跡の立地と環境……2
　第１節　地理的環境……2
　第２節　歴史的環境……2
第３章　Ａ区の遺構と遺物……3
　基本層序……3
　縄文時代……3
　弥生時代……3
　古墳時代……3
　平安時代……4
　近　代……4
第４章　Ｂ区の遺構と遺物……5
　基本層序……5
　縄文時代……5
　弥生時代……5
　平安時代……5
　中　世……5
　近代以降……6
　地震痕跡……6
第５章　自然科学分析……7
　はじめに……7
　1. 試　料……7
　2. 分析方法……7
　3. 結　果……9
　4. 考　察……11
第６章　ま と め……22
　龍角西遺跡の遺構変遷……22
　龍角西・紺屋遺跡の遺構変遷……22
　八ヶ岳南麓の古墳時代……23
　墨書土器……23
引用・参考文献……24

図 版 目 次

第１図　長坂町遺跡分布図……25
第２図　龍角西遺跡調査区と周辺の地形……27
第３図　Ａ区全体図……29
第４図　Ａ区遺構分布図①……31
第５図　Ａ区遺構分布図②……32
第６図　Ａ区遺構分布図③……33
第７図　Ａ区遺構分布図④……34
第８図　Ａ区遺構分布図⑤……35
第９図　Ａ区８・９・12・15・16号土坑、出土土器、遺構外出土遺物……36
第10図　Ａ区35号土坑、出土土器……37
第11図　Ａ区１号住居跡……38
第12図　Ａ区１号住居跡遺物出土状況、出土土器……39
第13図　Ａ区２号住居跡、出土土器……40
第14図　Ａ区２号住居跡遺物出土状況、出土土器……41
第15図　Ａ区３号住居跡……42
第16図　Ａ区３号住居跡遺物出土状況、出土土器……43
第17図　Ａ区４号住居跡……44
第18図　Ａ区４号住居跡完掘状況……45
第19図　Ａ区４号住居跡遺物出土状況、出土土器……46
第20図　Ａ区６・７号住居跡……47
第21図　Ａ区６・７号住居跡完掘状況……49
第22図　Ａ区６・７号住居跡遺物出土状況……51
第23図　Ａ区６・７号住居跡Ｓ字甕出土状況……52
第24図　Ａ区６・７号住居跡高坏出土状況……53
第25図　Ａ区６・７号住居跡壷・甕出土状況……54
第26図　Ａ区６・７号住居跡須恵器出土状況……55
第27図　Ａ区６号住居跡出土土器①……56
第28図　Ａ区６号住居跡出土土器②……57
第29図　Ａ区６号住居跡出土土器、石器、７号住居跡出土土器……58
第30図　Ａ区９号住居跡、出土土器……59
第31図　Ａ区９号住居跡遺物出土状況、出土土器……60
第32図　Ａ区14・15号住居跡……61
第33図　Ａ区10・14・15号住居跡遺物出土状況（上：土器全体、下：Ｓ字甕）……63
第34図　Ａ区10・14・15号住居跡遺物出土状況（上：高坏、下：壷・甕）……64
第35図　Ａ区10・14・15号住居跡遺物出土状況（上：椀・鉢、下：土師器）……65
第36図　Ａ区10・14・15号住居跡遺物出土状況（上：黒色土器、下：須恵器・陶器）……66
第37図　Ａ区14号住居跡遺物出土状況、出土土器……67

第38図　Ａ区14号住居跡出土土器・石器、15号住居跡出土土器……68
第39図　Ａ区16号住居跡……69
第40図　Ａ区16号住居跡遺物出土状況……70
第41図　Ａ区16号住居跡出土土器……71
第42図　Ａ区１号竪穴、７号土坑、出土土器、遺構外出土土器……72
第43図　Ａ区５号住居跡……73
第44図　Ａ区５号住居跡遺物出土状況……74
第45図　Ａ区５号住居跡出土土器……75
第46図　Ａ区８号住居跡……76
第47図　Ａ区８号住居跡カマド遺物出土状況……77
第48図　Ａ区８号住居跡遺物出土状況、出土土器①…78
第49図　Ａ区８号住居跡出土土器②……79
第50図　Ａ区10号住居跡……80
第51図　Ａ区10号住居跡カマド遺物出土状況……81
第52図　Ａ区10号住居跡出土土器①……82
第53図　Ａ区10号住居跡出土土器②……83
第54図　Ａ区10号住居跡出土土器③……84
第55図　Ａ区12・13号住居跡……85
第56図　Ａ区12・13号住居跡完掘状況……87
第57図　Ａ区12・13号住居跡遺物出土状況（上：土器全体、下：土師器）……89
第58図　Ａ区12・13号住居跡遺物出土状況（上：土師器、下：黒色土器）……90
第59図　Ａ区12・13号住居跡㈠・近代建物跡㈡遺物出土状況……91
第60図　Ａ区12号住居跡出土土器①……92
第61図　Ａ区12号住居跡出土土器②……93
第62図　Ａ区12号住居跡出土土器③、土錘、石製品…94
第63図　Ａ区13号住居跡出土土器、遺構外出土遺物…95
第64図　Ａ区１・２・３号掘立柱建物跡……96
第65図　Ａ区近代建物跡……97
第66図　Ａ区１～６・10・11・13・14・17号土坑……99
第67図　Ａ区29～31・33・34・36・37号土坑……100
第68図　Ａ区38号土坑、１・２号溝……101
第69図　Ｂ区全体図……103
第70図　Ｂ区遺構分布図①……105
第71図　Ｂ区遺構分布図②……106
第72図　Ｂ区遺構分布図③……107
第73図　Ｂ区遺構分布図④……108
第74図　Ｂ区遺構分布図⑤……109
第75図　Ｂ区遺構分布図⑥……110
第76図　Ｂ区土層断面図①……111
第77図　Ｂ区土層断面図②……112
第78図　Ｂ区土層断面図③……113
第79図　Ｂ区遺構外出土土器①……114
第80図　Ｂ区遺構外出土土器②……115
第81図　Ｂ区遺構外出土土器③、石器①……116
第82図　Ｂ区遺構外出土石器②……117
第83図　Ｂ区遺構外出土石器③、砥石……118
第84図　Ｂ区２号住居跡……119
第85図　Ｂ区２号住居跡出土土器……120
第86図　Ｂ区３号住居跡……121
第87図　Ｂ区３号住居跡カマド遺物出土状況、出土土器……122
第88図　Ｂ区１号方形竪穴状遺構……123
第89図　Ｂ区１号方形竪穴状遺構遺物出土状況……124
第90図　Ｂ区２号方形竪穴状遺構……125
第91図　Ｂ区３号竪穴状遺構……126
第92図　Ｂ区４・５号竪穴状遺構……127
第93図　Ｂ区８～11号溝、１・２号列石①……128
第94図　Ｂ区８～11号溝、１・２号列石②……129
第95図　Ｂ区掘立柱建物跡推定図①……130
第96図　Ｂ区掘立柱建物跡推定図②……131
第97図　Ｂ区掘立柱建物跡推定図③……132
第98図　Ｂ区出土土器、石臼、古銭……133
第99図　Ｂ区１号溝……134
第100図　Ｂ区２・３・４・５・６・７号溝……135
第101図　Ｂ区１・２号組石遺構、93号ピット、井戸……136
第102図　Ｂ区３・４・５・６・７・８・９・12・13・14・15号土坑……137
第103図　Ｂ区58・60・61・62・64号土坑……138
第104図　Ｂ区63・65・66号土坑……139
第105図　Ｂ区遺物分布……140
第106図　遺構変遷①……141
第107図　遺構変遷②……142
第108図　龍角西・紺屋遺跡遺構変遷①……143
第109図　龍角西・紺屋遺跡遺構変遷②……144
第110図　龍角西・紺屋遺跡遺構変遷③……145
第111図　Ａ区出土古墳時代前期土器①……146
第112図　Ａ区出土古墳時代前期土器②……147
第113図　Ａ区出土古墳時代中期土器①……148
第114図　Ａ区出土古墳時代中期土器②……149
第115図　龍角西・紺屋遺跡出土墨書土器①……150
第116図　龍角西・紺屋遺跡出土墨書土器②……151

挿図目次

挿図１　柱状図・試料採取位置……13
挿図２　鉱物組成および土壌の理化学性……14
挿図３　重鉱物・軽鉱物……14
挿図４　珪藻・花粉・植物珪酸体分析プレパラート内の状況……15
挿図５　木材・炭化材(1)……16
挿図６　木材・炭化材(2)……17
挿図７　Ａ区炭化材出土状況……19
挿図８　Ａ区木材・炭化材出土状況……20

表目次

第１表　長坂町遺跡地名表……26
第２表　遺構観察表 ……152
第３表　遺構内ピット一覧表 ……155
第４表　土坑・ピット一覧表 ……157
第５表　土器観察表 ……161
第６表　石器観察表 ……166
第７表　古銭一覧表 ……166
第８表　主要遺構別出土遺物内訳表 ……167
第９表　墨書土器一覧表 ……168

表１　鉱物分析結果……18
表２　植物珪酸体分析結果……18
表３　土壌理化学分析結果……18
表４　遺構別種類構成……18
表５　樹種同定結果……21

写真図版目次

図版１　Ａ区（第１次調査）全景①（南から）
Ａ区（第１次調査）全景②（東から）
図版２　Ａ区（第１次調査）全景③（真上から）
図版３　Ａ区１号住居跡①（東から）
Ａ区１号住居跡②（北東から）
Ａ区１号住居跡遺物出土状況①
Ａ区１号住居跡遺物出土状況②
Ａ区作業風景
図版４　Ａ区２号住居跡①（西から）
Ａ区２号住居跡②（南から）
Ａ区２号住居跡遺物出土状況①
Ａ区２号住居跡遺物出土状況②
Ａ区２号住居跡遺物出土状況③
図版５　Ａ区３号住居跡①（南から）
Ａ区３号住居跡②（北から）
Ａ区３号住居跡遺物出土状況①
Ａ区３号住居跡遺物出土状況②
Ａ区３号住居跡炭化物出土状況
図版６　Ａ区４号住居跡①（東から）
Ａ区４号住居跡②（北から）
Ａ区４号住居跡完堀状況
Ａ区４号住居跡遺物出土状況
Ａ区作業風景
図版７　Ａ区６・７号住居跡①（真上から）
Ａ区６・７号住居跡②（北から）
Ａ区６・７号住居跡③（南東から）
図版８　Ａ区６・７号住居跡完堀状況（北から）
Ａ区６号住居跡地床炉
Ａ区６号住居跡地床炉完堀状況
Ａ区６号住居跡甕出土状況
Ａ区６号住居跡壷出土状況
図版９　Ａ区６号住居跡高坏出土状況①
Ａ区６号住居跡高坏出土状況②
Ａ区６号住居跡高坏出土状況③
Ａ区６号住居跡小型丸底壷出土状況①
Ａ区６号住居跡小型丸底壷出土状況②
Ａ区６号住居跡小型丸底壷出土状況③
Ａ区７号住居跡Ｓ字甕出土状況
Ａ区７号住居跡ピット３器台出土状況
図版10　Ａ区９号住居跡（西から）
Ａ区９号住居跡遺物出土状況
Ａ区９号住居跡壷出土状況
Ａ区９号住居跡埦出土状況①
Ａ区９号住居跡埦出土状況②
図版11　Ａ区14・15号住居跡①（東から）
Ａ区14・15号住居跡②（南から）
Ａ区14・15号住居跡③（北から）
Ａ区14号住居跡炭化物出土状況①
Ａ区14号住居跡炭化物出土状況②
図版12　Ａ区14号住居跡ピット２
Ａ区14号住居跡ピット２磨製石斧出土状況
Ａ区16号住居跡①（東から）
Ａ区16号住居跡②（南から）
Ａ区16号住居跡地床炉
図版13　Ａ区１号竪穴状遺構（西から）
Ａ区５号住居跡（西から）
図版14　Ａ区５号住居跡遺物出土状況
Ａ区５号住居跡カマド①

Ａ区５号住居跡カマド遺物出土状況
Ａ区５号住居跡カマド②
Ａ区５号住居跡完堀状況（西から）
図版15　Ａ区８号住居跡
Ａ区８号住居跡遺物出土状況
Ａ区８号住居跡完堀状況
Ａ区８号住居跡カマド
Ａ区８号住居跡カマド遺物出土状況
図版16　Ａ区10・15号住居跡（真上から）
Ａ区10号住居跡（西から）
Ａ区10号住居跡カマド
Ａ区10号住居跡カマド遺物出土状況①
Ａ区10号住居跡カマド遺物出土状況②
図版17　Ａ区12・13号住居跡（東から）
Ａ区12号住居跡
Ａ区12号住居跡完堀状況
Ａ区13号住居跡
Ａ区12・13号住居跡完堀状況
図版18　Ａ区12号住居跡カマド
Ａ区12号住居跡カマド完堀状況
Ａ区13号住居跡カマド
Ａ区13号住居跡カマド遺物出土状況①
Ａ区13号住居跡カマド遺物出土状況②
Ａ区12号住居跡遺物出土状況①
Ａ区12号住居跡遺物出土状況②
Ａ区12号住居跡遺物出土状況③
図版19　Ａ区近代建物跡①（真上から）
Ａ区近代建物跡②（西から）
Ａ区近代建物跡③（南東から）
Ａ区近代建物跡遺物出土状況
Ａ区近代建物跡ピット３底板出土状況
図版20　Ａ区１・２号溝①（東から）
Ａ区１・２号溝②（西から）
Ａ区１号堀立柱建物跡
Ａ区２・３号堀立柱建物跡
Ａ区１・２・３・４・５号土坑
Ａ区６号土坑
図版21　Ａ区７号土坑　Ａ区８・９号土坑
Ａ区10号土坑
Ａ区10号土坑炭化物出土状況
Ａ区11号土坑　Ａ区12号土坑
Ａ区13号土坑　Ａ区15・16号土坑
図版22　Ａ区29号土坑　Ａ区33号土坑
Ａ区34号土坑　Ａ区35号土坑①
Ａ区35号土坑②
Ａ区35号土坑遺物出土状況
Ａ区36・37号土坑　Ａ区38号土坑
図版23　Ａ区出土土器①
図版24　Ａ区出土土器②
図版25　Ａ区出土土器③
図版26　Ａ区出土土器④
図版27　Ａ区出土土器⑤
図版28　Ａ区出土土器⑥
図版29　Ａ区出土土器⑦
図版30　Ａ区出土土器⑧
図版31　Ａ区出土土器⑨・土製品・石製品
図版32　Ｂ区（第２次調査）東半分全景①（西から）
Ｂ区（第２次調査）西半分全景①（西から）
図版33　Ｂ区（第２次調査）西半分全景②（北から）
Ｂ区近景①（北西から）
Ｂ区近景②（南東から）
図版34　Ｂ区（第２次調査）東半分全景②（真上から）
Ｂ区（第２次調査）西半分全景③（真上から）
図版35　Ｂ区（第２次調査）西半分全景④（東から）
Ｂ区近景③（真上から）
Ｂ区近景④（真上から）
図版36　Ｂ区近景⑤（西から）　Ｂ区近景⑥（西から）
Ｂ区近景⑦（東から）　Ｂ区近景⑧（東から）
Ｂ区近景⑨（東から）　Ｂ区近景⑩（北から）
Ｂ区近景⑪（西から）　Ｂ区近景⑫（東から）
図版37　Ｂ区２号住居跡（西から）
Ｂ区２号住居跡カマド
Ｂ区２号住居跡遺物出土状況①
Ｂ区２号住居跡遺物出土状況②
Ｂ区２号住居跡遺物出土状況③
図版38　Ｂ区３号住居跡（東から）
Ｂ区３号住居跡カマド
Ｂ区３号住居跡カマド遺物出土状況
Ｂ区３号住居跡遺物出土状況①
Ｂ区３号住居跡遺物出土状況②
図版39　Ｂ区１号方形竪穴状遺構①（南から）
Ｂ区１号方形竪穴状遺構②（北西から）
Ｂ区１号方形竪穴状遺構③（東から）
Ｂ区１号方形竪穴状遺構④（北から）
Ｂ区１号方形竪穴状遺構遺物出土状況
図版40　Ｂ区１号方形竪穴ピット１
Ｂ区１号方形竪穴ピット３
Ｂ区１号方形竪穴ピット４
Ｂ区１号方形竪穴ピット５
Ｂ区１号方形竪穴ピット７・８

Ｂ区１号方形竪穴ピット９
Ｂ区１号方形竪穴ピット10
Ｂ区１号方形竪穴ピット11
図版41　Ｂ区２号方形竪穴状遺構①（東から）
Ｂ区２号方形竪穴状遺構②（北から）
Ｂ区２号方形竪穴状遺構遺物出土状況①
Ｂ区２号方形竪穴状遺構遺物出土状況②
Ｂ区２号方形竪穴状遺構土層推積状況
図版42　Ｂ区３号竪穴状遺構
Ｂ区３号竪穴状遺構遺物出土状況
Ｂ区５号竪穴状遺構
Ｂ区４号竪穴状遺構遺物出土状況①
Ｂ区４号竪穴状遺構・64号土坑
遺物出土状況②
図版43　Ｂ区１・２号列石①（北から）
Ｂ区１・２号列石②（南から）
Ｂ区１・２号列石③（北東から）
Ｂ区１・２号列石④（北から）
Ｂ区１・２号列石⑤（南東から）
Ｂ区１・２号列石⑥（南から）
図版44　Ｂ区西端近景①（北東から）
Ｂ区西端近景②（北から）
Ｂ区西端近景③（北から）
Ｂ区西端近景④（南東から）
Ｂ区西端近景⑤（北西から）
Ｂ区西端近景⑥（南西から）
Ｂ区西端近景⑦（南東から）
Ｂ区西端近景⑧（北から）
図版45　Ｂ区８号溝①（北から）
Ｂ区８号溝②（南から）
Ｂ区10（左）・11（右）号溝①（北から）
Ｂ区10（右）・11（左）号溝②（南から）
図版46　Ｂ区ピット107（左）・108（右）
Ｂ区ピット107土層推積状況
Ｂ区ピット108土層推積状況
Ｂ区ピット93遺物出土状況
Ｂ区ピット96
Ｂ区ピット104（右）・105（左）
Ｂ区３号土坑　Ｂ区４号土坑
図版47　Ｂ区５号土坑　Ｂ区６号土坑
Ｂ区７号土坑　Ｂ区８号土坑
Ｂ区９号土坑　Ｂ区12号土坑
Ｂ区13号土坑　Ｂ区14号土坑ピット11
図版48　Ｂ区15号土坑（左）、ピット12（右）
Ｂ区58号土坑　Ｂ区60号土坑
Ｂ区61号土坑　Ｂ区62号土坑
Ｂ区63号土坑　Ｂ区65号土坑
Ｂ区66号土坑
図版49　Ｂ区１号溝①（南から）
Ｂ区１号溝②（南東から）
Ｂ区１号溝遺物出土状況①
Ｂ区１号溝遺物出土状況②
Ｂ区１号溝遺物出土状況③
図版50　Ｂ区２・３号溝①（北西から）
Ｂ区２・３号溝②（南東から）
Ｂ区４号溝　Ｂ区５号溝
Ｂ区６号溝①　Ｂ区６号溝②
Ｂ区６号溝③　Ｂ区７号溝
図版51　Ｂ区１号組石遺構①
Ｂ区１号組石遺構②
Ｂ区２号組石遺構①
Ｂ区２号組石遺構②
Ｂ区２号組石遺構③
Ｂ区井戸遺物出土状況
Ｂ区井戸①　Ｂ区井戸②
図版52　Ｂ区調査区セクションＡ－Ａ′
Ｂ区調査区セクションＢ－Ｂ′
Ｂ区東端近景①
Ｂ区東端近景②
Ｂ区土層推積状況
Ｂ区断層跡①（Ｅ－Ｅ′）
Ｂ区断層跡②（Ｅ－Ｅ′）
図版53　Ｂ区出土土器①・石器①
図版54　Ｂ区出土土器②
図版55　Ｂ区出土土器③・石器②
図版56　Ｂ区出土土器④・古銭

第１章　調査の経過と概要

第１節　発掘調査に至る経過

山梨県峡北土地改良事務所は、八ヶ岳南麓を縦横断する広域営農団地農道整備事業を推進しており、1993（平成５）年、長坂町に対し事業案を提示した。計画路線上に埋蔵文化財包蔵地が数ヶ所あたるので、同年に長坂町教育委員会が試掘調査を実施した。その結果、いくつかの遺跡が確認され、発掘調査が行われている。長坂下条字龍角地内においても、試掘調査で古墳・平安時代の遺構が確認され、遺跡の存在が明らかとなった。

1997（平成９）年４月に土地改良事務所から文化庁長官あてに埋蔵文化財発掘の通知が提出され、長坂町教育委員会による直営方式の発掘調査を実施することになった。調査区は、白井沢宮川に面する台地部分をＡ区、台地南西側にある谷部から県道が通る台地にかけての部分をＢ区とし、第１次調査で同年10月から翌1998（平成10）年２月にかけてＡ区を、第２次調査で同年５月から1999（平成11）年３月にかけてＢ区を調査した。

整理作業は、他の事業との関係で、2000（平成12）年４月から開始し、翌2001（平成13）年３月に終了した。

第２節　発掘調査の概要

龍角地内における農道建設予定地は約3,800㎡であり、1997（平成９）年度では第１次調査として、白井沢宮川に面する断崖から南側の台地部分のＡ区を1,830㎡発掘調査した。翌年度には第２次調査として道路予定地中央の谷部から県道にかけてのＢ区1,827㎡を発掘調査した。調査面積の合計は3,657㎡である。

調査区には発掘作業・遺構測量の基準としてグリッドを設定した。Ａ区では10m間隔で設定し、西から東方向にＡ～Ｆ、南から北方向に１～13とグリッド番号を付けた。

Ｂ区では東から西方向に１～26、北から南方向にＡ～Ｎとグリッド番号を付けた。なお、Ｂ区では調査途中に一部を北側へ拡張しており、Ａ列より北へ張り出してしまったので、張り出した列はＡ′とした。このＢ区のグリッド番号は紺屋遺跡第１次調査のグリッド番号に続いていく。

調査は、表土層を重機により剥ぎ、その後人力で遺構確認面まで掘り下げていった。遺構確認面になると丁寧に精査を行い、遺構を確認していった。遺物は原則としてＡ区では平板実測で、Ｂ区では光波測量機で出土原位置を記録し、小さいものに関してはグリッド一括としてまとめて取り上げた。遺構を確認した後は、その遺構の範囲の中から出土しているものについては、その遺構出土のものとして取り上げていった。遺構は土層断面図・遺構平面図・遺物出土状況図等を平板実測あるいは簡易遣り方等の手作業により図化していった。全体図は空中写真測量で図化した。また、調査の状況に合わせ、写真撮影を行った。

調査後は、洗浄・注記等の基礎整理を平成10年度に終了したが、本格的な整理作業は平成12年に行った。

発見された遺構は、Ａ区は古墳時代の住居跡10軒、平安時代の住居跡５軒、掘立柱建物跡３棟、近代建物跡１棟、竪穴状遺構１基、土坑126基、ピット236基、溝２条で、縄文土器・石器、古墳時代土師器・須恵器・石製品、平安時代土師器・須恵器・灰釉陶器・土錘・砥石等が出土している。

Ｂ区では平安時代の住居跡２軒、中世の方形竪穴状遺構２基、竪穴状遺構３基、溝11条、組石遺構２基、井戸１基、土坑126基、ピット393基、石列２基、断層跡１ヶ所が発見され、縄文土器・石器、古墳時代土師器、平安時代土師器・須恵器・灰釉陶器・砥石、中世～近世にかけての陶磁器、古銭、石臼等が出土した。

第３節　発掘調査組織

事業主体	長坂町教育委員会		
事務局	教育長	小松清寿（～平成12年９月）	
		瀬戸龍徳（平成12年10月～）	
	教育課長	植松　忠（～平成12年３月）	
		三井　茂（平成12年４月～）	
	教育係長	小松武彦（～平成12年７月）	
		坂本美男（平成12年７月～）	
調査担当	村松佳幸（教育委員会学芸員）		
試掘担当	小宮山隆（教育委員会学芸員）		
調査補助員	山下大輔	三宮　健	吉田光雄
発掘作業員	横山幸男	國府田孝吉	植松重雄
	塚原袈裟重	小林松男	相吉いわと
	小林はる代	秋山かつゑ	八巻重子
	小林　裕	小林敏恵	小林立枝
	渡辺早月	大柴富子	畑　梅子
	名取初子	小尾トヨ子	宮原征人
	田中玲子	小澤功子	小林八千子
整理作業員	長田加代子	井出仁美	石川昭江
	奈良裕子	小林広美	山本理奈
	深沢憲子	日向登茂子	清水純代
	橋本はるみ	橋本　彩	松田拓也
	有野（大木）明子	吉田浩之	

第２章　遺跡の立地と環境

第１節　地理的環境

龍角西遺跡の所在する北巨摩郡長坂町は、山梨県の北西部に位置し八ヶ岳南麓に立地する、南北約18km、東西約６kmの細長い町である。八ヶ岳の山体が崩壊し起こった韮崎火砕流によって形成された台地上にあり、標高は北端の八ヶ岳権現岳が頂点で2,786mを測り、南端はＪＲ日野春駅の南側で約490mである。標高1,200m以上が急峻な山岳地帯になっており、それ以下は比較的緩やかな地形となり、八ヶ岳南麓高原や長坂台地、八ヶ岳南麓低地等が広がる。長坂町南端より南は、泥流台地を釜無川と塩川の浸食作用によって形成された通称七里岩と呼ばれる浸食崖が形成されている。

八ヶ岳南麓には、比較的多くの湧水があり、これを水源とする小河川は南流し、浸食作用によっていくつもの舌状台地を形成している。台地上は水利が悪いため、豊富な水量の湧水を引いて開発した潅漑用水や潅漑用溜池が数多く、県下で溜池の多い地域となっている。また、それを利用した水稲耕作が行われ、古くから八ヶ岳南麓地域でも有数の水田地帯となっている。

龍角西遺跡の所在する長坂下条地区は、町南部のほぼ中央に位置し、標高が660mである。長坂下条地区は、東を流れる鳩川と西側を流れる大深沢川とに挟まれた台地に位置する。その台地が長坂台地と呼ばれ、ＪＲ中央本線や県道茅野・小淵沢・韮崎線（通称七里岩ライン）が南北に縦断し、八ヶ岳南麓の主要交通路として利用されている。この台地上にも小河川による浸食によって大小の入り組んだ尾根が形成されている。本遺跡もその入り組んだ尾根に立地し、今回の調査区は、小さな谷を挟んだ２つの台地にまたがっている。

今回の調査原因になっている広域農道は、県道茅野・小淵沢・韮崎線を東西に横断するように建設され、南北方向に走る主要道路のいくつかを、東西に結ぶ役割を担うことになる。

第２節　歴史的環境

八ヶ岳南麓は、県内でも有数の遺跡密度の濃い地域である。その中でも長坂町は遺跡が数多く分布し、これまでに208ヶ所ほどの遺跡が確認されている。紺屋遺跡の立地する台地上も遺跡が数多く存在し、長坂町内でも遺跡の分布が濃い地域である。

長坂上条遺跡は、1941（昭和16）年史前学研究所の大山柏氏を中心に山梨県初の学術調査が行われた遺跡として有名である(大山柏他1941)。縄文時代後晩期の配石墓群が発見され、弥生時代の遺物も出土している。また、現山梨県酪農試験場地内にある酒呑場遺跡は、縄文時代前期から後期にかけての大集落跡である。1994(平成６)～1996（平成８）年に山梨県教育委員会によって発掘調査が実施され、縄文時代前期～後期の住居跡200軒以上が発見されている（野代1997、保坂1997･1998)。遺物も、縄文時代中期を主体として早期から後期までの土器・石器が整理箱約1,400箱分にものぼり、極めて多量の遺物が出土している。中でも漆塗りの土器片、ヒスイ原石および垂飾、土偶、玦状耳飾、サメの歯状垂飾、土棒、土製蓋等が出土し、遺物の内容も豊富である。それと合わせて古墳時代前期の集落も発見されている。

長坂上条遺跡と酒呑場遺跡は台地の上と下の関係で位置しており、縄文時代の中期までは台地上の平坦部に集落を構え、後期になると台地の下の低地へ集落を移動していったと考えられる。

龍角西遺跡周辺でも、いくつかの遺跡が発掘調査されている。北村遺跡は、龍角西遺跡から谷を挟んで西へ約400mほどの所に位置する、古墳時代前期の方形周溝墓６基が発見された遺跡である(小宮山1996)。広域農道整備に先立ち1994（平成６）～1995（平成７）年にかけて長坂町教育委員会が発掘調査を実施し、方形周溝墓の墳丘がほぼ完全な状態で発見され、中には墳丘上に土器が供献されたままの状態で残されているものもあった。

紺屋遺跡は、県道を挟んで龍角西遺跡の西に位置し、1998（平成10）年～1999年（平成11）年にかけて発掘調査が行われている。第１次調査は調査区の西部の台地縁辺部を調査し、縄文時代中期の竪穴住居跡２軒、平安時代の竪穴住居跡３軒、中世の墓坑10基・火葬墓または火葬施設２基・五輪塔集中地点２ヶ所等が発見されている。第２次調査はその続きの東側部を調査し、平安時代の竪穴住居跡７軒・小鍛冶遺構１棟、中世の方形竪穴状遺構７基・溝３条等が発見されている。

1991（平成３）年には龍角西遺跡に隣接する龍角遺跡で発掘調査が実施されており、古墳時代中期の住居跡が数軒発見された。発掘当時、八ヶ岳南麓でまとまった古墳時代中期の集落の調査例はなく、県内でも特に資料の少ない時代であるため、古墳時代中期の土器編年および集落研究にとって貴重な資料となった。

その他、龍角西遺跡周辺には長坂氏の屋敷と言われている長閑屋敷跡（町指定史跡）をはじめ、三井氏屋敷跡、相吉氏屋敷跡、上松（植松）氏屋敷跡等の屋敷跡推定地があるが、詳細は不明である。

第３章　Ａ区の遺構と遺物

紙面の都合上、発見された遺構と遺物の詳細な内容は、第２～９表に譲り、ここではＡ区の全体像を述べていく。

基本層序（第11図Ｃ－Ｃ′）

台地上の調査区であるＡ区の層序は、表土下に厚さ約20cmの明るい暗褐色土層があり、その下にそれより暗い暗褐色土層が約30～40cm堆積している。その暗い暗褐色土層が縄文時代～近代の遺物包含層になる。それを掘り下げると黄褐色ローム層になり、遺構確認面となる。各時代の遺物が同一層で出土することは、八ヶ岳南麓の遺跡ではよく見られることである。

縄文時代（第９図）

遺構は土坑が５基発見されたが、どれも曽利式土器片が数点出土しているのみで、流れ込みの可能性もある。これらの遺構は調査区北側、台地の平坦面に分布する。

遺構外から第９図16の有孔鍔付土器や17の有茎石鏃が出土している。

弥生時代（第10図）

35号土坑が唯一の遺構である。２号住に切られ（２号住が35号土坑の上に構築されている）、土坑中央に柱穴が掘られていた。直径約1.8mの不整な円形で、深さは約70cm、断面形は底部付近がわずかに外に張り出しており、フラスコ状に近い。

遺物は、条痕文土器片が土坑中央の覆土上層付近を中心に出土している。それらは接合しないが同一個体である。口縁部は残っておらず、全て胴部片である。時期は前期であろう。焼土の固まりも底部近くからわずかに出土した。

古墳時代（第11～42図）

前期から中期にかけての集落跡が発見された。前期の集落跡は山梨県内でも珍しくはないが、中期の集落跡は少なく、八ヶ岳南麓では隣接する龍角遺跡と川又坂上遺跡（高根町・新津・三田村1993）の調査事例があるだけである。以下前期と中期に分け集落様相を述べていく。

《前期》　１・２・３・４・７・15号住の６軒である。住居の規模で、一辺が約８～９ｍの大型のものと一辺が約５ｍの小型のものと２つに分けられ、前者に７・15号住、後者に１・２・３・４号住が相当する。

住居跡の分布は、調査区北側の台地の高いところを中心に展開しているが、１・２・３・４・７号住は北側にまとまり、15号住１軒だけがやや南に下がったところに存在する。このことから大型住居と数件の小型住居が単位となり、集落が営まれていたことが窺える。よって、15号住の周辺に同時期の小型住居が存在すると予想される。

どの住居跡も遺物の出土量はあまり多くなく、Ｓ字状口縁台付甕（以下Ｓ字甕）を中心に出土している。各住居跡から出土するＳ字甕は、肩部に横方向のハケメが施されておらず、小林健二氏の編年（小林1998、以下小林編年とする）でいう４期に比定できる。遺構外からも肩部にヨコハケメをもつＳ字甕は出土していないので、集落は４期に出現したと考えられる。

各住居跡出土の器種組成を比べても、どれもＳ字甕以外の甕･高坏･鉢が少なく、あまり違いは見られない。住居の大きさによる違いもない。ただ、大型住居は他時期の住居跡により中央部が壊されているため、遺物の残りが悪いので、比較するには不十分ではある。

同時期の住居跡同士の重複関係がないので、それぞれの住居跡は同時存在していたと見ても良いであろう。そして、小型の１・２・３・４号住居跡では焼土や炭化物が多く見られ、焼失住居の可能性がある。大型の７・15号住は覆土に小さな炭化物が含まれていたが、小型住居ほど目立ってはいなかった。

《中期》　６・９・14・16号住の４軒で、台地の平坦面から少し下がった傾斜地に集落が展開する。前期の分布と比べ、やや南に移動している。

前期と同様に、一辺が約８ｍの大型住居である６号住と、一辺が４～５ｍの小型住居である９・14・16号住と２つに分けられる。大型の６号住が台地の高いほうに位置し、少し南に下がった所に９・14・16号の小型住居が並んでいる。前期の分布と同様に、大型住居と複数の小型住居が単位となるならば、６号住の周辺には小型住居が数軒、９・14・16号住の周辺には大型住居が１軒存在しているであろう。

大型の６号住は前期の大型住居である７号住の中に作られている。６号住は南壁の南西隅に張り出し部を持ち、平面形態に小型住居との違いが見られる。張り出し部は炉から遠く、近くに間仕切りと思われる溝がある。張り出し部は出入り口の可能性があるが、硬化面等は確認できなかった。

時期は各住居跡から出土する高坏から判断すると、石神孝子氏の編年（石神･笠原1999、以下石神編年とする）の２期に比定できる。また、石神氏は２期を、台付甕が主体な時期と平底甕に変わる時期、あるいは椀・坏類の出現以前以後で細分の可能性があると指摘している。各

住居跡から出土する甕は平底が多いこと、椀・鉢が出土していることを見ると、２期でも新しい段階であると考えられる。６号住出土の高坏の中には、脚高が低いものもみられ（第28図57）、高坏は短脚化する傾向があるので、それを新しい要素の出現と考えることができる。石神氏は２期を５世紀第２四半期としているので、実年代でいうと５世紀中頃になろうか。

それぞれの住居跡からは各器種が破片では出土しているが、図示できるようなものとなると、わずかに内容が異なってくる。６号住は甕・壷・高坏・椀・鉢の主要器種がほぼ揃っているが、９号住は高坏･小型壺がなく椀･鉢が多い。14号住は甕・鉢が少なく、16号住は壷がないというように他の住居跡と違いが見られる。

甑の口縁部片が２点出土し、その内１点は９号住から出土している。６号住からは須恵器大甕の破片が出土しているが、覆土中から平安時代の土師器も一緒に出土しているので、古墳時代のものと断定は出来ない。２期にはＴＫ216の須恵器が伴うので、この時期須恵器が出土してもおかしくはない。

14号住ピット１の覆土中から定角式磨製石斧が出土し、古墳時代の人々が製作したと断定は出来ないが、それを所有していたことは明らかであろう。６号住居跡から打製石斧や横刃形石器が出土し、打製石斧の形態は縄文時代のものより大きく、むしろ弥生時代の石鍬に似ている。６号住からは弥生時代の土器は出土していないので、弥生時代のものではないであろう。縄文土器は出土しているので、縄文時代の可能性がないわけではないが、ここは古墳時代の石器ととらえたい。石器は弥生時代に鉄器に取って代わられ、衰退していくが、八ヶ岳南麓では鉄器が普及せず、石器を使用するという伝統が続いており、古墳時代までかろうじて石器が残存していたと考えたい。磨製石斧は古墳時代中期の住居跡内ピットから出土したので、その時期のものと判断できるが、打製石斧は６号住の覆土中から出土したので、前期とも考えられる。事例の増加に期待したい。

垂飾りに使用したと思われる石製品も出土している。平安住居から出土したが、古墳時代のものとした。

１号竪穴は、調査区にその一部がかかっているだけで、炉や柱穴は確認できなかったので、住居跡とはしなかった。出土遺物から古墳時代の遺構としたが、掘り込みの深さは他の平安時代住居と似ているので、平安時代のものとも考えられる。よって、集落について述べるときは、１号竪穴は除外している。

平安時代（第43～64図）

発見された遺構は５・８・10・12・13号住の５軒、１～３号掘立柱建物跡の３棟である。調査区中央付近に分布する。

帰属時期は、各住居から出土した甲斐型坏を基に、５・13号住が甲斐型土器編年（甲斐型土器研究会1988、以下甲斐型編年）のＸ期、８・12号住がⅪ～Ⅻ期、10号住がⅫ期に比定できる。各掘立柱建物跡の時期の詳細は不明であるが、住居跡に付属すると考えられ、Ｘ～Ⅻ期に収まるであろう。

住居跡の規模は５・８・10・13号住が一辺約4.5m、12号住が約６ｍと、12号住が一回り大きい。12号住は13号住を切っている。

５・８号住は甲斐型坏の出土が少なく、図示出来るものがほとんどなかった。代わりに黒色土器の出土が多く、８号住からは須恵器を模倣したと思われる土師器の甕や短頸壷が出土している。10・12号住からは墨書土器が数多く出土した。また、土錘が12号住から出土している。

近代（第59・65図）

近代以降の建物と思われる跡が発見された。建物全体の様子は、確認できなかったが、大きい方形柱穴、山側を削り造成した跡、横断面が丸い釘の出土等古い時代のものとは考えにくく、近代以降のものであろう。北側中央部周辺の覆土中には、焼土が厚い所では約10cmも堆積し、焼土が広範囲に広がっていた。

1915（大正４）年に発行された『北巨摩郡誌』において、日野春村の記載の中に「避病舎　長坂下条区字龍角に在り、土地高燥にして眺望佳なり。」とある。1897･98（明治30・31）年に広域的に病毒が蔓延し、北巨摩郡下も全域にわたり赤痢等が大発生し、多くの死者を出したことがあった。この年、伝染病予防法が公布され、各地方自治体に隔離病舎、病院等の設置が義務付けられた。今回発見された建物跡はこの避病舎の可能性が高い。

現在、Ａ区は牧場として利用されており、集落からやや離れている。隔離病舎は集落から離れた場所に建設されるのでこの場所でも不思議はない。また、当時の防疫方法は、患者の使った衣類・寝具等を焼却することであったので、覆土中の厚く堆積した焼土は、患者の持ち物あるいは避病舎自体を防疫のために焼却した痕跡と考えられる。なお、字龍角地内にはこの台地しか高燥と呼べる場所はない。

よって、近代建物跡は避病舎の一部である可能性が高いと考えられる。

第４章　Ｂ区の遺構と遺物

基本層序（第76・77図）

Ｂ区は東西に細長く、調査区の東側は埋没谷、西側は台地東端部にあたるので、それぞれ堆積状況が異なる。

Ｂ区東側は１層表土（約30cm）下に２層暗褐色土（約50cm）、３層黒褐色土（約30cm）、４層暗褐色土（約30cm）、５層暗褐色土の混じった茶褐色土（約30cm）、６層暗褐色土（約30cm）、７層黒褐色土（約60cm）の層序で堆積して、その下は礫・砂混じりの８層白色土となる。

５～７層から縄文時代の遺物が出土し、それより上層（１～４層）からは主に平安時代および中世の遺物が出土している（第78図）。後述する土層の自然科学分析から、７層黒褐色土は古くとも約6,300年前以降の堆積であることが明らかになった。出土した縄文土器も前期後半の諸磯ｂ式が最古であるので、年代に矛盾はない。

Ｂ区東側の層位は、各層にブロック状の異質土が混じるので２次堆積層であり、埋没谷となっている。Ａ区のある台地の縁辺に近づくにつれ堆積層も厚くなる。

Ｂ区西側は表土（約30cm）下に暗褐色土（約30cm）があり、その下は黄褐色土である（第77図Ｈ－Ｈ′）。調査区南壁に近くになるにつれ、暗褐色土混じりの茶褐色土になり、２次堆積の埋没谷となっていく。

縄文時代（第79～83図）

縄文時代の遺構は発見されなかったが、調査区中央の５・10層を中心に遺物の出土が見られた。地形的に見れば谷部にあたるので流れ込みと考えられ、縄文集落が北側の台地上に展開していることが予想される。

出土土器は前期後半から後期まであり、17～24・35～37は諸磯ｂ式、１～４・25～29は五領ヶ台式、５～16・31～34は曽利Ⅱ式、38～41は堀之内式、42～46は加曽利Ｂ式、30は中期、47～60は後期である。第81図84は尖頭器に似ているが、わずかではあるが茎部を作り、返しがあるため石鏃とした。

弥生時代（第83図115・116）

弥生時代の遺物では磨製石鏃２点が出土している。土器の出土は見られなかった。遺構も確認できなかった。

磨製石鏃は第83図115･116である。115は先端部から脚部にかけて欠損しており、全体の形態は不明、粘板岩製で、重量は1.7ｇである。直径2.0㎜の孔が空けられている。116は先端が丸みを帯びた二等辺三角形を呈し、粘板岩製で両脚部端を欠損している。直径2.5㎜の孔が空けられ、重量は1.5ｇである。

北巨摩郡内では、古御所東遺跡（白州町）１点、中込遺跡（長坂町）１点、柳坪遺跡（同町）１点、金生遺跡（大泉村）１点、姥神遺跡（同村）１点、上ノ原遺跡（須玉町）１点、神取遺跡（明野村）１点、坂井南遺跡（韮崎市）２点、後田堂ノ前遺跡（同市）１点、上横屋遺跡（同市）１点、新田遺跡（同市）１点の合計12点の調査事例がある。山梨県内でも北巨摩郡は磨製石鏃の出土遺跡が多いが、どれも単独か多くても２点の出土にとどまる。甲府盆地内では、未製品も含めて金の尾遺跡（中巨摩郡敷島町）19点、音羽遺跡（甲府市）６点とまとまって出土する遺跡もあり、その対比は興味深い。

平安時代（第80・81・83～87図）

住居跡が２軒確認された。時期はどちらもＸ期である。２軒の住居跡は近接しており、周辺の畑には、他の住居跡が展開していると思われる。Ａ区から発見された平安集落とは約150ｍ離れており、比高差のあまりないとはいえ谷を挟んで立地している。同一の集落と考えられるが、それぞれ別の住居群であろう。西側に近接する紺屋遺跡からも平安時代の集落が発見されているので、両遺跡合わせて１つの集落であったと考えられる。

２号住からは第85図８～10の胴下半部が丸みを帯びる黒色坏が出土している。内面の黒色処理もツヤがあり、磨きの痕も確認できる。８・９は完形品であり、10には「十八」の墨書がある。他の黒色坏は、これらほど丸みが強くない。銅碗に近い形態である。

中世（第88～98・101図）

Ｂ区からは中世の集落跡の一部と思われる遺構が確認できた。

近接する紺屋遺跡をはじめ、周辺の遺跡から発見されるものと同じ１・２号方形竪穴状遺構は、ほぼ中世の遺構であると言える。それらを中心に遺構の軸・出土遺物等から、8･10･11号溝、1・2号列石、2号組石遺構、3・4号竪穴状遺構、周辺のピットの一部等を中世遺構と考えたい。ピットの一部は掘立柱建物跡の柱穴であると思われ、その可能性を提示したい。

本来ならば、確定したものを提示しなくてはならないが、穴の配置だけを手がかりにするため確証はない。

中世遺構は３つの時期に分けられると考えられる。

推定①（第95図）

１号掘立柱建物跡が調査区の北西端にある。東端の柱穴列が確認でき、西側の調査区外に展開していると考えられる。他の遺構はないと思われる。

推定②（第96図）

２号方形竪穴状遺構とその南北に２～４号掘立柱建物跡が展開する。それらは軸がほとんど同じで、近接する場所にあるので同時期とした。２号掘立柱建物跡は２間×３間の建物であると思われるが、調査区外に伸びる可能性もある。

推定③（第97図）

１号方形竪穴状遺構、５～７号掘立柱建物跡、３・４号竪穴状遺構、８・10・11号溝、１・２号列石、柵が展開する。同じような形態の８・10号溝が並行し、10号溝を補強するように２号列石が構築される。そのすぐ西側に11号溝が走り、またそのすぐ西側に１号列石が作られる。これらは一体に作られたと見るほうが自然であろう。硬化面は確認できなかったが、８・10号溝を側溝とした道路状遺構の可能性を指摘したい。なお、10号溝は南側で東側に曲がっている。10号溝の東側に３・４号竪穴状遺構があり、続いて柵がある。柵と考える理由は、その中のピット107・108に木柱痕と思われる木が出土したので、それを門とし、１号方形竪穴状遺構と道路状遺構の間を区切る柵と考えた。その東側には１号方形竪穴を中心に掘立柱建物跡が展開する。

以上が各時期の概要であるが、前後関係については、２号方形竪穴と８号溝の切り合い関係から②→③となる。また、①の１号掘立柱建物跡と②の２号掘立柱建物跡の一部のピットは、土層断面から確認したわけではないが、調査中の判断から、③の８号溝に切られていると思われるので、①・②→③と考えられる。

①と②では前後関係を確かめることは出来ないが、③と建物の軸方向がほぼ同じの②のほうが③に近いものと思われ、①→②→③と変遷すると考えられる。

各時期の年代を推定してみると、１号方形竪穴状遺構の形態や軸が紺屋遺跡第２次調査の方形竪穴状遺構群と同じであり、同13号溝と道路状遺構の軸がほぼ同じである。道路状遺構と13号溝で区画された中に方形竪穴状遺構群があったとの指摘（宮澤2000）もあり、同時期と考えてもよいであろう。よって③を紺屋遺跡の方形竪穴状遺構群の同時期とすると14世紀末～15世紀代になる。そして、①・②はその前代にあたり、Ｂ区から13世紀や14世紀代の白磁や青磁の貿易陶磁器片が出土していることもあり、それらの年代の可能性がある。

当時の建物柱穴配置にどれくらいの型式があるか不明なので、方形に並ぶピットを結んだだけであり、確証はない。これはあくまでも推定であることを承知していただきたい。

Ｂ区から貿易陶磁が数片出土している（第98図５～８）。その出土位置は示さなかったが、ほとんどが調査区中央の谷部から出土している。流れ込みと考えられ、方形竪穴状遺構等の時期決定に用いられないのが残念である。

２号組石遺構は20～30cm大の礫を長方形に配している。一部の礫の上に炭化物が出土し、礫自体も煤けていたので、ここで何かを燃やしたのであろう。下部の落ち込みは、確認できなかった。出土土器はなく時期は不明であるが、紺屋遺跡第１次調査から発見された火葬施設と似たような遺構と考えられる。

近代以降（第99～101図）

調査区東端に近代以降のものと思われる遺構がある。

１号溝は台地裾部の急斜面に作られていた。溝というよりは横穴としたほうがいいのかもしれない。急傾斜面を横に掘り、平坦面を作り出している。覆土中からは土瓶等の陶器、波打っているトタン板の残骸が多量に出土している。トタン板で屋根を作り、小屋のようにしていたのであろう。

井戸は拳大の礫や瓦の破片でふさがれていた。それを取り除くと、木枠や石組等がない素掘りの井戸であった。約2.5m掘り下げたところで水がしみ出てきて一定の水位を保つようになった。井戸の底はもう少し下であろう。

１号組石遺構は10～50cm前後の石を不定形に組んでおり、その周辺には焼土が広がっていた。近代以降と思われる陶磁器やビン製の入れ物が出土しているので、近代以降の遺構であろう。

断層跡（第77図Ｅ－Ｅ′）

調査区中央の土層断面（第77図Ｅ－Ｅ′）に断層跡が確認できた。５層と10層が寸断され、直下の14層の土がその間から噴出しているように上がっている。噴出している層の途中に暗褐色土が認められたが、噴出した時の混入と判断したい。

断層跡はこの土層断面だけで確認でき、他では確認できなかったので、大規模なものとは言えない。これを確認する前に、その周辺を精査していたところ、３m四方で黒褐色土が不規則な範囲を示していた。それが断層跡であることが後で判明するのだが、そのような状況なので、この断層跡は小規模なものである。

その発生時期は、断ち割られている５層・10層から出土する遺物はほとんど縄文土器で、前期～後期の土器が出土している。その上の４・32層からは平安時代の遺物が主体的に出土している。出土の遺物が流れ込みと考えられる５・10層を断ち割り、４・32層に覆われているので、発生時期は縄文時代後期～平安時代（９世紀前半）の間である。

第５章　自然科学分析

パリノ・サーヴェイ株式会社

はじめに

龍角西遺跡は八ヶ岳南麓の宮川右岸の台地～緩斜面上に立地する。今回の調査により、古墳時代および平安時代の住居跡や掘立柱建物跡が検出されている。八ヶ岳南麓では、縄文時代や平安時代の集落は数多く発見されているが、古墳時代の集落については比較的少ない。したがって、本地域の古墳時代の状況を解明する上で本遺跡は非常に重要といえる。

今回の自然科学分析調査では、龍角西遺跡の宮川の低地側に認められた埋没谷の黒色火山灰土（いわゆる黒ボク土）と考えられる黒色土の由来、粘土層の堆積環境を検討するために、鉱物分析、珪藻分析、土壌理化学分析を行う。また、当時の古植生について検討するために、花粉分析、植物珪酸体分析を行う。さらに、古墳時代や平安時代の竪穴住居跡で検出された炉やカマドの焼土を対象として、当時の植物利用に関する試料を得るために種実遺体同定を行う。また、古墳時代、平安時代及び近代の住居構築材と燃料材の用材について検討するために、竪穴住居跡で検出された炭化材および木材を対象に樹種同定を行う。

1. 試　料

⑴　基本土層

集落が形成されていた台地～緩斜面より北の宮川の低地側では、黒ボク土と考えられる黒色土が堆積した埋没土が認められている。埋没谷では、厚さ２m余りの黒ボク土層の下位に礫混りの粘土層やシルト層を挟み、礫層が認められる。黒ボク土層最下層では腐植含量が比較的多く、その上位では下位にくらべてやや褐色でロームブロックが混在する。遺物は黒ボク土層最下層では検出されていないが、その上位からは縄文土器が検出されている。試料は表土直下の黒ボク土層より下位に向かって、試料番号１～47が厚さ５cmで連続的に採取されている。この中から、鉱物分析に試料番号12･17･28･35の４点、珪藻分析に試料番号28・35・42・44・47の５点、花粉分析および植物珪酸体分析に試料番号28・42の２点、土壌理化学分析に５・12・17・28・35の５点の試料を選択する。以上の柱状図と試料採取位置を挿図１に示す。

⑵　竪穴住居跡検出焼土

試料は、住居跡のカマドなどから検出された焼土等である。分析を行う試料は、１住１号焼土、１住２号焼土、１住３号焼土、２住２号焼土、２住３号焼土、２住４号焼土、３住焼土、４住１号焼土、４住２号焼土、４住３号焼土、４住４号焼土、４住５号焼土、５住焼土、５住カマド内土、６住焼土、８住カマド焼土、９住焼土、近代建物跡焼土ベルト、12住カマド焼土、12住中央焼土、13住カマド焼土、14住１号焼土、14住２号焼土、16住焼土の合計24点である。

⑶　竪穴住居跡検出炭化材および木材

樹種同定試料は、古墳時代・平安時代・近代の住居・建物跡（３住・６住・10住・近代建物跡・14住）から検出された住居構築材や燃料材など68点である（試料番号１～68）。このうち、試料番号18･19の２点を除く66点が炭化材である。各試料の詳細は、樹種同定結果と共に表５に記す。

2. 分析方法

⑴　鉱物分析

試料約40ｇに水を加え超音波洗浄装置により分散、250メッシュの分析篩を用いて水洗し、粒径1/16㎜以下の粒子を除去する。乾燥の後、篩別し、得られた粒径1/4㎜-1/8㎜の砂分をポリタングステート（比重約2.96に調整）により重液分離、重鉱物を偏光顕微鏡にて250粒に達するまで同定する。同定の際、不透明な粒については、斜め上方からの落射光下で黒色金属光沢を呈するもののみを「不透明鉱物」とする。「不透明鉱物」以外の不透明粒および変質等で同定の不可能な粒子は「その他」とする。

また、軽鉱物は、重鉱物分析の処理により得られた軽鉱物を偏光顕微鏡下にて観察する。火山ガラスは便宜上軽鉱物に含め、その形態によりバブル型・中間型・軽石型の３タイプに分類した。各型の形態は、バブル型は薄手平板状、中間型は表面に気泡の少ない厚手平板状あるいは破砕片状などの塊状ガラスであり、軽石型は小気泡を非常に多く持った塊状及び気泡の長く伸びた繊維束状のものとする。

⑵　珪藻分析

試料を湿重で７ｇ前後秤量し、過酸化水素水、塩酸処理、自然沈降法の順に物理化学処理を施して、珪藻化石を濃集する。検鏡に適する濃度まで希釈した後、カバーガラス上に滴下し乾燥させる。乾燥後、プリュウラックスで封入して、永久プレパラートを作製する。検鏡は、光学顕微鏡で油浸600倍あるいは1000倍で行い、メカニカルステージで任意の測線に沿って走査し、珪藻殻が半分以上残存するものを対象に200個以上同定・計数する。

⑶　花粉分析

試料を湿重で約10ｇ秤量し、水酸化カルシウム処理、

篩別、重液分離（臭化亜鉛，比重2.3）フッ化水素酸処理、アセトリシス処理（無水酢酸：濃硫酸＝９：１）の順に物理・化学的な処理を施して花粉・胞子化石を分離・濃集する。処理後の残渣をグリセリンで封入してプレパラートを作製した後、光学顕微鏡でプレパラート全面を検査し、出現する全ての種類について同定・計数を行う。

⑷　植物珪酸体分析

湿重５ｇ前後の試料について、過酸化水素水・塩酸処理、超音波処理（70ｗ，250KHz，1分間）、沈定法、重液分離法（ポリタングステン酸ナトリウム，比重2.5）の順に物理・化学処理を行い、植物珪酸体を分離・濃集する。これを検鏡し易い濃度に希釈し、カバーガラス上に滴下・乾燥させる。乾燥後、プリュウラックスで封入しプレパラートを作製する。400倍の光学顕微鏡下で全面を走査し、その間に出現するイネ科葉部（葉身と葉鞘）の葉部短細胞に由来した植物珪酸体（以下、短細胞珪酸体と呼ぶ)および葉身機動細胞に由来した植物珪酸体(以下、機動細胞珪酸体と呼ぶ）を、近藤・佐瀬（1986）の分類に基づいて同定・計数する。

結果は、検出された種類とその個数の一覧表に示す。

⑸　土壌理化学分析

分析項目は土壌の物理性を調査するために粒径組成、植生環境の量的指標として腐植含量およびリン酸含量、腐植の光学性を把握するためにMI、また火山灰土壌の鉱物性を量的に把握するために酸性シュウ酸塩可溶ケイ素、アルミニウムを選択する。

粒径組成はピペット法（土壌標準分析・測定法委員会，1986)、腐植含量はチューリン法、リン酸含量は硝酸･過塩素酸分解―バナドモリブデン酸比色法、ＭＩ（Melanic index）は腐植簡易分析法（本名・山本，1992)、酸性シュウ酸塩可溶ケイ素、アルミニウムは0.2Ｍ酸性シュウ酸塩溶液（ph３）抽出―原子吸光光度法（Internationakl Soil Reference and Information Center, 1986）でそれぞれ行った。以下に各項目の操作工程を示す。

ａ）試料調製

試料を風乾後、軽く粉砕して2.00㎜直径のふるいを通過させる（風乾細土)。この一部を細かく粉砕し、0.5㎜直径のふるいを全通させる(粉砕土)。風乾細土の水分を加熱減量法（105℃、５時間）により測定する。

ｂ）粒径組成（ピペット法）

風乾細土10.00ｇに水と30％過酸化水素水を加え、熱板上で有機物を分解した。分解終了後、Mehra-Jackson法によって脱鉄処理を行い、遠心洗浄を２回行った。水を約500㎖加え、撹伴しながら30分間音波処理を行った。この液を１ℓ沈定瓶に移し、往復振とう機で１時間振とうした後、水で１ℓに定容した。沈定瓶を１分間激しく振り、直ちに静置して所定の時間に５㎝の深さから懸濁液10㎖を採取した。採取懸濁液を蒸発乾固し、乾燥･秤量した（シルト・粘土の合量)。さらに所定の時間が経過した後、沈定瓶から懸濁液を５㎝の深さから10㎖採取し、蒸発乾固・乾燥・秤量した（粘土含量)。沈定瓶に残ったシルト・粘土を、サイフォンを使ってすべて洗い流し、その残査を乾燥･秤量した（砂含量)。これを0.2㎜直径の篩でふるい分け、篩上の残留物を秤量した（粗砂含量)。これら測定量をもとに粗砂（2.0 - 0.2㎜）・細砂（0.2-0.02㎜）･シルト（0.02-0.002㎜）･粘土（0.002㎜以下）４成分の合計を100とする各成分の重量％を求めた。求められた粒径組成の値から国際法によって土性区分を行う。

ｃ）腐植含量

粉砕土0.100～0.500ｇを100㎖三角フラスコに正確に量りとり、0.4Ｎクロム酸・硫酸混液10㎖を正確に加え、約200℃の砂浴上で正確に５分間煮沸する。冷却後、0.2％フェニルアントラニル酸液を指示薬に0.2Ｎ硫酸第１鉄アンモニウム液で滴定する。滴定値及び加熱減量法で求めた水分量から乾土あたりの有機炭素量（Org - C 乾土％)を求める。これに1.724を乗じて腐植含量(％)を算出する。

ｄ）リン酸含量

粉砕土1.00ｇをケルダール分解フラスコに秤量し、はじめに硝酸（HNO3）約５㎖を加えて加熱分解する。放冷後、過塩素酸（HCLO4）約10㎖を加えて再び加熱分解を行う。分解終了後、水で100㎖に定容してろ過する。ろ液の一定量を試験管に採取し、リン酸発色液を加えて分光光度計によりリン酸（P2O5）濃度を測定する。この測定値と加熱減量法で求めた水分量から乾土あたりのリン酸含量（P2O5mg/g）を求める。

ｅ）Meranic Index　(MI)

風乾細土約1.0ｇを50㎖容遠心管に入れ、分注器で0.5％ＮaOＨ溶液約25㎖を加える。遠心管に蓋をしてテープで密封し、室温で１時間振とうする。振とう終了後、0.1％高分子凝集剤溶液１～２滴を加え、よく振り混ぜた後、4,000rpm、15分間の遠心分離で抽出腐植溶液を得る。得られた抽出腐植溶液の１㎖を試験管にとり、0.1％NaOH溶液20㎖を分注器で加える（NaOHの濃度は約0.1％となる)。この溶液について、分光光度計により450、520nmの吸光度を測定する。450nmの吸光度が１を越える場合には、さらに0.1％NaOH溶液で希釈して測定する（測定時間は抽出後、３時間以内)。結果の表示

は、MI値＝K450/K520で示す。

f）酸性シュウ酸塩可溶ケイ素、アルミニウム

粉砕土0.30ｇに0.2M酸性シュウ酸塩溶液（ph３）を30mℓ加え、液温25℃の暗条件で４時間振とうする。0.4％高分子凝集剤を２滴加えて激しく振とうし、3000rpmで15分間遠心分離し、測定試料液を得る。試料液一定量を試験管に採取し、蒸留水を加え適宜希釈した後、原子吸光光度計で定量する。定量値と風乾細土水分量から乾土あたりのケイ素、アルミニウム量（Sio2、Al2O3％）を求める。

⑹　種実遺体同定

送付された焼土試料約２kgの約半量を水に浸して数日間放置し、試料を泥化させる。0.5㎜の篩を通して水洗し、残渣を集め、自然乾燥させる。双眼実体顕微鏡で観察し、その形態的特徴から種類を同定する。

⑺　樹種同定

剃刀の刃を用いて木口（横断面）・柾目（放射断面）・板目（接線断面）の３断面の徒手切片を作製し、ガム・クロラール（抱水クロラール，アラビアゴム粉末，グリセリン，蒸留水の混合液）で封入し、プレパラートを作製する。作製したプレパラートは、生物顕微鏡で観察・同定する。

炭化材は、３断面の割断面を作製し、実体顕微鏡および走査型電子顕微鏡を用いて木材組織の特徴を観察し、種類を同定する。

3. 結　果

⑴　鉱物分析

結果を表１・挿図２に示す。重鉱物は、いずれの試料も射方輝石が最も多く少量の単射輝石、不透明鉱物、微量のカンラン石、角閃石を含むことで比較的類似する。

軽鉱物は、いずれの試料も石英が比較的多く、次に長石、火山ガラスを含み比較的類似する。ただし、試料番号12・17では「その他」がやや多い。火山ガラスはいずれの試料も無色透明のバブル型火山ガラスが最も多く、無色透明の軽石型火山ガラス、褐色のバブル型火山ガラスが微量認められる。この中で、無色透明のバブル型火山ガラスおよび軽石型火山ガラスは、その形態と色調から、主に姶良Tn火山灰（AT：町田・新井，1976）に由来すると考えられる。ATは、鹿児島県の姶良カルデラを給源とし、降灰年代は約2.1～2.5万年前（町田・新井，1992）と考えられている。また、褐色のバブル型火山ガラスは鬼界－アカホヤ火山灰（K-Ah:町田・新井，1978）に由来すると考えられる。K-Ahは、約6300年前に九州南方の鬼界カルデラから噴出したテフラである。また、試料番号12・17には褐色黒雲母が微量認められる。

⑵　珪藻分析

試料番号28・35・42・44・47の５試料とも珪藻化石は、全く検出されない。

⑶　花粉分析

試料番号28・42の２試料とも花粉化石は、全く検出されない。

⑷　植物珪酸体分析

結果を表２に示す。試料番号42や試料番号28では、いずれも植物珪酸体が検出されるものの、保存状態が極めて悪い。また、タケ亜科やウシクサ族、ヨシ属などがわずかに認められるに過ぎない。

⑸　土壌理化学分析

土壌理化学分析結果を表３・挿図２に示す。

a）粒径組成

粒径組成は土壌の物理性および堆積物としての性質を判断するための重要な指標の一つである。今回の分析結果では試料はいずれも砂含量（粗砂・細砂）が低く、試料５・12・17・28では粘土含量が40％前後、試料35では47％と高い粘土含量であることから、軽埴土（Lic）または重埴土（HC）に区分される。また、下位から上位に向かって砂含量が増加することから、堆積物の粗粒化の傾向が認められる。

b）腐植含量

土壌有機物、いわゆる腐植は土壌に供給された植物遺体が分解し、腐植物質といわれる高分子化合物として合成されたものであるから、腐食含量は地表の植生環境の指標となりうる。また、累積土壌においては過去の地表の検出に用いることができる（竹迫，1990）。今回の分析結果では、試料５・12・17・28で6.19～8.55％と比較的高い腐食含量であるが、試料35においては13.7％と著しく高い値を示し、各試料ともに土色と良く対応した傾向が認められた。全体的に見ると、試料12、35が採取された層準は埋没腐食層と認識される。

c）リン酸含量

リン酸含量は腐食含量と密接な関係があり、有機物供給量を判断する指標の一つである。今回の分析結果では、試料５・12・17・28で2.30～2.98P2O5mg/g、試料35においては4.81P2O5mg/gと比較的高い値を示し、腐植の含量推移とほぼ類似した傾向が認められる。

d）MI（Meranic index）

腐植にとっても最も特徴的な波長域における２波長の比である。本名・山本（1992）によればPgによるスロープが急峻に現れる450nmと520nmの吸光度比を用いてA型腐植酸とP型腐植酸を明瞭に判別した。この値を

MIとして腐植の質的判定指標にしている。そこでは我国の火山灰を母材とした土壌の分析結果（ほとんどが表層土の結果）からMI＝1.70を境にそれ以下はすべてA型腐植酸で、それ以上はP型腐植酸に分類されている。また、数多くの分析結果から、MIが1.7～2.0の場合はほとんどがB型腐植酸であり、P型、Rp型のほとんどは2.0以上という区分が明瞭にできるとしている。今回の分析結果では、MIはいずれの試料も1.54～1.56の範囲内にあることから、すべてA型腐植酸に分類され、いずれも腐植化の進行程度が高いものであることが指摘される。

e）酸性シュウ酸塩可溶ケイ素

この塩に溶解するケイ素（Sio）はアロフェイン、イモゴライトなどのケイ酸アルミニウム、さらにアルミニウム－腐植複合体に由来する。三土（1985）によれば、ケイ素含量（Si）が1.00%（SiO2で2.14%）を境にアロフェン質と非アロフェンの黒ボク土では明確に区別され、Si≧1.00%（SiO2≧2.14）はアロフェン質、Si＜1.00%（SiO2＜2.14%）は非アロフェン質としている。また、Parfitt, R. L. and Hennmi. T.（1982）によればSioの含有量はアロフェンの存在量と密接な関係があるとし、Sioに7.14を乗じてアロフェン含量を推定できるものとしている。これに従えば、アロフェン生成量としては11.5～15.7%であると推測され、各試料におけるSioの推移はアロフェンの生成量の推移を反映したものと解釈できる。今回の分析結果では、いずれの試料においてもSioで1.00%（SiO2で2.14%）を上まわる値が認められ、アロフェン質の黒ボク土であることが示唆される。各試料のSio（SiO2）の推移を見ると、試料35を除き下位の試料ほどアロフェン生成量が増す傾向が認められる。

f）酸性シュウ酸塩可溶アルミニウム

この塩に溶解するアルミニウム（Ａｌｏ）はSioと同じアロフェン、イモゴライトあるいはアルミニウム－腐植複合に由来する。また、三土（1985）ではSio/Alo比がSio/Alo≧0.45ではアロフェン質、Sio/Alo＜0.45では非アロフェン質としている。今回の分析結果では、Sio/Aloは試料番号35を除く試料において0.45%を上まわる値であり、いずれもアロフェン質黒ボク土と判断される。このことは、前述の酸性シュウ酸塩可溶ケイ素の結果を裏付けるものである。なお、試料番号35は0.45%をわずかに下まわったが、前述の結果から本試料についてもアロフェン質黒ボク土と判断される。

⑹　種実遺体同定

水洗後の残渣は、５住焼土、14住１号焼土は比較的多かったが、１住３号焼土、２住３号焼土、４住１号焼土では少なかった。

残渣の大部分は赤色の堅い土塊であり、全体的に炭化物片は少ないが、近代建物跡焼土ベルトでは比較的多い。ただし、炭化物のほとんどは微細な炭化材であるため同定は難しい。その他には、菌核なども若干含まれるが、種実遺体は全くみられない。

⑺　樹種同定

樹種同定結果を表４に示す。試料番号53・54・64・65は、保存状態が悪いために種類の同定には至らず、観察できた範囲での結果を記した。また、試料番号12は、保存状態が悪いために木材組織の観察ができず、不明とした。その他の試料は、いずれも落葉広葉樹で、６種類（オニグルミ・ハンノキ属ハンノキ亜属・コナラ属コナラ亜属クヌギ節・コナラ属コナラ亜属コナラ節・カツラ・カエデ属）に同定された。各種類の主な解剖学的特徴を以下に記す。

・オニグルミ（*Juglans mandshurica* Maxim. subsp. *siebodiana* (Maxim.) Kitamura）クルミ科クルミ属

散孔材で、道管径は比較的大径で、単独または２～４個が放射方向に複合して散在し、年輪界に向かって漸減する。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織はほぼ同性、１～３細胞幅、１～40細胞高。

・ハンノキ属ハンノキ亜属（*Alnus* subgen. *Alnus*）カバノキ科

散孔材で、管孔は単独または２～４個が放射方向に複合して散在し、分布密度は高い。道管は階段穿孔を有し、壁孔は密に対列状に配列する。放射組織は同性、単列、１～30細胞高のものと集合放射組織とがある。

・コナラ属コナラ亜属クヌギ節（*Quercus* subgen. *Lepidobalanus* sect. *Cerris*）ブナ科

環孔材で孔圏部は１～２列、孔圏外で急激に管径を減じたのち、漸減しながら放射状に配列する。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性、単列、１～20細胞高のものと複合放射組織とがある。

・コナラ属コナラ亜属コナラ節（*Quercus* subgen. *Lepidobalanus* sect. *Prinnus*）ブナ科

環孔材で孔圏部は１～３列、孔圏外で急激～やや緩やかに管径を減じたのち、漸減しながら火炎状に配列する。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性、単列、１～20細胞高のものと複合放射組織とがある。

・カツラ（*Cercidiphyllum* japonicum Sieb. et Zucc.）カツラ科カツラ属

散孔材で、管孔は単独または２～３個が複合して散在し、分布密度は高い。道管は階段穿孔を有する。放射組織は異性ＩＩ型、ほぼ単列で稀に２細胞幅、１～30細胞

高。

・カエデ属（Acer）カエデ科

散孔材で管壁は薄く、横断面では角張った楕円形、単独及び２～３個が複合して散在する。道管は単穿孔を有し、壁孔は対列～交互状に配列、内壁にはらせん肥厚が認められる。放射組織は同性、１～６細胞幅、１～50細胞高。木口面で帯状の不規則な紋様が見られる。

4. 考　察

(1) 黒色土の由来・粘土層の堆積環境

八ヶ岳南麓地域の地質については、日本の地質『中部地方Ⅰ』編集委員会(1988)および地学団体研究会(1988)に以下のように記載されている。本地域に分布する更新統は、古八ヶ岳期の泥流堆積物、火砕流堆積物からなる下～中部更新統と、段丘堆積物とそれを覆う風成火山灰層からなる上部更新統である。龍角西遺跡は、鳩川と釜無川に挟まれ流れ山や溶岩からなる残丘の分布する、いわゆる韮崎台地上に立地するが、この韮崎台地を構成するのが中部更新統の韮崎岩屑流である。

韮崎岩屑流は輝石・角閃石・黒雲母の結晶を含む火山灰質の粗粒砂ないシルト質砂を基質とし、八ヶ岳火山に由来する火山岩や外来の角～円礫、溶岩や火砕流堆積物のブロックを含む岩屑流堆積物からなる。その上位には八ヶ岳連峰を構成する輝石安山岩や角閃石安山岩に由来する段丘礫層が堆積し、段丘上には褐色火山灰土層（いわゆるローム層）および黒ボク土層が分布する。八ヶ岳周辺に分布するローム層には斜方輝石、単斜輝石、角閃石、カンラン石などが含まれ、層準によっては黒雲母が認められる。

今回の分析で認められた重鉱物および軽鉱物は上記の本遺跡周辺の地質学的背景に由来するものである。さらに、理化学分析の酸性シュウ酸塩の結果からアロフェン質の黒ボク土であることが指摘される。また、粒径組成では各試料ともに細粒堆積物の特徴を有していることから、今回の試料が火山性すなわち八ヶ岳火山に由来する砕屑物を主な母材としていると考えられる。さらに、最下位の黒ボク土層中からK-Ahが検出されていることから、本地点の黒ボク土層は古くとも約6,300年前以降に形成されたと考えられる。

ここで、ローム層や黒ボク土層（ここではいわゆる関東ローム層のような細粒の火山砕屑物を母材とする土壌をさすものとして用いる）の成因については、従来は小噴火による降下火山灰の累積したもの（例えば町田（1964）など）とする説が主に支持されてきた。これに対して、最近ではいったん堆積した火山灰が風によって移動させられて累積したものとする説も主張されるようになっている。この説は中村（1970）により提示され、早川（1986)、早川・由井（1989)、早川（1990)、早川（1995）などにおいて火山学および火山灰編年学上の種々の観察事実を根拠として述べられている。この説に従えば、ローム層も黒ボク土層も火山の噴火とは関係なく常に降りつもる風塵によって形成されたことになる。さらに、鈴木（1995）では、過去５万年間に堆積した火山灰土が層厚１ｍを上回る地域では、ローム層には広域テフラや小規模な噴火により降下堆積したテフラと上述の二次堆積したテフラとが混在するが、場所によりその構成物の割合は変化すると述べられている。上述の中村（1970）から鈴木（1995）までの考えをまとめると、ローム層や黒ボク土層の形成にはテフラの一次堆積も大きく関与しているが、母材の主体は定常的に堆積する風塵及び火山砕屑物であり、それらが少しずつ累積し、土壌生成作用を受けながらローム層や黒ボク土層が形成されているということになる。

本分析結果におけるＡＴやK-Ahの産状を考慮すると、ローム層や黒ボク土層の成因を、このように考えたほうがよい。さらに、本地点は宮川に続く埋没谷にあたるため、段丘上や段丘崖からの黒ボク土やローム層の二次堆積も多かったことが考えられる。さらに、黒ボク土層の各層準における特徴の違いを比較すると、土壌化の最も重要な因子の一つである腐植の含量と腐植酸の形態については、各試料ともに腐植含量が比較的高く、腐植化度の高いＡ型腐植酸からなるため、いずれも層準も有機物供給が多く土壌化が進行していると考えられる。とくに試料番号12・35において腐植含量が高いことから、腐植の供給源となった植生をはじめとして、気候、地形、風塵の堆積速度などの腐植形成・集積条件が、他の層準以上に卓越していたと考えられる。

また、Sio含量の推移をアロフェンの量的推移と見れば、下位の試料ほどアロフェンの生成が進行しており、粘土化（土壌化）が進んでいるものと解釈できる。ただし、最下位の試料番号35についてはアロフェンの生成量がやや低い結果が得られている。これは、試料番号35では腐植の含量が13.7％と高いため、腐植がアロフェン生成に必要なアルミニウムイオンをトラップして複合体を形成したため、アロフェンの生成自体が抑制される環境下に置かれていたものと推測される。

珪藻分析では、下部の粘土層・シルト層を含めて珪藻化石が全く検出されなかった。これまでの分析例では、黒ボク土層などのように陸上の好気的環境に堆積した土壌においても、耐乾性の強い陸生珪藻が低率ながら産出

することが多い。したがって、今回黒ボク土層中から珪藻化石が全く産出しなかったのは、何らかの理由で珪藻化石が溶解してしまった可能性がある。また、下部の粘土層・シルト層には、礫や砂が混在する。したがって、本層準は水成堆積物または崖錐堆積物の可能性がある。いずれにしても、周囲の段丘上または段丘崖から黒ボク土層やローム層も二次堆積していると考えられる。

⑵　遺跡周辺の古植生

黒ボク土層の下位の粘土層では、保存状態が極めて悪いタケ亜科やウシクサ族、ヨシ属などがわずかに認められるに過ぎなかった。したがって、堆積物中に植物珪酸体が取り込まれにくかった、あるいは残留しにくかったことがうかがえる。しかし、周辺台地上～斜面部および谷内に少なくともタケ亜科やウシクサ族、ヨシ属などが生育していたことはうかがえる。

上位の黒ボク土層でも、保存状態が極めて悪い植物珪酸体が認められた。前述のように黒ボク土層中には腐植の供給源となるイネ科草本をはじめとした有機物が多量に取り込まれたはずである。したがって、植物珪酸体は何らかの理由で溶解し、残留しにくかったと考えられる。なお、下位と同様に少なくとも周辺にタケ亜科やウシクサ族、ヨシ属などの生育はうかがえる。

一方、花粉化石は黒ボク土層および粘土層のいずれの層準からも全く検出されなかった。これは、何らかの要因により花粉化石が分解・消失したと考えられる。このように花粉化石が全く検出されなかったため、遺跡周辺の古植生については十分に検討することができない。ただし、後述の住居構築材や燃料材の樹種から、弥生時代以降は本遺跡周辺にクヌギ節・コナラ節を主とした落葉広葉樹が生育し、谷沿いにはカツラやハンノキ亜属、オニグルミもみられたことが推定される。

⑶　当時の植物の利用

今回の焼土試料からは、種実遺体が認められなかったため、当時の植物利用について検討することは難しい。縄文時代の植物利用について粉川（1994）は、東日本の落葉広葉樹林帯ではクリ、クルミ、トチノキなどの検出例が多く、これらが食用として重要であったとしている。また、クヌギ類やナラ類の堅果であるいわゆるドングリ類の出土量が少ないが、これはあくぬきの技術が困難であったためかとも考えている。したがって、今回分析対象となった古墳時代以降についても、クリ、クルミ、トチノキなどの植物が利用されていたことが考えられる。

⑷　住居構築材・燃料材の樹種

樹種同定を行った試料は、古墳時代の住居構築材、平安時代の燃料材、近代建物跡の底板に分けられる。各遺構別の種類構成を表５に示す。

古墳時代の住居構築材は、第３号住居跡、第６号住居跡、第14号住居跡の３軒から採取され、いずれもクヌギ節・コナラ節を主とする種類構成が確認された。このことから、本遺跡では、古墳時代にクヌギ節・コナラ節を主とした用材選択が行われていたことが推定される。住居別に見ると、第３号住居跡ではコナラ節、第６号住居跡ではクヌギ節を主とする。しかし、試料数が少ないため、種類構成の詳細は不明である。多くの試料について樹種同定を行った第14号住居跡の結果を見ると、コナラ節が全試料の半数、クヌギ節が約1/4を占めている。また、クヌギ節・コナラ節の他にもハンノキ亜属やカツラなどが認められた。このことから、実際には第３号住居跡や第６号住居跡でも似たような種類構成の用材選択が行われていた可能性がある。

山梨県では、古墳時代の住居構築材について樹種同定を行った例があまりないが、韮崎市堂の前遺跡で弥生時代後期後半の住居構築材、長坂町健康村遺跡および高根町社口遺跡で平安時代の住居構築材についてそれぞれ樹種同定が行われている（高橋，1987；パリノ・サーヴェイ株式会社，1994;植田，1997）。その結果を見ると、今回と同様にクヌギ節やコナラ節が多い種類構成が認められ、今回の結果とも調和的である。これらの結果から、弥生時代後期から平安時代にかけては、クヌギ節・コナラ節を主とした用材選択が行われていたことが推定される。

住居構築材の用材選択は、周辺植生が密接に関係していると考えられ（高橋･植木，1994）、本遺跡周辺にクヌギ節・コナラ節を主とした落葉広葉樹が生育していたことが推定される。また、カツラやハンノキ亜属は、谷沿いに生育していたことが推定される。

平安時代の燃料はオニグルミとコナラ節であった。これらの種類は、古墳時代の住居構築材の種類構成から推定される周辺植生に調和的である。このことから、平安時代も引き続き同様の植生が見られ、住居構築材と共に燃料材も得ていたことが推定される。

近代建物跡の底板はカエデ属であった。17世紀初頭～19世紀中頃に建築され、現在でも残存している日本各地の民家の構築材について行われた樹種同定の結果では、奈良県十津川の民家の敷居にカエデ属が確認されている（布谷･中尾，1986）。また、この調査では、確認された種類数が限られることから、周辺で入手できる木材の中から大きい木を選んで使用している可能性が指摘されている。この結果から、本遺跡においても、周辺に生育していたカエデ属を板材として利用した可能性がある。

【引用文献】

地学団体研究会（1988）八ヶ岳山麓の第四系．地団研専報，34．p．275．

土壌標準分析・測定法委員会編（1986）『土壌標準分析・測定法』．354p.，博友社．

早川由起夫（1986）火山灰土の成因と堆積速度．1986年度春季大会日本火山学会講演予稿集，p．34．

早川由起夫（1990）堆積物から知る過去の火山噴火．火山第２集，34，火山学の基礎研究特集号，p．S121 - S130．

早川由起夫（1995）日本に広く分布するローム層の特徴とその成因．火山，40，p．177 - 190．

早川由起夫・由井将雄（1989）草津白根火山の噴火史．第四紀研究，28，p．1 - 17．

本名俊正・山本定博（1992）腐植の簡易分析法．日本土壌肥料学会編『土壌構成成分解析法』，126p.，博友社．

粉川昭平（1994）縄文人の主な植物食糧．縄文文化の研究２　生業，p．42 - 49，雄山閣．

近藤錬三・佐瀬　隆（1986）植物珪酸体分析，その特性と応用．第四紀研究，25，p．31 - 64．

町田　洋（1964）Terhrochronologyによる富士山とその周辺地域の発達史―第四紀末期について―（その１）（その２）．地学雑誌，73，p．293-308，337 - 350．

町田　洋・新井房夫（1976）広域に分布する火山灰―姶良Tn火山灰の発見とその意義―．科学，46，p．339 - 347．

町田　洋・新井房夫（1978）南九州鬼界カルデラから噴出した広域テフラーアカホヤ火山灰．第四紀研究，17，p．143 - 163．

町田　洋・新井房夫（1992）火山灰アトラス．276.，東京大学出版会．

三土正則（1985）無機非晶質物の量と組成に関する分類学的指標．土肥誌．56，p．189 - 196．

中村一明（1970）ローム層の堆積と噴火活動．軽石学雑誌，3，p．1 - 7．

日本の地質『中部地方Ⅰ』編集委員会（1988）日本の地質４「中部地方Ⅰ」．332p.，共立出版．

農林省農林水産技術会議事務局監修（1967）新版標準土色帖．

布谷知夫・中尾七重（1986）民家の構造材の樹種．大阪市立自然史博物館研究報告，40，p．21 - 30．

大羽　裕・本名俊正（1984）黒ボク土判定のための腐植の分析法．土肥誌，55，p．55 - 61．

Parfitt, R. L. and Hennmi, T. (1982) Commparison of an oxalate-extraction method for det-ermining allophane in soil clay. Soil Sci. Plant Nutr., 28, p. 183 - 190.

パリノ・サーヴェイ株式会社（1994）健康村遺跡自然科学分析調査報告．「山梨県北巨摩郡長坂町健康村遺跡―（仮称）東京都新宿区区民健康村建設事業に伴う発掘調査報告書―」，p．116-128，新宿区区民健康村遺跡調査団．

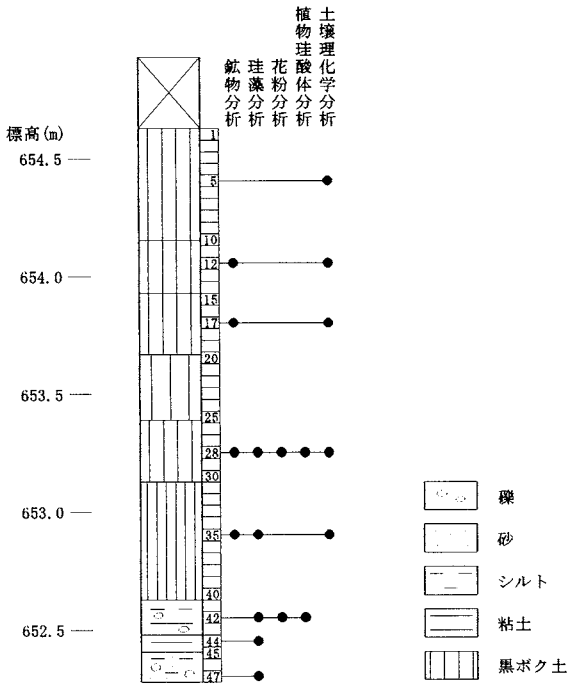
ペドロジスト懇談会（1984）野外土性の判定．ペドロジスト懇談会編「土壌調査ハンドブック」，156.，博友社．

鈴木毅彦（1995）いわゆる火山灰土（ローム）の成因に関する一考察―中部－関東に分布する火山灰土の層厚分布―．火山，40，p．167 - 176．

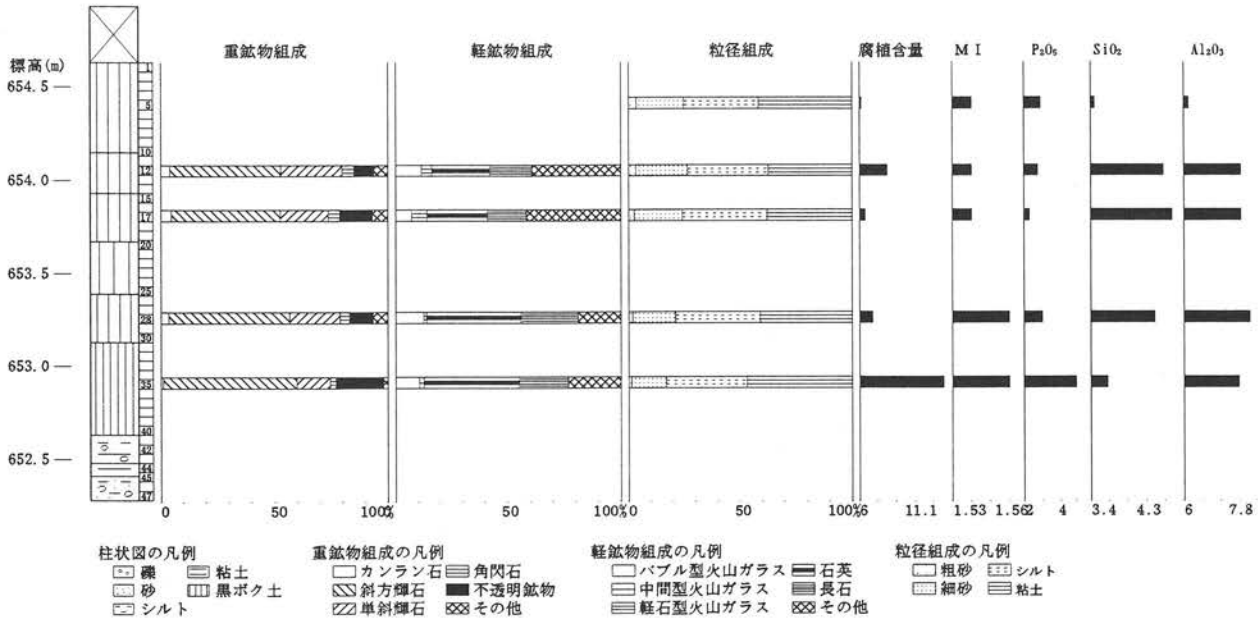
高橋利彦（1987）炭化材について．「山梨県韮崎市　中本田遺跡・堂の前遺跡」，p．56 - 60，韮崎市教育委員会・峡北土地改良事務所．

高橋　敦・植木真吾（1994）樹種同定からみた住居構築材の用材選択．PALYNO，2，p．5 - 18．

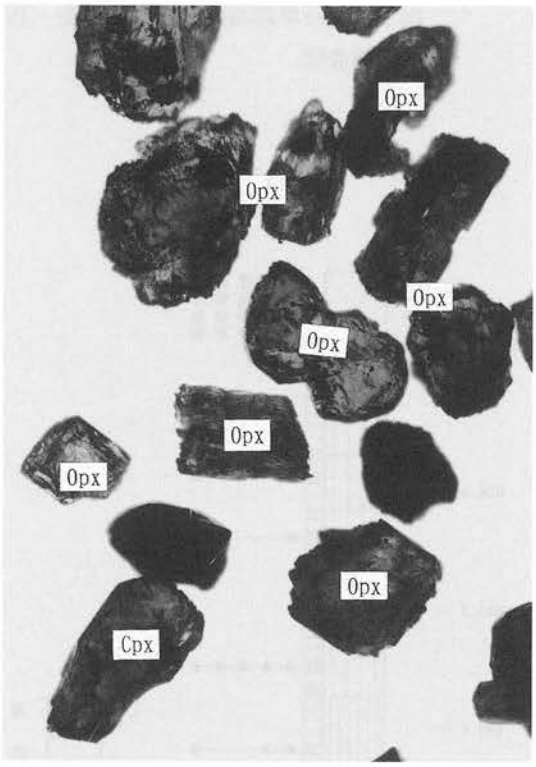
植田弥生（1997）社口遺跡から出土した炭化材の樹種．「社口遺跡第３次調査報告書」，p．194 - 198，山梨県北巨摩郡高根町教育委員会・社口遺跡発掘調査団．



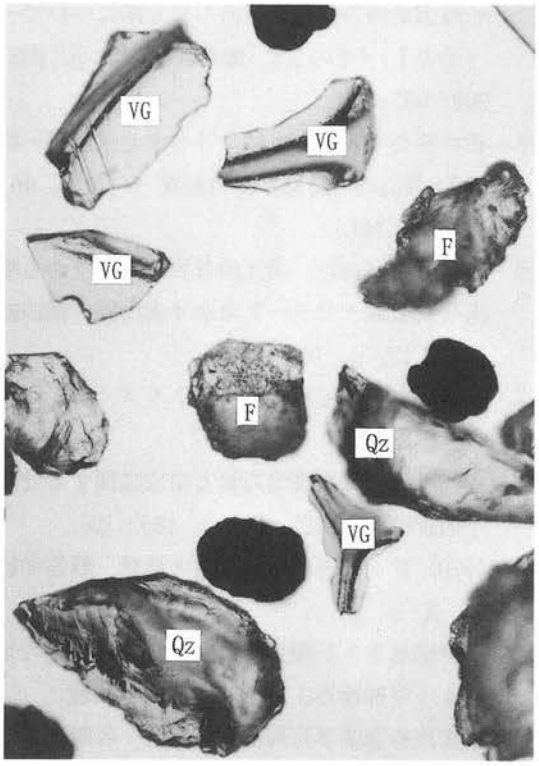
挿図１　柱状図・試料採取位置



挿図２　鉱物組成および土壌の理化学性



１．重鉱物（試料番号17）

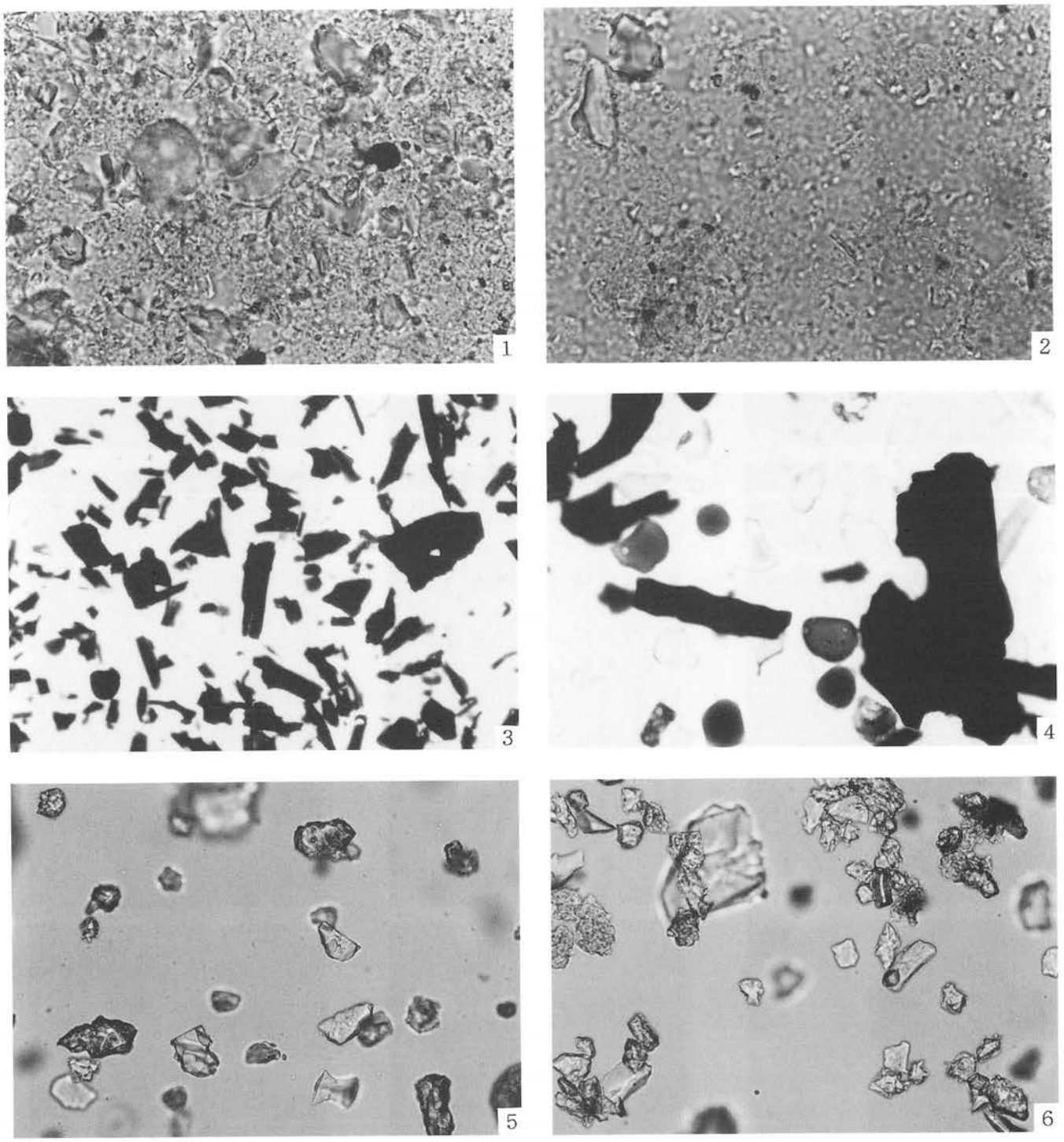


２．軽鉱物（試料番号28）

0.5mm

Opx：斜方輝石．Cpx：単斜輝石．VG：火山ガラス．Qz：石英．F：長石

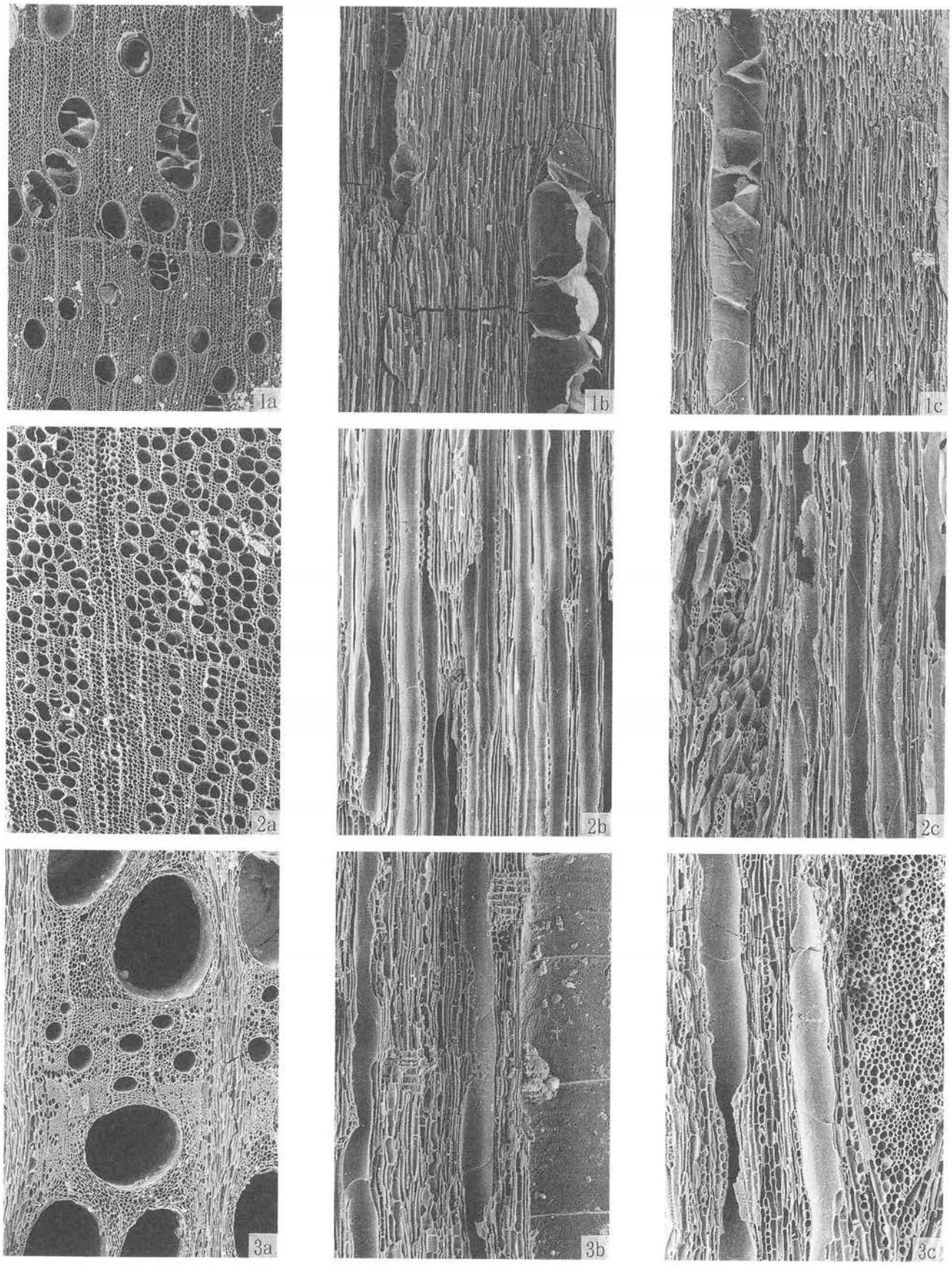
挿図３　重鉱物・軽鉱物



1．状況写真（試料番号28）　2．状況写真（試料番号42）
3．状況写真（試料番号28）　4．状況写真（試料番号42）
5．状況写真（試料番号28）　6．状況写真（試料番号42）

10μm（1，2）　100μm（3，4）　50μm（5，6）

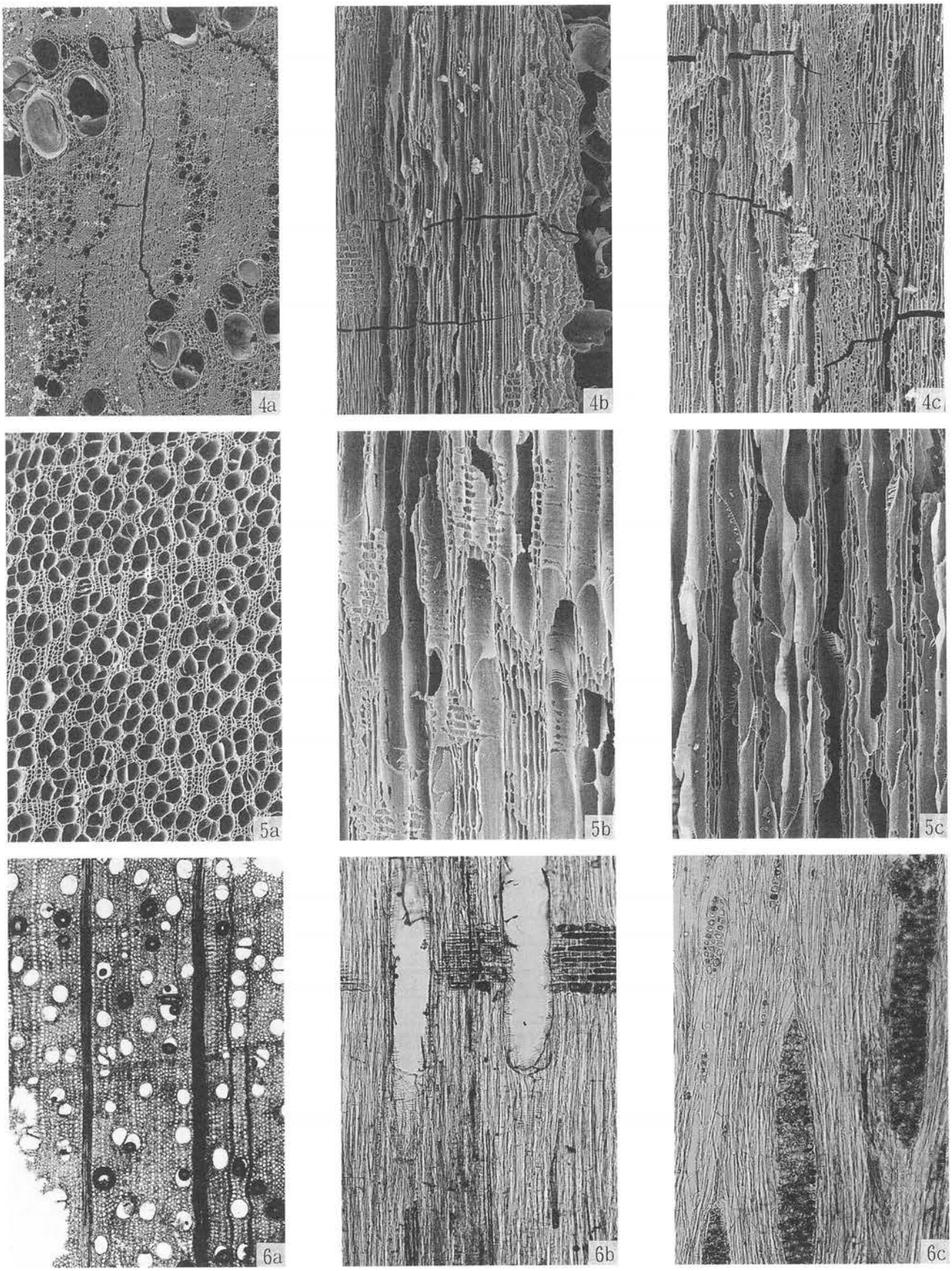
挿図4　珪藻・花粉・植物珪酸体分析プレパラート内の状況



1．オニグルミ（試料番号16）
2．ハンノキ属ハンノキ亜属（試料番号30）
3．コナラ属コナラ亜属クヌギ節（試料番号２）
　a：木口，b：柾目，c：板目

200μm：a
200μm：b，c

挿図５　木材・炭化材(1)



4．コナラ属コナラ亜属コナラ節（試料番号１）
5．カツラ（試料番号66）
6．カエデ属（試料番号17）
　a：木口，b：柾目，c：板目

200μm：4 a，5a
200μm：4 b-c，5b-c
200μm：6 a
200μm：6 a，c

挿図６　木材・炭化材(2)

表1　鉱物分析結果

試料番号	カンラン石	斜方輝石	単斜輝石	角閃石	酸化角閃石	不透明鉱物	その他	合計	バブル型火山ガラス	中間型火山ガラス	軽石型火山ガラス	石英	長石	その他	合計
12	10	122	67	13	1	23	14	250	29	2	11	65	47	96	250
17	12	119	53	12	0	37	17	250	18	1	17	68	43	103	250
28	9	132	56	10	0	27	16	250	31	2	3	106	63	45	250
35	3	146	37	6	0	53	5	250	26	5	1	107	54	57	250

表2　植物珪酸体分析結果

種類　　試料番号	28	42
イネ科葉部短細胞珪酸体		
タケ亜科	57	28
ヨシ属	2	6
ウシクサ族ススキ属	5	2
イチゴツナギ亜科	2	—
不明キビ型	1	1
不明ヒゲシバ型	1	—
不明ダンチク型	3	3
イネ科葉身機動細胞珪酸体		
タケ亜科	17	7
ヨシ属	1	1
ウシクサ族	2	—
不明	3	—
合　計		
イネ科葉部短細胞珪酸体	71	40
イネ科葉身機動細胞珪酸体	23	8
総　計	94	48

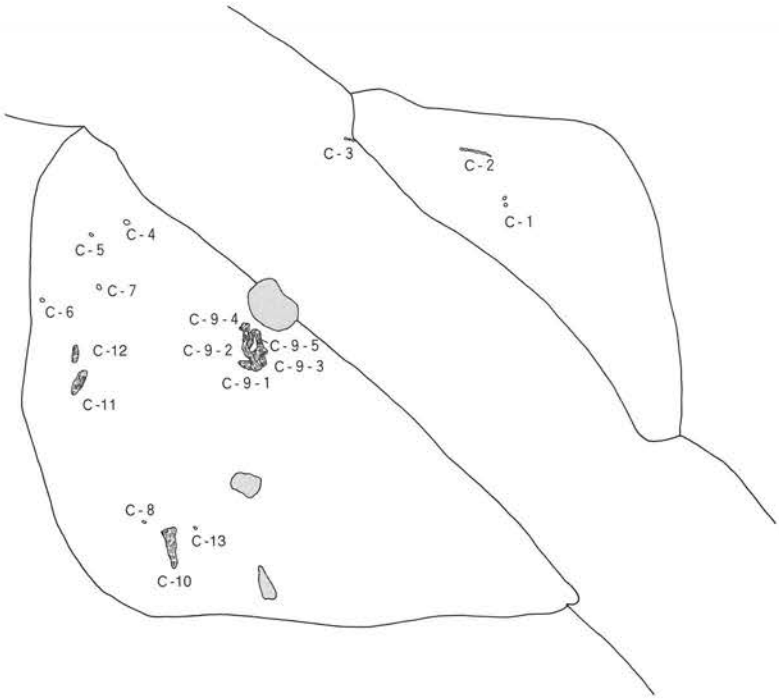
表3　土壌理化学分析結果

試料名	腐植含量(%)	MI	P205 (mg/g)	酸性シュウ酸塩可溶			粒径組成					土色
				Si02 (%)	Al203 (%)	Si/Al (mol.ratio)	粗砂(%)	細砂(%)	シルト(%)	粘土(%)	土性	
5	6.19	1.54	2.87	3.46	6.16	0.48	3.5	21.3	33.6	41.6	LiC	10YR2/1　黒褐
12	8.55	1.54	2.73	4.57	7.87	0.49	3.3	23.3	36.1	37.3	LiC	10YR1.7/1 黒
17	6.53	1.54	2.30	4.71	7.87	0.51	2.5	21.6	38.0	38	LiC	10YR2/1　黒褐
28	7.19	1.56	2.98	4.43	8.17	0.46	1.7	19.2	38.0	41.2	LiC	10YR2/1　黒褐
35	13.70	1.56	4.81	3.67	7.80	0.40	1.3	15.5	36.1	47.2	HC	N2/0　黒

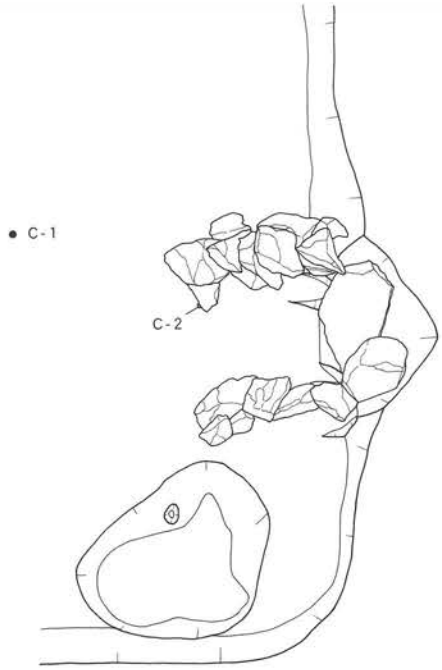
注. (1) 土色：マンセル表色系に準じた新版標準土色帖（農林省農林水産技術会議監修，1967）による。
(2) 土性：土壌調査ハンドブック（ペドロジスト懇談会編，1984）の野外土性による。

表4　遺構別種類構成

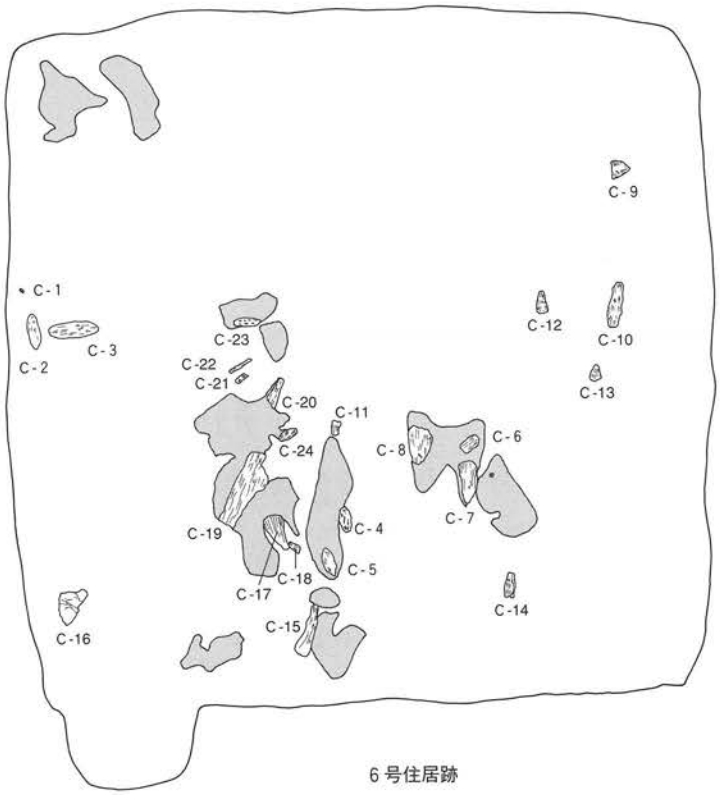
時期	遺構名・用途		樹種：オニグルミ	ハンノキ亜属	クヌギ節	コナラ節	カツラ	カエデ属	環孔材	広葉樹	不明	合計
古墳時代	第3号住居跡	住居構築材			1	3						4
	第6号住居跡	住居構築材			9						1	10
	第14号住居跡	住居構築材		6	13	26	1		1	3		50
平安時代	第10号住居跡	燃料材	1			1						2
近代	建物跡	底板						2				2
合計			1	6	23	30	1	2	1	3	1	68



3号住居跡

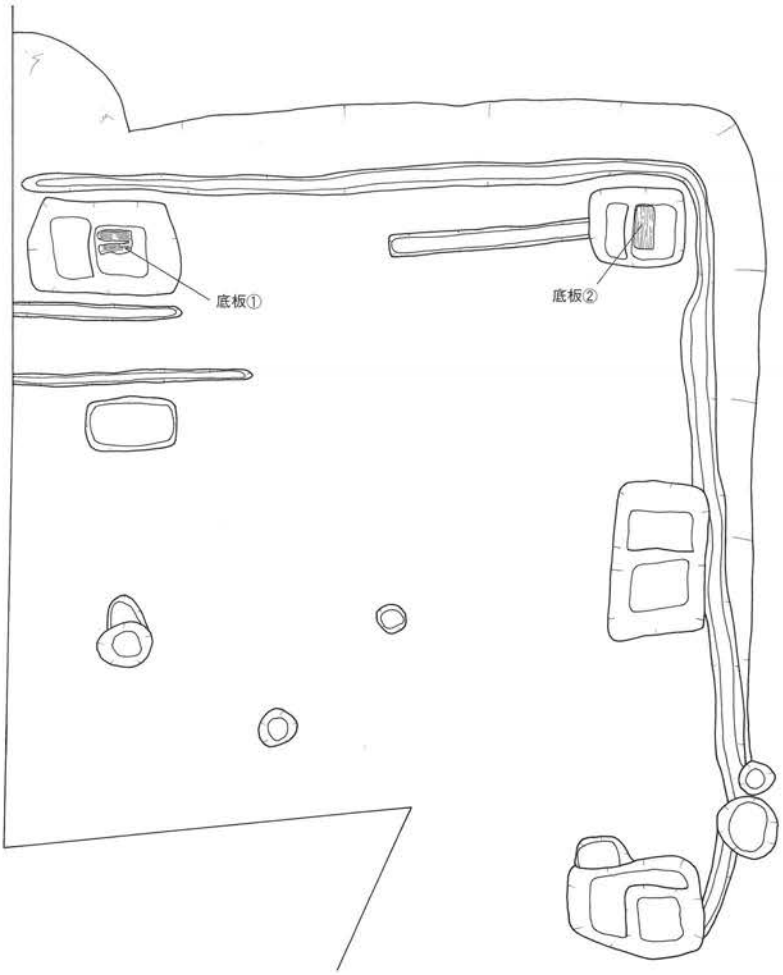


10号住居跡カマド

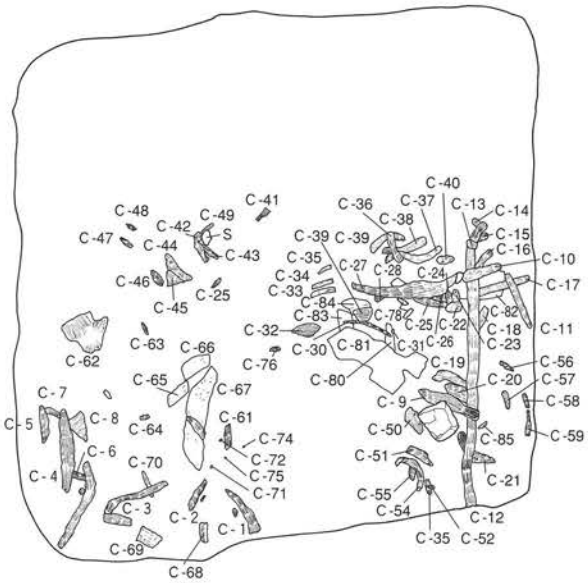


6号住居跡

挿図7　A区炭化材出土状況



近代建物跡



14号住居跡

挿図８　Ａ区木材・炭化材出土状況

表５　樹種同定結果

番　号	遺　構　名	時　期	試　料　名	試料の質	樹　　種
1	第３号住居跡	古墳時代	C－９	炭化材	コナラ属コナラ亜属コナラ節
2	第３号住居跡	古墳時代	C－10	炭化材	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
3	第３号住居跡	古墳時代	C－11	炭化材	コナラ属コナラ亜属コナラ節
4	第３号住居跡	古墳時代	C－12	炭化材	コナラ属コナラ亜属コナラ節
5	第６号住居跡	古墳時代	C－３	炭化材	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
6	第６号住居跡	古墳時代	C－５	炭化材	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
7	第６号住居跡	古墳時代	C－６	炭化材	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
8	第６号住居跡	古墳時代	C－７	炭化材	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
9	第６号住居跡	古墳時代	C－10	炭化材	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
10	第６号住居跡	古墳時代	C－14	炭化材	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
11	第６号住居跡	古墳時代	C－15	炭化材	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
12	第６号住居跡	古墳時代	C－16	炭化材	不明
13	第６号住居跡	古墳時代	C－17	炭化材	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
14	第６号住居跡	古墳時代	C－19	炭化材	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
15	第10号住居跡	平安時代	カマドC－①	炭化材	コナラ属コナラ亜属コナラ節
16	第10号住居跡	平安時代	カマドC－②	炭化材	オニグルミ
17	近代建物跡	近代	底板１	生木	カエデ属
18	近代建物跡	近代	底板２	生木	カエデ属
19	第14号住居跡	古墳時代	C－１	炭化材	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
20	第14号住居跡	古墳時代	C－２	炭化材	コナラ属コナラ亜属コナラ節
21	第14号住居跡	古墳時代	C－３	炭化材	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
22	第14号住居跡	古墳時代	C－４	炭化材	ハンノキ属ハンノキ亜属
23	第14号住居跡	古墳時代	C－５	炭化材	コナラ属コナラ亜属コナラ節
24	第14号住居跡	古墳時代	C－６	炭化材	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
25	第14号住居跡	古墳時代	C－７	炭化材	ハンノキ属ハンノキ亜属
26	第14号住居跡	古墳時代	C－８	炭化材	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
27	第14号住居跡	古墳時代	C－９	炭化材	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
28	第14号住居跡	古墳時代	C－10	炭化材	コナラ属コナラ亜属コナラ節
29	第14号住居跡	古墳時代	C－11	炭化材	コナラ属コナラ亜属コナラ節
30	第14号住居跡	古墳時代	C－12	炭化材	ハンノキ属ハンノキ亜属
31	第14号住居跡	古墳時代	C－14	炭化材	ハンノキ属ハンノキ亜属
32	第14号住居跡	古墳時代	C－15	炭化材	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
33	第14号住居跡	古墳時代	C－16	炭化材	コナラ属コナラ亜属コナラ節
34	第14号住居跡	古墳時代	C－17	炭化材	コナラ属コナラ亜属コナラ節
35	第14号住居跡	古墳時代	C－18	炭化材	コナラ属コナラ亜属コナラ節
36	第14号住居跡	古墳時代	C－19	炭化材	コナラ属コナラ亜属コナラ節
37	第14号住居跡	古墳時代	C－20	炭化材	コナラ属コナラ亜属コナラ節
38	第14号住居跡	古墳時代	C－21	炭化材	コナラ属コナラ亜属コナラ節
39	第14号住居跡	古墳時代	C－22	炭化材	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
40	第14号住居跡	古墳時代	C－25	炭化材	コナラ属コナラ亜属コナラ節
41	第14号住居跡	古墳時代	C－26	炭化材	コナラ属コナラ亜属コナラ節
42	第14号住居跡	古墳時代	C－27	炭化材	コナラ属コナラ亜属コナラ節
43	第14号住居跡	古墳時代	C－29	炭化材	コナラ属コナラ亜属コナラ節
44	第14号住居跡	古墳時代	C－32	炭化材	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
45	第14号住居跡	古墳時代	C－33	炭化材	コナラ属コナラ亜属コナラ節
46	第14号住居跡	古墳時代	C－34	炭化材	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
47	第14号住居跡	古墳時代	C－36	炭化材	コナラ属コナラ亜属コナラ節
48	第14号住居跡	古墳時代	C－37	炭化材	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
49	第14号住居跡	古墳時代	C－38	炭化材	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
50	第14号住居跡	古墳時代	C－39	炭化材	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
51	第14号住居跡	古墳時代	C－41	炭化材	コナラ属コナラ亜属コナラ節
52	第14号住居跡	古墳時代	C－42	炭化材	コナラ属コナラ亜属コナラ節
53	第14号住居跡	古墳時代	C－43	炭化材	広葉樹
54	第14号住居跡	古墳時代	C－44	炭化材	広葉樹
55	第14号住居跡	古墳時代	C－46	炭化材	コナラ属コナラ亜属コナラ節
56	第14号住居跡	古墳時代	C－50	炭化材	コナラ属コナラ亜属コナラ節
57	第14号住居跡	古墳時代	C－51	炭化材	コナラ属コナラ亜属コナラ節
58	第14号住居跡	古墳時代	C－54	炭化材	コナラ属コナラ亜属コナラ節
59	第14号住居跡	古墳時代	C－55	炭化材	コナラ属コナラ亜属コナラ節
60	第14号住居跡	古墳時代	C－61	炭化材	コナラ属コナラ亜属コナラ節
61	第14号住居跡	古墳時代	C－62	炭化材	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
62	第14号住居跡	古墳時代	C－67	炭化材	コナラ属コナラ亜属コナラ節
63	第14号住居跡	古墳時代	C－68	炭化材	コナラ属コナラ亜属コナラ節
64	第14号住居跡	古墳時代	C－69	炭化材	広葉樹
65	第14号住居跡	古墳時代	C－70	炭化材	広葉樹（環孔材）
66	第14号住居跡	古墳時代	C－81	炭化材	カツラ
67	第14号住居跡	古墳時代	C－82	炭化材	ハンノキ属ハンノキ亜属
68	第14号住居跡	古墳時代	C－83	炭化材	ハンノキ属ハンノキ亜属

第6章　ま　と　め

まとめとして、1・2次調査を合わせた各時代の土地利用状況を述べ、続けて同じ頃調査された紺屋遺跡の成果も合わせて各時代の状況を述べていく。

龍角西遺跡の遺構変遷（第106・107図）

縄文時代　土坑がA区北端の台地中央部に点在する。それらは主に曽利式期後半である。また、B区中央の谷部に縄文土器の分布の中心があり、前期後半から後期中葉までの土器がある。調査区北西側に広がる台地に縄文時代集落が展開しているであろう。

弥生時代　縄文時代と同じくA区北端に土坑が1基のみ存在する。また、B区西側から磨製石鏃が2点出土している。それ以外の所から弥生時代遺物は出土しておらず、台地上に集落があると思われるが、住居跡はあまり多くないであろう。

古墳時代　A区に前期と中期の集落が確認できた。今回の調査区では前期の方が住居跡数は多いが、平成3年に調査されている近接する龍角遺跡からは中期の集落が確認されており、同規模の集落になるのではないだろうか。前期の集落の方が中期と比べやや台地の中央の高い方に展開し、中期はやや南に下がった方に展開している。どちらも大型住居と小型住居があり、その組み合わせで集落が営まれていたと考えられる。

平安時代　平安時代は甲斐型土器編年のX期（9世紀後半）とXI～XII期（9世紀終わりから10世紀前半）に分けられる。古墳時代と同様にA区の台地上に集落が展開しているが、B区の埋没谷を挟んだ西側にも住居跡があり、集落が広がっていたことが分かる。埋没谷の比高差は約5mで沢が流れていた形跡は確認できなかったので、谷により集落が分断されていたとは考えにくいが、ある程度の境界にはなっていたであろう。

時期で住居跡数が大幅に変化することもないので、同じ規模の集落が継続していたであろう。掘立柱建物跡も3棟確認でき、どの掘立柱建物跡がどの時期に伴うかは不明であるが、いずれの時期にも併存していた可能性がある。

中世　中世と思われる遺構はB区の西端に集中する。方形竪穴状遺構が2基あり、その周辺にはピット群が広がる。そのピット群の一部は掘立柱建物跡になると思われる。西壁沿いに幅約1mの2本の溝が北西－南東方向に延びており、当時の道の可能性が高い。

近代以降　A区に方形の柱穴をもつ建物跡が確認された。北側の高い部分を削って平坦面を作り、東西方向は不明であるが、南北方向に2間の規模で建てられている。覆土中から陶磁器・丸釘が発見され、近代以降の建物であろう。覆土は焼土が厚く堆積していて焼失した建物である。『北巨摩郡誌』に天然痘の病院が龍角の地にあったと記されており、この台地の中央に病棟を建て、患者からの防疫または建物を廃絶するときは病原菌が拡散しないように焼却したので、厚い焼土が堆積したのであろう。

B区からは、1号溝・1号組石遺構・井戸等の生活の痕跡が発見された。

龍角西・紺屋遺跡の遺構変遷（第108～110図）

縄文時代　紺屋遺跡第1次調査区から藤内式期の住居跡が2軒発見された。県道付近に遺構はなく、谷部に縄文前期後半～後期中葉の土器が流れ込んでいる。龍角西遺跡A区北端では曽利式期の土坑が数基発見されている。以上のことから、調査区北側の台地中央部に縄文前期～後期にかけての集落が展開していると考えられる。その南西方向に伸びる舌状の台地には、中期中葉の集落が広がっている。両遺跡の中間の県道付近は縄文遺物の分布が希薄なので、前者と後者の集落は離れていると考えても良いだろう。

弥生時代　龍角西遺跡A区北端に貯蔵穴が1基、B区西側に磨製石鏃が出土している。それ以外の遺物は出土していないので、調査区より東側には住居跡があってもおかしくはないが、恐らく数件の小規模なものであろう。磨製石鏃の単独出土は八ヶ岳南麓では少なからず確認でき、磨製石鏃の用途が何であるのかにより、その場での利用状況が見えてくるであろう。

古墳時代前期　龍角西遺跡A区東側を中心とした台地上に集落が展開する。紺屋遺跡の方からは遺物が全く出土していないので、集落はないであろう。龍角西遺跡の東側にある龍角遺跡の調査でも同時期の住居跡が確認されているので、集落は東側に広がっている。龍角西遺跡の約700m西に同時期の方形周溝墓のある北村遺跡があり、集落と墓域の関係を見るうえで貴重な事例となった。

古墳時代中期　前期とほぼ同じ範囲に集落が展開していると考えられる。やはり、紺屋遺跡の方からは該期の遺構・遺物は発見されなかった。前期集落よりやや南に下がる傾向が、調査結果から見受けられた。龍角遺跡からも中期の住居跡が発見されているので、東側にも広がる。周辺の遺跡から該期の集落・墓域は発見されておらず、調査事例の増加が待たれる。

平安時代（9世紀中頃）　甲斐型土器編年IX期に該当する遺構は、古墳時代とは反対に、紺屋遺跡の方で確認されている。龍角西遺跡からは確認されていない。

平安時代（９世紀後半）　甲斐型土器編年Ｘ期に該当する。前時期から引き続き紺屋遺跡の方で集落が継続するが、龍角西遺跡の方にも集落が出現する。Ａ区中央の台地上に広がるが、Ｂ区西端にも住居跡があり、３つの住居群に分かれる可能性がある。紺屋遺跡の住居群に小鍛冶遺構がある。

平安時代（９世紀末～10世紀前半）　甲斐型土器編年Ⅺ～Ⅻ期に該当する。龍角西遺跡Ｂ区西端には住居が見られないが、周辺の畑に該期の住居跡が存在していると思われる。遺構数もさほど変わらず、同じ規模であることが分かる。平安時代ではこの時期をもって集落が消滅している。遺構外の出土遺物でも11・12世紀の遺物は発見されておらず、集落は遺跡外へ移動していったと考えられる。

中世　14世紀～16世紀前半の墓域を含む集落跡が発見された。龍角西遺跡Ｂ区からは並行する２本の溝が発見され、道路状遺構の可能性を指摘した。その東側に１基の方形竪穴状遺構があり、その周辺に掘立柱建物跡が複数展開している。紺屋遺跡には一部空白部を挟みながら方形竪穴状遺構群があり、さらに西に１本の溝が走っている。紺屋遺跡第２次調査で、その溝は区画溝であるとし、道路状遺構を中心に区画されている栃木県下古宿遺跡の事例を示し、それに類似する集落であることを指摘した（宮澤2000）。龍角西遺跡の遺構の切り合いから中世でも３時期に分かれる可能性があり、全てが同時期ではないが、中世を通じてひとつの集落のあり方を示しているといえよう。

近代以降　近代以降は龍角西遺跡Ａ区の台地上に建物跡があり、先述したが明治から大正にかけての避病舎であった可能性がある。Ａ区の北端・南端からは、陶磁器類も出土しておらず、この建物が孤立していたのであろう。その台地を降りた裾部に小屋跡と思われる溝・組石遺構や井戸がある。近所の人の話によると、戦時中にこの付近に刀の砥師がいたそうである。建物跡は発見できなかったが、焼却に使ったであろう組石遺構や井戸はその生活の痕跡の一部と考えられよう。今回発掘した井戸を埋めたと言う人もおり、最近のものである。

八ヶ岳南麓の古墳時代

Ａ区から古墳時代前期～中期の集落が発見されている。前期の集落は小林編年４期であり、中期の集落は石神編年２期である。中期の１期が抜けている。断絶なのか調査区外に集落が存在するのかは、現在のところ不明であるが、遺構外から１期の資料は出土していない。石神氏も「１期は資料的には空白の時期」とされており、全県的に資料が少ないので、今後の調査にゆだねたい。

八ヶ岳南麓の古墳時代前期は、酒呑場遺跡・柳坪遺跡・頭無遺跡（以上長坂町）・西ノ原遺跡（高根町）から集落が見つかっており、北村遺跡（長坂町）から方形周溝墓が確認されている。また、丘の公園第５遺跡（高根町）から高坏の破片が出土している。主に長坂町・高根町から見つかっており、数は少ない。

中期になるともっと少なく、龍角遺跡と川又坂上遺跡の２例しかない。川又坂上遺跡は住居跡と考えられる遺構が１基発見され、甕が１点出土している。龍角遺跡は住居跡が３軒発見され、調査当時八ヶ岳南麓で初めて確認された古墳時代中期の集落として注目された。今回の龍角西遺跡の事例は３例目にあたり、龍角遺跡と合わせてまとまった集落になるので、八ヶ岳南麓の古墳時代中期の集落様相を解明する上で、欠くことのできない資料となろう。ちなみに、該期の古墳や周溝墓はまだ発見されていない。

後期の集落は、柳坪遺跡・原町北遺跡（以上長坂町）・小池共同土取り場遺跡（高根町）から、住居跡や土器が出土し、三ツ墓古墳・夏秋天王塚古墳などの古墳が確認されている。長坂町・高根町は古墳時代を通して生活の場であった地域であることが窺える。その中でも龍角西・龍角遺跡周辺はその中心的な集落の可能性がある。

墨書土器（第115・116図）

龍角西・紺屋遺跡から多数の墨書土器が出土している。甲斐型編年Ⅸ期では、紺屋遺跡でしか集落が確認されず、墨書土器の数は少ない。「東」が１点で、他は判読できない記号のようなマークが記されている。そのマークは坏のみに記されている。

甲斐型編年Ｘ期では、龍角遺跡のほうにも集落が確認され、墨書土器も多くなる。「南」「佰」「庄」「福」「足」「十八」「味ヵ」があり、判別できるものが多くなる。墨書される器種は坏・皿・高台付皿である。刻書土器もあり、皿・高台皿に「×」をつけている。龍角西遺跡Ａ区５号住と紺屋遺跡１次５号住から共に「南」が出土し、調査区の両端で同じ文字が存在することは興味深い。

甲斐型編年Ⅺ～Ⅻ期ではその数が一挙に増加する。「千」「良」「奉」「十八ヵ」「長」「磯ヵ」「本」「休ヵ」と判別できる文字が多くなる。墨書される器種も前時期と同様に坏・皿である。龍角西遺跡Ａ区10号住からは31点、同12号住からは30点もの墨書土器が出ており、破片が多いが、その数の多さは飛び抜けている。そのほとんどが「千」「良」である。

以上、墨書土器の数や判読可能な文字数が時代を下る

につれ増加する傾向がある。それは、両遺跡に住んでいた人々の識字能力が段々と高まっていったことを示しているのであろう。今回調査した中では、時代を通して使用される文字はほとんど無く、唯一「十八」と読める文字がⅩ期―Ⅺ～Ⅻ期にかけて使用されるだけである。ちなみに「十八」は字間が狭く一部重なっているものもあり（Ａ区12住35、Ｂ区２住７・10)、「木」の崩れた形の可能性もある。使用文字が各時期でがらりと変化することは、何を意味するか今のところ不明であるが、興味深い事例である。

引用・参考文献

大山　柏・竹下次作・井出佐重　1941「山梨県日野春村長坂上条発掘調査報告」『史前学雑誌』13-３史前学会

瀬戸市史編纂委員会　1981『瀬戸市史』陶磁史篇二　第一法規出版株式会社

萩原三雄　1986「八ヶ岳南麓における平安集落の展開」『山梨考古学論集Ⅰ』山梨県考古学協会

長坂町誌編纂委員会　1990『長坂町誌』上・下巻　長坂町

岡本範之　1990「平安期における甲斐国巨麻郡の動向」『山梨県考古学協会誌』第３号　山梨県考古学協会

平野　修・櫛原功一　1992『宮ノ前遺跡』韮崎市遺跡調査会

甲斐型土器研究グループ　1992『甲斐型土器　―その編年と年代―』山梨県考古学協会

永井久美男編　1994『中世の出土銭　―出土銭の調査と分類―』兵庫埋蔵銭調査会

永井久美男編　1996『中世の出土銭　補遺Ⅰ』兵庫埋蔵銭調査会

小宮山隆　1996『北村遺跡』長坂町教育委員会

櫛原功一　1997『社口遺跡第３次調査報告書』高根町教育委員会・社口遺跡発掘調査団

野代幸和　1997『酒呑場遺跡（第１・２次)』(遺構編)山梨県教育委員会

保坂康夫　1997『酒呑場遺跡(第３次)』(遺構編－前編)山梨県教育委員会

保坂康夫　1998『酒呑場遺跡(第３次)』(遺構編－後編)山梨県教育委員会

山梨県考古学協会編　1998『新版　山梨の遺跡』山梨県日日新聞社

平野　修・櫛原功一　1999『上ノ原遺跡』上ノ原遺跡発掘調査団

山梨県　1999『山梨県史』資料編２　原始・古代２考古（遺構・遺物）　山梨日日新聞社

宮澤公雄　2000『紺屋遺跡　―第２次発掘調査報告書―』紺屋遺跡発掘調査団

齋藤孝正　2000「附論　猿投窯出土の灰釉･緑釉陶器碗･皿類の変遷」『越州窯青磁と緑釉･灰釉陶器』日本の美術　№409　至文堂

小林健二　1998「甲斐における古式土師器の成立　―３・４世紀の土器編年と墳墓―」『専修考古学』第７号　専修大学考古学会

山梨教育会北巨摩支会　1989『北巨摩郡誌』(復刻版)千秋社

杉本　充　1999『古御所東遺跡』白州町教育委員会

浅利　司　1990『中込遺跡』山梨県教育委員会

米田明訓　1986『柳坪遺跡』山梨県教育委員会

新津　健　1989『金生遺跡Ⅱ（縄文時代編)』山梨県教育委員会

櫛原功一　1987『姥神遺跡』大泉村教育委員会

佐野　隆　1994『神取』明野村教育委員会

山下孝司　1988『坂井南遺跡』韮崎市教育委員会

伊藤正彦　1997『後田堂ノ前遺跡』韮崎市教育委員会

秋山圭子・閏間俊明　1999『上横屋遺跡』韮崎市教育委員会

伊藤正彦　1996『新田遺跡』韮崎市教育委員会

末木　健　1987『金の尾遺跡　無名墳（きつね塚)』山梨県教育委員会

大嶌正之　1999『金の尾遺跡Ⅵ』敷島町教育委員会

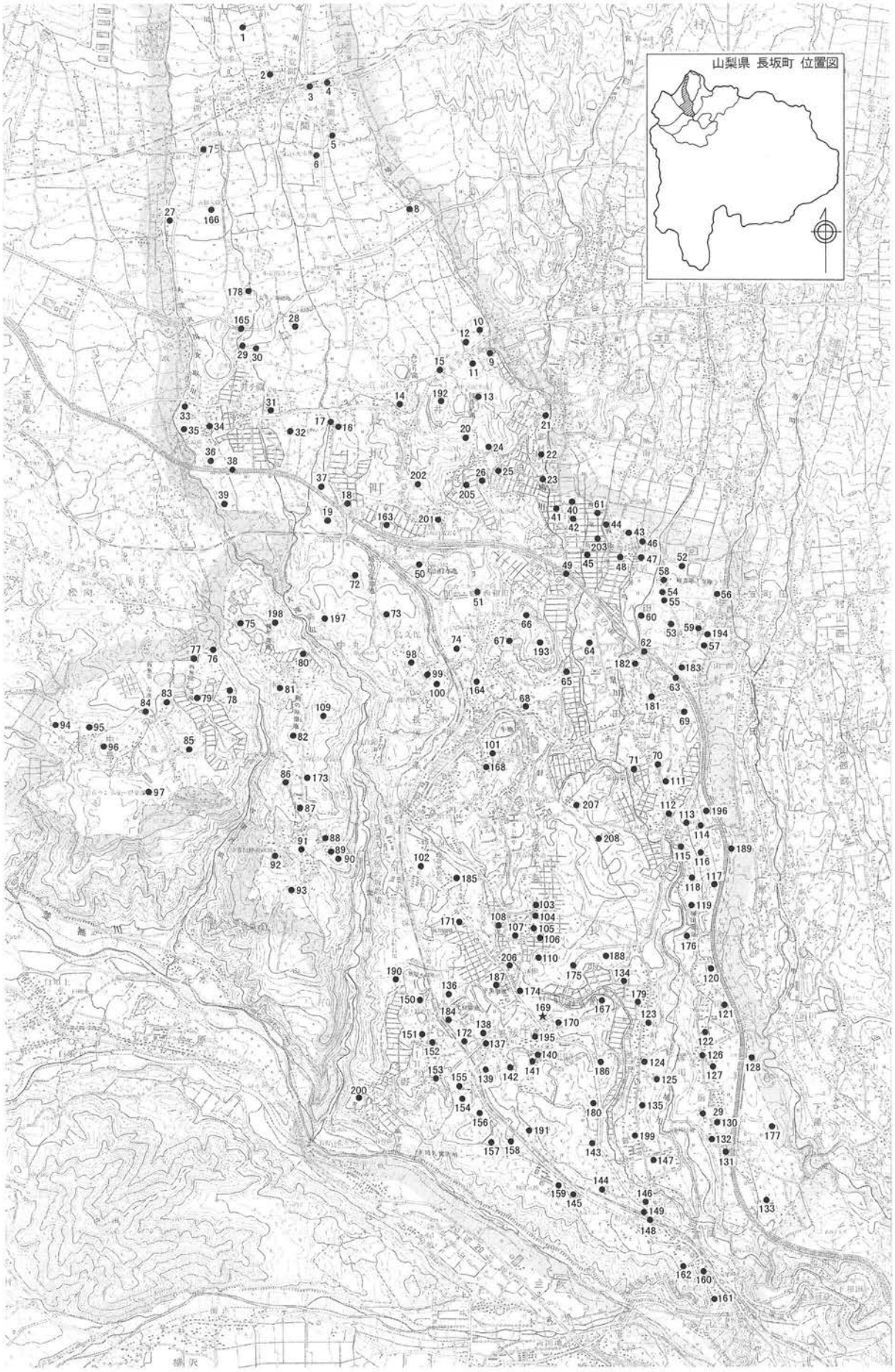
高野玄明・田口明子　1997『音羽遺跡』山梨県教育委員会

石神孝子・笠原みゆき　1999「甲斐における古墳時代中期の土器様相」『東国土器研究』第５号　東国土器研究会

山下孝司　1996『枇杷塚遺跡』韮崎市教育委員会

新津　健・三田村美彦　1993『川又坂上遺跡』山梨県教育委員会

保坂康夫　1990『丘の公園第５遺跡』山梨県教育委員会

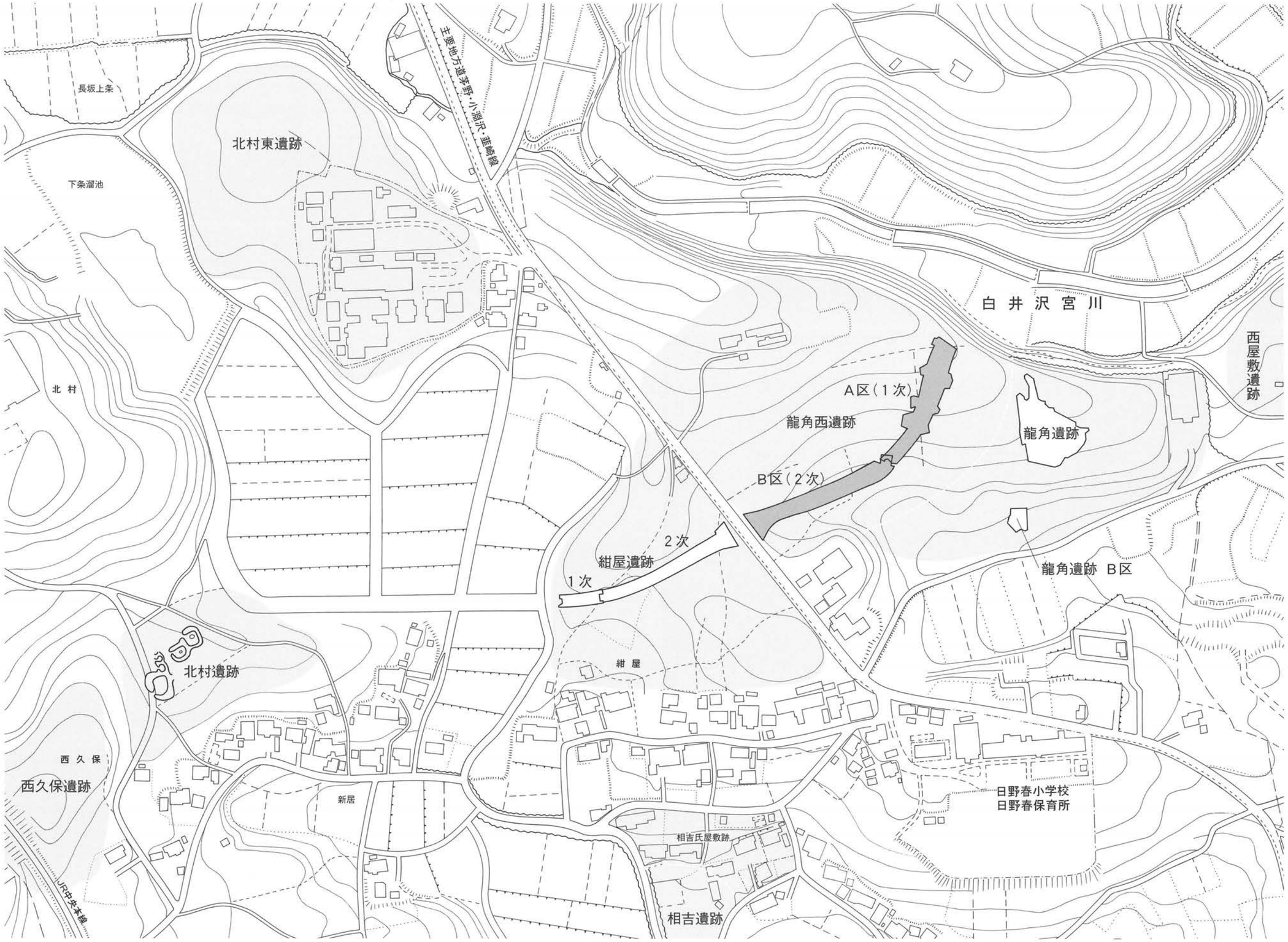


第１図　長坂町遺跡分布図

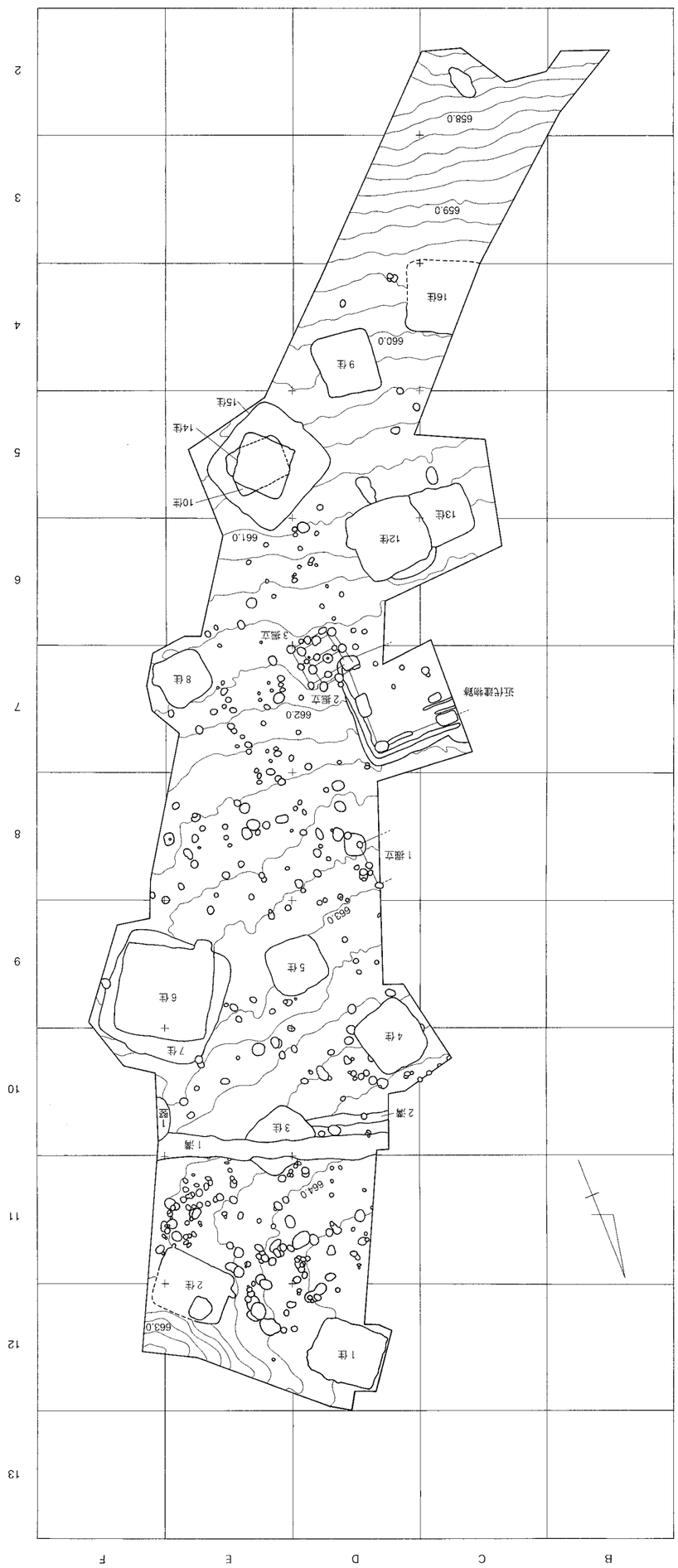
第１表　長坂町遺跡地名表

（旧石＝旧石器時代　縄＝縄文時代　弥＝弥生時代　古＝古墳時代　奈＝奈良時代　平＝平安時代　中＝中世　戦＝戦国時代　江＝江戸時代）

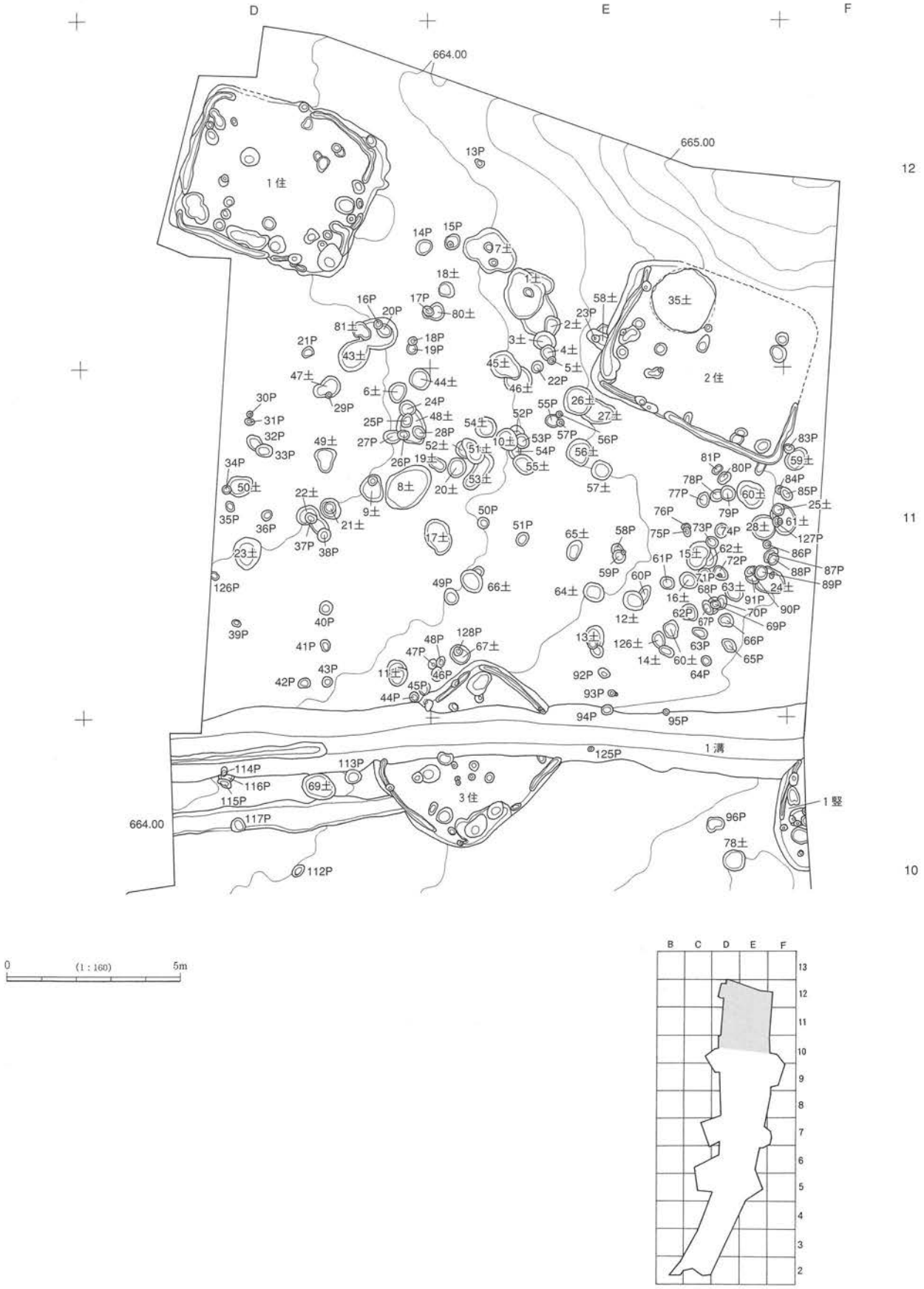
001	耳塚	
002	法性寺前遺跡	縄　中
003	信玄原遺跡	縄
004	小荒間古戦場跡	戦
005	桜畑遺跡	平　江
006	小泉遺跡	江
007	菅間遺跡	縄
008	桜畑南遺跡	縄
009	糀屋敷東遺跡	縄
010	糀屋敷北遺跡	縄
011	糀屋敷遺跡	縄
012	牛久保遺跡	縄　弥
013	牛久保南遺跡	縄
014	沢入遺跡　菅沼氏館跡	縄
015	苧干平遺跡	縄
016	東下屋敷遺跡	縄
017	西下屋敷遺跡	縄　中
018	新田森遺跡	縄
019	西下屋敷南遺跡	縄
020	横手遺跡	縄　中
021	神之原遺跡	縄
022	屋敷附遺跡	縄　中
023	内城遺跡	縄
024	十郎林遺跡	縄　中
025	阿原遺跡	平
026	中尾根遺跡	縄
027	手白尾遺跡	縄
028	夫婦岩遺跡	縄
029	横山１遺跡	縄
030	横山２遺跡	縄
031	横山平南遺跡	縄
032	葛原北遺跡	縄
033	上フノリ平北遺跡	縄
034	上フノリ平遺跡	縄
035	上フノリ平西遺跡	縄
036	下フノリ平北遺跡	縄
037	葛原遺跡	縄　弥
038	下フノリ平遺跡	縄
039	下フノリ平南遺跡	平
040	別当遺跡	縄
041	別当西遺跡	縄
042	別当十三塚	中
043	南新居北遺跡	縄　平　中
044	深草館跡	戦国
045	小和田遺跡	縄　平　中　戦　江
046	南新居屋敷址	平　中
047	南新居遺跡	平
048	南新居西遺跡	平
049	小和田館跡	中　戦　江
050	米山遺跡	縄　弥
051	米山東遺跡	縄
052	塚田遺跡	古　平
053	窪田遺跡	縄　古　平
054	弥右衛門塚１	古？
055	弥右衛門塚２	古？
056	渋田北遺跡	平
057	渋田遺跡	弥　平　中
058	東原の土塁	中
059	東原遺跡	中
060	柳新居遺跡	縄　古　平
061	原田遺跡	縄　平
062	柳坪Ａ遺跡	縄　弥　古　平
063	柳坪Ｂ遺跡	縄　弥　古　平
064	小屋敷遺跡	縄　平　中
065	久保地遺跡	縄
066	成岡遺跡	縄　弥　平　中
067	成岡新田遺跡	弥　平　中
068	曲田遺跡	縄　平
069	石原田北遺跡	縄　平　中
070	石原田南遺跡	縄　平
071	塚原遺跡	縄
072	越中久保遺跡	縄　平　中　江
073	久保遺跡	縄
074	房屋敷遺跡	縄　江
075	池ノ平遺跡	縄
076	東蕪３遺跡	平
077	東蕪２遺跡	縄　平
078	東蕪４遺跡	縄　平
079	東蕪１遺跡	縄　平
080	和手山東遺跡	中
081	小尾平遺跡	旧石　縄　中
082	間の原遺跡	縄
083	西蕪東遺跡	平
084	西蕪遺跡	縄
085	西蕪南遺跡	縄　平
086	和手遺跡	縄　平
087	腰巻遺跡	縄
088	城山上北遺跡	縄　平　中　江
089	城山上遺跡	縄　中
090	中丸砦跡	戦
091	居久保遺跡	縄　平
092	清春白樺美術館南遺跡	縄
093	細久保遺跡	縄
094	後平遺跡	縄　平
095	狐平北遺跡	縄　平
096	狐平遺跡	縄　平
097	大平遺跡	縄　平
098	下鳥久保遺跡	縄
099	鳥久保遺跡	縄　江
100	高松遺跡	縄
101	上町遺跡	縄　奈
102	酒呑場遺跡	旧石　縄　古　平　江
103	東村Ａ遺跡	縄　奈　平　中　江
104	東村Ｂ遺跡	古　平　中　江
105	中村遺跡	古　平　中　江
106	鏑田遺跡	平
107	西村遺跡	古　平　中　江
108	中反遺跡	縄　平
109	柿平・藤塚	
110	長閑屋敷跡	古　平　中
111	白山神社前遺跡	縄　平
112	上ノ屋敷遺跡	縄　平　中　江
113	大々神十三塚	中
114	大々神Ａ遺跡	平
115	大々神Ｂ遺跡	古　平
116	治郎田遺跡	古　平
117	頭無Ａ遺跡	平
118	樫木遺跡	弥　古
119	塚川・柳坪遺跡	縄　江
120	頭無遺跡	縄　古
121	新田遺跡	縄
122	塚之越遺跡	縄　平
123	原町北遺跡	古　平
124	原町遺跡	江
125	上久通北遺跡	縄　平
126	塚川の土塁	中　戦
127	下村遺跡	縄　平　中
128	塚川十三塚群	中
129	宮久保遺跡	縄　平　中
130	下村南遺跡	縄
131	泥里西遺跡	縄　平
132	勝見遺跡	縄　平
133	競馬場遺跡	縄　平
134	寺前遺跡	縄　平　中
135	上久通遺跡	縄
136	反田遺跡	縄　平　中
137	三井氏屋敷跡	中　江
138	北村遺跡	縄　古　平
139	新居遺跡	縄　平　中
140	相吉氏屋敷跡	中
141	相吉遺跡	奈　平
142	植松氏屋敷跡	中
143	下屋敷遺跡	縄
144	清水頭遺跡	縄　古　奈　平
145	向原遺跡	平
146	三ツ墓古墳２	古
147	農業高校前遺跡	縄
148	三ツ墓古墳３	古
149	三ツ墓古墳１	古
150	池ノ平昭和堤北遺跡	縄
151	池ノ平Ａ遺跡	縄　奈　平
152	向井丹下屋敷跡	中
153	池ノ平Ｂ遺跡	縄
154	上日野遺跡	縄　江戸
155	田中氏屋敷跡	中
156	上日野Ａ遺跡	縄　平
157	上日野Ｂ遺跡	縄　平
158	上日野Ｃ遺跡	縄　平
159	姥久保遺跡	古　江
160	日野原遺跡	中　江
161	上日野原遺跡	縄　平　中　江
162	富岡遺跡	江
163	横針・中山遺跡	中
164	大林遺跡	縄　平　江
165	中込遺跡	縄
166	手白尾東遺跡	縄
167	西屋敷遺跡	古
168	上町南遺跡	縄
★169	**龍角西遺跡**	**縄　弥　古　平　中　近代**
170	龍角遺跡	縄　古　平　中
171	長坂上条遺跡	縄　弥　古　平
172	西久保遺跡	縄
173	新宿区健康村遺跡	旧石　縄　平　中　江
174	長坂下条・藤塚	
175	和田遺跡	弥　古
176	古屋敷遺跡	縄
177	泥里遺跡	縄
178	中込北遺跡	縄
179	渋沢・上町遺跡	縄
180	下屋敷北遺跡	縄　平
181	柳坪南遺跡	平
182	柳坪北遺跡	縄　弥　平　中
183	境原遺跡	縄　弥　平
184	北村北遺跡	縄　平
185	酒呑場東遺跡	縄　弥　平
186	山本遺跡	縄
187	北村東遺跡	縄　古
188	大久保遺跡	縄　中
189	天王塚古墳	古
190	池之平北遺跡	縄　平
191	清水頭北遺跡	縄　平
192	苧干平の土墨	
193	成岡・藤塚	
194	馬越場塚	中
195	紺屋遺跡	縄　平　中
196	治郎田北遺跡	平
197	竹原遺跡	縄　中　江
198	天白砦跡	中　戦
199	下原遺跡	縄
200	下日野遺跡	縄
201	横針・前久保遺跡	旧石　縄
202	横針・宮久保遺跡	縄　平
203	深草遺跡	平
204	上の棒道	戦　江
205	中田遺跡	縄
206	長坂上条・藤塚遺跡	古　平
207	池之窪遺跡	縄　平
208	段道遺跡	縄



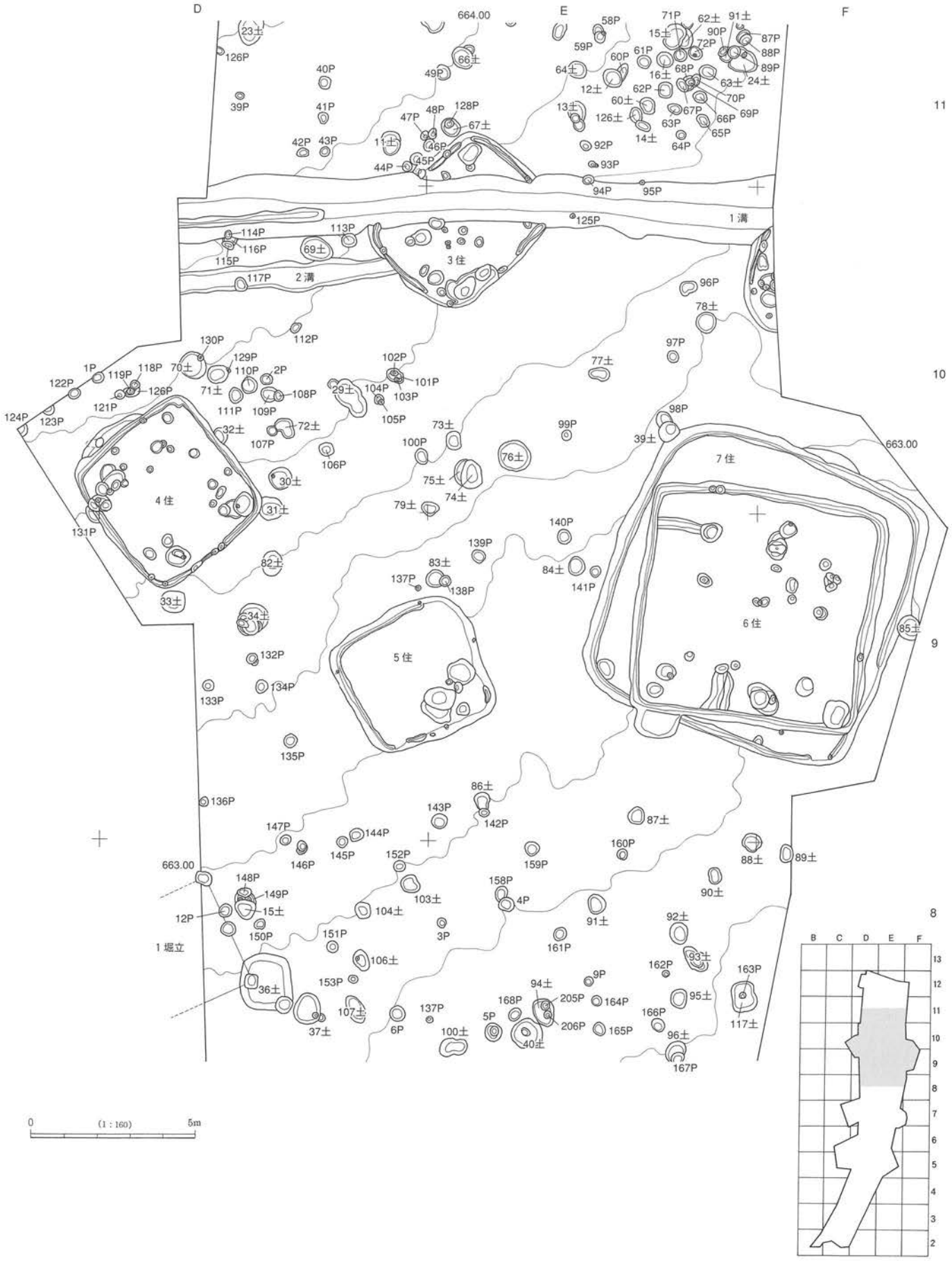
第2図　龍角西遺跡調査区と周辺の地形


0
20m
658.0
659.0
660.0
661.0
662.0
663.0
664.0
1住
2住
3住
4住
5住
6住
7住
8住
9住
10住
12住
13住
14住
15住
16住
1溝
2溝
1掘立
2掘立
3掘立
近代建物跡
B
C
D
E
F
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13

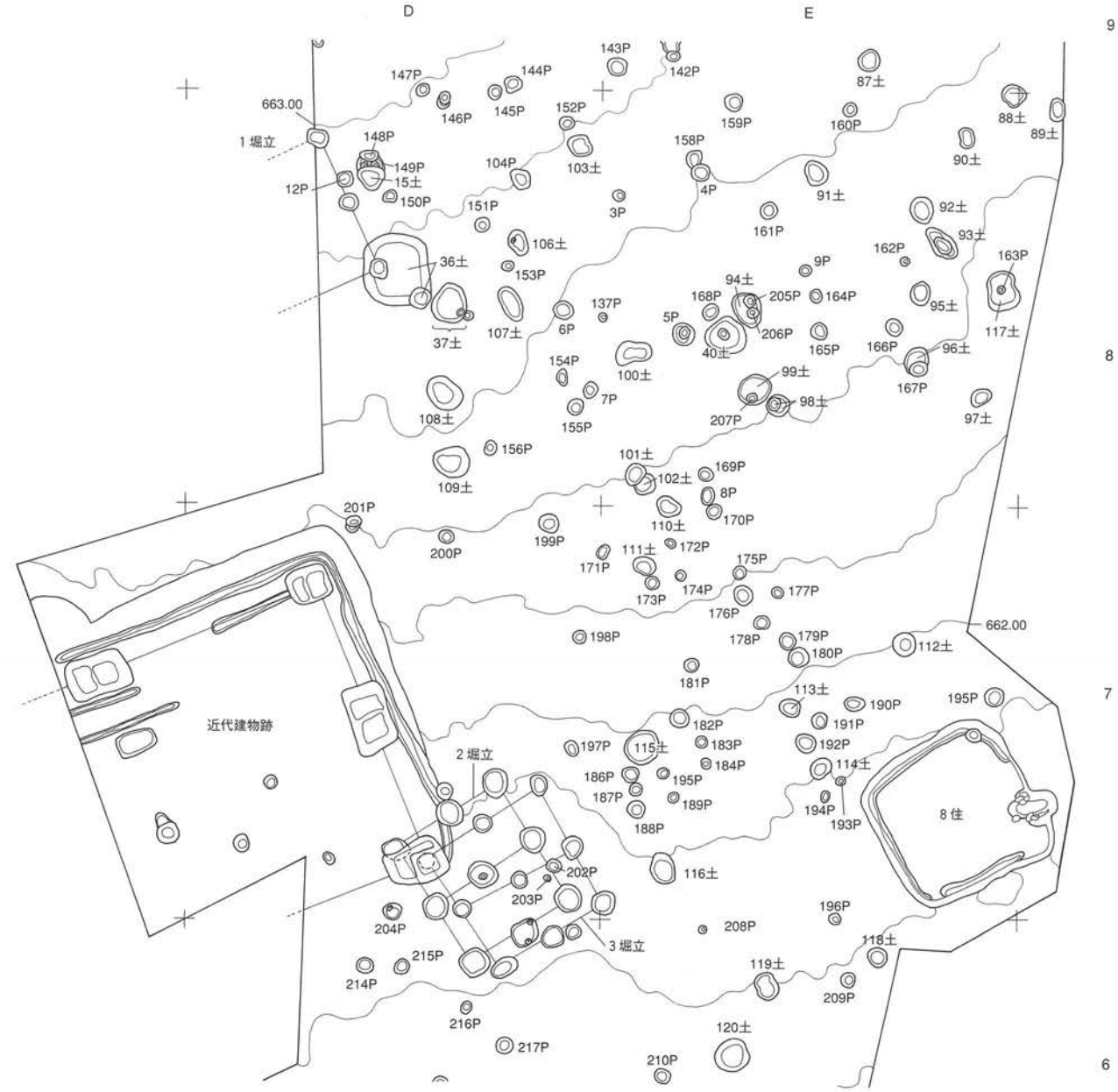
第3図　A区全体図



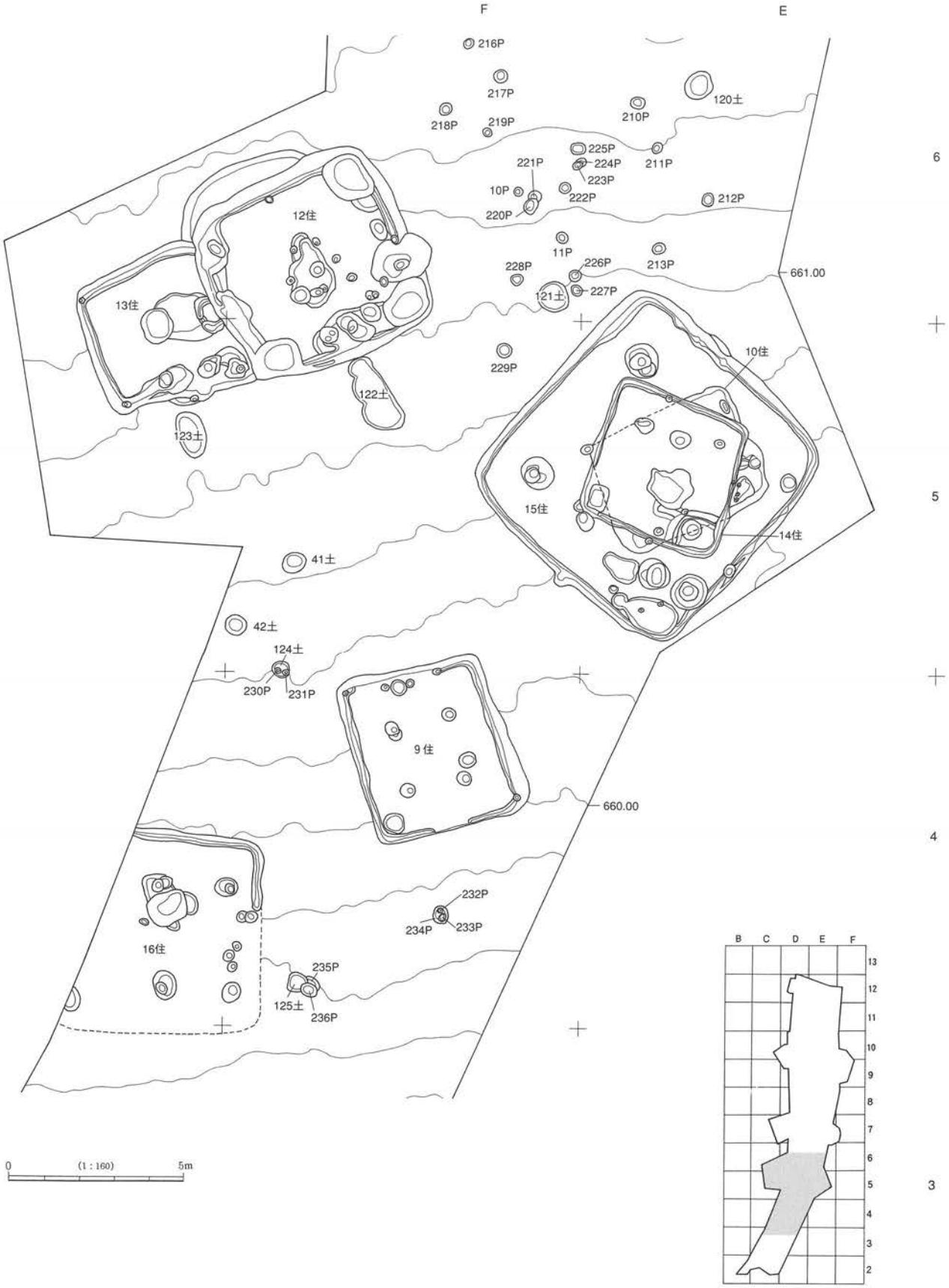
第4図　A区遺構分布図①



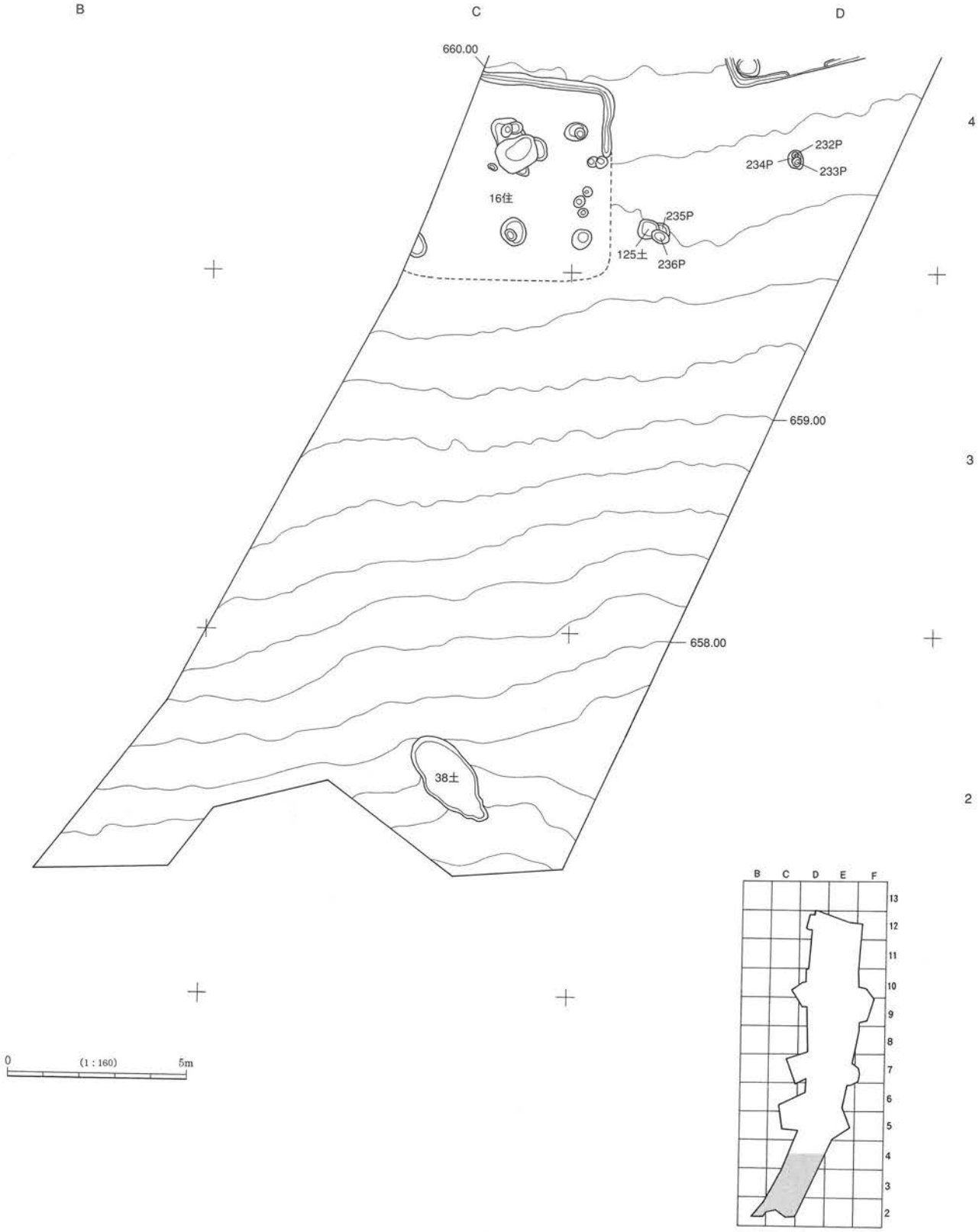
第５図　Ａ区遺構分布図②



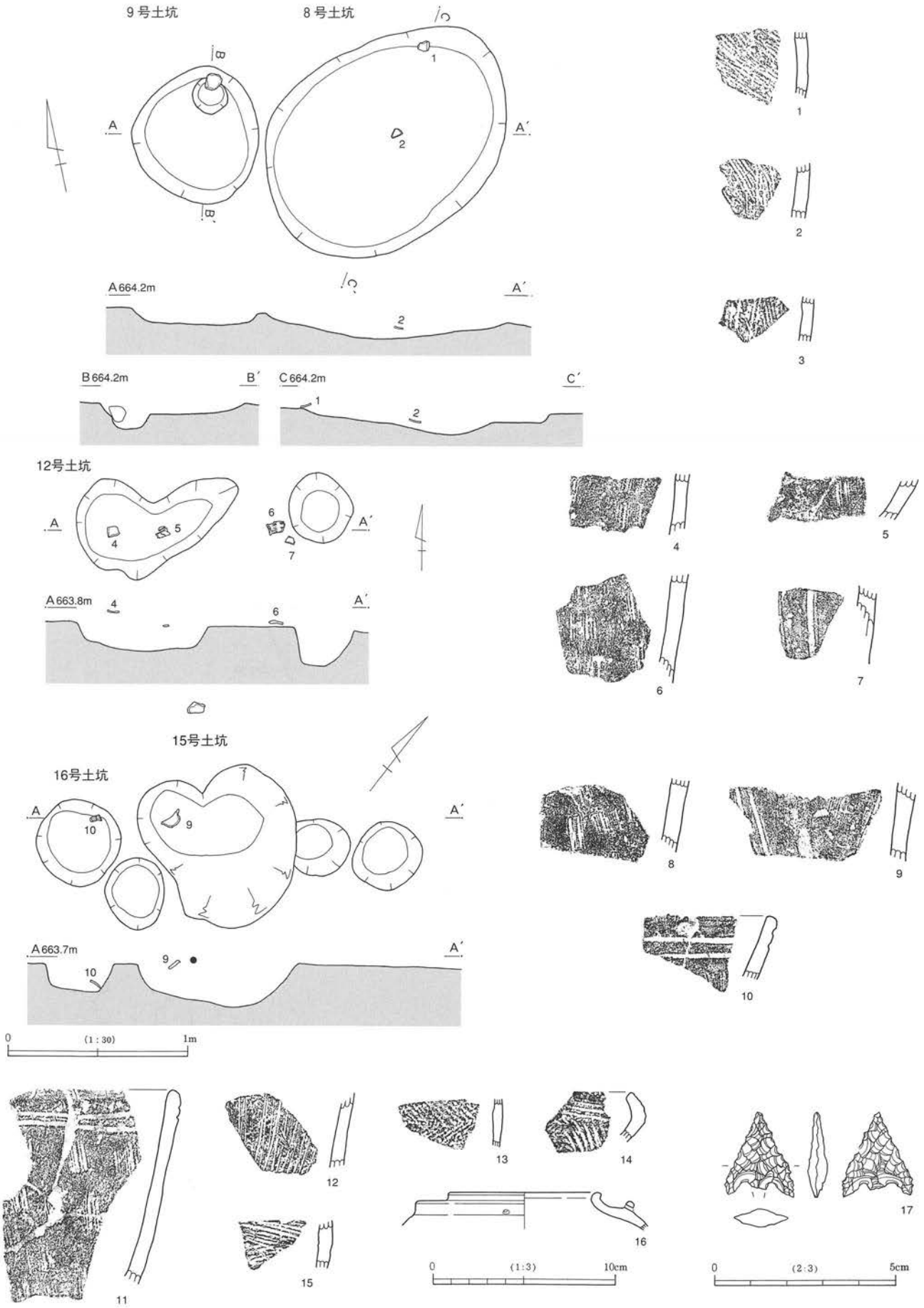
第６図　Ａ区遺構分布図③



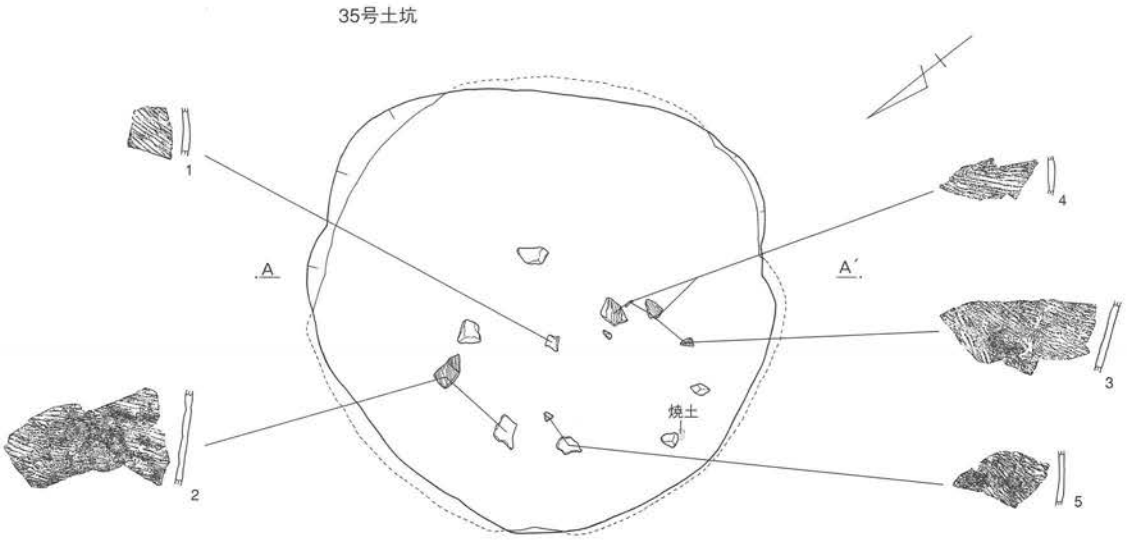
第７図　Ａ区遺構分布図④

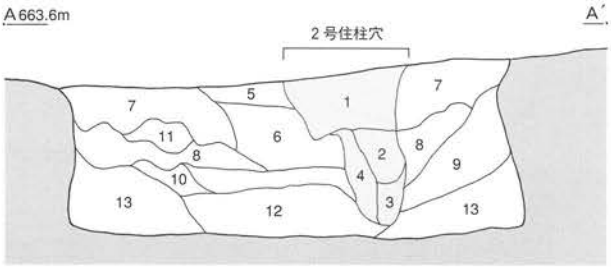


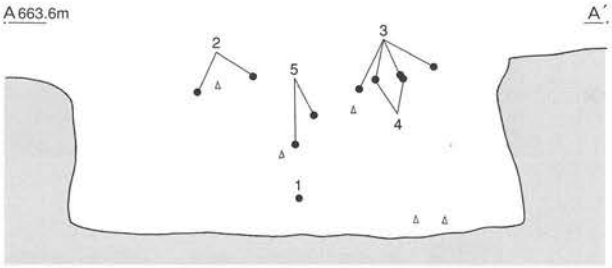
第８図　Ａ区遺構分布図⑤



第9図　A区8・9・12・15・16号土坑、出土土器、遺構外出土遺物





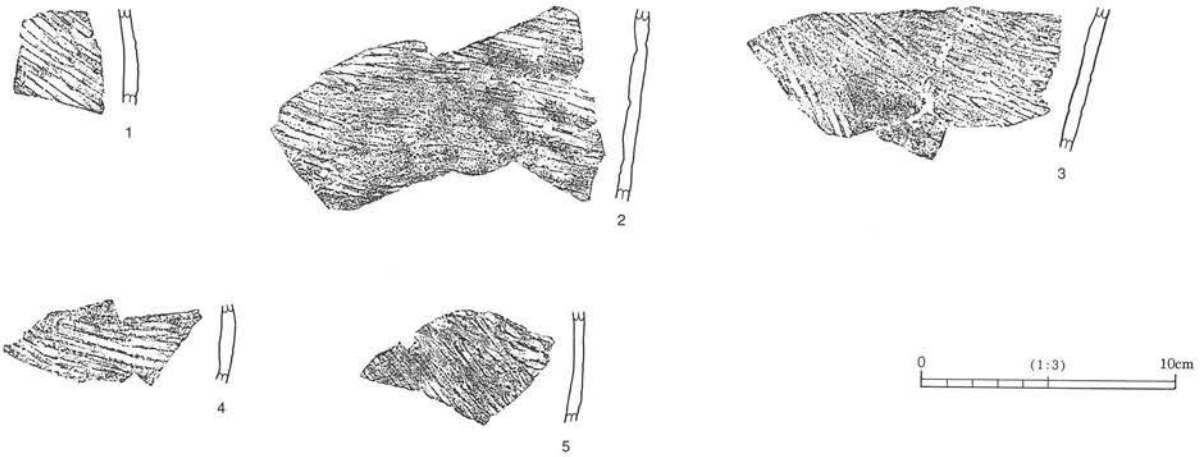


● 土器
△ 石器・石

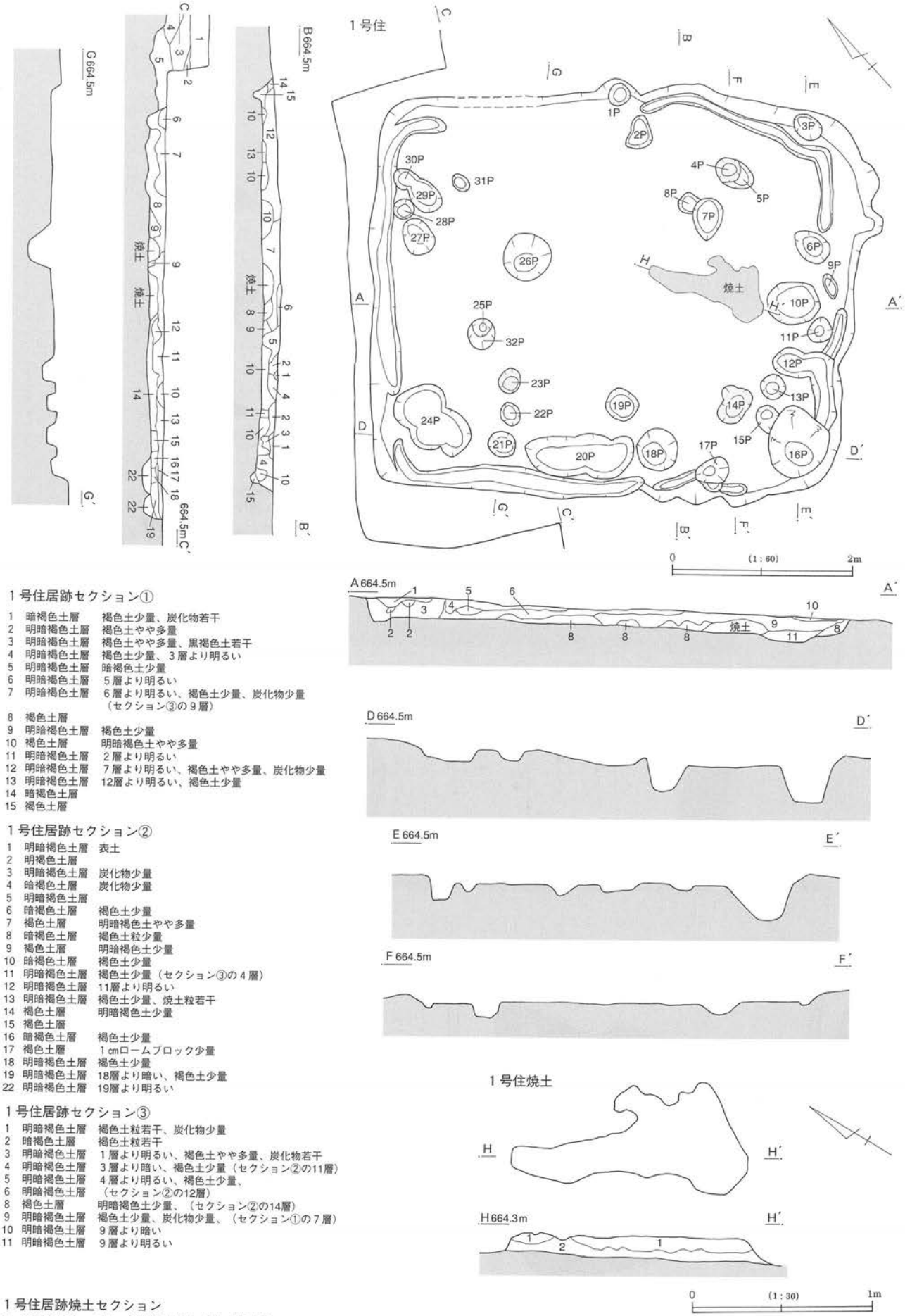
35号土坑

1	暗褐色土層	1～3㎜ロームブロック極めて多量、炭化物少量
2	暗褐色土層	1層より明るい、1㎜ロームブロックやや多量
3	暗褐色土層	2層より明るい、褐色土少量
4	暗褐色土層	2・3層より明るい、1㎜ロームブロック若干
5	暗褐色土層	1層より明るい、1～2㎜ロームブロック多量
6	暗褐色土層	1層より明るい、5層より暗い、褐色土やや多量、1㎜ロームブロック多量
7	暗褐色土層	1～6層より明るい、褐色土少量、1㎜ロームブロックやや多量、炭化物少量
8	明暗褐色土層	褐色土少量、5㎜ロームブロック若干
9	暗褐色土層	4・6層より明るい、5㎜ロームブロック若干
10	明暗褐色土層	炭化物若干
11	褐色土層	5㎜ロームブロック若干
12	明暗褐色土層	5㎜ロームブロック多量、ボソボソ
13	褐色土層	5㎜ロームブロック若干、炭化物少量

0 (1:30) 1m



第10図　A区35号土坑、出土土器



1号住居跡セクション①

1 暗褐色土層　褐色土少量、炭化物若干
2 明暗褐色土層　褐色土やや多量
3 明暗褐色土層　褐色土やや多量、黒褐色土若干
4 明暗褐色土層　褐色土少量、3層より明るい
5 明暗褐色土層　暗褐色土少量
6 明暗褐色土層　5層より明るい
7 明暗褐色土層　6層より明るい、褐色土少量、炭化物少量（セクション③の9層）
8 褐色土層
9 明暗褐色土層　褐色土少量
10 褐色土層　明暗褐色土やや多量
11 明暗褐色土層　2層より明るい
12 明暗褐色土層　7層より明るい、褐色土やや多量、炭化物少量
13 明暗褐色土層　12層より明るい、褐色土少量
14 暗褐色土層
15 褐色土層

1号住居跡セクション②

1 明暗褐色土層　表土
2 明褐色土層
3 明暗褐色土層　炭化物少量
4 暗褐色土層　炭化物少量
5 明暗褐色土層
6 暗褐色土層　褐色土少量
7 褐色土層　明暗褐色土やや多量
8 暗褐色土層　褐色土粒少量
9 褐色土層　明暗褐色土少量
10 暗褐色土層　褐色土少量
11 明暗褐色土層　褐色土少量（セクション③の4層）
12 明暗褐色土層　11層より明るい
13 明暗褐色土層　褐色土少量、焼土粒若干
14 褐色土層　明暗褐色土少量
15 褐色土層
16 暗褐色土層　褐色土少量
17 褐色土層　1㎝ロームブロック少量
18 明暗褐色土層　褐色土少量
19 明暗褐色土層　18層より暗い、褐色土少量
22 明暗褐色土層　19層より明るい

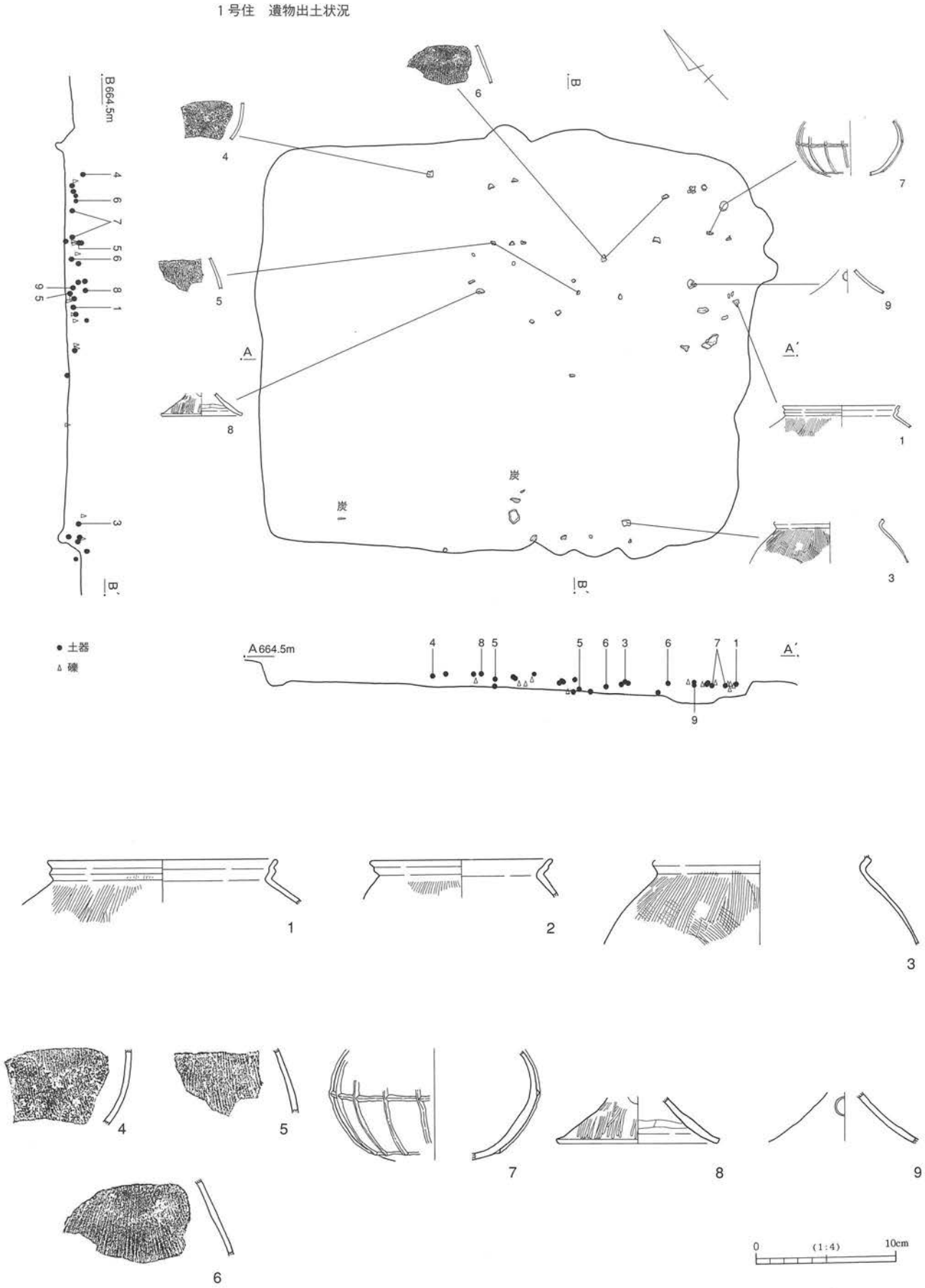
1号住居跡セクション③

1 明暗褐色土層　褐色土粒若干、炭化物少量
2 暗褐色土層　褐色土粒若干
3 明暗褐色土層　1層より明るい、褐色土やや多量、炭化物若干
4 明暗褐色土層　3層より暗い、褐色土少量（セクション②の11層）
5 明暗褐色土層　4層より明るい、褐色土少量、
6 明暗褐色土層　（セクション②の12層）
8 褐色土層　明暗褐色土少量、（セクション②の14層）
9 明暗褐色土層　褐色土少量、炭化物少量、（セクション①の7層）
10 明暗褐色土層　9層より暗い
11 明暗褐色土層　9層より明るい

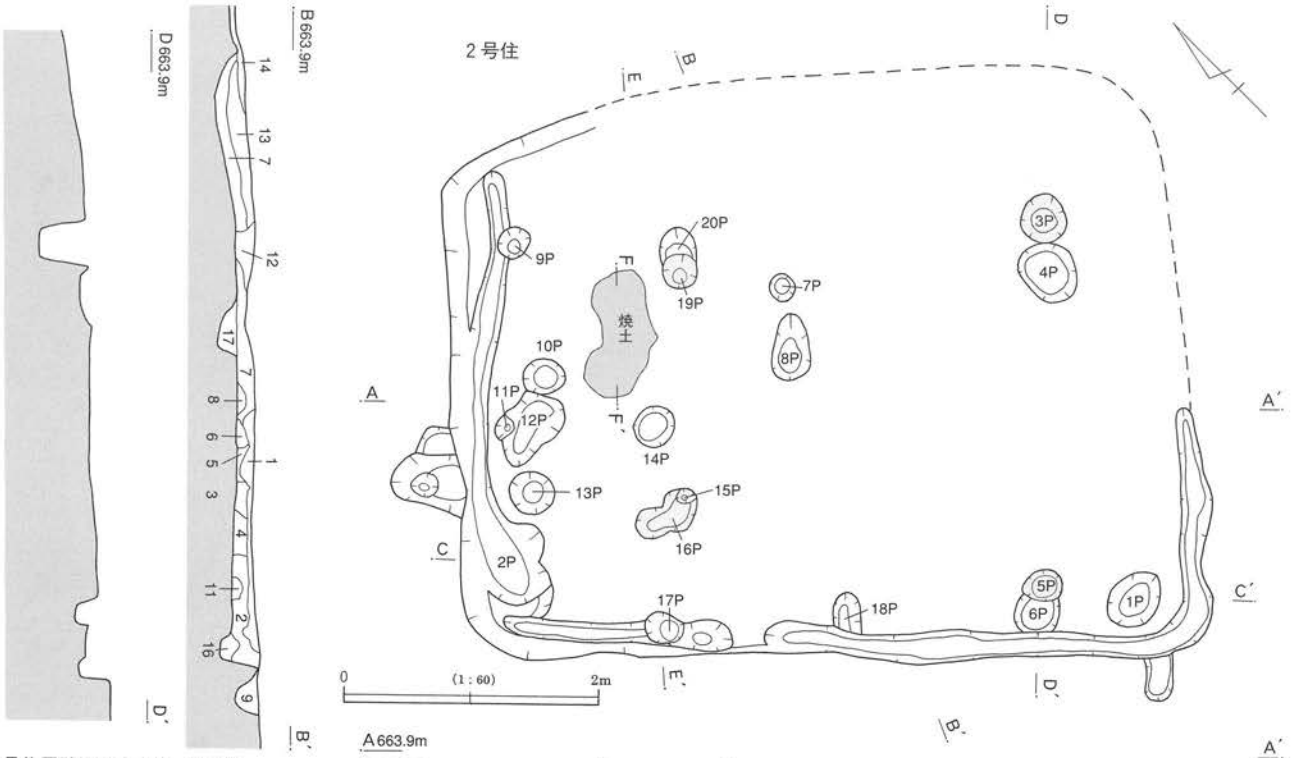
1号住居跡焼土セクション

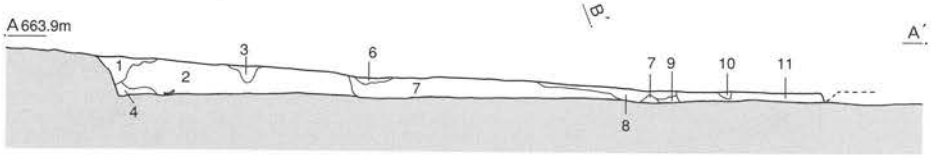
1 赤褐色土層　焼土、暗褐色土少量、褐色土粒若干
2 明暗褐色土層　褐色土少量

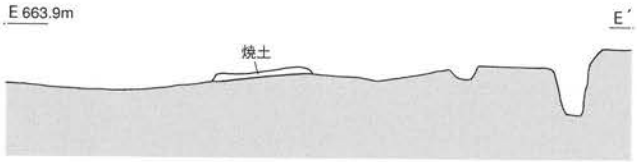
第11図　A区1号住居跡



第12図　A区1号住居跡遺物出土状況、出土土器







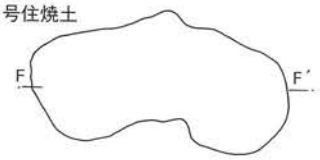
2号住居跡セクション（東西）

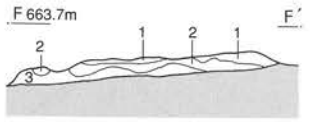
1　明暗褐色土層　暗褐色土少量、1㎜ロームブロック若干
2　明暗褐色土層　1層より暗い、5㎜ロームブロック少量、炭化物少量
3　暗褐色土層　褐色土少量
4　明暗褐色土層　褐色土粒少量
6　暗褐色土層　褐色土少量
7　褐色土層　黒褐色土少量
8　明暗褐色土層　褐色土粒少量、炭化物少量
9　明褐色土層　明暗褐色土少量
10　暗褐色土層　炭化物少量
11　明暗褐色土層　暗褐色土少量、褐色土粒少量

2号住居跡セクション（南北）

1　暗褐色土層　5㎜ロームブロック若干、炭化物少量
2　明暗褐色土層　褐色土やや多量
3　褐色土層　明暗褐色土やや多量
4　明暗褐色土層　褐色土多量、1～2㎝ロームブロック少量
5　明暗褐色土層　褐色土やや多量
6　褐色土層　明暗褐色土やや多量
7　明暗褐色土層　褐色土やや多量、1～5㎜ロームブロック多量、炭化物若干
8　明褐色土層　明暗褐色土やや少量
9　明暗褐色土層　褐色土少量
11　褐色土層　1㎝ロームブロック少量
12　暗褐色土層　1㎝ロームブロック多量、炭化物少量
13　暗褐色土層　12層より明るい、1㎜ロームブロック多量、炭化物少量
14　明暗褐色土層　炭化物若干
16　明暗褐色土層　2層より明るい
17　明暗褐色土層　7層より明るい

2号住焼土

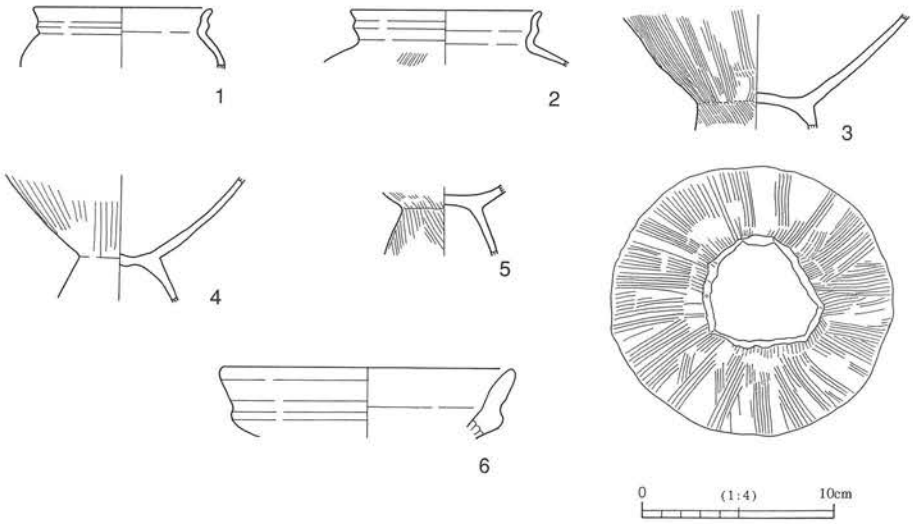




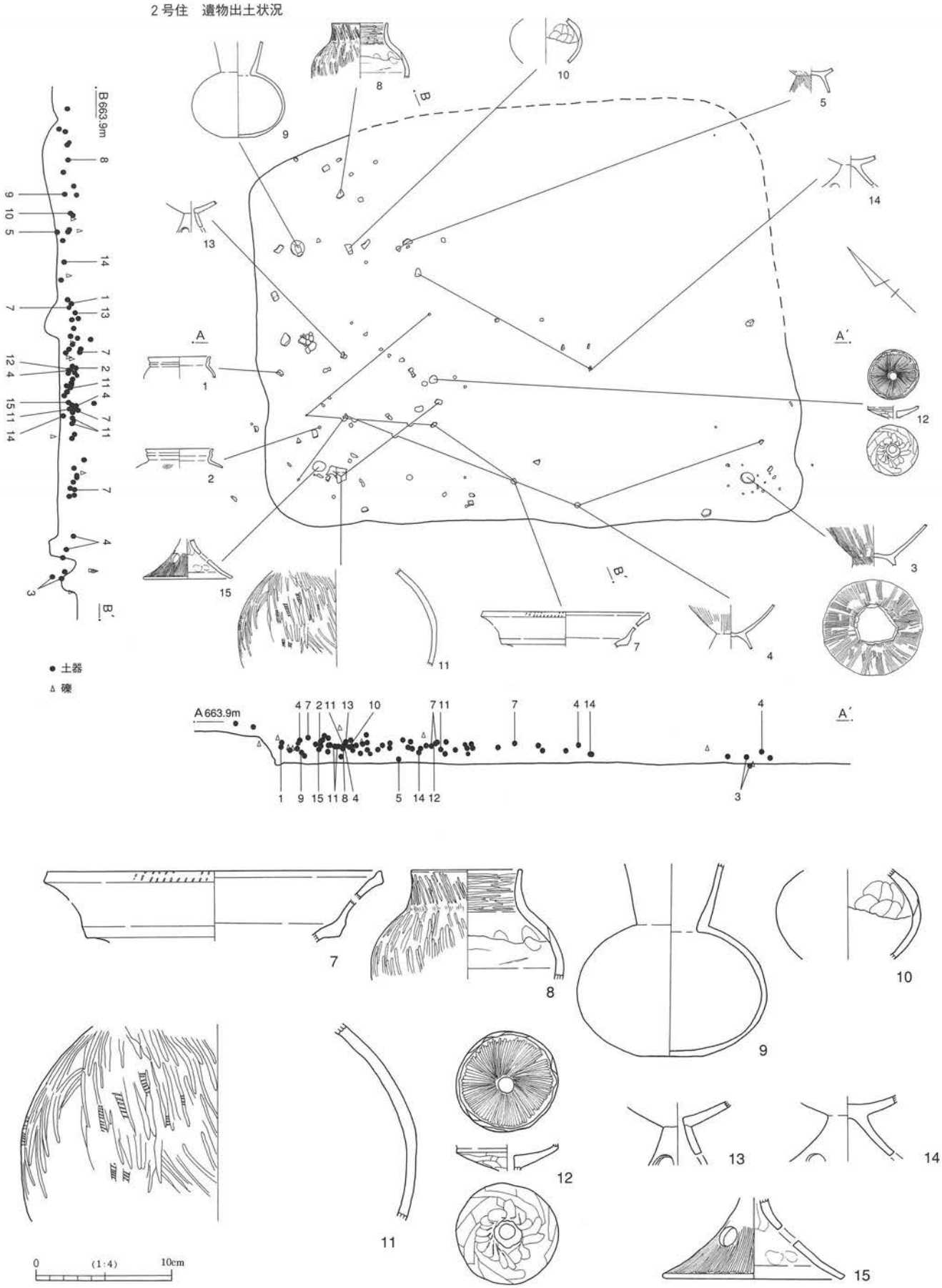
0　(1 : 30)　1m

2号住居跡焼土

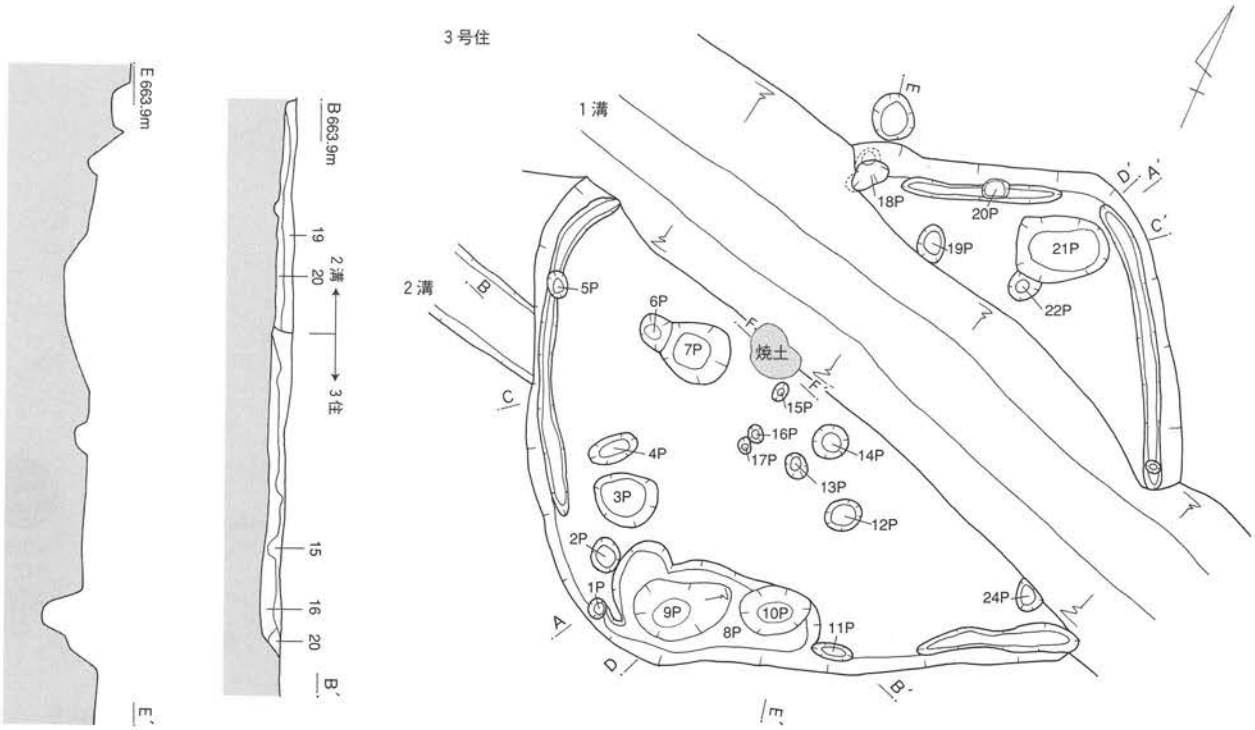
1　明暗褐色土層　炭化物少量、焼土粒少量
2　赤褐色土層　焼土、明暗褐色土多量、炭化物少量
3　明暗褐色土層　褐色土少量、1㎜ロームブロック若干



第13図　A区2号住居跡、出土土器

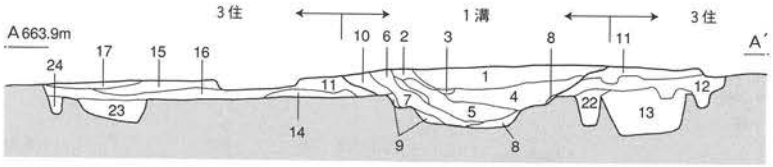


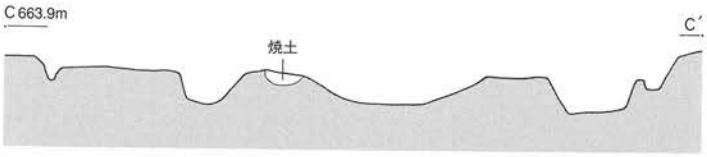
第14図　A区2号住居跡遺物出土状況、出土土器

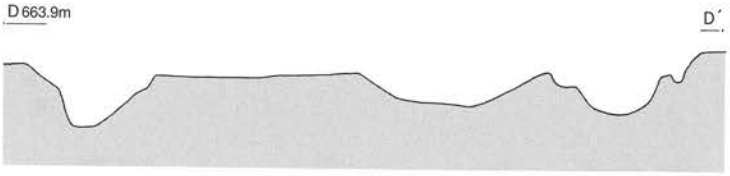


3号住居跡・1号溝②（南北）・2号溝（東西）セクション

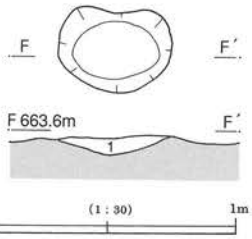
1	暗褐色土層	褐色土少量、1㎜ロームブロックやや多量、炭化物やや多量
2	明暗褐色土層	1㎜ロームブロック多量、炭化物少量
3	明暗褐色土層	明るい
4	暗褐色土層	1層より明るい、5㎜ロームブロック少量、炭化物少量
5	明暗褐色土層	1～5㎜ロームブロックやや多量、炭化物少量
6	明暗褐色土層	2・5層より明るい、1㎜ロームブロックやや多量
7	明暗褐色土層	2・5・6層より暗い、褐色土少量、1㎜ロームブロック少量、炭化物少量
8	明暗褐色土層	褐色土やや多量、黄褐色土少量
9	黄褐色土層	
10	明暗褐色土層	7層より明るい、褐色土少量、1㎝ロームブロック少量
11	明暗褐色土層	10層より明るい、暗褐色土少量、1㎝ロームブロック少量、炭化物やや多量
12	暗褐色土層	明暗褐色土多量、褐色土少量、炭化物やや多量
13	褐色土層	明暗褐色土やや多量、2㎝ロームブロック少量
14	褐色土層	明暗褐色土多量、黄褐色土少量
15	明暗褐色土層	暗褐色土少量、1㎜ロームブロックやや多量、炭化物少量
16	明暗褐色土層	15層より明るい、暗褐色土・黄褐色土やや多量、1㎜ロームブロック少量
17	明暗褐色土層	15・16層より明るい、褐色土少量、1㎜ロームブロックやや多量、炭化物やや多量
18	黄褐色土層	明暗褐色土やや多量
19	明暗褐色土層	褐色土少量、1㎜ロームブロックやや多量、1㎝ロームブロック少量、炭化物やや多量
20	褐色土層	明暗褐色土多量、1㎝ロームブロック多量、1㎜ロームブロック少量
21	暗褐色土層	1～5㎜ロームブロックやや多量
22	明暗褐色土層	
23	褐色土層	
24	褐色土層	





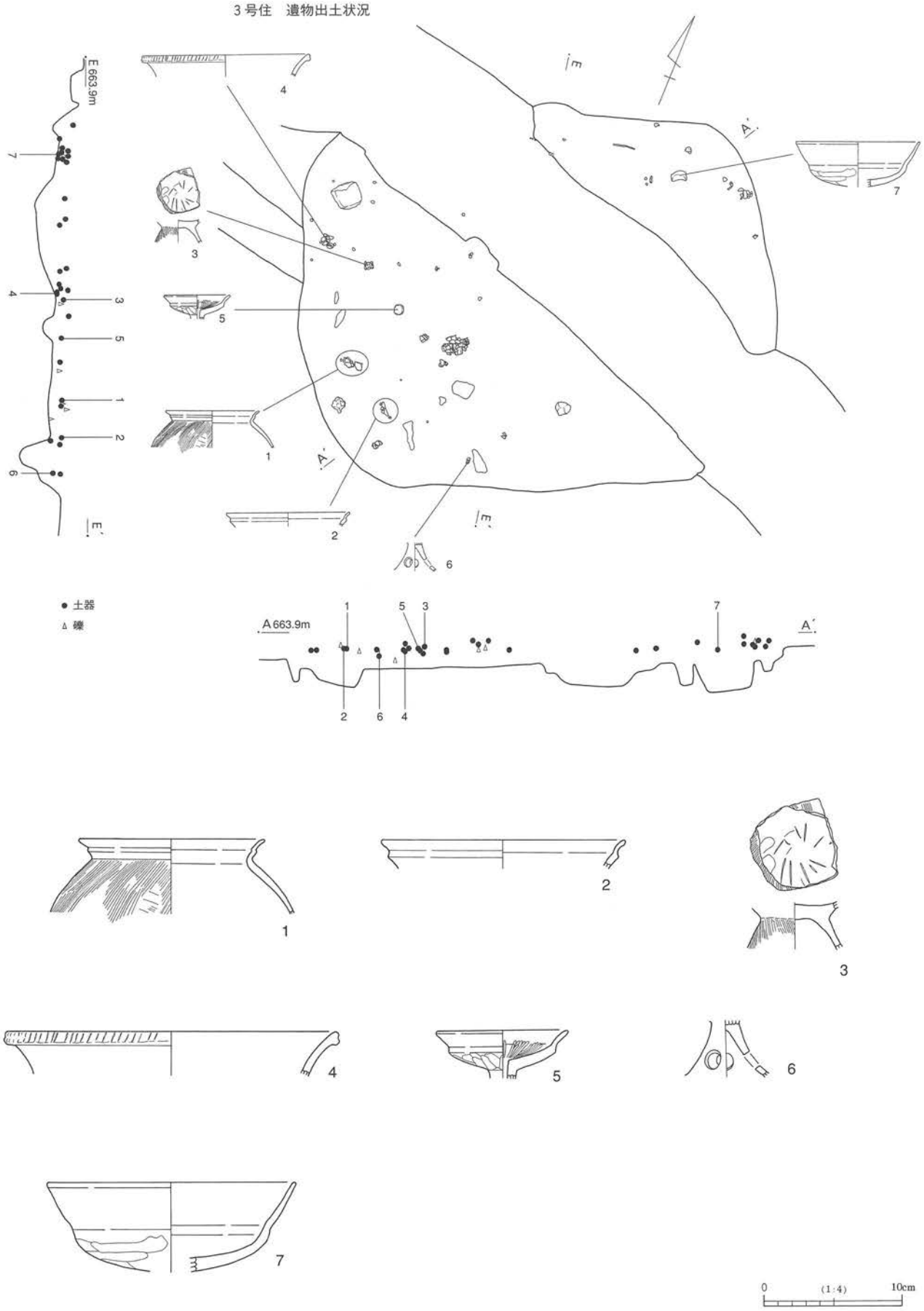


3号住焼土

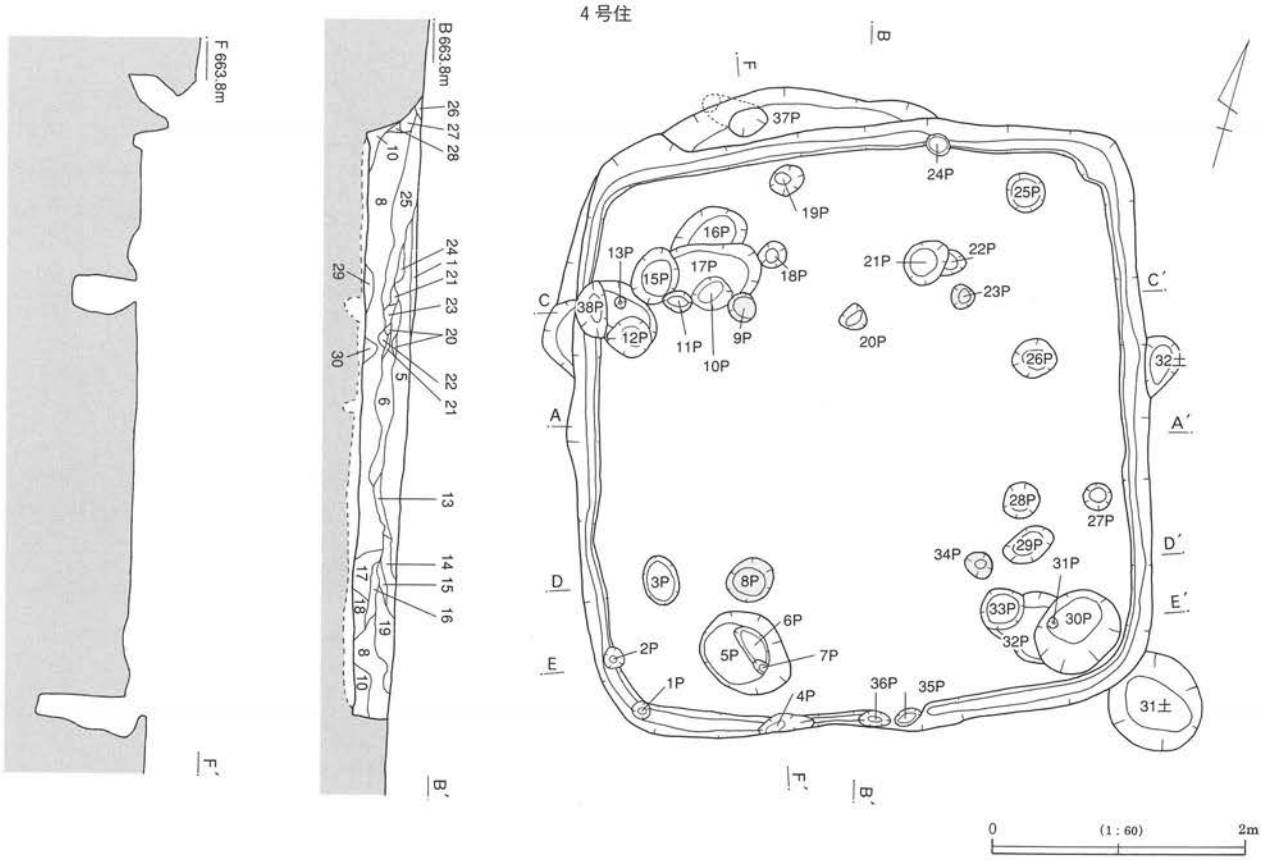


3号住居跡・焼土
1　赤褐色土層　焼土

第15図　A区3号住居跡

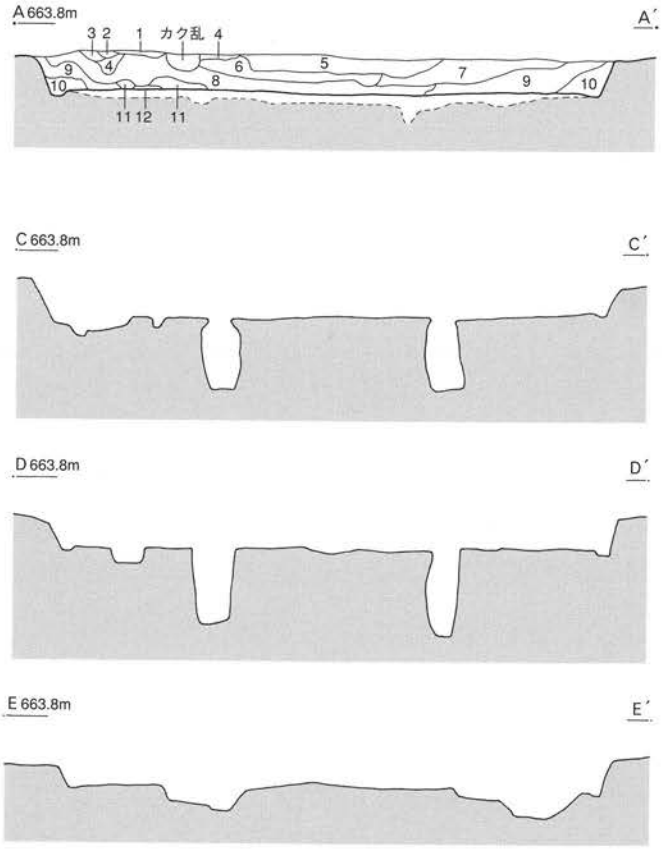


第16図　A区3号住居跡遺物出土状況、出土土器



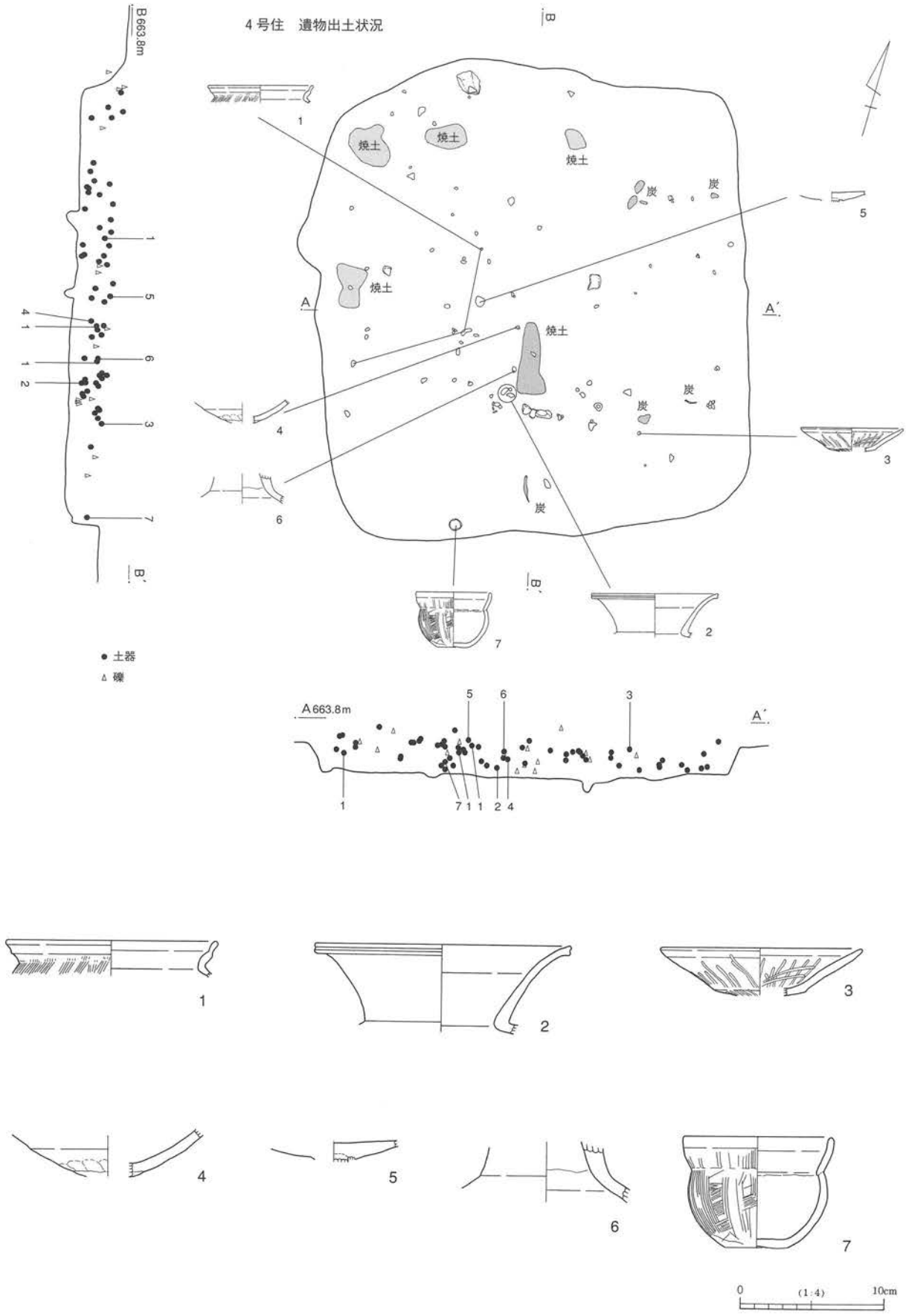
4号住居跡セクション

1 明暗褐色土層 1㎜ロームブロック若干、炭化物若干、畑の溝
2 暗褐色土層 褐色土少量
3 明暗褐色土層 褐色土少量
4 明暗褐色土層 3層より明るい、5㎜ロームブロック若干
5 明暗褐色土層 暗褐色土少量
6 暗褐色土層 明暗褐色土少量、褐色土若干
7 明暗褐色土層 褐色土やや多量、1㎜ロームブロック少量
8 明暗褐色土層 7層より明るい、褐色土多量、炭化物少量
9 明暗褐色土層 7層より暗い、褐色土少量
10 褐色土層 明暗褐色土少量
11 明暗褐色土層 8層より明るい、褐色土少量
12 褐色土層 明暗褐色土少量
13 赤褐色土層 焼土、暗褐色土多量、炭化物少量
14 明暗褐色土層 5層より明るい、暗褐色土少量
15 暗褐色土層 明暗褐色土少量
16 暗褐色土層 15層より明るい、5㎜ロームブロック若干
17 明暗褐色土層 暗褐色土少量、1㎜ロームブロック少量
18 明暗褐色土層 17層より明るい、5㎜ロームブロック少量
19 明暗褐色土層 14層より暗い、暗褐色土少量
20 黒褐色土層 明暗褐色土少量
21 褐色土層 明暗褐色土少量
22 明暗褐色土層 暗褐色土少量
23 明暗褐色土層 暗褐色土少量
24 明暗褐色土層 5層より明るい、暗褐色土少量、5㎜ロームブロック若干
25 明暗褐色土層 5層より明るい、24層より暗い、1㎝ロームブロック少量、暗褐色土少量、炭化物若干
26 暗褐色土層 褐色土若干
27 明暗褐色土層 褐色土少量、炭化物若干
28 明暗褐色土層 27層より明るい
29 褐色土層 明暗褐色土少量
30 暗褐色土層 明暗褐色土・黄褐色土少量

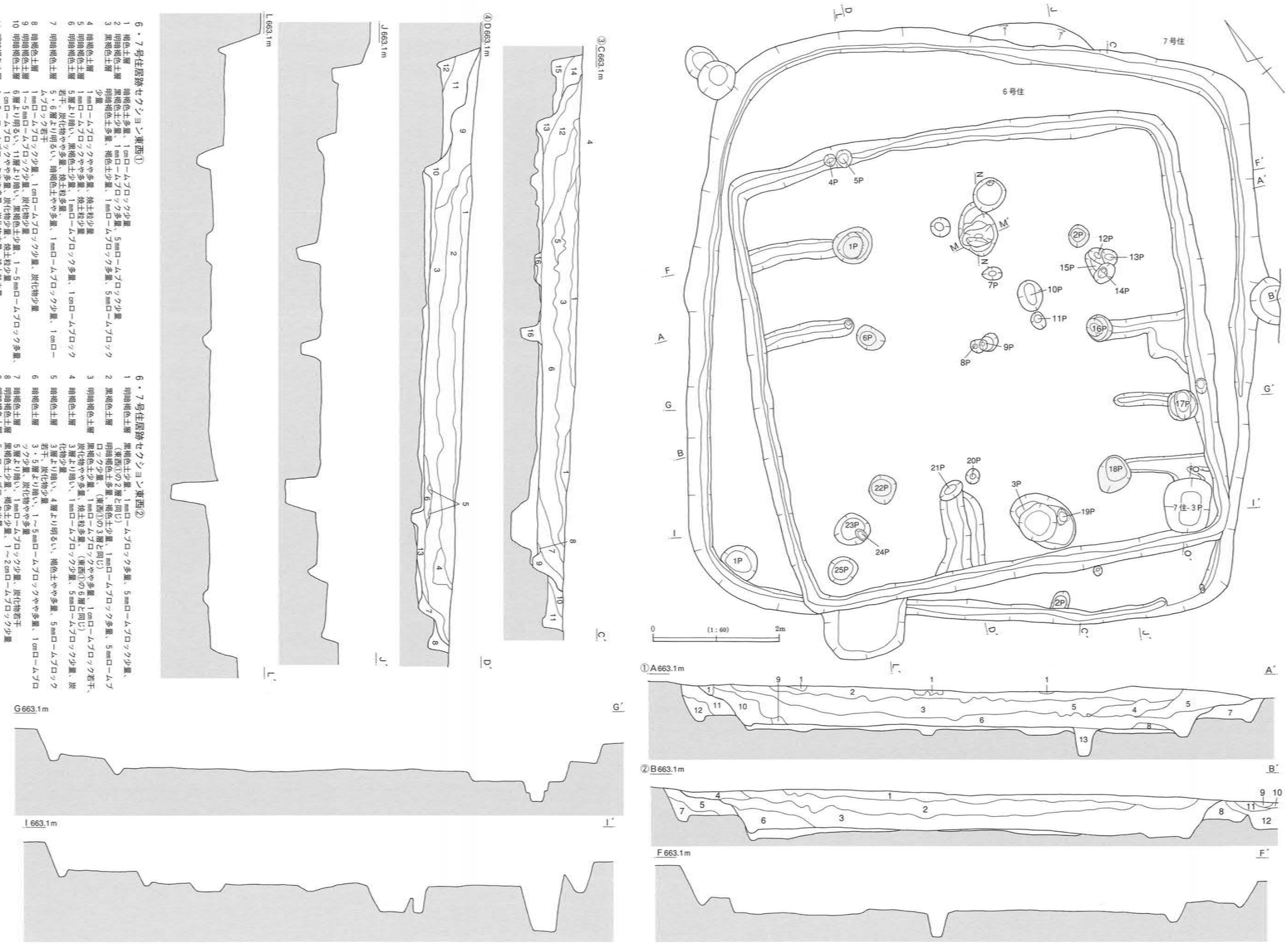


第17図 A区4号住居跡

第18図　A区4号住居跡完掘状況



第19図　A区4号住居跡遺物出土状況、出土土器



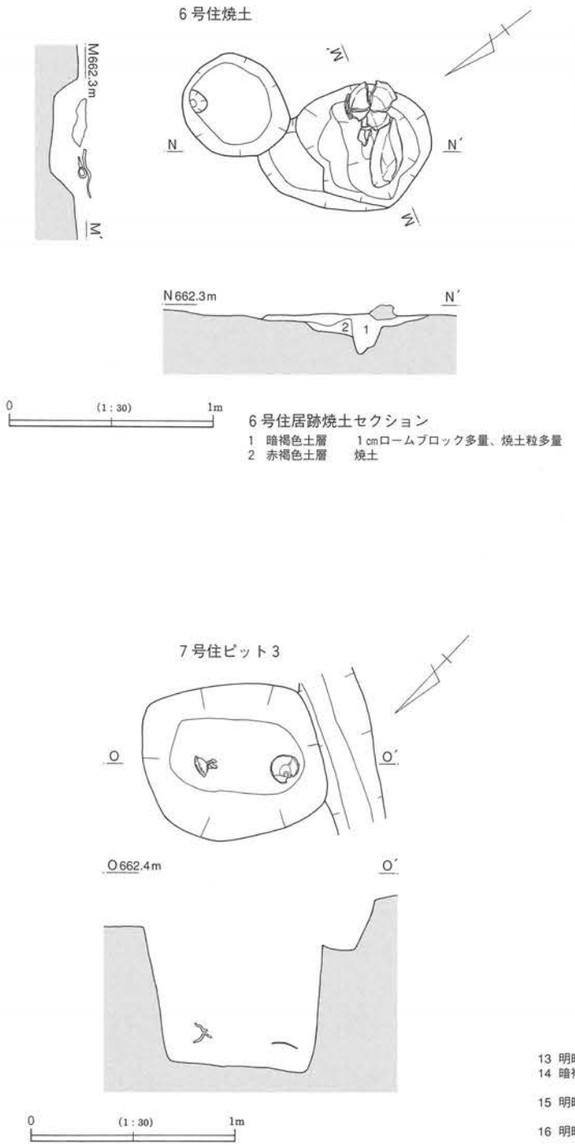
6・7号住居跡セクション東西①

1 褐色土層　暗褐色土多量、1cmローム ブロック少量
2 明暗褐色土層　黒褐色土少量、1mmローム ブロック多量、5mmローム ブロック少量
3 黒褐色土層　明暗褐色土多量、褐色土少量、1mmローム ブロック多量、5mmローム ブロック少量
4 暗褐色土層　1mmローム ブロックやや多量、焼土粒少量
5 明暗褐色土層　1mmローム ブロックやや多量、焼土粒少量
6 明暗褐色土層　5層より暗い、黒褐色土少量、1mmローム ブロック多量、1cmローム ブロック若干、炭化物やや多量、焼土粒多量、
7 明暗褐色土層　5・6層より明るい、暗褐色土やや多量、1mmローム ブロック少量、1cmローム ブロック若干
8 暗褐色土層　1mmローム ブロック少量、1cmローム ブロック少量、炭化物少量
9 明暗褐色土層　1～5mmローム ブロック少量
10 明暗褐色土層　6層より明るい、11層より暗い、黒褐色土少量、1～5mmローム ブロック多量、1cmローム ブロックやや多量、炭化物少量、焼土粒少量
11 明暗褐色土層　1～5mmローム ブロックやや多量、炭化物少量、焼土粒少量
12 明暗褐色土層　11層より明るい、褐色土少量、1～5mmローム ブロック少量、炭化物少量
13 明暗褐色土層　6層より暗い、

6・7号住居跡セクション東西②

1 明暗褐色土層　黒褐色土少量、1mmローム ブロック多量、5mmローム ブロック少量、
2 黒褐色土層　（東西①の2層と同じ）
3 明暗褐色土層　黒褐色土多量、褐色土少量、1mmローム ブロック多量、5mmローム ブロック少量、（東西①の3層と同じ）
4 暗褐色土層　黒褐色土少量、1mmローム ブロックやや多量、1cmローム ブロック若干、炭化物やや多量、焼土粒多量、（東西①の6層と同じ）
5 暗褐色土層　3層より暗い、1mmローム ブロック少量、5mmローム ブロック少量、炭化物少量、4層より明るい、褐色土やや多量、5mmローム ブロック若干、炭化物少量
6 暗褐色土層　3・5層より暗い、1～5mmローム ブロックやや多量、1cmローム ブロック少量、炭化物やや多量
7 暗褐色土層　5層より暗い、1mmローム ブロック少量、炭化物若干
8 明暗褐色土層　黒褐色土少量、褐色土少量、1～2cmローム ブロック少量
9 明暗褐色土層　5mmローム ブロック少量
10 褐色土層　明暗褐色土少量
11 明暗褐色土層　5mmローム ブロック少量、炭化物少量
12 暗褐色土層　黒褐色土少量、1cmローム ブロック少量

第20図　A区6・7号住居跡



6号住居跡焼土セクション
1　暗褐色土層　　1㎝ロームブロック多量、焼土粒多量
2　赤褐色土層　　焼土

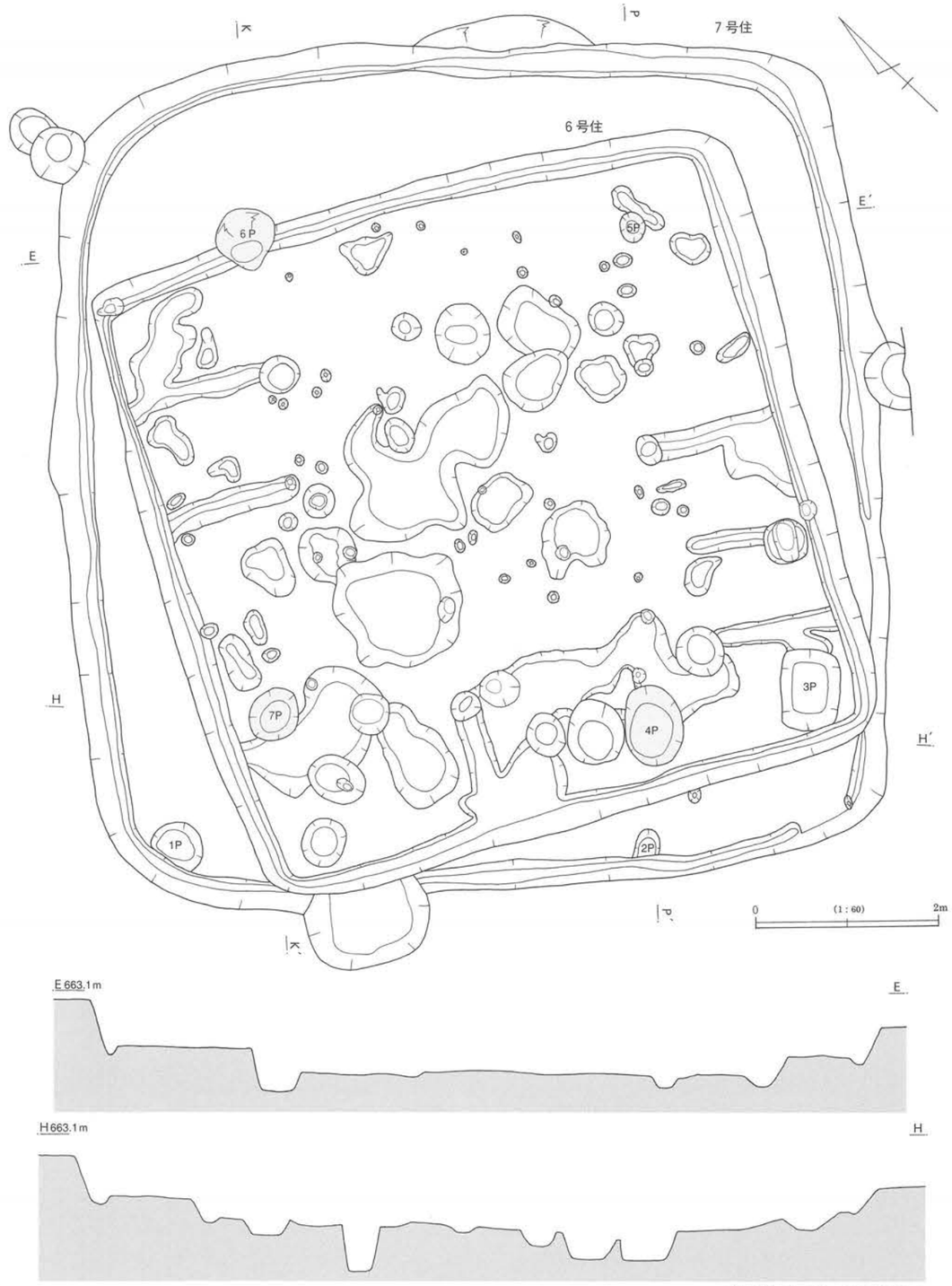
7号住ピット3

6・7号住居跡セクション南北③

1	明暗褐色土層	黒褐色土・褐色土多量、1㎜ロームブロック少量
2	明暗褐色土層	黒褐色土少量、1㎜ロームブロック多量、5㎜ロームブロック少量、（東西①の2層と同じ）
3	黒褐色土層	明暗褐色土多量、褐色土少量、1㎜ロームブロック多量、5㎜ロームブロック少量、（東西①の3層と同じ）
4	暗褐色土層	6層より暗い、明暗褐色土少量、1㎜ロームブロックやや多量、炭化物少量
5	暗褐色土層	6層より暗い、黒褐色土やや多量、1㎜ロームブロック少量、焼土粒少量
6	明暗褐色土層	黒褐色土少量、1㎜ロームブロックやや多量、1㎝ロームブロック若干、炭化物やや多量、焼土粒多量、（東西①の6層と同じ）
7	暗褐色土層	1～5㎜ロームブロックやや多量、炭化物やや多量、焼土粒やや多量
8	暗黄褐色土層	褐色土多量、1～3㎜ロームブロック多量
9	褐色土層	明暗褐色土やや多量、1㎝ロームブロック少量、炭化物少量
10	明暗褐色土層	褐色土少量、1㎝ロームブロック少量、炭化物少量
11	暗褐色土層	10層より暗い、1㎜ロームブロック少量、炭化物少量
12	暗褐色土層	4・6層より暗い、1～5㎜ロームブロック多量、炭化物少量、焼土粒やや多量
13	明暗褐色土層	褐色土多量、5㎜ロームブロック少量、炭化物少量
14	暗褐色土層	12層より明るい、褐色土やや多量、1～5㎜ロームブロックやや多量、炭化物少量
15	明暗褐色土層	13層より暗い、褐色土やや多量、1㎜ロームブロック少量、炭化物少量
16	明暗褐色土層	16層より暗い

6・7号住居跡セクション南北④

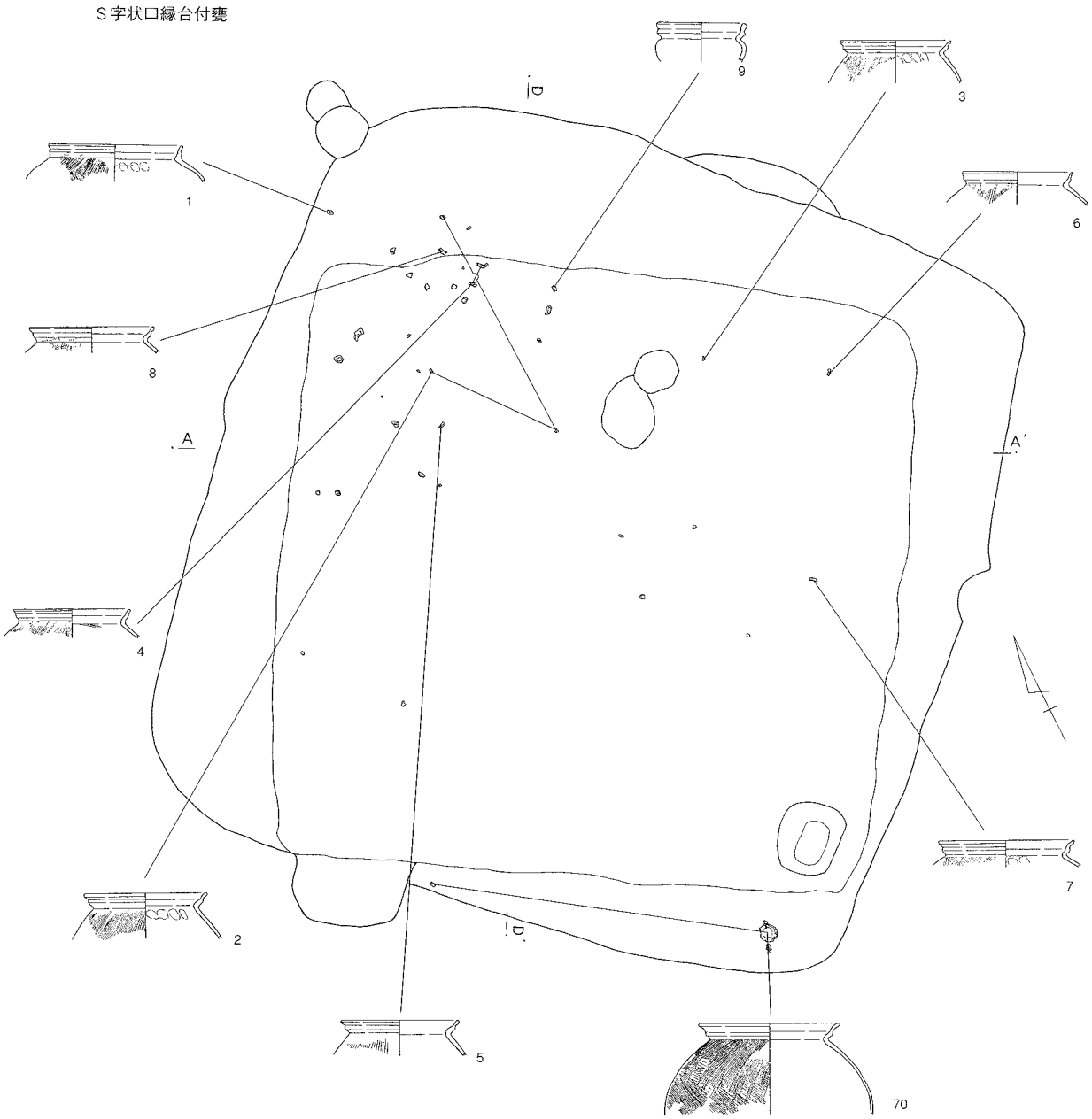
1	明暗褐色土層	黒褐色土少量、1㎜ロームブロック多量、5㎜ロームブロック少量、（東西①の2層と同）
2	黒褐色土層	明暗褐色土多量、褐色土少量、1㎜ロームブロック多量、5㎜ロームブロック少量、（東西①の3層と同じ）
3	明暗褐色土層	黒褐色土少量、1㎜ロームブロックやや多量、1㎝ロームブロック若干、炭化物やや多量、焼土粒多量、（東西①の6層と同じ）
4	暗褐色土層	褐色土少量、5㎜ロームブロック若干、焼土粒少量
5	赤褐色土層	焼土、炭化物少量
6	暗褐色土層	3層より明るい、1㎜ロームブロック少量、炭化物やや多量
7	明暗褐色土層	褐色土やや多量、5㎜ロームブロック少量
8	暗褐色土層	1㎜ロームブロック少量
9	明暗褐色土層	褐色土やや多量、黒褐色土少量、1㎜ロームブロックやや多量、1～3㎝ロームブロック少量、炭化物少量
10	暗褐色土層	3層より明るい、褐色土多量、5㎜ロームブロック少量、炭化物少量、焼土粒少量
11	暗褐色土層	10層より明るい、褐色土やや多量、、黒褐色土やや多量、5㎜ロームブロック少量、1㎝ロームブロック少量、炭化物少量
12	明暗褐色土層	1㎜ロームブロック少量、褐色土少量
13	明暗褐色土層	3層より明るい

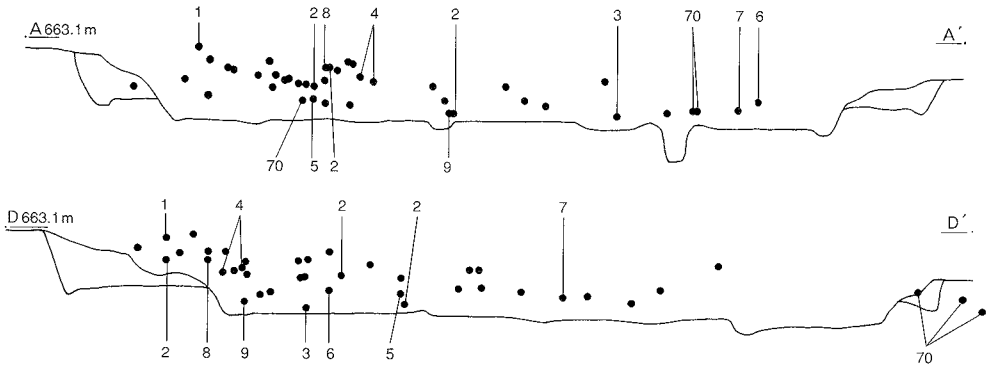


番号の付いているピットは7号住のもの

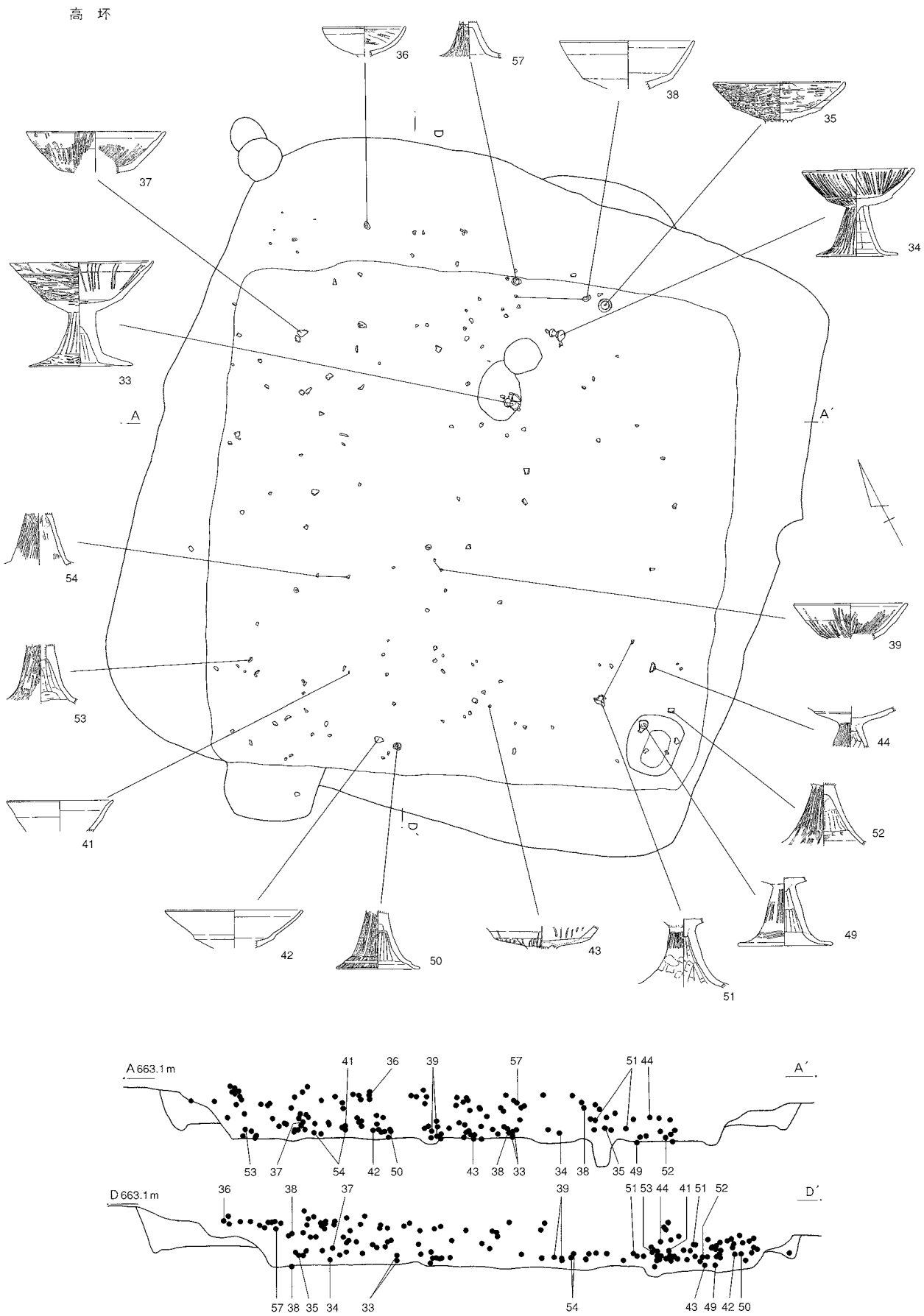
第21図　A区6・7号住居跡完掘状況

第22図　A区6・7号住居跡遺物出土状況

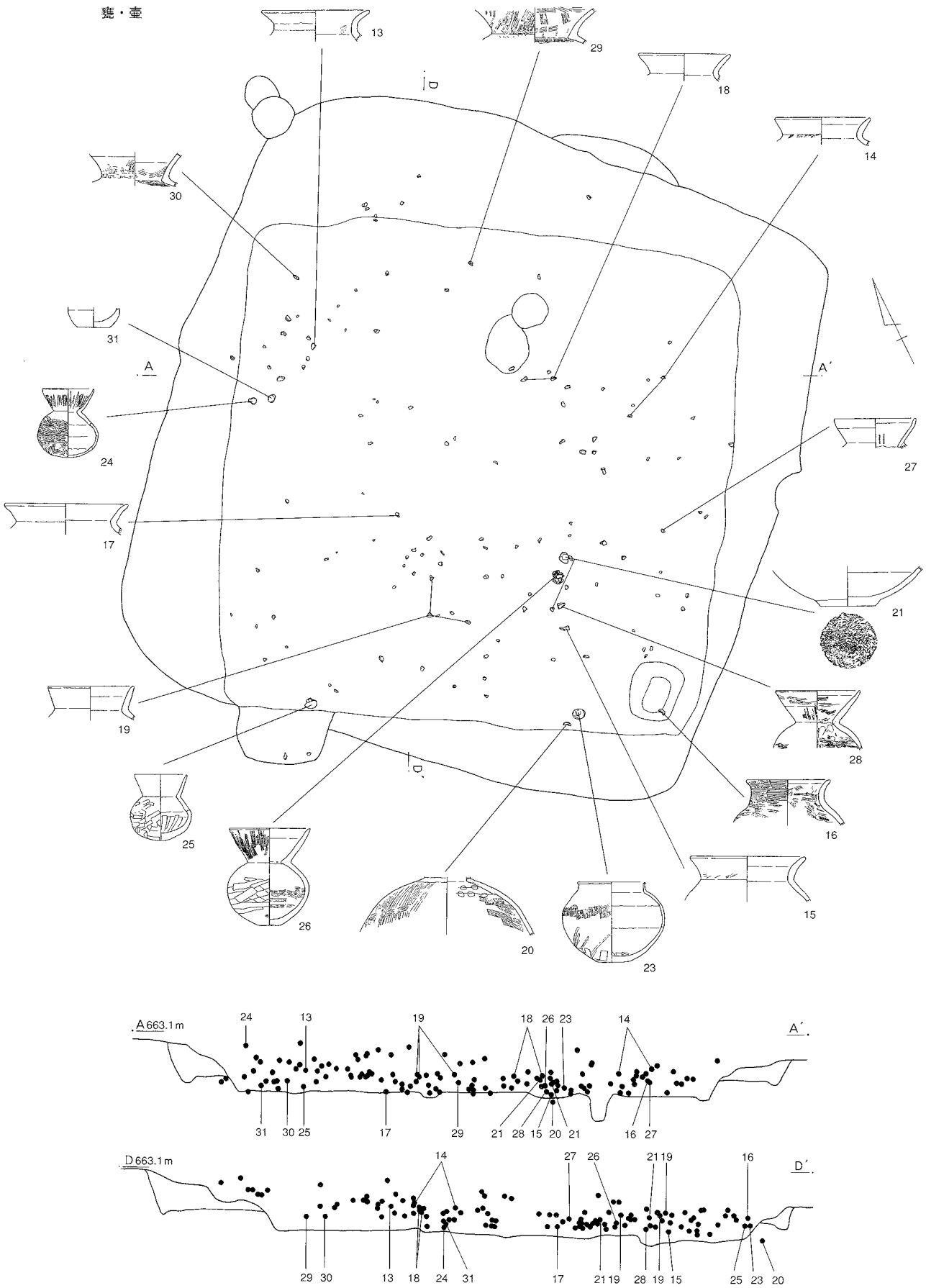




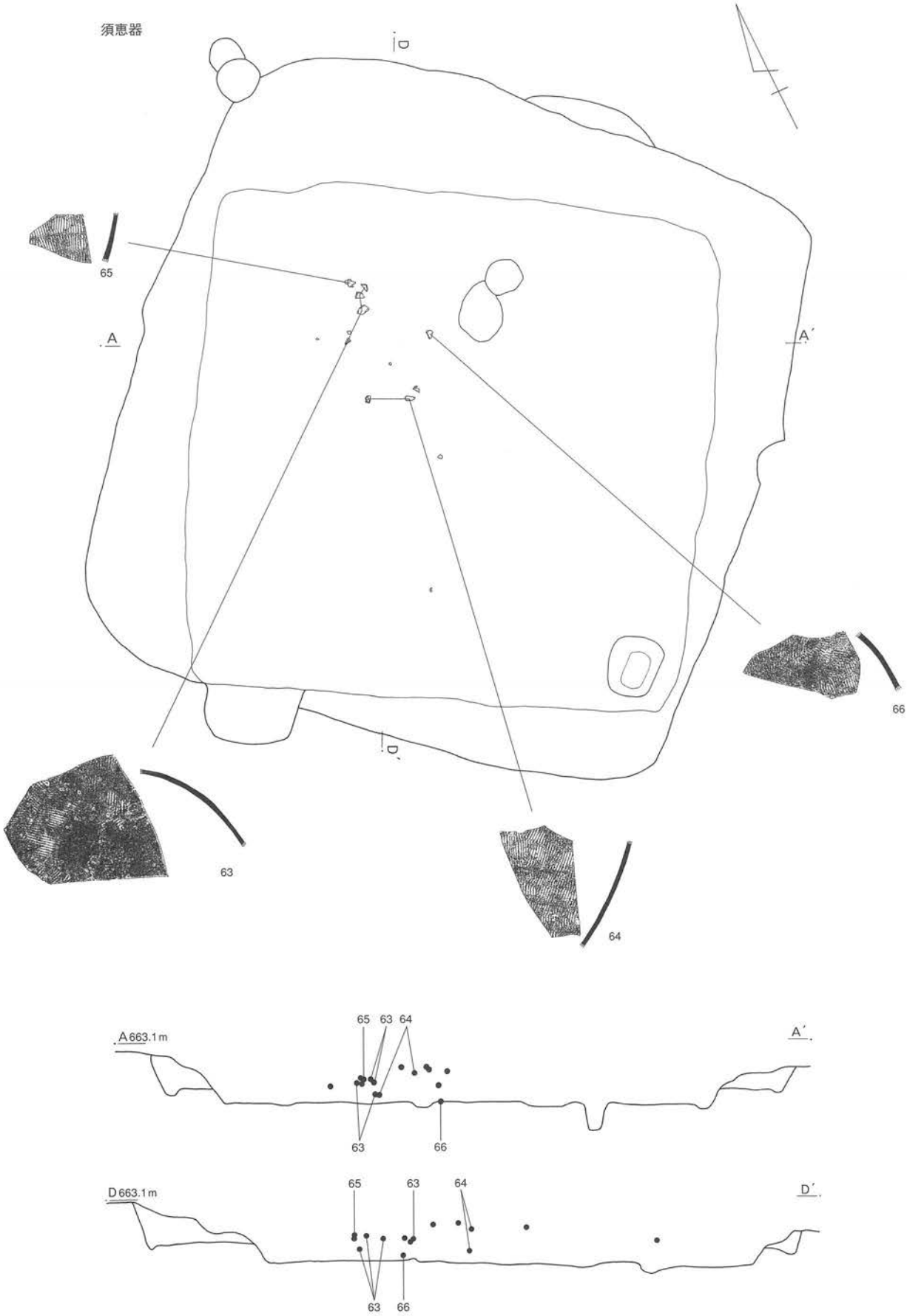
第23図　A区6・7号住居跡S字甕出土状況



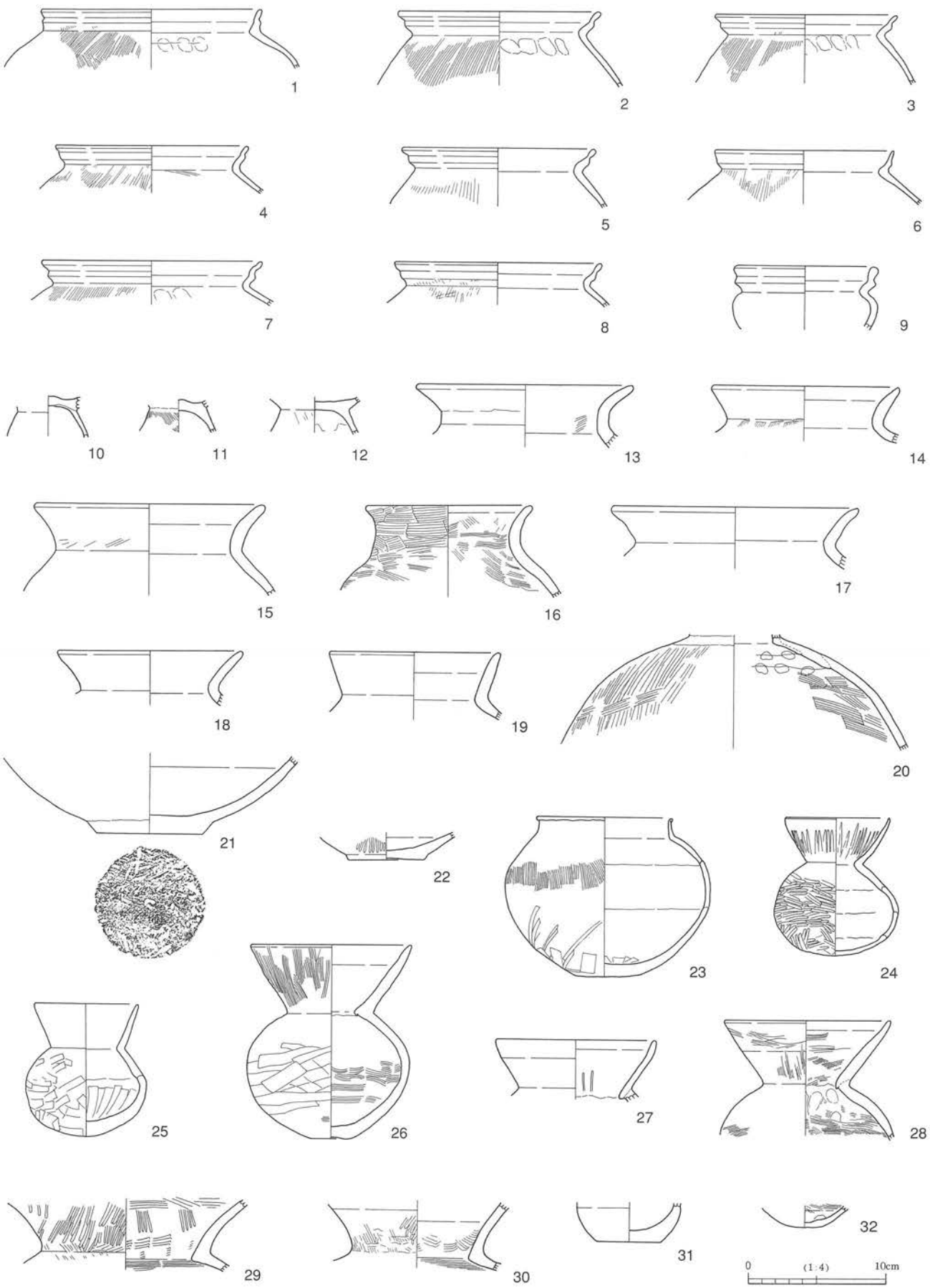
第24図　A区6・7号住居跡高坏出土状況



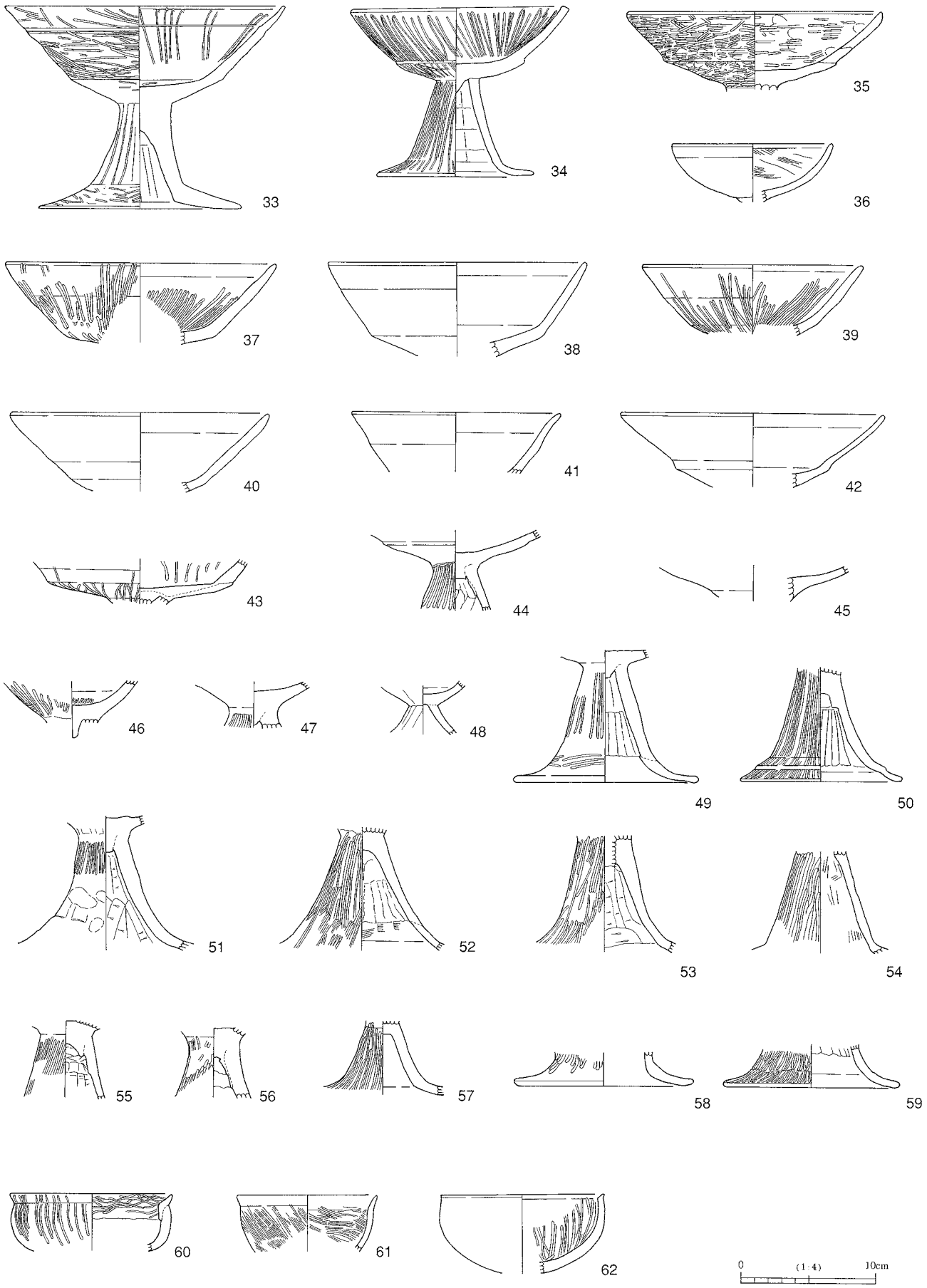
第25図　A区6・7号住居跡　壷・甕出土状況



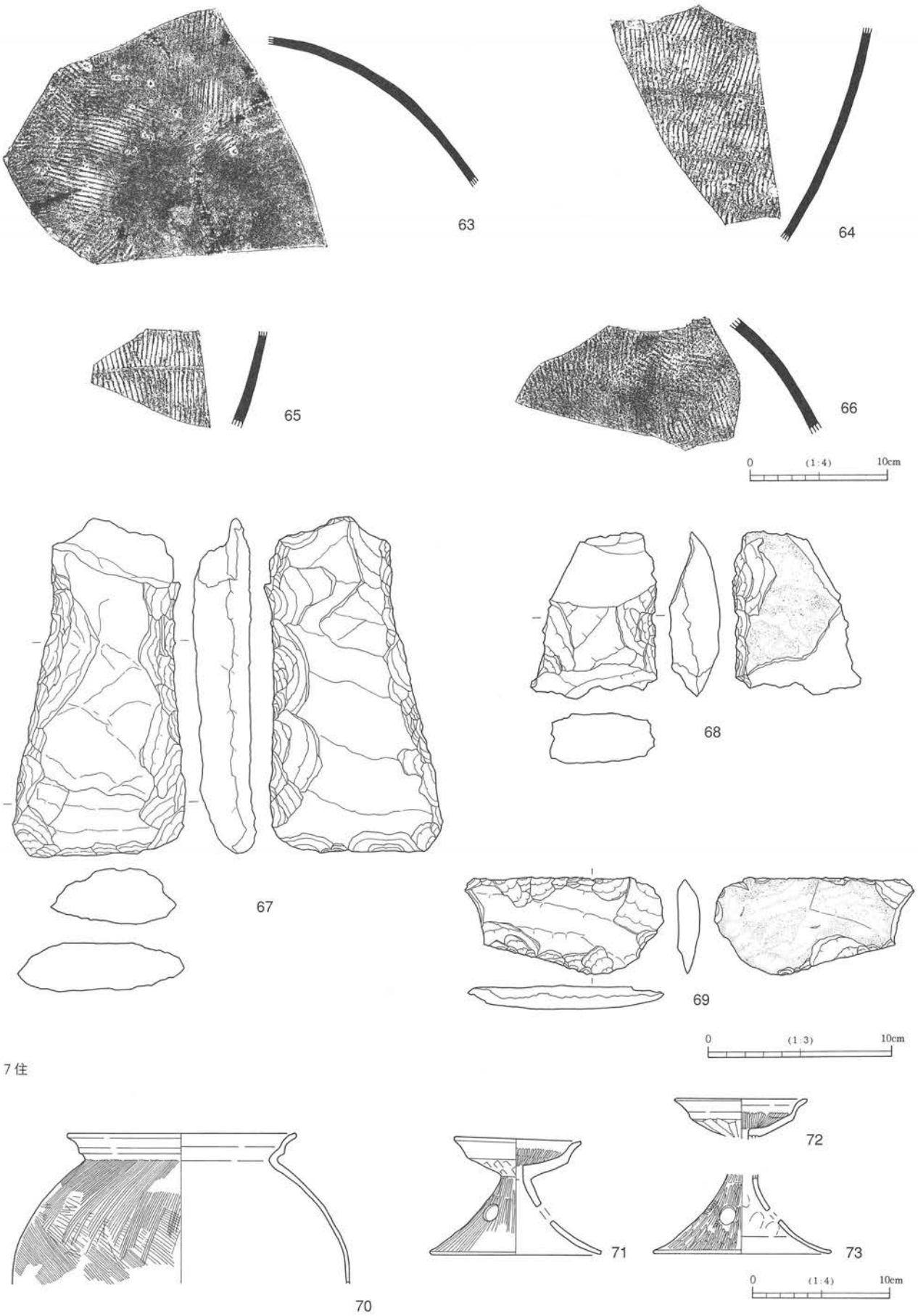
第26図　A区6・7号住居跡須恵器出土状況



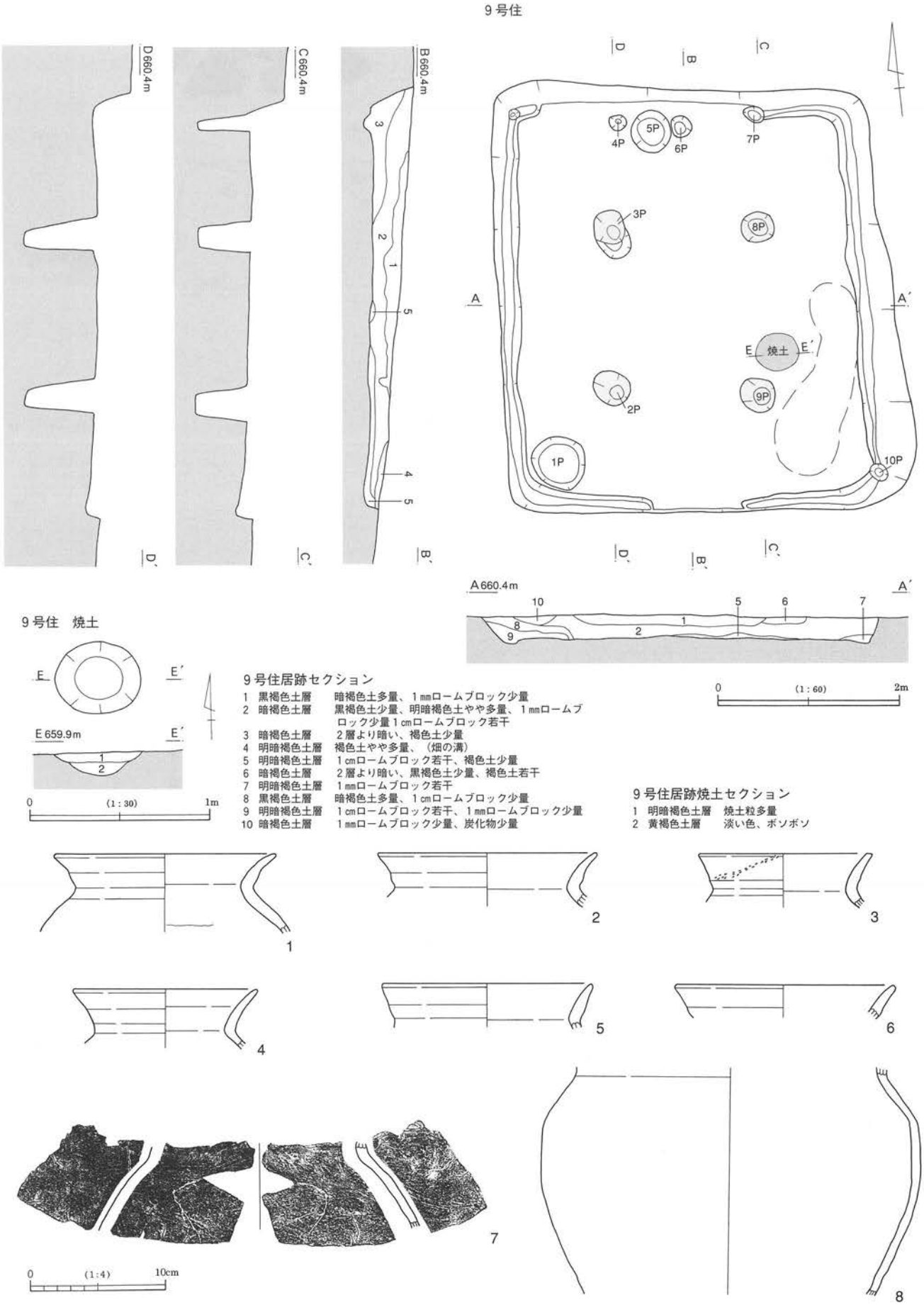
第27図　A区6号住居跡出土土器①



第28図　A区6号住居跡出土土器②



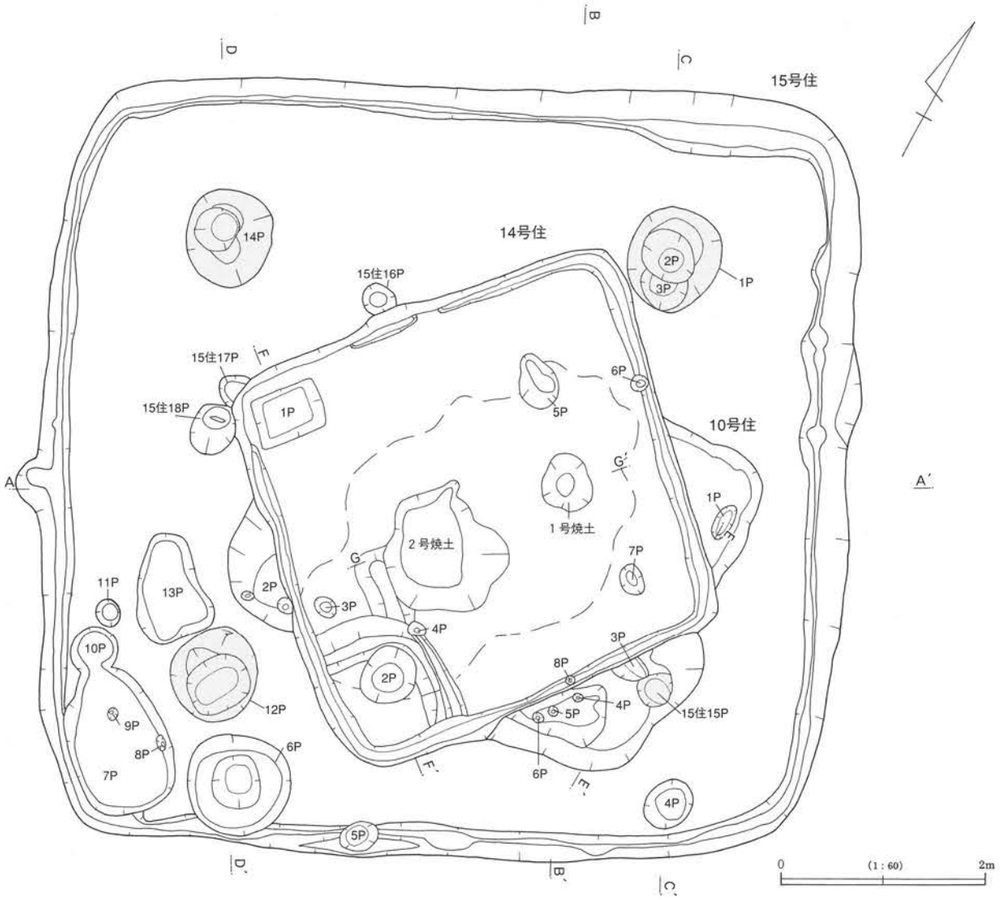
第29図　A区6号住居跡出土土器、石器、7号住居跡出土土器

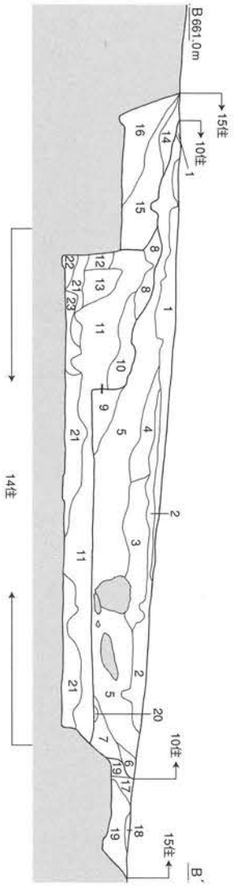


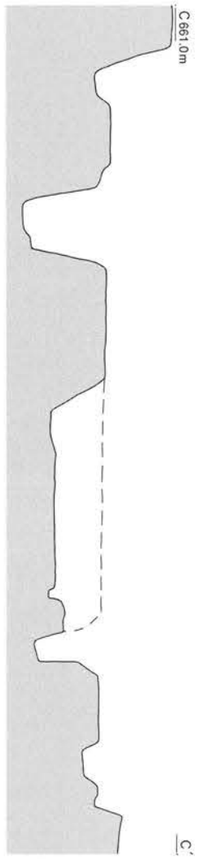
第30図　A区9号住居跡、出土土器

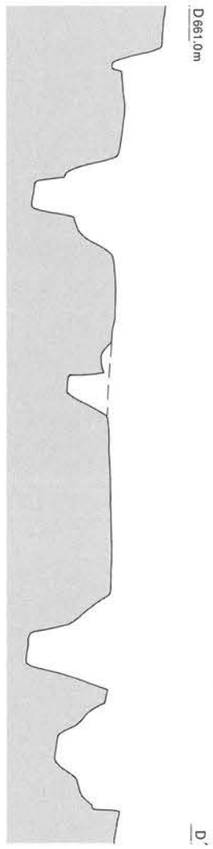
9号住　遺物出土状況

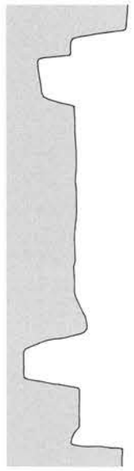
第31図　A区9号住居跡遺物出土状況、出土土器





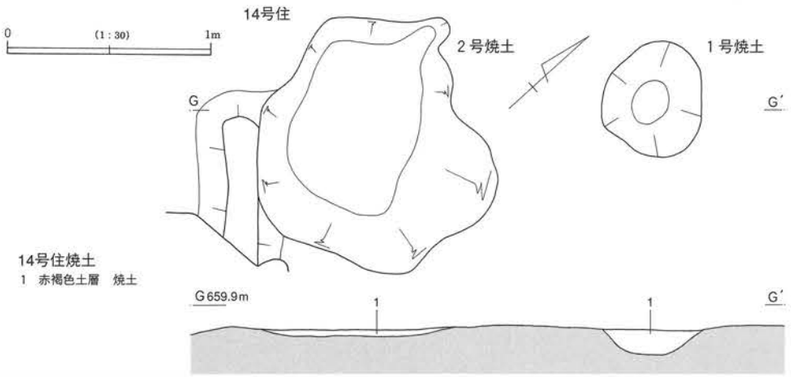






10・14・15号住居跡セクション（南北）

1　明暗褐色土層　黒褐色土やや多量、褐色土少量、1～5㎜ロームブロックやや多量
2　黒褐色土層　明暗褐色土少量、1㎜ロームブロック少量、黄化物少量
3　暗褐色土層　黒褐色土少量、1㎜ロームブロック少量、1㎝ロームブロック若干、炭化物若干
4　暗褐色土層　3層より明るい、明暗褐色土やや多量、1㎜ロームブロック少量、炭化物若干
5　暗褐色土層　4層よりやや暗い、明暗褐色土やや多量、1㎜ロームブロック少量、炭化物少量
6　明暗褐色土層　褐色土やや多量、1㎝ロームブロック少量、炭化物少量
7　暗褐色土層　5層よりやや暗い、褐色土少量、5～10㎜ロームブロック若干、炭化物少量
8　暗褐色土層　5層より明るい、黒褐色土やや多量、1㎜ロームブロックやや多量、焼土粒少量
9　暗褐色土層　5層よりやや暗い、明暗褐色土やや多量、1㎝ロームブロック少量、、焼土粒少量、炭化物少量
10　明暗褐色土層　暗褐色土少量、5～10㎜ロームブロックやや多量、炭化物少量、しまりあり



14号住焼土

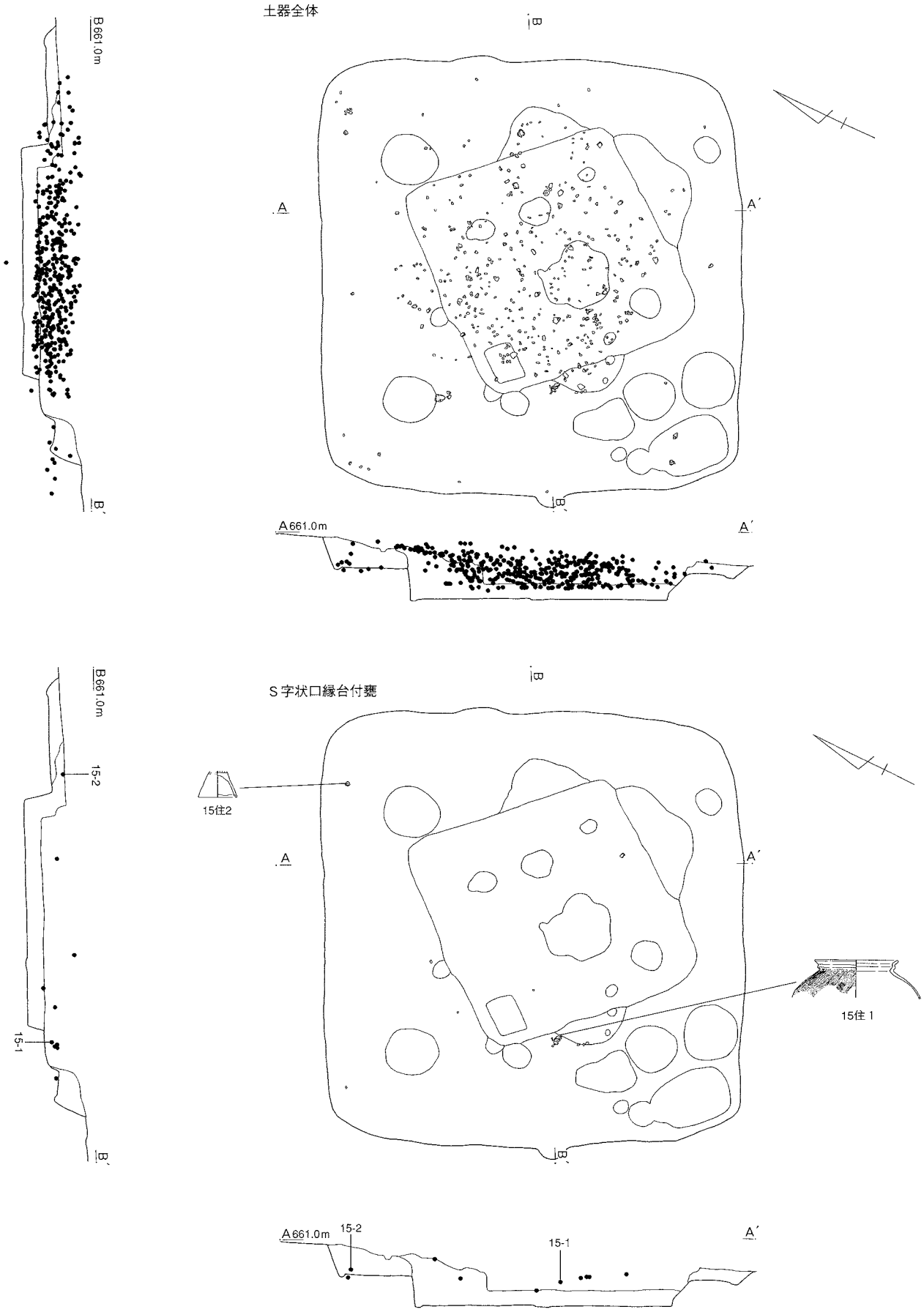
1　赤褐色土層　焼土

11　暗褐色土層　8層より明るい、褐色土少量、5㎜～2㎝ロームブロックやや多量、炭化物少量、焼土粒やや多量、しまりあり
12　明暗褐色土層　褐色土少量
13　褐色土層　1～3㎝ロームブロック多量、炭化物少量、しまりあり
14　明暗褐色土層　褐色土少量、5㎜ロームブロック少量、炭化物少量、
15　褐色土層　明暗褐色土やや多量、5㎜ロームブロック少量
16　明暗褐色土層　褐色土少量、5㎜ロームブロック少量
17　暗褐色土層　根の痕
18　暗褐色土層
19　明暗褐色土層　褐色土少量
20　灰褐色土層　明暗褐色土少量
21　褐色土層　暗褐色土少量、2～5㎝ロームブロック多量、炭化物少量
22　明暗褐色土層　褐色土少量、1～2㎝ロームブロック少量、
23　明暗褐色土層　22層より明るい、1～10㎝ロームブロック多量、炭化物少量

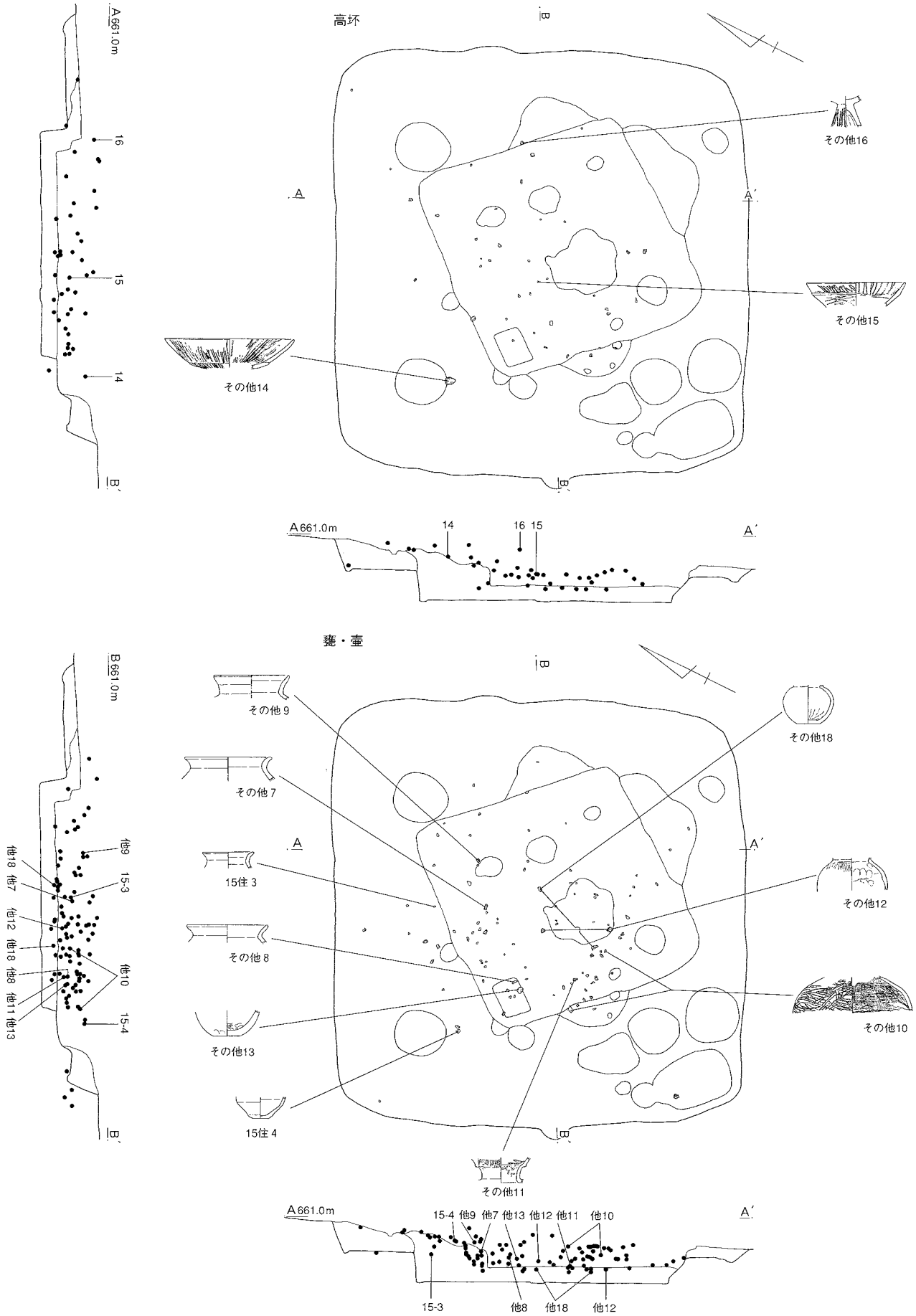
10・14・15号住居跡セクション（東西）

1　明暗褐色土層　黒褐色土やや多量、1～5㎜ロームブロックやや多量、褐色土少量
2　黒褐色土層　明暗褐色土少量、1㎜ロームブロック少量、炭化物少量
3　暗褐色土層　1㎜ロームブロックやや多量、明暗褐色土少量、炭化物少量
4　暗褐色土層　黒褐色土少量、1㎜ロームブロック少量、1㎜ロームブロック若干、炭化物若干
5　暗褐色土層　1㎜ロームブロックやや多量、明暗褐色土少量、炭化物少量、4・6層より明るい
6　暗褐色土層　4層よりやや暗い、明暗褐色土やや多量、1㎜ロームブロック少量、炭化物少量、焼土粒少量
7　暗褐色土層　1～5㎜ロームブロック多量、炭化物少量、6層より暗い
8　暗褐色土層　1㎜ロームブロック多量、2㎝ロームブロック若干
9　明暗褐色土層　暗褐色土やや多量、5㎜ロームブロック少量、1㎝ロームブロック若干
10　暗褐色土層　8・11層より明るい、5㎜ロームブロック少量、1㎜ロームブロックやや多量、
11　暗褐色土層　8・6層より暗い、1～5㎜ロームブロック多量、明暗褐色土やや多量
12　明暗褐色土層　5㎜ロームブロック少量、1㎝ロームブロック若干
13　明暗褐色土層　褐色土やや多量、1㎜ロームブロック少量
14　褐色土層　明暗褐色土やや多量、1㎜ロームブロック少量、1㎝ロームブロック少量
15　明暗褐色土層　5㎜ロームブロックやや多量
16　褐色土層　14層より暗い、明暗褐色土少量、5㎜～1㎝ロームブロック多量
17　褐色土層　1㎝ロームブロック若干、ボソボソ
18　明暗褐色土層　褐色土少量、5㎜ロームブロック少量
19　明暗褐色土層　褐色土やや多量、5㎜ロームブロック少量、炭化物少量
20　暗褐色土層　5・6・11層より明るい、8層より暗い、褐色土少量、1㎜ロームブロックやや多量
21　暗褐色土層　11層より明るい、1㎝ロームブロックやや多量、炭化物少量
22　明暗褐色土層　5～10㎜ロームブロック多量、炭化物多量、焼土粒やや多量
23　明暗褐色土層　明るい、1～5㎝ロームブロック多量、炭化物多量
24　褐色土層　暗褐色土少量、1㎝ロームブロック多量
25　暗褐色土層　1㎝ロームブロックやや多量、炭化物極めて多量、焼土粒多量
26　褐色土層　暗褐色土少量、2～5㎝ロームブロック多量、炭化物少量
27　暗褐色土層　5㎜ロームブロック少量
28　明暗褐色土層　22層より明るい、1㎝ロームブロック多量、炭化物多量、焼土粒多量

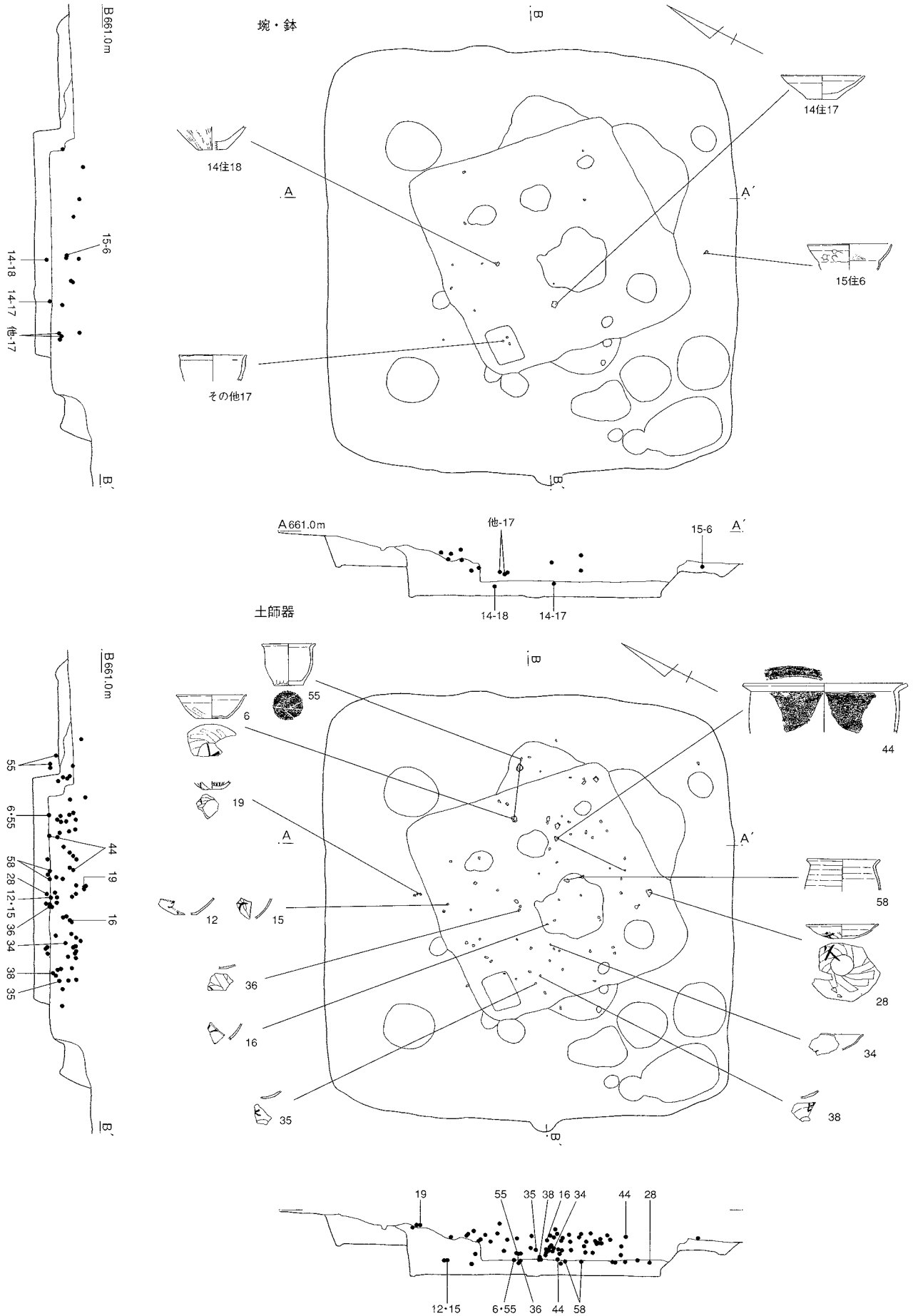
第32図　A区14・15号住居跡



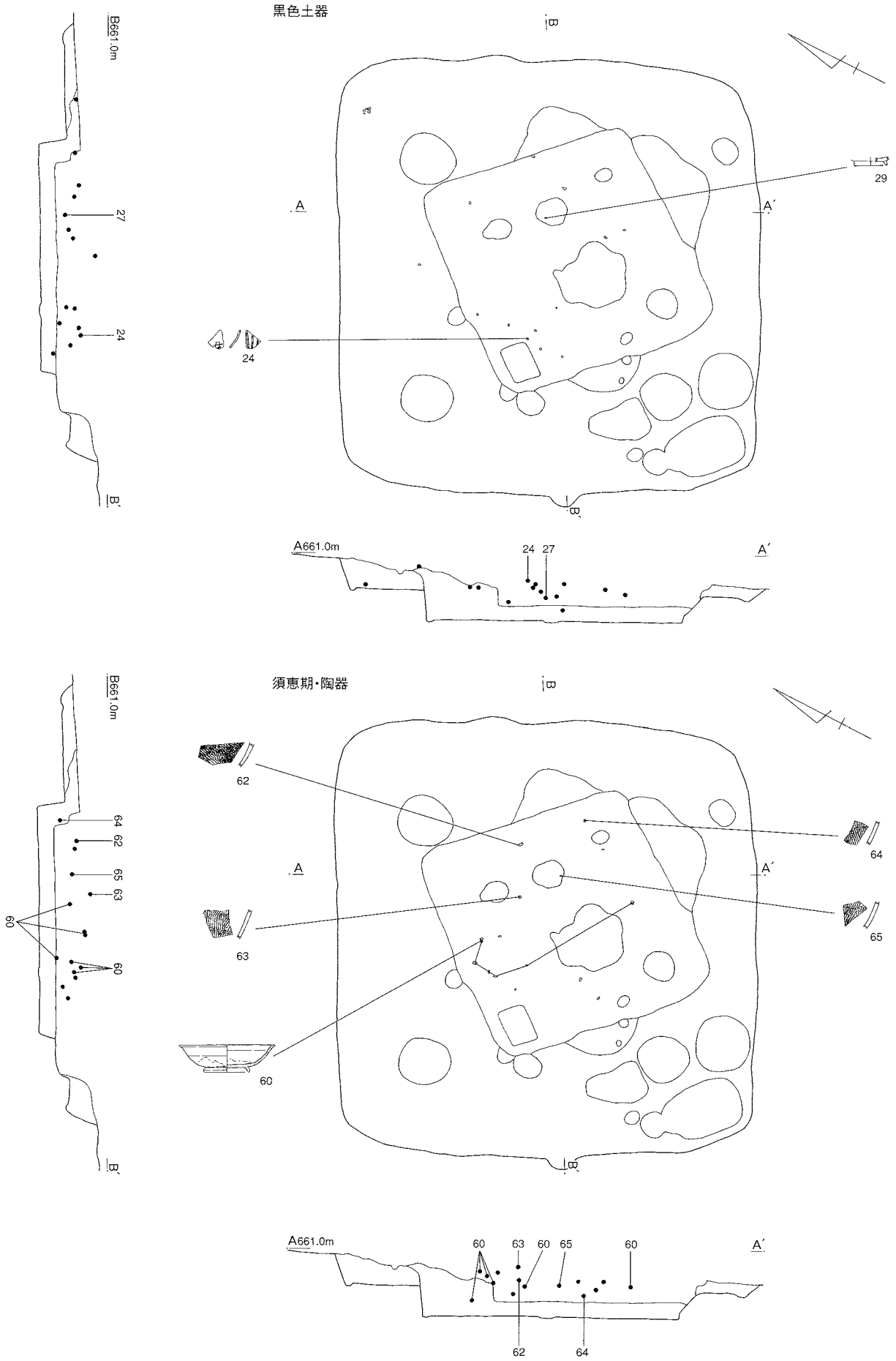
第33図　A区10・14・15号住居跡遺物出土状況（上：土器全体、下：S字甕）



第34図　A区10・14・15号住居跡遺物出土状況（上：高坏、下：壷・甕）

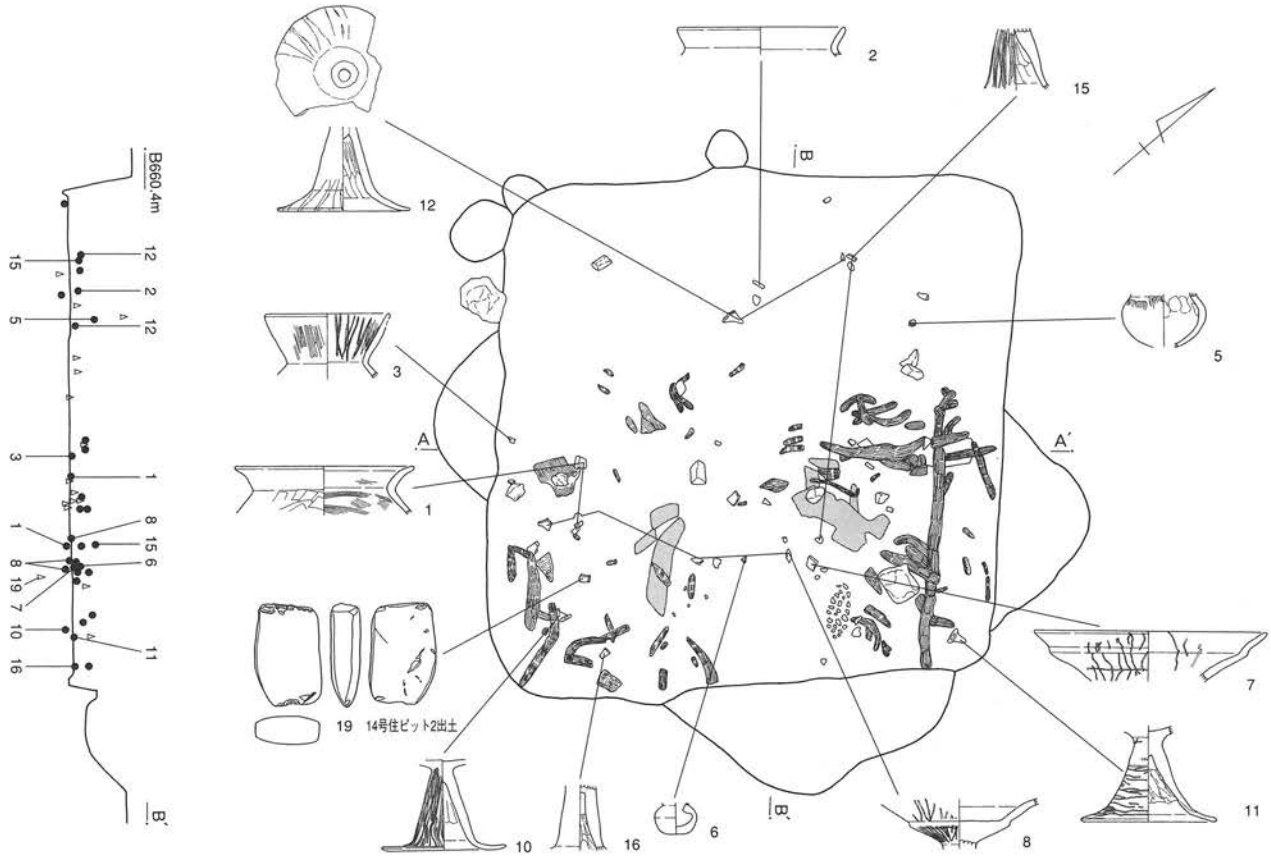


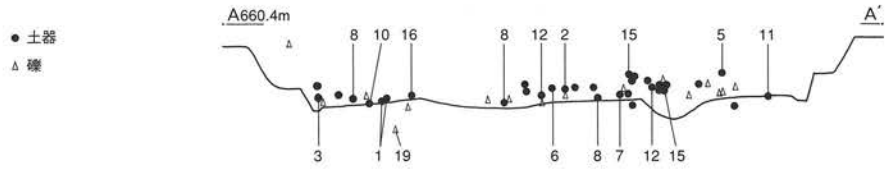
第35図　A区10・14・15号住居跡遺物出土状況（上：碗・鉢、下：土師器）

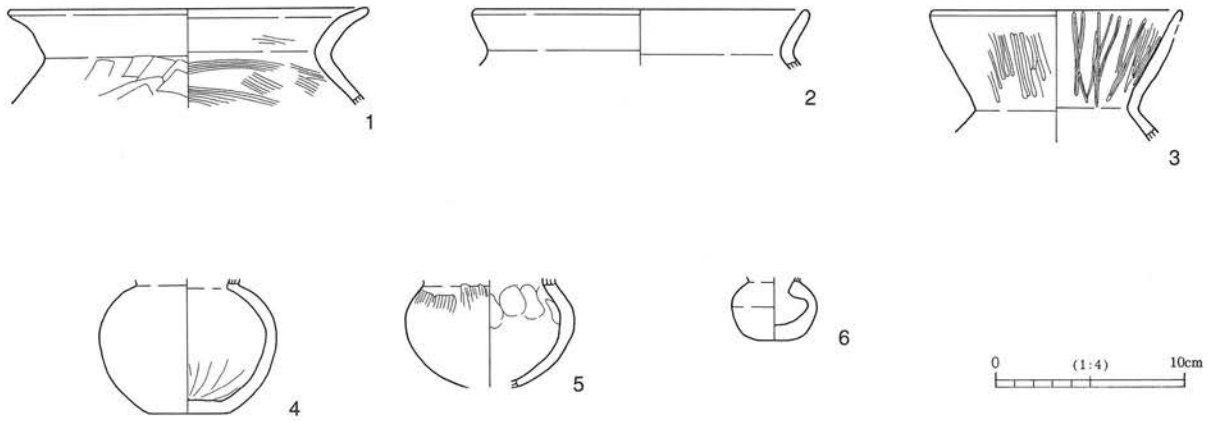


第36図　A区10・14・15号住居跡遺物出土状況（上：黒色土器、下：須恵器・陶器）

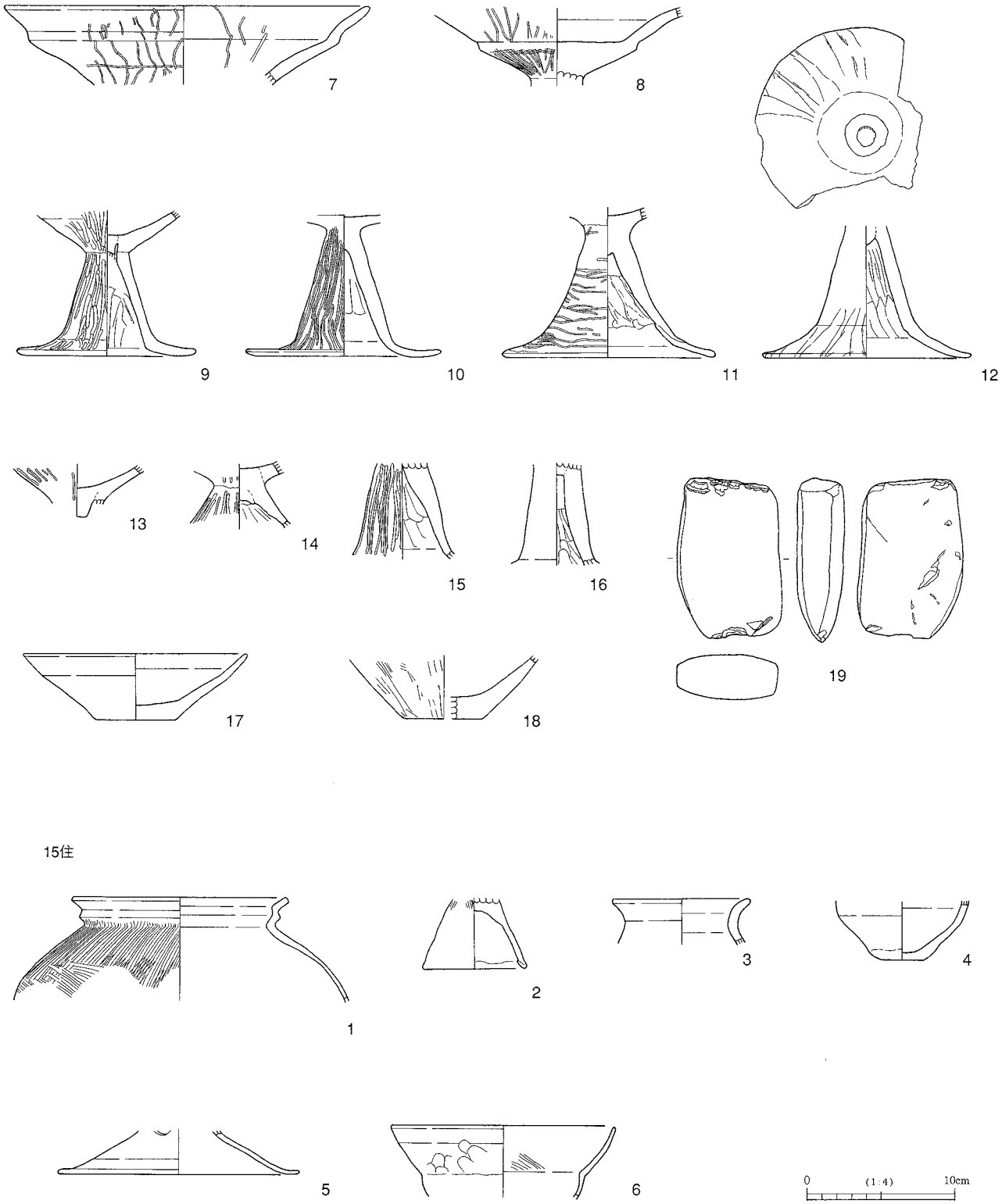
14号住　遺物出土状況



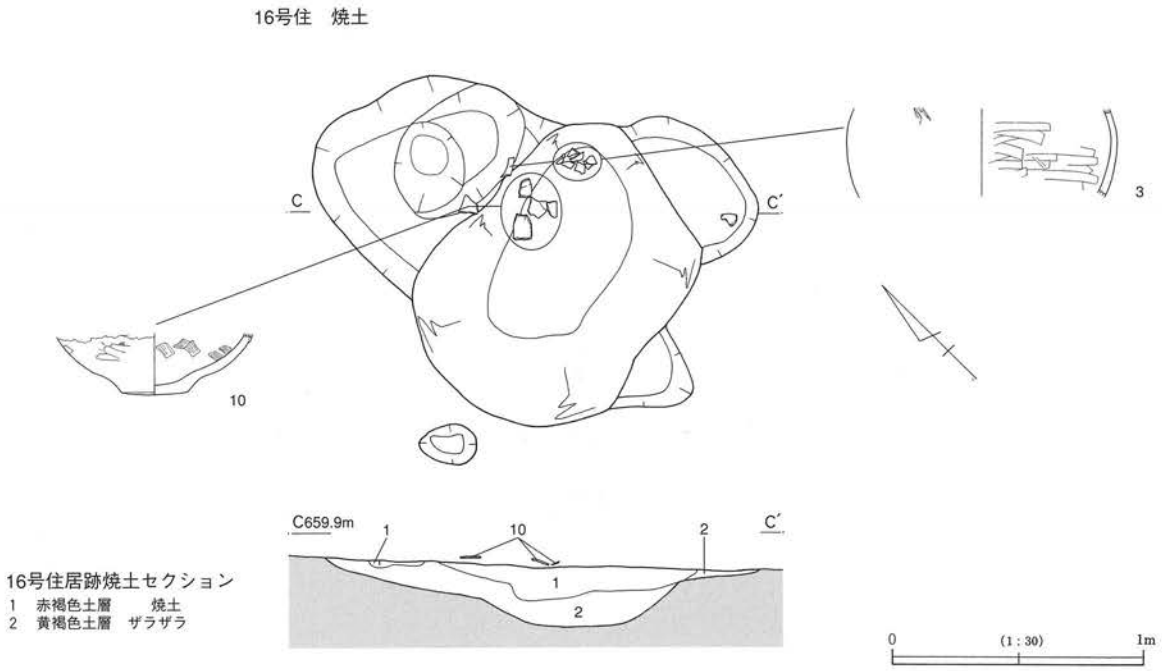




第37図　A区14号住居跡遺物出土状況、出土土器

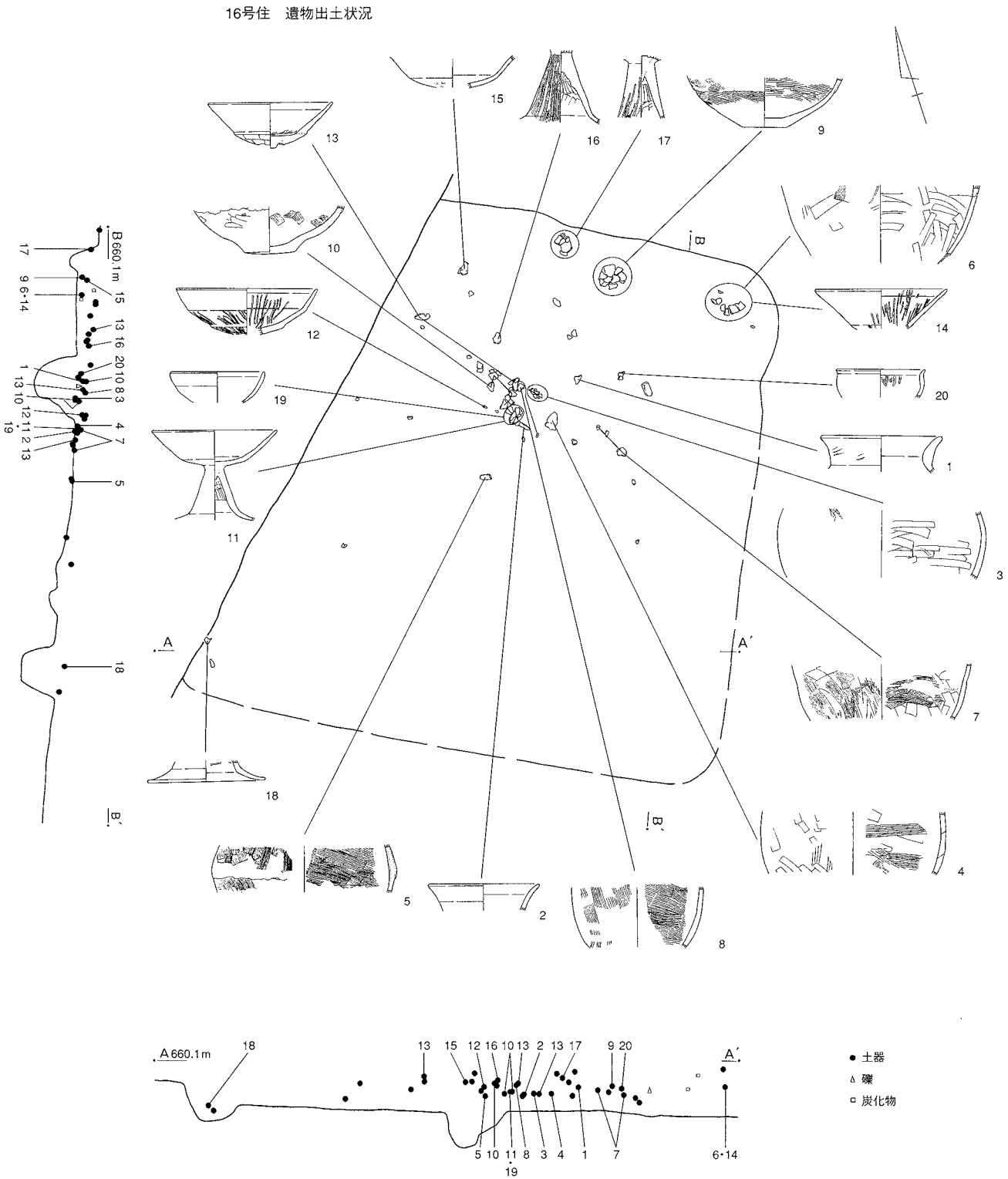


第38図　A区14号住居跡出土土器・石器、15号住居跡出土土器

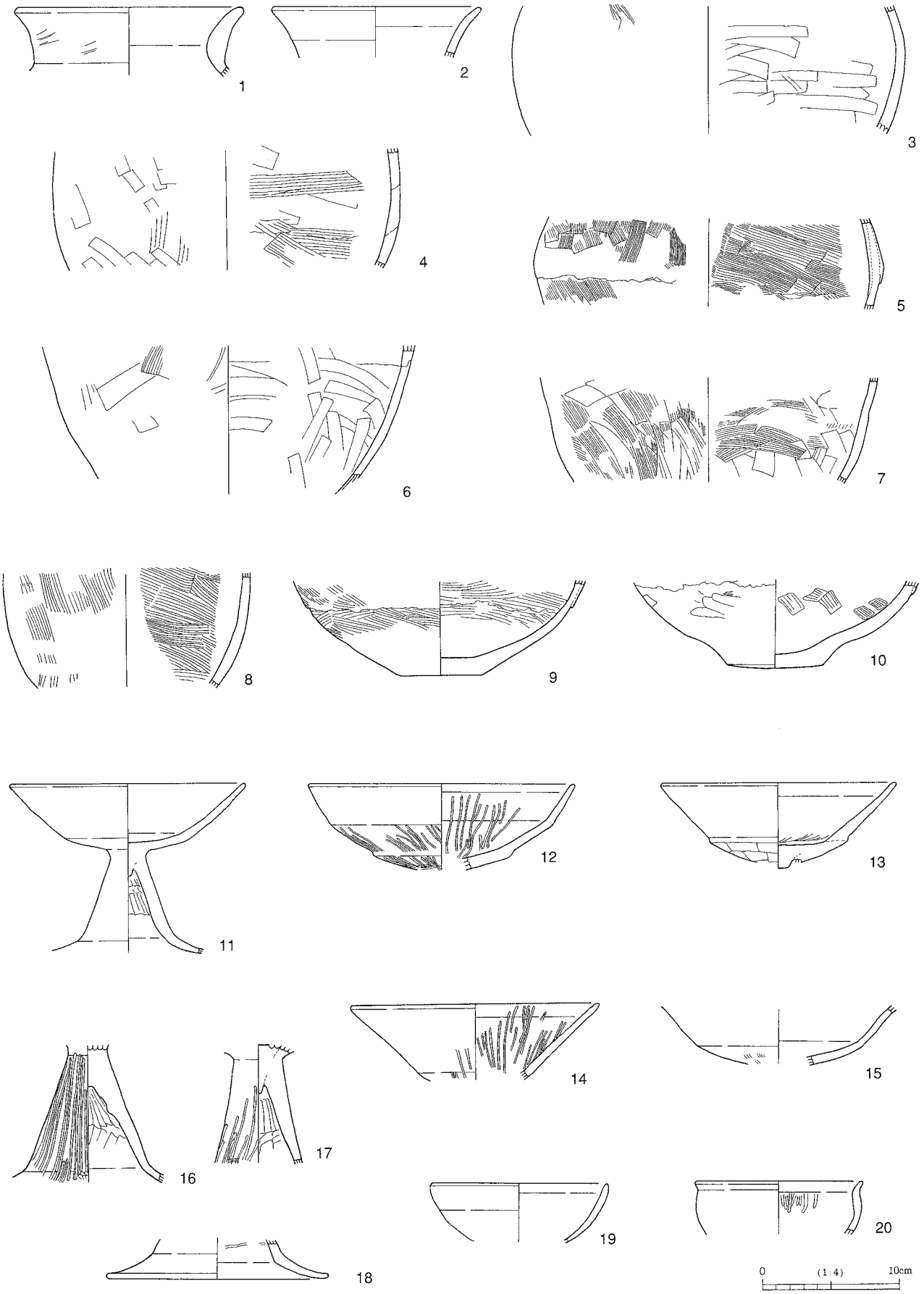


16号住居跡焼土セクション
1　赤褐色土層　　焼土
2　黄褐色土層　ザラザラ

第39図　A区16号住居跡



第40図　A区16号住居跡遺物出土状況



第41図　A区16号住居跡出土土器

1号溝・1号竪穴

7号土坑

A663.8m

1溝

1竪

A664.1m

1号溝③・1号竪穴

B663.8m

1　明暗褐色土層　表土、褐色土・暗褐色土多量
2　暗褐色土層　褐色土少量
3　暗褐色土層　2層より暗い、褐色土少量、1㎜ロームブロック若干、炭化物若干
4　暗褐色土層　3層よりやや明るい、褐色土少量、1㎜ロームブロック若干
5　明暗褐色土層　褐色土少量、1㎜ロームブロック少量
6　明暗褐色土層　5層より暗い、暗褐色土少量、1㎜ロームブロック少量
7　明暗褐色土層　5層より明るい、褐色土多量
8　暗褐色土層　明暗褐色土やや多量、1㎝ロームブロック少量
9　明暗褐色土層　褐色土・暗褐色土少量
10　明暗褐色土層　9層より暗い、暗褐色土やや多量、1㎜ロームブロック多量、1㎝ロームブロック少量
12　褐色土層　明暗褐色土やや多量、1㎝ロームブロック多量

平安住居出土の古墳時代土器

8号住出土

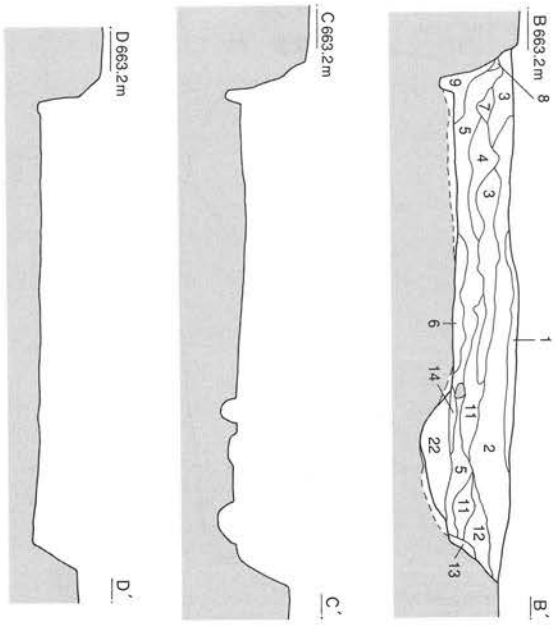
10号住出土

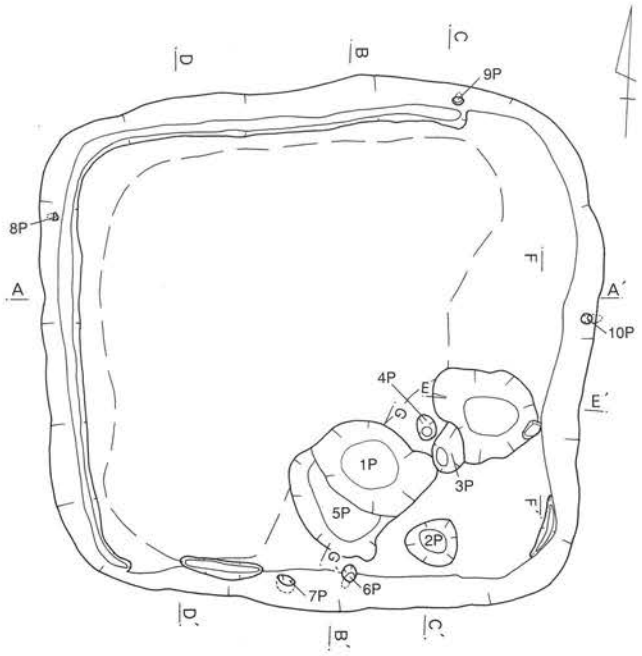
12号住出土

13号住出土

第42図　A区1号竪穴、7号土坑、出土土器、遺構外出土土器

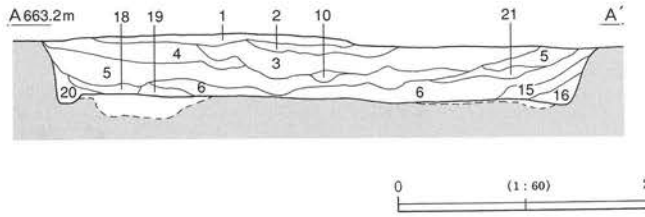
5号住



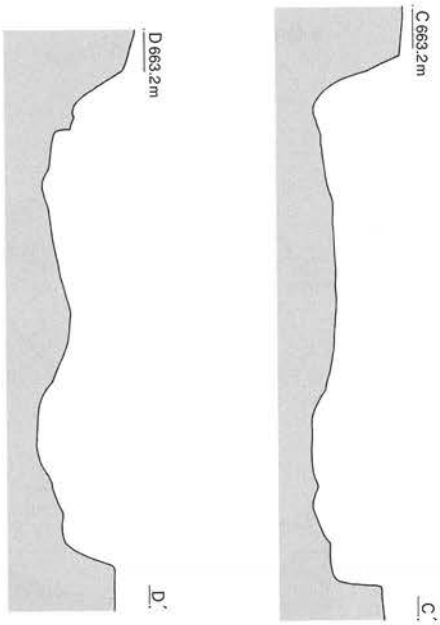


5号住居跡セクション

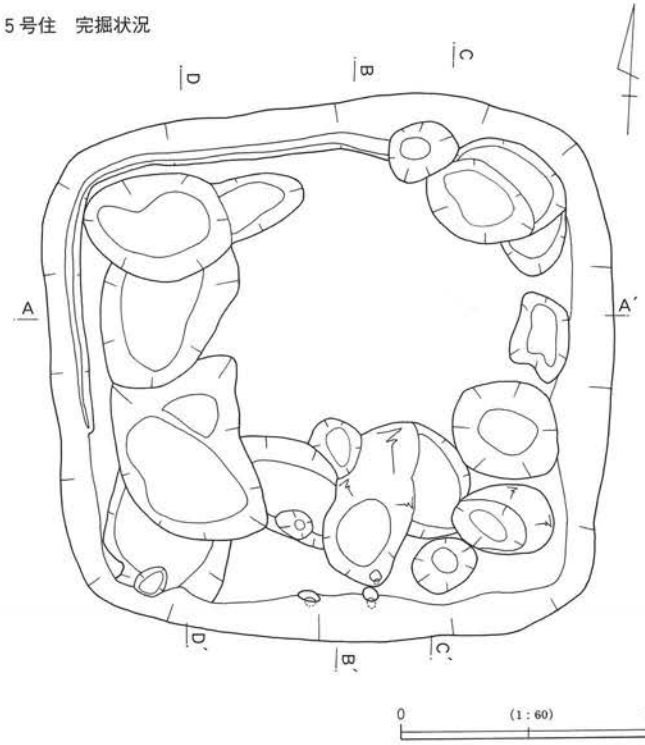
1　明暗褐色土層　1㎜ロームブロック少量
2　暗褐色土層　1㎜ロームブロック多量、1㎝ロームブロック若干、炭化物多量
3　暗褐色土層　2層より暗い、褐色土少量、1㎜ロームブロック多量、1㎝ロームブロック少量、炭化物やや多量
4　明暗褐色土層　褐色土多量、暗褐色土少量、5㎜ロームブロックやや多量
5　暗褐色土層　3層より暗い、5㎜ロームブロック少量、炭化物少量
6　暗褐色土層　5層より明るい、褐色土多量、1㎜ロームブロック少量
7　黒褐色土層　褐色土若干
8　黄褐色土層
9　明暗褐色土層　1㎝ロームブロックやや多量、炭化物少量
10　褐色土層　暗褐色土少量、5㎜ロームブロック少量、炭化物若干
11　暗褐色土層　1㎜ロームブロックやや多量、5㎜ロームブロック少量、炭化物少量
12　暗褐色土層　3・11層より暗い、1㎜ロームブロックやや多量、炭化物少量
13　明暗褐色土層　褐色土少量
14　明暗褐色土層　褐色土少量
15　灰褐色土層　灰褐色粘土多量、明暗褐色土多量、5㎜ロームブロック少量
16　明暗褐色土層　黒褐色土粒若干、5㎜ロームブロックやや多量
17　暗褐色土層　褐色土やや多量、黒褐色土少量、1㎜ロームブロック多量、5㎜ロームブロック少量



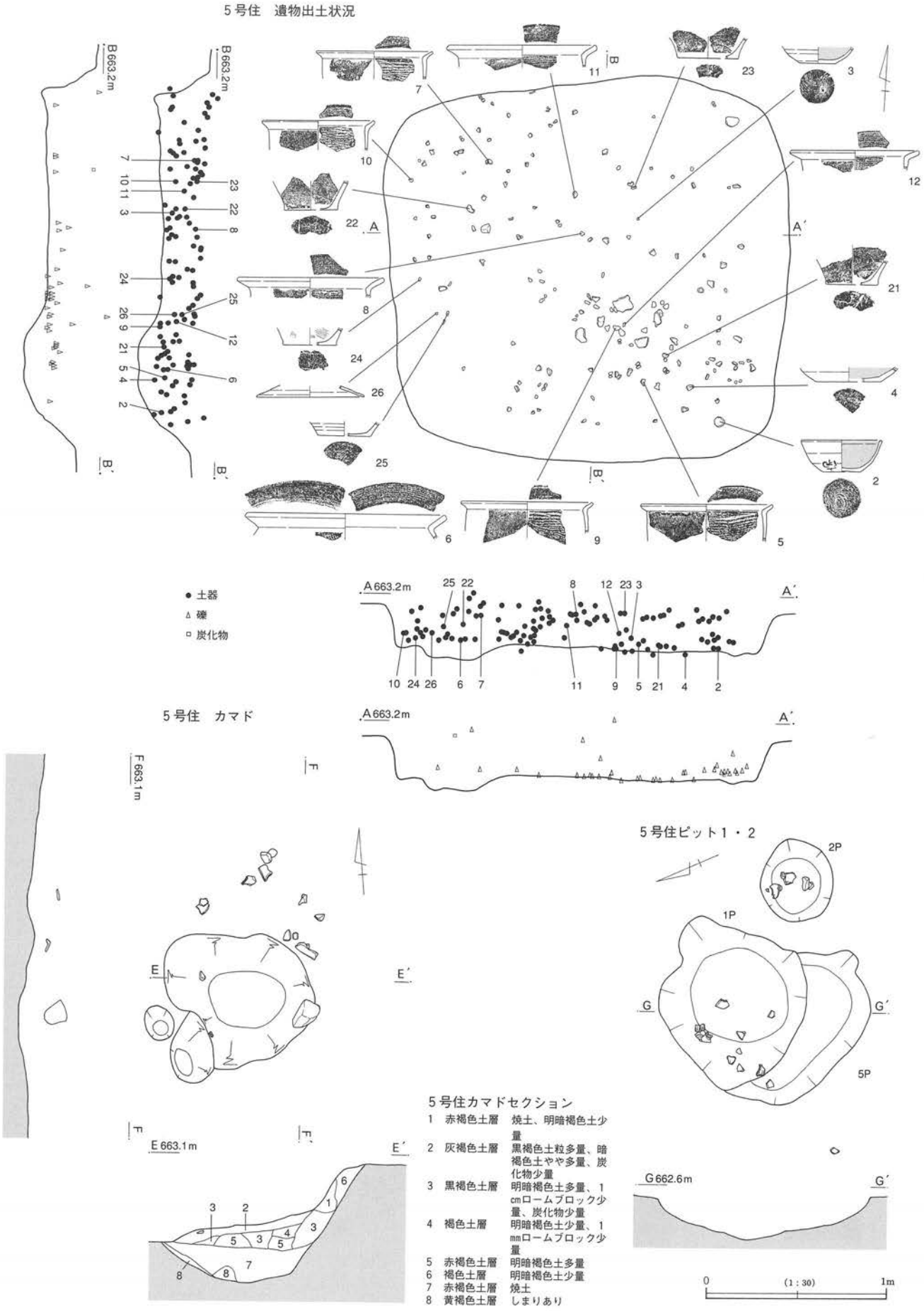
18　明暗褐色土層　褐色土やや多量
19　暗褐色土層　明暗褐色土多量、1㎜ロームブロック多量
20　明暗褐色土層　18層より暗い、褐色土少量、1㎜ロームブロックやや多量
21　明暗褐色土層　褐色土多量、1㎜ロームブロックやや多量、炭化物若干
22　暗褐色土層　5層より明るい、1㎜ロームブロックやや多量



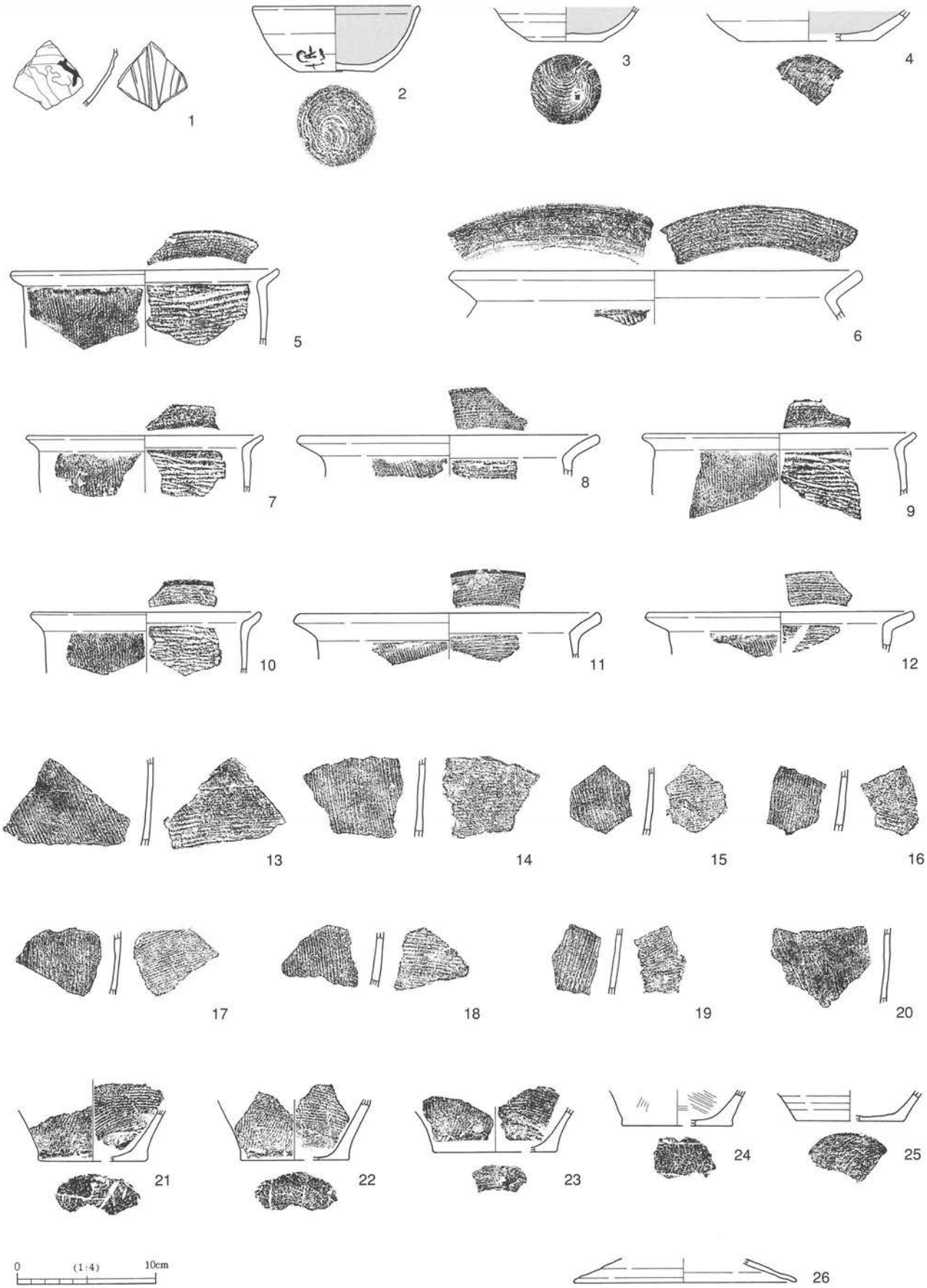
5号住　完掘状況



第43図　A区5号住居跡

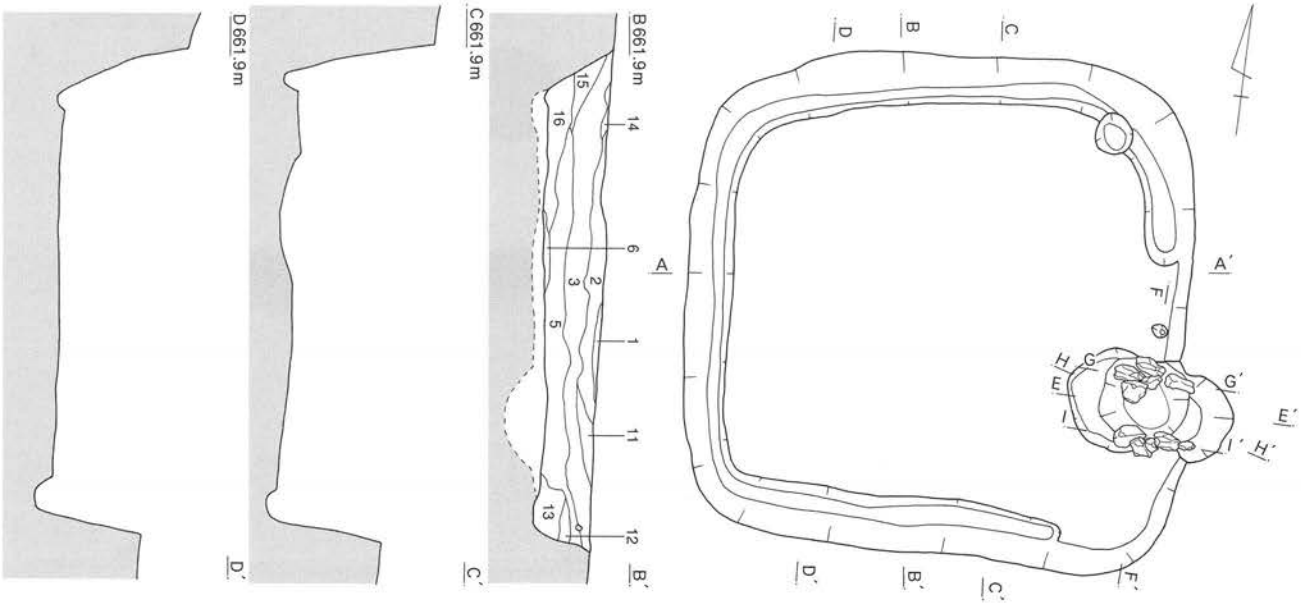


第44図　A区5号住居跡遺物出土状況



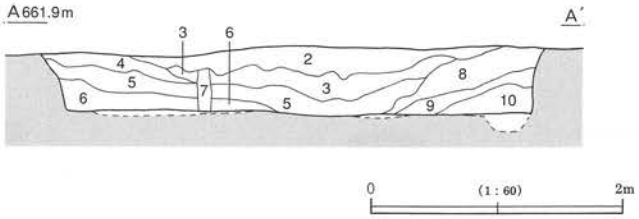
第45図　A区５号住居跡出土土器

8号住

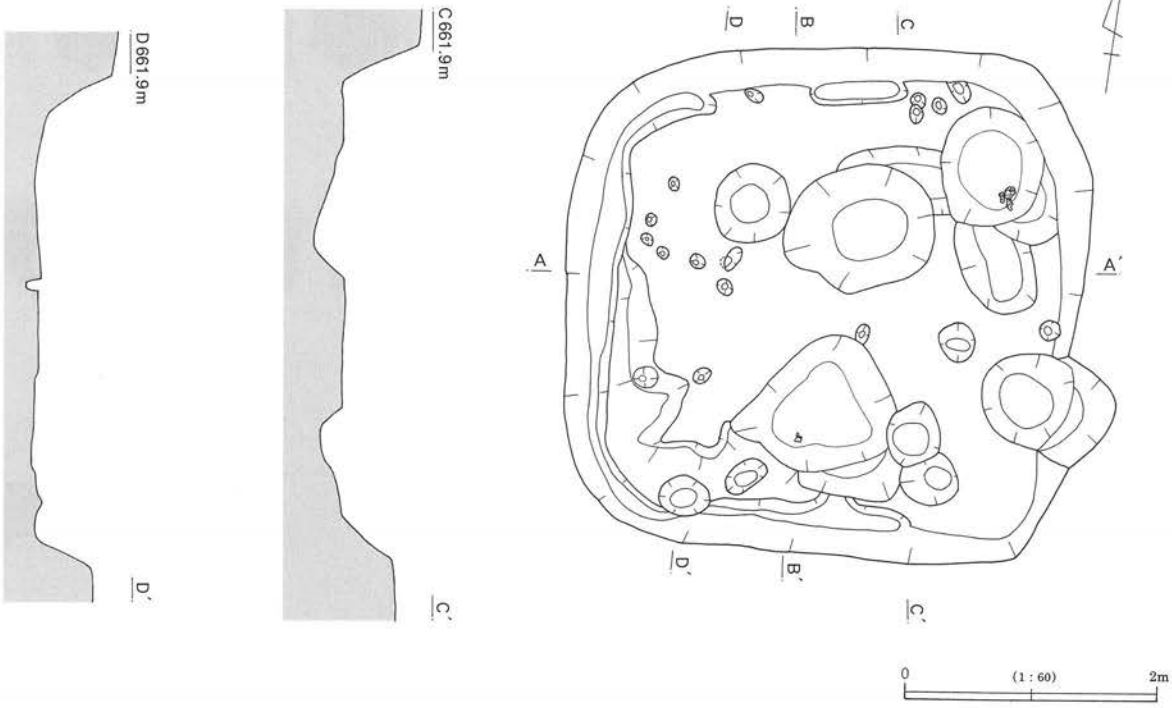


8号住居跡セクション

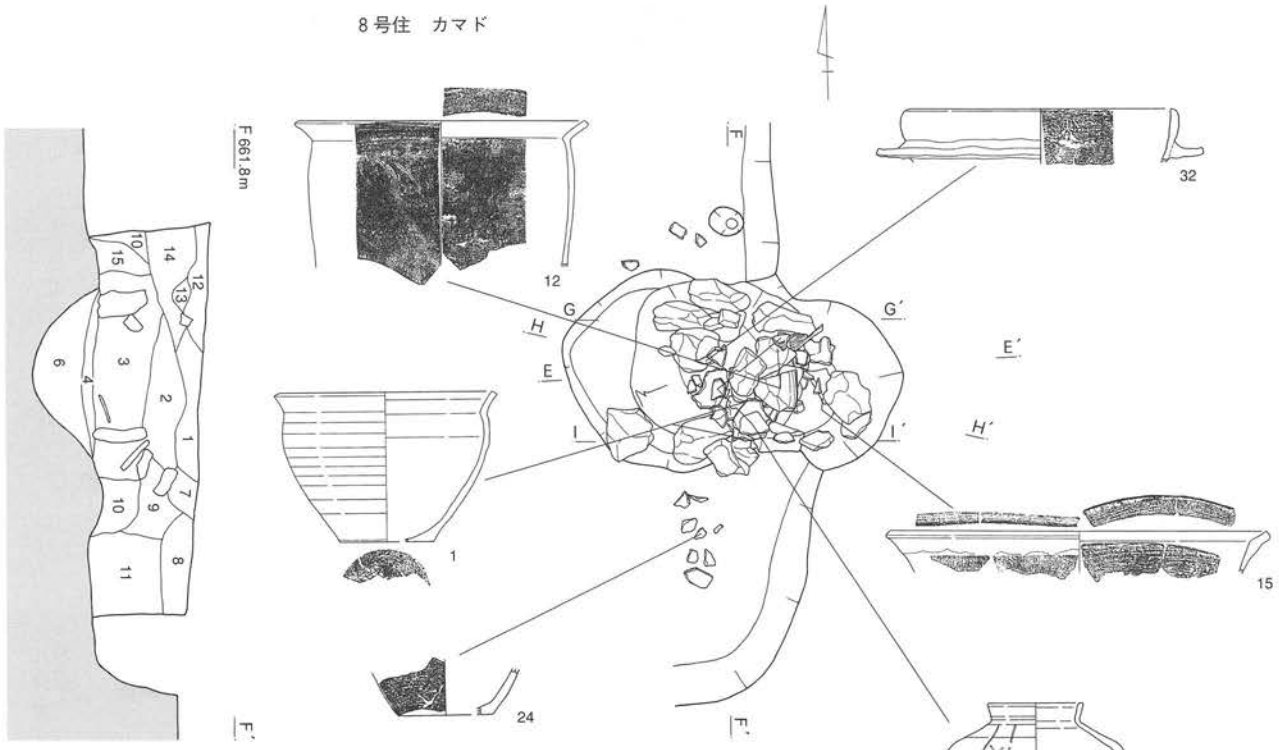
1　明暗褐色土層　1㎜ロームブロック少量
2　黒褐色土層　明暗褐色土多量、1㎜ロームブロック多量、炭化物やや多量
3　明暗褐色土層　褐色土少量、暗褐色土やや多量、1㎜ロームブロックやや多量、炭化物少量
4　明暗褐色土層　3層より明るい、暗褐色土やや多量、1㎜ロームブロックやや多量、炭化物やや多量
5　暗褐色土層　明暗褐色土やや多量、1㎜ロームブロックやや多量、炭化物やや多量
6　明暗褐色土層　褐色土・暗褐色土多量、1～5㎜ロームブロック多量、1㎝ロームブロック少量、炭化物少量
7　暗褐色土層　根の痕、ボソボソ
8　明暗褐色土層　3層より暗い、褐色土多量、1㎜ロームブロックやや多量、炭化物やや多量
9　暗褐色土層　明暗褐色土やや多量、褐色土少量、1㎝ロームブロック若干
10　明暗褐色土層　暗褐色土少量、褐色土少量、1㎜ロームブロック少量
11　暗褐色土層　褐色土少量、1㎜ロームブロック少量、炭化物少量
12　暗褐色土層　明暗褐色土多量、5㎜ロームブロック少量
13　明暗褐色土層　褐色土少量、5㎜ロームブロック少量、1㎝ロームブロック若干、炭化物少量
14　暗褐色土層　1㎜ロームブロック少量
15　明暗褐色土層　3層より明るい、暗褐色土少量、1㎜ロームブロック若干
16　暗褐色土層　5層より暗い、明暗褐色土やや多量、1㎜ロームブロックやや多量、炭化物少量



8号住　完掘状況

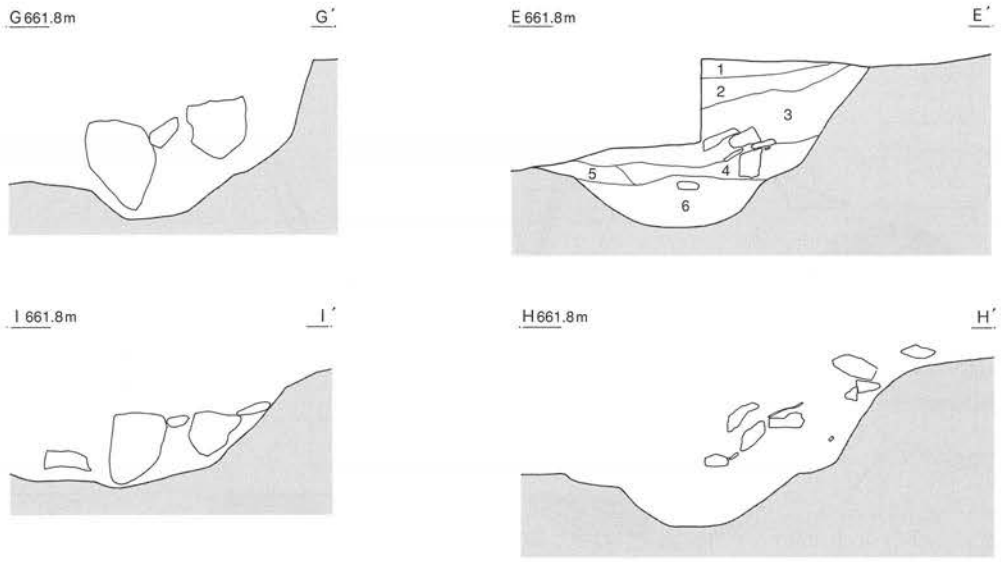


第46図　A区8号住居跡

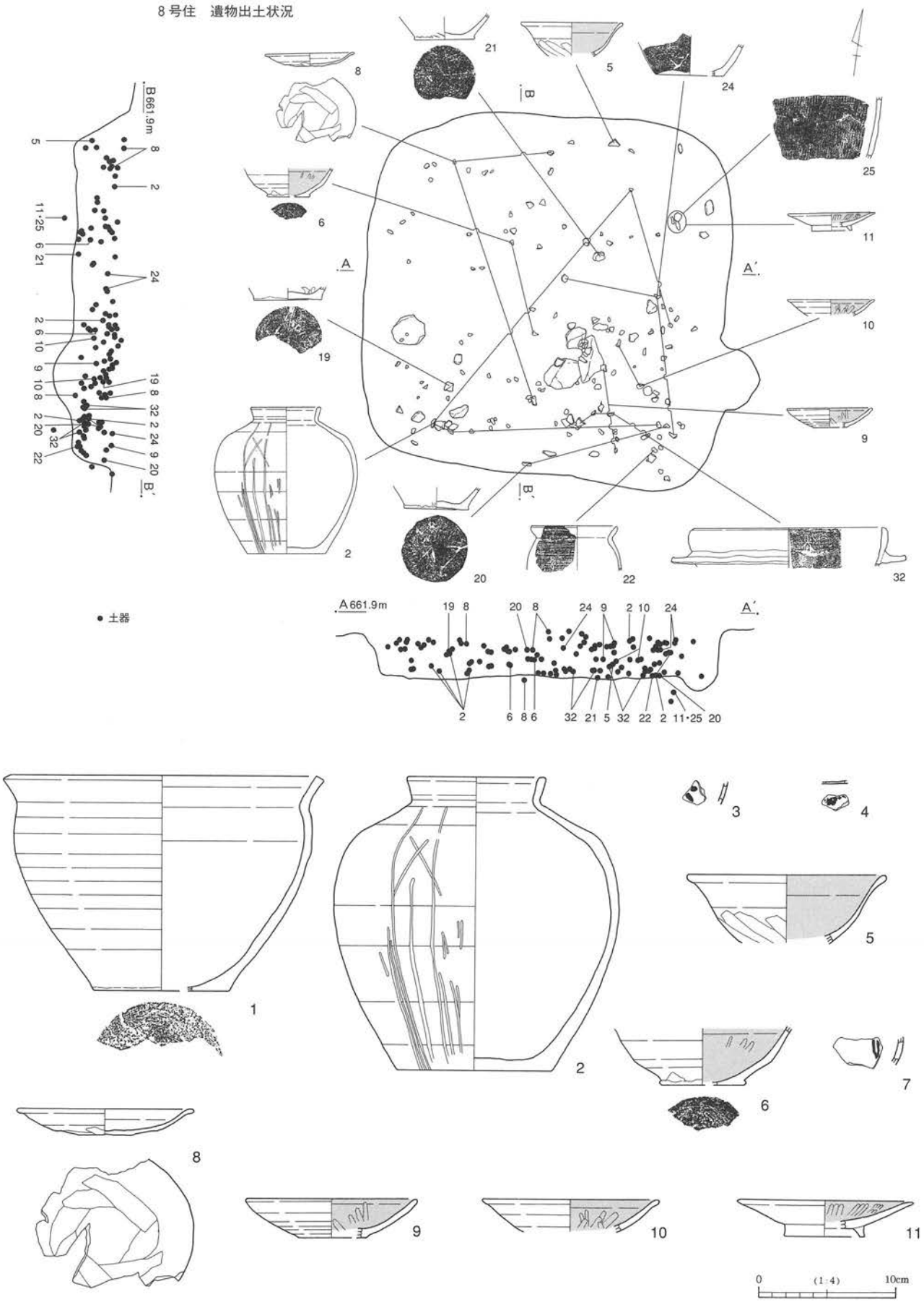


8号住居跡カマドセクション

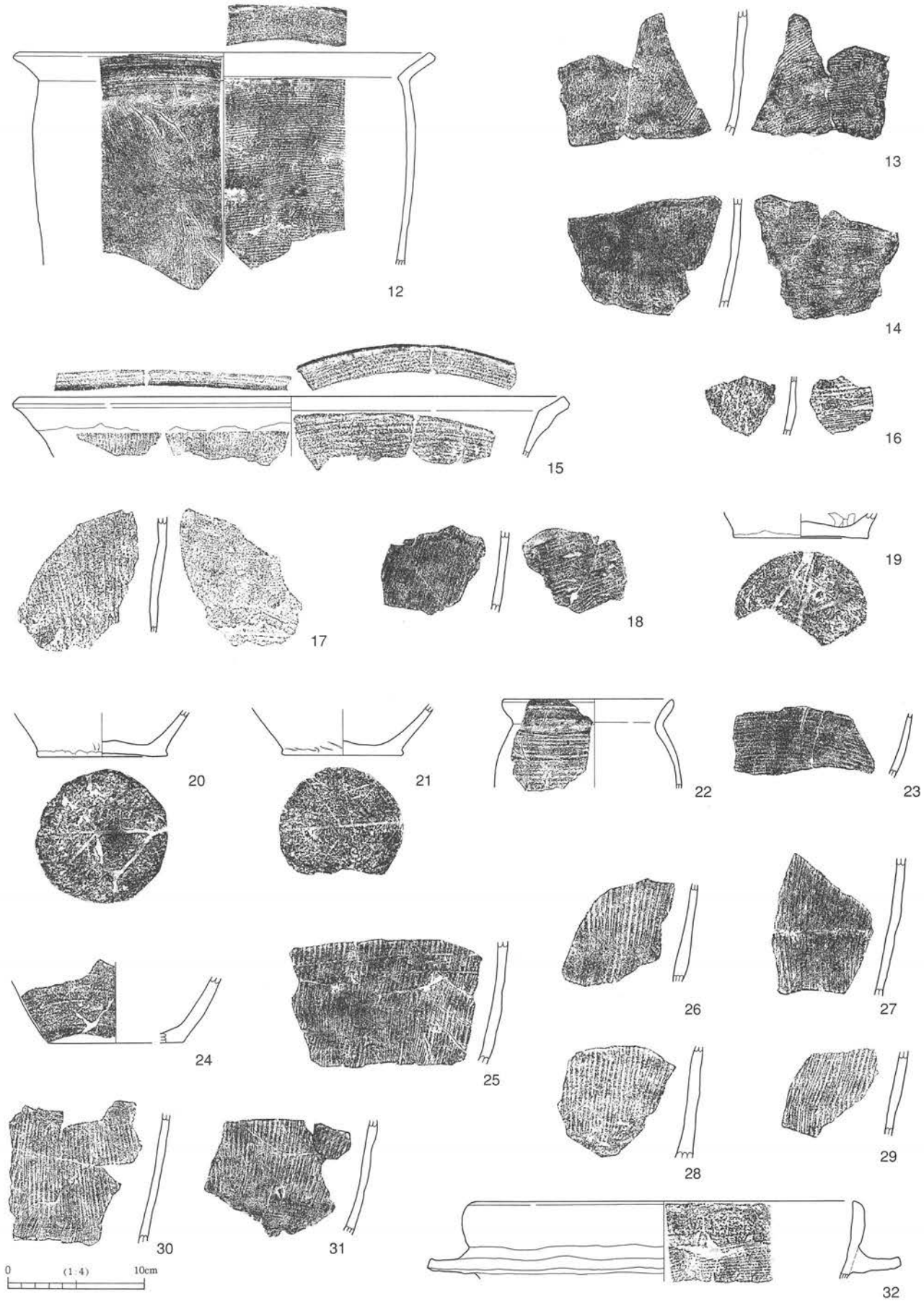
1　明暗褐色土層　1㎜ロームブロック若干
2　明暗褐色土層　5㎜ロームブロック多量、焼土粒少量
3　明暗褐色土層　2層より明るい、灰褐色土やや多量、1㎜ロームブロック少量、焼土粒多量
4　暗褐色土層　焼土粒やや多量
5　黒褐色土層　焼土粒やや多量、5㎜ロームブロック少量
6　赤褐色土層　焼土、ボソボソ
7　褐色土層　明暗褐色土やや多量
8　明暗褐色土層　5㎜ロームブロック少量、褐色土やや多量、炭化物若干
9　明暗褐色土層　8層より暗い、1㎜ロームブロック少量、5㎜ロームブロック若干
10　褐色土層　明暗褐色土やや多量
11　明暗褐色土層　8層より暗い、9層より明るい、灰褐色土若干、1㎜ロームブロックやや多量
12　暗褐色土層　褐色土少量、1㎜ロームブロック若干
13　明暗褐色土層　1㎝ロームブロック若干
14　暗褐色土層　12層より明るい
15　黄褐色土層



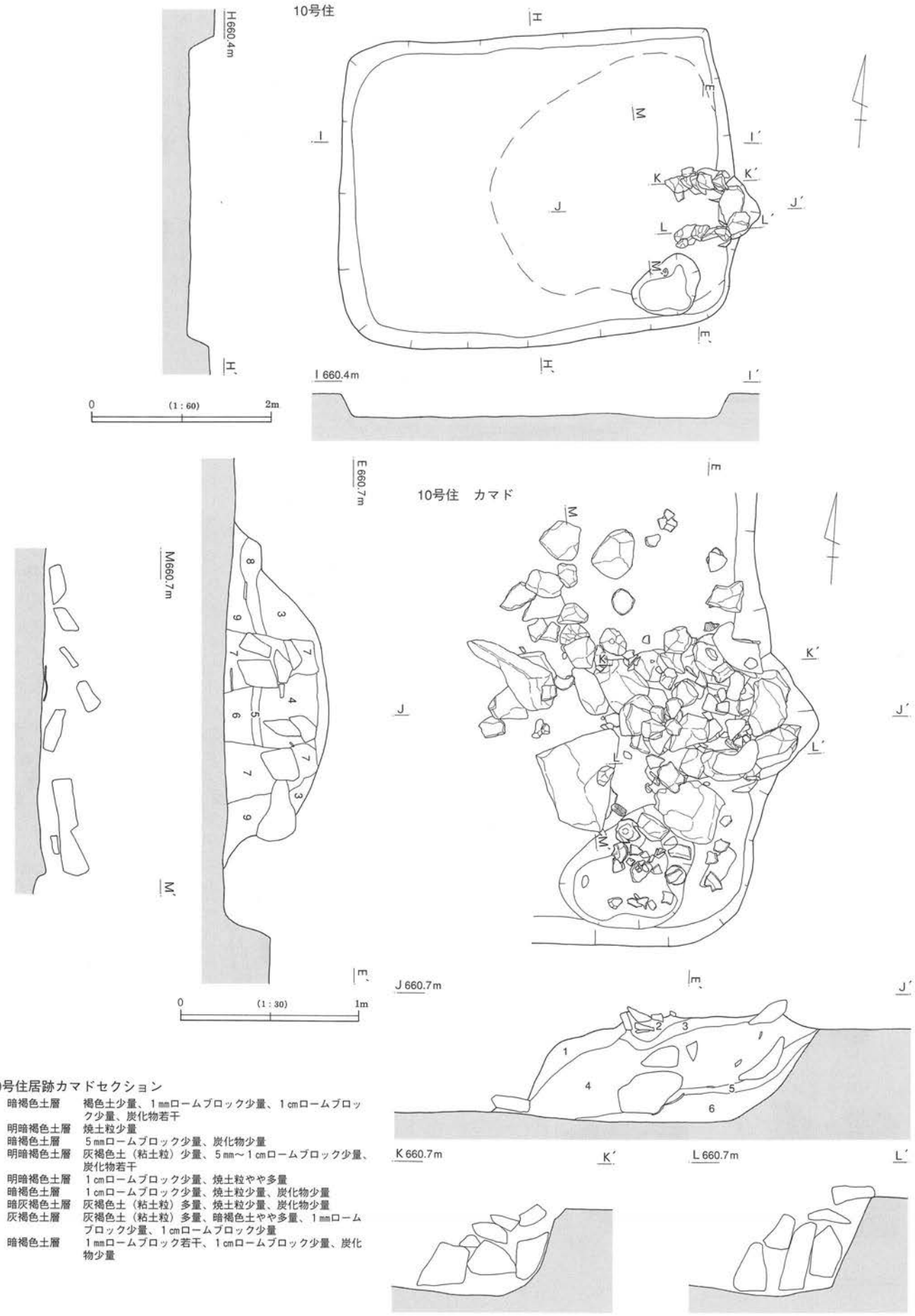
第47図　A区8号住居跡カマド遺物出土状況



第48図　A区8号住居跡遺物出土状況、出土土器①



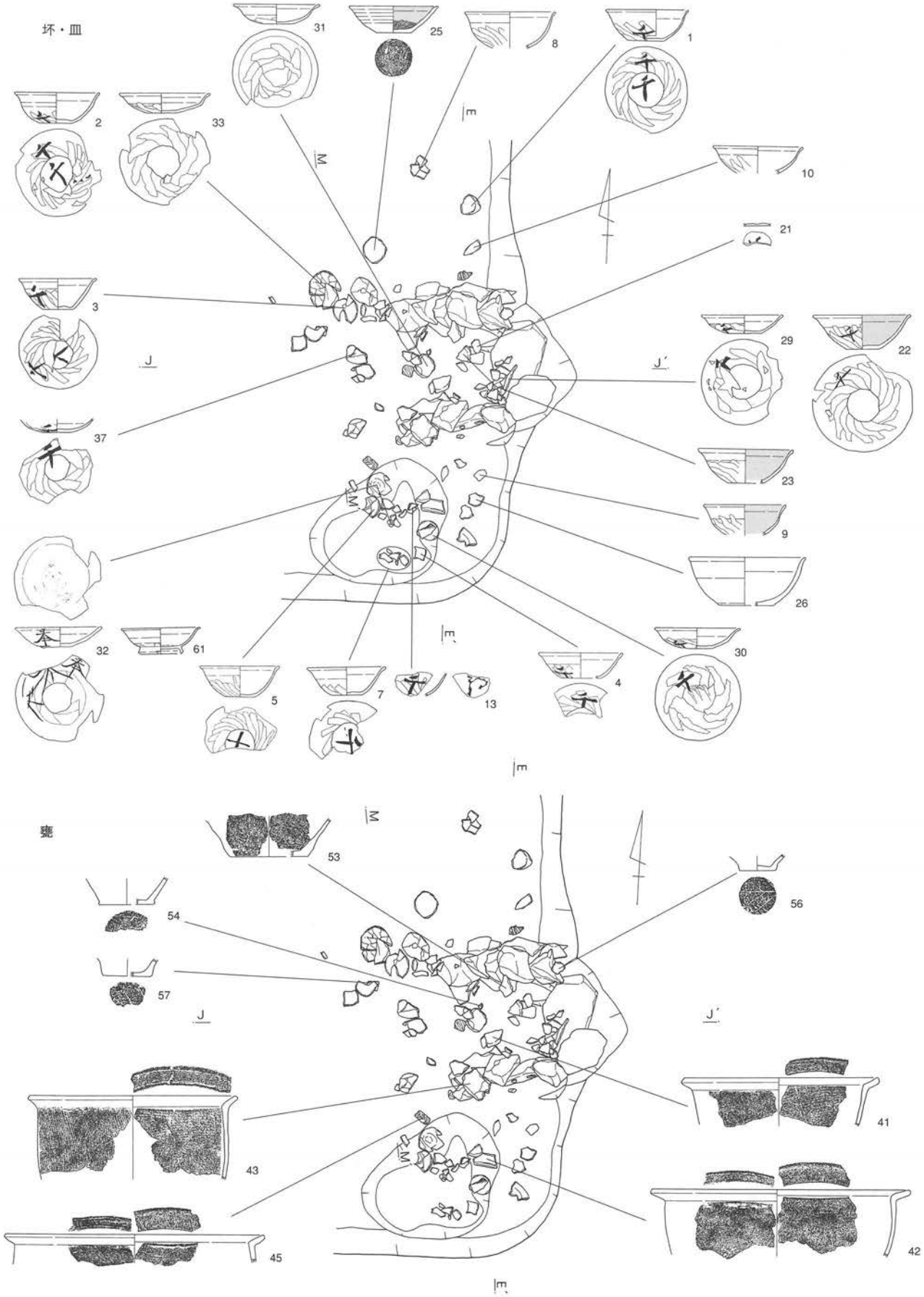
第49図　A区８号住居跡出土土器②



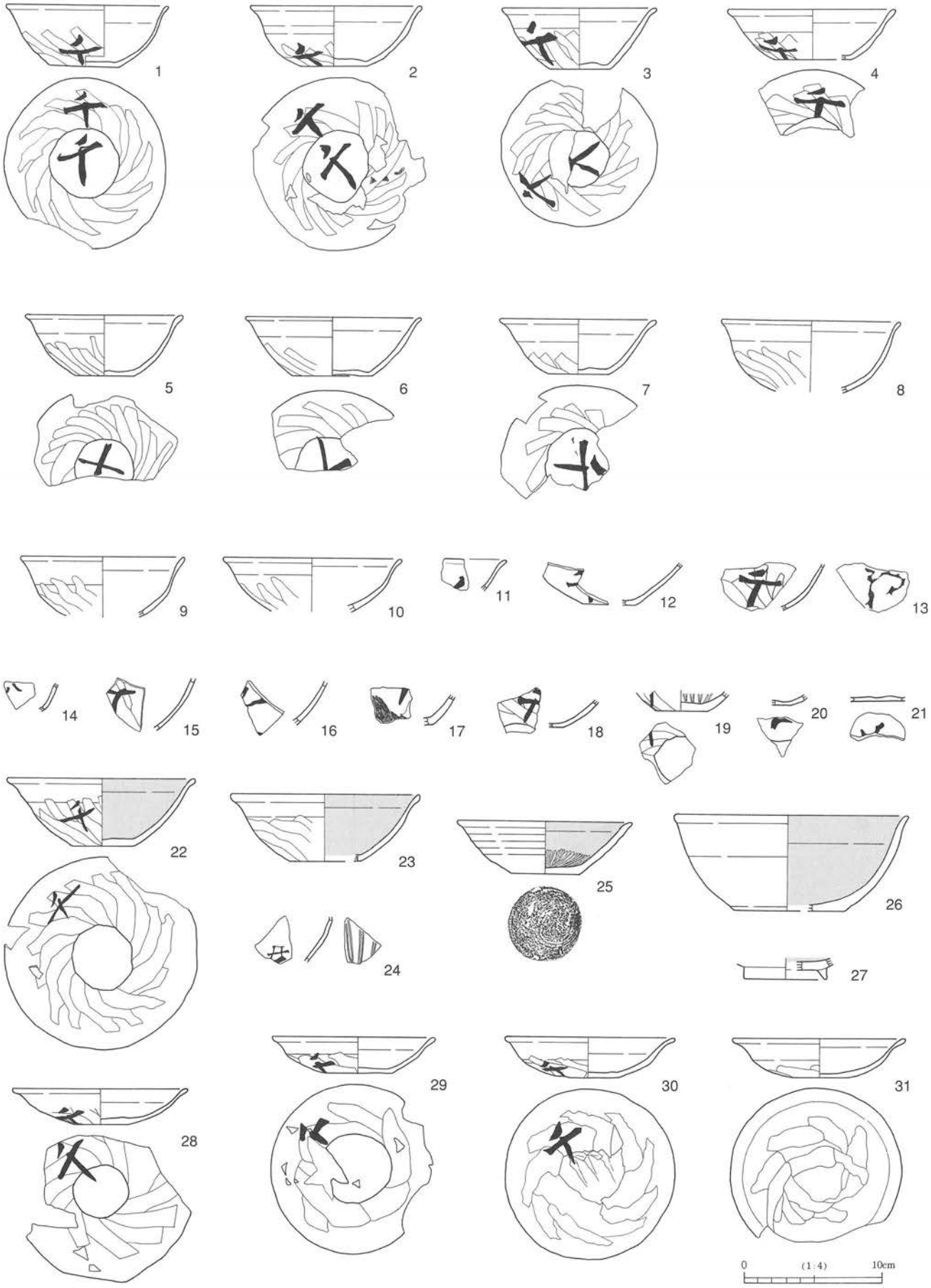
10号住居跡カマドセクション

1	暗褐色土層	褐色土少量、1㎜ロームブロック少量、1㎝ロームブロック少量、炭化物若干
2	明暗褐色土層	焼土粒少量
3	暗褐色土層	5㎜ロームブロック少量、炭化物少量
4	明暗褐色土層	灰褐色土（粘土粒）少量、5㎜～1㎝ロームブロック少量、炭化物若干
5	明暗褐色土層	1㎝ロームブロック少量、焼土粒やや多量
6	暗褐色土層	1㎝ロームブロック少量、焼土粒少量、炭化物少量
7	暗灰褐色土層	灰褐色土（粘土粒）多量、焼土粒少量、炭化物少量
8	灰褐色土層	灰褐色土（粘土粒）多量、暗褐色土やや多量、1㎜ロームブロック少量、1㎝ロームブロック少量
9	暗褐色土層	1㎜ロームブロック若干、1㎝ロームブロック少量、炭化物少量

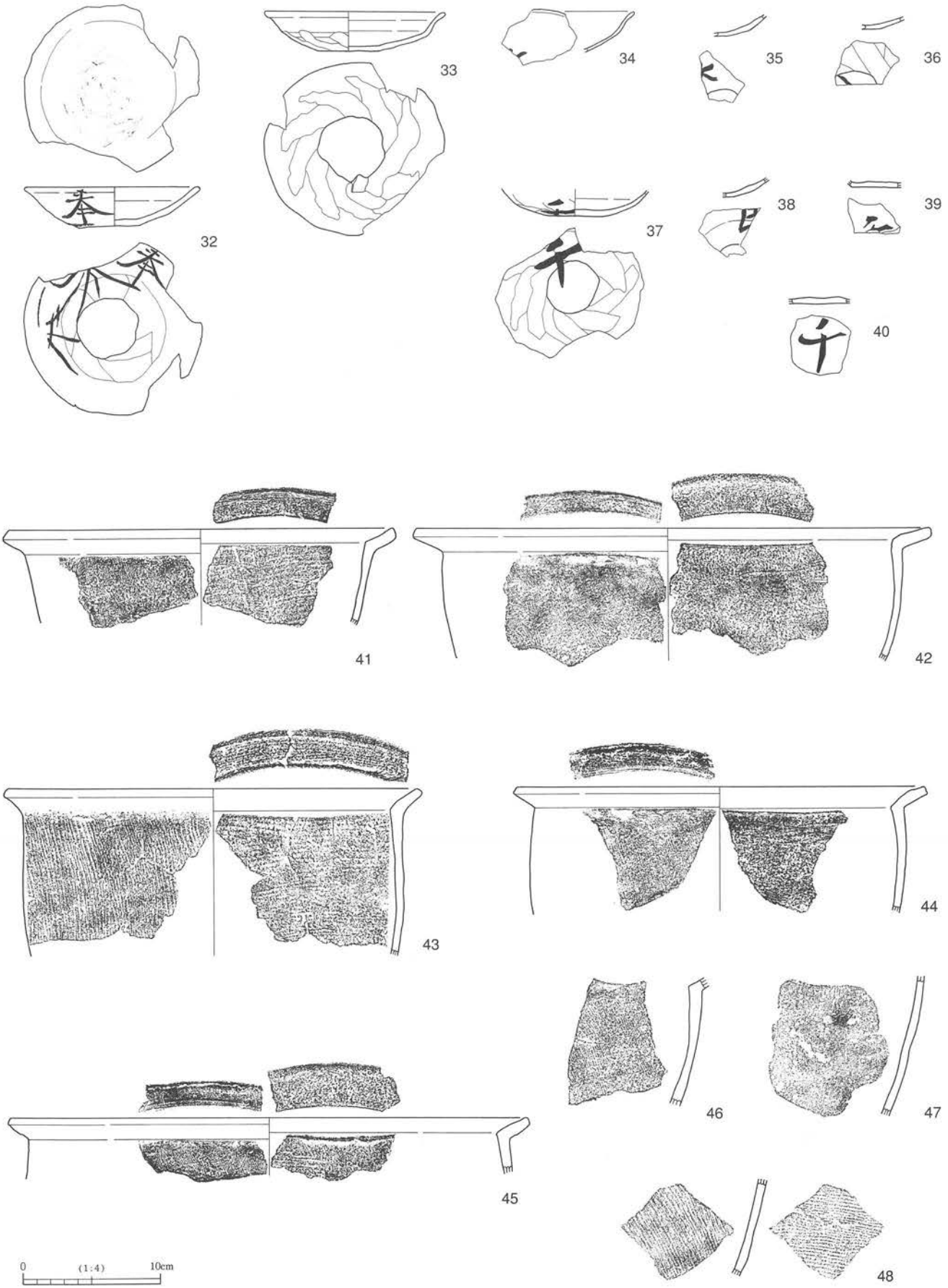
第50図　A区10号住居跡



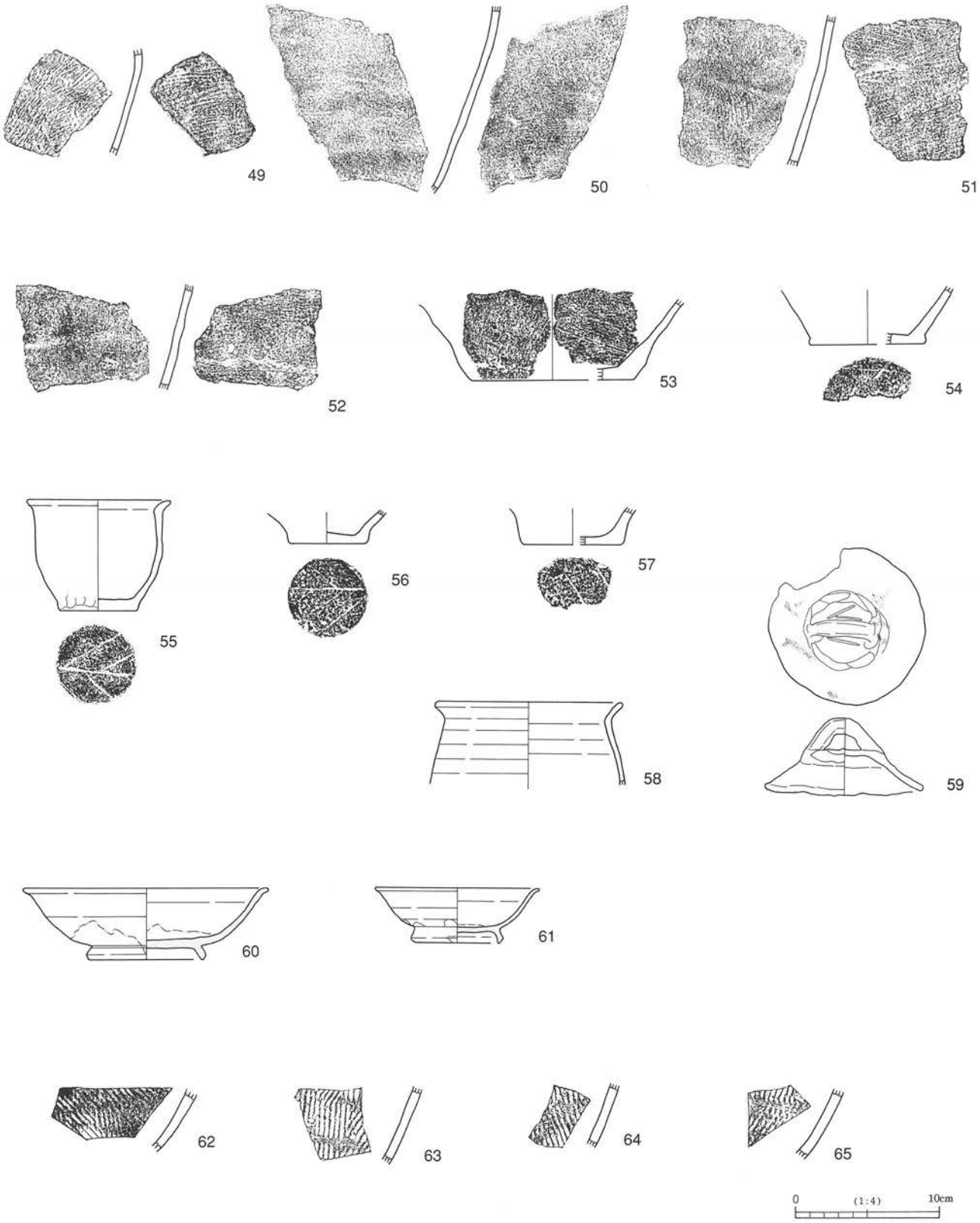
第51図　A区10号住居跡カマド遺物出土状況



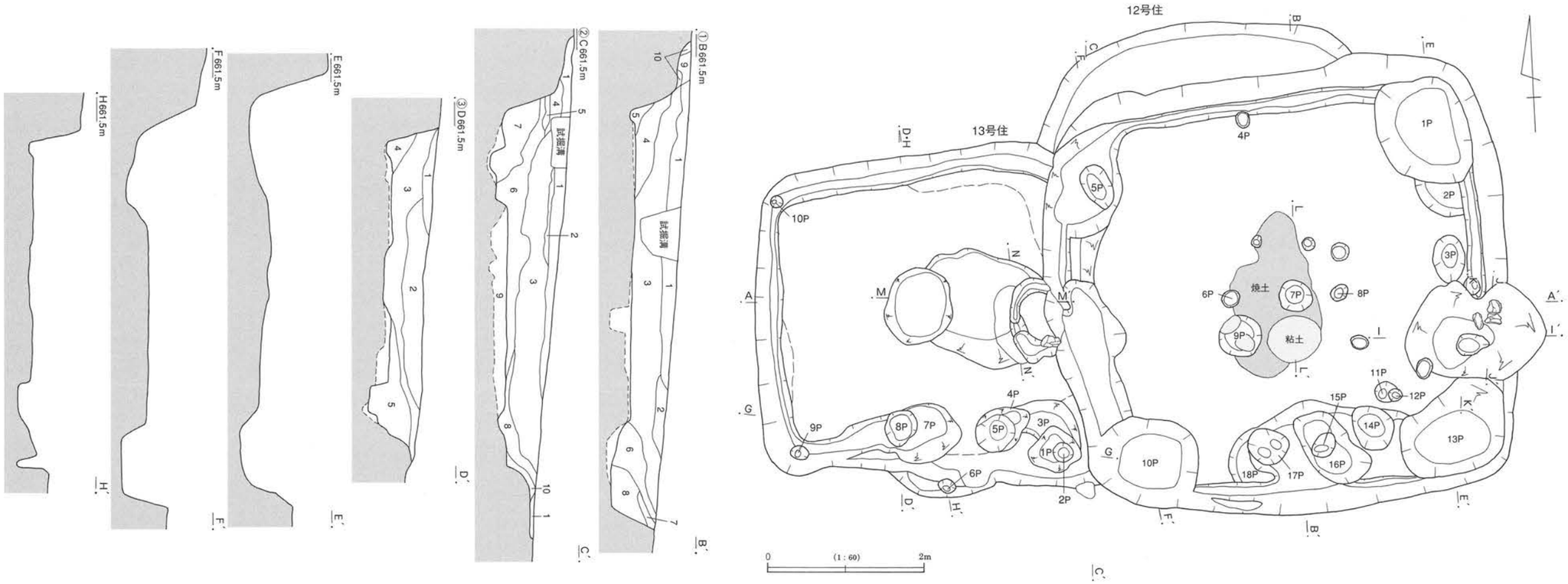
第52図　A区10号住居跡出土土器①

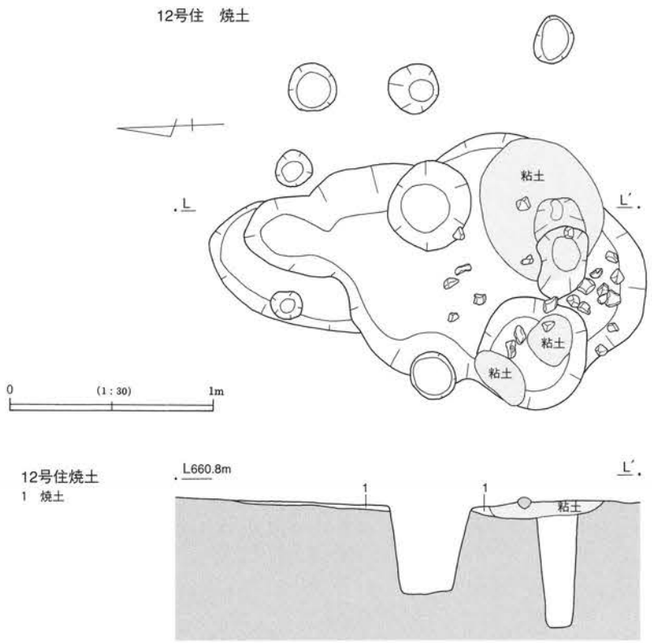


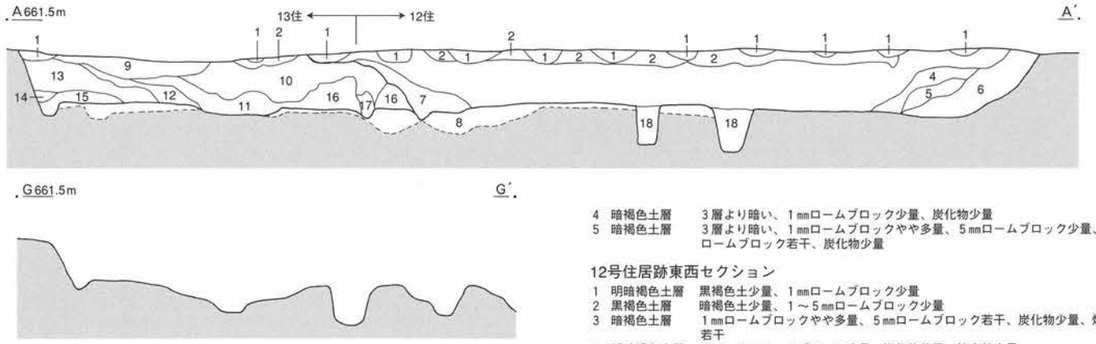
第53図　A区10号住居跡出土土器②



第54図　A区10号住居跡出土土器③







12・13号住居跡南北セクション①

1　黒褐色土層　明暗褐色土やや多量、1㎜ロームブロック少量
2　暗褐色土層　1㎜ロームブロック少量、炭化物少量
3　暗褐色土層　2層より明るい、1㎜ロームブロックやや多量、5㎜ロームブロック若干、炭化物少量、焼土粒若干
4　暗褐色土層　3層より暗い、褐色土少量、1㎝ロームブロック少量、炭化物少量
5　暗褐色土層　4層より暗い、褐色土少量、1㎜ロームブロック少量
6　暗褐色土層　3層より暗い、1～5㎜ロームブロック多量、炭化物少量
7　明暗褐色土層　褐色土やや多量、1～5㎜ロームブロック少量
8　暗褐色土層　6層より明るい、1㎜ロームブロック多量、1㎝ロームブロック少量、炭化物少量
9　暗褐色土層　褐色土少量、5㎜ロームブロック少量
10　明暗褐色土層　褐色土少量、5㎜～1㎝ロームブロック少量

12・13号住居跡南北セクション②

1　明暗褐色土層　黒褐色土少量、1㎜ロームブロック少量
2　黒褐色土層　暗褐色土少量、1～5㎜ロームブロック少量
3　暗褐色土層　褐色土少量、1㎜ロームブロックやや多量、1㎝ロームブロック少量、炭化物少量
4　明暗褐色土層　1層より明るい、褐色土多量、暗褐色土少量、1㎜ロームブロック若干
5　明暗褐色土層　4層より暗い、褐色土多量
6　暗褐色土層　3層より暗い、褐色土少量、1㎜ロームブロック少量、1㎝ロームブロック若干、炭化物少量
7　暗褐色土層　6層より明るい、褐色土やや多量、5㎜ロームブロック少量
8　暗褐色土層　3層より暗い、1㎜ロームブロックやや多量、1～5㎝ロームブロック少量、炭化物少量
9　暗褐色土層　3層より暗い、8層より明るい、褐色土少量、1～3㎝ロームブロック多量、炭化物少量、
10　暗褐色土層　8層より明るい、1㎜～1㎝ロームブロック多量、焼土粒少量、炭化物少量

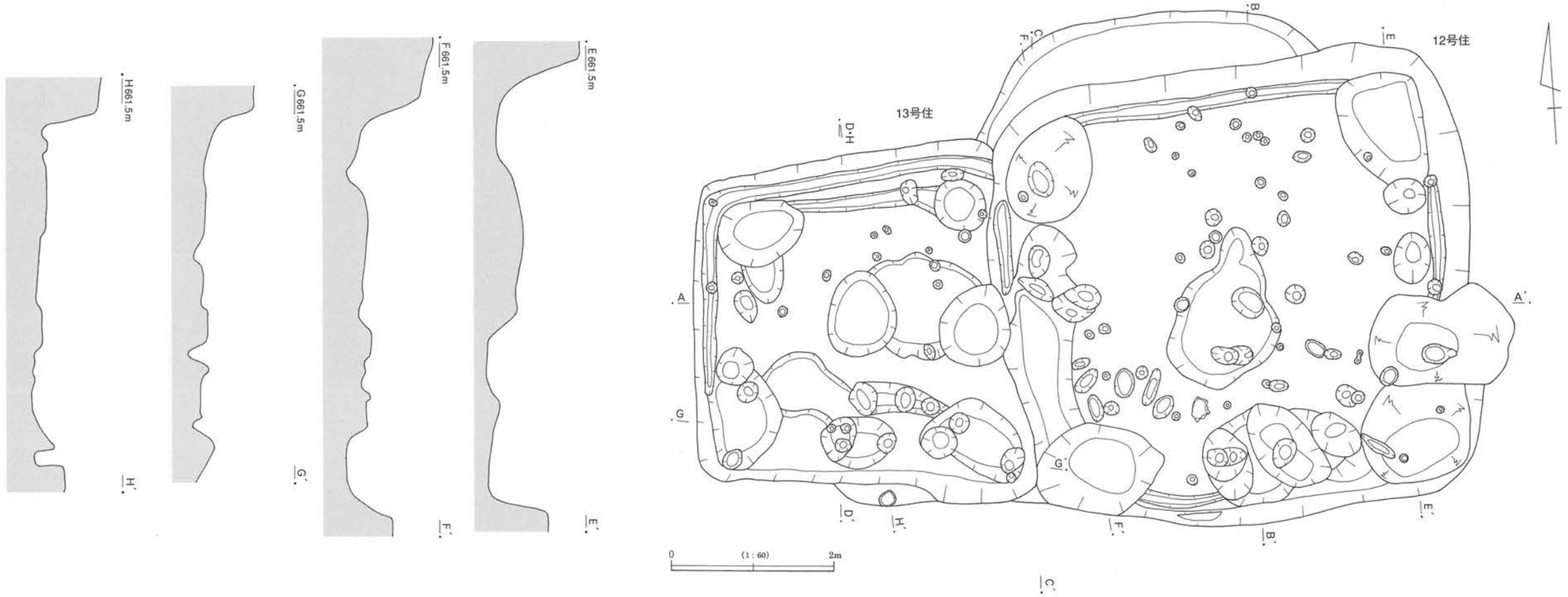
12・13号住居跡南北セクション③

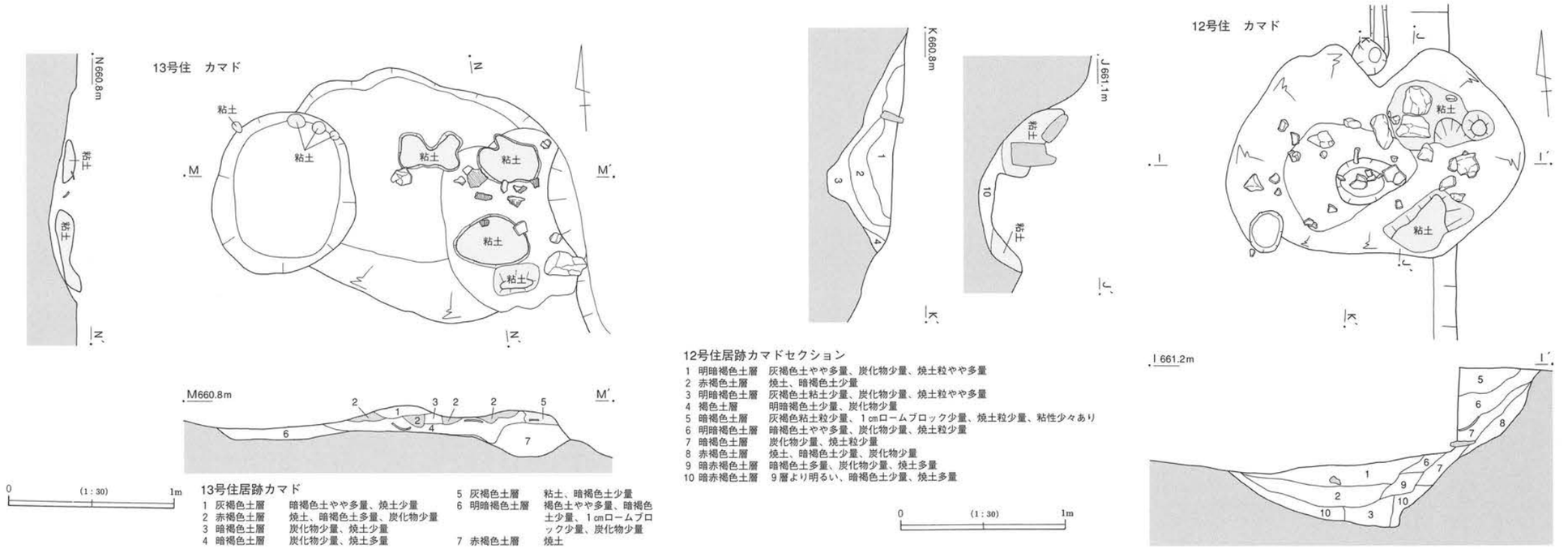
1　暗褐色土層　明暗褐色土少量、1㎜ロームブロックやや多量
2　暗褐色土層　1層より明るい、褐色土少量、1～3㎜ロームブロック多量
3　暗褐色土層　1層より明るい、2層より暗い、褐色土多量、1㎜ロームブロック多量、1㎝ロームブロック若干、炭化物少量
4　暗褐色土層　3層より暗い、1㎜ロームブロック少量、炭化物少量
5　暗褐色土層　3層より暗い、1㎜ロームブロックやや多量、5㎜ロームブロック少量、2㎝ロームブロック若干、炭化物少量

12号住居跡東西セクション

1　明暗褐色土層　黒褐色土少量、1㎜ロームブロック少量
2　黒褐色土層　暗褐色土少量、1～5㎜ロームブロック少量
3　暗褐色土層　1㎜ロームブロックやや多量、5㎜ロームブロック若干、炭化物少量、焼土粒若干
4　明暗褐色土層　5㎜～1㎝ロームブロック少量、炭化物若干、焼土粒少量
5　明暗褐色土層　4層より暗い、黒褐色土少量、1㎜ロームブロック少量、焼土粒やや少量
6　明暗褐色土層　4層より暗い、5層より明るい、灰褐色土多量、1～3㎝ロームブロック少量、焼土粒多量
7　暗褐色土層　3層より暗い、褐色土少量、1㎜ロームブロック少量、1㎝ロームブロック若干、炭化物少量
8　暗褐色土層　3層より暗い、7層より明るい、褐色土少量、1～3㎝ロームブロック多量、炭化物少量
9　暗褐色土層　10・11層より明るい、1～5㎜ロームブロック多量、1㎝ロームブロック少量、焼土粒少量、
10　暗褐色土層　1層より明るい、褐色土少量、1～3㎜ロームブロック多量
11　暗褐色土層　1層より明るい、2層より暗い、褐色土多量、1㎜ロームブロック多量、1㎝ロームブロック若干、炭化物少量
12　暗褐色土層　9・11・13層より暗い、黒褐色土多量、1㎜ロームブロック多量、焼土粒やや多量
13　暗褐色土層　9層より暗い、15層より明るい、1㎜ロームブロック多量、1㎝ロームブロック少量、炭化物少量、焼土粒少量
14　明暗褐色土層　1㎜ロームブロックやや多量、1㎝ロームブロック少量、炭化物少量
15　暗褐色土層　13層より暗い、1㎜ロームブロック多量、焼土粒少量
16　明暗褐色土層　灰褐色土多量、炭化物少量、焼土粒多量
17　明暗褐色土層　16層より暗い、1㎝ロームブロック少量、焼土粒多量
18　暗褐色土層

第55図　A区12・13号住居跡





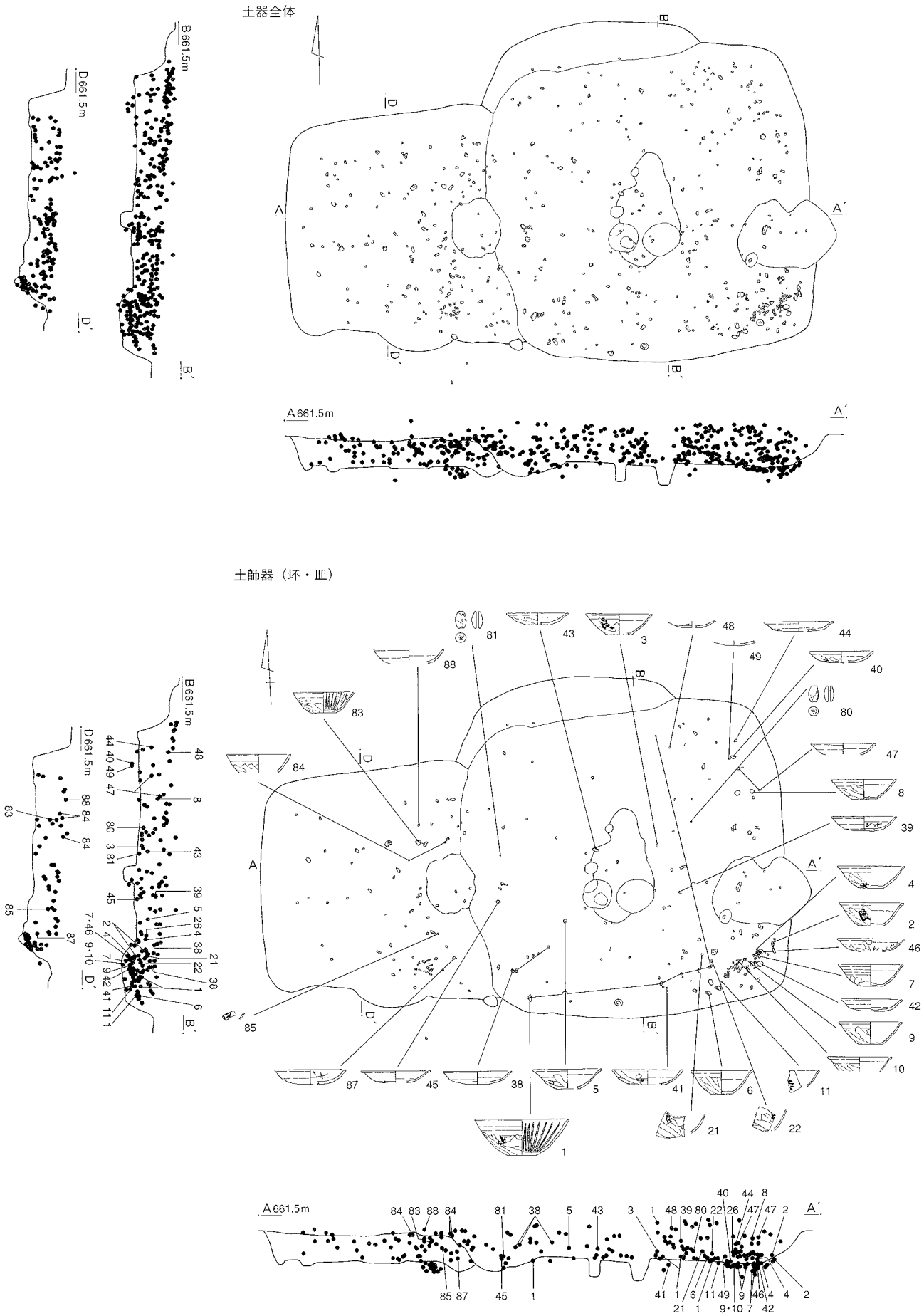
13号住居跡カマド

1 灰褐色土層　暗褐色土やや多量、焼土少量
2 赤褐色土層　焼土、暗褐色土多量、炭化物少量
3 暗褐色土層　炭化物少量、焼土少量
4 暗褐色土層　炭化物少量、焼土多量
5 灰褐色土層　粘土、暗褐色土少量
6 明暗褐色土層　褐色土やや多量、暗褐色土少量、1㎝ロームブロック少量、炭化物少量
7 赤褐色土層　焼土

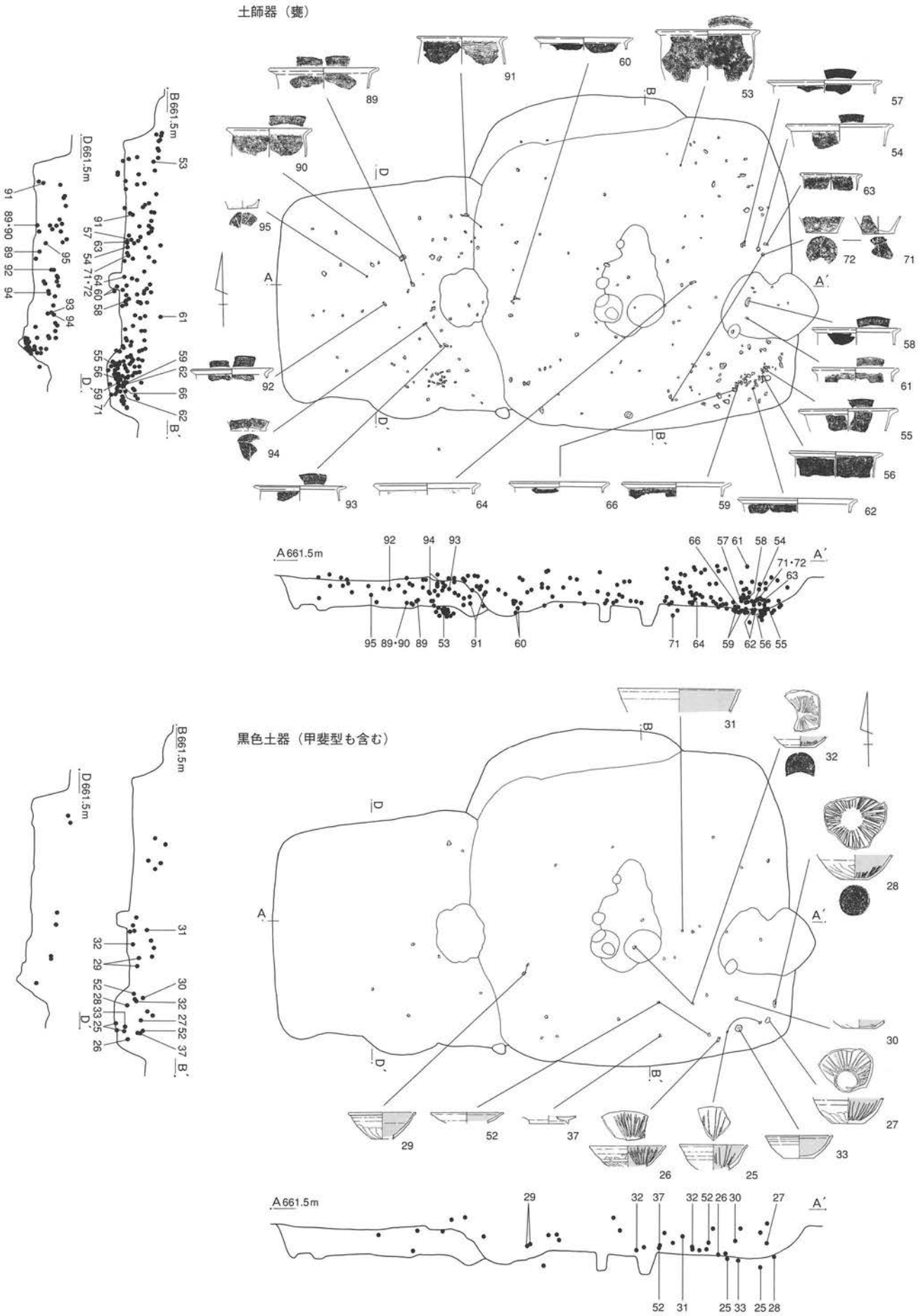
12号住居跡カマドセクション

1 明暗褐色土層　灰褐色土やや多量、炭化物少量、焼土粒やや多量
2 赤褐色土層　焼土、暗褐色土少量
3 明暗褐色土層　灰褐色土粘土少量、炭化物少量、焼土粒やや多量
4 褐色土層　明暗褐色土少量、炭化物少量
5 暗褐色土層　灰褐色粘土粒少量、1㎝ロームブロック少量、焼土粒少量、粘性少々あり
6 明暗褐色土層　暗褐色土やや多量、炭化物少量、焼土粒少量
7 暗褐色土層　炭化物少量、焼土粒少量
8 赤褐色土層　焼土、暗褐色土少量、炭化物少量
9 暗赤褐色土層　暗褐色土多量、炭化物少量、焼土多量
10 暗赤褐色土層　9層より明るい、暗褐色土少量、焼土多量

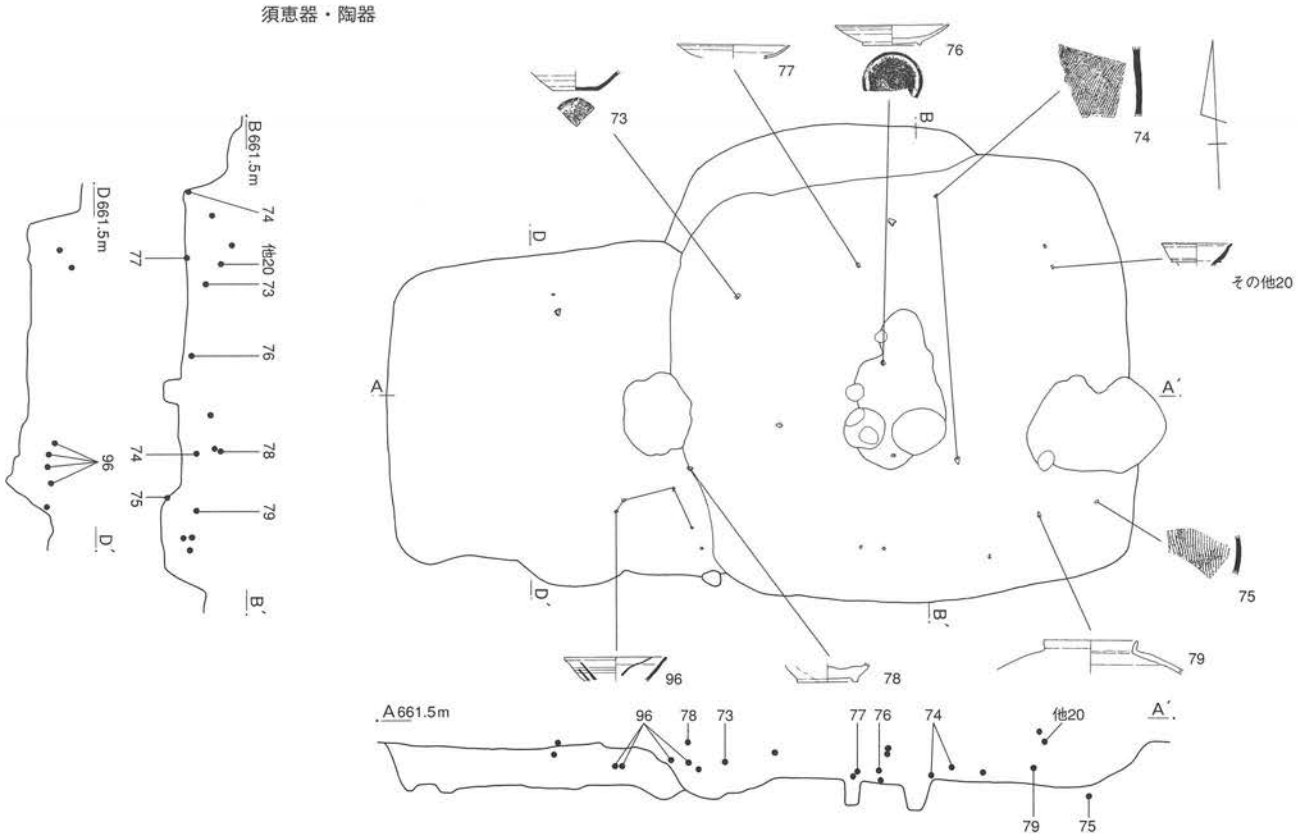
第56図　A区12・13号住居跡完掘状況

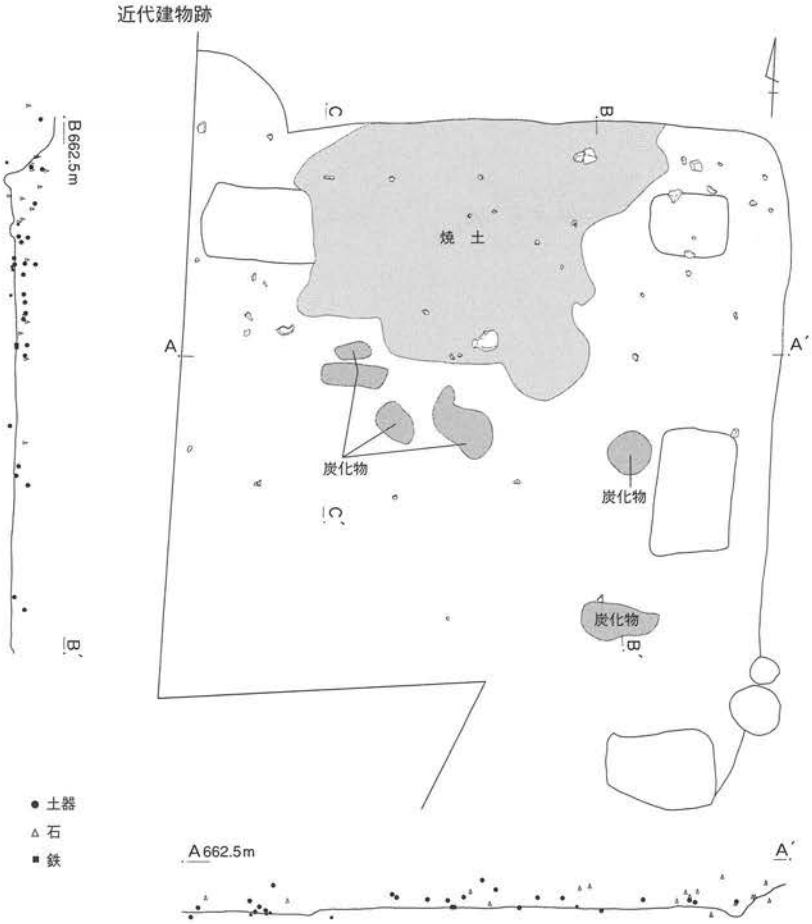


第57図　A区12・13号住居跡遺物出土状況（上：土器全体、下：土師器）

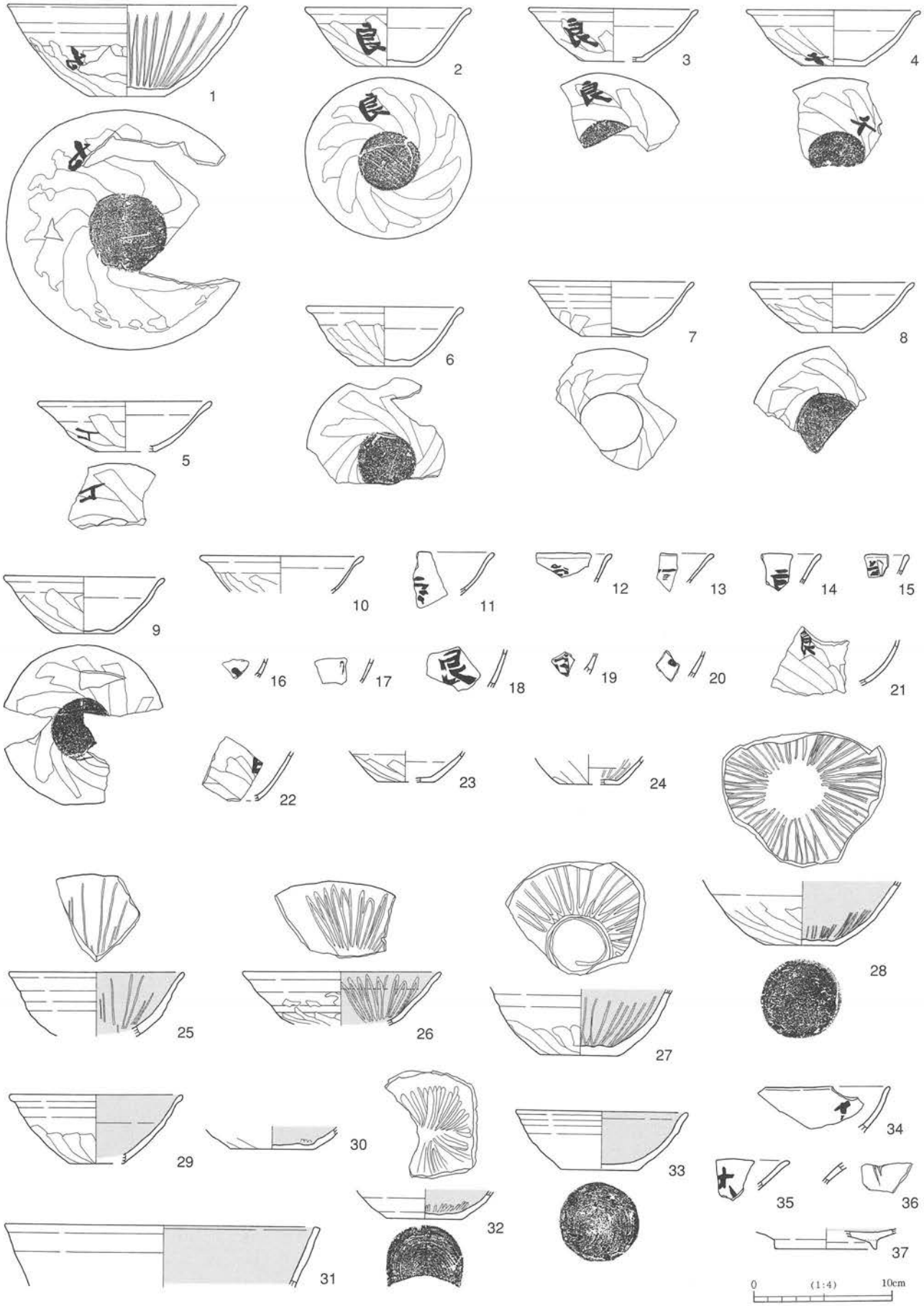


第58図　A区12・13号住居跡遺物出土状況（上：土師器、下：黒色土器）

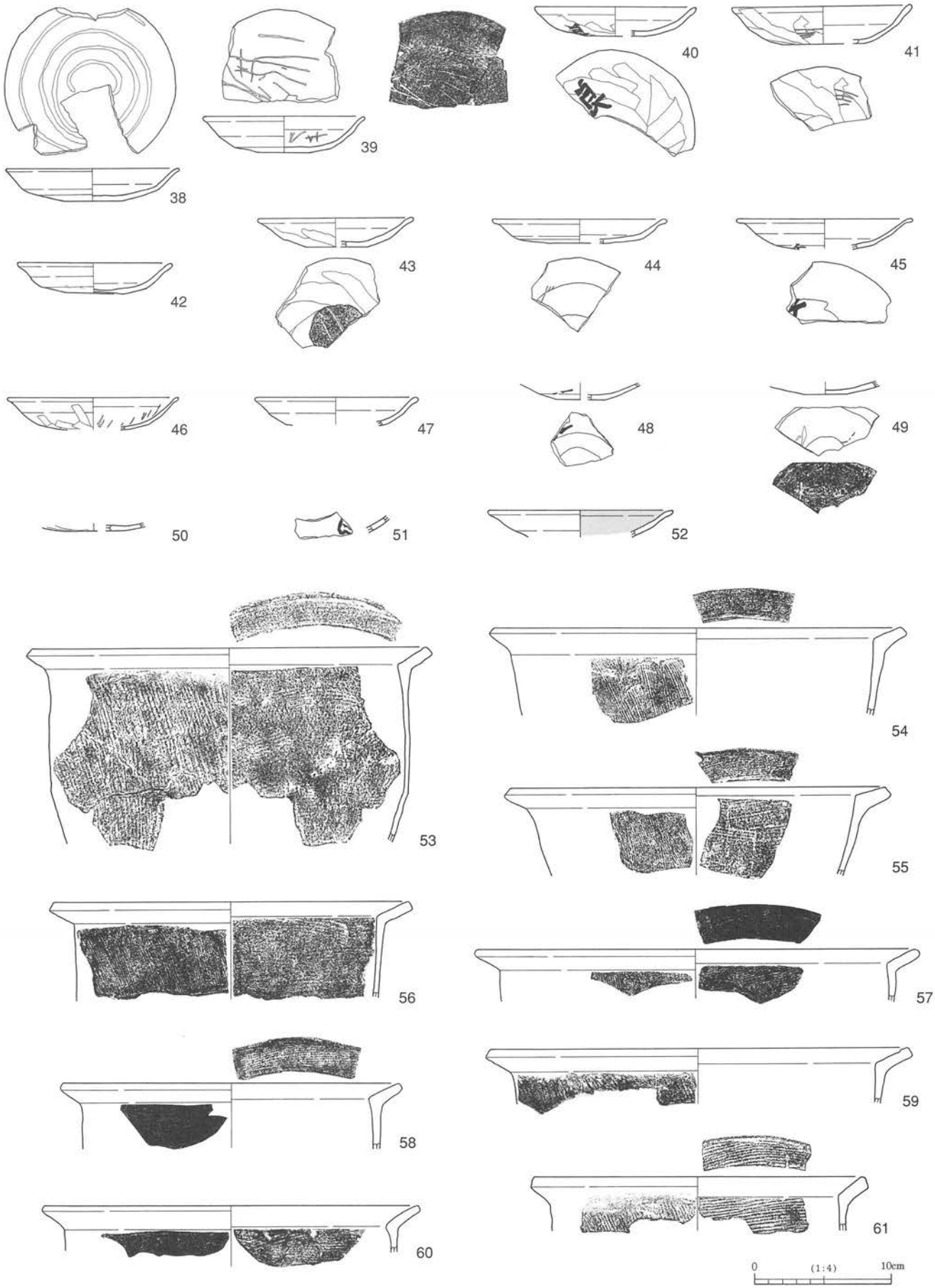




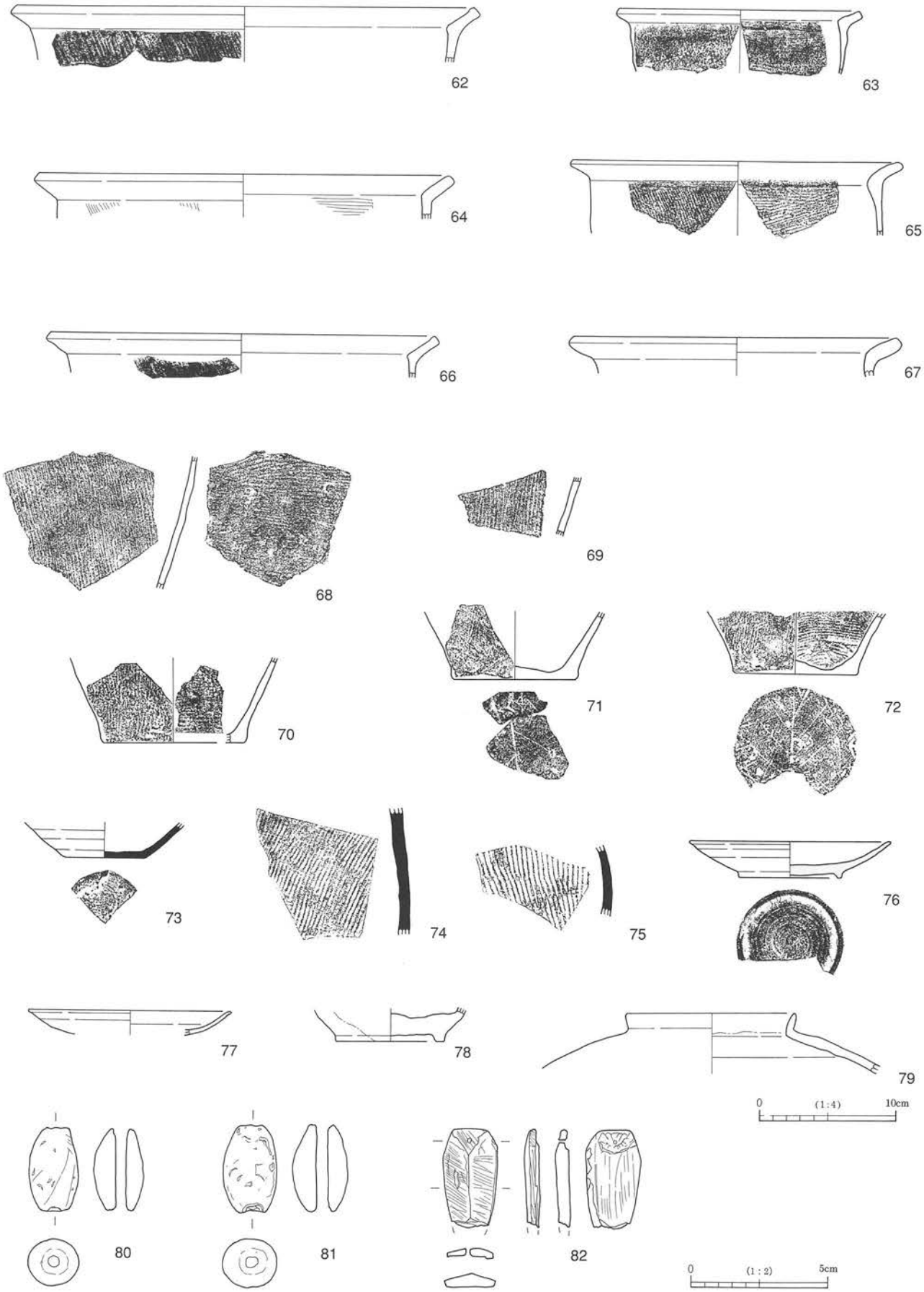
第59図　A区12・13号住居跡(上)・近代建物跡(下)遺物出土状況



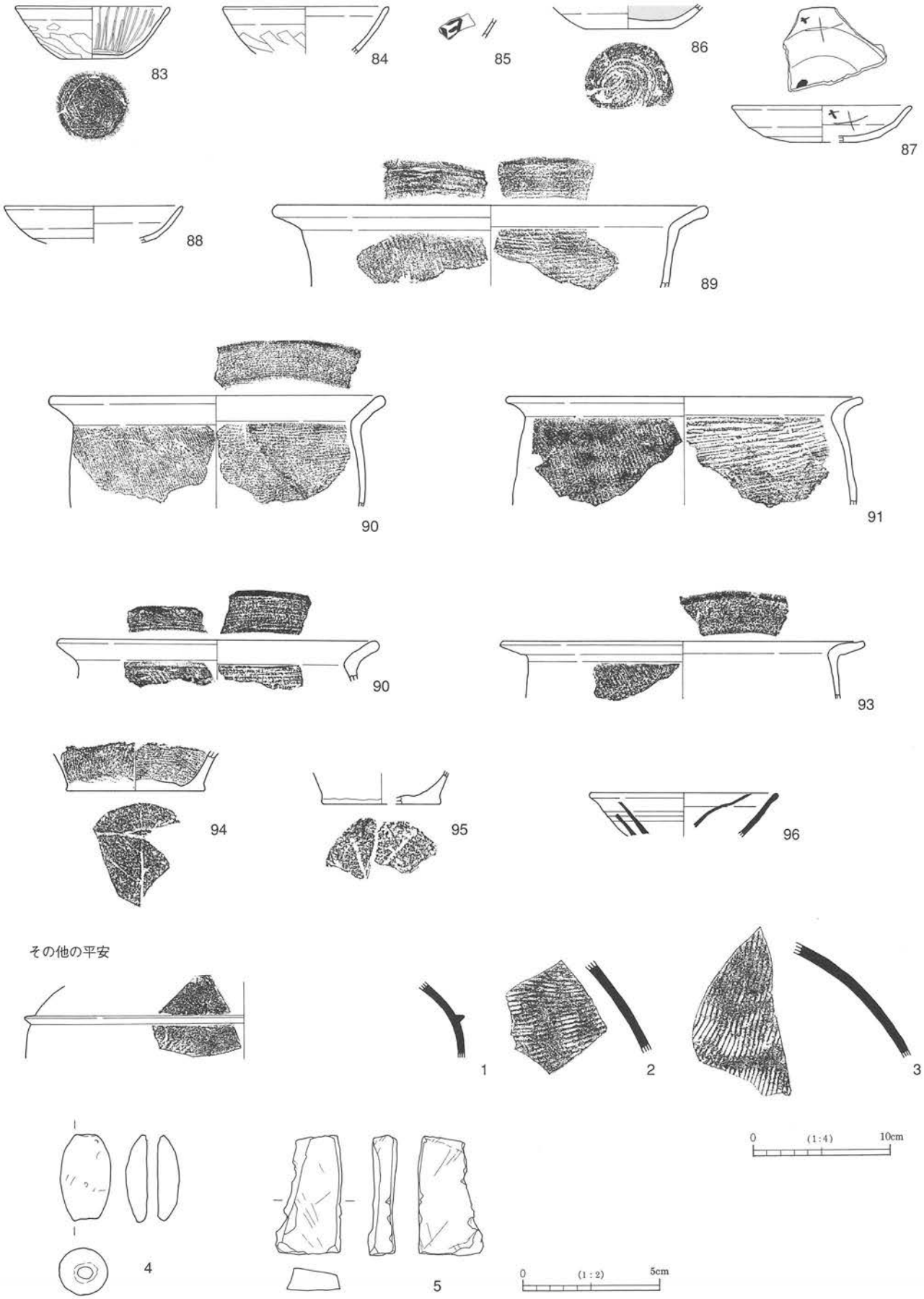
第60図　A区12号住居跡出土土器①



第61図　A区12号住居跡出土土器②

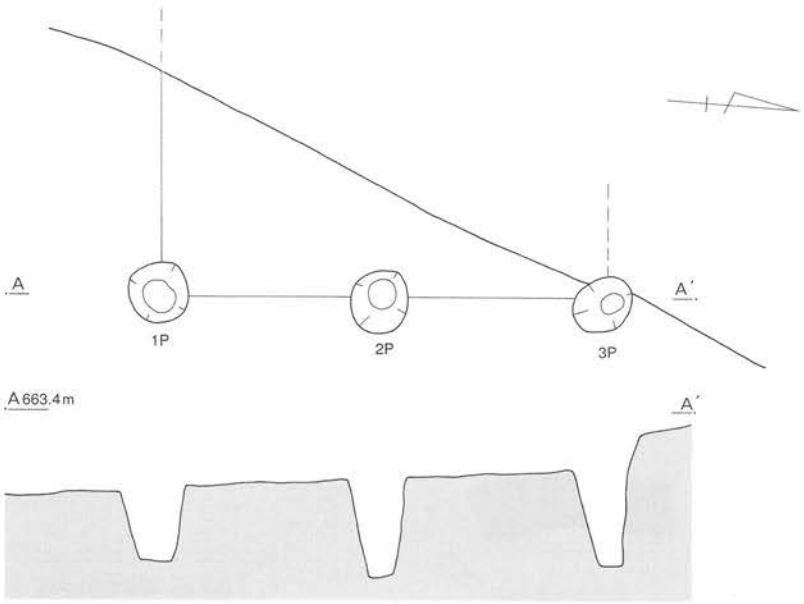


第62図　A区12号住居跡出土土器③、土錘、石製品

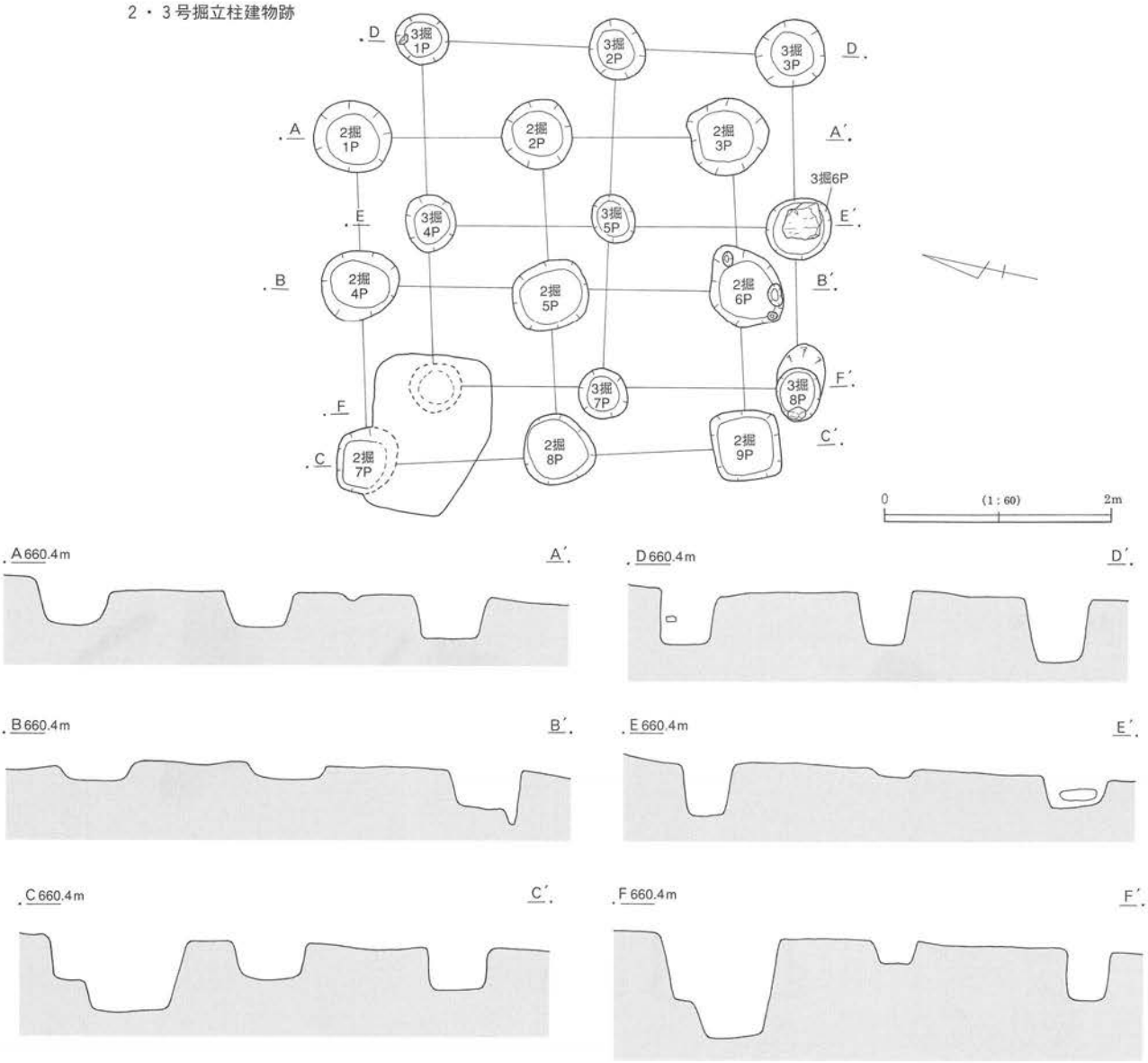


第63図　A区13号住居跡出土土器、遺構外出土遺物

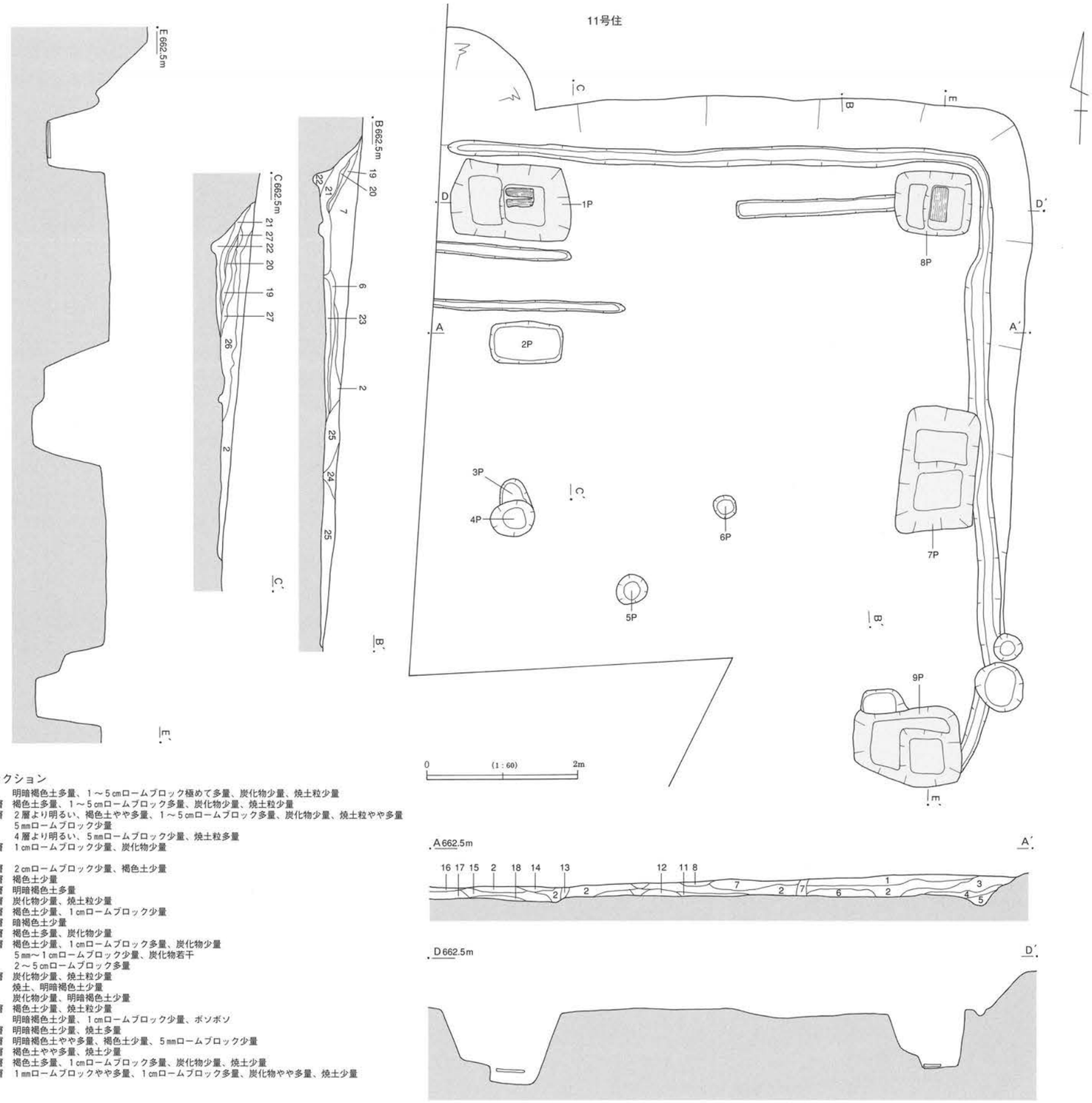
1号掘立柱建物跡



2・3号掘立柱建物跡



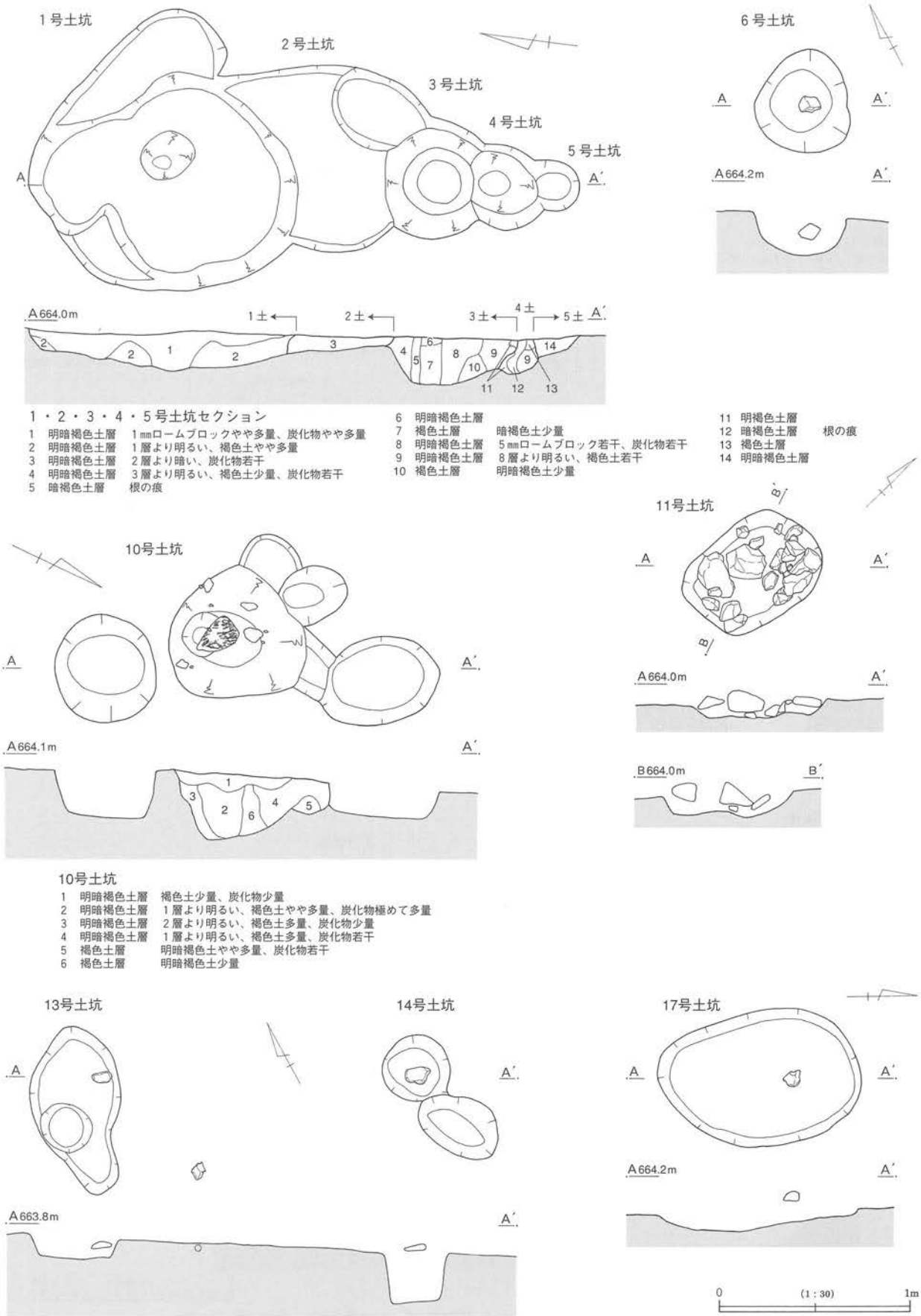
第64図　A区1・2・3号掘立柱建物跡



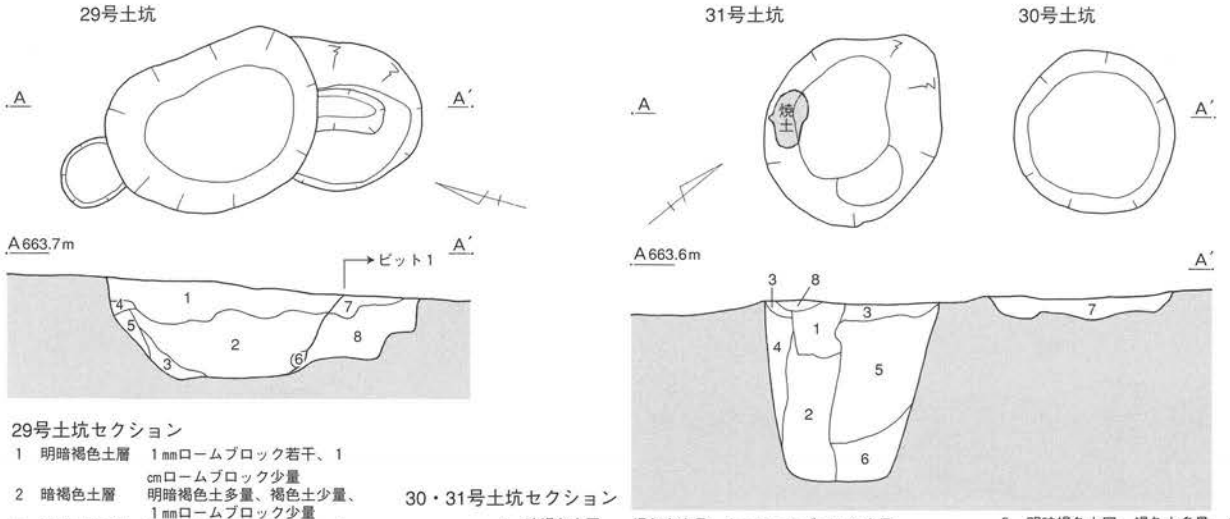
11号住居跡セクション

1　褐色土層　明暗褐色土多量、1～5㎝ロームブロック極めて多量、炭化物少量、焼土粒少量
2　明暗褐色土層　褐色土多量、1～5㎝ロームブロック多量、炭化物少量、焼土粒少量
3　明暗褐色土層　2層より明るい、褐色土やや多量、1～5㎝ロームブロック多量、炭化物少量、焼土粒やや多量
4　褐色土層　5㎜ロームブロック少量
5　褐色土層　4層より明るい、5㎜ロームブロック少量、焼土粒多量
6　明暗褐色土層　1㎝ロームブロック少量、炭化物少量
7　暗褐色土層
8　明暗褐色土層　2㎝ロームブロック少量、褐色土少量
9　明暗褐色土層　褐色土少量
10　暗黄褐色土層　明暗褐色土多量
11　明暗褐色土層　炭化物少量、焼土粒少量
12　明暗褐色土層　褐色土少量、1㎝ロームブロック少量
13　暗黄褐色土層　暗褐色土少量
14　明暗褐色土層　褐色土多量、炭化物少量
15　明暗褐色土層　褐色土少量、1㎝ロームブロック多量、炭化物少量
16　暗褐色土層　5㎜～1㎝ロームブロック少量、炭化物若干
17　褐色土層　2～5㎝ロームブロック多量
18　明暗褐色土層　炭化物少量、焼土粒少量
19　赤褐色土層　焼土、明暗褐色土少量
20　黒褐色土層　炭化物少量、明暗褐色土少量
21　明暗褐色土層　褐色土少量、焼土粒少量
22　褐色土層　明暗褐色土少量、1㎝ロームブロック少量、ボソボソ
23　暗赤褐色土層　明暗褐色土少量、焼土多量
24　暗黄褐色土層　明暗褐色土やや多量、褐色土少量、5㎜ロームブロック少量
25　明暗褐色土層　褐色土やや多量、焼土少量
26　明暗褐色土層　褐色土多量、1㎝ロームブロック多量、炭化物少量、焼土少量
27　明暗褐色土層　1㎜ロームブロックやや多量、1㎝ロームブロック多量、炭化物やや多量、焼土少量

第65図　A区近代建物跡



第66図　A区1～6・10・11・13・14・17号土坑

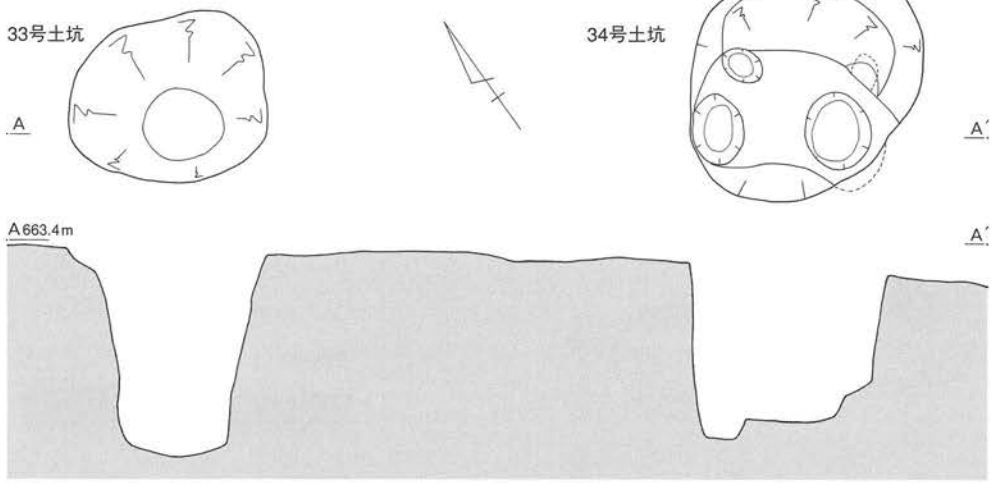


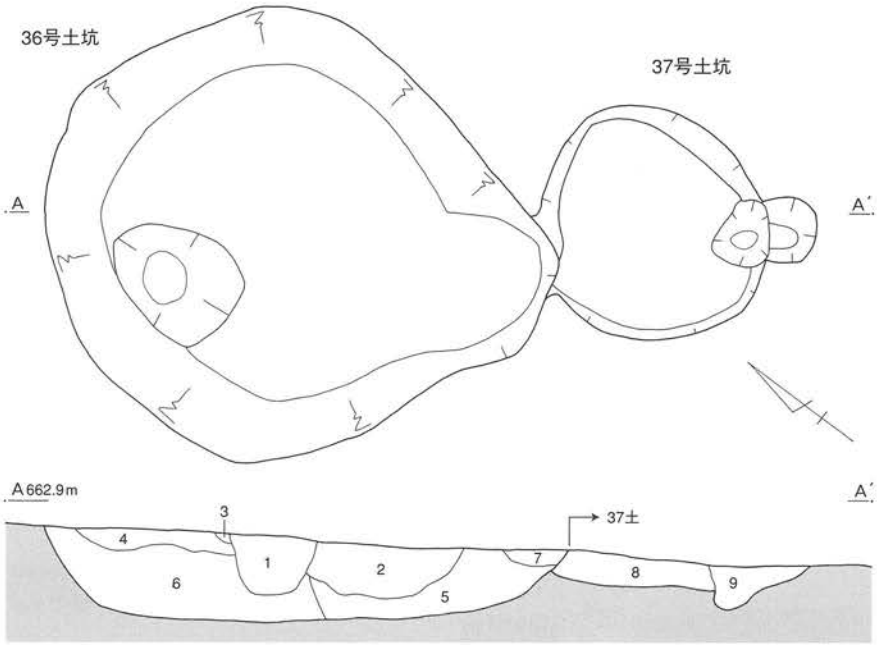
29号土坑セクション

1 明暗褐色土層 1㎜ロームブロック若干、1㎝ロームブロック少量
2 暗褐色土層 明暗褐色土多量、褐色土少量、1㎜ロームブロック少量
3 明暗褐色土層 褐色土やや多量、1㎝ロームブロック若干
4 褐色土層 明暗褐色土少量
5 褐色土層 4層より明るい
6 明暗褐色土層 褐色土少量
7 褐色土層 やや暗い、明暗褐色土少量
8 明暗褐色土層 褐色土少量、炭化物若干

30・31号土坑セクション

1 暗褐色土層 褐色土少量、1㎜ロームブロック少量
2 暗褐色土層 1層より明るい、褐色土多量、下層にしまりのあるロームブロックを含む
3 明暗褐色土層 5㎜ロームブロック少量、炭化物若干
4 褐色土層 明暗褐色土少量
5 明暗褐色土層 褐色土多量、5㎜～1㎝ロームブロック多量、炭化物若干
6 褐色土層 2～3㎝ロームブロック多量
7 明暗褐色土層 焼土粒多量
8 赤褐色土層 焼土多量、明暗褐色土多量





0 (1:30) 1m

36・37号土坑

1 暗褐色土層 褐色土少量
2 暗褐色土層 1層より明るい、1㎝ロームブロック少量、炭化物若干
3 暗褐色土層 1層より明るい、5㎜ロームブロック若干
4 明暗褐色土層 褐色土多量、1㎝ロームブロック少量
5 明暗褐色土層 褐色土多量、1㎝ロームブロック少量
6 明暗褐色土層 4・5層より暗い、褐色土少量、5～10㎜ロームブロック少量
7 明暗褐色土層 5層より明るい、褐色土少量（畑の溝）
8 暗褐色土層 褐色土少量
9 黒褐色土層 明暗褐色土少量、5㎜ロームブロック若干

第67図　A区29～31・33・34・36・37号土坑

38号土坑

A　A′

0　(1：30)　1m

A657.9m　A′

1・2号溝

1溝　2溝　3住　1竪

0　(1：120)　4m

C664.4m　C′

B664.0m　B′

A663.6m　A′

D663.6m　D′

0　(1：60)　2m

1号溝セクション①

1　明暗褐色土層　表土
2　明暗褐色土層　1層より暗い、1㎜ロームブロックやや多量、炭化物若干
3　明暗褐色土層　2層より暗い、2㎜ロームブロック若干
4　明暗褐色土層　2層より明るい、1㎜ロームブロック極めて多量、炭化物少量
5　暗褐色土層　1㎜ロームブロック多量、2層より明るい、炭化物若干
6　明暗褐色土層　1㎜ロームブロック若干
7　明暗褐色土層　褐色土少量
8　褐色土層　明暗褐色土少量
9　明暗褐色土層　褐色土少量、1㎜ロームブロック少量
10　褐色土層
11　明暗褐色土層　2層より明るい
12　褐色土層

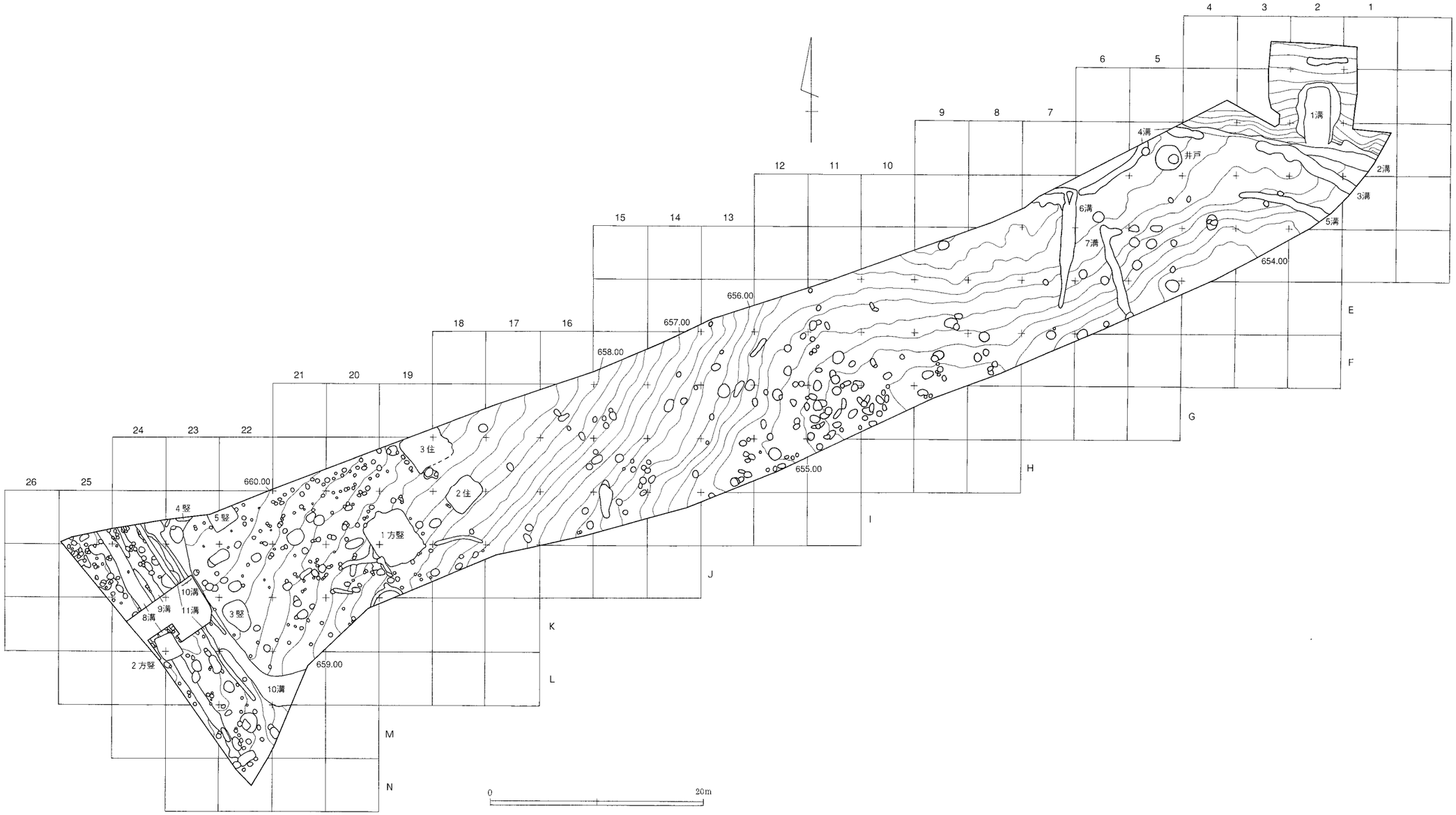
1・2号溝
遺物出土状況

0　(1：120)　4m

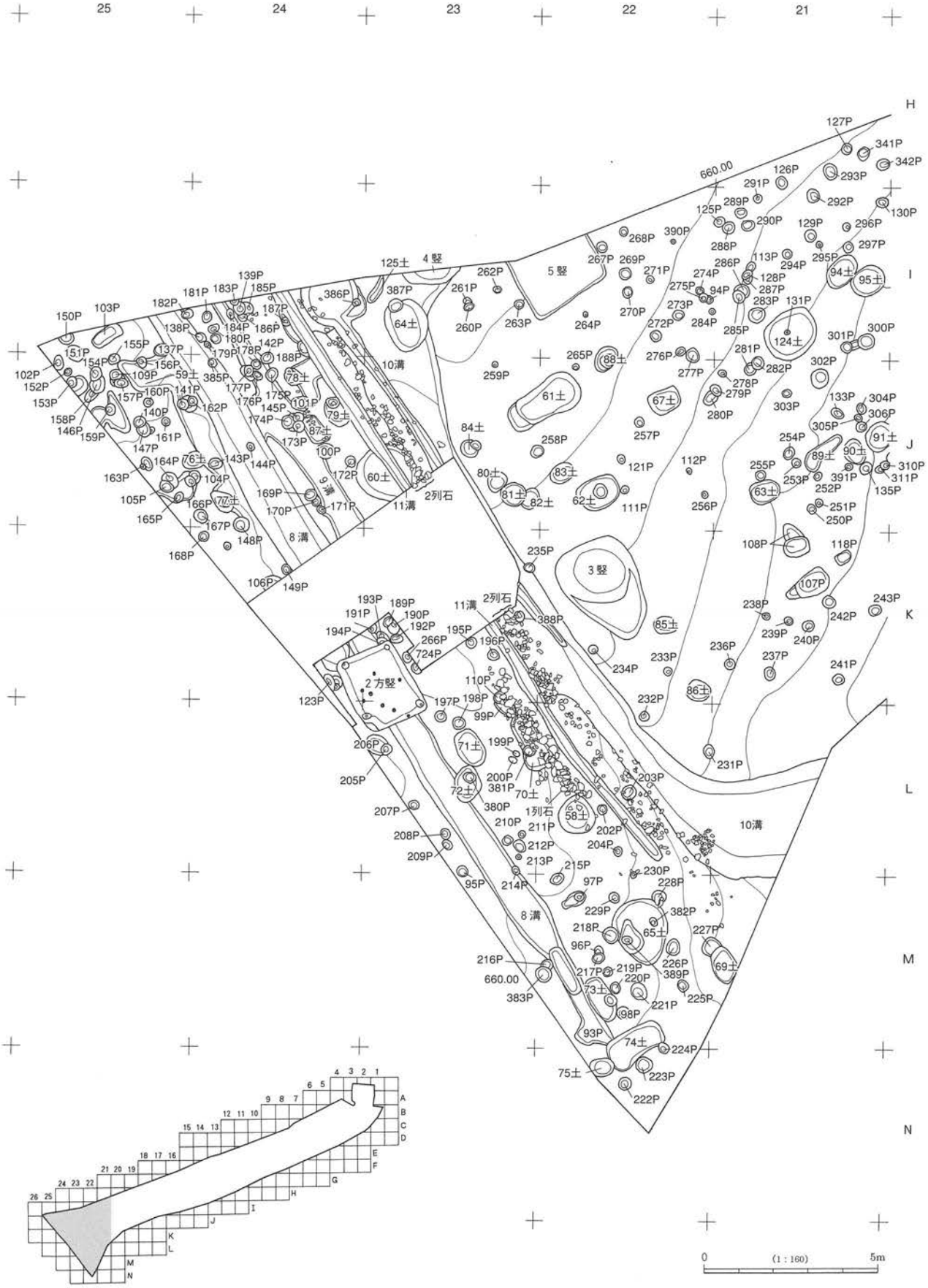
2号溝セクション

1　明暗褐色土層　褐色土少量、1㎜ロームブロックやや多量、1㎝ロームブロック少量、炭化物やや多量

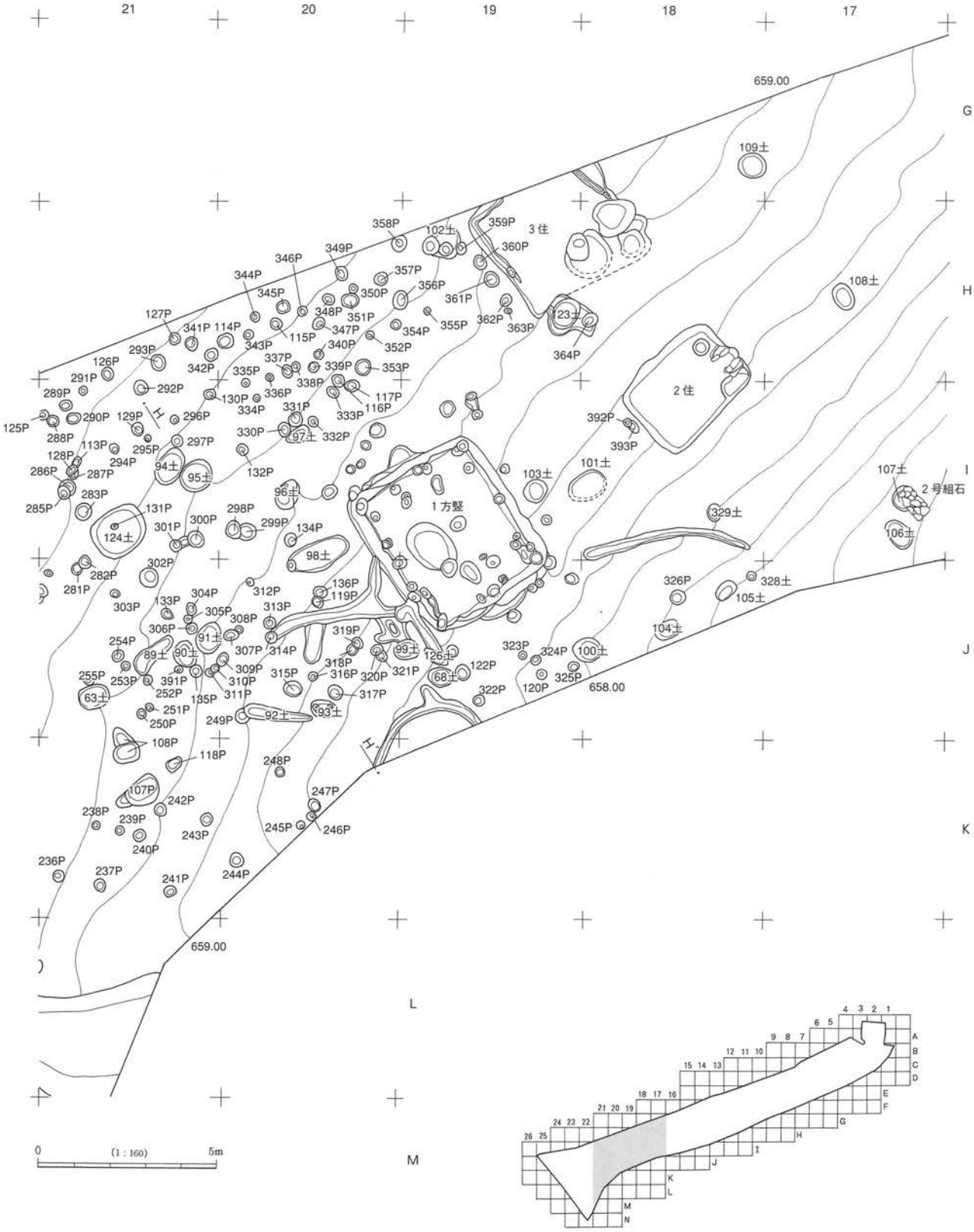
第68図　A区38号土坑、1・2号溝


1溝
2溝
3溝
4溝
5溝
6溝
7溝
井戸
654.00
655.00
656.00
657.00
658.00
659.00
660.00
3住
2住
1方竪
2方竪
3竪
4竪
5竪
8溝
9溝
10溝
11溝
0
20m

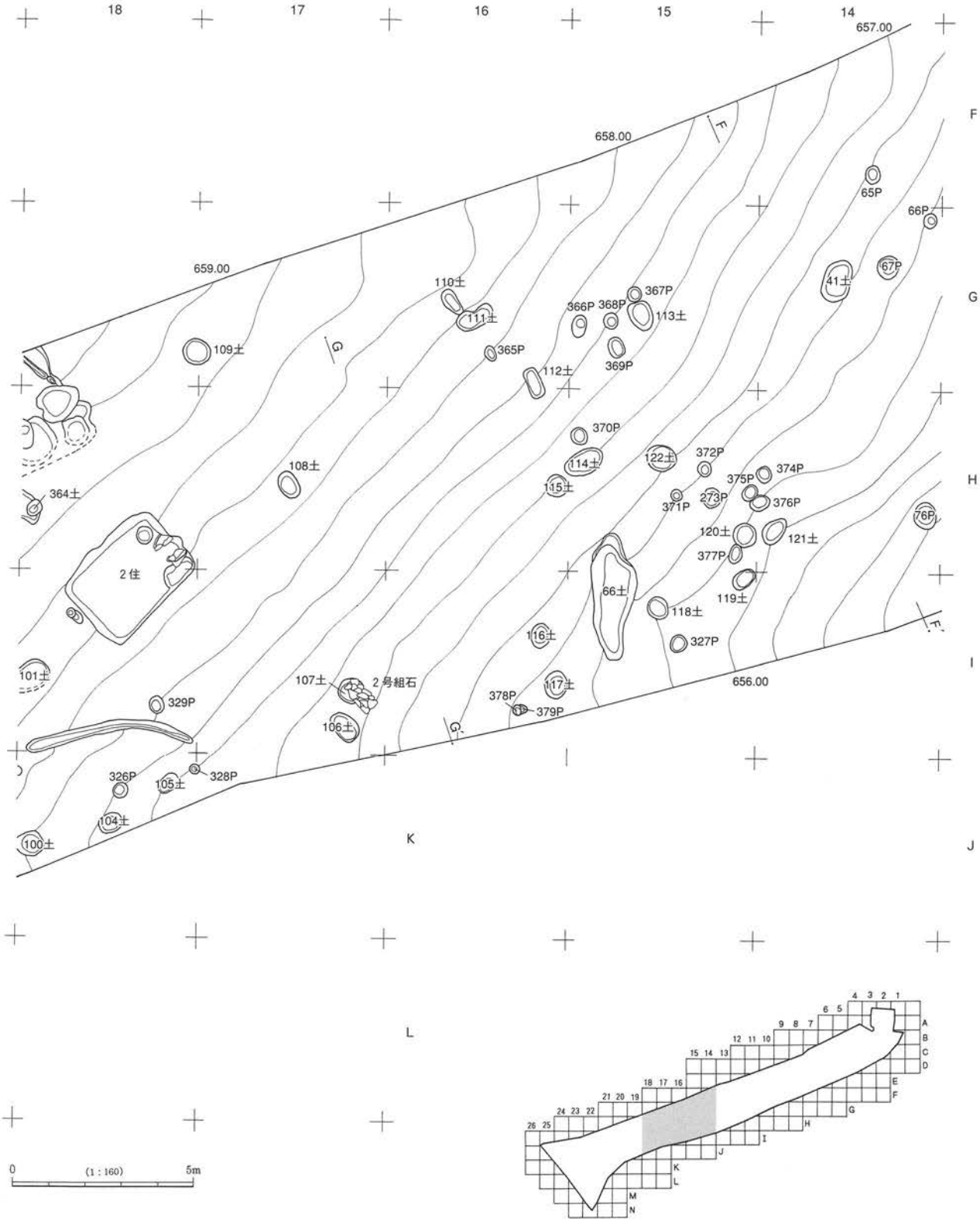
第69図　B区全体図



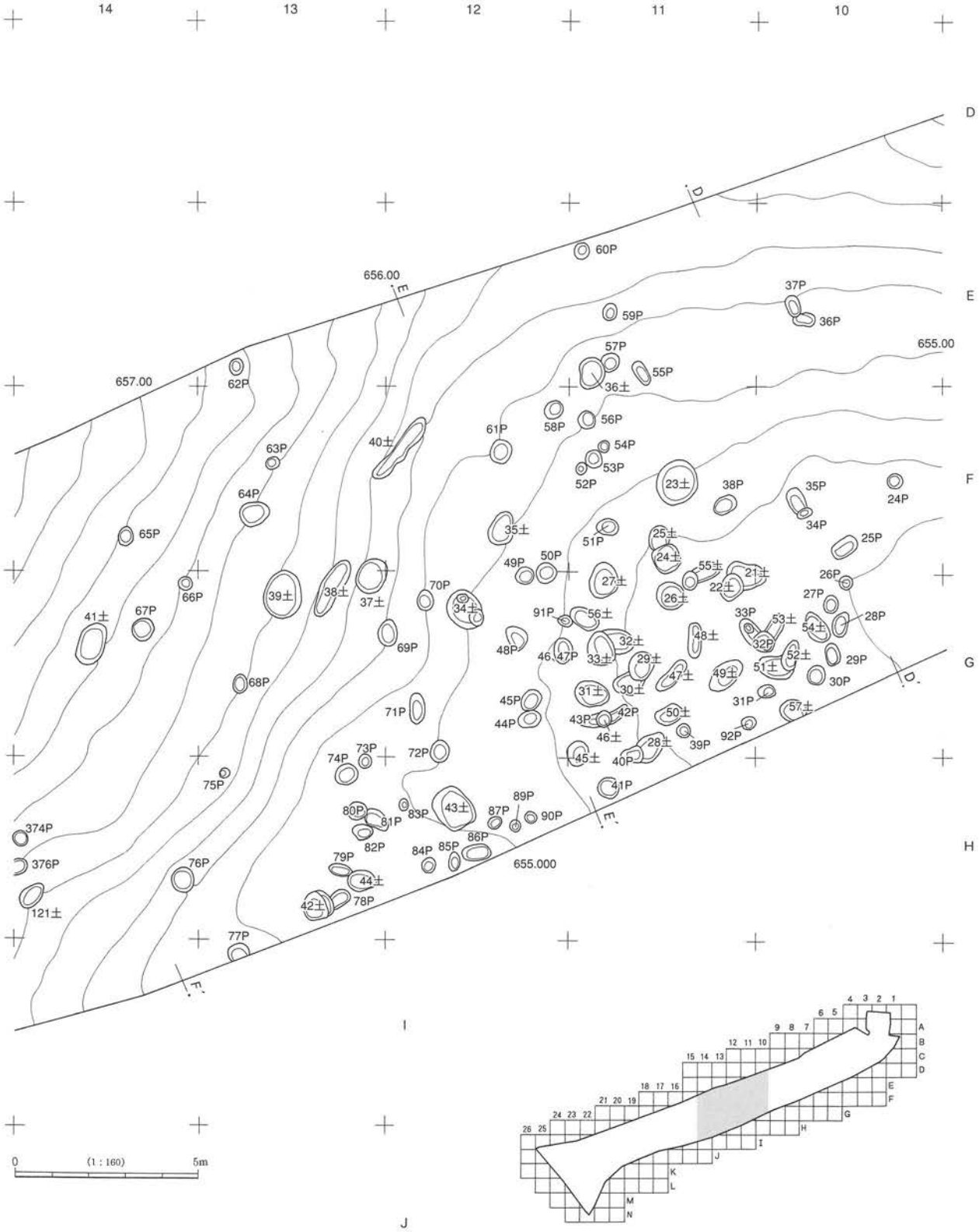
第70図　B区遺構分布図①



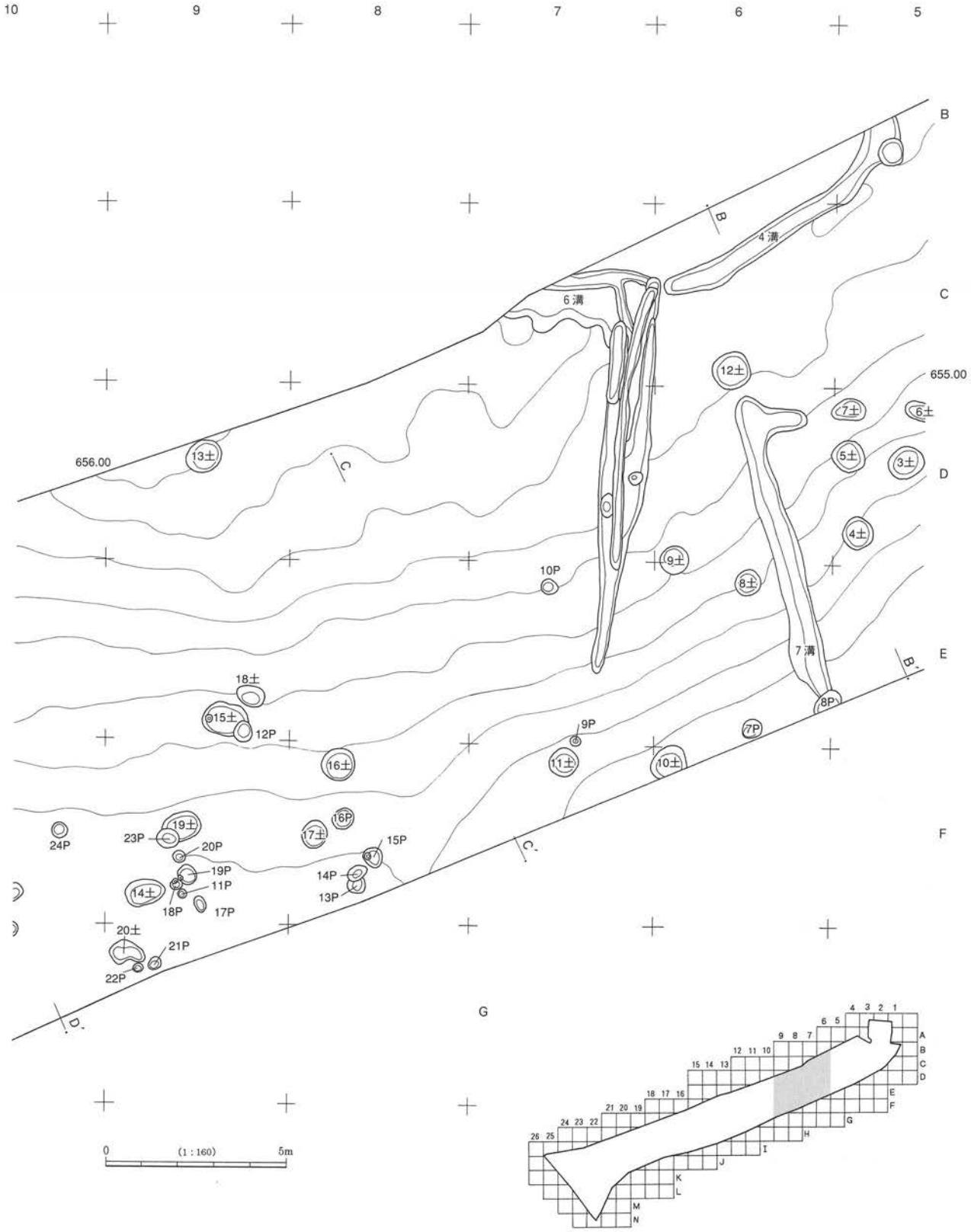
第71図　B区遺構分布図②



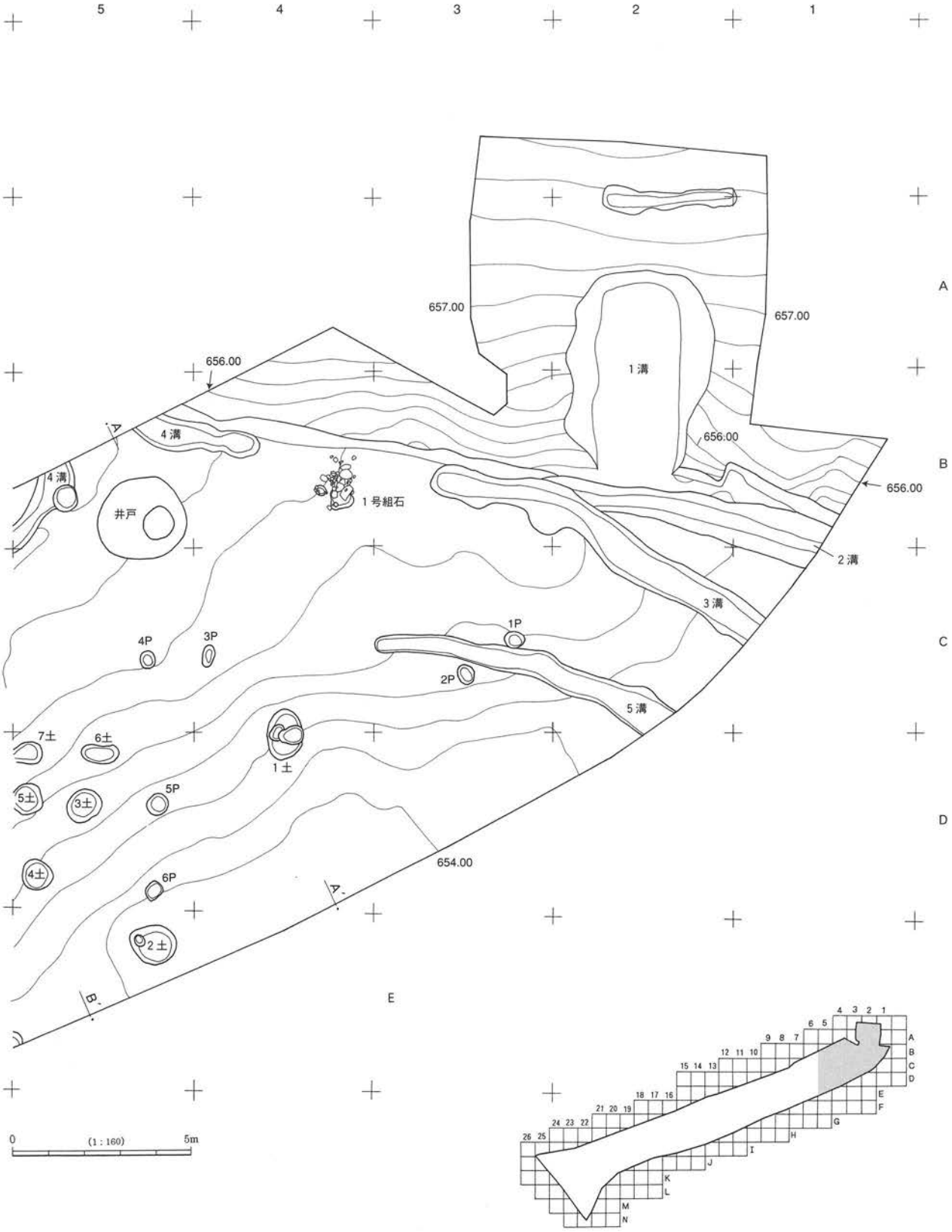
第72図　B区遺構分布図③



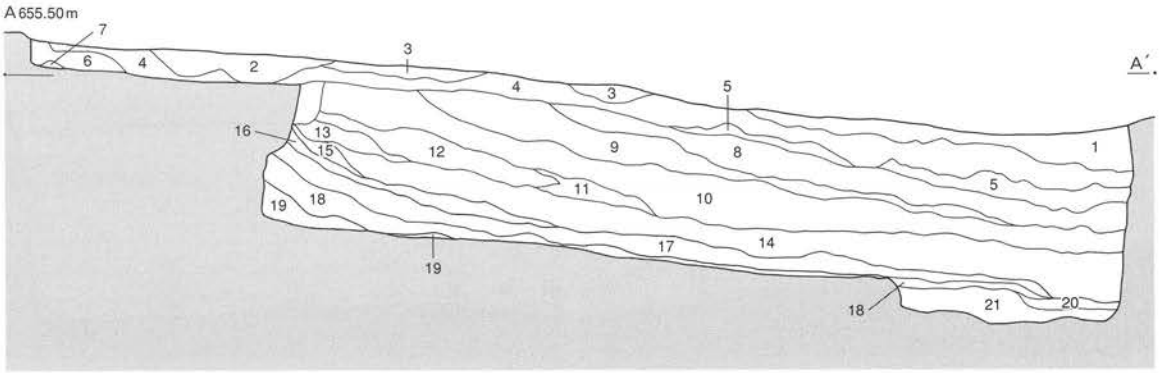
第73図　B区遺構分布図④



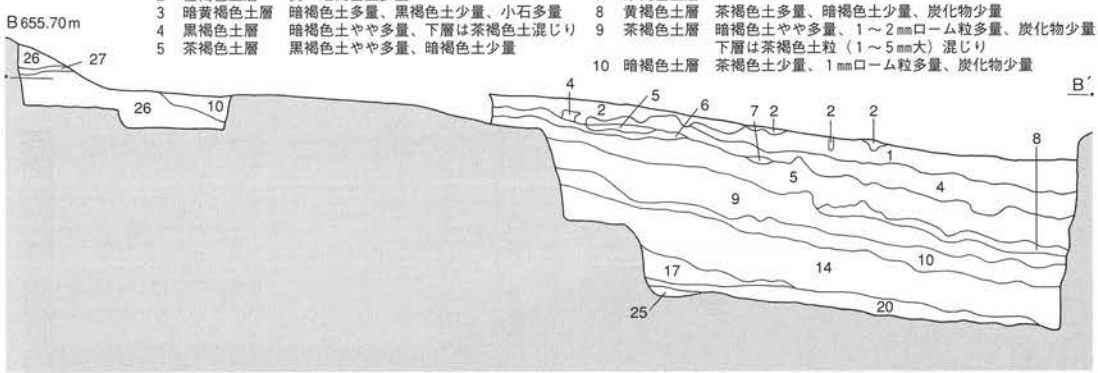
第74図　B区遺構分布図⑤



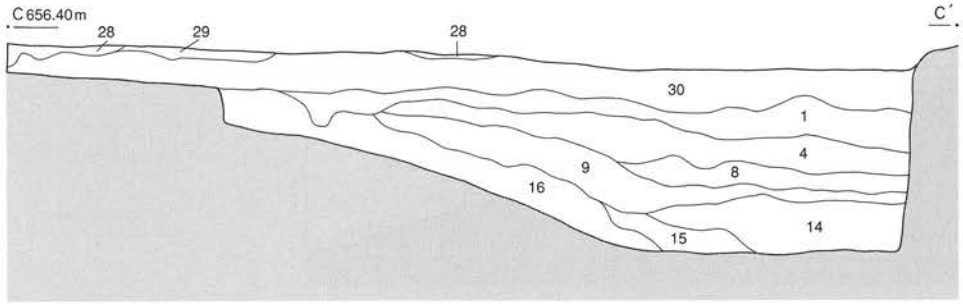
第75図　B区遺構分布図⑥



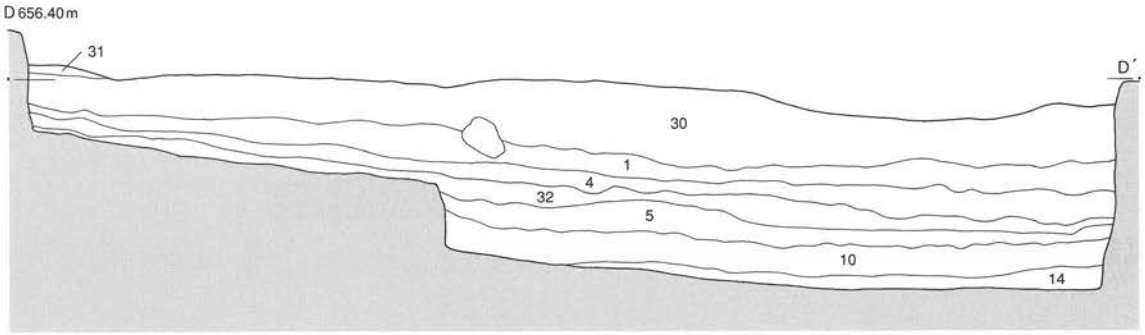
1 暗褐色土層　2㎜ローム粒少量
2 橙褐色土層　黄・暗褐色土多量
3 暗黄褐色土層　暗褐色土多量、黒褐色土少量、小石多量
4 黒褐色土層　暗褐色土やや多量、下層は茶褐色土混じり
5 茶褐色土層　黒褐色土やや多量、暗褐色土少量
6 茶褐色土層　暗褐色土少量、黄褐色ブロック少量
7 茶褐色土層
8 黄褐色土層　茶褐色土多量、暗褐色土少量、炭化物少量
9 茶褐色土層　暗褐色土やや多量、1～2㎜ローム粒多量、炭化物少量、下層は茶褐色土粒（1～5㎜大）混じり
10 暗褐色土層　茶褐色土少量、1㎜ローム粒多量、炭化物少量



11 暗褐色土層　10層より明るい、1～5㎜ローム粒多量
12 茶褐色土層　暗褐色土少量、1～5㎜ローム粒極少量
13 暗褐色土層　15層より明るい、茶褐色土少量、1～5㎜ローム粒多量
14 黒褐色土層　1㎜ローム粒少量
15 暗褐色土層　13・16層より暗い、1㎜ローム粒多量
16 暗褐色土層　15・17層より明るい、黄褐色土少量、1㎜ローム粒多量、炭化物少量
17 暗褐色土層　16・18層より暗い、黒褐色土少量、1㎜・1㎝ローム粒多量
18 暗茶褐色土層　粘土質、茶褐色土・黒褐色土・赤褐色土少量、1㎜ローム粒多量
19 茶褐色土層　1㎜ローム粒多量
20 灰褐色土層　粘土層、小礫混じり
21 白色土層　砂層、小礫やや多量、赤褐色土少量、灰褐色粘土やや多量



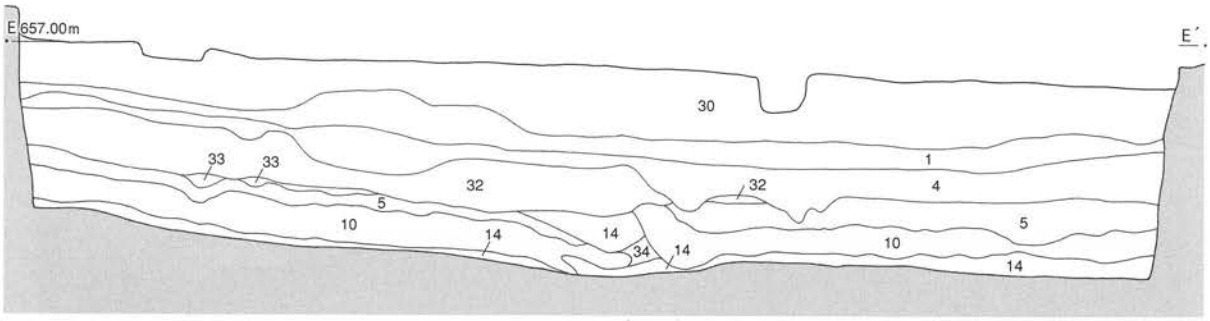
22 黒褐色土層　5層より暗い、暗褐色土少量
23 暗褐色土層　黒褐色土・茶褐色土少量
24 暗褐色土層　黒褐色土少量
25 暗褐色土層　粘土多量、1㎜ローム粒少量
26 黄褐色土層　地山
27 黄褐色土層　橙色の火山灰含む
28 暗黄褐色土層　暗褐色土多量、黒褐色土が上層にある
29 暗茶褐色土層　黄褐色土やや多量、1㎜ローム粒多量、1㎝ローム粒少量
30 暗褐色土層　黒褐色土少量、4層より明るい、1㎜ローム粒多量、炭化物少量



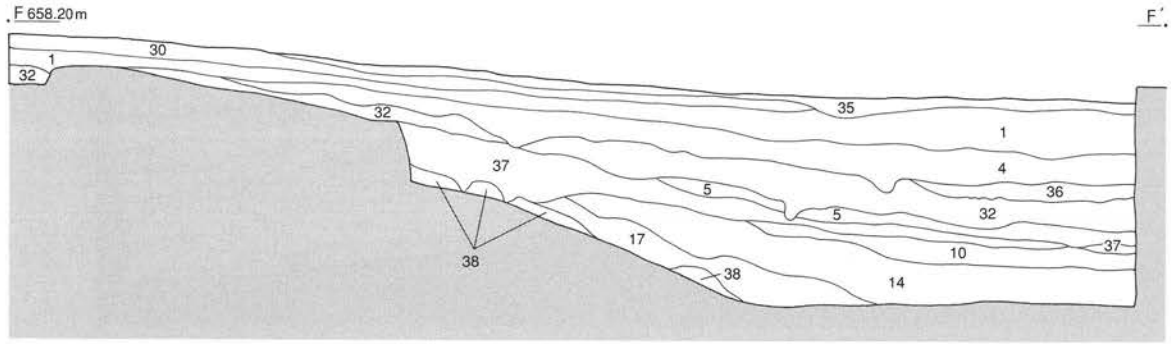
31 茶褐色土層
32 暗褐色土層　下層に茶褐色土やや多量、1㎜ローム粒少量

0　(1：100)　5m

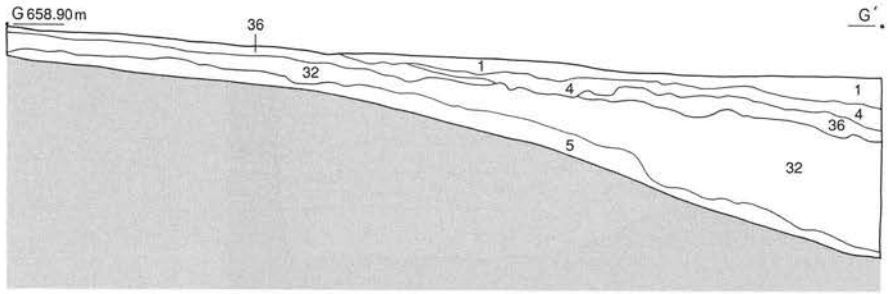
第76図　B区土層断面図①

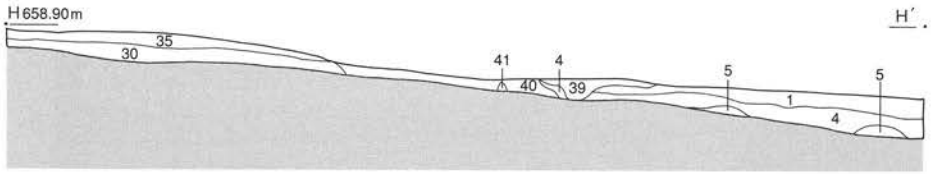


33　黒褐色土層　茶褐色土やや多量
34　暗褐色土層　黒褐色土多量

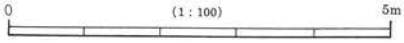


35　暗褐色土層
36　暗褐色土層　32層より暗い
37　暗褐色土層　2～5㎝茶褐色土粒多量、1～5㎜ローム粒少量
38　褐色土層　暗褐色土少量、5㎜ローム粒少量

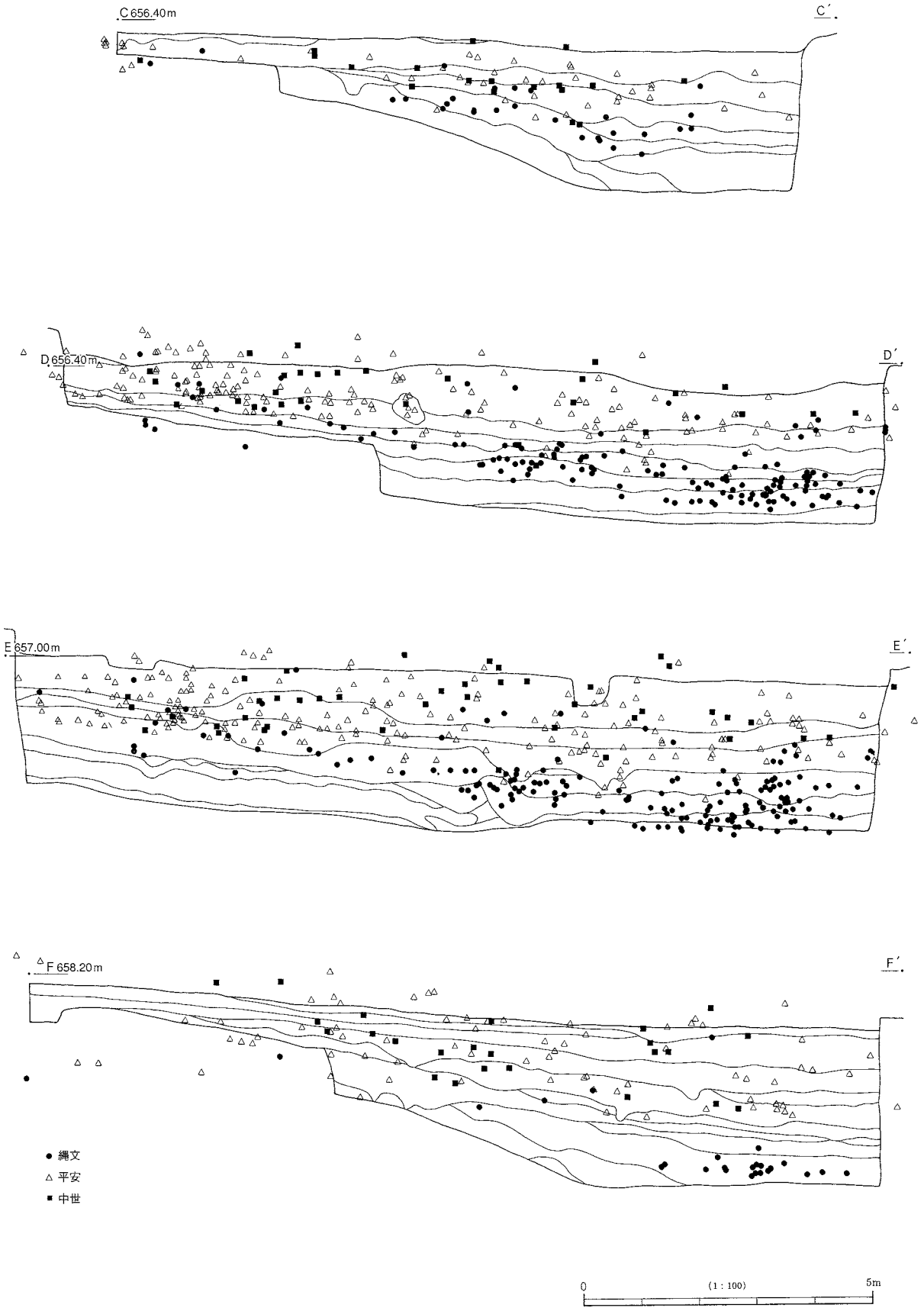




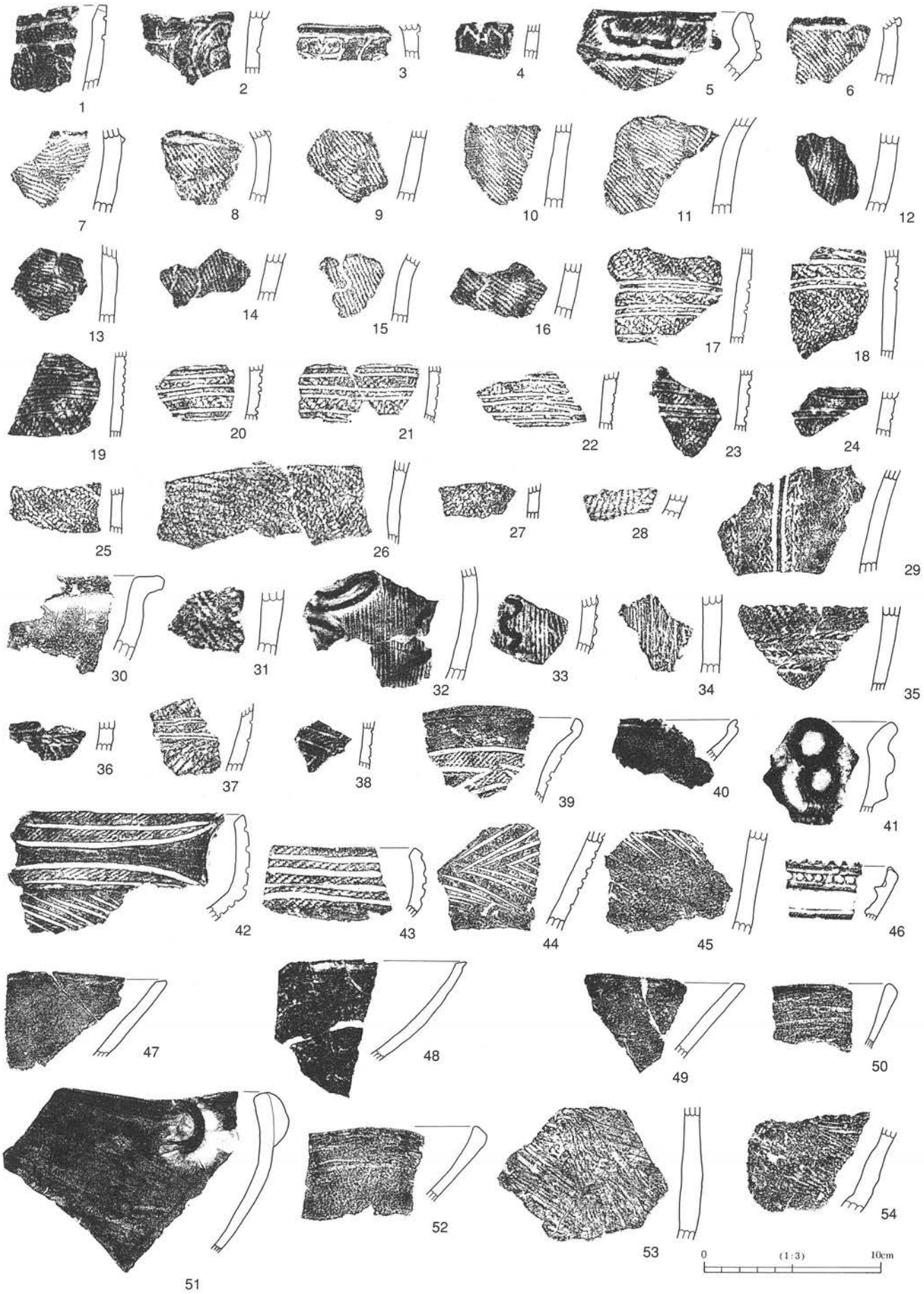
39　暗褐色土層　明るい、5㎜ローム粒少量
40　暗褐色土層　30層より明るい、黄褐色土多量、黒褐色土少量
41　褐色土層　暗褐色土混じり



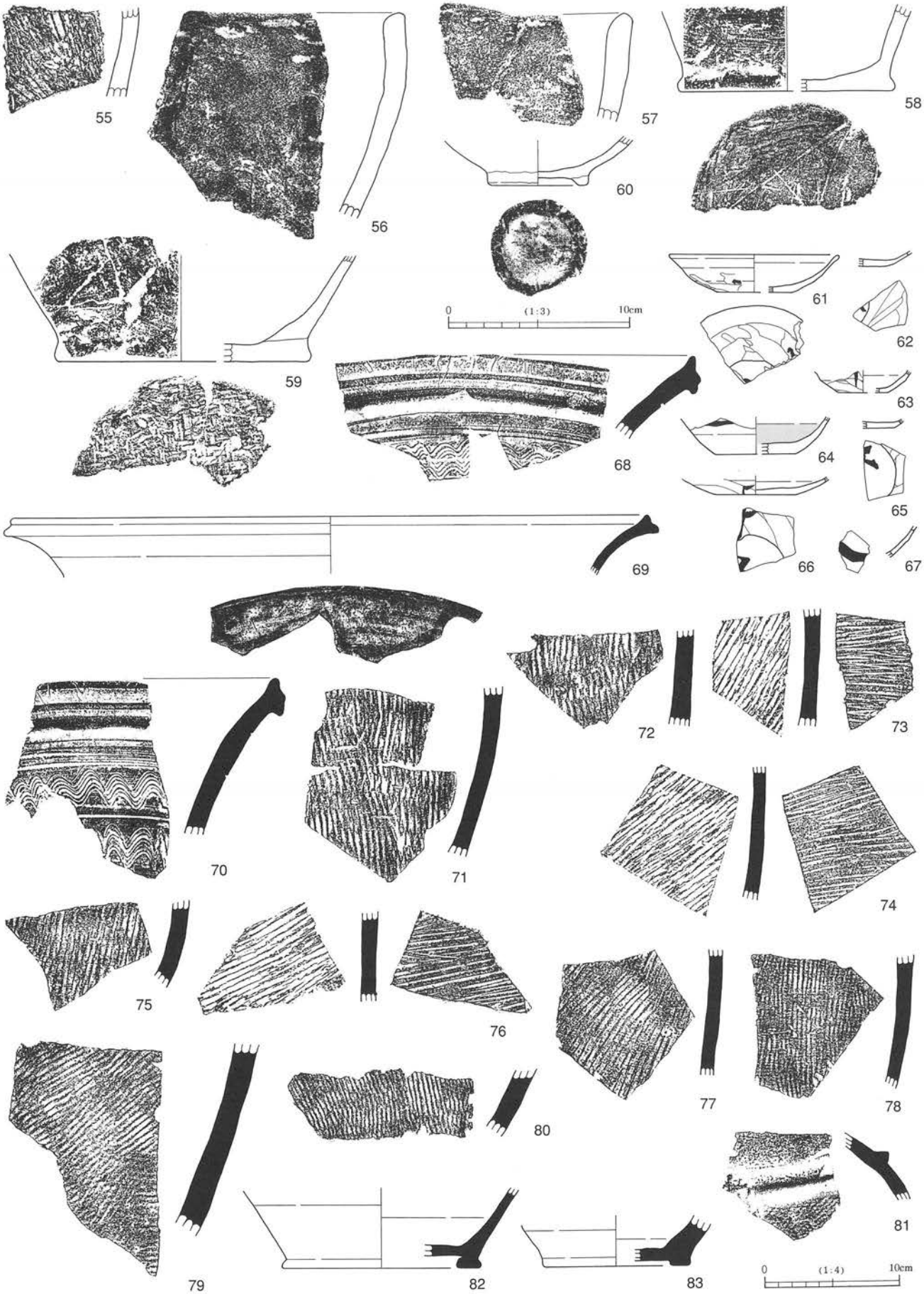
第77図　B区土層断面図②



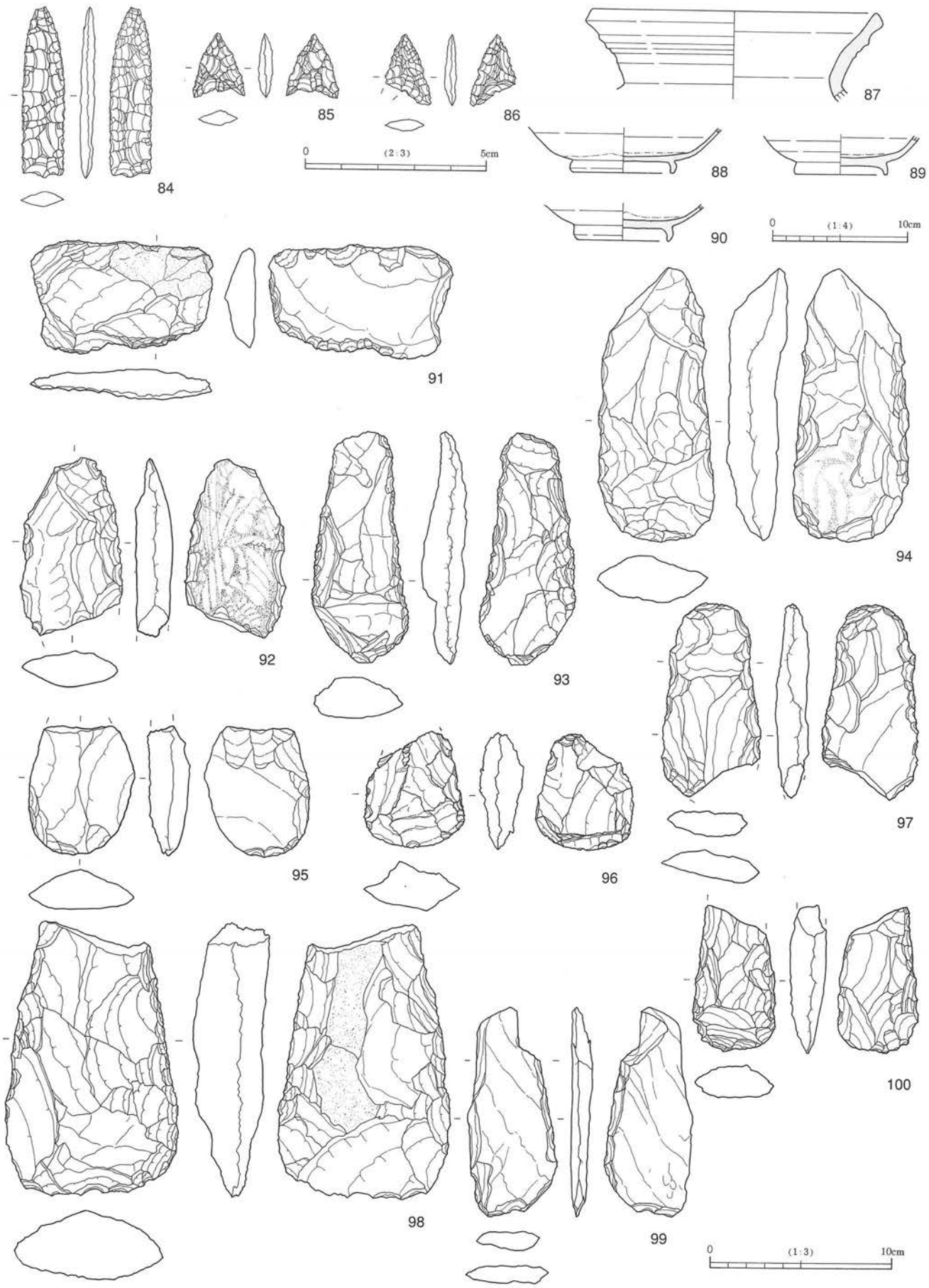
第78図　B区土層断面図③



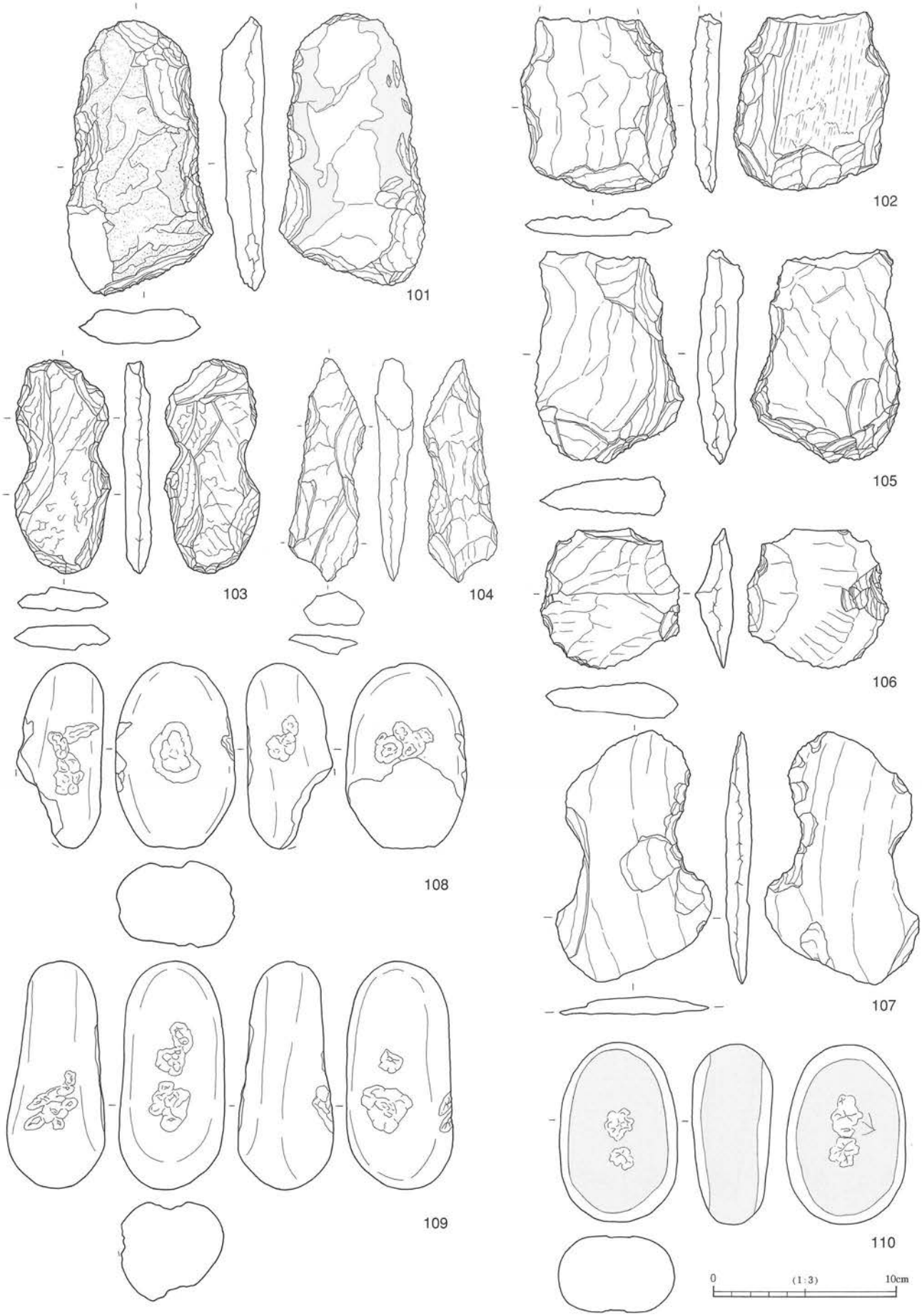
第79図　B区遺構外出土土器①



第80図　B区遺構外出土土器②

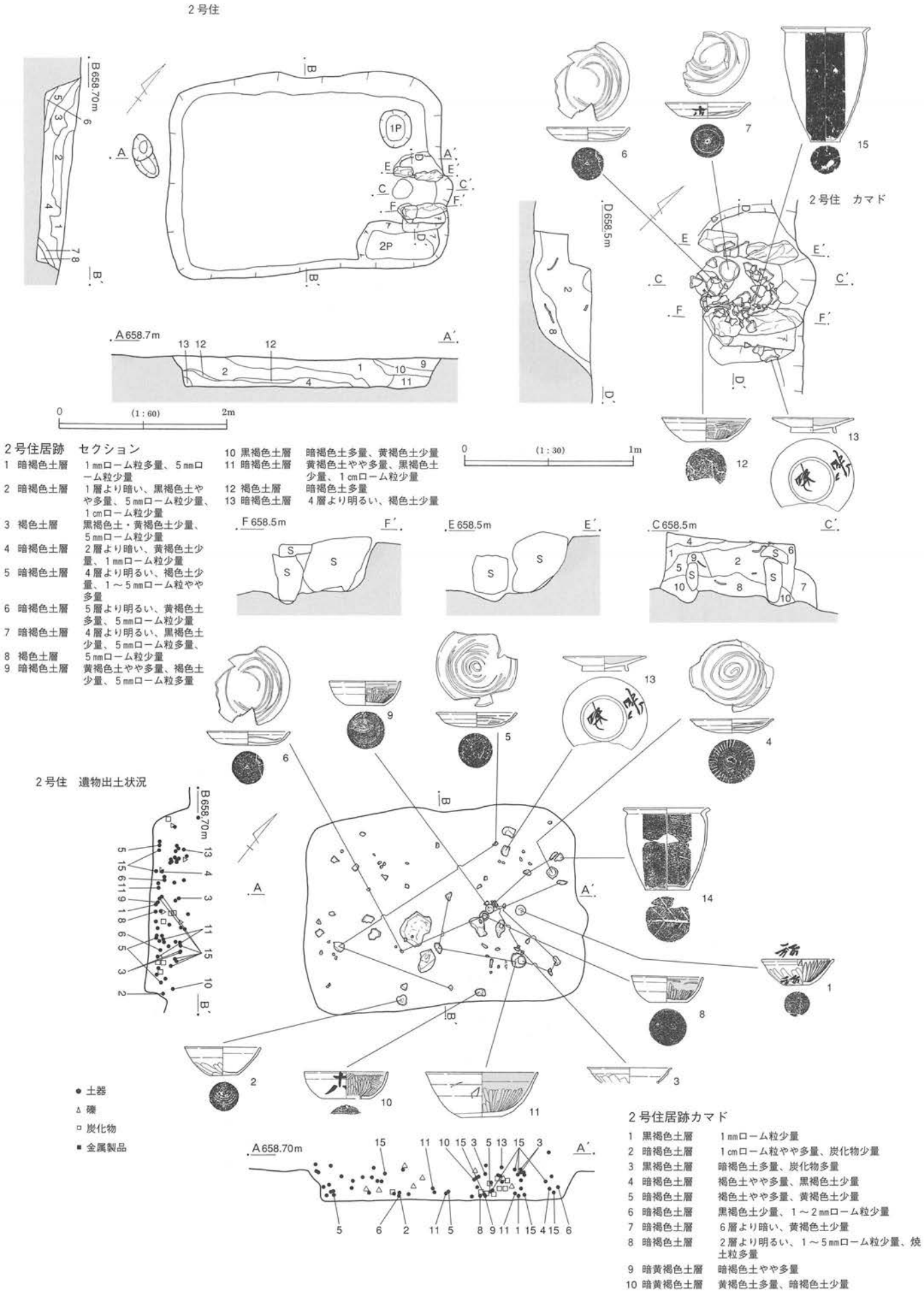


第81図　B区遺構外出土土器③、石器①



第82図　B区遺構外出土石器②

第83図　B区遺構外出土石器③、砥石



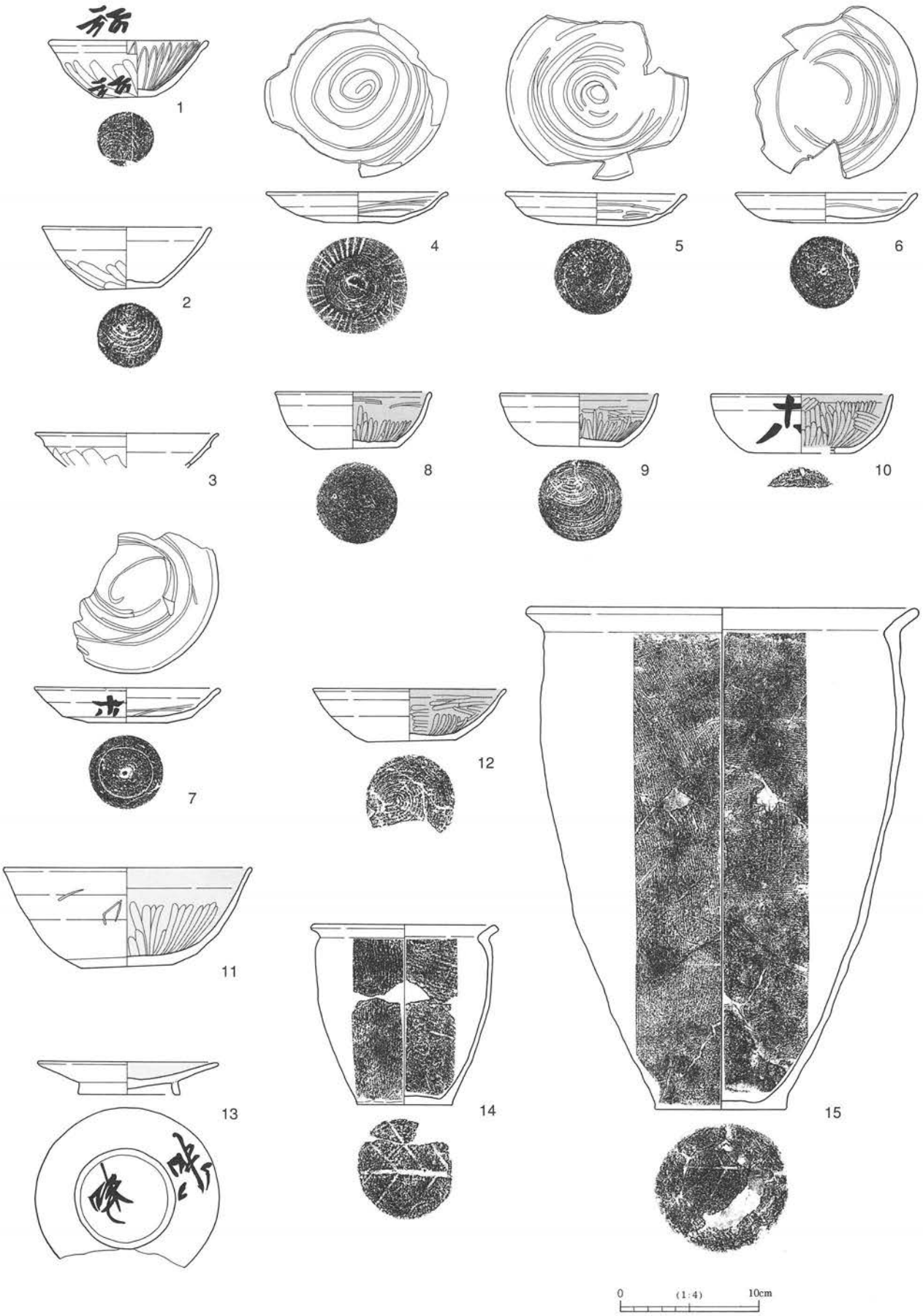
2号住居跡　セクション

1　暗褐色土層　1㎜ローム粒多量、5㎜ローム粒少量
2　暗褐色土層　1層より暗い、黒褐色土やや多量、5㎜ローム粒少量、1㎝ローム粒少量
3　褐色土層　黒褐色土・黄褐色土少量、5㎜ローム粒少量
4　暗褐色土層　2層より暗い、黄褐色土少量、1㎜ローム粒少量
5　暗褐色土層　4層より明るい、褐色土少量、1～5㎜ローム粒やや多量
6　暗褐色土層　5層より明るい、黄褐色土多量、5㎜ローム粒少量
7　暗褐色土層　4層より明るい、黒褐色土少量、5㎜ローム粒多量、
8　褐色土層　5㎜ローム粒少量
9　暗褐色土層　黄褐色土やや多量、褐色土少量、5㎜ローム粒多量
10　黒褐色土層　暗褐色土多量、黄褐色土少量
11　暗褐色土層　黄褐色土やや多量、黒褐色土少量、1㎝ローム粒少量
12　褐色土層　暗褐色土多量
13　暗褐色土層　4層より明るい、褐色土少量

2号住居跡カマド

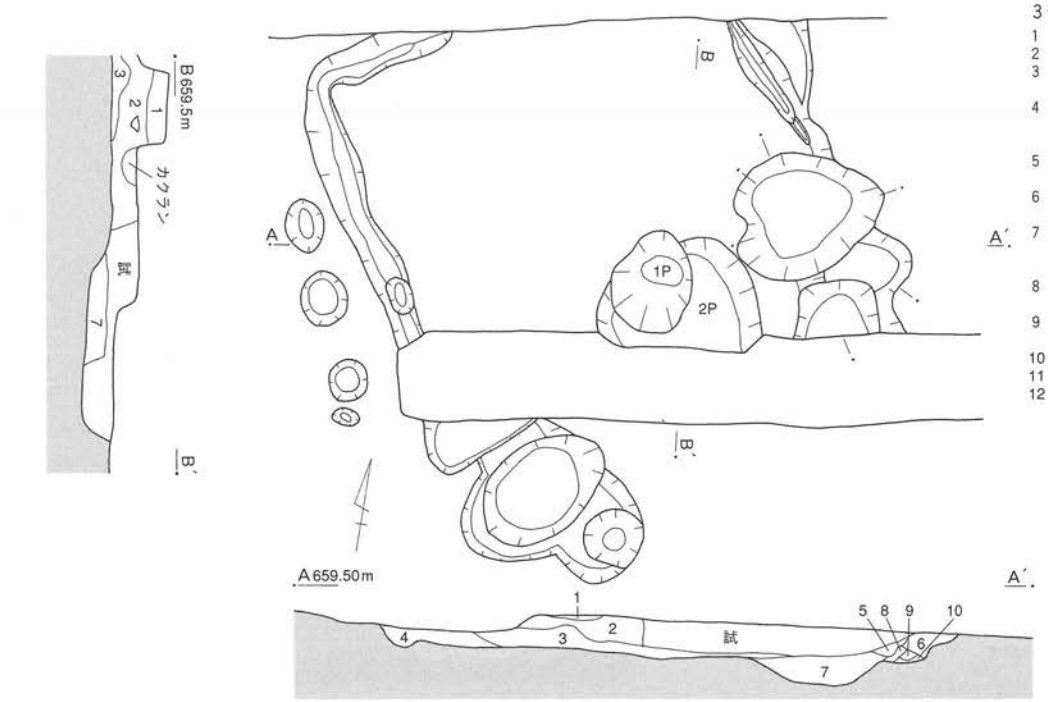
1　黒褐色土層　1㎜ローム粒少量
2　暗褐色土層　1㎝ローム粒やや多量、炭化物少量
3　黒褐色土層　暗褐色土多量、炭化物多量
4　暗褐色土層　褐色土やや多量、黒褐色土少量
5　暗褐色土層　褐色土やや多量、黄褐色土少量
6　暗褐色土層　黒褐色土少量、1～2㎜ローム粒少量
7　暗褐色土層　6層より暗い、黄褐色土少量
8　暗褐色土層　2層より明るい、1～5㎜ローム粒少量、焼土粒多量
9　暗黄褐色土層　暗褐色土やや多量
10　暗黄褐色土層　黄褐色土多量、暗褐色土少量

第84図　B区2号住居跡



第85図　B区２号住居跡出土土器

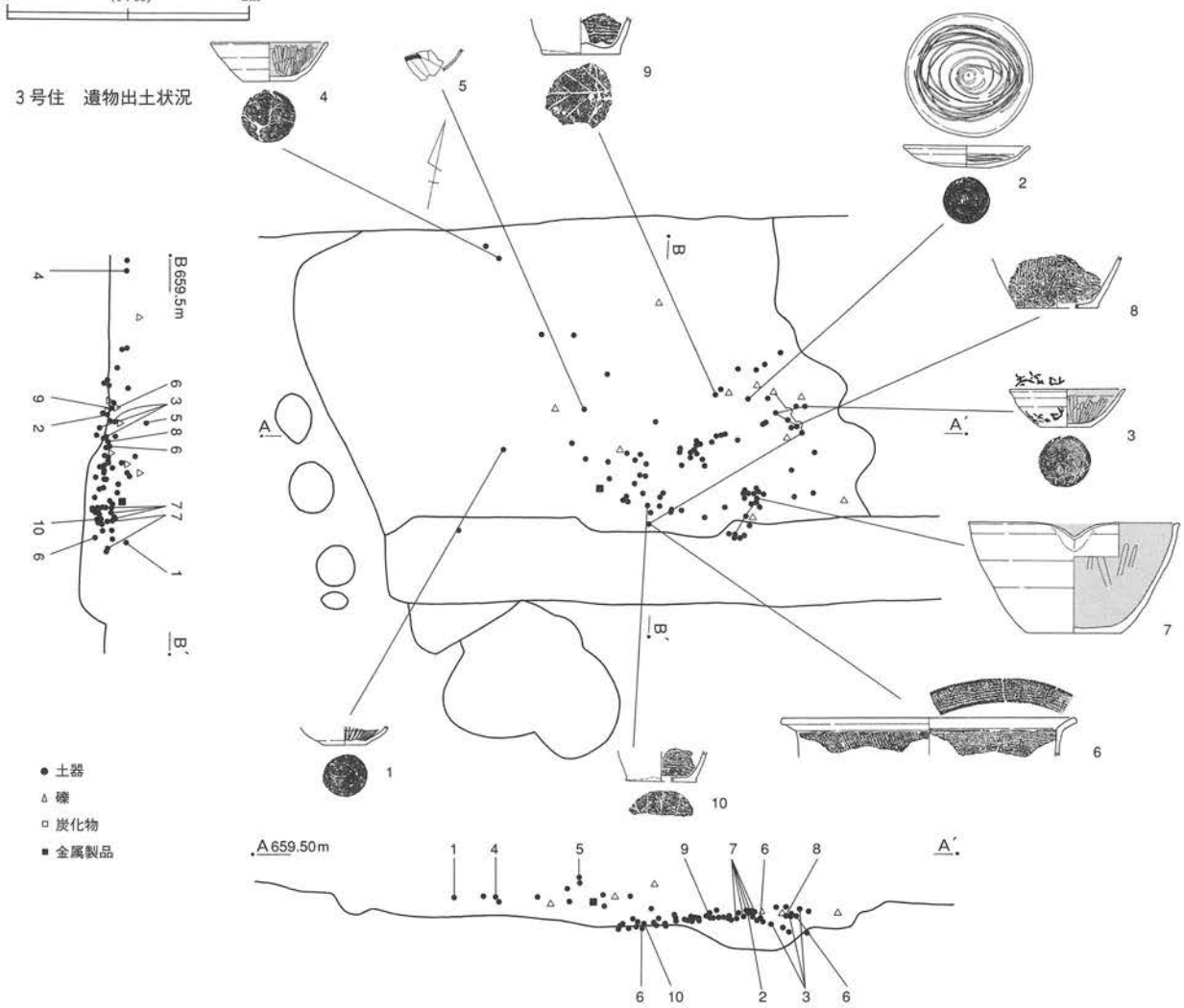
3号住



3号住居跡セクション

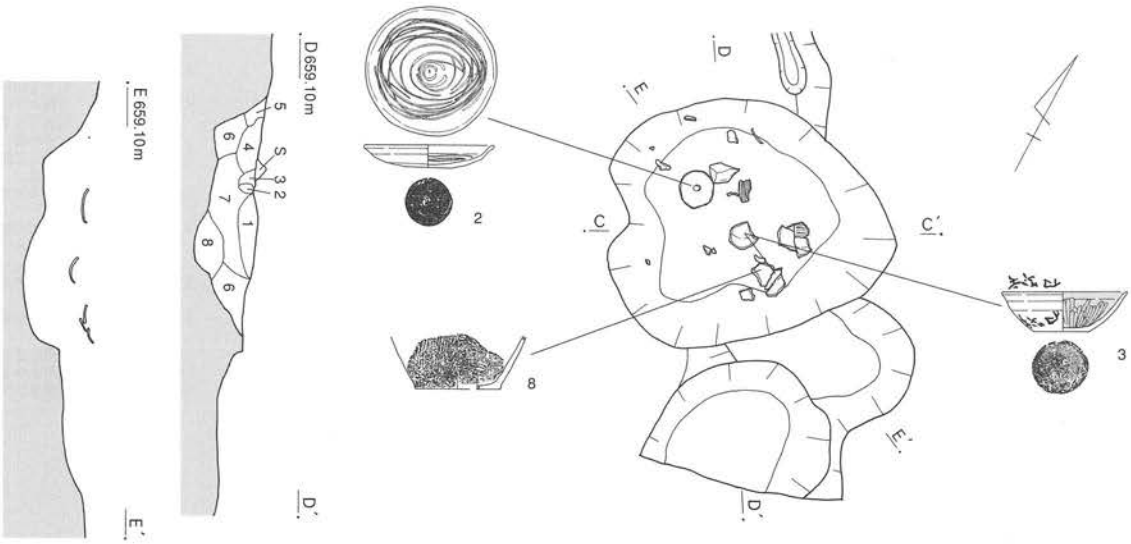
1	暗褐色土層	明るい、1㎜ローム粒少量
2	暗褐色土層	1㎜ローム粒少量
3	暗褐色土層	2層より明るい、黄褐色土少量、1～5㎜ローム粒多量
4	暗褐色土層	3層より明るい、黒褐色土・黄褐色土少量、1～5㎜ローム粒やや多量
5	暗褐色土層	6層より暗い、1㎝ローム粒やや多量
6	暗褐色土層	11層より明るい、褐色土やや多量
7	暗褐色土層	5層より明るい、褐色土少量、1㎜ローム粒やや多量、焼土粒多量
8	褐色土層	暗褐色土やや多量、5㎜ローム粒多量
9	暗褐色土層	褐色土やや多量、5㎜ローム粒少量
10	暗褐色土層	暗褐色土やや多量
11	暗褐色土層	褐色土少量
12	褐色土層	暗褐色土少量、黄褐色土少量

3号住　遺物出土状況



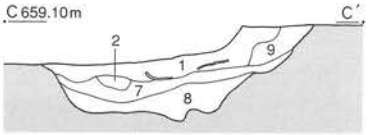
第86図　B区3号住居跡

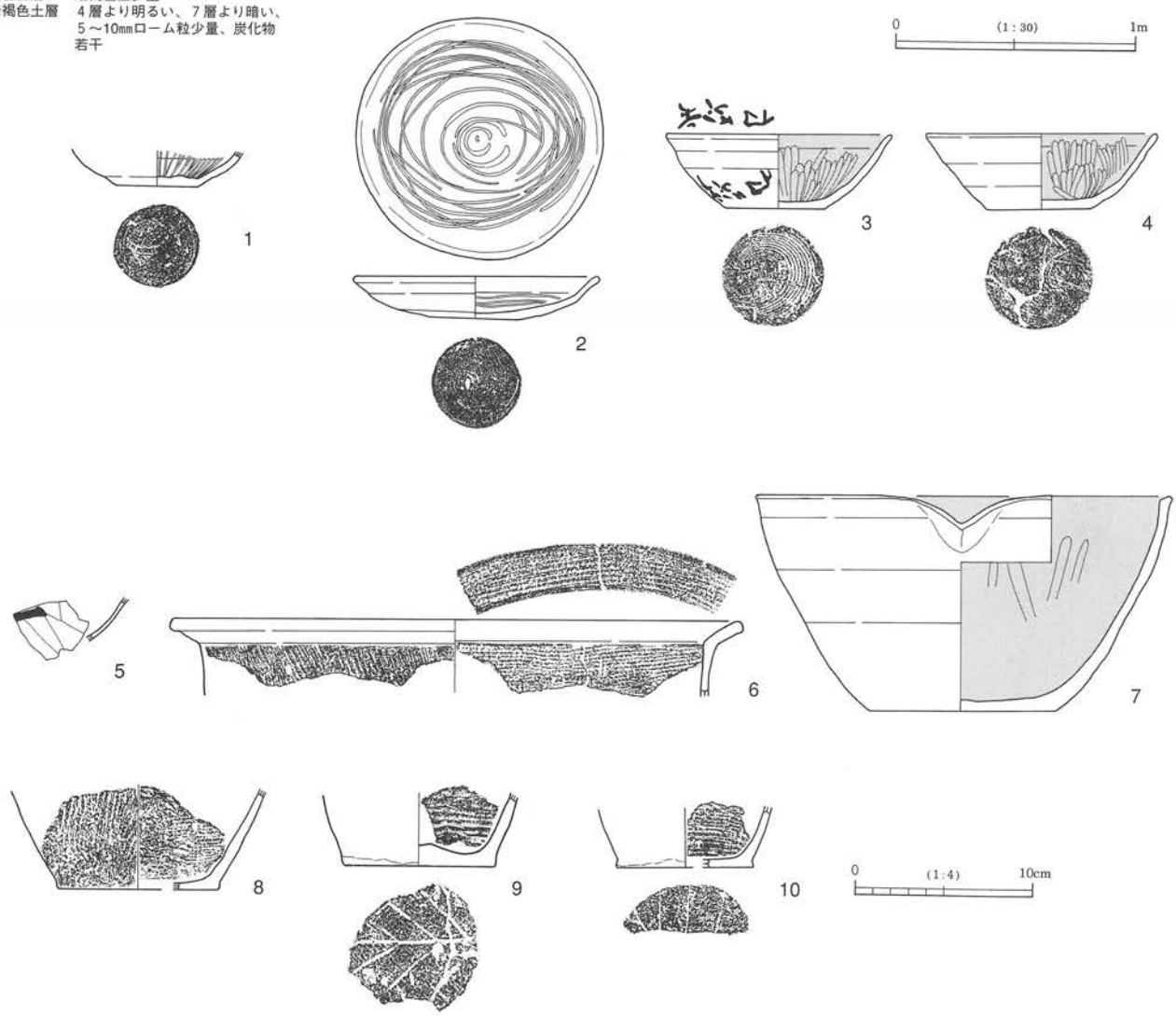
3号住　カマド



3号住居跡カマド

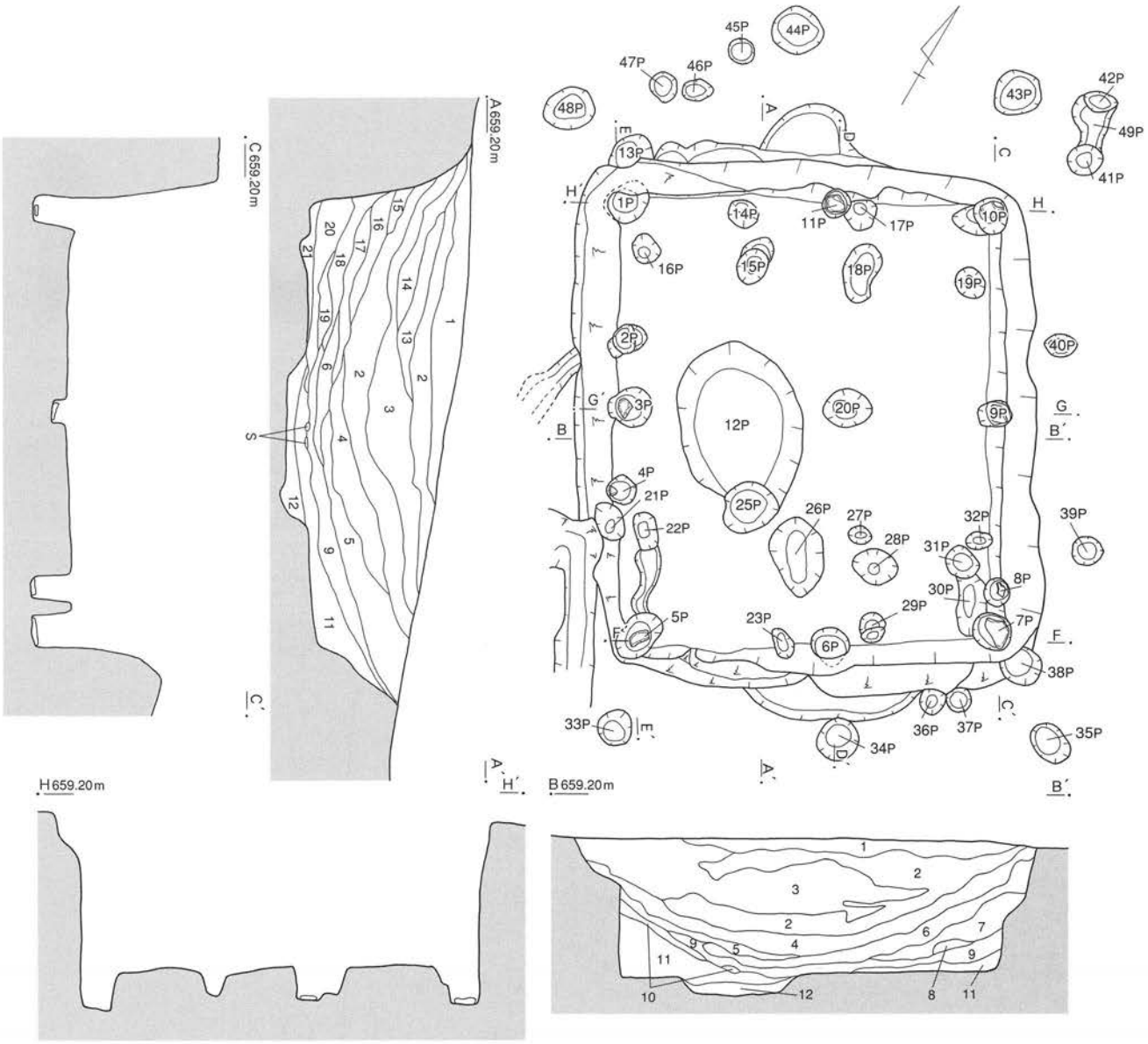
1　暗褐色土層　1㎜ローム粒少量、焼土粒少量
2　赤褐色土層　焼土
3　暗褐色土層　1層より暗い、褐色土少量
4　暗褐色土層　5㎜ローム粒やや多量、炭化物若干
5　褐色土層　暗褐色土少量
6　暗褐色土層　4層より明るい、7層より暗い、5～10㎜ローム粒少量、炭化物若干
7　暗褐色土層　褐色土やや多量、1㎝ローム粒少量、焼土粒やや多量
8　赤褐色土層　焼土
9　暗褐色土層　1層より明るい





第87図　B区3号住居跡カマド遺物出土状況、出土土器

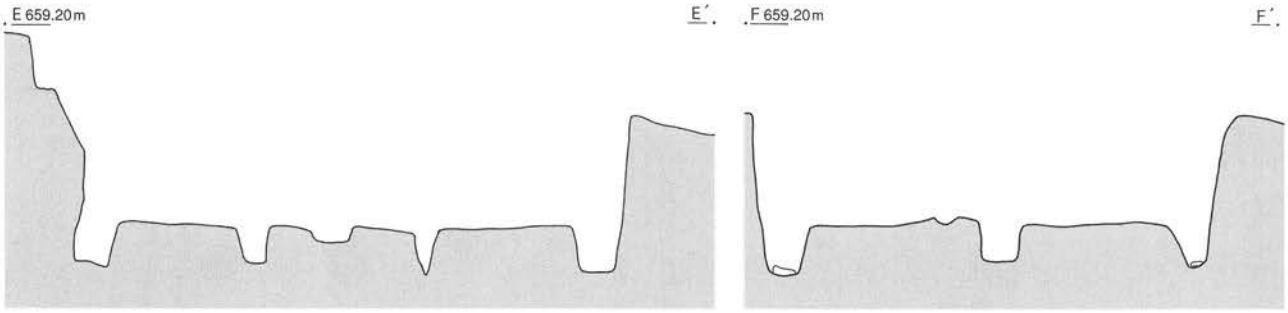
1号方形竪穴状遺構



1号方形竪穴状遺構

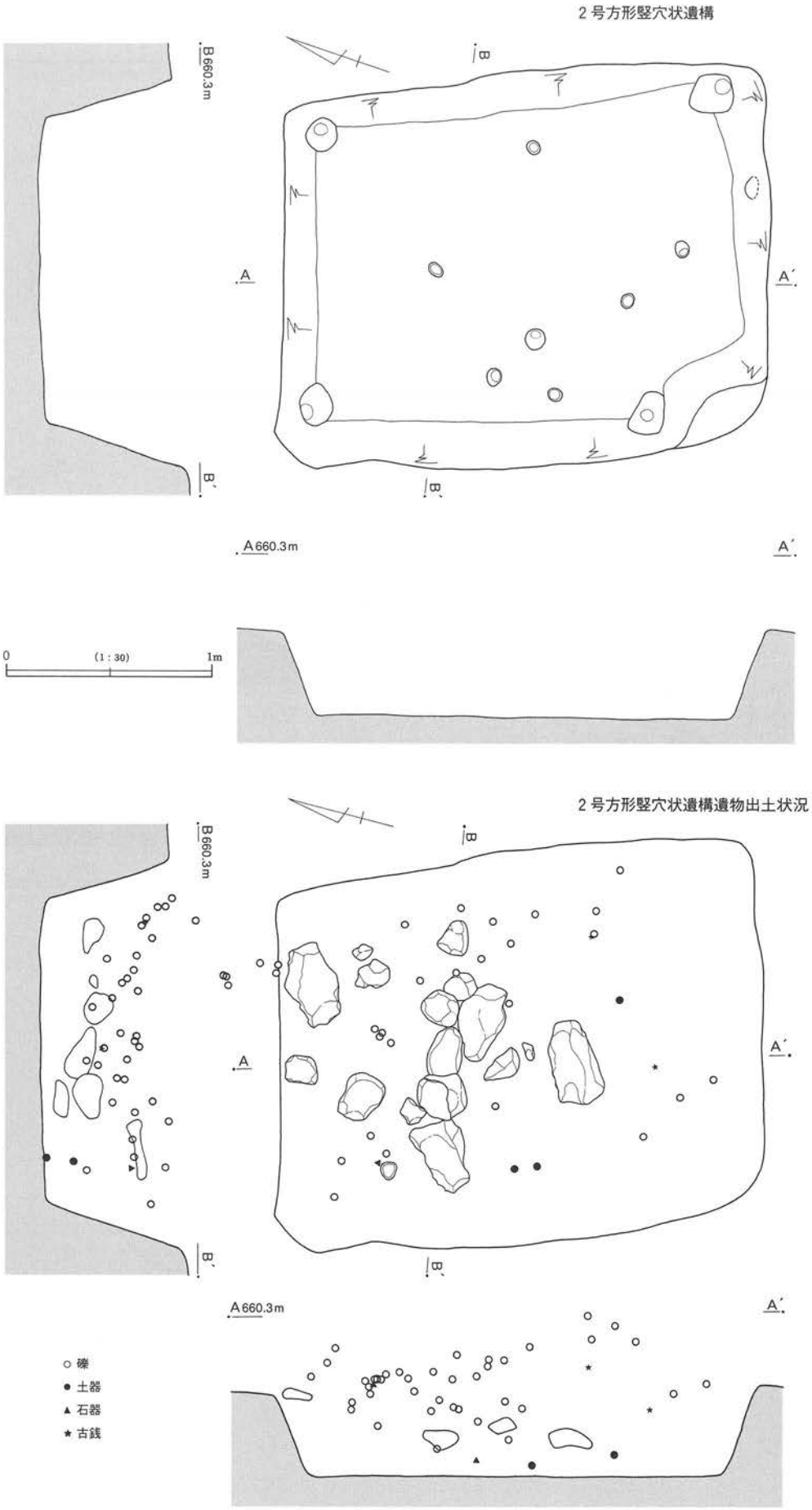
1 暗褐色土層　1㎜ローム粒やや多量、5㎜ローム粒少量、炭化物少量
2 暗褐色土層　1層より暗い、1㎜ローム粒極めて多量、5㎜ローム粒やや少量、褐色土少量、炭化物少量
3 褐色土層　暗褐色土少量、1～5㎜ローム粒極めて多量、炭化物少量
4 褐色土層　暗褐色土やや多量、1～5㎜ローム粒極めて多量、炭化物若干
5 褐色土層　黄褐色土多量、黒褐色土少量、5㎜ローム粒少量
6 褐色土層　4層より暗い、黒褐色土多量、暗褐色土少量、1～5㎜ローム粒極めて多量、炭化物若干
7 褐色土層　黒褐色土少量、1～5㎜ローム粒極めて多量
8 褐色土層　7層より暗い、1～5㎜ローム粒多量
9 暗褐色土層　褐色土やや多量、黒褐色土やや多量、5㎜ローム粒少量
10 褐色土層　5㎜ローム粒少量、暗褐色土やや多量
11 褐色土層　黒褐色土少量、1～5㎜ローム粒やや多量、5㎜黄褐色ブロック含む、炭化物少量
12 暗褐色土層　1～2㎝ローム粒やや多量、炭化物多量
13 暗褐色土層　2・4・5層より暗い、褐色土少量、5～10㎜ローム粒少量
14 暗褐色土層　3層より明るい
15 褐色土層　暗褐色土少量、炭化物少量
16 暗褐色土層　7・11層より暗い、黒褐色土少量、1～10㎜ローム粒多量
17 暗褐色土層　7・10・13層より明るい、黄褐色土極めて多量、黒褐色土少量、1～5㎜ローム粒少量
18 暗褐色土層　14層より明るい、11・15層より暗い、1～5㎜ローム粒やや多量、黄褐色ブロック少量
19 褐色土層　黒褐色土・黄褐色土少量
20 褐色土層　暗褐色土・黄褐色土少量
21 暗褐色土層　1～5㎜ローム粒少量

第88図　B区1号方形竪穴状遺構



1号方形竪穴状遺構　遺物出土状況

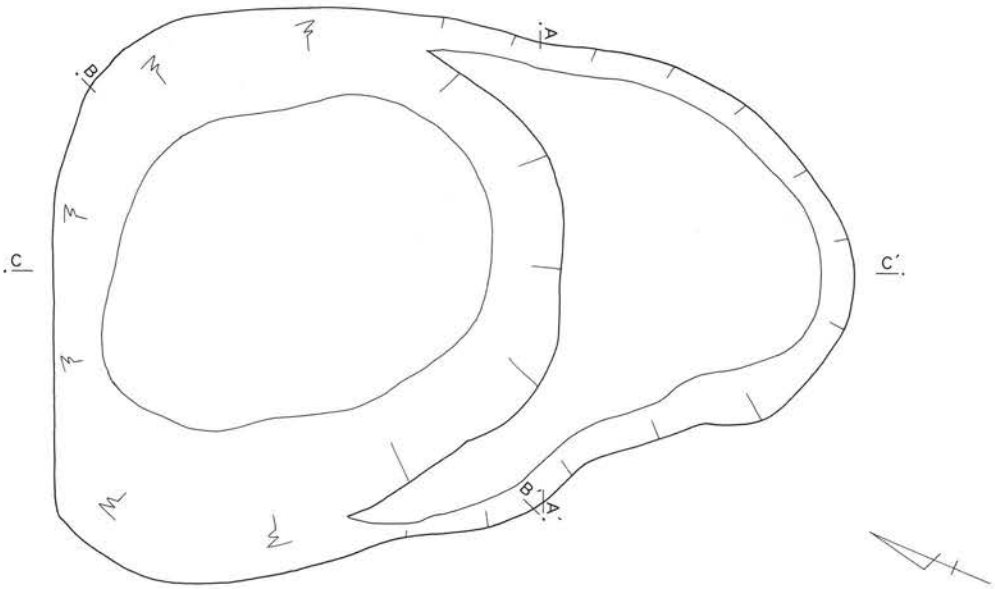
第89図　B区1号方形竪穴状遺構遺物出土状況



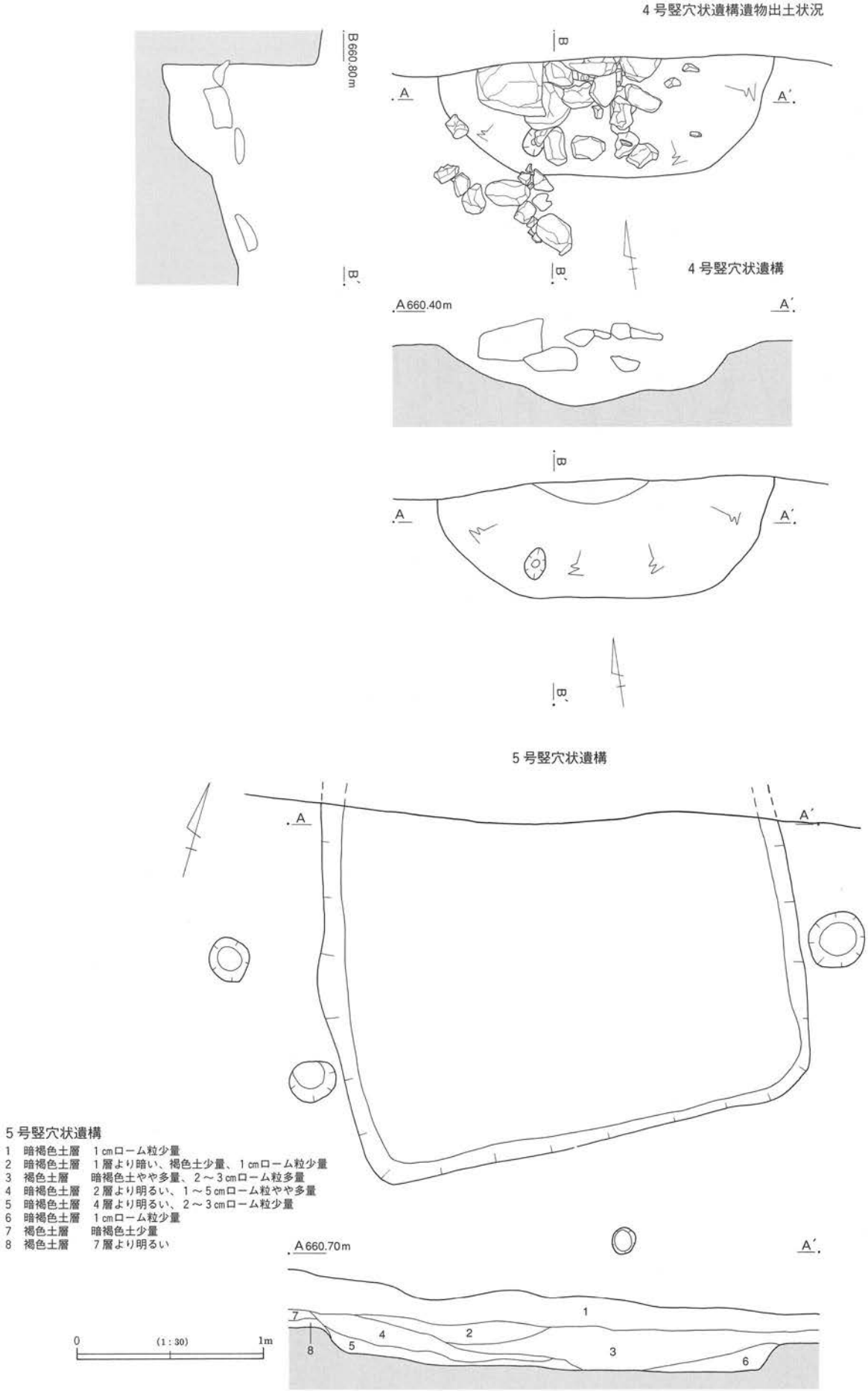
第90図　B区2号方形竪穴状遺構

3号竪穴状遺構遺物出土状況

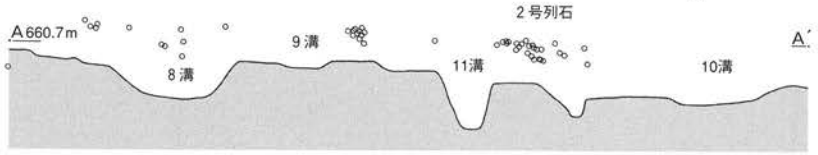
3号竪穴状遺構

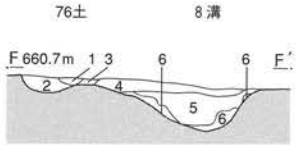


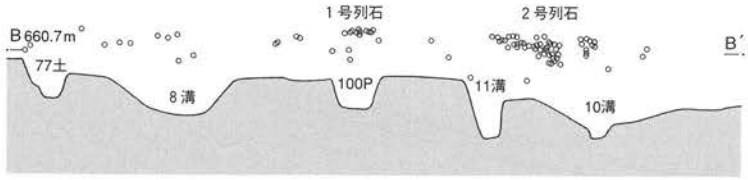
第91図　B区3号竪穴状遺構

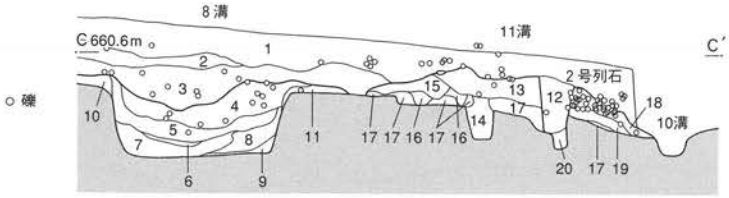


第92図　B区4・5号竪穴状遺構





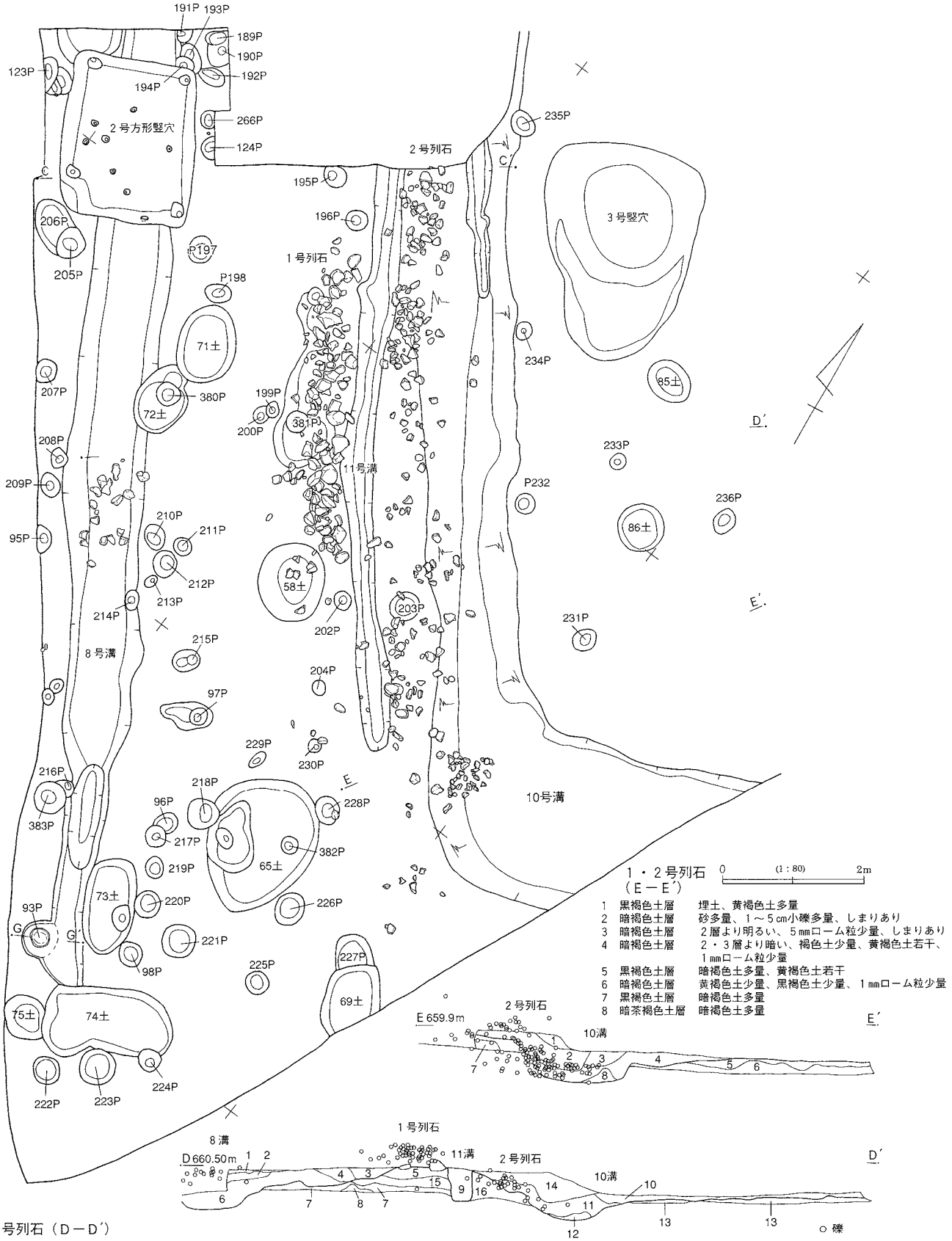




1・2号列石、8号溝（C－C′）

1　暗褐色土層　褐色土少量、1㎜ローム粒多量
2　暗褐色土層　1層より暗い、褐色土少量、1～5㎜ローム粒やや多量
3　暗褐色土層　1・2層より暗い、1～2㎜ローム粒多量、炭化物少量、下層に黄褐色ブロック多量、8号溝覆土
4　暗褐色土層　3・5層より明るい、黄褐色土・黒褐色土多量、炭化物少量
5　暗褐色土層　7層より暗い、黄褐色土やや多量、1㎜ローム粒少量、炭化物少量
6　暗褐色土層　明るい、褐色土多量
7　暗褐色土層　黄褐色土少量、炭化物少量
8　褐色土層　暗褐色土少量、2～3㎝ローム粒多量
9　暗褐色土層　7層より暗い、黄褐色土少量
10　暗褐色土層　3・5層より明るい、黒褐色土少量
11　暗褐色土層　3・4層より暗い、1㎜ローム粒少量
12　暗褐色土層　13・18・19層より明るい、5～10㎜ローム粒やや多量
13　暗褐色土層　1層より暗い、褐色土少量、1㎜ローム粒やや多量、1㎝ローム粒少量、炭化物少量
14　暗褐色土層　13層より明るい、黄褐色土多量、1㎜ローム粒やや多量
15　暗褐色土層　3・13層より暗い、黒褐色土やや多量、褐色土少量
16　暗褐色土層　13・15層より明るい、褐色土多量
17　褐色土層　暗褐色土少量
18　暗褐色土層　1層より暗い、1㎜ローム粒少量
19　暗褐色土層　18層より暗い、1㎜ローム粒やや多量、炭化物少量
20　褐色土層　暗褐色土やや多量

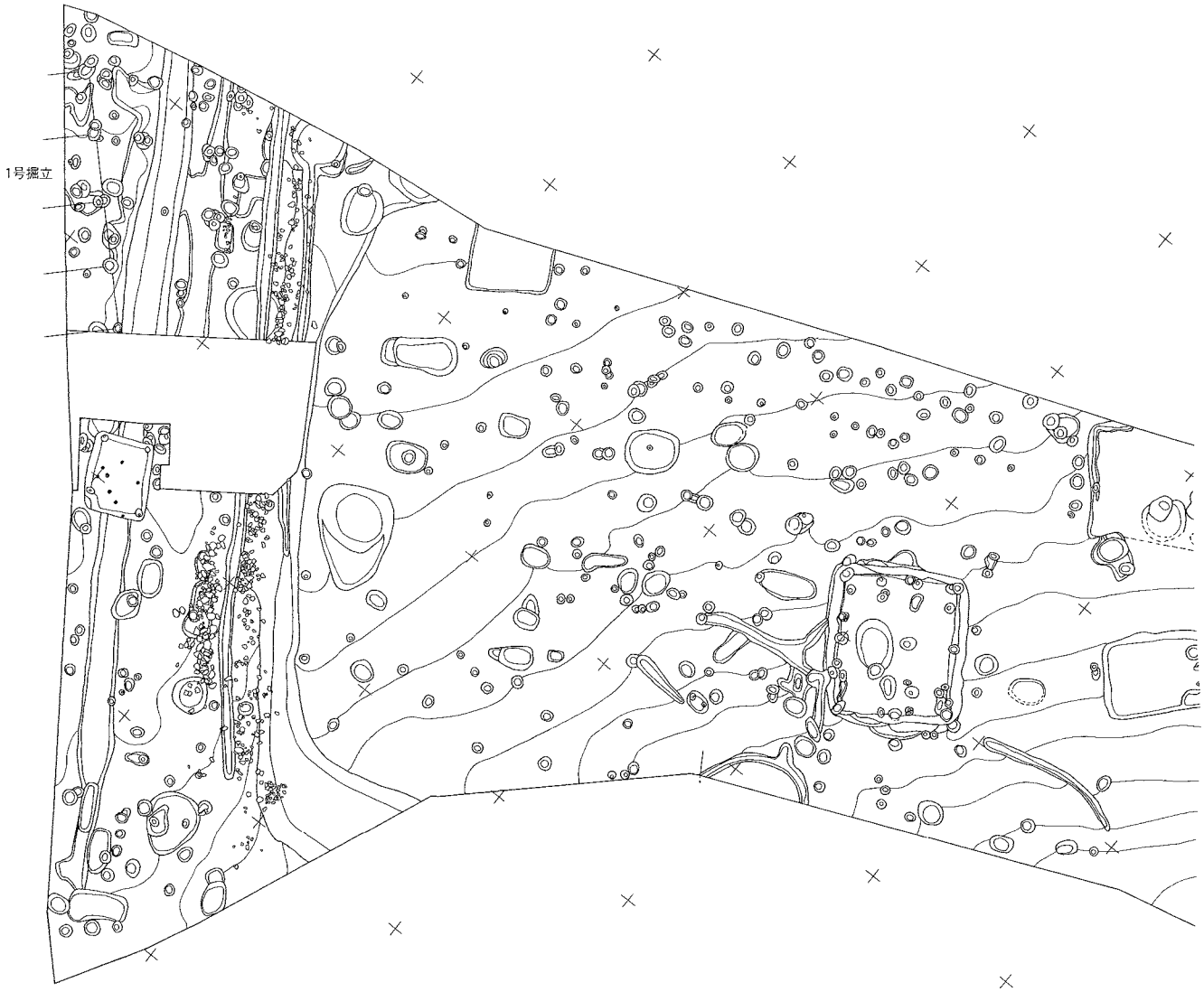
第93図　B区8～11号溝、1・2号列石①



1・2号列石（D－D′）

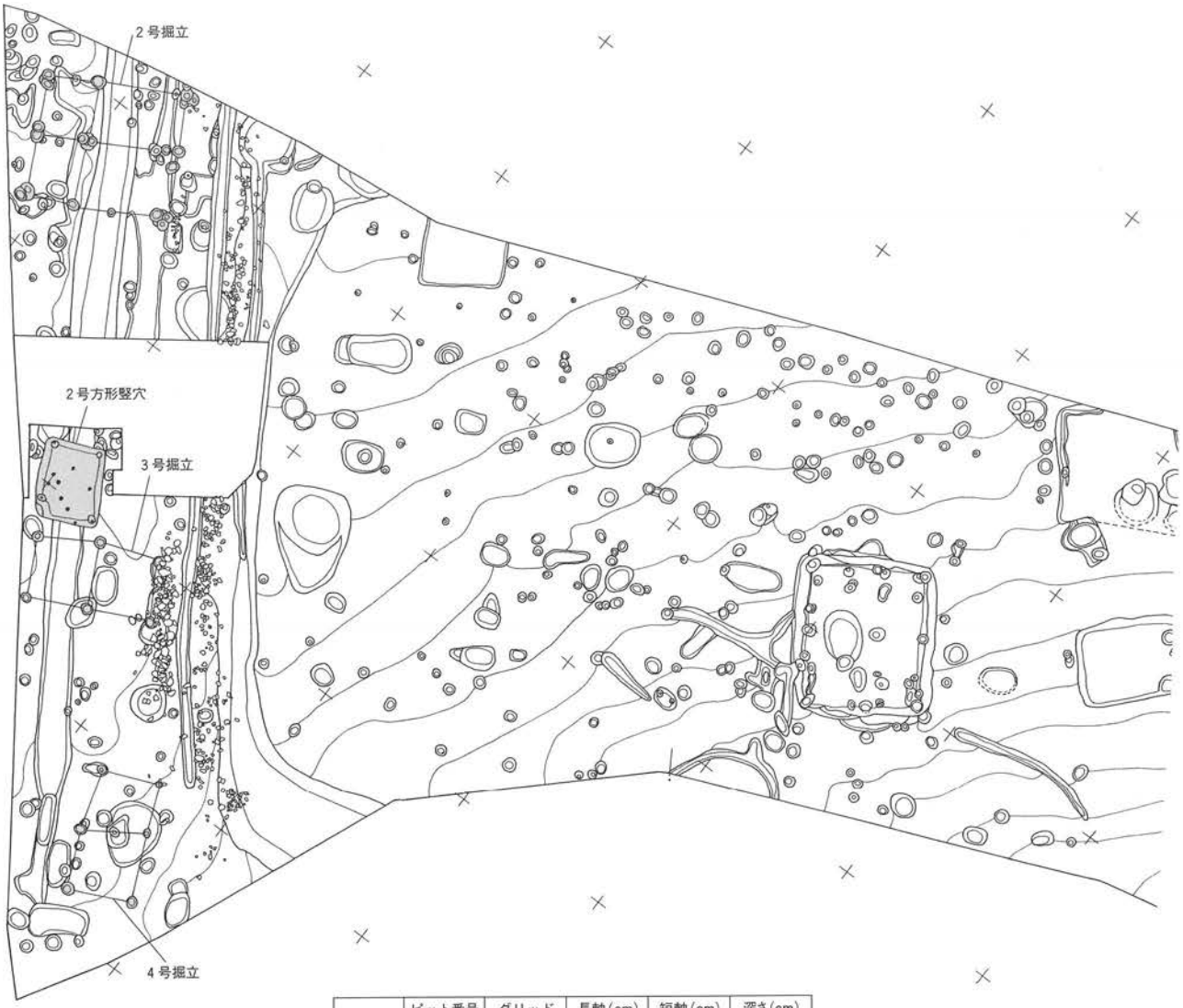
1 暗褐色土層 5mmローム粒若干
2 暗褐色土層 1層より明るい、黄褐色土少量
3 褐色土層 1mmローム粒若干
4 暗褐色土層 褐色土少量
5 暗褐色土層 5mmローム粒少量
6 黒褐色土層 暗褐色土多量、黄褐色土若干、1mmローム粒多量
7 暗褐色土層 黄褐色土少量、5mmローム粒若干
8 茶褐色土層 暗褐色土多量
9 暗褐色土層 黒褐色土少量、5～10mmローム粒多量
10 暗褐色土層 褐色土少量、1mmローム粒少量
11 暗褐色土層 5・10層より明るい、5～10cm礫多量、下層に黄褐色ブロック含む、しまりあり
12 暗黄褐色土層 暗褐色土多量
13 茶褐色土層 暗褐色土多量、黄褐色土多量
14 暗褐色土層 7・11層より明るい
15 暗褐色土層 5・7層より暗い、黒褐色土多量、黄褐色土少量
16 暗褐色土層 黄褐色土少量、5mmローム粒少量

第94図 B区8～11号溝、1・2号列石②



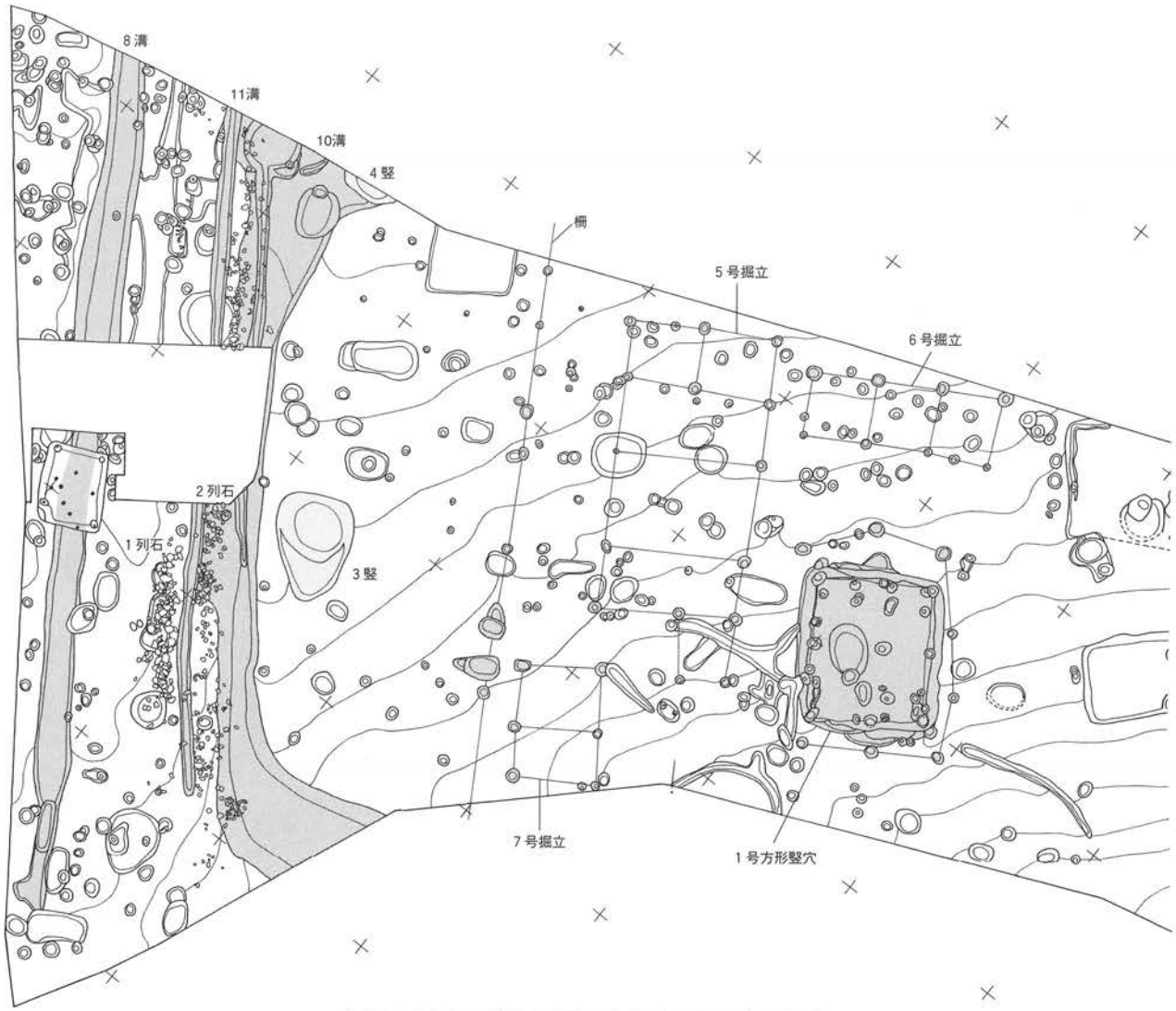
	ピット番号	グリッド	長軸(cm)	短軸(cm)	深さ(cm)
1号掘立	104	J-24	44	37	34
	140	J-25	37	30	14
	146	J-25	38	45	49
	147	J-25	30	36	54
	148	J-24, K-24	47	42	50
	149	K-24	29	24	3
	154	J-25	45	33	28
	166	J-24・25	32	24	59

第95図　B区掘立柱建物跡推定図①



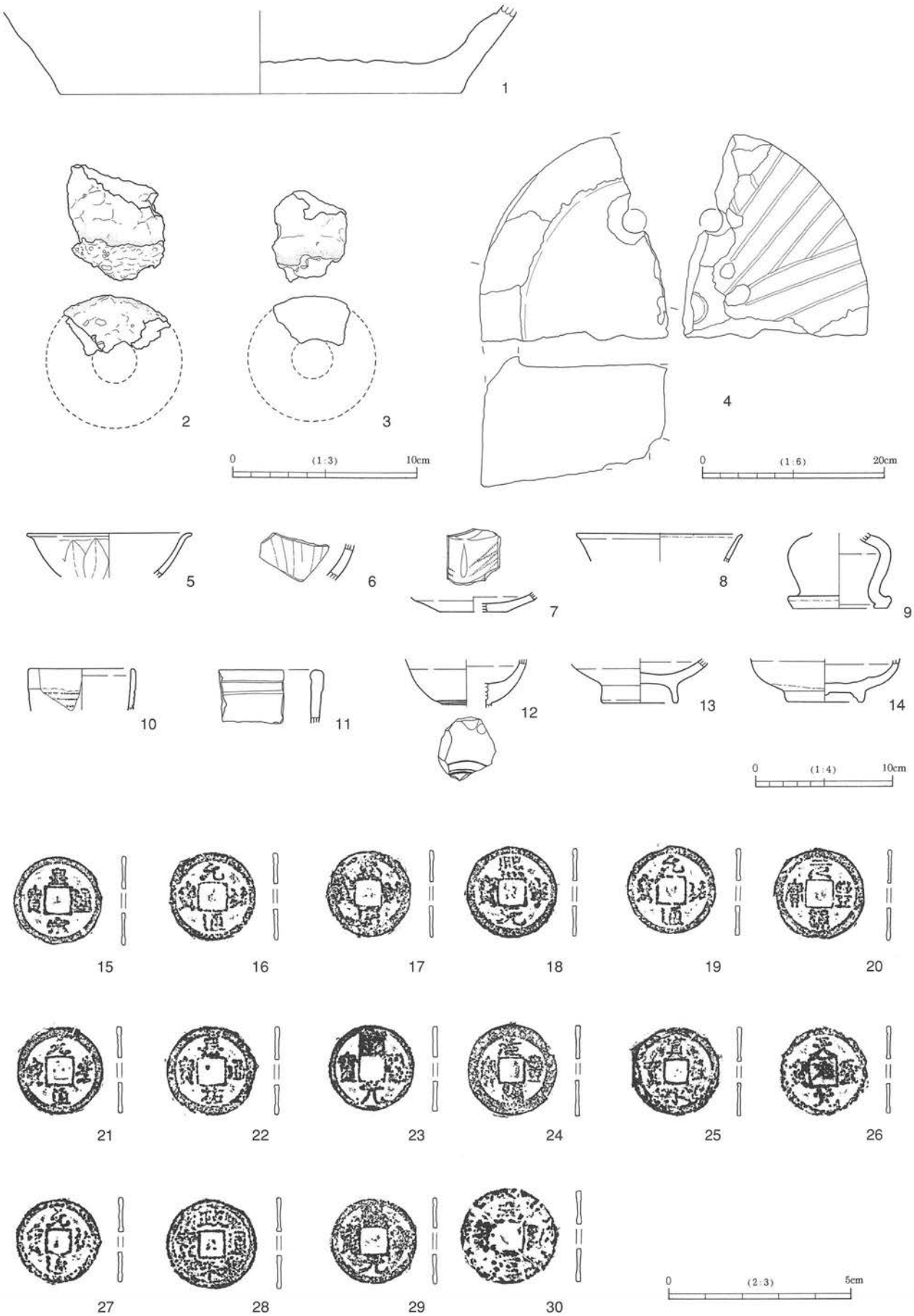
	ピット番号	グリッド	長軸(cm)	短軸(cm)	深さ(cm)
2号掘立	105	J-25	72	46	53
	109	J-25	38	29	28
	137	I-25, J-25	43	37	31
	139	I-24	33	35	39
	140	J-25	37	30	14
	141	J-25	35	29	31
	142	I-24, J-24	38	34	47
	143	J-24	39	31	51
	144	J-24	26	21	26
	145	J-24	29	25	37
	147	J-25	30	36	54
	157	J-25	40	28	30
	162	J-24・25	31	27	18
	164	J-25	48	31	53
	173	J-24	32	29	23
	174	J-24	39	39	39
	175	J-24	40	36	25
	178	J-24	29	28	8
	185	I-24	25	37	37
	186	I-24	22	29	23
3号掘立	110	K-23	32	32	53
	197	L-23	31	30	14
	205	L-23	31	28	51
	207	L-23	28	26	41
	380	L-23	36	34	26
	381	L-23	32	28	25
4号掘立	97	M-22	75	41	23
	98	M-22	34	34	40
	217	M-22	36	30	38
	226	M-22	45	35	10
	230	L-22,M-22	17	17	10
	382	M-22	28	24	34

第96図　B区掘立柱建物跡推定図②

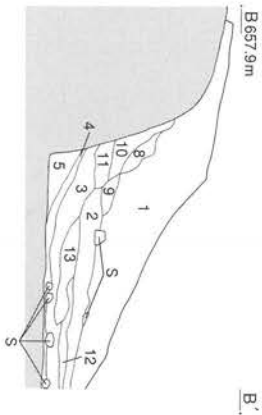


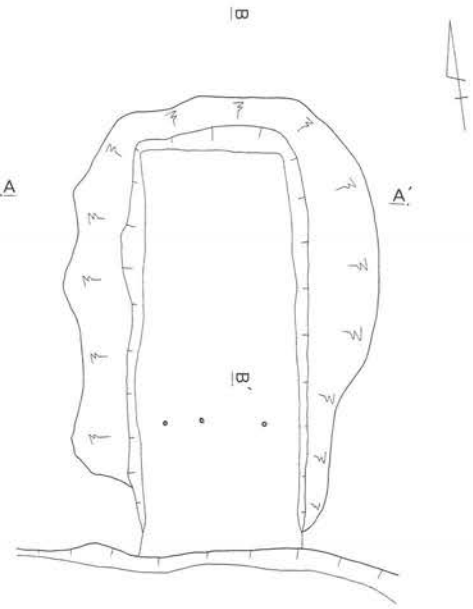
	ピット番号	グリッド	長軸(cm)	短軸(cm)	深さ(cm)
柵	107	K-21	129	76	97
	108	J-21, K-21	109	81	103
	255	J-21	31	29	14
	268	I-22	26	23	28
	271	I-22	23	18	16
	277	I-22, J-22	44	37	13
	279	J-21・22	39	29	24
5号掘立	113	I-22	23	20	9
	125	I-21・22	31	26	22
	126	H-21	40	30	18
	127	H-21	34	30	31
	129	I-21	38	35	16
	130	I-21	35	28	32
	131	I-21	15	15	5
	132	I-20	32	27	15
	133	J-21	35	29	7
	134	I-20	37	35	18
	135	J-21	35	33	8
	136	I-20	35	27	19
	313	J-20	34	31	15
	316	J-20	26	23	17
	318	J-20	24	27	6
6号掘立	114	H-20	44	40	48
	334	I-20	20	19	10
	339	H-20	29	26	12
	345	H-20	37	34	11
	349	H-20	42	33	16
	352	H-20	24	22	12
	355	H-19	19	17	9
	358	H-19・20	44	42	15
7号掘立	118	K-21	49	31	41
	224	M-22, N-22	34	29	36
	243	K-21	34	33	12
	246	K-20	24	23	15
	248	K-20	27	26	18
	249	K-20	40	29	17

第97図　B区掘立柱建物跡推定図③



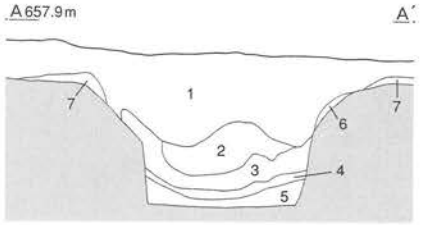
第98図　B区出土土器、石臼、古銭



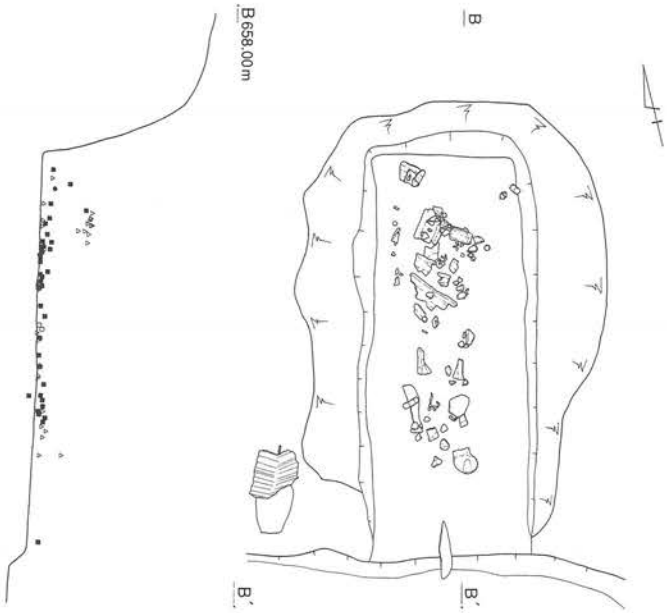


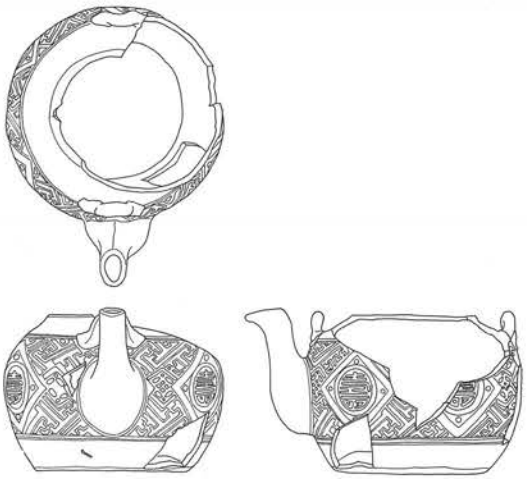
1号溝

1　暗褐色土層　腐植土堆積、黄褐色土少量
2　暗褐色土層　炭化物少量、黄褐色土やや多量、しまり少しあり
3　褐色土層　黄褐色土やや多量、柔らかい
4　暗褐色土層　黄褐色土少量、黄褐色ブロック少量、炭化物少量
5　褐色土層　黄褐色土多量、暗褐色土少量、柔らかい
6　褐色土層　黄褐色土少量、暗褐色土少量、柔らかい
7　黄褐色土層　地山
8　暗褐色土層　褐色土少量、ややしまりあり
9　暗褐色土層　褐色土多量、柔らかい
10　褐色土層　暗褐色土多量
11　暗褐色土層　褐色土多量
12　褐色土層　暗褐色土多量、やや暗い
13　暗褐色土層　褐色土多量、5～10mmローム粒少量



0　(1：100)　2m

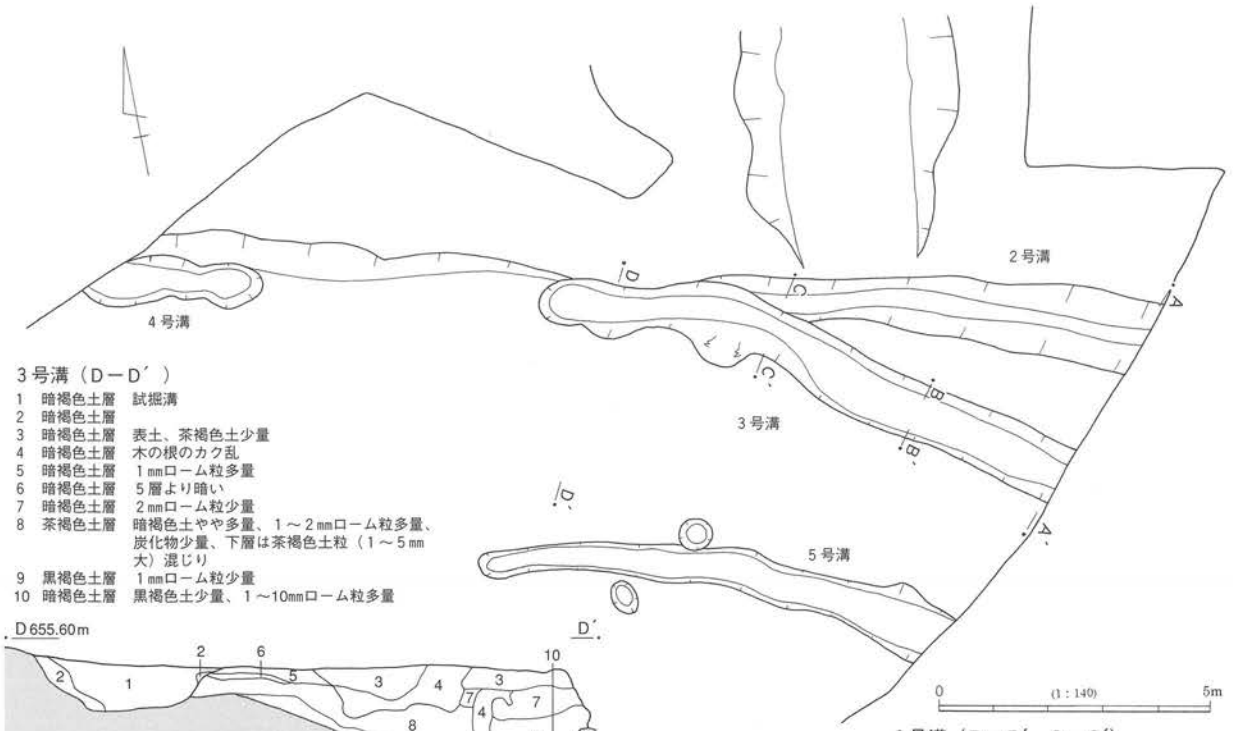




0　(1：4)　10cm

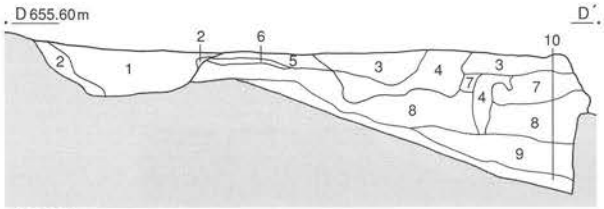
● 土器
△ 礫
□ 炭化物
■ 金属製品

第99図　B区1号溝



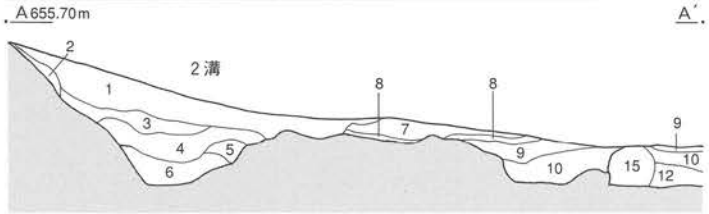
3号溝（D－D′）

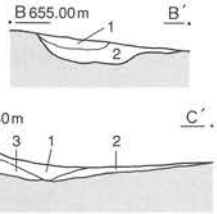
1 暗褐色土層 試掘溝
2 暗褐色土層
3 暗褐色土層 表土、茶褐色土少量
4 暗褐色土層 木の根のカク乱
5 暗褐色土層 1㎜ローム粒多量
6 暗褐色土層 5層より暗い
7 暗褐色土層 2㎜ローム粒少量
8 茶褐色土層 暗褐色土やや多量、1～2㎜ローム粒多量、炭化物少量、下層は茶褐色土粒（1～5㎜大）混じり
9 黒褐色土層 1㎜ローム粒少量
10 暗褐色土層 黒褐色土少量、1～10㎜ローム粒多量

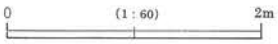


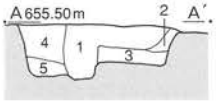
3号溝（B－B′、C－C′）

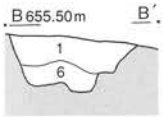
1 暗褐色土層 淡黄褐色土含む、炭化物少量
2 暗褐色土層 1層より明るい、淡黄褐色土含む
3 暗褐色土層 1層より暗い、淡黄褐色土少量

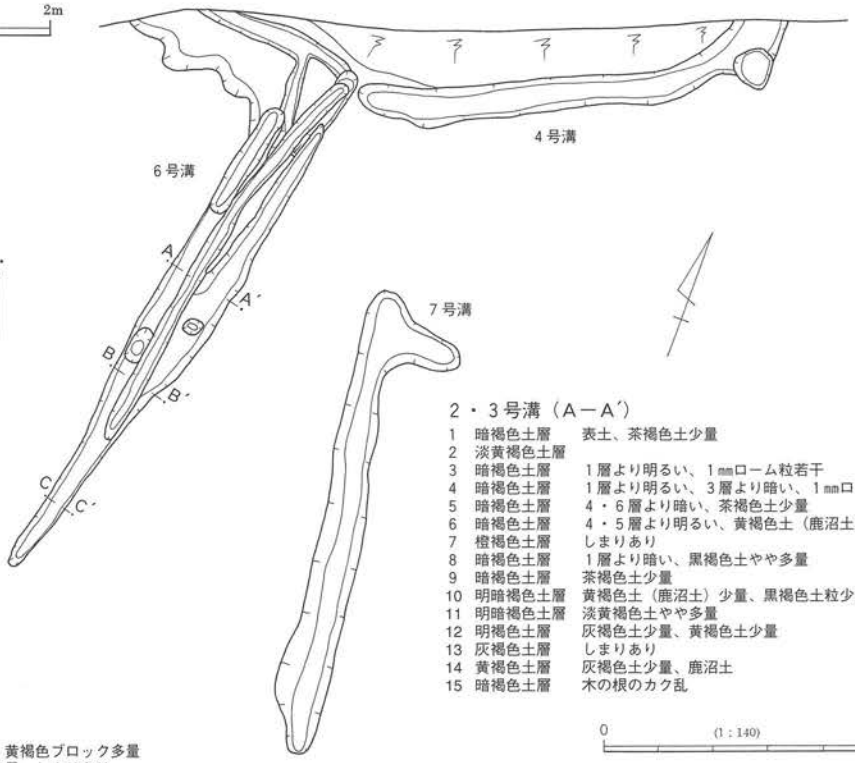












2・3号溝（A－A′）

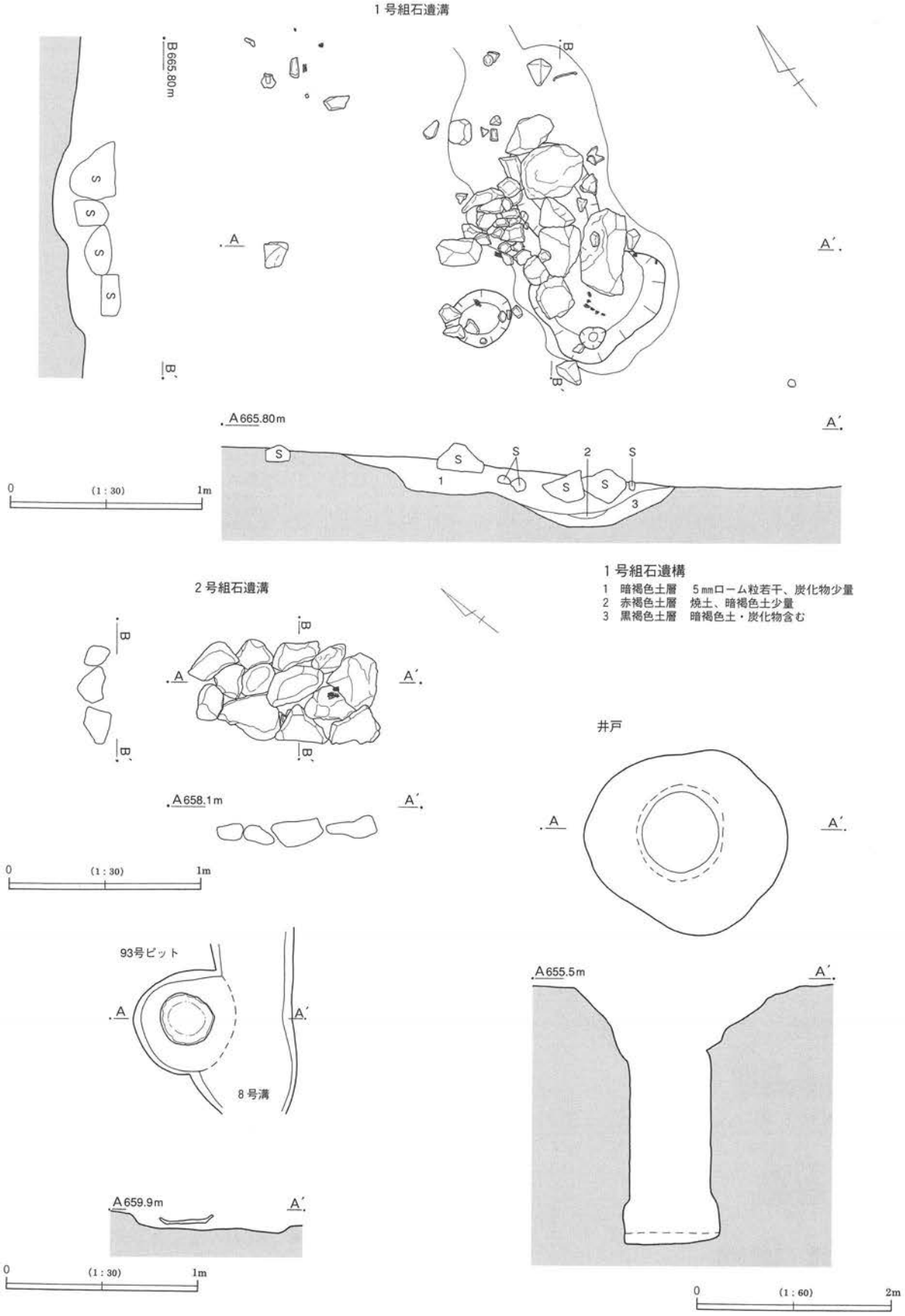
1 暗褐色土層 表土、茶褐色土少量
2 淡黄褐色土層
3 暗褐色土層 1層より明るい、1㎜ローム粒若干
4 暗褐色土層 1層より明るい、3層より暗い、1㎜ローム粒若干、炭化物若干
5 暗褐色土層 4・6層より暗い、茶褐色土少量
6 暗褐色土層 4・5層より明るい、黄褐色土（鹿沼土）含む、1㎜ローム粒少量
7 橙褐色土層 しまりあり
8 暗褐色土層 1層より暗い、黒褐色土やや多量
9 暗褐色土層 茶褐色土少量
10 明暗褐色土層 黄褐色土（鹿沼土）少量、黒褐色土粒少量
11 明暗褐色土層 淡黄褐色土やや多量
12 明褐色土層 灰褐色土少量、黄褐色土少量
13 灰褐色土層 しまりあり
14 黄褐色土層 灰褐色土少量、鹿沼土
15 暗褐色土層 木の根のカク乱

0 (1:140) 5m

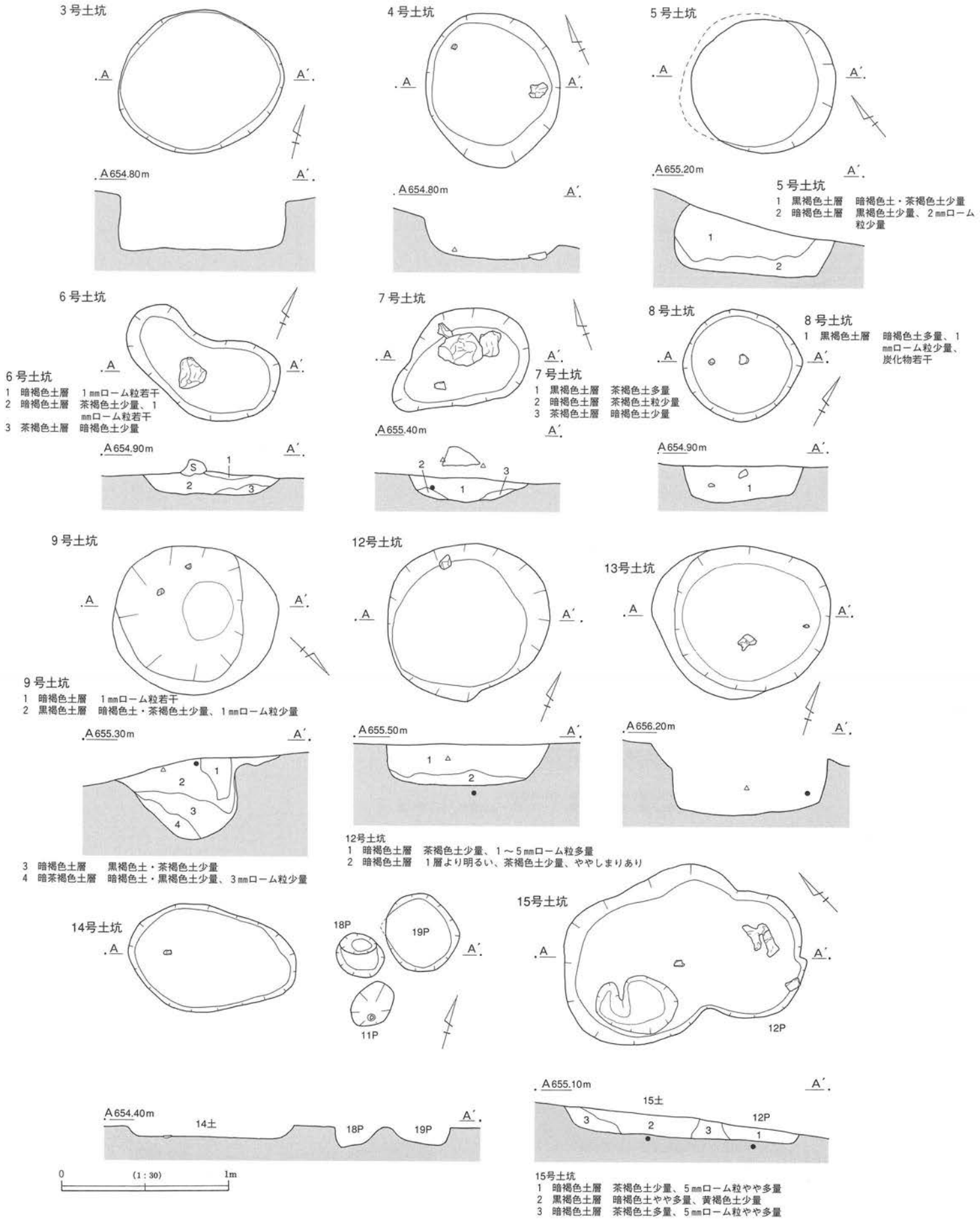
6号溝

1 暗褐色土層 黄褐色土多量
2 茶褐色土層 暗褐色土少量
3 黄褐色土層 暗褐色土少量
4 暗黄褐色土層 暗褐色土多量、黄褐色ブロック多量
5 暗褐色土層 黄褐色土やや多量、しまりあり
6 暗褐色土層 1層より暗い、黄褐色土少量
7 茶褐色土層 暗褐色土少量
8 暗褐色土層 1層より明るい、黄褐色土若干、しまりあり
9 茶褐色土層 2層より明るい

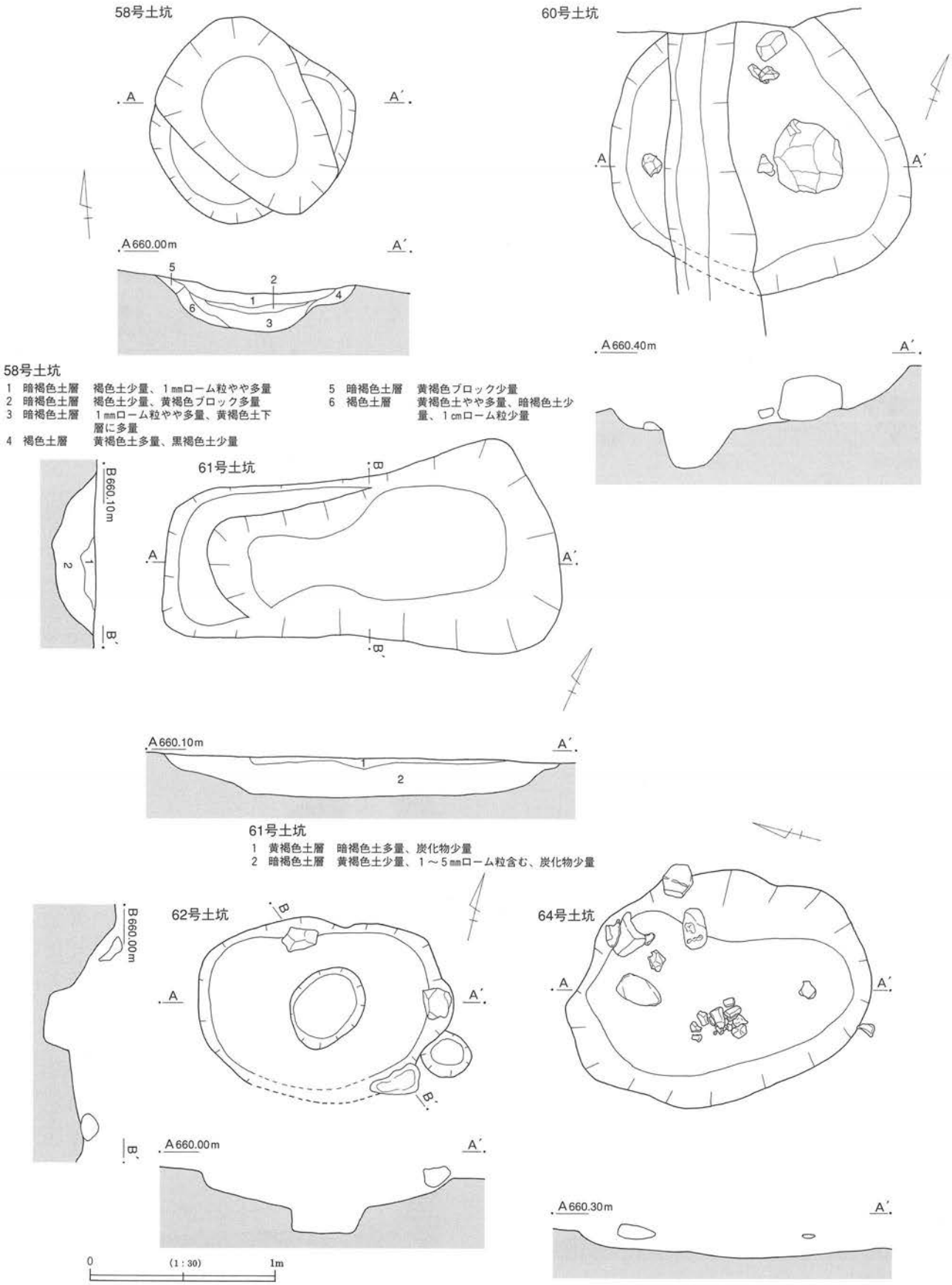
第100図 B区2・3・4・5・6・7号溝



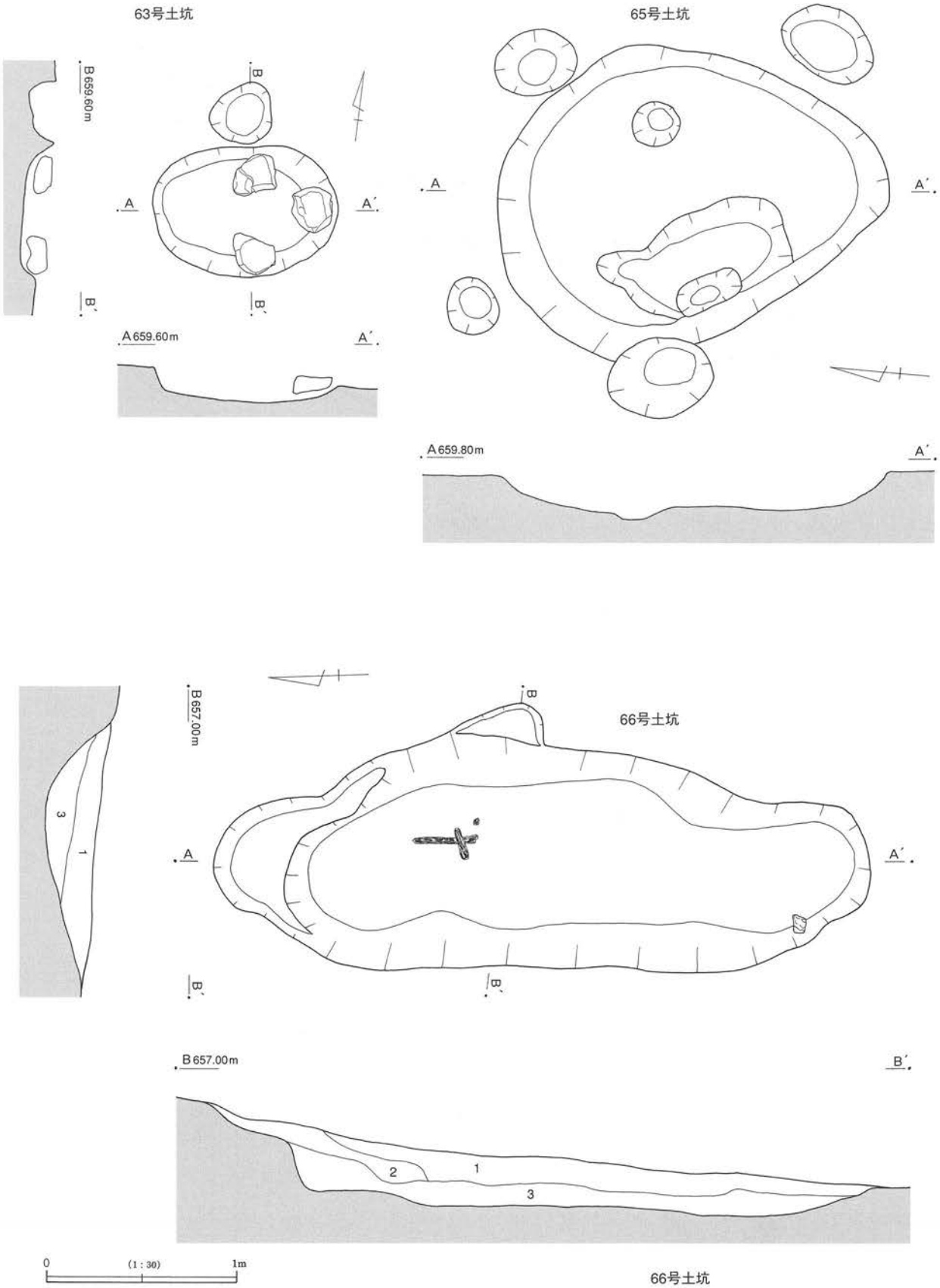
第101図 B区1・2号組石遺構、93号ピット、井戸



第102図 B区3・4・5・6・7・8・9・12・13・14・15号土坑

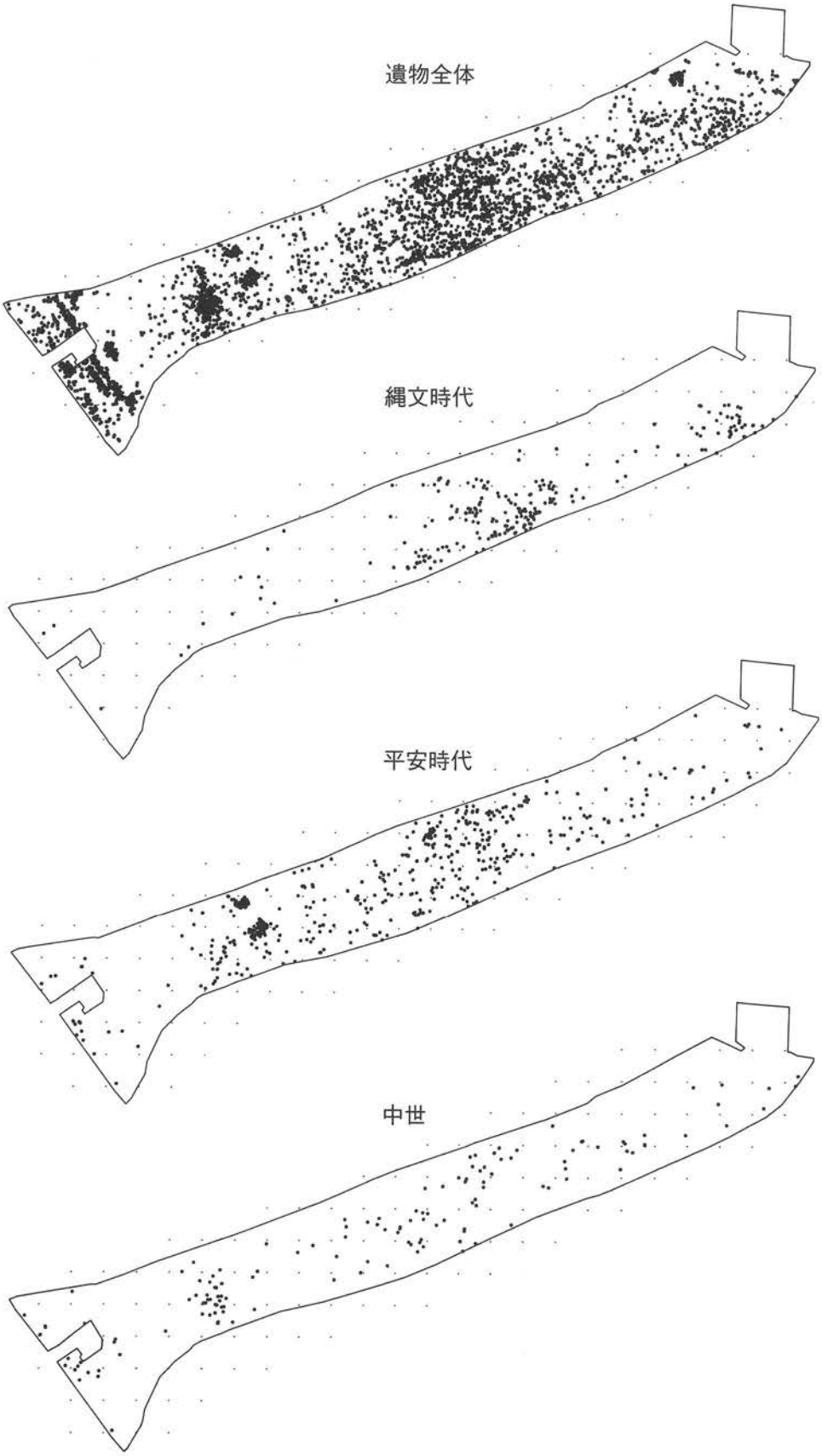


第103図　B区58・60・61・62・64号土坑

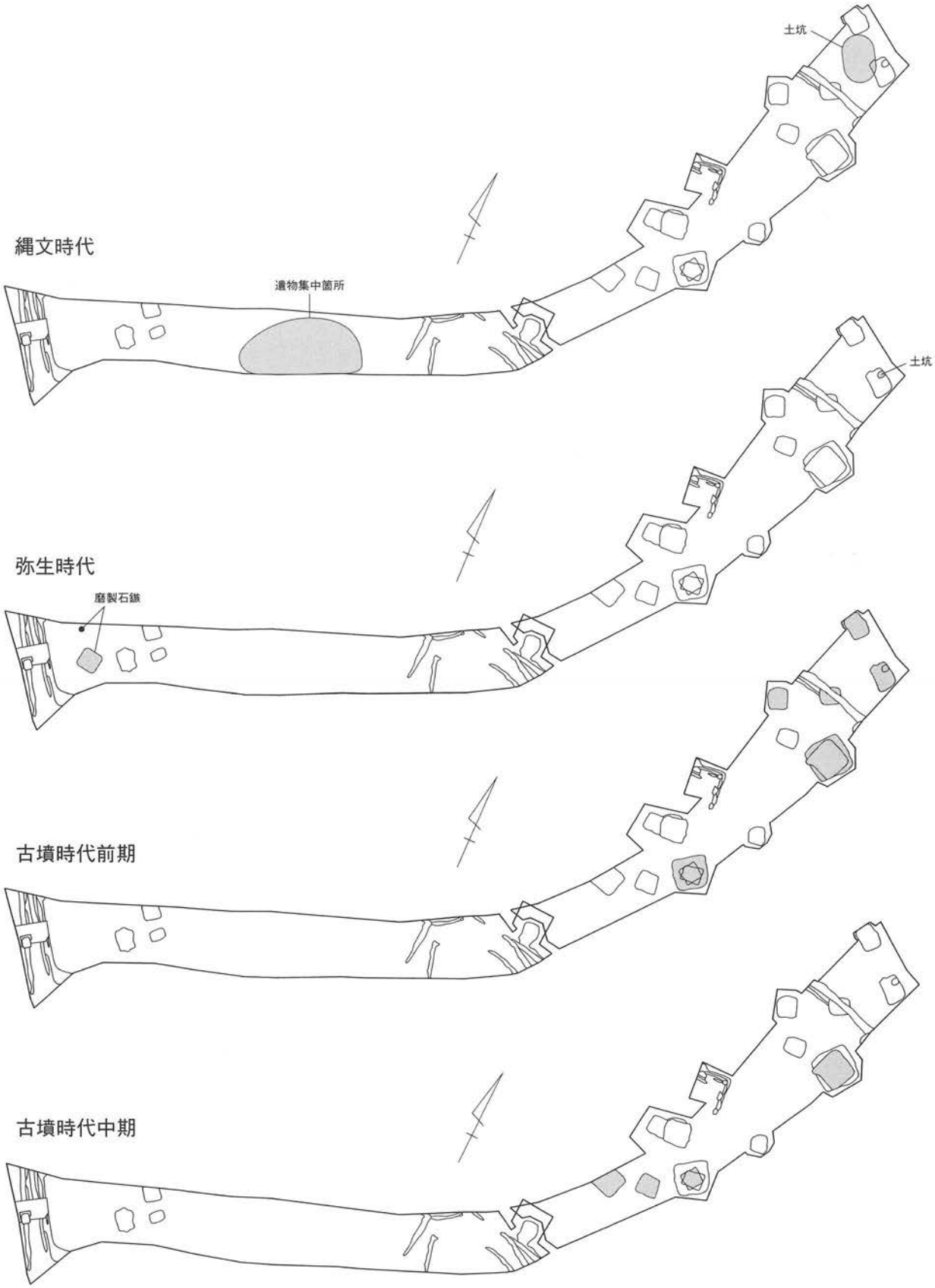


66号土坑
1　暗褐色土層　黒褐色土少量
2　褐色土層　黒褐色土少量、5㎜ローム粒少量
3　黒褐色土層　褐色土少量

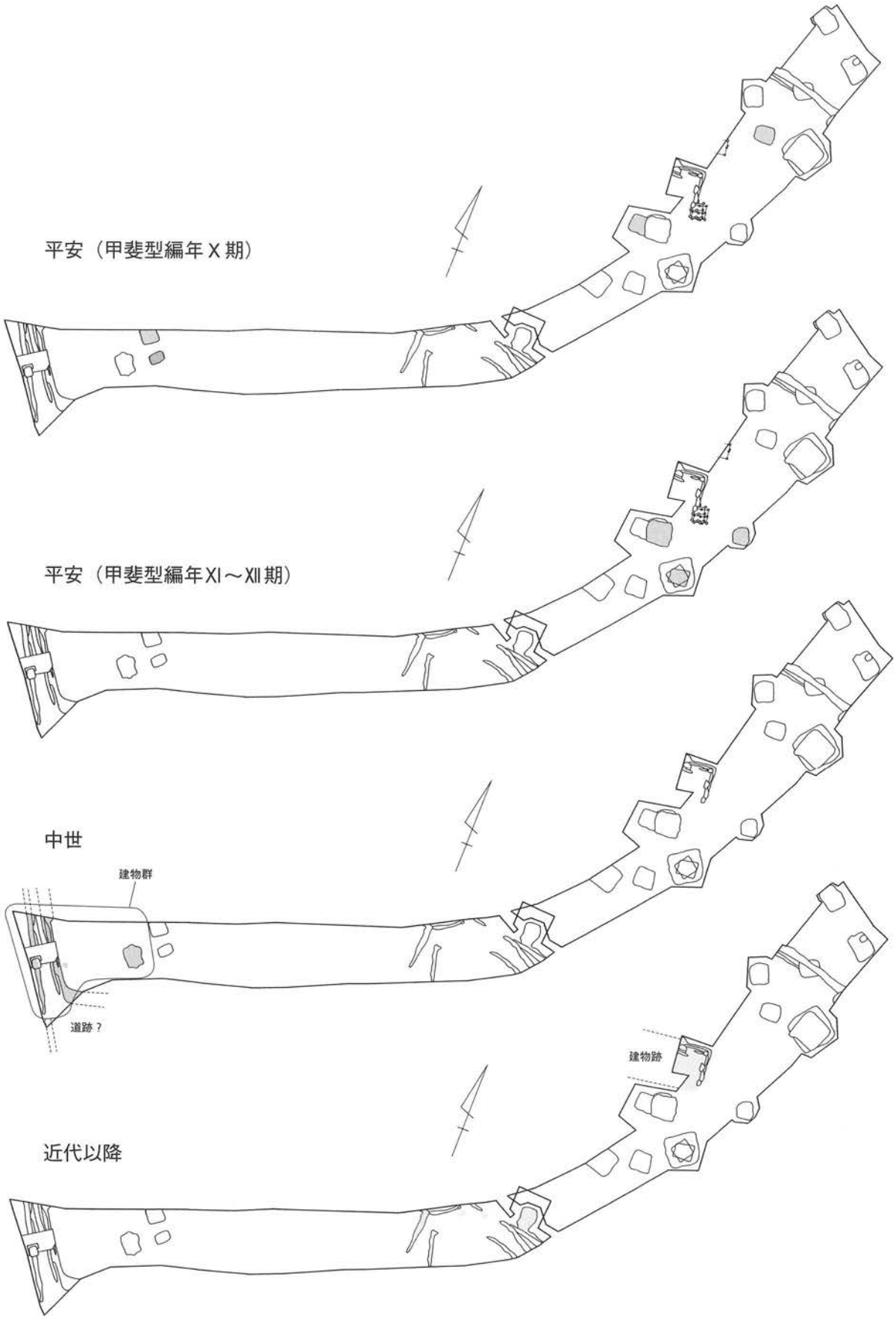
第104図　B区63・65・66号土坑



第105図　B区遺物分布

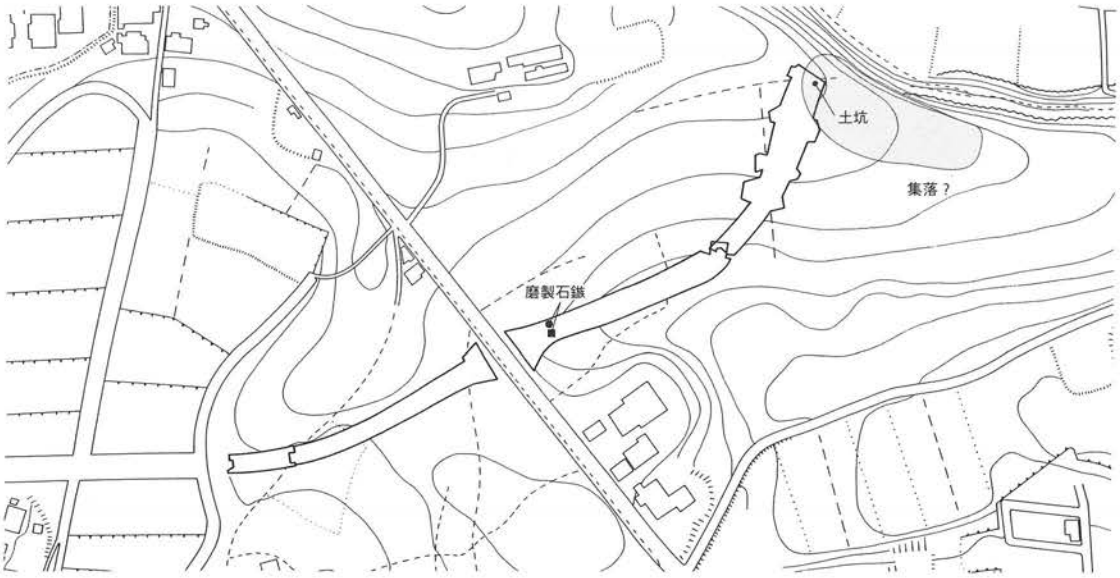


第106図　遺構変遷①

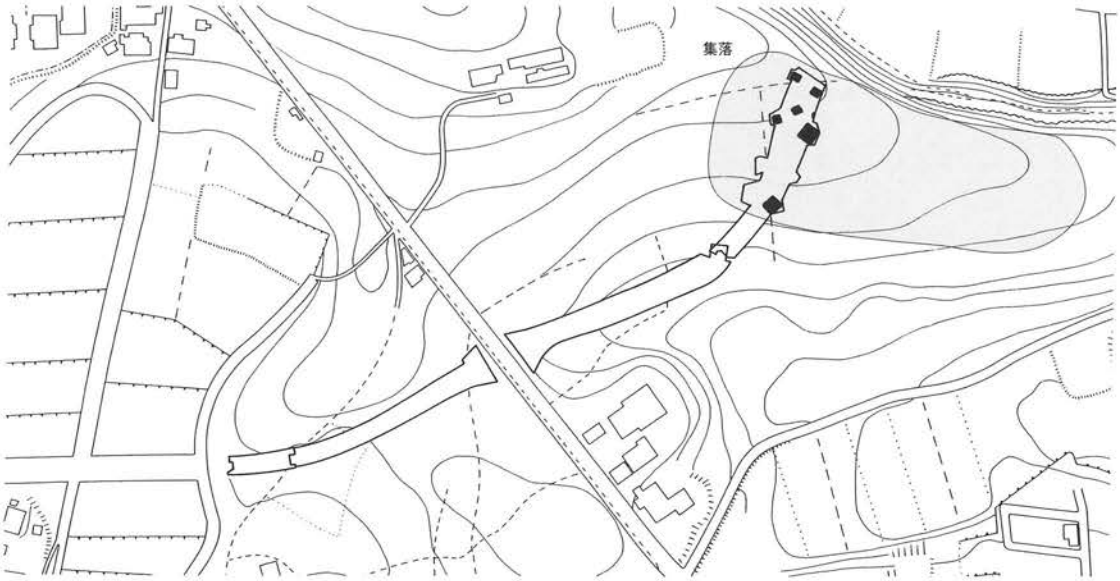


第107図　遺構変遷②

縄文

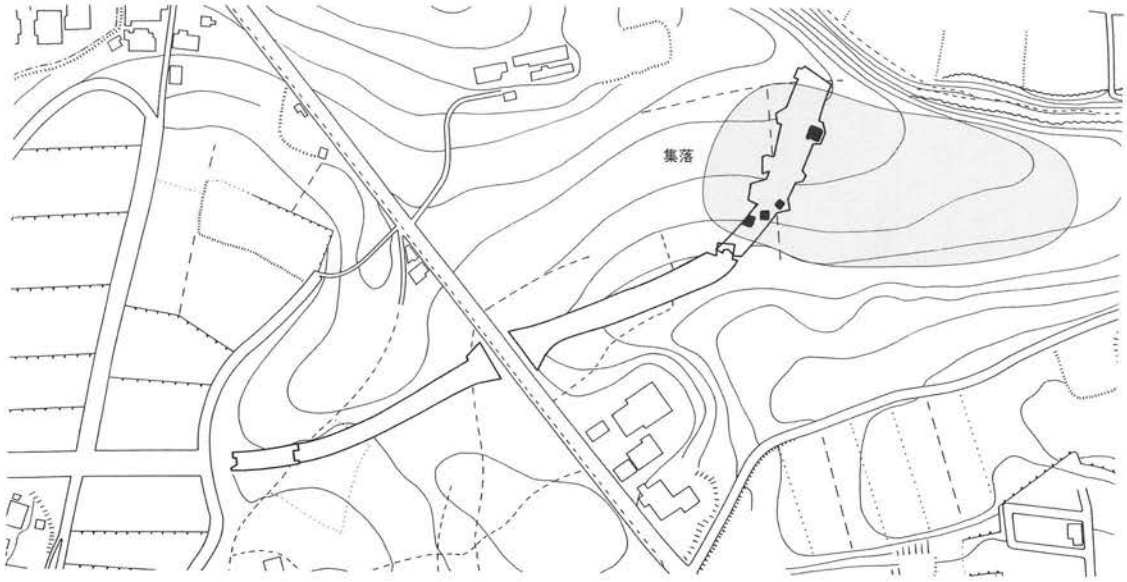


弥生



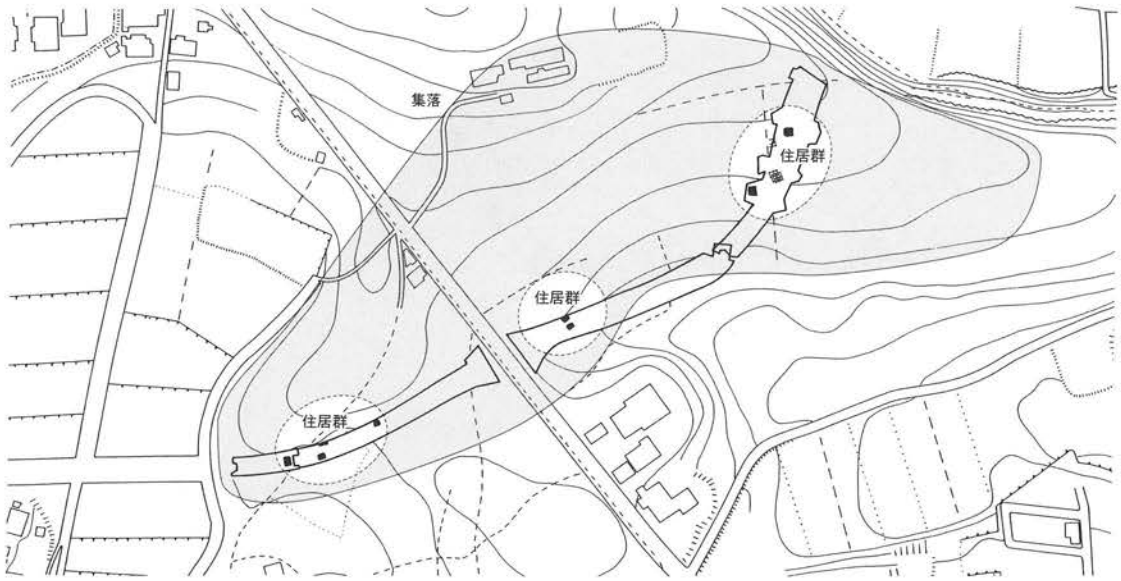
古墳前期

第108図　龍角西・紺屋遺跡遺構変遷①



古墳中期

平安
（甲斐型Ⅸ期）

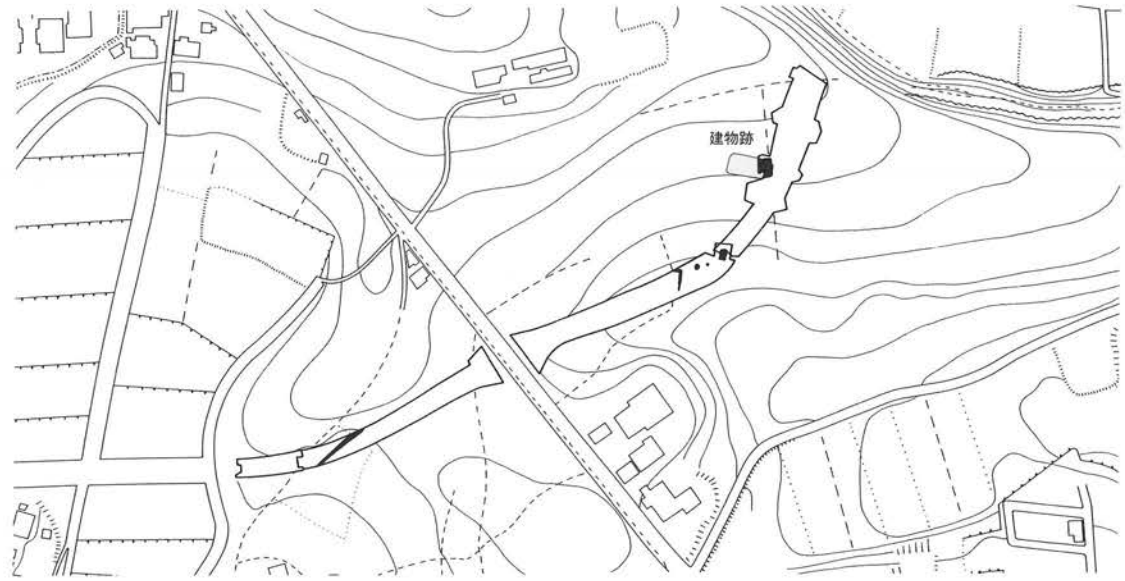


平安
（甲斐型Ⅹ期）

第109図　龍角西・紺屋遺跡遺構変遷②

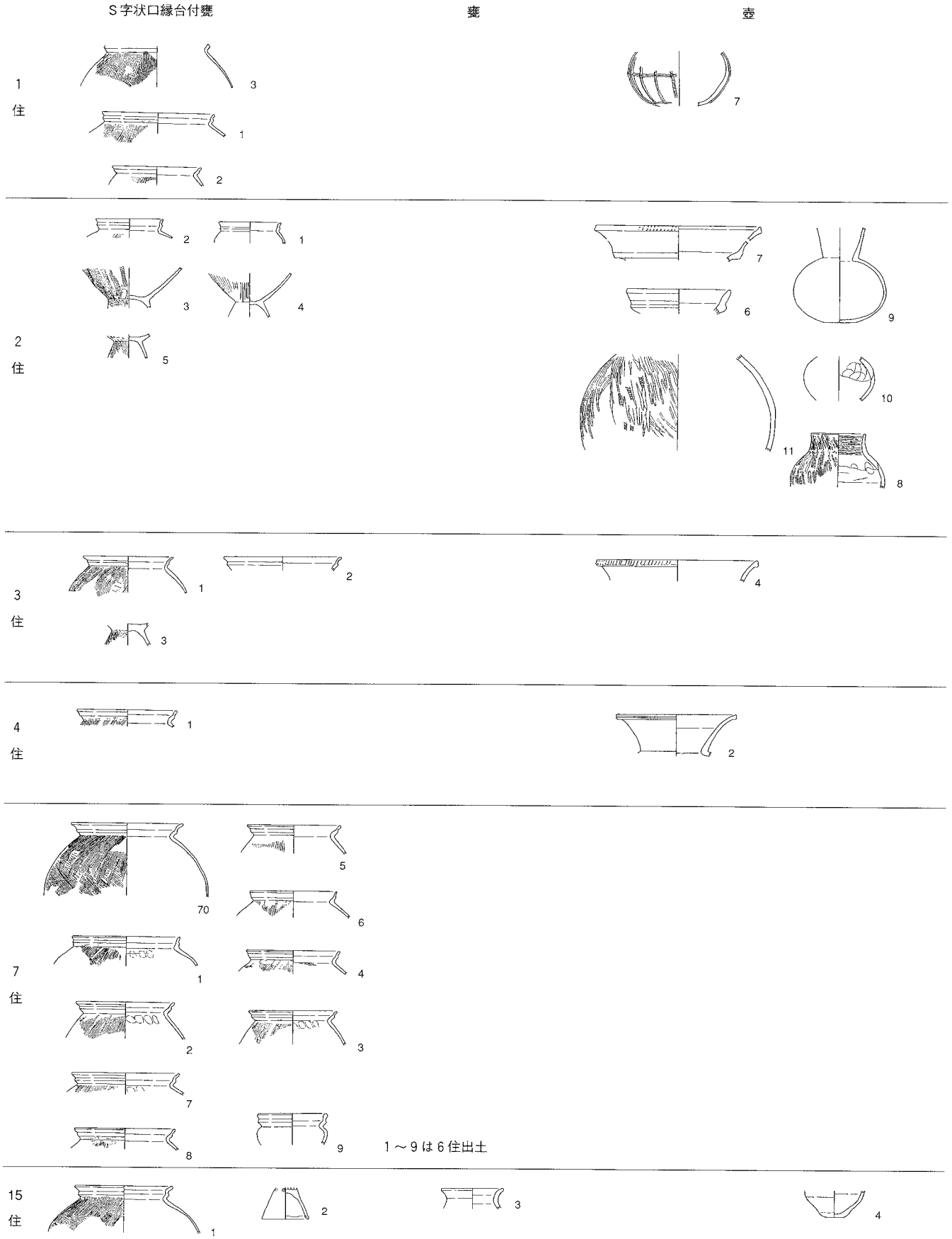
平安
（甲斐型XI～XII期）

中世



近代以降

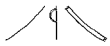
第110図　龍角西・紺屋遺跡遺構変遷③



第111図　A区出土古墳時代前期土器①

高 坏　　鉢　　器 台

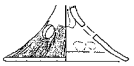
8

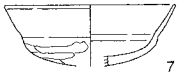

9

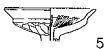
14

12

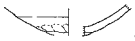
13


15

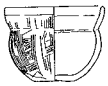

7


5

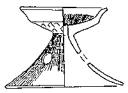
6


4

5

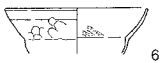

7

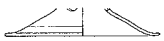
6-36
住


71

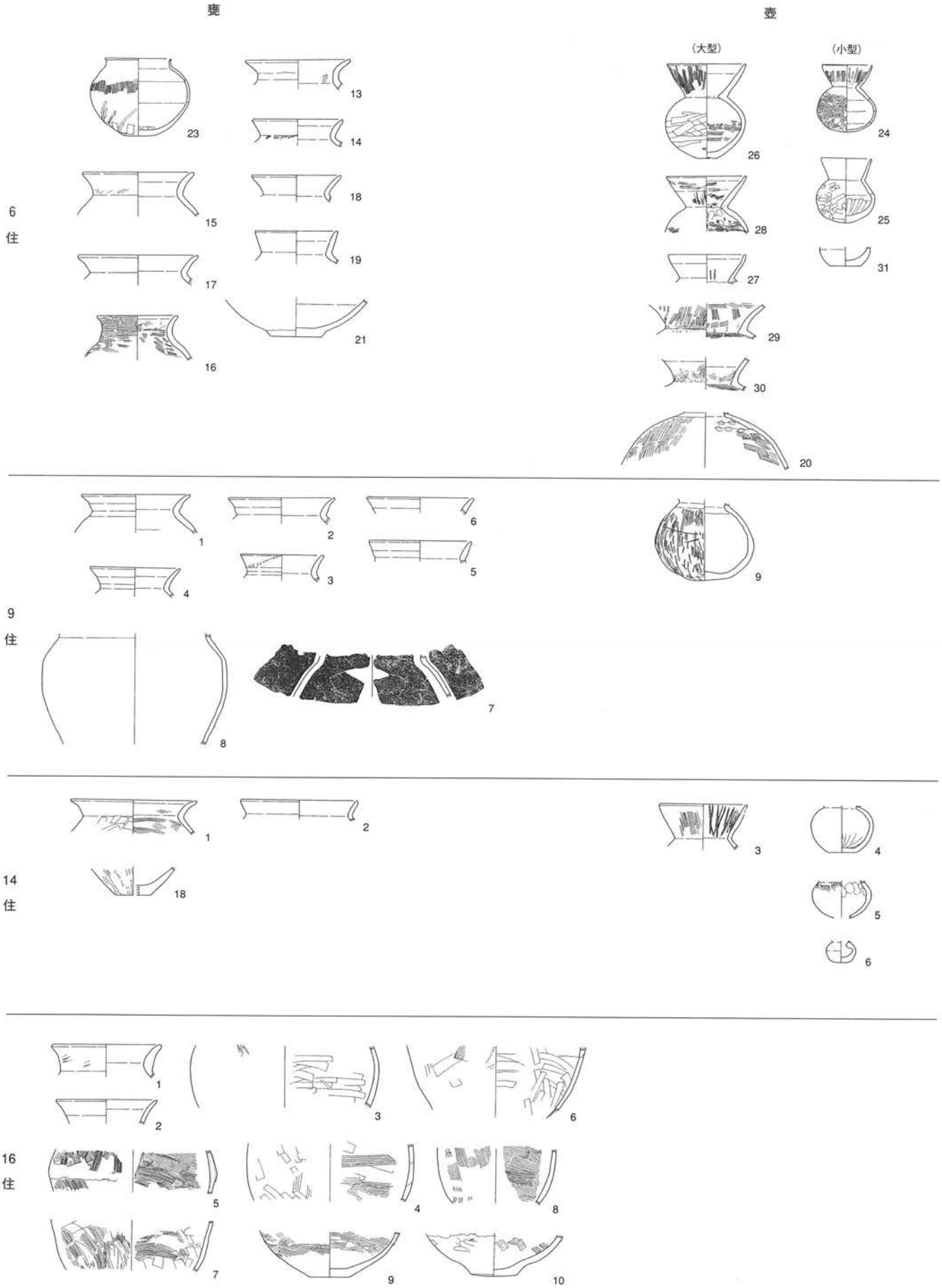
72

73

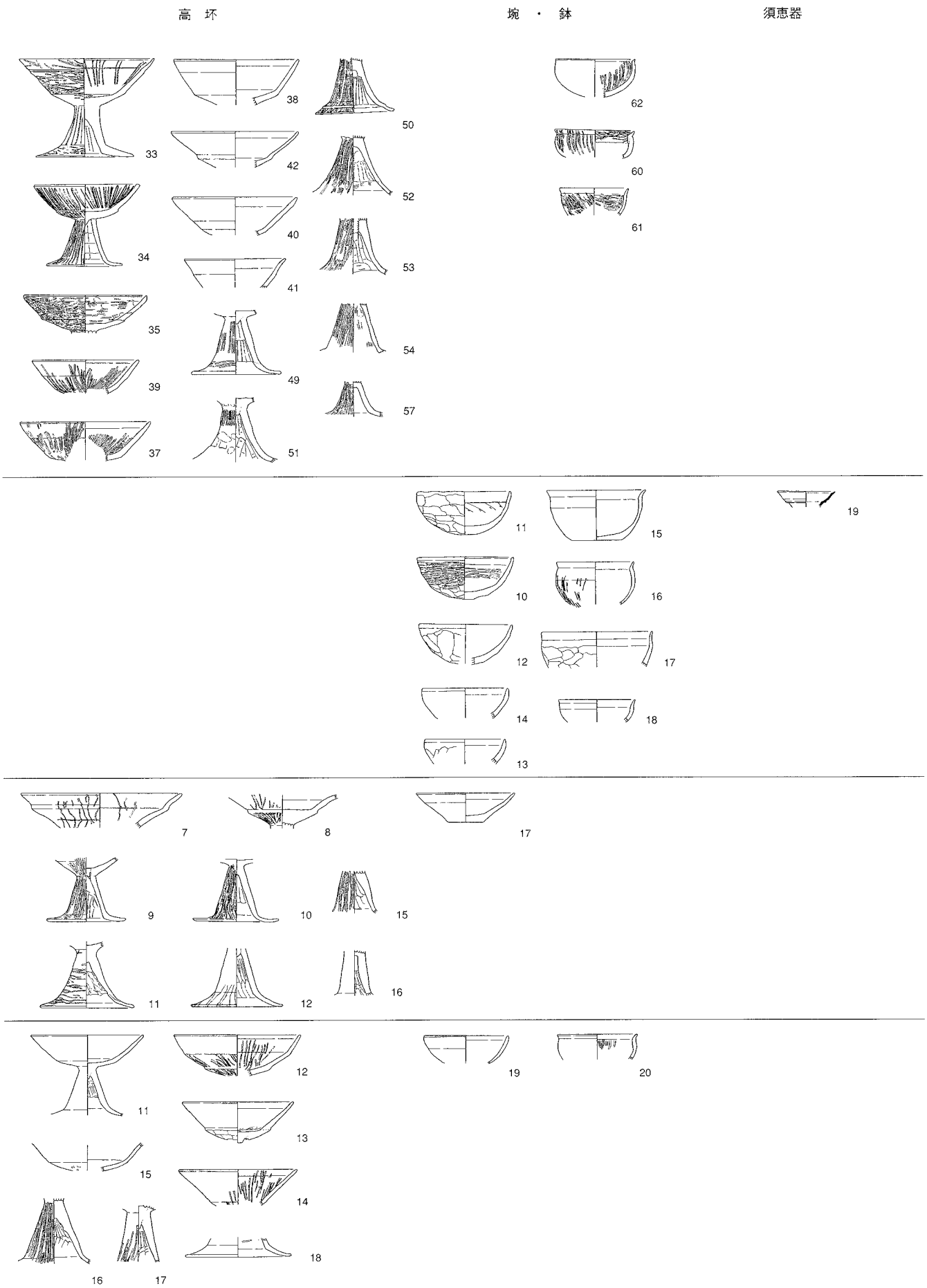

6


5

第112図　A区出土古墳時代前期土器②

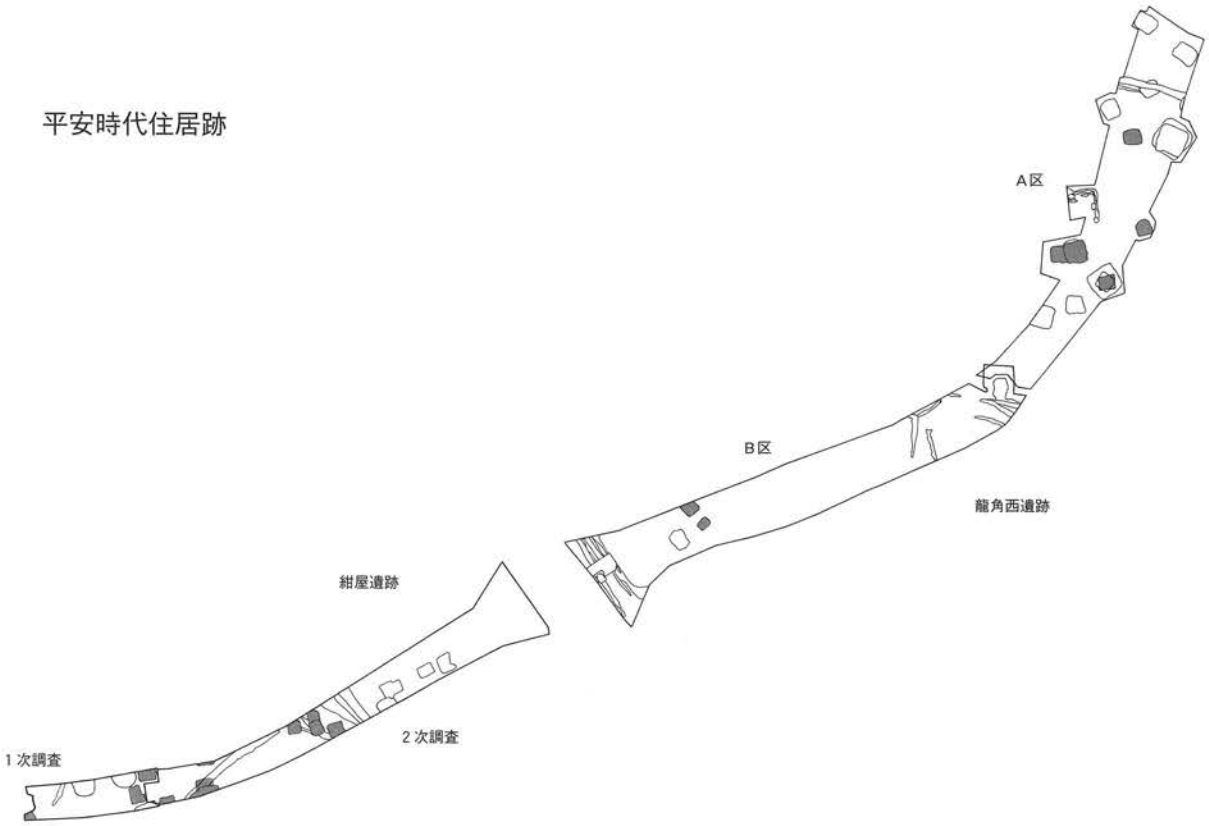


第113図　A区出土古墳時代中期土器①

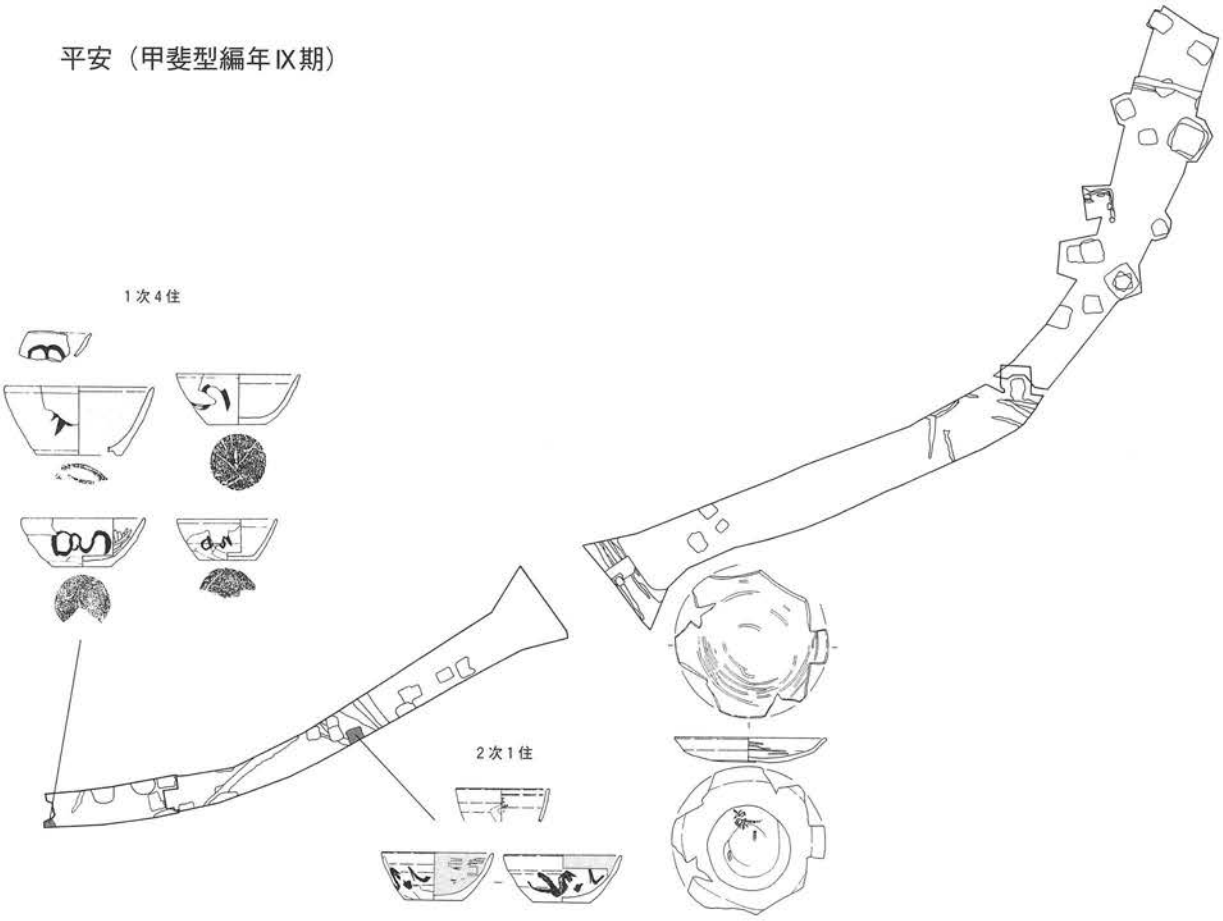


第114図　A区出土古墳時代中期土器②

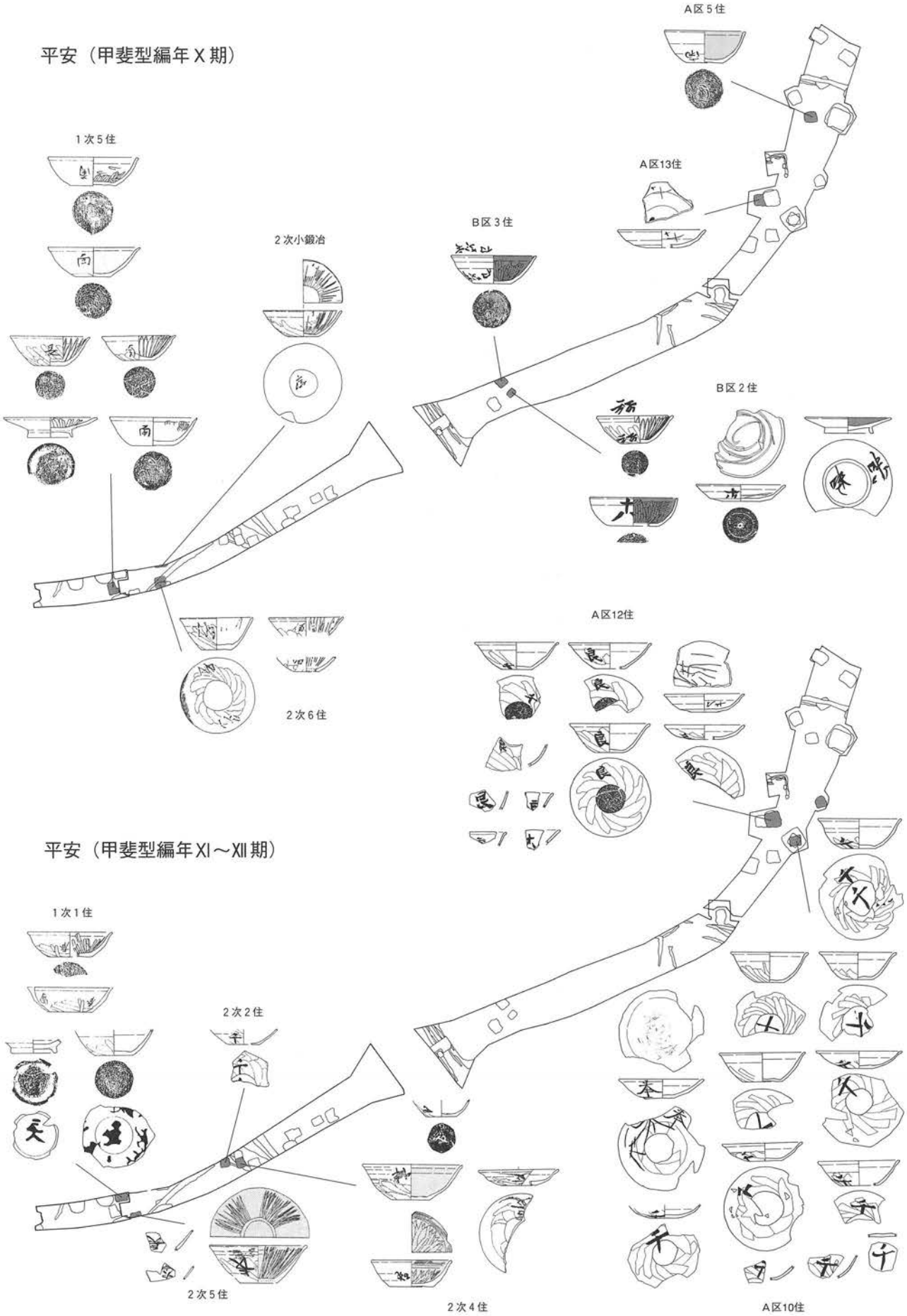
平安時代住居跡



平安（甲斐型編年Ⅸ期）



第115図　龍角西・紺屋遺跡出土墨書土器①



第116図　龍角西・紺屋遺跡出土墨書土器②

第２表　遺構観察表①

遺構名	図版番号	時期	位置	形状	規模(m)	施設等	床面	特筆遺物	遺物出土状況	備考
A区1号住	第11・12図	古墳時代前期(小林編年Ⅳ期)	D−12	長方形	長軸5.500×短軸4.790×深さ0.140〜0.220	中央南東寄りに焼土があり、これが炉になると思われる。周溝を一部確認した。床面の硬化部分は確認されず。主柱穴は4P・14P・23Pで残りの1つは確認できず。		第12図1〜6はS字状口縁台付甕（以下S字甕とする）。肩部の横ハケメがないので、小林編年Ⅳ期に相当。7は隆帯装飾付壷の胴部下半片。	ほとんど破片しか出土しておらず出土量も少ない。住居跡の北東側、焼土周辺から多数出土。床面より約10cm浮いた所から出土。炭化物は少ない。	
A区2号住	第13・14図	古墳時代前期(小林編年Ⅳ期)	E−11・E−12・F−11・F−12	長方形。北東部分は壁および隅は確認できなかった。	長軸5.900×短軸4.300×深さ0.180〜0.360	北西壁付近で焼土を確認。周溝は北壁・東壁の北半分以外で確認。床面の硬化部分はなし。主柱穴は3P・5P・16P・19Pであろう。		第14図1は小型のS字甕で、胴部にハケメはない。6は壷の口唇部。7は二重口縁壷の口縁部で、口縁部に刻みあり。8は壷、9・10は直口壷。12〜15は器台。12の器台は中央に孔をもち、内面にミガキが放射状に入り、外側に斜位のヘラケズリがある。	1号住とは対照的に、北西側からの出土が多い。焼土も北西側にあり、焼土周辺に遺物が多い傾向は1号住と同じ。床面から約10cm浮いた所からの出土が多い。南隅からS字甕の底部片3が出土。	35号土坑(弥生時代前期)の上に作られている。
A区3号住	第15・16図	古墳時代前期(小林編年Ⅳ期)	D−10・D−11・E−10・E−11	長方形	長軸5.170×短軸4.240×深さ0.060〜0.210	中央やや西寄りに炉がある。周溝はあるが、一部途切れている。床面の硬化部分は確認できず。		第16図1〜3はS字甕、4は口唇部に刻みをもつ二重口縁壷、5・6は器台、7は丸底鉢。焼土・炭化物が多く出土した。	住居跡の南西側から遺物が多く出土する。やはりどの遺物も床面より約10〜20cm浮いた状態である。炉の上から炭化物がまとまって出土。	1・2号溝に切られる。
A区4号住	第17・18・19図	古墳時代前期(小林編年Ⅳ期)	C−9・C−10・D−9・D−10	ほぼ正方形	長軸5.160×短軸4.580×深さ0.210〜0.380	炉は確認できず。周溝は全周しているが、南壁の中央が途切れてピットがある。そこが入り口の可能性あり。主柱穴は8P・9P・23P・34Pの4つ。貼り床が確認でき、完掘すると小さなピットが多数確認できた。		第19図1はS字甕、2は口唇部に沈線のある壷、3〜6は高坏、7は完形の小型鉢。3・5・6・の高坏は形態から中期のものと考えられる。	住居跡中央から北側に多く見られる。覆土中に散在する感じがある。3・5・6の高坏は覆土中の上層から出土しているので、流れ込みと考えられる。7の小型鉢は住居跡南壁中央やや西よりの所から正位の状態で出土した。焼土や炭化物が多く出土し、焼失住居と考えられる。	31号土坑と重複する。
A区6号住	第20〜29図	古墳時代中期(石神編年2期)	E−9・E−10・F−9・F−10	正方形。南西隅に張り出し部をもつ。	長軸8.450×短軸7.500×深さ0.350〜0.570。他の住居跡と比べ大型。	北壁側の柱穴間(1P・2P間)に炉あり。細長い礫を枕のように置いている。周溝は全周する。壁に直交する間仕切り溝あり。貼り床。完掘すると多数のピットあり。主柱穴は1P・2P・6P・16P・18P・22Pの6ヶ所と思われる。		第27〜29図。1〜12はS字甕で、7号住からの流れ込みである。9は小型S字甕。S字甕全てに肩部の横ハケメは見られない。23は短頸壷で、胴部との境にはっきりとした稜が見られない。24・25は小型丸底壷の完形品、26〜28は直口壷。33〜59は高坏で、完形が33・34だけで、それ以外は全体の形態は不明。36・48は形態から前期のものであろう。脚部形態は屈折脚が多く(33・34・49・51〜54・57〜59)、その中でも57だけ脚部高が低い。50は脚部裾に段を持つ有段脚。60〜62は鉢、63〜66は須恵器大甕の破片、67・68は打製石斧、69は横刃形石器。	多量に遺物が出土し、覆土中に散在。S字甕は北東隅に多く出土しているが、これは6号住に伴うものではなく、重複する7号住から流れ込んだものである。高坏は全体に出土しているが、西側に多い傾向がある。大きめの破片は床面近くから出土する。33は炉から潰されたように出土。34はほぼ完形で炉北東から倒れた状態で出土。35は北壁中央やや東寄りに坏部が伏せられて出土。壷・甕も全体から出土している。23・24・25は床面直上から出土。高坏は完形に近いものが北側に多いが、壷甕は南側に多い傾向あり。須恵器片は中央やや西寄りの覆土中から出土。中には平安時代のものと考えられるものもあるが、古墳時代に遡るものもある。焼土・炭化物が多く出土し、焼失住居と考えられる。	7号住居を切っている。
A区7号住	第20〜26・29図	古墳時代前期(小林編年Ⅳ期)	E−9・E−10・F−9・F−10	ほぼ正方形	長軸9.820×短軸9.070×深さ0.200〜0.580。大型住居跡。	炉は確認できず。周溝は一部途切れるが全周する。3Pは貯蔵穴。住居中央のほとんどが6号住に切られており、硬化面・貼り床は確認できず。		第29図70はS字甕、71〜73は器台、第27図1〜12・第28図36・48は7号住に伴っていたものであろう。	住居中央のほとんどが6号住に切られているため、7号住覆土から出土したものは少ない。70は7号住の床面から口縁部を下にした状態で出土。	6号住に切られている。
A区9号住	第30・31図	古墳時代中期	D−4・D−5	ほぼ正方形	長軸4.803×短軸4.605×深さ0.080〜0.460	住居の東側、8P・9P間の南寄りに炉あり。北壁と南壁の一部で途切れるが、周溝が巡る。1Pは貯蔵穴。住居の南東側、炉と東壁の間に硬化面を確認。主柱穴は2P・3P・8P・9Pの4ヶ所。北壁に4つのピットあり。		第30・31図。1〜8は甕で、口縁部はどれも単純口縁。9は壷、10〜14は埦で、10・11は完形品。15〜18は鉢、19は須恵器甑の口縁部と考えられる。図示するほどの高坏は出土していない。	全体から出土しており、覆土中に散在している。9の壷は北西隅、10の碗は東壁付近、11の碗は南東側から出土。	
A区14号住	第32〜38図	古墳時代中期	E−5	正方形	長軸4.110×短軸4.070×深さ0.260〜0.530	焼土を2つ確認。炉は1号焼土であろう。1Pは長方形をした貯蔵穴。住居の中央、1・2号焼土周辺に硬化面を確認。周溝は西隅で途切れる。主柱穴は2P・5P・8Pの3つを確認。2Pの周囲には土手状の囲いがあり、そこから別の土手が延び、2号焼土と接する。		第37・38図。1・2は甕、3〜6は壷。7〜16は高坏、17・18は鉢。19は蛇紋岩製の磨製石斧。	住居の南東側から多く出土している。ほとんどが床面直上から10cmまでの間に出土。19はピット2の中層から出土し、古墳時代のものと考えられる。焼土・炭化物が多量に出土し、特に炭化物は一部建材部材であることが判別できるほど多く残存し、焼失住居と考えられる。	15号住を切っているが、10号住に切られている。
A区15号住	第32〜36・38図	古墳時代前期(小林編年Ⅳ期)	D−5・E−5・E−6	正方形	長軸7.910×短径7.540×深さ0.120〜0.510。大型住居跡。	10号住(平安)・14号住に住居中央を切られているため、炉は確認できず。周溝は全周する。主柱穴は2P・12P・14P・15Pの4ヶ所。15Pは10号住のカマドの下から確認された。	硬化面は確認できなかった。	第38図1・2はS字甕である。3は甕、4は壷、5は器台、6は丸底鉢。	10・14号住に切られるため、15号住覆土中の出土は少ない。10号住の覆土の中に、15号住の遺物が混ざる。	10・14号住に住居中央を切られる。
A16号住	第39〜41図	古墳時代中期	C−3・C−4・D−3・D−4	正方形?	長軸5.550×短軸5.550×深さ0.220〜0.570	中央北寄りに焼土があり、地床炉と思われる。周溝は住居南側が削られており、北壁側のみ確認できた。主柱穴は1P・7Pの2ヶ所のみ確認できた。	焼土周辺に硬化面が確認できた。	第41図1〜10は甕、11〜18は高坏、19は埦、20は鉢。	炉周辺からの出土が目立つ。特に炉からは大きい破片が出土している。床面直上からの出土が多い。	
A区1号竪穴状遺構	第42図	古墳時代前期	E−10・F−10	長方形?	長軸3.240×短径0.955×深さ0.319	一部に周溝あり。炉・主柱穴は確認できなかった。	硬化面は確認できなかった。	第42図1はS字甕の胴部片、2は器台脚部片。		1号溝に切られる。出土遺物から古墳時代と判断したが、住居の掘り込みが平安時代のものとほぼ同じなので、平安時代の可能性もある。

第２表　遺構観察表②

遺構名	図版番号	時期	位置	形状	規模(m)	施設等	床面	特筆遺物	遺物出土状況	備考
A区5号住	第43～45図	平安時代（甲斐型編年Ⅹ期）	D−9・E−9	ほぼ正方形	長軸4.460×短軸4.260×深さ0.340～0.510	カマドが東壁中央やや南寄りに作られている。カマド構築材に大きい礫はなく、粘土がつぶれた状態になっていた。その脇に貯蔵穴と思われるピットがある。周溝は西側から北壁にかけてみられる。	硬化面が床面の2/3ほど確認できた。壁際は貼り床であった。	第45図。詳細は第5表に譲る。2以外は破片であり、甲斐型坏は1のみ図示した。2には、「南」と文字が書かれている。	全体に遺物は出土しているが、カマド周辺から比較的多く出土している。礫は覆土の下層からの出土が多い。小片は覆土中に散在している。	
A区8号住	第46～49図	平安時代（甲斐型編年Ⅺ～Ⅻ期）	E−7・F−7	正方形	長軸4.500×短軸3.950×深さ0.400～0.500	東壁中央やや南よりにカマドを構築。左右の袖石が残存していた。天井石や支脚石などは確認できなかったが、住居中央にそれと思われる大礫が出土している。周溝はカマド周辺以外に巡っている。貯蔵穴は確認できなかった。	硬化面は確認できなかったが、貼り床が確認できた。	第48・49図。詳細は第5表に譲る。1はロクロ痕がきれいに残る甕。2もロクロ痕が残る土師器の短頸壺で、胴部の一部に縦方向のミガキあり。32は甲斐型土器の羽釜。	カマド周辺を中心に、住居南側から多く出土している。小片は覆土中に散在している。2・32はカマドの中から出土しているが、住居覆土中からも出土している。	
A区10号住	第33～36・50～54図	平安時代（甲斐型編年Ⅻ期）	D−5・E−5	長方形	長軸4.380×短軸3.540×深さ0.240～0.290	東壁中央やや南よりにカマドが構築されている。カマド周辺からは礫が多量に出土している。その南側に貯蔵穴と思われるピットがある。周溝はなし。	東半分に硬化面が確認できた。	第52・53・54図。詳細は第5表に譲る。墨書土器が多く、特に「千」が目立つ。32は「奉」が3ヶ所に書かれており、内面には煤が付着している。59は取手のついた蓋で、かぶせる壺は発見されていないが、おそらく平安時代のものであろう。60・61は灰釉陶器で、どちらも高台の形態からK−90型式2段階(860～880)のものである。	住居全体から出土している。14・15号住の中に作られているので、古墳時代の遺物も多く出土している。特に多く遺物が出土しているのはカマド周辺である。残りの良い坏・皿はカマド周辺の礫の下から出土している。甕は破片になったものが多い。	14・15号住を切っている。
A区12号住	第55～62図	平安時代（甲斐型編年Ⅺ～Ⅻ期）	C−5・C−6・D−5・D−6	ほぼ正方形	長軸5.990×短軸5.830×深さ0.500～0.580	東壁中央やや南寄りにカマドが構築されている。一部構築材として使われたと思われる礫が出土しているが、袖石・天井石・支脚石等は確認できなかった。カマドの南には貯蔵穴と思われるピットあり。住居中央に焼土があり、一部粘土が残っていた。周溝は全周する。南壁際中央にピットが多く、入り口施設の跡の可能性がある。	硬化面は確認できなかった。	第60・61・62図。詳細は第5表に譲る。墨書土器多く、「良」が目立つ。80・81は土錘、82は石製垂飾。	住居全体から出土しているが、特に貯蔵穴周辺に多い。貯蔵穴からは坏が多く出土している。	13号住を切っている。
A区13号住	第55～59・63図	平安時代（甲斐型編年Ⅹ期）	C−5・C−6・D−5	正方形	長軸4.420×短軸4.900×深さ0.310～0.580	東壁中央にカマドが構築されているが、12住により壊されている。その南には貯蔵穴と思われるピット（5P）がある。周溝は全周する。	ほとんどが硬化面である。	第63図。詳細は第5表に譲る。87の内面には「＋」の刻書が施されている。	カマドから貯蔵穴周辺を中心に出土している。	12号住に東壁を壊されている。
A区1号掘立	第64図	平安時代?	D−8	柱穴3つ確認、その他は調査区外。	ピット列の長さ3.950					
A区2号掘立	第64図	平安時代?	D−6・D−7	正方形。2間×2間の9本柱。	長軸3.960×短軸3.710					ほとんど3号掘立柱建物跡と重なるが、新旧関係は不明である。11号住に切られる。
A区3号掘立	第64図	平安時代?	D−6・D−7・E−7	正方形。2間×2間の9本柱。	長軸3.725×短軸3.550					ほとんど2号掘立柱建物跡と重なるが、新旧関係は不明である。11号住に切られる。
A区近代建物跡	第59・65図	近代	C−7・D−7	一部調査区外のため不明であるが、長方形であろう。	東西7.800×南北9.000	柱穴と思われる1P・7P・8P・9Pは方形であり、それぞれ段が付いている。そのピットの東から北側にかけて周溝が巡っている。調査区が緩傾斜地になっているので、北側を削って平坦面を作っている。		図示はしなかったが、陶器小片が数点、断面が丸い釘が出土している。	調査範囲の中央北側から厚く焼土が堆積している。炭化物もその周辺から多く出土している。その周辺から陶器小片や釘が出土している。また、1P・8Pの底部付近からカエデ属で作った板が出土している。おそらく礎石と同じ役割があったのだろう。	2・3号掘立柱建物跡の一部を切っている。
A区1号溝	第68図	古墳時代以降	D−10・D−11・E−10・E−11	ほぼ直線	長さ18.130、幅：東端2.050×中央1.330×西端1.710、深さ：東端0.465×中央0.500×西端0.460				少ないながらも全体的に出土している。	3号住・1号竪穴を切っている。
A区2号溝	第68図	古墳時代以降	D−10	ほぼ直線	長さ6.545、幅：東端0.490×中央0.920×西端0.710、深さ0.180					3号住を切っている。
B区2号住	第84・85図	平安時代（甲斐型編年Ⅹ期）	H−18・I−18	長方形	長軸3.380×短軸2.430×深さ0.330～0.520	東壁中央やや南寄りにカマドが構築されている。カマドの南側の住居隅に貯蔵穴がある。カマドの北側にもピットが確認できた。周溝はなし。カマドは両袖に構築礫が残っていたが、天井石や支脚石は残っていない。焼土は狭い範囲で確認できた。	硬化面は確認できなかった。	第85図。1～3は甲斐型坏、4～7は甲斐型皿、8～12は黒色坏、13は黒色高台付皿、14・15は甲斐型甕。1に放射状、4～7に渦巻き状の暗文が施されている。8～10の黒色坏は緩やかに弧を描きながら立ち上がる。内面のミガキも丁寧である。1に「福」、7に「十八」、10は「十八」、13には2ヶ所「味ヵ」の墨書があり、11には一部刻書が見られる。	カマドの手前に1が正位に置かれ、少し離れた住居中央寄りに7・8が正位に並んで置かれていた。カマドの右側袖石の内側に15が張り付くようにして出土した。出土遺物は覆土中に散在しているが、残りの良いものは下層からの出土が多い。	
B区3号住	第86・87図	平安時代（甲斐型土器編年Ⅹ期）	G−18・19、H−18・19	正方形か?	長軸3.850×短径(3.420)×深さ0.110～0.250	東壁中央やや南寄りにカマドが構築されているが、袖石等の構築礫や粘土は確認できなかった。カマドの南側の住居隅に貯蔵穴がある。カマドの手前にもピットが確認できた。周溝は確認できた。	硬化面は確認できなかった。	第87図。1・5は甲斐型坏、2は甲斐型皿で、内面に渦巻き状の暗文がある。6・8～10は甲斐型甕、3・4は黒色坏で、4の外面に墨書がある。7は黒色土器の片口鉢。	カマドやその手前での出土が多い。カマドに礫は出土しなかったが、土器は出土している。	123号土坑と重なる。南壁は試掘溝により壊されている。

第２表　遺構観察表③

遺構名	図版番号	時期	位置	形状	規模(m)	施設等	床面	特筆遺物	遺物出土状況	備考
B区1号方形竪穴状遺構	第88・89図	中世	I−19・20、J−19・20	長方形	長軸2.410×短軸1.920×深さ0.440〜0.710	床面や竪穴の外に柱穴と思われるピットが多数確認できた。その中で3P・4P・5P・7P・8P・9P・10P・11Pから礎石と思われる扁平な礫が出土した。床面中央西寄りに楕円形の大きなピットがあり、その覆土中から炭化物が大量に出土した。	硬化面は確認できなかった。	第98図15の古銭以外、図示できる遺物は出土していない。	古銭、陶器片が1点づつ出土しているが、それ以外は、20〜30cm大の礫ぐらいしか出土しない。出土する土器はほとんどが平安時代土師器の破片である。	遺構の壁は垂直に立ち上がり、途中で外側に広がっており、土層断面の観察から、本来は地面まで垂直に立ち上がっていた壁が、建物の廃絶後、壁の上部が崩れてしまったためと考えられる。その時は野ざらしに近い状態であったであろう。覆土の上層は黄褐色ロームがブロック状に混じり、人為的に埋められている可能性が高く、窪地になっていたところを埋め立てた可能性がある。
B区2号方形竪穴状遺構	第90図	中世	K−23・24、L−23・24	長方形	長径（2.570）×短径（1.970）×深さ（0.300）	四隅に柱穴と思われるピットが確認できた。南西隅は張り出しがあり、きれいな長方形とはならない。	硬化面は確認できなかった。小さなピットが7基ある。	第98図16・17の古銭2点以外、図示できる遺物は出土していない。	土器が数片出土しているが、それ以外は礫が圧倒的に多い。また、床直出土のものがなく、全て覆土中からの出土である。	8号溝に切られる。壁は崩れ落ちてはいない。そのまま埋められたのであろう。
B区3号竪穴状遺構	第91図	中世?	K−22	不整楕円形	長軸3.140×短軸2.285×深さ0.485	不整な楕円形ではあるが、底部の一部にわずかに段がある。	硬化面はなし。	第98図2・3はふいごの羽口の破片、4は石臼の上臼片である。	10〜30cm大の礫が多数出土。その内石臼片が1点あり。土器は土師質土器が一片、ふいごの羽口片が2点出土している。礫は一部並んでいるようにも見える。	
B区4号竪穴状遺構	第92図	不明	I−23	楕円形?	長軸（1.765）×短軸（0.635）×深さ（0.315）	特になし		特になし	10〜30cm大の礫多数出土。土器等は出土していない。	3号竪穴状遺構と礫の出土状況等が似ている。
B区5号竪穴状遺構	第92図	不明	I−22・23	方形	長軸2.540×短軸（2.010）×深さ（0.140）	特になし		特になし	特になし	現代に近い遺構かもしれない。
B区1号溝	第99図	近〜現代	A−2、B−2	直線状、短い	長さ(6.000)、幅：北端3.880×中央4.130×南端3.400、深さ：北端1.651×中央1.491×南端0.713		床面中央やや南寄りに小さなピットが3基長軸直交するように並んでいる。	第99図1は急須である。	20〜30cm大の礫以外に、トタン板・缶・急須等の近〜現代の遺物が多数出土。炭化物も多量に出土している。	急斜面を利用し作られている。トタン板が出土しているので、それを屋根にした簡易小屋の可能性がある。
B区2号溝	第100図	不明	B−1・2	ほぼ直線	長さ(7.000)、幅：西端0.720×中央1.950×東端1.420×、深さ：西端0.325×中央0.309×東端0.568		断面形はV字に近い。	特になし	陶磁器片が数点出土。	急斜面の裾に沿っている。
B区3号溝	第100図	不明	B−2・3、C−1・2	弧状	長さ(10.200)、幅：西端0.910×中央1.510×東端1.010、深さ：西端0.205×中央0.103×東端0.198			特になし	特になし	2号溝を切っている。
B区4号溝	第100図	不明	B−4・5・6、C−6	弧状	①長さ(7.800)、幅：西端0.700×中央0.580×東端0.550、深さ：西端0.038×中央0.041×東端0.057、②長さ(2.960)、幅：西端0.920×中央0.560×東端0.860、深さ：西端0.071×中央0.069×東端0.060			特になし	特になし	2号溝と同様、急斜面の裾に沿っている。
B区5号溝	第100図	不明	C−2・3	弧状	長さ(8.700)、幅：西端0.390×中央0.610×東端0.790、深さ：西端0.153×中央0.042×東端0.094			特になし	特になし	2号溝と並行している。その幅は約5mである。
B区6号溝	第100図	現代	C−7、D−7、E−7	直線状	長さ(11.500)、幅：北端1.220×中央1.280×南端0.360、深さ：北端0.280×中央0.344×南端0.242		幾つもの溝が重なり合っている。	特になし	特になし	現代の根切溝であろう。
B区7号溝	第100図	不明	D−6、E−5・6	直線状	長さ(8.740)、幅：北端1.850×中央0.710×南端0.600、深さ：北端0.015×中央0.133×南端0.100			特になし	特になし	北端で東側に短い溝が延びている。
B区8号溝	第93・94図	中世?	I−24・25、J−24・25、K−23・24、L−23、M−22・23	ほぼ直線	長さ(24.780)、幅：北端1.090×中央0.900×南端0.950、深さ：北端0.390×中央0.140			特になし	礫が散在している。一部にまとまって礫が出土しているところもある。	2号方形竪穴状遺構の上に構築されている。南端は細くなりなくなっていくが、これはそこを掘り下げ過ぎたためであるので、溝は調査区外に伸びている。
B区9号溝	第93・94図	不明	I−24、J−24、k−24	ほぼ直線	長さ(7.800)、幅：北端1.340×中央(1.150)×南端0.850、深さ：北端0.380×中央0.390			特になし	特になし	8号溝と並行する。
B区10号溝	第93・94図	中世?	I−23・24、J−23・24、K−22・23、L−21・22・23	ほぼ直線。南端でL字に東側に曲がる。	長さ(2.165)、幅：北端3.660×中央1.580×南端3.280、深さ：北端0.090×中央0.230×南端0.230		中央に細い溝が途中まで走っている。	特になし	平面でも断面でも、溝の西壁に沿うように2号列石が並行している。おそらく10号溝の西壁に葺かれた石列が2号列石であろう。	
B区11号溝	第93・94図	中世?	I−24、J−23・24、K−23、L−22・23	ほぼ直線	長さ(19.28)、幅：北端0.280×中央0.320×南端0.400、深さ：北端0.560×中央0.307×南端0.168			特になし	溝内から遺物がほとんど出土していない。溝の南側で西に1号列石、東に2号列石が並行する。断面を見ると11号溝の上に重なることはなく、きれいに分かれている。これは列石を11号溝が切ったか、同時存在かどちらかである。	覆土は、黄褐色ローム粒を多量に含む1つの層だけなので、一気に埋められたと考えられる。
B区1号組石遺構	第101図	近〜現代	B−4	不整楕円形	長軸1.760×短径1.240×深さ0.260		組石の下に焼土が確認できた。	特になし	10〜40cm大の礫を一部並べたりしながら、配置している。離れてはいるが周辺から陶磁器やガラス瓶が出土している。	周辺の出土遺物から現代のものであり、野外で石を組み、火を使ったと考えると、焼却施設の可能性が考えられる。
B区2号組石遺構	第101図	中世?	I−17	長方形	長軸1.000×短軸0.530		組石の下に遺構は確認できなかった。	特になし	土器の出土はない。礫の上に炭化物が乗っていた。礫も黒く煤けており、火を受けている。	規模・礫の密集度・被熱など、紺屋遺跡(1次)で発見された火葬墓または火葬施設と似ている。
B区井戸	第101図	近〜現代	B−5	不整円形	長軸2.120×短軸1.920	約2.5m下で水が湧き出してきた。壁等を木枠や石などで固めることはなく、素掘り状態であった。地表近くの壁は崩れ、外に広がっている。		特になし	多量の瓦片が井戸を覆っていた。覆土中からの出土はなし。	近所の人から、戦後にこの場所で井戸を埋めたことがあると聞いたので、この井戸で間違いないであろう。

第３表　遺構内ピット一覧表①

調査区	遺構名	ピット番号	長軸(cm)	短軸(cm)	深さ(cm)	備考
A区	1号住	1	24.5	24	18.1	
A区	1号住	2	38	29	5.4	
A区	1号住	3	35	25	28	
A区	1号住	4	30	29	18	
A区	1号住	5	31	17.5	11.7	
A区	1号住	6	44	32	10.2	
A区	1号住	7	47	34	7.7	
A区	1号住	8	22	18.5	9.7	
A区	1号住	9	29	12	6.4	
A区	1号住	10	58	51.5	9	
A区	1号住	11	28	26	8.7	
A区	1号住	12	41.5	32	5.3	
A区	1号住	13	28	28	12.4	
A区	1号住	14	42	36	14.3	
A区	1号住	15	27	23.5	13.9	
A区	1号住	16	81	65	53.5	
A区	1号住	17	38	30	26.7	
A区	1号住	18	48	46	35	
A区	1号住	19	38	37	9	
A区	1号住	20	121	51.5	17.1	
A区	1号住	21	31	29	12.5	
A区	1号住	22	27	21.5	12	
A区	1号住	23	28	24.5	16	
A区	1号住	24	93	65	16.6	
A区	1号住	25	34	30	12.7	
A区	1号住	26	52	51.5	26	
A区	1号住	27	42	32.5	21	
A区	1号住	28	23	22	13.6	
A区	1号住	29	40	29	9.5	
A区	1号住	30	25	24.5	8.1	
A区	1号住	31	20.5	15.5	5.2	
A区	1号住	32	28.5	13	7.2	
A区	2号住	1	47	38	14.6	
A区	2号住	2	69	57	17.8	
A区	2号住	3	39	35	38.5	
A区	2号住	4	51	42	8.5	
A区	2号住	5	31	24	18.4	
A区	2号住	6	34	28	7.9	
A区	2号住	7	22	19	6.5	
A区	2号住	8	52	31	17.7	
A区	2号住	9	26	25	7.8	
A区	2号住	10	33	28	6.9	
A区	2号住	11	19	15	6.2	
A区	2号住	12	60	46	12.1	
A区	2号住	13	35.5	33	17	
A区	2号住	14	32.5	30	9.8	
A区	2号住	15	14	13	15	
A区	2号住	16	52	32	10.5	
A区	2号住	17	31	24	35.3	
A区	2号住	18	34	22	14.2	
A区	3号住	1	16	14.5	8.2	
A区	3号住	2	28.5	24	11	
A区	3号住	3	49.5	43	15.7	
A区	3号住	4	38	20.5	11.8	
A区	3号住	5	21	16	14.2	
A区	3号住	6	29	25	10.6	
A区	3号住	7	54.5	48	22.1	
A区	3号住	8	166.5	77	20.3	
A区	3号住	9	79.5	49	37	
A区	3号住	10	55	38	27.9	
A区	3号住	11	29.5	14	5	
A区	3号住	12	29.5	25	13.4	
A区	3号住	13	20	18	11.5	
A区	3号住	14	28	26	14.7	
A区	3号住	15	17	11	5.6	
A区	3号住	16	14	12	13.2	
A区	3号住	17	12	10	8.2	
A区	3号住	18	27	26	12.7	
A区	3号住	19	29	22	22.5	
A区	3号住	20	21	15.5	26.7	
A区	3号住	21	74	54	37.2	
A区	3号住	22	24	21	12	
A区	3号住	23	12	9.5	5.2	
A区	3号住	24	24	20	5.7	

調査区	遺構名	ピット番号	長軸(cm)	短軸(cm)	深さ(cm)	備考
A区	4号住	1	14	13.5	5.4	
A区	4号住	2	17	16	7.2	
A区	4号住	3	39	27.5	14.8	
A区	4号住	4	42	15	71	
A区	4号住	5	74.5	63.5	7.4	
A区	4号住	6	40	18.5	10.4	
A区	4号住	7	14	9	18.1	
A区	4号住	8	38	32.5	63.2	
A区	4号住	9	23	22.5	51.5	
A区	4号住	10	33	25	21	
A区	4号住	11	22	17	11.6	
A区	4号住	12	33.5	31.5	15.2	
A区	4号住	13	10	8.5	11.6	
A区	4号住	14	48	45	7.8	
A区	4号住	15	44.5	34.5	7.2	
A区	4号住	16	63	43	17	
A区	4号住	17	68	41	23	
A区	4号住	18	22	20	16.8	
A区	4号住	19	27	21	7	
A区	4号住	20	21	19	12.8	
A区	4号住	21	39	32	12.3	
A区	4号住	22	21.5	18	5.4	
A区	4号住	23	19	17.5	58.5	
A区	4号住	24	19	16.5	17.4	
A区	4号住	25	30.5	31	12.8	
A区	4号住	26	36.5	30	12.2	
A区	4号住	27	22.5	21.5	11.4	
A区	4号住	28	30	29	40.2	
A区	4号住	29	42	26	3.8	
A区	4号住	30	71	58.5	18.6	
A区	4号住	31	9	8.5	4	
A区	4号住	32	56	38	7.5	
A区	4号住	33	38	32	12.2	
A区	4号住	34	23	21	69.5	
A区	4号住	35	21.5	13.5	1.3	
A区	4号住	36	25	12	1.7	
A区	4号住	37	30.5	20	37	
A区	4号住	38	47	24	15.5	
A区	5号住	1	99	72	26.5	
A区	5号住	2	41	36.5	13.1	
A区	5号住	3	31	25.5	14.5	
A区	5号住	4	17	12	10.8	
A区	5号住	5	93	39	15	
A区	5号住	6	13	10	－	
A区	5号住	7	10	7	－	
A区	5号住	8	7	4	－	
A区	5号住	9	8.5	6.5	－	
A区	5号住	10	9.5	9.5	－	
A区	6号住	1	62	61	58.5	
A区	6号住	2	36	34	46.2	
A区	6号住	3	108.5	76	39.5	
A区	6号住	4	19	19	17.9	
A区	6号住	5	28	26	20.6	
A区	6号住	6	46	36	21.3	
A区	6号住	7	32	20.5	5	
A区	6号住	8	26.5	21.5	8.7	
A区	6号住	9	31	24.5	12.1	
A区	6号住	10	50	38	9.9	
A区	6号住	11	29	22	4.1	
A区	6号住	12	25	23	9.8	
A区	6号住	13	27	22	8.3	
A区	6号住	14	36	25.5	15.8	
A区	6号住	15	40	24	8.2	
A区	6号住	16	42	41.5	32.6	
A区	6号住	17	25	17	19.2	
A区	6号住	18	60	51	49.6	
A区	6号住	19	26	16	35.1	
A区	6号住	20	25	23	47.4	
A区	6号住	21	42	25	19.8	
A区	6号住	22	29	26.5	56.1	
A区	6号住	23	55	50	19.3	
A区	6号住	24	20	14	27.4	
A区	6号住	25	48	43	11.5	
A区	7号住	1	58.5	46.5	13.6	

第３表　遺構内ピット一覧表②

調査区	遺構名	ピット番号	長軸(cm)	短軸(cm)	深さ(cm)	備考
A区	7号住	2	32	26.5	7.8	
A区	7号住	3	88	65	76.5	
A区	7号住	4	86	63	34.5	
A区	7号住	5	32	26	11.7	
A区	7号住	6	67	67	45.3	
A区	7号住	7	60	53	16.2	
A区	8号住	1	33	31	17.2	
A区	9号住	1	60	54	11.9	
A区	9号住	2	41	39	58.8	
A区	9号住	3	53	40	62.3	
A区	9号住	4	19.5	17.5	5.7	
A区	9号住	5	46.5	45	9.5	
A区	9号住	6	24.5	24	7.3	
A区	9号住	7	25	17	57.2	
A区	9号住	8	37	35	58.3	
A区	9号住	9	41	37	57.5	
A区	9号住	10	20	19	4.7	
A区	10号住	1	37	28	6.6	
A区	10号住	2	18	15	12.2	
A区	10号住	3	35	26	31.3	
A区	10号住	4	10	8.5	12.9	
A区	10号住	5	11	9	6.2	
A区	10号住	6	11	9	3.9	
A区	11号住	1	161	101	100.4	
A区	11号住	2	98.5	56.5	6.7	
A区	11号住	3	39	38	1.9	
A区	11号住	4	56.5	50	33.5	
A区	11号住	5	39.5	39	22.4	
A区	11号住	6	32	30	22.4	
A区	11号住	7	172	102	102.1	
A区	11号住	8	101	86	79	
A区	11号住	9	143	105	92	
A区	12号住	1	136	124	29.6	
A区	12号住	2	76	49	5	
A区	12号住	3	60.5	42	13.1	
A区	12号住	4	21.1	17	18	
A区	12号住	5	58.5	36	11.1	
A区	12号住	6	19.5	19	37.3	
A区	12号住	7	42	38.5	43.5	
A区	12号住	8	23	21	26.6	
A区	12号住	9	54	48	7.4	
A区	12号住	10	140	104	58.5	
A区	12号住	11	34	28	11.1	
A区	12号住	12	18	17	12.6	
A区	12号住	13	150.3	115	30.3	
A区	12号住	14	64	52	34.2	
A区	12号住	15	34	26	15.1	
A区	12号住	16	113	73	26.6	
A区	12号住	17	52	44	24.6	
A区	12号住	18	71	34	13.5	
A区	13号住	1	59	56.5	30.1	
A区	13号住	2	26	23.5	15.7	
A区	13号住	3	100	55	16.2	
A区	13号住	4	74	56	22	
A区	13号住	5	49	44	44.2	
A区	13号住	6	22	16.5	36.9	
A区	13号住	7	155	77	17.5	
A区	13号住	8	47	42	23.8	
A区	13号住	9	22	18	16.1	
A区	13号住	10	16	16	10.8	
A区	14号住	1	70	54	36.7	
A区	14号住	2	58	52	55.7	
A区	14号住	3	23	18	31.4	
A区	14号住	4	16	14.5	20.4	
A区	14号住	5	55	38.5	4.2	
A区	14号住	6	16.5	15	7.3	
A区	14号住	7	30	22	3.8	
A区	14号住	8	8.5	8	8.9	
A区	15号住	1	103	90	81	
A区	15号住	2	58	48	59.9	
A区	15号住	3	47	29	76.5	
A区	15号住	4	50	42	16.9	
A区	15号住	5	37	30	22.5	
A区	15号住	6	104	103	50.3	

調査区	遺構名	ピット番号	長軸(cm)	短軸(cm)	深さ(cm)	備考
A区	15号住	7	150	95	23.1	
A区	15号住	8	15	8	1.2	
A区	15号住	9	11	9.5	5.9	
A区	15号住	10	48	44	13.2	
A区	15号住	11	29	24	12.5	
A区	15号住	12	87	87	86	
A区	15号住	13	102	73	20.4	
A区	15号住	14	97	87	82.3	
A区	15号住	15	36	35	45.4	
A区	15号住	16	33	30	11.6	
A区	15号住	17	33	23	9.6	
A区	15号住	18	51.5	42.5	22.6	
A区	16号住	1	58	53	46.2	
A区	16号住	2	32	24	18.5	
A区	16号住	3	31	30	18.1	
A区	16号住	4	26	24	15.2	
A区	16号住	5	30	29	11.2	
A区	16号住	6	25	23	11.8	
A区	16号住	7	54	51	34	
A区	16号住	8	80	63	43.2	
A区	16号住	9	65	38	41	
B区	1号方形竪穴	1	41	36	39	
B区	1号方形竪穴	2	30	25.5	9.1	
B区	1号方形竪穴	3	39	35	8	
B区	1号方形竪穴	4	26.5	25	28.4	
B区	1号方形竪穴	5	47	30	39	
B区	1号方形竪穴	6	34	28.5	28.5	
B区	1号方形竪穴	7	36.5	33	36	
B区	1号方形竪穴	8	25.5	24	36	
B区	1号方形竪穴	9	30.5	23	13	
B区	1号方形竪穴	10	49.5	32.5	35	
B区	1号方形竪穴	11	26.5	25	31	
B区	1号方形竪穴	12	150.2	112.5	17.5	
B区	1号方形竪穴	13	40	29	43.2	
B区	1号方形竪穴	14	27.5	24.5	21.5	
B区	1号方形竪穴	15	44.5	27	19	
B区	1号方形竪穴	16	27	23	16.6	
B区	1号方形竪穴	17	29	26.5	24	
B区	1号方形竪穴	18	54	34.5	10.3	
B区	1号方形竪穴	19	29	26.5	29.9	
B区	1号方形竪穴	20	45	35	25	
B区	1号方形竪穴	21	36.5	25	50.5	
B区	1号方形竪穴	22	34	19	14.3	
B区	1号方形竪穴	23	28	17	6	
B区	1号方形竪穴	24	12	11.5	5.4	
B区	1号方形竪穴	25	49.5	47	23.2	
B区	1号方形竪穴	26	72	49	11.7	
B区	1号方形竪穴	27	20	17	12.5	
B区	1号方形竪穴	28	41	33	16.2	
B区	1号方形竪穴	29	26	22	15.3	
B区	1号方形竪穴	30	54.5	27	11.9	
B区	1号方形竪穴	31	32	26	11.9	
B区	1号方形竪穴	32	24	16	20.1	
B区	1号方形竪穴	33	34	29	38.4	
B区	1号方形竪穴	34	38.5	38	39.6	
B区	1号方形竪穴	35	39.5	29.5	37.8	
B区	1号方形竪穴	36	23	22	10.7	
B区	1号方形竪穴	37	22.5	22	6.9	
B区	1号方形竪穴	38	36	33	7.3	
B区	1号方形竪穴	39	26	25.5	31.8	
B区	1号方形竪穴	40	29	21	37.2	
B区	1号方形竪穴	41	28.5	28	34.5	
B区	1号方形竪穴	42	30	19	20.7	
B区	1号方形竪穴	43	44.5	42.5	26.5	
B区	1号方形竪穴	44	45	44.5	9.9	
B区	1号方形竪穴	45	22.5	22	28.8	
B区	1号方形竪穴	46	27	20	9.9	
B区	1号方形竪穴	47	27.5	25	10.2	
B区	1号方形竪穴	48	45	38	23.9	
B区	1号方形竪穴	49	48	37	12.3	
B区	2号住	1	44.5	38	28.1	
B区	2号住	2	105	58	8.9	
B区	3号住	1	82	64	21.3	
B区	3号住	2	130	95	4.6	

第４表　土坑・ピット一覧表①

調査区	遺構番号	グリッド	長軸(cm)	短軸(cm)	深さ(cm)	備　考
A区	1号土坑	E－12	150	141.5	19	
A区	2号土坑	E－12	98.5	46	9.1	
A区	3号土坑	E－12	65	45	23.6	
A区	4号土坑	E－12	47	33	16.4	
A区	5号土坑	E－12	27.5	22	8.2	
A区	6号土坑	D－11	54	50	20.5	
A区	7号土坑	E－12	158	120	40.6	古墳時代前期
A区	8号土坑	D－11	150	115	14	縄文時代
A区	9号土坑	D－11	77	70	9.5	縄文時代
A区	10号土坑	E－11	73	71	37.3	
A区	11号土坑	D－11	70	54	14	
A区	12号土坑	E－11	92	60	17	縄文時代
A区	13号土坑	E－11	89	48	14	
A区	14号土坑	E－11	48	29	18.5	
A区	15号土坑	E－11	91	87	23.5	縄文時代
A区	16号土坑	E－11	48	47	16	縄文時代
A区	17号土坑	D－11，E－11	106	74	11.5	
A区	18号土坑	E－12	48	48	22.5	
A区	19号土坑	D－11，E－11	50	32	4	
A区	20号土坑	E－11	52	50	8	
A区	21号土坑	D－11	61	56	24	
A区	22号土坑	D－11	100	62	30.5	
A区	23号土坑	D－11	95	79	105	
A区	24号土坑	E－11	80	78	115	
A区	25号土坑	E－11	36	35	160	
A区	26号土坑	E－11	83	82	9.5	
A区	27号土坑	E－11	73	70	3.5	
A区	28号土坑	E－11	70	70	3	
A区	29号土坑	D－10	144	86	40	
A区	30号土坑	D－10	64	64	10	
A区	31号土坑	D－9，D－10	76	68	71	
A区	32号土坑	D－10	51	30	16.5	
A区	33号土坑	D－9	77	67.5	82.5	
A区	34号土坑	D－9	96.5	91	69.5	
A区	35号土坑	E－12	188	179.5	71	弥生時代
A区	36号土坑	D－8	202	185	36	
A区	37号土坑	D－8	109	92.5	23	
A区	38号土坑	C－2	247.5	136.5	44	
A区	39号土坑	E－10	62	56	13	
A区	40号土坑	E－8	96	90	36	
A区	41号土坑	D－5	70	58	42.3	
A区	42号土坑	D－5	58	57	42	
A区	43号土坑	D－11，D－12	190	126	95	
A区	44号土坑	D－11，D－12	64	61	15	
A区	45号土坑	E－11，E－12	102	75	23.5	
A区	46号土坑	E－11，E－12	81	76	1.5	
A区	47号土坑	D－11	80	59	1	
A区	48号土坑	D－11	100	81	27.5	
A区	49号土坑	D－11	72	63	8	
A区	50号土坑	D－11	74	63	13	
A区	51号土坑	E－11	83	62	29	
A区	52号土坑	E－11	52	26	?	
A区	53号土坑	E－11	117	48	17.5	
A区	54号土坑	E－11	62	57	23	
A区	55号土坑	E－11	68	48	19	
A区	56号土坑	E－11	75	69	11	
A区	57号土坑	E－11	57	55	8	
A区	58号土坑	E－12	61	49	?	
A区	59号土坑	F－11	73	56	13	
A区	60号土坑	E－11	82	68	15.5	
A区	61号土坑	E－11，F－11	94	64	19	
A区	62号土坑	E－11	61	28	6.5	
A区	63号土坑	E－11	51	43	15.5	
A区	64号土坑	E－11	58	52	18.5	
A区	65号土坑	E－11	60	38	22.3	
A区	66号土坑	E－11	76	69	8.5	
A区	67号土坑	E－11	59	51	24	
A区	68号土坑	E－11	53	43	12	
A区	69号土坑	D－10	98	71	59.1	
A区	70号土坑	D－10	87	85	30	
A区	71号土坑	D－10	64	57	14.5	
A区	72号土坑	D－10	64	60	16.5	
A区	73号土坑	E－10	55	44	58.1	
A区	74号土坑	E－10	88	67	26.1	
A区	75号土坑	E－10	86	13	5	
A区	76号土坑	E－10	100	95	14.5	
A区	77号土坑	E－10	63	38	44.1	
A区	78号土坑	E－10	62	62	39.5	
A区	79号土坑	D-9,D-10,E-9,E-10	52	44	14.5	
A区	80号土坑	D－12，E－12	66	52	8.5	
A区	81号土坑	D－12,	60	46	10	
A区	82号土坑	D－9	74	62	35.5	
A区	83号土坑	D－9，E－9	58	53	11	
A区	84号土坑	E－9	57	54	30.7	
A区	85号土坑	F－9	78	68	38	
A区	86号土坑	E－9	53	48	14	
A区	87号土坑	E－9	56	52	45.7	
A区	88号土坑	E-8,E-9,F-8,F-9	60	58	19.4	
A区	89号土坑	F－8	57	39	?	
A区	90号土坑	E－8	53	37	18.5	
A区	91号土坑	E－8	64	63	19	
A区	92号土坑	E－8	68	56	25	
A区	93号土坑	E－8	96	55	19	
A区	94号土坑	E－8	88	68	?	
A区	95号土坑	E－8	59	50	45.4	
A区	96号土坑	E－8	72	58	9	
A区	97号土坑	E－8	56	44	12.5	
A区	98号土坑	E－8	55	50	28	
A区	99号土坑	E－8	82	73	10.5	
A区	100号土坑	E－8	88	56	20.5	
A区	101号土坑	E－8	57	48	17.5	
A区	102号土坑	E－8	55	53	?	
A区	103号土坑	D－8	58	54	20.5	
A区	104号土坑	D－8	57	47	30.6	
A区	105号土坑	D－8	66	60	25	
A区	106号土坑	D－8	50	44	25.8	
A区	107号土坑	D－8	91	49	95	
A区	108号土坑	D－8	91	72	27.5	
A区	109号土坑	D－8	89	75	34.4	
A区	110号土坑	E－7，E－8	60	48	23.5	
A区	111号土坑	E－7	54	43	27	
A区	112号土坑	E－7	59	57	36.6	
A区	113号土坑	E－7	51	44	25.3	
A区	114号土坑	E－7	56	45	29.3	
A区	115号土坑	E－7	86	84	19	
A区	116号土坑	E－7	74	63	13.6	
A区	117号土坑	E－8，F－8	96	79	23.5	
A区	118号土坑	E－6	51	46	35	
A区	119号土坑	E－6	71	54	11	
A区	120号土坑	E－6	84	78	?	
A区	121号土坑	D－6	90	85	13.5	
A区	122号土坑	D－5	227	15	17	
A区	123号土坑	C－5	133	80	11.7	
A区	124号土坑	D－4，D－5	55	49	0.6	
A区	125号土坑	D－4	57	55	27	
A区	126号土坑	E－11	44	35	28.5	
A区	1号ピット	C－10，D－10	37	32	35.4	
A区	2号ピット	D－10	36	33	7	
A区	3号ピット	E－8	29	28	31.6	
A区	4号ピット	E－8	47	42	?	
A区	5号ピット	E－8	54	52	40	
A区	6号ピット	D－8	50	43	46.4	
A区	7号ピット	D－8	40	35	23	
A区	8号ピット	E－8	43	32	18.5	
A区	9号ピット	E－8	28	28	43.3	
A区	10号ピット	D－6	27	26	21.6	
A区	11号ピット	D－6	36	32	15	
A区	12号ピット	D－8	43	42	28.1	
A区	13号ピット	E－12	30	24	13.5	
A区	14号ピット	D－12，E－12	52	43	13.5	
A区	15号ピット	E－12	49	45	24.5	
A区	16号ピット	D－12	26	26	17.5	
A区	17号ピット	D－12，E－12	32	27	31	
A区	18号ピット	D－12	24	21	14.5	
A区	19号ピット	D－12	30	30	11.5	
A区	20号ピット	D－12	41	38	12	
A区	21号ピット	D－12	36	31	0.5 ?	
A区	22号ピット	E－11，E－12	34	30	?	
A区	23号ピット	E－12	24	20	?	
A区	24号ピット	D－11	52	46	12	
A区	25号ピット	D－11	42	33	26.5	
A区	26号ピット	D－11	36	28	?	
A区	27号ピット	D－11	48	36	12.5	
A区	28号ピット	D－11	43	35	12	
A区	29号ピット	D－11	18	16	9	
A区	30号ピット	D－11	17	16	7	
A区	31号ピット	D－11	26	21	2.5	
A区	32号ピット	D－11	46	39	4.5	
A区	33号ピット	D－11	48	37	?	
A区	34号ピット	D－11	27	25	?	
A区	35号ピット	D－11	31	26	2	
A区	36号ピット	D－11	31	29	19	
A区	37号ピット	D－11	37	27	0.5	
A区	38号ピット	D－11	37	35	20.5	
A区	39号ピット	D－11	27	21	19.5	
A区	40号ピット	D－11	42	41	21	
A区	41号ピット	D－11	35	29	16	
A区	42号ピット	D－11	36	26	14	
A区	43号ピット	D－11	30	26	7	
A区	44号ピット	D－11	30	27	11	
A区	45号ピット	D－11	38	34	14.5	
A区	46号ピット	D－11，E－11	41	30	11	
A区	47号ピット	D－11，E－11	29	22	7.5	
A区	48号ピット	E－11	32	25	?	
A区	49号ピット	E－11	48	44	26	
A区	50号ピット	E－11	34	33	17	
A区	51号ピット	E－11	41	33	8.5	
A区	52号ピット	E－11	44	28	?	
A区	53号ピット	E－11	46	40	15.5	
A区	54号ピット	E－11	39	38	?	
A区	55号ピット	E－11	40	37	5.5	
A区	56号ピット	E－11	20	18	6	
A区	57号ピット	E－11	20	20	?	
A区	58号ピット	E－11	32	28	?	
A区	59号ピット	E－11	34	34	17	
A区	60号ピット	E－11	58	33	?	
A区	61号ピット	E－11	42	37	21.9	
A区	62号ピット	E－11	46	44	15.5	
A区	63号ピット	E－11	44	31	19.5	
A区	64号ピット	E－11	30	28	20	
A区	65号ピット	E－11	45	31	21	
A区	66号ピット	E－11	43	37	16.5	
A区	67号ピット	E－11	43	28	?	
A区	68号ピット	E－11	51	36	?	
A区	69号ピット	E－11	27	23	40.3	
A区	70号ピット	E－11	42	28	?	
A区	71号ピット	E－11	39	39	14	
A区	72号ピット	E－11	45	37	12.5	
A区	73号ピット	E－11	36	32	13.5	
A区	74号ピット	E－11	42	37	14.5	
A区	75号ピット	E－11	26	20	14.5	
A区	76号ピット	E－11	24	17	?	
A区	77号ピット	E－11	41	34	12.5	
A区	78号ピット	E－11	34	34	14.9	
A区	79号ピット	E－11	45	43	11	
A区	80号ピット	E－11	40	27	9.5	
A区	81号ピット	E－11	35	30	4	
A区	82号ピット	E－11	36	25	9	
A区	83号ピット	E－11，F－11	29	28	10	
A区	84号ピット	E－11	25	20	7.5	
A区	85号ピット	E－11，F－11	40	28	?	
A区	86号ピット	E－11	22	21	5	
A区	87号ピット	E－11	48	30	?	
A区	88号ピット	E－11	37	28	10.5	
A区	89号ピット	E－11	39	36	12.5	
A区	90号ピット	E－11	32	24	9.5	
A区	91号ピット	E－11	47	41	?	
A区	92号ピット	E－11	34	27	17.4	
A区	93号ピット	E－11	30	19	12.5	
A区	94号ピット	E－11	32	27	14	
A区	95号ピット	E－11	17	17	16	
A区	96号ピット	E－10	55	42	29.8	

第4表　土坑・ピット一覧表②

調査区	遺構番号	グリッド	長軸(cm)	短軸(cm)	深さ(cm)	備　考
A区	97号ピット	E－10	36	32	37	
A区	98号ピット	E－10	48	47	28	
A区	99号ピット	E－10	31	27	28	
A区	100号ピット	D－10, E－10	49	37	1.5	
A区	101号ピット	D－10	56	41	16	
A区	102号ピット	D－10	22	15	7	
A区	103号ピット	D－10	24	12	9	
A区	104号ピット	D－10	30	29	4.5	
A区	105号ピット	D－10	16	15	19	
A区	106号ピット	D－10	48	42	26	
A区	107号ピット	D－10	32	29	12.5	
A区	108号ピット	D－10	34	27	?	
A区	109号ピット	D－10	46	45	23	
A区	110号ピット	D－10	51	51	15.5	
A区	111号ピット	D－10	46	42	21	
A区	112号ピット	D－10	41	29	23.5	
A区	113号ピット	D－10	44	35	?	
A区	114号ピット	D－10	26	19	7.5	
A区	115号ピット	D－10	39	22	44	
A区	116号ピット	D－10	44	23	2.5	
A区	117号ピット	D－10	45	38	24.1	
A区	118号ピット	D－10	29	28	31.5	
A区	119号ピット	D－10	21	19	18	
A区	120号ピット	D－10	48	35	?	
A区	121号ピット	D－10	33	30	22	
A区	122号ピット	C－10	37	30	10.5	
A区	123号ピット	C－10	36	20	34.7	
A区	124号ピット	C－10	30	27	14	
A区	125号ピット	E－10	16	15	?	
A区	126号ピット	D－11	30	20	7	
A区	127号ピット	E－11	30	28	19	
A区	128号ピット	E－11	26	25	12.5	
A区	129号ピット	D－10	17	10	11.5	
A区	130号ピット	D－10	18	18	19.5	
A区	131号ピット	C－9, C－10, D－9	50	43	?	
A区	132号ピット	D－9	39	36	16	
A区	133号ピット	D－9	38	34	20.9	
A区	134号ピット	D－9	41	37	21	
A区	135号ピット	D－9	43	40	22.5	
A区	136号ピット	D－9	29	26	26.5	
A区	137号ピット	D－9	18	17	7.5	
A区	138号ピット	D－9	34	32	7	
A区	139号ピット	E－9	43	37	12	
A区	140号ピット	E－9	45	41	43.6	
A区	141号ピット	E－9	33	33	25.2	
A区	142号ピット	E－9	32	26	35	
A区	143号ピット	E－9	59	48	26	
A区	144号ピット	D－8, D－9	42	38	30.5	
A区	145号ピット	D－8, D－9	36	32	18	
A区	146号ピット	D－8	40	33	20	
A区	147号ピット	D－8, D－9	34	29	16	
A区	148号ピット	D－8	46	29	21	
A区	149号ピット	D－8	65	60	2	
A区	150号ピット	D－8	39	32	1	
A区	151号ピット	D－8	35	34	19.5	
A区	152号ピット	D－8	35	32	22	
A区	153号ピット	D－8	29	26	8.5	
A区	154号ピット	D－8	39	26	11	
A区	155号ピット	D－8	39	37	18	
A区	156号ピット	D－8	35	29	22.5	
A区	157号ピット	D－8, E－8	21	19	18	
A区	158号ピット	E－8	47	40	13.5	
A区	159号ピット	E－8	43	43	1.4	
A区	160号ピット	E－8	34	30	22.7	
A区	161号ピット	E－8	44	42	19	
A区	162号ピット	E－8	22	22	?	
A区	163号ピット	E－8	20	19	19.6	
A区	164号ピット	E－8	33	32	27.8	
A区	165号ピット	E－8	41	37	17.9	
A区	166号ピット	E－8	44	37	15.5	
A区	167号ピット	E－8	42	35	17	
A区	168号ピット	E－8	43	36	30.4	
A区	169号ピット	E－8	37	33	26.3	
A区	170号ピット	E－7, E－8	40	38	26.7	
A区	171号ピット	D－7, E－7	38	28	39.7	
A区	172号ピット	E－7	25	22	15.5	
A区	173号ピット	E－7	34	34	23.6	
A区	174号ピット	E－7	26	25	28	
A区	175号ピット	E－7	37	32	53.1	
A区	176号ピット	E－7	49	44	30.8	
A区	177号ピット	E－7	28	27	29	
A区	178号ピット	E－7	37	35	31.2	
A区	179号ピット	E－7	42	42	31.1	
A区	180号ピット	E－7	50	50	27	
A区	181号ピット	E－7	35	34	20.5	
A区	182号ピット	E－7	46	42	15.5	
A区	183号ピット	E－7	30	29	12.5	
A区	184号ピット	E－7	25	23	22	
A区	185号ピット	E－7	29	26	22.5	
A区	186号ピット	E－7	42	40	22	
A区	187号ピット	E－7	33	32	14	
A区	188号ピット	E－7	43	43	21	
A区	189号ピット	E－7	28	25	9	
A区	190号ピット	E－7	49	37	20.4	
A区	191号ピット	E－7	39	34	19	
A区	192号ピット	E－7	50	45	33.7	
A区	193号ピット	E－7	25	22	18.3	
A区	194号ピット	E－7	30	23	28	
A区	195号ピット	E－7	48	45	78.1	
A区	196号ピット	E－6, E－7	27	27	29.5	
A区	197号ピット	D－7	39	32	11.5	
A区	198号ピット	D－7	36	33	15	
A区	199号ピット	D－7	48	48	34.3	
A区	200号ピット	D－7	34	32	?	
A区	201号ピット	D－7	40	38	51.9	
A区	202号ピット	D－7	36	32	21.3	
A区	203号ピット	D－7	17	17	12.9	
A区	204号ピット	D－7	46	39	27.3	
A区	205号ピット	E－8	29	28	34.2	
A区	206号ピット	E－8	26	24	16.6	
A区	207号ピット	E－8	26	25	2.5	

調査区	遺構番号	グリッド	長軸(cm)	短軸(cm)	深さ(cm)	備　考
A区	208号ピット	E－6	20	20	23.9	
A区	209号ピット	E－6	37	34	28.1	
A区	210号ピット	E－6	38	35	23.6	
A区	211号ピット	E－6	31	26	26.9	
A区	212号ピット	E－6	39	35	18.3	
A区	213号ピット	E－6	36	32	7.5	
A区	214号ピット	D－6	39	39	20.5	
A区	215号ピット	D－6	39	35	15.5	
A区	216号ピット	D－6	31	27	11.5	
A区	217号ピット	D－6	41	39	27	
A区	218号ピット	D－6	39	36	9.4	
A区	219号ピット	D－6	27	25	13.5	
A区	220号ピット	D－6	47	37	21	
A区	221号ピット	D－6	37	30	23.3	
A区	222号ピット	D－6	34	30	15	
A区	223号ピット	D－6, E－6	27	23	13.7	
A区	224号ピット	D－6, E－6	25	24	?	
A区	225号ピット	D－6, E－6	42	34	8.5	
A区	226号ピット	D－6, E－6	34	32	18.9	
A区	227号ピット	D－6, E－6	34	29	9.9	
A区	228号ピット	D－6	34	31	19.7	
A区	229号ピット	D－5	45	42	13.5	
A区	230号ピット	D－4, D－5	20	18	9.5	
A区	231号ピット	D－4, D－5	19	17	12.5	
A区	232号ピット	D－4	16	15	34	
A区	233号ピット	D－4	26	20	27.2	
A区	234号ピット	D－4	50	43	?	
A区	235号ピット	D－4	52	22	?	
A区	236号ピット	D－4	52	38	38.8	
B区	1号土坑	D－4, C－4	139	97	8	
B区	2号土坑	E－5	131	108	11	
B区	3号土坑	D－5	98	86	40	
B区	4号土坑	D－4	93	79	20	
B区	5号土坑	D－5	84	90	27.8	
B区	6号土坑	D－5	97	42	11	
B区	7号土坑	D－5	88	61	16	
B区	8号土坑	E－6	67	71	27	
B区	9号土坑	D－6, E－6	98	89	5	
B区	10号土坑	F－6	107	72	13	
B区	11号土坑	F－7	82	77	31	
B区	12号土坑	C－6	96	95	13	
B区	13号土坑	D－9	105	92	41	
B区	14号土坑	F－9	105	64	7	
B区	15号土坑	E－9	144	105	13	
B区	16号土坑	F－8	94	91	13	
B区	17号土坑	F－8	75	72	2	
B区	18号土坑	E－9	75	54	17	
B区	19号土坑	F－9	107	79	12	
B区	20号土坑	G－9	98	53	16	
B区	21号土坑	F－11·12, G－11·12	103	70	16	
B区	22号土坑	G－11	75	59	13	
B区	23号土坑	F－11	119	112	9	
B区	24号土坑	F－11, G－11	77	75	2	
B区	25号土坑	F－11	50	59	15	
B区	26号土坑	G－11	81	74	10	
B区	27号土坑	F－11, G－11	97	79	15	
B区	28号土坑	G－11, H－11	71	62	11	
B区	29号土坑	G－11	78	66	23	
B区	30号土坑	G－11	56	61	9	
B区	31号土坑	G－11	93	70	9	
B区	32号土坑	G－11	61	61	6	
B区	33号土坑	G－11	95	71	21	
B区	34号土坑	G－12	110	89	15	
B区	35号土坑	F－12	89	58	12	
B区	36号土坑	E－11	89	70	10	
B区	37号土坑	F－13, G－13	96	77	19	
B区	38号土坑	F－13, G－13	169	55	24	
B区	39号土坑	G－13	129	105	20	
B区	40号土坑	F－12·13	215	38	24	
B区	41号土坑	G－14	118	75	14	
B区	42号土坑	H－13	86	84	16	
B区	43号土坑	H－12	115	101	12	
B区	44号土坑	H－13	81	58	16	
B区	45号土坑	G－11, H－11	63	63	30	
B区	46号土坑	G－11	42	43	27	
B区	47号土坑	G－11	108	32	10	
B区	48号土坑	G－11	97	37	23	
B区	49号土坑	G－11	109	59	35	
B区	50号土坑	G－11	75	48	10	
B区	51号土坑	G－10	100	61	13	
B区	52号土坑	G－10	84	40	10	
B区	53号土坑	G－10	61	37	2	
B区	54号土坑	G－10	90	57	16	
B区	55号土坑	F－11, G－11	112	39	7	
B区	56号土坑	G－11	84	52	15	
B区	57号土坑	G－10	63	61	7	
B区	58号土坑	L－22	108	110	21	
B区	59号土坑	J－25	130	97	7	
B区	60号土坑	J－23	157	146	15	
B区	61号土坑	J－22·23	209	86	15	
B区	62号土坑	J－22	135	98	39	
B区	63号土坑	J－21	96	68	12	
B区	64号土坑	I－23	156	125	11	
B区	65号土坑	M－22	202	152	20	
B区	66号土坑	H－15, I－15	172	58	24	
B区	67号土坑	J－22	90	68	16	
B区	68号土坑	J－19	68	53	25	
B区	69号土坑	M－21	108	70	44	
B区	70号土坑	L－22, 23	170	66	5	
B区	71号土坑	L－23	115	77	12	
B区	72号土坑	L－23	105	78	29	
B区	73号土坑	M－22	137	69	6	
B区	74号土坑	M－22, N－22	173	82	10	
B区	75号土坑	N－22	69	54	23	
B区	76号土坑	J－24, 25	62	45	28	
B区	77号土坑	J－24	72	51	30	
B区	78号土坑	J－24	58	50	31	
B区	79号土坑	J－24	91	54	42	
B区	80号土坑	J－23	58	50	12	
B区	81号土坑	J－23	71	70	16	
B区	82号土坑	J－23	59	42	11	

第4表　土坑・ピット一覧表③

調査区	遺構番号	グリッド	長軸(cm)	短軸(cm)	深さ(cm)	備　考
B区	83号土坑	J－22	72	52	11	
B区	84号土坑	J－23	57	53	9	
B区	85号土坑	K－22	63	52	23	
B区	86号土坑	K－22	72	66	19	
B区	87号土坑	J－24	90	50	16	
B区	88号土坑	I－22, J－22	78	56	20	
B区	89号土坑	J－21	135	43	6	
B区	90号土坑	J－21	75	59	7	
B区	91号土坑	J－21	90	73	11	
B区	92号土坑	J－20	189	33	20	
B区	93号土坑	J－20	73	49	20	
B区	94号土坑	I－21	106	70	6	
B区	95号土坑	I－21	97	81	5	
B区	96号土坑	I－20	84	57	44	
B区	97号土坑	I－20	70	41	18	
B区	98号土坑	I－20	185	81	7	
B区	99号土坑	J－19・20	69	54	16	
B区	100号土坑	J－18	75	69	28	
B区	101号土坑	I－18	109	77	17	
B区	102号土坑	H－19	91	76	30	
B区	103号土坑	I－19	63	59	14	
B区	104号土坑	J－18	65	50	13	
B区	105号土坑	J－18	61	40	21	
B区	106号土坑	I－17	41	60	17	
B区	107号土坑	I－17	70	67	11	
B区	108号土坑	H－17	76	52	25	
B区	109号土坑	G－17・18	79	71	23	
B区	110号土坑	G－16	80	34	11	
B区	111号土坑	G－16	108	55	16	
B区	112号土坑	G－16, H－16	85	39	17	
B区	113号土坑	G－15	81	63	24	
B区	114号土坑	H－15, I－15	112	62	12	
B区	115号土坑	H－16	60	59	26	
B区	116号土坑	I－16	65	53	7	
B区	117号土坑	I－16	77	65	8	
B区	118号土坑	I－15	60	57	17	
B区	119号土坑	H－15, I－15	67	41	15	
B区	120号土坑	H－15	65	64	15	
B区	121号土坑	H－14	81	55	15	
B区	122号土坑	H－15	77	77	5	
B区	123号土坑	H－19	90	73	16	
B区	124号土坑	I－21	176	136	14	
B区	125号土坑	I－23	90	25	14	
B区	126号土坑	J－19	74	32	25	
B区	1号ピット	C－3	54	46	7	
B区	2号ピット	C－3	57	45	14	
B区	3号ピット	C－4	61	31	12	
B区	4号ピット	C－5	49	43	13	
B区	5号ピット	D－5	56	59	17	
B区	6号ピット	D－5	50	41	20	
B区	7号ピット	E－6	55	49	63	
B区	8号ピット	E－5・6	86	46	10	
B区	9号ピット	E－7	28	26	10	
B区	10号ピット	E－7	47	44	10	
B区	11号ピット	F－9	28	25	20	
B区	12号ピット	E－9	58	53	6	
B区	13号ピット	F－8	50	35	8	
B区	14号ピット	F－8	57	40	16	
B区	15号ピット	F－8	56	51	36	
B区	16号ピット	F－8	61	55	10	
B区	17号ピット	F－9	50	31	13	
B区	18号ピット	F－9	30	29	18	
B区	19号ピット	F－9	55	50	9	
B区	20号ピット	F－9	32	30	10	
B区	21号ピット	G－9	40	33	11	
B区	22号ピット	G－9	31	27	10	
B区	23号ピット	F－9	65	54	15	
B区	24号ピット	F－10	43	42	16	
B区	25号ピット	F－10	72	46	6	
B区	26号ピット	G－10	39	37	7	
B区	27号ピット	G－10	50	38	8	
B区	28号ピット	G－10	68	41	12	
B区	29号ピット	G－10	59	39	8	
B区	30号ピット	G－10	55	51	14	
B区	31号ピット	G－10	48	39	8	
B区	32号ピット	G－10	57	56	16	
B区	33号ピット	G－10・11	57	43	15	
B区	34号ピット	F－10	43	23	7	
B区	35号ピット	F－10	64	42	7	
B区	36号ピット	E－10	63	36	7	
B区	37号ピット	E－10	57	37	23	
B区	38号ピット	F－11	65	49	17	
B区	39号ピット	G－11	38	37	10	
B区	40号ピット	G－11, H－11	63	40	17	
B区	41号ピット	H－11	58	55	11	
B区	42号ピット	G－11	54	27	6	
B区	43号ピット	G－11	46	34	10	
B区	44号ピット	G－11	63	44	18	
B区	45号ピット	G－12	60	49	11	
B区	46号ピット	G－11・12	46	41	8	
B区	47号ピット					欠番
B区	48号ピット	G－12	70	50	12	
B区	49号ピット	F－12, G－12	52	48	14	
B区	50号ピット	F－12, G－12	55	54	11	
B区	51号ピット	F－11	61	48	19	
B区	52号ピット	F－11	32	29	24	
B区	53号ピット	F－11	48	44	10	
B区	54号ピット	F－11	32	31	10	
B区	55号ピット	E－11	68	34	10	
B区	56号ピット	F－12	49	48	12	
B区	57号ピット	E－11	48	48	13	
B区	58号ピット	F－12	57	47	9	
B区	59号ピット	E－11	47	37	27	
B区	60号ピット	E－11	44	38	12	
B区	61号ピット	F－12	66	57	15	
B区	62号ピット	E－13	45	39	10	
B区	63号ピット	F－13	39	32	23	
B区	64号ピット	F－13	78	63	13	
B区	65号ピット	F－14	51	42	10	
B区	66号ピット	G－14	37	35	12	
B区	67号ピット	G－14	63	59	11	

調査区	遺構番号	グリッド	長軸(cm)	短軸(cm)	深さ(cm)	備　考
B区	68号ピット	G－13	53	40	12	
B区	69号ピット	G－12・13	73	52	15	
B区	70号ピット	G－12	57	45	18	
B区	71号ピット	G－12	81	40	15	
B区	72号ピット	G－12, H－12	59	51	9	
B区	73号ピット	G－12, H－12	34	33	7	
B区	74号ピット	H－13	61	52	13	
B区	75号ピット	H－13	30	25	13	
B区	76号ピット	H－14	71	62	14	
B区	77号ピット	I－13	56	43	7	
B区	78号ピット	H－13	53	41	7	
B区	79号ピット	H－13	60	31	9	
B区	80号ピット	H－13	53	51	9	
B区	81号ピット	H－13	70	47	9	
B区	82号ピット	H－13	57	39	10	
B区	83号ピット	H－12	30	27	8	
B区	84号ピット	H－12	37	33	6	
B区	85号ピット	H－12	50	31	8	
B区	86号ピット	H－12	77	45	7	
B区	87号ピット	H－12	41	31	7	
B区	88号ピット					欠番
B区	89号ピット	H－12	34	29	2	
B区	90号ピット	H－12	35	32	6	
B区	91号ピット	G－11・12	38	29	7	
B区	92号ピット	G－11	41	32	10	
B区	93号ピット	M－22	52	54	8	
B区	94号ピット	I－22	22	16	42	
B区	95号ピット	L－23, M－23	31	30	33	
B区	96号ピット	M－22	31	25	21	
B区	97号ピット	M－22	75	41	23	4号掘立
B区	98号ピット	M－22	34	34	40	4号掘立
B区	99号ピット	K－23, L－23	68	39	44	
B区	100号ピット	J－24	51	43	34	
B区	101号ピット	J－24	50	43	10	
B区	102号ピット	J－25	43	29	14	
B区	103号ピット	I－25	95	45	31	
B区	104号ピット	J－24	44	37	34	5号掘立
B区	105号ピット	J－25	72	46	53	4号掘立
B区	106号ピット	K－24	31	58	11	
B区	107号ピット	K－21	129	76	97	柵
B区	108号ピット	J－21, K－21	109	81	103	柵
B区	109号ピット	J－25	38	29	28	4号掘立
B区	110号ピット	K－23	32	32	53	3号掘立
B区	111号ピット	J－22	24	23	14	
B区	112号ピット	J－22	17	15	13	
B区	113号ピット	I－22	23	20	9	5号掘立
B区	114号ピット	H－20	44	40	48	6号掘立
B区	115号ピット	H－20	30	27	10	
B区	116号ピット	H－20, I－20	37	30	13	
B区	117号ピット	I－20	40	33	14	
B区	118号ピット	K－21	49	31	41	7号掘立
B区	119号ピット	J－20	33	31	29	
B区	120号ピット	J－19	28	26	14	
B区	121号ピット	J－22	26	18	16	
B区	122号ピット	J－19	40	35	31	
B区	123号ピット	K－24	50	25	29	
B区	124号ピット	K－23	34	18	42	
B区	125号ピット	I－21・22	31	26	22	5号掘立
B区	126号ピット	H－21	40	30	18	5号掘立
B区	127号ピット	H－21	34	30	31	5号掘立
B区	128号ピット	I－21	34	23	44	
B区	129号ピット	I－21	38	35	16	5号掘立
B区	130号ピット	I－21	35	28	32	5号掘立
B区	131号ピット	I－21	15	15	5	5号掘立
B区	132号ピット	I－20	32	27	15	5号掘立
B区	133号ピット	J－21	35	29	7	5号掘立
B区	134号ピット	I－20	37	35	18	5号掘立
B区	135号ピット	J－21	35	33	8	5号掘立
B区	136号ピット	I－20	35	27	19	5号掘立
B区	137号ピット	I－25, J－25	43	37	31	2号掘立
B区	138号ピット	I－24	31	28	3	
B区	139号ピット	I－24	33	35	39	2号掘立
B区	140号ピット	J－25	37	30	14	1, 2号掘立
B区	141号ピット	J－25	35	29	31	2号掘立
B区	142号ピット	I－24, J－24	38	34	47	2号掘立
B区	143号ピット	I－24	39	31	51	2号掘立
B区	144号ピット	J－24	26	21	26	2号掘立
B区	145号ピット	J－24	29	25	37	2号掘立
B区	146号ピット	J－25	38	45	49	1号掘立
B区	147号ピット	J－25	30	36	54	1, 2号掘立
B区	148号ピット	J－24, K－24	47	42	50	1号掘立
B区	149号ピット	K－24	29	24	3	1号掘立
B区	150号ピット	I－25	30	37	11	
B区	151号ピット	I－25, J－25	54	40	11	
B区	152号ピット	J－25	24	20	35	
B区	153号ピット	J－25	35	30	52	
B区	154号ピット	J－25	45	33	28	1号掘立
B区	155号ピット	J－25	33	29	56	
B区	156号ピット	J－25	33	26	14	
B区	157号ピット	J－25	40	28	30	2号掘立
B区	158号ピット	J－25	33	28	16	
B区	159号ピット	J－25	34	30	33	
B区	160号ピット	J－25	26	24	18	
B区	161号ピット	J－25	25	26	24	
B区	162号ピット	J－24・25	31	27	18	2号掘立
B区	163号ピット	J－25	39	23	11	
B区	164号ピット	J－25	48	31	53	2号掘立
B区	165号ピット	J－25	37	22	36	
B区	166号ピット	J－24・25	32	24	59	1号掘立
B区	167号ピット	J－24	41	36	5	
B区	168号ピット	K－24	29	27	34	
B区	169号ピット	J－24	36	32	23	
B区	170号ピット	J－24	28	25	5	
B区	171号ピット	J－24	25	18	21	
B区	172号ピット	J－24	30	28	28	2号掘立
B区	173号ピット	J－24	32	29	23	2号掘立
B区	174号ピット	J－24	39	39	39	2号掘立
B区	175号ピット	J－24	40	36	25	
B区	176号ピット	J－24	29	23	29	
B区	177号ピット	J－24	33	26	39	2号掘立
B区	178号ピット	J－24	29	28	8	

第4表　土坑・ピット一覧表④

調査区	遺構番号	グリッド	長軸(cm)	短軸(cm)	深さ(cm)	備　考
B区	179号ピット	I－24	29	29	26	
B区	180号ピット	I－24	33	24	12	
B区	181号ピット	I－24	37	32	24	
B区	182号ピット	I－24・25	35	28	21	
B区	183号ピット	I－24	27	16	27	
B区	184号ピット	I－24	30	20	4	
B区	185号ピット	I－24	25	37	37	2号掘立
B区	186号ピット	I－24	22	29	23	2号掘立
B区	187号ピット	I－24	23	23	21	
B区	188号ピット	I－24	47	24	15	
B区	189号ピット	K－23	33	21	28	
B区	190号ピット	K－23	35	32	23	
B区	191号ピット	K－23	19	21	11	
B区	192号ピット	K－23	37	25	10	
B区	193号ピット	K－23	45	12	20	
B区	194号ピット	K－23	17	16	15	
B区	195号ピット	K－23	30	31	31	
B区	196号ピット	K－23	33	29	18	
B区	197号ピット	L－23	31	30	14	3号掘立
B区	198号ピット	L－23	37	35	12	
B区	199号ピット	L－23	21	18	12	
B区	200号ピット	L－23	24	16	7	
B区	201号ピット	L－22	33	25	5	
B区	202号ピット	L－22	30	29	13	
B区	203号ピット	L－22	43	38	17	
B区	204号ピット	L－22	27	24	16	
B区	205号ピット	L－23	31	28	51	3号掘立
B区	206号ピット	L－23	49	50	14	
B区	207号ピット	L－23	28	26	41	3号掘立
B区	208号ピット	L－23	33	26	25	
B区	209号ピット	L－23	29	25	24	
B区	210号ピット	L－23	30	28	24	
B区	211号ピット	L－23	23	20	14	
B区	212号ピット	L－23	36	31	28	
B区	213号ピット	L－23	14	14	9	
B区	214号ピット	L－23	24	21	23	
B区	215号ピット	M－22	40	29	17	
B区	216号ピット	M－22	35	26	11	
B区	217号ピット	M－22	36	30	38	4号掘立
B区	218号ピット	M－22	45	41	5	
B区	219号ピット	M－22	28	27	19	
B区	220号ピット	M－22	37	28	20	
B区	221号ピット	M－22	51	45	44	
B区	222号ピット	N－22	36	35	15	
B区	223号ピット	N－22	48	45	24	
B区	224号ピット	M－22，N－22	34	29	36	7号掘立
B区	225号ピット	M－22	34	31	9	
B区	226号ピット	M－22	45	35	10	4号掘立
B区	227号ピット	M－21・22	42	52	29	
B区	228号ピット	M－22	38	35	16	
B区	229号ピット	M－22	31	29	15	
B区	230号ピット	L－22，M－22	17	17	10	4号掘立
B区	231号ピット	L－21・22	41	31	35	
B区	232号ピット	L－22	30	28	10	
B区	233号ピット	K－22	22	21	12	
B区	234号ピット	K－22	25	22	13	
B区	235号ピット	K－23	32	28	26	
B区	236号ピット	K－21	32	31	36	
B区	237号ピット	K－21	35	31	15	
B区	238号ピット	K－21	24	21	12	
B区	239号ピット	K－21	26	25	27	
B区	240号ピット	K－21	30	30	43	
B区	241号ピット	K－21	32	29	13	
B区	242号ピット	K－21	38	34	18	
B区	243号ピット	K－21	34	33	12	7号掘立
B区	244号ピット	K－20	42	38	23	
B区	245号ピット	K－20	22	20	15	
B区	246号ピット	K－20	24	23	15	7号掘立
B区	247号ピット	K－20	37	29	18	
B区	248号ピット	K－20	27	26	18	7号掘立
B区	249号ピット	K－20	40	29	17	7号掘立
B区	250号ピット	J－21	27	26	30	
B区	251号ピット	J－21	24	20	32	
B区	252号ピット	J－21	23	23	9	
B区	253号ピット	J－21	27	24	33	
B区	254号ピット	J－21	36	30	37	
B区	255号ピット	J－21	31	29	14	柵
B区	256号ピット	J－22	19	17	24	
B区	257号ピット	J－22	32	27	23	
B区	258号ピット	J－22・23	39	33	10	
B区	259号ピット	I－23	16	15	13	
B区	260号ピット	I－23	31	21	7	
B区	261号ピット	I－23	17	20	6	
B区	262号ピット	I－23	13	12	9	
B区	263号ピット	I－23	27	26	12	
B区	264号ピット	I－22	15	11	2	
B区	265号ピット	J－22	18	18	5	
B区	266号ピット	K－23	28	22	13	
B区	267号ピット	I－22	31	30	23	
B区	268号ピット	I－22	26	23	28	柵
B区	269号ピット	I－22	36	33	1	
B区	270号ピット	I－22	32	28	33	
B区	271号ピット	I－22	23	18	16	柵
B区	272号ピット	I－22	34	31	29	
B区	273号ピット	I－22	35	31	17	
B区	274号ピット	I－22	23	21	62	
B区	275号ピット	I－22	25	24	41	
B区	276号ピット	I－22	31	24	15	
B区	277号ピット	I－22，J－22	44	37	13	柵
B区	278号ピット	J－21	25	18	16	
B区	279号ピット	J－21・22	39	29	24	柵
B区	280号ピット	J－21・22	38	34	18	
B区	281号ピット	J－21	27	31	10	
B区	282号ピット	J－21	36	36	23	
B区	283号ピット	I－21	50	42	17	
B区	284号ピット	I－22	18	18	10	
B区	285号ピット	I－21	38	32	21	
B区	286号ピット	I－21	23	44	16	
B区	287号ピット	I－21	15	31	17	
B区	288号ピット	I－21	34	31	21	
B区	289号ピット	I－21	35	29	12	
B区	290号ピット	I－21	41	32	15	
B区	291号ピット	I－21	25	25	12	
B区	292号ピット	I－21	42	36	52	
B区	293号ピット	I－21	51	38	13	
B区	294号ピット	I－21	30	27	14	
B区	295号ピット	I－21	19	18	4	
B区	296号ピット	I－21	23	21	12	
B区	297号ピット	I－21	32	30	18	
B区	298号ピット	I－20	50	42	27	
B区	299号ピット	I－20	41	47	16	
B区	300号ピット	I－21	48	47	6	
B区	301号ピット	I－21	32	31	6	
B区	302号ピット	I－21	56	54	24	
B区	303号ピット	I－21	27	22	13	
B区	304号ピット	I－21	33	26	29	
B区	305号ピット	I－21	22	21	24	
B区	306号ピット	I－21	33	31	33	
B区	307号ピット	J－20	42	27	21	
B区	308号ピット	J－20	22	18	9	
B区	309号ピット	J－20	36	31	22	
B区	310号ピット	J－21	24	23	39	
B区	311号ピット	J－21	19	21	6	
B区	312号ピット	J－20	21	19	23	
B区	313号ピット	J－20	34	31	15	5号掘立
B区	314号ピット	J－20	35	32	29	
B区	315号ピット	J－20	52	42	16	
B区	316号ピット	J－20	26	23	17	5号掘立
B区	317号ピット	J－20	45	38	19	
B区	318号ピット	J－20	24	27	6	5号掘立
B区	319号ピット	J－20	36	28	16	
B区	320号ピット	J－20	33	27	20	
B区	321号ピット	J－20	24	29	20	
B区	322号ピット	J－20	34	31	21	
B区	323号ピット	J－20	21	20	14	
B区	324号ピット	J－20	28	26	10	
B区	325号ピット	J－19	29	27	15	
B区	326号ピット	J－18	42	40	14	
B区	327号ピット	I－15	46	44	6	
B区	328号ピット	J－17・18	24	22	19	
B区	329号ピット	I－18	47	39	24	
B区	330号ピット	I－20	37	30	15	
B区	331号ピット	I－20	38	37	17	
B区	332号ピット	I－20	29	25	9	
B区	333号ピット	I－20	38	29	5	
B区	334号ピット	I－20	20	19	10	6号掘立
B区	335号ピット	I－20	23	23	8	
B区	336号ピット	H－20	22	20	9	
B区	337号ピット	H－20	35	27	8	
B区	338号ピット	H－20	27	26	9	
B区	339号ピット	H－20	29	26	12	6号掘立
B区	340号ピット	H－20	27	26	12	
B区	341号ピット	H－20	38	38	6	
B区	342号ピット	H－20	37	31	9	
B区	343号ピット	H－20	25	23	11	
B区	344号ピット	H－20	29	26	10	
B区	345号ピット	H－20	37	34	11	6号掘立
B区	346号ピット	H－20	28	24	9	
B区	347号ピット	H－20	36	29	13	
B区	348号ピット	H－20	32	28	10	
B区	349号ピット	H－20	42	33	16	6号掘立
B区	350号ピット	H－20	25	22	11	
B区	351号ピット	H－20	48	39	5	
B区	352号ピット	H－20	24	22	12	6号掘立
B区	353号ピット	H－20	48	42	16	
B区	354号ピット	H－20	27	27	8	
B区	355号ピット	H－19	19	17	9	6号掘立
B区	356号ピット	H－19・20	49	37	6	
B区	357号ピット	H－20	39	34	10	
B区	358号ピット	H－19・20	44	42	15	6号掘立
B区	359号ピット	H－19	33	26	12	
B区	360号ピット	H－19	41	30	6	
B区	361号ピット	H－19	44	37	5	
B区	362号ピット	H－19	31	25	6	
B区	363号ピット	H－19	19	15	10	
B区	364号ピット	H－18	43	35	28	
B区	365号ピット	G－16	42	27	13	
B区	366号ピット	G－15	58	41	20	
B区	367号ピット	G－15	40	38	16	
B区	368号ピット	G－15	41	39	15	
B区	369号ピット	G－15	55	43	24	
B区	370号ピット	H－15	48	42	12	
B区	371号ピット	H－15	29	27	18	
B区	372号ピット	H－15	39	36	24	
B区	373号ピット	H－15	50	49	30	
B区	374号ピット	H－14	43	39	11	
B区	375号ピット	H－14・15	46	36	11	
B区	376号ピット	H－14・15	57	44	11	
B区	377号ピット	H－15	72	35	10	
B区	378号ピット	I－16	29	24	33	
B区	379号ピット	I－16	18	27	12	
B区	380号ピット	L－23	36	34	26	
B区	381号ピット	L－23	32	28	25	
B区	382号ピット	M－22	28	24	34	
B区	383号ピット	I－24	46	45	36	
B区	384号ピット	J－24	22	20	7	
B区	385号ピット	J－24	30	26	18	
B区	386号ピット	I－24	24	24	10	
B区	387号ピット	I－23	46	36	15	
B区	388号ピット	K－23	32	26	29	
B区	389号ピット	M－22	28	22	8	
B区	390号ピット	I－22	14	12	10	
B区	391号ピット	J－21	23	20	3	
B区	392号ピット	I－18	26	23	13	
B区	393号ピット	I－18	24	38	10	

第５表　土器観察表①

図版	番号	調査区	遺構名	種別	器種	器高cm	口径cm	底径cm	その他cm	重さg	焼成	胎土	色調	調整	特徴
12	1	A区	1号住	土師器	S字甕		(16.8)			21.3	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒	鈍赤褐	外:ナデ・タテハケメ、内:ナデ	
12	2	A区	1号住	土師器	S字甕		(13.4)			10.3	良好	長・英・里雲	橙	外:ナデ・タテハケメ・口縁部黒色処理、内:ナデ・ロクロナデ	
12	3	A区	1号住	土師器	S字甕					36.4	良好	長・英・金雲・里雲	鈍褐、内:黒褐・鈍褐	外:ナデ・タテハケメ、内:ナデ	
12	4	A区	1号住	土師器	甕					23.0	良好	英・金雲・赤粒・黒粒	外:黒褐・褐、内:明褐	外:タテハケメ、内:ナデ、オサエ	
12	5	A区	1号住	土師器	甕					17.2	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒	鈍黄褐	外:タテハケメ、内:風化?	
12	6	A区	1号住	土師器	甕					24.3	良好	長・英・里雲・赤粒・黒粒	外:灰黄褐・鈍褐、内:鈍黄褐・鈍褐	外:ナデ・タテハケメ、内:ナデ・一部風化	
12	7	A区	1号住	土師器	隆帯装飾壷					94.3	良好	英・金雲・黒雲・赤粒	橙	外:ナデ・ミガキ・隆帯装飾、内:ロクロナデ・指オサエ、底:ナデ	
12	8	A区	1号住	土師器	器台			(11.6)		23.7	良好	長・英・里雲・赤粒・黒粒	明赤褐	外:ナデ・ミガキ、内:ヨコナデ・ヘラケズリ	
12	9	A区	1号住	土師器	器台			(11.0)		16.1	良好	英・赤粒・黒粒	外:灰黄褐・黄褐、内:黄褐	外:ナデ、内:ヘラケズリ?	
13	1	A区	2号住	土師器	S字甕		(9.2)			12.4	良好	長・英・金雲・里雲・黒粒	外:鈍赤褐、内:橙	外:ロクロナデ、内:ナデ	
13	2	A区	2号住	土師器	S字甕		(10.0)			6.9	良好	長・英・金雲・里雲・赤粒	外:明赤褐、内:明赤褐・黒褐	外:ロクロナデ・タテハケメ、内:ロクロナデ・黒色処理	
13	3	A区	2号住	土師器	S字甕					194.8	良好	長・英・金雲・里雲・赤粒・黒粒	外:鈍褐、内:黒褐・鈍褐	外:タテハケメ、内:ナデ・ケズリ	半分残存
13	4	A区	2号住	土師器	S字甕					71.0	良好	長・英・金雲・里雲・赤粒	外:鈍橙、内:鈍赤褐	外:タテハケメ、内:ナデ・風化	半分残存
13	5	A区	2号住	土師器	S字甕					50.4	良好	長・英・金雲・里雲・赤粒	外:鈍橙、内:褐灰	外:タテハケメ、内:ナデ	
13	6	A区	2号住	土師器	壷		15.4			24.5	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	明赤褐	外:ロクロナデ、内:ロクロナデ	
14	7	A区	2号住	土師器	壷		(24.6)			38.0	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒	外:鈍褐、内:鈍赤褐	外:ロクロナデ・口唇部刺突文、内:ナデ	
14	8	A区	2号住	土師器	小型壷		(8.3)			55.0	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	外:橙、内:明黄褐	外:ナデ・タテミガキ・粘土の接合痕、内:ナデ・指オサエ・口縁内面ヨコミガキ	
14	9	A区	2号住	土師器	壷		14.3	4.8	13.8（胴径）	198.9	良好	長・英	外:明赤褐、内:橙・灰褐	外:ナデ・体下半部ミガキ、内:ナデ、底:ナデ	
14	10	A区	2号住	土師器	小型壷					44.5	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒	外:橙、内:鈍褐	外:ナデ・下半部ミガキ・粘土の接合痕、内:ナデ・指オサエ	
14	11	A区	2号住	土師器	壷					338.0	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒	外:鈍褐、内:橙	外:タタキメ・ミガキ・風化、内:ハケメ・ミガキ	
14	12	A区	2号住	土師器	器台					52.4	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	明赤褐	外:ナデ・ヘラケズリ・オサエ、内:ナデ・ミガキ	
14	13	A区	2号住	土師器	器台					31.6	良好	長・金雲・赤粒・黒粒	橙	外:ナデ・ケズリ・３穴、内:ナデ	
14	14	A区	2号住	土師器	器台					45.6	良好	長・英・赤粒・黒粒	外:明赤褐、内:鈍褐	外:ナデ・ミガキ・３穴、内:ナデ・ミガキ	
14	15	A区	2号住	土師器	器台			13.2（脚径）	(6.3)（脚高）	136.7	良好	英・赤粒・黒粒	鈍黄褐	外:ナデ・ミガキ・３穴、内:ロクロナデ・ケズリ・指オサエ	
16	1	A区	3号住	土師器	S字甕		13.4			72.0	良好	英・金雲・里雲・赤粒	外:黄灰、内:鈍橙・褐灰	外:タテハケメ、内:ロクロナデ	
16	2	A区	3号住	土師器	S字甕		(17.6)			27.0	良好	英・金雲・里雲・赤粒	外:鈍黄褐・黒、内:鈍黄褐	外:ロクロナデ、内:ロクロナデ	
16	3	A区	3号住	土師器	S字甕					66.3	良好	長・英・金雲・里雲・赤粒	にぶい赤褐	外:タテハケメ、内:ナデ・ヘラケズリ・指オサエ	
16	4	A区	3号住	土師器	壷		(24.0)			51.0	良好	長・英・金雲・里雲・赤粒	外:褐、内:橙・黒褐	外:ナデ・ミガキ・口唇部刻み目、内:ロクロナデ	
16	5	A区	3号住	土師器	器台		9.5			82.0	良好	長・英・里雲・赤粒・黒粒	明赤褐	外:ロクロナデ・ヘラケズリ、内:ロクロナデ・ミガキ	
16	6	A区	3号住	土師器	器台					20.0	良好	長・英・赤粒・黒粒	外:明赤褐、内:橙	外:ナデ・ケズリ・３穴、内:ナデ・ケズリ	
16	7	A区	3号住	土師器	鉢		(18.0)			140.0	良好	長・英・黒雲・赤粒	外:橙、内:明褐	外:ロクロナデ・ヘラケズリ、内:ロクロナデ	
19	1	A区	4号住	土師器	S字甕		(14.8)			41.0	良好	長・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:橙・褐灰、内:鈍褐・褐灰	外・タテハケメ、内:ロクロナデ	
19	2	A区	4号住	土師器	壷		18.0			130.0	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:鈍橙、内:褐	外:ロクロナデ、内:ロクロナデ	
19	3	A区	4号住	土師器	高坏		(14.0)			27.0	良好	長・英・赤粒	橙	外:ロクロナデ・暗文、内:ロクロナデ・ヘラケズリ・暗文	
19	4	A区	4号住	土師器	高坏					26.0	良好	長・英・赤粒	外:明赤褐、内:鈍黄褐	外:ナデ・指オサエ?・接合痕、内:ナデ	
19	5	A区	4号住	土師器	高坏					83.0	良好	長・英・里雲・赤粒・黒粒	橙	外:ナデ、内:ナデ?・風化	
19	6	A区	4号住	土師器	高坏					33.0	良好	英・里雲・赤粒・黒粒	外:鈍赤褐、内:鈍橙	外:ロクロナデ・ミガキ・接合痕、内:上部ヘラケズリ・下部ロクロナデ	
19	7	A区	4号住	土師器	小型鉢	7.9	10.7	4.4	9.9（胴径）	237.0	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	鈍黄橙	外:ロクロナデ・体中下部タテハケメ・ヘラケズリ、内:ロクロナデ	完形
27	1	A区	6号住	土師器	S字甕		(16.0)			21.0	良好	長・金雲・黒雲・里粒・黒粒	外:鈍黄橙、内:鈍黄褐	外:ロクロナデ・タテハケメ、内:ロクロナデ・オサエ・接合痕	
27	2	A区	6号住	土師器	S字甕		(14.6)			45.0	良好	英・金雲・赤粒・黒粒	外:鈍黄橙、内:黄褐	外:ロクロナデ・タテハケメ、内:ロクロナデ・オサエ	
27	3	A区	6号住	土師器	S字甕		(13.2)			20.0	良好	英・金雲・黒雲・赤粒	鈍黄橙	外:ロクロナデ・タテハケメ、内:ロクロナデ・オサエ	
27	4	A区	6号住	土師器	S字甕		(14.0)			44.0	良好	長・石・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	橙	外:ロクロナデ・タテハケメ、内:ロクロナデ	
27	5	A区	6号住	土師器	S字甕		14.0			17.0	良好	英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	褐灰	外:ロクロナデ・タテハケメ、内:ロクロナデ	
27	6	A区	6号住	土師器	S字甕		(13.0)			16.0	良好	英・金雲・里雲・赤粒・黒粒	鈍橙	外:ロクロナデ・タテハケメ、内:ロクロナデ	
27	7	A区	6号住	土師器	S字甕		(16.0)			17.0	良好	英・金雲・黒雲・黒粒	鈍褐	外:ロクロナデ・タテハケメ、内:ロクロナデ・オサエ	
27	8	A区	6号住	土師器	S字甕		(15.0)			13.0	良好	長・英・赤粒・黒粒	灰黄褐	外:ロクロナデ・タテハケメ、内:ロクロナデ	
27	9	A区	6号住	土師器	S字甕		(10.0)			24.0	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:鈍褐、内:橙	外:ロクロナデ・ミガキ、内:ロクロナデ・ミガキ・風化	
27	10	A区	6号住	土師器	S字甕					29.0	良好	英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:鈍橙、内:鈍黄褐	外:ナデ、内:ロクロナデ・接合痕	
27	11	A区	6号住	土師器	S字甕					30.0	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:明赤褐、内:橙	外:ロクロナデ・タテハケメ、内:ロクロナデ	
27	12	A区	6号住	土師器	S字甕					52.0	良好	長・英・金雲・黒雲・黒粒	明赤褐	外:ナデ・ハケメ・上部ヘラケズリ、内:ナデ・接合痕	
27	13	A区	6号住	土師器	甕		15.6			49.0	良好	長・英・黒雲	鈍黄褐	外:ロクロナデ、内:ロクロナデ・ハケメ	
27	14	A区	6号住	土師器	甕		13.4			65.0	良好	英・黒雲・赤粒	鈍黄橙	外:ロクロナデ・ハケメ、内:ロクロナデ	
27	15	A区	6号住	土師器	甕		(16.4)			75.0	良好	長・英・里雲・黒粒	外:褐、内:鈍褐	外:ロクロナデ・ハケメ、内:ロクロナデ	
27	16	A区	6号住	土師器	甕		(12.0)			103.0	良好	長・英・里雲・赤粒	鈍橙	外:ロクロナデ・ハケメ、内:ロクロナデ・ハケメ	
27	17	A区	6号住	土師器	甕		(18.0)			42.0	良好	長・英・黒雲・赤粒	鈍赤褐	外:ロクロナデ、内:ロクロナデ・口縁部内面ハケメ	
27	18	A区	6号住	土師器	甕		13.4			49.0	良好	英・黒雲・赤粒	鈍黄橙	外:ロクロナデ、内:ロクロナデ	
27	19	A区	6号住	土師器	甕		(12.4)			114.0	良好	長・英・黒雲・黒粒	外:鈍橙、内:鈍赤褐	外:ロクロナデ、内:ロクロナデ	
27	20	A区	6号住	土師器	壷					80.0	良好	長・白粒・黒粒	鈍黄橙	外:ロクロナデ・ハケメ、内:ロクロナデ・ハケメ・オサエ・黒色処理・接合痕	
27	21	A区	6号住	土師器	壷					231.0	良好	長・英・黒雲・赤粒	鈍黄橙	外:ナデ・ハケメ・胴底部指オサエ?、内:ナデ・ハケメ?底:ケズリ	
27	22	A区	6号住	土師器	壷			(5.6)		23.0	良好	英・金雲・赤粒	外:鈍黄橙、内:鈍褐、底:鈍黄橙	外:ミガキ、内:ナデ、底:ナデ	
27	23	A区	6号住	土師器	短頸壷	11.7	10.0			456.0	良好	英・赤粒・黒粒	鈍黄橙、一部灰褐	外:上部ヨコナデ・体部ハケ・ナデ・ケズリ、内:上部ヨコナデ・体部ケズリ	
27	24	A区	6号住	土師器	小型丸底壷	10.2	7.5			220.8	良好	緻密な細砂粒子と若干白色細砂粒子	淡黄茶褐	外:タテミガキ・胴部ヨコミガキ・暗文、内:ナデ	完形
27	25	A区	6号住	土師器	小型丸底壷	9.9	7.4			265.9	良好	若干白色砂粒子	淡黄茶褐	外:上部ヨコナデ・体部下半ヘラケズリ、内:体部下半ヘラケズリ	完形
27	26	A区	6号住	土師器	壷		12.0			453.0	良好	長・英・赤粒・黒粒	明赤褐	外:ロクロナデ・頸部タテハケメ・胴部ヘラケズリ・ミガキ、内:ロクロナデ・体下半部ハケメ	ほぼ完形
27	27	A区	6号住	土師器	壷		(11.6)			32.0	良好	長・英・赤粒・黒粒	外:橙、内:明褐	外:ロクロナデ、内:ロクロナデ・暗文	
27	28	A区	6号住	土師器	壷		(12.0)			134.0	良好	長・英・赤粒・黒粒	外:橙、内:鈍橙	外:ロクロナデ・ヨコハケメ・タテハケメ、内:ロクロナデ・ハケメ・指オサエ	
27	29	A区	6号住	土師器	壷					58.0	良好	長・英・里雲・赤粒・黒粒	鈍褐	外:ロクロナデ・ハケメ・ミガキ、内:ハケメ・ミガキ	
27	30	A区	6号住	土師器	壷					46.0	良好	長・英・黒雲・赤粒	外:鈍黄橙、内:鈍褐	外:ロクロナデ・タテハケメ・ミガキ、内:ハケメ・ミガキ	
27	31	A区	6号住	土師器	小型壷			4.8		86.4	良好	英・黒雲・赤粒・黒粒	鈍橙	外:ナデ、内:ナデ、底:ナデ	
27	32	A区	6号住	土師器	小型丸底壷					25.0	良好	英・黒雲・赤粒	外:鈍橙、内:褐灰・鈍黄褐	外:ナデ、内:ナデ・ハケメ・指オサエ	
28	33	A区	6号住	土師器	高坏	10.0	20.9	15.1		896.0	良好	白色礫・金雲若干混入	明黄橙褐	外:ヨコナデ後ヨコミガキ・脚部ミガキ、底:ヨコナデ	完形
28	34	A区	6号住	土師器	高坏	12.5	16.2	11.6		527.0	良好	英・赤粒・黒粒	赤橙褐	外:タテミガキ・所々暗文状、内:坏部タテミガキ・脚部ナデ後ヘラケズリ・暗文	完形
28	35	A区	6号住	土師器	高坏	(5.7)	19.0			566.0	良好	緻密な赤粒	橙茶褐	外:ヨコナデ・ミガキ・指オサエ、体部下半ナデ後ミガキ、内:指オサエ	
28	36	A区	6号住	土師器	高坏		(11.8)			47.0	良好	英・赤粒・黒粒	外:橙、内:鈍橙	外:ロクロナデ・ヘラケズリ、内:ロクロナデ・ヘラケズリ・ハケメ	
28	37	A区	6号住	土師器	高坏		(20.0)			163.1	良好	英・黒雲・赤粒・黒粒	外:黒褐・灰白、内:灰黄・浅黄・鈍褐	外:ロクロナデ・ミガキ、内:ロクロナデ・ミガキ	
28	38	A区	6号住	土師器	高坏					83.6	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	鈍黄橙	外:ロクロナデ、内:ロクロナデ	
28	39	A区	6号住	土師器	高坏					67.2	良好	英・赤粒・黒粒	外:鈍黄橙、内:鈍橙	外:ロクロナデ・暗文、内:ロクロナデ・暗文	
28	40	A区	6号住	土師器	高坏		(19.0)			58.0	良好	英・赤粒・黒粒	鈍橙	外:ロクロナデ・下部ケズリ、内:ロクロナデ	
28	41	A区	6号住	土師器	高坏		(15.4)			49.8	良好	英・赤粒・黒粒	外:鈍赤褐、内:鈍橙	外:ロクロナデ、内:ロクロナデ	
28	42	A区	6号住	土師器	高坏		(19.4)			103.6	良好	長・英・金雲・赤粒・黒粒	鈍赤褐	外:ロクロナデ・ミガキ、内:ロクロナデ・ミガキ	
28	43	A区	6号住	土師器	高坏		(10.6)			75.5	良好	英・赤粒・黒粒	外:鈍黄橙、内:鈍黄褐	外:ロクロナデ・ミガキ・暗文、内:ロクロナデ・ケズリ・接合痕	
28	44	A区	6号住	土師器	高坏					83.0	良好	英・赤粒・黒粒	橙	外:ナデ・ハケメ・脚部ミガキ、内:ナデ・ハケメ	
28	45	A区	6号住	土師器	高坏?					120.7	良好	英・金雲・里雲・赤粒・黒粒	外:鈍黄橙、内:鈍橙	外:ナデ・ミガキ、内:ナデ・ミガキ・風化	
28	46	A区	6号住	土師器	高坏					59.2	良好	英・赤粒・黒粒	外:橙、内:鈍橙	外:ロクロナデ・ミガキ、内:ロクロナデ・ミガキ	
28	47	A区	6号住	土師器	高坏					49.6	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	橙	外:ロクロナデ・ミガキ・風化	
28	48	A区	6号住	土師器	高坏					23.7	良好	英・赤粒	鈍黄褐	外:ヘラケズリ、内:ミガキ	
28	49	A区	6号住	土師器	高坏			(13.4)	8.8（脚高）	299.0	良好	長・英・里雲・赤粒・黒粒	外:鈍褐、内:鈍赤褐	外:ロクロナデ・ミガキ、内:上部ヘラケズリ・下部タテ方向ナデ・下部接合痕	半分残存
28	50	A区	6号住	土師器	高坏					173.0	良好	長・英・赤粒・黒粒	鈍橙	外:ロクロナデ・ミガキ、内:ロクロナデ・横ヘラケズリ	半分残存
28	51	A区	6号住	土師器	高坏					280.0	良好	長・英・赤粒	鈍赤褐	外:ロクロナデ・ヘラケズリ・指オサエ・ミガキ、内:ロクロナデ・ヘラケズリ	
28	52	A区	6号住	土師器	高坏					131.0	良好	長・英・里雲・赤粒・黒粒	鈍橙	外:ナデ・ハケメ・ミガキ・接合痕、内:ロクロナデ・ヘラケズリ	
28	53	A区	6号住	土師器	高坏					84.0	良好	長・英・赤粒・黒粒	鈍橙	外:ロクロナデ・ミガキ、内:ロクロナデ・ヘラケズリ	
28	54	A区	6号住	土師器	高坏					35.8	良好	英・金雲・里雲・赤粒	鈍橙	外:ナデ・ミガキ、内:ナデ・ヘラケズリ	
28	55	A区	6号住	土師器	高坏					61.0	良好	長・英・赤粒・黒粒	外:鈍橙、内:鈍褐	外:ロクロナデ・ミガキ、内:ヘラケズリ	
28	56	A区	6号住	土師器	高坏					83.0	良好	長・英・里雲・赤粒	鈍橙	外:ナデ・ミガキ・接合痕、内:ナデ・ヘラケズリ	
28	57	A区	6号住	土師器	高坏					111.0	良好	長・英・里雲・赤粒	外:赤橙、内:明赤褐	外:ナデ・ミガキ、内:ナデ・ケズリ	

第５表　土器観察表②

図版	番号	調査区	遺構名	種別	器種	器高cm	口径cm	底径cm	その他cm	重さg	焼成	胎土	色調	調整	特徴
28	58	A区	6号住	土師器	高坏		(13.0)			47.6	良好	英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:鈍褐、内:鈍黄褐	外:ロクロナデ・ミガキ、内:ロクロナデ・ケズリ	
28	59	A区	6号住	土師器	高坏			(12.6)		23.3	良好	英・赤粒・黒粒	外:橙、内:鈍橙	外:ロクロナデ・ミガキ、内:ロクロナデ・ケズリ	
28	60	A区	6号住	土師器	鉢					52.8	良好	長・英・黒雲・赤粒	外:鈍橙、内:橙	外:ロクロナデ・ケズリ・暗文、内:ロクロナデ・ミガキ・体下半部風化・接合痕	
28	61	A区	6号住	土師器	鉢		(10.4)			28.3	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	外:鈍橙、内:橙	外:ロクロナデ・ハケメ、内:ロクロナデ・ハケメ	
28	62	A区	6号住	土師器	鉢		(12.0)			34.4	良好	英・黒雲・赤粒・黒粒	鈍橙	外:ロクロナデ・ヘラケズリ?、内:ロクロナデ・暗文	
29	70	A区	7号住	土師器	S字甕		16.4			257.0	良好	英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:鈍橙、内:鈍橙・黒褐	外:ナデ・ハケメ、内:ナデ	
29	71	A区	7号住	土師器	器台	8.5	9.2	(12.5)		159.2	良好	緻密な赤色細砂粒子	橙茶褐	外:器受部上部ヨコナデ下半ヘラケズリ・暗文、内:上部ヨコナデ・ミガキ・脚部ヘラケズリ・指オサエナデ・暗文	
29	72	A区	7号住	土師器	器台		(9.2)			47.0	良好	英・黒雲・赤粒	外:橙、内:明赤褐	外:ロクロナデ・器受部ヘラケズリ、内:ロクロナデ・ミガキ	
29	73	A区	7号住	土師器	器台	(5.8)		13.0		107.9	良好	緻密な細砂粒子	淡黄茶褐	外:ミガキ・暗文・３穴、内:脚部下半ヨコナデ・指オサエ	
30	1	A区	9号住	土師器	甕		(16.5)			81.0	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:黄灰一部黒褐、内:黄褐一部黄灰	外:口縁部・胴部上部ロクロナデ、ナデ、底:ナデ	7と同一個体
30	2	A区	9号住	土師器	甕		(16.2)			65.0	良好	長・黒雲・赤粒・黒粒	外:黒褐一部黄橙、内:褐灰	外:口縁部ロクロナデ・ロクロナデ、内:胴部ナデ	
30	3	A区	9号住	土師器	甕		(12.8)			26.0	良好	長・黒雲・赤粒・黒粒	外:明黄褐一部黒、内:口縁上部明黄褐、黒褐	外:ロクロナデ・口縁部上部ナナメに列点あり、内:ロクロナデ	
30	4	A区	9号住	土師器	甕		(13.6)			37.0	良好	長・黒雲・赤粒・黒粒	外:右半分黒褐・左半分灰黄、内:黒褐一部灰黄	外:ロクロナデ、内:ロクロナデ	
30	5	A区	9号住	土師器	甕		(15.6)			35.0	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	外:黒褐・明黄褐、内:黒	外:ロクロナデ・口縁部と胴部の境工具痕、内:ロクロナデ	
30	6	A区	9号住	土師器	甕		(16.0)			31.9	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:褐灰・鈍橙、内:橙・一部褐灰	外:ロクロナデ、内:ロクロナデ	
30	7	A区	9号住	土師器	甕					124.0	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	外:褐灰一部明黄褐、内:鈍黄橙一部褐灰	外:ナデ・頸部ロクロナデ、内:ナデ	1と同一個体
30	8	A区	9号住	土師器	甕					364.0	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	褐灰・黒褐・明黄褐	外:上部の一部ロクロナデ・ナデ、内:ロクロナデ・全体的に風化	
31	9	A区	9号住	土師器	甕		8.0		15.0（胴径）	609.0	良好	英・黒雲・赤粒・黒粒	鈍赤褐・黒	外:ヘラケズリ・ミガキ、内:ナデ	ほぼ完形
31	10	A区	9号住	土師器	椀		(14.8)			26.9	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	外:鈍黄橙一部褐灰、内:淺黄橙	外:口縁部ロクロナデ・ヘラケズリ・ミガキ、内:上部ロクロナデ・ヘラケズリ・ミガキ	ほぼ完形
31	11	A区	9号住	土師器	椀	6.6	14.4			34.3	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:鈍黄橙一部橙口縁褐灰、内:鈍黄橙口縁部褐灰	外:口縁部ナデ・ヘラケズリ・ナデ、内:ナデ・口縁部下一条沈線	完形
31	12	A区	9号住	土師器	椀		(13.2)			84.0	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	鈍黄橙	外:口縁部ロクロナデ・ナデ、内:ロクロナデ	
31	13	A区	9号住	土師器	椀		(12.4)			32.0	良好	長・黒雲・赤粒・黒粒	橙一部褐灰	外:口縁部ロクロナデ・ナデ、内:ロクロナデ	
31	14	A区	9号住	土師器	椀		(13.2)			44.0	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	外:橙・口縁一部褐灰、内:橙	外:口縁部ロクロナデ・ナデ、内:ロクロナデ	
31	15	A区	9号住	土師器	鉢	(7.7)	(15.2)			170.0	良好	長・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:橙一部褐灰、内:橙	外:口縁部ロクロナデ・ナデ、内:ロクロナデ・胴部磨耗、底:ナデ	
31	16	A区	9号住	土師器	鉢		(11.8)			47.0	良好	長・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	橙	外:上部ロクロナデ・ナデ・ミガキ、内:ロクロナデ	暗文
31	17	A区	9号住	土師器	鉢		(11.2)			45.0	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	鈍黄橙	外:上半部ロクロナデ・下半部ナデ、内:ロクロナデ	
31	18	A区	9号住	土師器	鉢		(11.8)			12.0	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	橙	外:口縁部ロクロナデ・ナデ、内:ロクロナデ	
31	19	A区	9号住	須恵器	甑		(9.0)			5.3	堅致	白粒	暗青灰	外:ロクロナデ、内:ロクロナデ	
37	1	A区	14号住	土師器	甕		(18.8)			87.6	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	外:鈍褐、内:鈍橙	外:ロクロナデ・ヘラケズリ、内:ロクロナデ・ヨコハケメ	
37	2	A区	14号住	土師器	甕		(17.4)			23.9	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	外:橙、内:明赤褐	外:ロクロナデ、内:ロクロナデ	
37	3	A区	14号住	土師器	壺		(8.6)			29.4	良好	長・英・赤粒・黒粒	鈍黄橙	外:ロクロナデ・ミガキ、内:ロクロナデ	暗文
37	4	A区	14号住	土師器	小型壺			4.2		144.0	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	外:橙、内:明赤褐、底:橙	外:ロクロナデ・ヘラケズリ、内:ロクロナデ、底:ナデ・ケズリ	
37	5	A区	14号住	土師器	小型壺				(8.6)（胴径）	47.3	良好	英・黒雲・赤粒・黒粒	橙	外:ナデ・タテハケメ、内:ナデ・ハケメ・指オサエ	
37	6	A区	14号住	土師器	小型壺			(3.0)		17.2	良好	長・英・赤粒・黒粒	外:鈍褐、内:橙、底:鈍褐	外:ロクロナデ・ナデ、内:ナデ、底:ナデ?	
38	7	A区	14号住	土師器	高坏		(24.0)			50.6	良好	長・英・黒雲・赤粒	外:鈍褐、内:橙	外:ロクロナデ・暗文、内:ロクロナデ・暗文	
38	8	A区	14号住	土師器	高坏		3.4			208.0	良好	英・黒雲・赤粒	外:橙、内:鈍橙	外:ロクロナデ・ミガキ、内:ナデ	暗文
38	9	A区	14号住	土師器	高坏		2.8	7.0（脚高）	12.0（脚径）	210.0	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	鈍褐	外:ロクロナデ・ミガキ、内:ロクロナデ・ヘラケズリ	
38	10	A区	14号住	土師器	高坏		2.2	8.7（脚高）	(12.6)（脚径）	202.0	良好	長・英・金雲・赤粒・黒粒	明赤褐	外:ロクロナデ・ミガキ、内:ロクロナデ・ヘラケズリ	
38	11	A区	14号住	土師器	高坏			8.9（脚高）	(13.6)（脚径）	269.0	良好	英・赤粒・黒粒	外:鈍褐、内:橙	外:ロクロナデ・横ミガキ、内:ロクロナデ・ヘラケズリ・接合痕	
38	12	A区	14号住	土師器	高坏		2.8	9.0（脚高）	(13.8)（脚径）	202.0	良好	長・英・黒雲・赤粒	鈍黄褐	外:ロクロナデ・ミガキ・刻線、内:ロクロナデ・脚上部ヘラケズリ	
38	13	A区	14号住	土師器	高坏					55.0	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	明赤褐	外:ナデ・ケズリ、内:ナデ・暗文	
38	14	A区	14号住	土師器	高坏					64.5	良好	英・黒雲・赤粒・黒粒	赤褐	外:ナデ・暗文・接合痕、内:ヘラオサエ	
38	15	A区	14号住	土師器	高坏		3.5			130.0	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	外:橙、内:鈍褐	外:ロクロナデ・ミガキ、内:ロクロナデ・ヘラケズリ	
38	16	A区	14号住	土師器	高坏		3.2			125.9	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	外:鈍橙、内:鈍黄橙	外:ナデ、内:ナデ・ヘラケズリ	
38	17	A区	14号住	土師器	小型鉢		(15.0)	5.6		225.0	良好	英・黒雲・赤粒・黒粒	鈍黄橙	外:ロクロナデ、内:ロクロナデ、底:ヘラケズリ	分類上鉢にしているが、坏に近い
38	18	A区	14号住	土師器	小型鉢			(5.2)		66.5	良好	長・英・赤粒・黒粒	外:鈍橙、内:褐灰	外:ナデ・ヘラケズリ、内:?、底:ヘラケズリ	
38	1	A区	15号住	土師器	S字甕		(14.4)			85.5	良好	英・金雲・黒雲・赤粒	外:黒褐・鈍赤褐、内:橙	外:ロクロナデ・ハケメ、内:ロクロナデ	
38	2	A区	15号住	土師器	台付小型甕			(7.0)		64.0	良好	英・金雲・赤粒・黒粒	外:鈍褐、内:明赤褐	外:ナデ・ハケメ、内:ナデ・指オサエ・脚部端折り返し	
38	3	A区	15号住	土師器	甕		(9.0)			16.7	良好	英・赤粒・黒粒	鈍黄橙	外:ロクロナデ、内:ロクロナデ	
38	4	A区	15号住	土師器	壺					19.0	良好	英・黒雲・赤粒	外:鈍橙、内:鈍黄橙	外:ロクロナデ・ケズリ、内:ロクロナデ	
38	5	A区	15号住	土師器	器台		(16.2)			40.5	良好	英・黒雲・赤粒	外:鈍橙、内:鈍褐・黒	外:ロクロナデ・孔、内:ロクロナデ	
38	6	A区	15号住	土師器	鉢		(15.0)			24.7	良好	英・黒雲・赤粒	鈍橙	外:ロクロナデ・指オサエ、内:ロクロナデ・ハケメ	
41	1	A区	16号住	土師器	甕		(16.0)			46.9	良好	英・黒雲・赤粒・黒粒	外:明赤褐、内:鈍橙	外:ロクロナデ・ハケメ、内:ロクロナデ	
41	2	A区	16号住	土師器	甕		(15.0)			32.9	良好	長・英・金雲・赤粒・黒粒	外:灰黄褐、内:鈍黄橙	外:ロクロナデ、内:ロクロナデ	
41	3	A区	16号住	土師器	甕					274.2	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	鈍黄褐	外:ロクロナデ・ハケメ、内:ロクロナデ・ハケメ	
41	4	A区	16号住	土師器	甕					79.8	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	外:鈍黄褐、内:鈍褐	外:ナデ・ハケメ、内:ナデ・ハケメ・接合痕	
41	5	A区	16号住	土師器	甕					89.5	良好	長・英・黒雲・赤粒	鈍黄橙	外:ナデ・ハケメ・接合痕、内:ナデ・ハケメ・接合痕	
41	6	A区	16号住	土師器	甕					201.0	良好	英・黒雲・赤粒・黒粒	橙	外:ナデ・ハケメ・一部風化、内:ナデ・ハケメ	
41	7	A区	16号住	土師器	甕					82.6	良好	英・黒雲・赤粒	外:鈍褐、内:鈍黄橙	外:ナデ・ハケメ、内:ナデ・ハケメ	
41	8	A区	16号住	土師器	甕					62.9	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	外:橙、内:鈍黄橙	外:ナデ・ハケメ、内:ナデ・ハケメ	
41	9	A区	16号住	土師器	甕			6.0		490.0	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:鈍赤褐、内:鈍黄褐、底:鈍赤褐	外:ナデ・ヨコハケメ・接合痕、内:ナデ・ヨコハケメ、底:ナデ・ケズリ	
41	10	A区	16号住	土師器	甕			7.0		316.0	良好	長・英・黒雲・赤粒	鈍褐	外:ナデ・ヘラケズリ・接合痕?、内:ナデ・ハケメ・風化、底:ナデ・ケズリ	
41	11	A区	16号住	土師器	高坏			2.7（脚径）		301.0	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	外:鈍赤褐、内:明赤褐	外:ロクロナデ・ハケメ、内:ロクロナデ・ヘラケズリ	ほぼ完形
41	12	A区	16号住	古墳土師	高坏		(19.2)			110.8	良好	英・黒雲・赤粒・黒粒	明赤褐	外:ロクロナデ・ミガキ、内:ロクロナデ・ミガキ	
41	13	A区	16号住	古墳土師	高坏					204.0	良好	英・金雲・赤粒・黒粒	鈍赤褐	外:ロクロナデ・ヘラケズリ、内:ロクロナデ	
41	14	A区	16号住	古墳土師	高坏					39.1	良好	英・赤粒・黒粒	橙	外:ロクロナデ・風化、内:ロクロナデ・暗文	
41	15	A区	16号住	古墳土師	高坏		(18.0)			45.8	良好	長・英・赤粒・黒粒	明赤褐	外:ロクロナデ、内:ロクロナデ	
41	16	A区	16号住	古墳土師	高坏					200.4	良好	長・英・赤粒・黒粒	外:橙、内:鈍赤褐	外:ロクロナデ・ミガキ、内:ロクロナデ・ヘラケズリ	
41	17	A区	16号住	古墳土師	高坏					201.0	良好	長・英・金雲・赤粒・黒粒	外:鈍橙、内:鈍赤褐	外:ロクロナデ・ミガキ、内:ロクロナデ・ヘラケズリ	
41	18	A区	16号住	古墳土師	高坏			(16.0)（脚径）		55.5	良好	英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	橙	外:ロクロナデ、内:ロクロナデ・ヘラケズリ?	
41	19	A区	16号住	土師器	椀		(12.6)			88.7	良好	英・赤粒・黒粒	外:鈍黄褐・鈍赤褐、内:鈍黄橙	外:ロクロナデ・ヘラケズリ、内:ロクロナデ	
41	20	A区	16号住	土師器	鉢		(12.0)			11.2	良好	英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:明赤褐、内:橙	外:ロクロナデ、内:ロクロナデ・ミガキ	
42	1	A区	1号竪穴	土師器	S字甕					3.4	良好	英・金雲・赤粒・黒粒	外:暗灰黄、内:灰黄褐	外:ハケメ、内:ナデ	
42	2	A区	1号竪穴	土師器	器台			(16.8)（脚径）		31.5	良好	英・黒雲・赤粒・黒粒	外:橙、内:鈍橙	外:ナデ、内:ナデ・ケズリ	
42	3	A区	7号土坑	土師器	S字甕					11.4	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:橙一部黒褐、内:鈍褐・褐灰	外:ナナメハケメ、内:ナデ	
42	4	A区	7号土坑	土師器	台付甕			(9.6)		13.9	良好	長・英・金雲・黒雲・黒粒	外:鈍黄橙、内:橙	外:ナデ・下部指オサエ・上部ヘラミガキ、内:ナデ・下部オサエ	
42	5	A区	7号土坑	土師器	台付甕					13.0	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:鈍黄褐一部黄褐、内:褐灰	外:ナデ・ヘラミガキ、内:ナデ	
42	6	A区	8号住	古墳土師	高坏?			(3.4)		101.7	良好	長・石・金雲・黒雲・黒粒	外:橙、内:褐灰、底:橙	外:ロクロナデ・下部ヘラミガキ、内:黒色処理、底:脚部の残存部摩滅	
42	7	A区	10号住	土師器	甕		(15.6)			45.5	良好	長・英・赤粒・黒粒	鈍黄橙	外:ロクロナデ、内:ロクロナデ	
42	8	A区	10号住	土師器	甕		(14.4)			34.7	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	橙	外:ロクロナデ、内:ロクロナデ・ハケメ	
42	9	A区	10号住	土師器	甕		13.4			32.2	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	外:灰黄褐、内褐灰	外:ロクロナデ、内:ロクロナデ・下部ヘラケズリ	
42	10	A区	10号住	土師器	甕				(20.0)（胴径）	149.1	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:鈍黄褐、内:明黄褐	外:ナデ・ミガキ、内:ヨコハケメ	
42	11	A区	10号住	土師器	壺					42.7	良好	英・黒雲・赤粒・黒粒	外:鈍黄褐、内:明黄褐	外:ナデ・ハケメ・ケズリ、内:ナデ・ミガキ	
42	12	A区	10号住	土師器	壺					66.3	良好	長・英・赤粒・黒粒	外:鈍赤褐・黒褐、内:褐灰	外:ナデ・ハケメ・指オサエ、内:ナデ・胴上半部ハケメ	
42	13	A区	10号住	土師器	壺			(5.0)		108.3	良好	英・金雲・赤粒・黒粒	鈍橙	外:ナデ・ハケメ・指オサエ、内:ナデ・ハケメ・指オサエ	
42	14	A区	10号住	土師器	高坏		23.4			134.5	良好	英・金雲・赤粒・黒粒	外:鈍褐、内:橙	外:ロクロナデ・暗文、内:ロクロナデ・暗文	
42	15	A区	10号住	土師器	高坏		(18.0)			34.6	良好	英・赤粒・黒粒	橙	外:ロクロナデ・暗文、内:ロクロナデ・暗文	
42	16	A区	10号住	土師器	高坏					65.1	良好	英・黒雲・赤粒・黒粒	外:鈍赤褐、内:鈍橙	外:ミガキ、内:ナデ・ヘラケズリ	
42	17	A区	10号住	土師器	鉢		(12.4)			34.0	良好	英・黒雲・赤粒・黒粒	鈍橙	外:ロクロナデ、内:ロクロナデ?	
42	18	A区	12号住	土師器	小型壺			(3.8)		54.6	良好	長・黒雲・赤粒・黒粒	橙	外:ナデ・上部ハケメ、内:指ナデ・接合痕	
42	19	A区	12号住	土師器	高坏			(12.0)（脚径）	(13.4)（脚高）	159.6	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:鈍黄橙、内:橙	外:ロクロナデ・ミガキ、内:ヘラケズリ	
42	20	A区	12号住	須恵器	甑		(9.4)			9.3	堅致	長・黒粒	緑灰	外:ロクロナデ、内:ロクロナデ	
42	21	A区	12号住	土師器	高坏					81.9	良好	長・英・赤粒・黒粒	鈍橙	外:ミガキ、内:ロクロナデ	
42	22	A区	12号住	土師器	高坏					172.9	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	橙	外:ミガキ、内:ナデ・ヘラケズリ	
45	1	A区	5号住	甲斐型	坏?					7.7	良好	英・黒雲・赤粒	明赤褐	外:ヘラケズリ・墨書、内:ロクロナデ・ミガキ・暗文	

第５表　土器観察表③

図版	番号	調査区	遺構名	種別	器種	器高cm	口径cm	底径cm	その他cm	重さg	焼成	胎土	色調	調整	特徴
45	2	Ａ区	5号住	甲斐型	坏		(12.0)			103.4	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	外:鈍黄橙・黒、内:黒	外:ロクロナデ・墨書、内:ロクロナデ・黒色処理、底:回転糸切り	ほぼ完形
45	3	Ａ区	5号住	黒色土器	坏			(5.2)		46.2	良好	長・英・黒雲・黒粒	外:橙、内:黒、底:橙	外:ロクロナデ・下部に工具痕、内:ヘラケズリ、底:回転糸切り	
45	4	Ａ区	5号住	黒色土器	坏			(9.8)		36.4	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	外:橙、内:暗オリーブ灰、底:橙一部青黒	外:ロクロナデ・ヘラケズリ、内:ヘラミガキ、底:ヘラケズリ	
45	5	Ａ区	5号住	甲斐型	甕		(19.4)			39.7	良好	長・英・金雲・黒雲・黒粒	外:褐、内:鈍褐一部褐灰	外:タテハケメ・口縁部ロクロナデ、内:ヨコハケメ	
45	6	Ａ区	5号住	甲斐型	甕		(29.2)			67.9	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	明赤褐	外:口縁部ロクロナデ・胴部タテハケメ、内:ヨコハケメ	
45	7	Ａ区	5号住	甲斐型	甕		(17.0)			21.3	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:褐、内:黒褐口縁部一部明褐	外:タテハケメ・口縁部ロクロナデ・磨耗部分有、内:ヨコハケメ・口縁部磨耗有	
45	8	Ａ区	5号住	甲斐型	甕		(19.4)			26.5	良好	長・英・金雲・赤粒・黒粒	外:鈍赤褐胴部一部黒褐、内:明赤褐口縁部鈍橙・黒褐	外:タテハケメ・口縁部ロクロナデ口縁部磨耗、内:ヨコハケメ	
45	9	Ａ区	5号住	甲斐型	甕		(21.4)			20.0	良好	長・英・金雲・黒雲・黒粒	外:橙、内:橙口縁部一部暗緑灰	外:タテハケメ・口縁部ロクロナデ、内:ヨコハケメ	
45	10	Ａ区	5号住	甲斐型	甕		(16.4)			22.7	良好	長・英・金雲・黒雲・黒粒	外:黒褐・口縁部明赤褐、内:灰褐	外:タテハケメ・口縁部上部ロクロナデ、内:ヨコハケメ	
45	11	Ａ区	5号住	甲斐型	甕		21.6			25.6	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	鈍橙	外:胴部タテハケメ・口縁部ロクロナデ、内:ヨコハケメ	
45	12	Ａ区	5号住	甲斐型	甕		(19.0)			20.9	良好	長・英・金雲・黒雲・黒粒	外:鈍赤褐胴部一部黒褐、内:鈍橙・口縁部一部褐灰	外:タテハケメ口縁部ロクロナデ、内:ヨコハケメ	
45	13	Ａ区	5号住	甲斐型	甕					27.0	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:明赤褐、内:褐	外:タテハケメ、内:ヨコハケメ	
45	14	Ａ区	5号住	甲斐型	甕					26.1	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:褐、内:明褐	外:タテハケメ、内:ヨコハケメ	
45	15	Ａ区	5号住	甲斐型	甕					11.8	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:鈍赤褐、内:暗褐	外:タテハケメ、内:ヨコハケメ	
45	16	Ａ区	5号住	甲斐型	甕					11.9	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:鈍赤褐一部黒褐、内:明褐	外:タテハケメ、内:ナナメハケメ	
45	17	Ａ区	5号住	甲斐型	甕					15.3	良好	長・英・金雲・黒雲・黒粒	褐	外:タテハケメ、内:ヨコハケメ	
45	18	Ａ区	5号住	甲斐型	甕					14.2	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:明赤褐、内:褐	外:タテハケメ、内:ヨコハケメ	
45	19	Ａ区	5号住	甲斐型	甕					9.5	良好	長・英・金雲	褐	外:タテハケメ、内:ヨコハケメ	
45	20	Ａ区	5号住	甲斐型	甕					21.5	良好	長・英・金雲・黒雲・黒粒	外:明赤褐、内:赤褐	外:タテハケメ、内:ヨコハケメ	
45	21	Ａ区	5号住	甲斐型	甕			(8.0)		36.5	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:鈍赤褐一部褐灰、内:明赤褐、底:褐灰	外:タテハケメ、内:ヨコハケメ、底:木葉痕	
45	22	Ａ区	5号住	甲斐型	甕			(8.0)		40.6	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:赤褐、内:灰褐、底:鈍橙	外:タテハケメ、内:ヨコハケメ、底:木葉痕	
45	23	Ａ区	5号住	甲斐型	甕			(9.0)		20.8	良好	英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:褐灰、内:赤褐、底:褐灰	外:ナデ・ハケメ、内:ナデ・ヨコハケメ	
45	24	Ａ区	5号住	甲斐型	甕			(8.0)		22.9	良好	英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:鈍赤褐、内:赤褐、底:灰褐	外:ナデ・ハケメ、内:ナデ・ハケメ、底:木葉痕	
45	25	Ａ区	5号住ピット2	土師器	甕			(8.0)		21.5	良好	長・白粒・赤粒・黒粒	外:褐灰、内:橙、底:黒褐・一部鈍褐	外:ヨコハケメ、内:回転ヘラケズリ、底:糸切り・ヘラケズリ	
45	26	Ａ区	5号住	土師器	壺		(16.0)			10.0	良好	英・赤粒・黒粒	明赤褐	外:ロクロナデ、内:ロクロナデ・ミガキ	
48	1	Ａ区	8号住	土師器	甕	15.85		(10.0)		308.0	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	外:橙一部褐灰、内:明赤褐一部黒褐、底:鈍橙	外:ロクロナデ、内:ロクロナデ・ミガキ	
48	2	Ａ区	8号住	土師器	短頸壺	(21.6)	(10.0)	(11.4)		814.0	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:橙一部黒・褐灰、内:橙一部褐灰、底:鈍黄橙一部黒	外:ロクロナデ・ヘラミガキ・暗文、内:ロクロナデ?・風化、底:ナデ・ミガキ?	
48	3	Ａ区	8号住	甲斐型	坏					0.9	良好	長・黒雲・赤粒・黒粒	外:明褐、内:明赤褐	外:ロクロナデ・ヘラケズリ・墨書、内:ロクロナデ	
48	4	Ａ区	8号住	甲斐型?	坏ｏｒ皿					0.6	良好	長・黒雲・赤粒・黒粒	内:明赤褐、底:明赤褐	内:ロクロナデ、底:回転糸切り・墨書	
48	5	Ａ区	8号住	甲斐型	坏		(14.4)			35.1	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒		外:上部ロクロナデ・下部ヘラケズリ、内:ロクロナデ・黒色処理	
48	6	Ａ区	8号住	黒色土器	坏			(6.0)		35.7	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	外:黒褐一部明黄褐、内:黒、底:明黄褐一部黒	外:ロクロナデ・下部に工具痕、内:ロクロナデ・ヘラミガキ・表面こそぎ取れ・黒色処理、底:回転糸切り後ヘラナデ	
48	7	Ａ区	8号住	黒色土器	坏					3.8	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	外:橙、内:黒	外:ロクロナデ・墨書、内:ヘラミガキ・黒色処理	
48	8	Ａ区	8号住	甲斐型	皿		(13.0)	(4.0)		46.8	良好	黒雲・赤粒・黒粒	外:鈍橙・一部黒褐と橙、内:橙・一部黒褐、底:橙・一部黒褐	外:上部ロクロナデ・下部ヘラケズリ、内:ロクロナデ、底:ヘラケズリ	
48	9	Ａ区	8号住	黒色土器	皿	(2.8)	(12.6)	(5.0)		27.0	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:鈍橙・一部褐灰、内:黒・底:鈍橙	外:ロクロナデ・胴部の下部ヘラミガキ、内:ロクロナデ・ヘラミガキ・黒色処理	
48	10	Ａ区	8号住	黒色土器	皿		(12.8)			31.9	良好	長・英・金雲・黒雲・黒粒	外:鈍黄橙一部褐灰、内:黒	外:ロクロナデ、内:ロクロナデ・ヘラミガキ・黒色処理	
48	11	Ａ区	8号住	黒色土器	台付皿	(2.6)	(13.0)			35.2	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	外:橙、内:黒・一部明赤褐、底:橙	外:ロクロナデ、内:ロクロナデ・ヘラミガキ・黒色処理、底:ロクロナデ	
49	12	Ａ区	8号住カマド	甲斐型	甕		(30.0)			517.0	良好	長・英・金雲・黒雲・黒粒	外:半分橙・半分褐灰、内:半分褐・半分黒褐	外:口縁部ロクロナデ・胴部タテハケメ、内:ヨコハケメ	
49	13	Ａ区	8号住	甲斐型	甕					65.1	良好	長・英・金雲・黒雲・黒粒	外:褐、内:黒褐・一部鈍褐	外:タテハケメ、内:ヨコハケメ	
49	14	Ａ区	8号住	甲斐型	甕					71.4	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:鈍赤褐・一部黒褐、内:黒褐	外:タテハケメ・下部ヨコハケメ、内:ヨコハケメ	
49	15	Ａ区	8号住カマド	甲斐型	甕		(39.8)			116.3	良好	長・英・金雲・黒雲・黒粒	鈍黄褐・一部褐灰	外:口縁部ヨコハケメ上部ロクロナデ一部工具痕・胴部タテハケメ、内:ヨコハケメ	
49	16	Ａ区	8号住カマド	甲斐型	甕					13.8	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:暗褐・一部明褐、内:黒褐	外:タテハケメ、内:ヨコハケメ	
49	17	Ａ区	8号住カマド	甲斐型	甕					60.8	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:褐灰・一部鈍黄褐、内:褐灰	外:タテハケメ、内:ヨコハケメ	
49	18	Ａ区	8号住	甲斐型	甕					34.5	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:黒褐、内:褐	外:ナナメハケメ、内:ヨコハケメ	
49	19	Ａ区	8号住カマド	甲斐型	甕					94.4	良好	長・英・金雲・黒雲・黒粒	外:橙・一部褐灰、内:黒、底:橙	外:下部に工具痕・タテハケメ、内:ロクロナデ・ヘラケズリ・黒色処理、底:木葉痕	
49	20	Ａ区	8号住	甲斐型	甕			(9.6)		202.0	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:鈍黄褐、内:黒褐一部黒、底:褐一部黒褐	外:タテハケメ・下部に工具痕、内:ヨコナデ・一部ヨコハケメ、底:木葉痕	
49	21	Ａ区	8号住	甲斐型	甕			(8.8)		172.7	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:黒褐一部褐、内:褐、底:褐一部黒褐	外:タテハケメ・下部に工具痕、内:ロクロナデ・ヨコナデ、底:木葉痕	
49	22	Ａ区	8号住	土師器	甕					25.6	良好	長・英・黒雲・黒粒	橙	外:ロクロナデ、内:口縁部ヨコハケメ・胴部ヨコハケメ・ヨコナデ	
49	23	Ａ区	8号住カマド	土師器	甕					29.9	良好	長・金・黒雲・赤粒・黒粒	外:鈍黄褐半分は黒褐、内:黒褐	外:カキメ、内:ロクロナデ	
49	24	Ａ区	8号住カマド	土師器	甕			(10.0)		104.0	良好	長・英・金雲・黒雲・黒粒	外:鈍黄褐一部褐灰、内:底:鈍黄褐	外:回転ヘラケズリ、内:ロクロナデ・ヨコナデ、底:回転ヘラケズリ	
49	25	Ａ区	8号住	土師器	甕					129.0	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	橙・一部褐灰	外:タテハケメ・一部ヨコハケメ、内:ヨコナデ・タテナデ	
49	26	Ａ区	8号住	土師器	甕					49.4	良好	長・英・黒雲・黒粒	外:鈍褐、内:明赤褐	外:タテハケメ、内:タテナデ・ヨコナデ	
49	27	Ａ区	8号住	土師器	甕					59.3	良好	長・英・黒雲・黒粒	外:橙、内:明褐	外:タテハケメ、内:タテナデ・ヨコナデ	
49	28	Ａ区	8号住	土師器	甕					63.8	良好	長・英・金雲・黒雲・黒粒	外:鈍褐一部褐灰、内:明褐一部褐灰	外:タテハケメ、内:タテナデ・ヨコナデ	
49	29	Ａ区	8号住	土師器	甕					28.8	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	外:鈍褐、内:鈍橙	外:タテハケメ、内:タテナデ	
49	30	Ａ区	8号住	土師器	甕					79.3	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	外:鈍黄褐一部黒褐、内:黄褐	外:タテハケメ、内:ヨコナデ	
49	31	Ａ区	8号住	土師器	甕					64.6	良好	長・英・黒雲・黒粒	外:鈍橙一部暗灰、内:鈍褐	外:タテハケメ一部ヨコハケメ、内:ヨコナデ	
49	32	Ａ区	8号住カマド	土師器	羽釜		(27.6)			395.0	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:褐一部黒褐、内:褐口縁部上部黒褐	外:口縁部ロクロナデ鍔部ヨコハケメ鍔部一部ヘラミガキ、内:胴部ヨコハケメ	
52	1	Ａ区	10号住カマド	甲斐型	坏	4.6	11.8	5.3		94.0	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	外:鈍橙、内:灰、底:橙	外:ロクロナデ体下半部ヘラケズリ・墨書、内:ロクロナデ・黒色処理、底:回転糸切り後ヘラケズリ・墨書	ほぼ完形
52	2	Ａ区	10号住カマド	甲斐型	坏	4.5	12.6	4.9		86.9	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	外:内:明赤褐、底:鈍赤褐	外:ロクロナデ・体下半部ヘラケズリ・墨書、内:ロクロナデ、底:回転糸切り後ヘラケズリ・墨書	ほぼ完形
52	3	Ａ区	10号住カマド	甲斐型	坏	4.6	11.2	4.5		79.5	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	外:橙、内:鈍褐、底:橙	外:ロクロナデ・ヘラケズリ・墨書、内:ロクロナデ、底:回転糸切り後ヘラケズリ・墨書	ほぼ完形
52	4	Ａ区	10号住カマド	甲斐型	坏	3.7	(12.2)	(5.5)		19.3	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	外:内:鈍橙、底:鈍黄橙	外:ロクロナデ・体下半部ヘラケズリ・墨書、内:ロクロナデ、底:ヘラケズリ	
52	5	Ａ区	10号住カマド	甲斐型	坏	4.5	(11.6)	4.3		37.4	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	外:内:明赤褐、底:橙	外:ロクロナデ・体下半部ヘラケズリ、内:ロクロナデ、底:回転糸切り後ヘラケズリ・墨書	
52	6	Ａ区	10号住	甲斐型	坏	4.4	(12.8)	(6.0)		26.8	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	橙	外:ロクロナデ体下半部ヘラケズリ、内:ロクロナデ、底:回転糸切り後ヘラケズリ・墨書	
52	7	Ａ区	10号住カマド	甲斐型	坏	4.1	(11.6)	(4.4)		35.8	良好	長・英・赤粒・黒粒	外:内:明赤褐、底:鈍黄褐	外:ロクロナデ体下半部ヘラケズリ、内:ロクロナデ、底:回転糸切り後ロクロナデ、墨書	
52	8	Ａ区	10号住	甲斐型	坏		(13.0)			22.3	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	鈍黄褐	外:ロクロナデ下半部ヘラケズリ・玉縁、内:ロクロナデ、	
52	9	Ａ区	10号住	甲斐型	坏		(12.0)			16.7	良好	長・英・赤粒・黒粒	鈍赤褐	外:ロクロナデ下半部ヘラケズリ、内:ロクロナデ	
52	10	Ａ区	10号住カマド	甲斐型	坏		(13.2)			24.0	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	外:鈍橙、内:明褐	外:ロクロナデ体下半部ヘラケズリ・玉縁、内:ロクロナデ	
52	11	Ａ区	10号住	甲斐型	坏					1.7	良好	長・英・赤粒・黒粒	明赤褐	外:ロクロナデ・墨書、内:ロクロナデ	
52	12	Ａ区	10号住	甲斐型	坏					3.2	良好	長・英・赤粒・黒粒	外:明赤褐、内:明褐	外:ロクロナデ・ヘラケズリ・墨書、内:ロクロナデ	
52	13	Ａ区	10号住	甲斐型	坏					7.5	良好	長・英・黒粒・赤粒・黒粒	明赤褐	外:ロクロナデ・ヘラケズリ・墨書、内:ロクロナデ	
52	14	Ａ区	10号住	甲斐型	坏ｏｒ皿					1.2	良好	長・黒雲・赤粒・黒粒	外:橙、内:明赤褐	外:ロクロナデ・墨書、内:ロクロナデ	
52	15	Ａ区	10号住	甲斐型	坏					3.7	良好	長・英・赤粒・黒粒	外:鈍赤褐、内:鈍橙	外:ロクロナデ・ヘラケズリ・墨書、内:ロクロナデ	
52	16	Ａ区	10号住	甲斐型	坏					4.5	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	外:橙、内:明赤褐	外:ロクロナデ・ヘラケズリ・墨書、内:ロクロナデ	
52	17	Ａ区	10号住	甲斐型	坏					4.8	良好	長・英・赤粒・黒粒	外:橙、内:明赤褐	外:ロクロナデ・ヘラケズリ・墨書、内:ロクロナデ、底:黒色処理?	
52	18	Ａ区	10号住	甲斐型	坏					4.6	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	外:橙、内:明赤褐、底:明赤褐	外:ヘラケズリ・墨書、内:ロクロナデ、底:ヘラケズリ	
52	19	Ａ区	10号住	甲斐型	坏			(3.9)		12.9	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	鈍赤褐	外:ロクロナデ・ヘラケズリ・墨書、内:ロクロナデ・暗文、底:回転糸切り	
52	20	Ａ区	10号住	甲斐型	坏ｏｒ皿					2.4	良好	長・英・赤粒・黒粒	明赤褐	外:ヘラケズリ、内:ロクロナデ、底:回転糸切り後ヘラケズリ・墨書	
52	21	Ａ区	10号住カマド	甲斐型	坏ｏｒ皿					2.4	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	内:鈍橙、底:鈍褐	内:ロクロナデ、底:ヘラケズリ・墨書	
52	22	Ａ区	10号住	甲斐型	坏	5.0	14.0	4.6		119.7	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	外:鈍橙、内:黒褐、底:鈍橙	外:ロクロナデ体下部ヘラケズリ・墨書、内:ロクロナデ・黒色処理、底:回転糸切り後ヘラケズリ	ほぼ完形
52	23	Ａ区	10号住	甲斐型	坏		(14.0)			20.8	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	外:鈍赤褐、内:黒	外:ロクロナデ体下半部ヘラケズリ・玉縁、内:ロクロナデ・黒色処理	
52	24	Ａ区	10号住	甲斐型	坏					2.6	良好	長・英・赤粒・黒粒	外:橙、内:黒	外:ロクロナデ・墨書、内:ロクロナデ・黒色処理・暗文	
52	25	Ａ区	10号住カマド	黒色土器	坏	3.9	13.0	5.3		143.9	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	外:黒・鈍黄褐、内:黒、底:黒・鈍黄褐	外:ロクロナデ、内:ロクロナデ・ミガキ・黒色処理、底:回転糸切り	ほぼ完形
52	26	Ａ区	10号住	黒色土器	坏			(8.0)		56.8	良好	長・英・赤粒・黒粒	外:鈍黄褐、内:黒、底:灰黄褐	外:ロクロナデ・一部風化、内:ロクロナデ・黒色処理、底:風化	
52	27	Ａ区	10号住	黒色土器	台付坏			(6.0)	0.9（高台）	19.7	良好	長・英・黒雲・赤粒	外:鈍黄橙、内:黒、底:鈍黄橙	外:ロクロナデ、内:ロクロナデ・黒色処理?、底:回転ヘラケズリ	
52	28	Ａ区	10号住	甲斐型	皿	2.6		4.0		46.8	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	橙	外:ロクロナデ・ヘラケズリ・墨書、内:ロクロナデ、底:ヘラケズリ	半分残存
52	29	Ａ区	10号住カマド	甲斐型	皿	2.7	12.0	5.0		65.4	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:橙、内:鈍橙、底:橙	外:ロクロナデ・ヘラケズリ・墨書、内:ロクロナデ・黒色処理?、底:ヘラケズリ	半分残存
52	30	Ａ区	10号住カマド	甲斐型	皿	3.0	12.6	4.7		86.7	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	外:鈍橙、内:橙、底:鈍赤褐	外:ロクロナデ・ヘラケズリ・墨書、内:ロクロナデ、底:ヘラケズリ	完形
52	31	Ａ区	10号住カマド	甲斐型	皿	2.9	12.6	4.0		71.2	良好	長・英・金雲・赤粒・黒粒	外:明赤褐、内:橙、底:明赤褐	外:ロクロナデ・ヘラケズリ、内:ロクロナデ・黒色処理?、底:ヘラケズリ	ほぼ完形
53	32	Ａ区	10号住	甲斐型	皿	3.0	12.5	4.3		96.9	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	外:内:橙、底:明赤褐	外:ロクロナデ・体下半部ヘラケズリ・墨書、内:ロクロナデ・スス付着、底:ヘラケズリ	ほぼ完形
53	33	Ａ区	10号住カマド	甲斐型	皿	2.9	13.0	4.5		80.1	良好	長・金雲・赤粒・黒粒	外:橙、内:鈍赤褐、底:鈍褐	外:ロクロナデ・体下部ヘラケズリ、内:ロクロナデ、底:ヘラケズリ	ほぼ完形
53	34	Ａ区	10号住	甲斐型	皿					7.8	良好	英・黒雲・赤粒・黒粒	外:鈍褐、内:明赤褐	外:ロクロナデ・回転ヘラケズリ・墨書、内:ロクロナデ	
53	35	Ａ区	10号住	甲斐型	皿					4.6	良好	長・英・赤粒・黒粒	明赤褐	外:ロクロナデ・下部回転ヘラケズリ・墨書、内:ロクロナデ、底:ヘラケズリ	
53	36	Ａ区	10号住	甲斐型	皿					5.7	良好	長・英・赤粒・黒粒	明赤褐	外:ヘラケズリ、内:ロクロナデ、底:ヘラケズリ・墨書	
53	37	Ａ区	10号住カマド	甲斐型	皿			3.8		49.3	良好	長・英・金雲・赤粒・黒粒	外:内:橙・黒、底:橙	外:ロクロナデ・ヘラケズリ・墨書、内:ロクロナデ・黒色処理?、底:ヘラケズリ	半分残存
53	38	Ａ区	10号住	甲斐型	皿					6.6	良好	長・金雲・赤粒・黒粒	明赤褐	外:ロクロナデ・下部回転ヘラケズリ・墨書、内:ロクロナデ、底:回転糸切り後ヘラケズリ	

第５表　土器観察表④

図版	番号	調査区	遺構名	種別	器種	器高cm	口径cm	底径cm	その他cm	重さg	焼成	胎土	色調	調整	特徴
53	39	A区	10号住カマド	甲斐型	皿?					4.0	良好	長・英・赤粒・黒粒	内:明褐、底:明赤褐	内:ロクロナデ、底:回転糸切り後ヘラケズリ・墨書	
53	40	A区	10号住カマド	甲斐型	皿?					10.1	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	鈍黄褐	内:ロクロナデ、底:ヘラケズリ、墨書	
53	41	A区	10号住カマド	甲斐型	甕		28.0			77.0	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:黒褐、内:鈍赤褐	外:体部タテハケメ、内:口縁部ヨコハケメ	
53	42	A区	10号住カマド	甲斐型	甕		(37.4)			124.3	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒	外:鈍赤褐、内黒褐	外:体部タテハケメ・口縁部ヨコハケメ、内:ロクロナデ	
53	43	A区	10号住カマド	甲斐型	甕		(29.8)			188.9	良好	英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	灰褐	外:体部タテハケメ・口縁部ロクロナデ、内:ヨコハケメ	
53	44	A区	10号住カマド	甲斐型	甕		(29.6)			87.3	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:鈍赤褐、内:黒褐	外:体部タテハケメ、内:口縁部ヨコハケメ	
53	45	A区	10号住カマド	甲斐型	甕		(38.0)			62.6	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒	外:明赤褐、内:明赤褐・灰褐	外:体部タテハケメ・口縁部ヨコハケメ、内:ヨコハケメ	
53	46	A区	10号住	甲斐型	甕					60.0	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:赤褐、内:黒	外:タテハケメ、内:体部ロクロナデ・口縁部ヨコハケメ・黒色処理	
53	47	A区	10号住	甲斐型	甕					68.6	良好	英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:明赤褐・鈍黄橙、内:黒褐・黄褐	外:タテハケメ、内:ヨコハケメ・風化	
53	48	A区	10号住カマド	甲斐型	甕					36.0	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:明赤褐、内:鈍赤褐	外:タテハケメ、内:ヨコハケメ	
54	49	A区	10号住カマド	甲斐型	甕					31.4	良好	英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:鈍黄褐、内:黒褐	外:タテハケメ、内:ヨコハケメ	
54	50	A区	10号住カマド	甲斐型	甕					89.9	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	鈍赤褐	外:タテハケメ、内:ヨコハケメ・外周部ナデ	
54	51	A区	10号住カマド	甲斐型	甕					65.4	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	鈍赤褐	外:タテハケメ、内:ヨコハケメ	
54	52	A区	10号住	甲斐型	甕					49.7	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	鈍赤褐	外:タテハケメ、内:ヨコハケメ	
54	53	A区	10号住カマド	甲斐型	甕		(18.4)	(11.3)		43.2	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:赤褐、内:鈍褐、底:赤褐・灰褐	外:体上部タテハケメ、内:ナデ・ヨコハケメ、底:風化	
54	54	A区	10号住カマド	甲斐型	甕			(8.0)		38.5	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:褐灰、内:黒、底:鈍褐	外:ナデ、内:ナデ・ヨコハケメ、底:木葉痕	
54	55	A区	10号住	甲斐型	小型甕	7.7	(10.0)	5.4		141.0	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:灰褐、内:黒褐、底:鈍赤褐	外:ナデ・底部付近指オサエ、内:ナデ、底:木葉痕	ほぼ完形
54	56	A区	10号住	甲斐型	甕			5.4		40.3	良好	長・英・黒雲	外:暗褐、内:明赤褐、底:暗褐	外:タテハケメ、内:ヨコハケメ、底:指オサエ・木葉痕	
54	57	A区	10号住カマド	甲斐型	甕			(7.0)		34.6	良好	長・英・黒雲・金雲・赤粒	外:赤褐、内:褐、底:暗赤褐	外:ナデ、内:ナデ、底:木葉痕	
54	58	A区	10号住	土師器	甕		(13.0)			43.5	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	鈍橙	外:ロクロナデ、内:ロクロナデ	
54	59	A区	10号住	土師器	蓋	5.0	10.8	4.5		92.7	良好	長・英・黒雲・金雲・赤粒・黒粒	外:鈍褐、内:褐、上面部:鈍橙	外:ナデ一部ヘラケズリ、内:ヘラケズリ、底:上部ヘラケズリ・木葉痕	ほぼ完形
54	60	A区	10号住	灰釉陶器	碗	50.1	(17.0)	(8.0)	1.0（高台）	155.2	堅緻	長・英・黒粒	外:内:灰オリーブ、底:鈍黄褐	外:ロクロナデ・釉薬がけ、内:ロクロナデ・釉薬がけ(みこみ部無し)、底:ロクロナデ	半分残存
54	61	A区	10号住カマド	灰釉陶器	碗	3.8	(11.5)	5.8	1.0（高台）	42.0	良好	黒粒	外:内:オリーブ黄、底:鈍黄	外:ロクロナデ・釉薬がけ、内:ロクロナデ・釉薬がけ(みこみ部無し)、底:ロクロナデ	
54	62	A区	10号住	陶器	甕					31.3	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	外:暗灰黄、内:灰	外:タタキ・釉薬がけ、内:ナデ	
54	63	A区	10号住	陶器	甕					25.2	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	外:黒褐、内:灰	外:タタキ・釉薬がけ、内:ナデ	
54	64	A区	10号住	陶器	甕					15.8	良好	英・黒雲・赤粒	外:黒褐、内:黄褐	外:タタキ・釉薬がけ、内:ナデ	
54	65	A区	10号住	陶器	甕					14.6	良好	長・英・黒雲・赤粒	外:暗灰黄、内:黄灰	外:タタキ・釉薬がけ、内:ナデ	
60	1	A区	12号住	甲斐型	坏	6.2	17.6	6.0		207.0	良好	長・英・赤粒・黒粒	明赤褐	外:ロクロナデ・ヘラケズリ・墨書、内:ロクロナデ・ヘラミガキ・暗文(みこみ部無し)、底:ヘラケズリ	
60	2	A区	12号住	甲斐型	坏	4.3	12.0	4.4		86.2	良好	長・英・赤粒・黒粒	橙	外:ロクロナデ・ヘラケズリ・墨書・玉縁、内:ロクロナデ、底:ヘラケズリ	
60	3	A区	12号住	甲斐型	坏	3.9	(12.4)	(4.6)		27.9	良好	長・英・赤粒・黒粒	外:明赤褐、内:橙、底:明赤褐	外:ロクロナデ・ヘラケズリ・墨書・玉縁、内:ロクロナデ、底:ヘラケズリ	完形
60	4	A区	12号住	甲斐型	坏	4.1	(12.6)	(4.8)		26.5	良好	長・英・赤粒・黒粒	橙	外:ロクロナデ・ヘラケズリ・墨書・玉縁、内:ロクロナデ、底:ヘラケズリ	
60	5	A区	12号住	甲斐型	坏	3.7	(12.6)	(4.4)		17.4	良好	長・英・赤粒・黒粒	外:明赤褐、内:橙、底:明赤褐	外:ロクロナデ・ヘラケズリ・墨書・玉縁、内:ロクロナデ、底:ヘラケズリ	
60	6	A区	12号住	甲斐型	坏	4.4	(11.0)	4.0		47.5	良好	長・英・金雲・赤粒・黒粒	外:橙、内:鈍橙、底:明赤褐	外:ロクロナデ・ヘラケズリ・玉縁、内:ロクロナデ、底:ヘラケズリ	
60	7	A区	12号住	甲斐型	坏	4.1	12.0	4.5		32.7	良好	長・英・赤粒・黒粒	橙	外:ロクロナデ・体下半部ヘラケズリ、内:ロクロナデ、底:回転ヘラケズリ	
60	8	A区	12号住	甲斐型	坏	3.7	(12.0)	(4.6)		28.6	良好	長・英・赤粒・黒粒	橙	外:ロクロナデ・ヘラケズリ・玉縁、内:ロクロナデ、底:ヘラケズリ	
60	9	A区	12号住	甲斐型	坏	4.2	11.7	4.2		57.8	良好	長・英・赤粒・黒粒	橙	外:ロクロナデ・ヘラケズリ、内:ロクロナデ、底:ヘラケズリ	
60	10	A区	12号住	甲斐型	坏		(11.8)			8.2	良好	長・英・赤粒・黒粒	橙	外:ロクロナデ・ヘラケズリ、内:ロクロナデ	
60	11	A区	12号住	甲斐型	坏					2.7	良好	長・英・金雲・赤粒・黒粒	外:橙、内:明赤褐	外:ロクロナデ・墨書、内:ロクロナデ	
60	12	A区	12号住	甲斐型	坏		(11.2)			3.4	良好	長・黒雲・赤粒・黒粒	明赤褐	外:回転ヘラケズリ・ロクロナデ・墨書、内:ロクロナデ	
60	13	A区	12号住	甲斐型	坏		(9.0)			1.3	良好	赤粒・黒粒	橙	外:ロクロナデ・ヘラケズリ・墨書、内:ロクロナデ	
60	14	A区	12号住	甲斐型	坏		(9.8)			2.1	良好	長・金雲・赤粒・黒粒	外:明赤褐、内:橙	外:ロクロナデ・墨書、内:ロクロナデ	
60	15	A区	12号住	甲斐型	坏		(7.8)			1.2	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	明赤褐	外:ロクロナデ・ヘラケズリ・墨書、内:ロクロナデ・口縁部ナデ	
60	16	A区	12号住	甲斐型	坏?					0.8	良好	英・赤粒・黒粒	橙	外:ロクロナデ墨書?、内:ロクロナデ	
60	17	A区	12号住	甲斐型	坏					1.6	良好	長・英・金雲・赤粒・黒粒	外:明赤褐、内:橙	外:ヘラケズリ・刻書、内:ロクロナデ	
60	18	A区	12号住	甲斐型	坏					4.8	良好	長・赤粒・黒粒	橙	外:ヘラケズリ・墨書、内:ロクロナデ	
60	19	A区	12号住	甲斐型	坏					1.1	良好	長・赤粒・黒粒	外:橙、内:明赤褐	外:ロクロナデ・墨書、内:ロクロナデ	
60	20	A区	12号住	甲斐型	坏?					1.1	良好	長・赤粒・黒粒	明褐	外:ヘラケズリ・墨書?、内:ロクロナデ	
60	21	A区	12号住	甲斐型	坏					11.7	良好	長・英・金雲・赤粒・黒粒	外:橙、内:明赤褐	外:ロクロナデ・ヘラケズリ・墨書、内:ロクロナデ	
60	22	A区	12号住	甲斐型	坏					6.9	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	外:明黄褐一部黒、内:橙、底:(黒)	外:ロクロナデ・ヘラケズリ・墨書、内:ロクロナデ	
60	23	A区	12号住	甲斐型	坏			(4.1)		13.1	良好	長・英・赤粒・黒粒	外:橙、内・底:明赤褐	外:ロクロナデ・ヘラケズリ、内:ロクロナデ、底:ヘラケズリ	
60	24	A区	12号住	甲斐型	坏			4.4		7.3	良好	長・英・赤粒・黒粒	明赤褐	外:ロクロナデ・ヘラケズリ、内:ロクロナデ・ヘラミガキ・暗文、底:ヘラケズリ	
60	25	A区	12号住	甲斐型	坏		(12.8)			18.4	良好	長・英・金雲・赤粒・黒粒	外:橙、内:黒	外:ロクロナデ、内:ロクロナデ・ヘラミガキ・黒色処理	
60	26	A区	12号住	甲斐型	坏		(14.6)			21.0	良好	長・英・赤粒・黒粒	外:橙、内:黒	外:ロクロナデ・ヘラケズリ、内:ロクロナデ・ヘラミガキ・黒色処理・暗文	
60	27	A区	12号住	甲斐型	坏			5.8		84.2	良好	長・英・赤粒・黒粒	外:橙、内:黒、底:明赤褐	外:ロクロナデ・体下部ヘラケズリ、内:ロクロナデ・ヘラミガキ・黒色処理・暗文、底:ヘラケズリ	
60	28	A区	12号住	甲斐型	坏			5.3		78.2	良好	長・英・赤粒・黒粒	外:底:橙、内:黒	外:ロクロナデ・ヘラケズリ、内:ロクロナデ・ヘラミガキ・黒色処理・暗文(みこみ部無し)、底:ヘラケズリ	
60	29	A区	12号住	甲斐型	坏	(5.05)	(12.6)	(3.9)		31.7	良好	長・英・赤粒・黒粒	外:底:橙、内:黒	外:ロクロナデ・ヘラケズリ・玉縁、内:ロクロナデ・黒色処理、底:ヘラケズリ	
60	30	A区	12号住	甲斐型	坏			(6.2)		14.5	良好	長・英・赤粒・黒粒	外:底:橙、内:黒	外:ロクロナデ・ヘラケズリ、内:ロクロナデ・ヘラミガキ・黒色処理、底:ヘラケズリ	
60	31	A区	12号住	黒色土器	坏		(23.2)			24.3	良好	長・英・赤粒・黒粒	外:橙、内:黒	外:ロクロナデ、内:ロクロナデ・黒色処理	
60	32	A区	12号住	黒色土器	坏			5.5		32.3	良好	長・英・赤粒・黒粒	外:橙、内:黒、底:鈍褐	外:ロクロナデ、内:ロクロナデ・ヘラミガキ・黒色処理・暗文、底:回転糸切り	
60	33	A区	12号住	黒色土器	坏	4.3	12.6	5.8		148.8	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	外:橙・浅黄橙・オリーブ黒、内:黒、底:橙	外:ヘラケズリ口縁部ナデ、内:ロクロナデ・口縁部ナデ、底:回転糸切り	
60	34	A区	12号住	黒色土器	坏					12.6	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	外:橙、内:黒	外:回転ヘラケズリ・ロクロナデ・口縁部ナデ・墨書、内:ヘラミガキ	
60	35	A区	12号住	黒色土器	坏		(10.2)			3.9	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	外:橙、内:黒	外:ロクロナデ・墨書、内:ナデ	
60	36	A区	12号住	黒色土器	坏					4.7	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	外:橙、内:黒	外:ナデ・刻書、内:ロクロナデ	
60	37	A区	12号住	黒色土器	高台坏			(7.4)		15.0	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	外:橙、内:黒、底:明赤褐	外:ロクロナデ、内:ロクロナデ・黒色処理、底:回転ヘラケズリ・高台貼り付けナデ	
61	38	A区	12号住	甲斐型	皿	2.4	12.7	4.4		73.3	良好	長・英・赤粒・黒粒	外:底:橙、内:明赤褐	外:ロクロナデ・体下部回転ヘラケズリ、内:ロクロナデ・ヘラミガキ・暗文、底:ヘラケズリ	
61	39	A区	12号住	甲斐型	皿	2.7	(12.0)	(3.8)		39.9	良好	長・英・赤粒・黒粒	外:灰褐、内:鈍褐、底:褐	外:ロクロナデ・体下部回転ヘラケズリ・玉縁、内:ロクロナデ・刻書、底:回転ヘラケズリ	
61	40	A区	12号住	甲斐型	皿	2.2	(12.0)	(4.6)		39.0	良好	長・英・金雲・赤粒・黒粒	明赤褐	外:ロクロナデ・ヘラケズリ・墨書、内:ロクロナデ、底:ヘラケズリ	
61	41	A区	12号住	甲斐型	皿	2.8	(13.2)	(6.0)		18.9	良好	長・英・赤粒・黒粒	外:内:明赤褐、底:橙	外:ロクロナデ・ヘラケズリ・刻書、内:ロクロナデ、底:ヘラケズリ	
61	42	A区	12号住	甲斐型	皿	2.3	(11.3)	4.2		76.9	良好	長・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	橙	外:回転ヘラケズリ・回転ナデ・下部一部工具押え痕、内:ロクロナデ、底:回転ヘラケズリ	
61	43	A区	12号住	甲斐型	皿	2.15	(11.4)	(4.5)		26.1	良好	長・英・赤粒・黒粒	外:橙、内・底:明赤褐	外:ロクロナデ・ヘラケズリ、内:ロクロナデ、底:ヘラケズリ・刻書	
61	44	A区	12号住	甲斐型	皿	1.8	(13.0)	(4.2)		16.1	良好	長・英・赤粒・黒粒	外:褐、内:鈍褐、底:褐	外:ロクロナデ・回転ヘラケズリ・刻書、内:ロクロナデ、底:ヘラケズリ	
61	45	A区	12号住	甲斐型	皿	1.7	(13.0)			16.5	良好	長・英・赤粒・黒粒	橙	外:ロクロナデ・回転ヘラケズリ・墨書、内:ロクロナデ	
61	46	A区	12号住	甲斐型	皿		(12.6)			10.9	良好	長・英・赤粒・黒粒	橙	外:ロクロナデ・ヘラケズリ・玉縁、内:ロクロナデ・刻書	
61	47	A区	12号住	甲斐型	皿		(12.0)			16.9	良好	長・英・赤粒・黒粒	橙	外:ロクロナデ、内:ロクロナデ	
61	48	A区	12号住	甲斐型	皿			(3.4)		8.0	良好	長・英・赤粒・黒粒	橙	外:ロクロナデ・回転ヘラケズリ・墨書、内:ロクロナデ、底:回転ヘラケズリ	
61	49	A区	12号住	甲斐型	皿			(3.0)		15.8	良好	長・英・赤粒・黒粒	外:鈍褐、内:橙、底:褐	外:ロクロナデ・回転ヘラケズリ・刻書?、内:ロクロナデ、底:回転ヘラケズリ	
61	50	A区	12号住	甲斐型	皿			(4.8)		9.3	良好	長・英・赤粒・黒粒	橙	外:ロクロナデ・ヘラケズリ、内:ロクロナデ、底:ヘラケズリ	
61	51	A区	12号住	甲斐型	皿?					4.0	良好	長・赤粒・黒粒	明赤褐	外:ロクロナデ・ヘラケズリ・墨書、内:ロクロナデ	
61	52	A区	12号住	黒色土器	皿?		(13.4)			16.0	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	外:橙、内:黒	外:ロクロナデ、内:ロクロナデ・黒色処理	
61	53	A区	12号住	甲斐型	甕		29.2			175.6	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:暗褐、内:褐	外:口縁部ロクロナデ・胴部タテハケメ、内:胴部ハケメ	
61	54	A区	12号住	甲斐型	甕		(30.2)			67.5	良好	長・英・金雲・赤粒・黒粒	外:明赤褐、内:明赤褐～黒	外:口縁部ロクロナデ・胴部タテハケメ、内:口縁部ヨコハケメ・胴部ロクロナデ	
61	55	A区	12号住	甲斐型	甕		(27.8)			64.1	良好	長・英・金雲・赤粒・黒粒	外:明赤褐、内:鈍赤褐	外:口縁部ロクロナデ・胴部タテハケメ、内:ヨコハケメ	
61	56	A区	12号住	甲斐型	甕		(26.4)			123.8	良好	長・英・金雲・赤粒・黒粒	橙	外:口縁部ロクロナデ・胴部タテハケメ、内:ロクロナデ	
61	57	A区	12号住	甲斐型	甕		(32.6)			41.8	良好	長・英・金雲・赤粒・黒粒	明赤褐	外:口縁部ロクロナデ・胴部タテハケメ、内:ヨコハケメ	
61	58	A区	12号住	甲斐型	甕		(25.0)			74.1	良好	長・英・金雲・赤粒・黒粒	外:明赤褐、内:黒褐	外:口縁部ロクロナデ・胴部タテハケメ、内:口縁部ヨコハケメ・胴部ロクロナデ	
61	59	A区	12号住	甲斐型	甕		(30.8)			87.4	良好	長・英・金雲・赤粒・黒粒	明赤褐	外:口縁部ロクロナデ・胴部タテハケメ、内:ロクロナデ	
61	60	A区	12号住	甲斐型	甕		(27.8)			72.9	良好	長・英・金雲・赤粒・黒粒	外:暗褐、内:黒	外:口縁部ロクロナデ・胴部タテハケメ、内:ヨコハケメ	
61	61	A区	12号住	甲斐型	甕		(24.4)			49.5	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	赤褐	外:口縁部ロクロナデ・胴部タテハケメ、内:ヨコハケメ	
62	62	A区	12号住	甲斐型	甕		(33.5)			108.4	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	褐	外:口縁部ロクロナデ・胴部タテハケメ、内:ロクロナデ	
62	63	A区	12号住	甲斐型	甕		(17.6)			34.0	良好	長・英・金雲・赤粒・黒粒	外:黒褐口縁部赤褐、内:黒褐・明赤褐	外:口縁部ロクロナデ・胴部タテハケメ、内:ヨコハケメ	
62	64	A区	12号住	甲斐型	甕		(30.0)			58.3	良好	長・英・金雲・赤粒・黒粒	褐	外:口縁部ロクロナデ・胴部タテハケメ、内:ロクロナデ	
62	65	A区	13号住	甲斐型	甕		24.0			57.8	良好	長・英・金雲・黒雲・黒粒	褐	外:ハケメ、内:ヨコハケメ	
62	66	A区	12号住	甲斐型	甕		(28.2)			46.2	良好	長・英・金雲・赤粒・黒粒	褐	外:口縁部ロクロナデ・胴部タテハケメ、内:ロクロナデ	
62	67	A区	12号住カマド	甲斐型	甕		(23.6)			44.7	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:赤褐、内:明赤褐	外:ロクロナデ、内:ロクロナデ・ヨコハケメ	
62	68	A区	13号住	甲斐型	甕					73.9	良好	英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:褐灰、内:灰褐	外:タテハケメ、内:ハケメ	

第５表　土器観察表⑤

図版	番号	調査区	遺構名	種別	器種	器高cm	口径cm	底径cm	その他cm	重さg	焼成	胎土	色調	調整	特徴
62	69	A区	13号住カマド	甲斐型	甕					20.1	良好	英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:鈍黄褐、内:鈍褐	外:タテハケメ、内:ナデ	
62	70	A区	13号住	甲斐型	甕			10.4		96.2	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:褐灰、内:橙、底:明赤褐	外:ハケメ、内:ヨコハケメ、底:ヘラケズリ	
62	71	A区	12号住	甲斐型	甕			(9.0)		32.6	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:鈍黄褐・下部褐灰、内:褐灰、底:黒褐	外:タテハケメ・下部に工具痕、内:ナデ、底:木葉痕	
62	72	A区	12号住	甲斐型	甕			(9.0)		157.6	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:明赤褐・褐灰、内:黒褐・橙、底:黒褐・明赤褐	外:タテハケメ、内:ヨコハケメ・下部ヘラケズリ、底:木葉痕	
62	73	A区	12号住	須恵器	坏			(6.0)		26.6	良好	長・英・赤粒・黒粒	外:緑灰、内:オリーブ灰、底:緑灰	外:ロクロナデ、内:ロクロナデ、底:回転糸切り	
62	74	A区	12号住	須恵器	甕					104.8	良好	長・英・赤粒・黒粒	外:オリーブ黒・釉薬がけ、内:灰	外:タケキメ、内:ロクロナデ	
62	75	A区	12号住	須恵器	甕					45.3	良好	長・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:明黄褐・灰、内:灰	外:タケキメ、内:タケキメ・ロクロナデ	
62	76	A区	12号住	灰釉陶器	高台皿	2.7	(14.9)	(7.6)		88.0	良好	長・黒粒	外:灰白、内:灰黄、底:灰黄	外:ロクロナデ、内:ロクロナデ・釉薬がけ、底:回転ヘラケズリ・・高台貼り付け	
62	77	A区	12号住	灰釉陶器	皿		(15.0)			11.9	良好	長・黒粒	外:口縁部下部灰白・中部灰オリーブ、内:灰オリーブ	外:ロクロナデ・釉薬がけ、内:ロクロナデ・釉薬がけ	
62	78	A区	12号住	陶磁器	壷					113.1	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	外:灰褐・オリーブ黒、内:褐灰・オリーブ黒、底:暗赤褐・オリーブ黒	外:ロクロナデ・釉薬がけ、内:回転ヘラケズリ・釉薬がけ、底:回転糸切り・削り出し高台・ヘラミガキ	
62	79	A区	12号住	陶磁器	短頸壷		(12.4)			45.3	良好	長・赤粒・黒粒	外:暗オリーブ、内:灰黄口縁上部オリーブ	外:ロクロナデ・釉薬がけ、内:ロクロナデ・口縁釉薬がけ	
62	80	A区	12号住	土師器	平土鍋					88.0	良好	英・黒雲・赤粒・黒粒	鈍黄褐		完形
62	81	A区	12号住	土師器	平土鍋					10.7	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	鈍褐		完形
63	4	A区	6号住	土師器	平土鍋					9.0	良好	英・赤粒・黒粒	明黄褐		完形
63	83	A区	13号住	甲斐型	坏	3.9	11.4	4.8		67.7	良好	長・金雲・赤粒・黒粒	明赤褐	外:ロクロナデ・体下半部ヘラケズリ、内:ロクロナデ・暗文、底:回転ヘラケズリ	
63	84	A区	13号住	甲斐型	坏		12.0			22.8	良好	英・赤粒・黒粒	橙	外:ロクロナデ・体下半部ヘラケズリ、内:ロクロナデ	
63	85	A区	12号住	甲斐型	坏					1.0	良好	英・黒雲・赤粒	明赤褐	外:ロクロナデ・墨書、内:ロクロナデ	
63	86	A区	12号住	黒色土器	坏			(6.4)		40.5	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	外:橙、内:黒、底:橙	外:ヘラケズリ、内:ナデ、底:回転糸切り	
63	87	A区	13号住	甲斐型	皿	2.7	(13.0)	(5.5)		23.6	良好	英・黒雲・赤粒・黒粒	明赤褐	外:ロクロナデ・回転ヘラケズリ、内:ロクロナデ・刻書・墨書	
63	88	A区	13号住	甲斐型	皿		(13.0)			17.5	良好	英・赤粒・黒粒	明赤褐	外:ロクロナデ、内:ロクロナデ・回転ヘラケズリ	
63	89	A区	12号住	甲斐型	甕		31.2			54.4	良好	英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	鈍赤褐	外:ナデ・タテハケメ、内:ヨコハケメ	
63	90	A区	12号住	甲斐型	甕		24.2			84.0	良好	英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	鈍褐・黒褐	外:ロクロナデ・タテハケメ、内:ロクロナデ・ヨコハケメ	
63	91	A区	12号住	甲斐型	甕		25.8			105.1	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	鈍赤褐	外:ロクロナデ・タテハケメ、内:ロクロナデ・ヨコハケメ	
63	92	A区	12号住	甲斐型	甕		(23.2)			30.3	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	褐	外:口縁上部ナデ・胴部タテハケメ、内:ヨコハケメ・口縁部ナデ	
63	93	A区	12号住	甲斐型	甕		(26.4)			34.6	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:赤褐一部橙、内:赤褐	外:口縁部ロクロナデ・胴部タテハケメ、内:下部胴部ヨコハケメ	
63	94	A区	12号住	甲斐型	甕			(10.0)		61.6	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:鈍黄褐、内:胴部鈍黄褐みこみ部褐、底:明褐	外:タテハケメ・下部工具痕、内:胴部ヨコハケメ、底:ヘラケズリ・木葉痕	
63	95	A区	12号住	甲斐型	甕			(8.6)		52.1	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:褐灰一部鈍黄褐、内:明赤褐、底:鈍黄褐一部褐灰	外:タテハケメ・下部工具痕、内:胴部ヨコハケメ、底:ヘラケズリ・木葉痕	
63	96	A区	13号住	須恵器	坏		13.4			44.3	良好	英・赤粒・黒粒	灰黄	外:ロクロナデ、内:ロクロナデ	
80	61	B区	H−13	甲斐型	坏	2.8	(12.6)	(5.6)		20.7	良好	英・赤粒・黒粒	橙	外:ロクロナデ・下部ヘラ削り・墨書、内:ロクロナデ、ヘラミガキ	
80	62	B区	H−11	甲斐型	坏			(4.0)		6.9	良好	英・赤粒・黒粒	明赤褐	外:ロクロナデ・下部ヘラ削り、内:ロクロナデ・中央ヘラミガキ、底:ヘラケズリ・墨書	
80	63	B区	E−12	甲斐型	坏			(3.6)		5.1	良好	赤粒・黒粒	鈍橙	外:ロクロナデ・下部ヘラ削り・墨書、内:ロクロナデ、底:ヘラケズリ	
80	64	B区	H−11	黒色土器	坏			(6.0)		31.0	良好	英・赤粒・黒粒	鈍黄橙	外:ロクロナデ、内:ロクロナデ、ヘラミガキ・墨書、内:ロクロナデ・ヘラミガキ・黒色処理、底:回転糸切り	
80	65	B区	F−13	甲斐型	皿			(5.0)		9.8	良好	英・赤粒・黒粒	明赤褐	外:ロクロナデ・ヘラ削り、内:ロクロナデ・ヘラミガキ、底:回転糸切り後ヘラケズリ・墨書	
80	66	B区	F−10	甲斐型	皿			(6.0)		12.4	良好	英・赤粒・黒粒	明赤褐	外:ロクロナデ・ヘラ削り・墨書、内:ロクロナデ・ヘラミガキ、底:回転糸切り後ヘラケズリ・墨書	
80	67	B区	H−19	黒色土器	坏?					2.5	良好	長・英・赤粒・黒粒	橙	外:ロクロナデ・墨書、内:ロクロナデ・ヘラミガキ・黒色処理	
80	68	B区	J−18・19	須恵器	甕					122.0	良好	長・英・赤粒・黒粒	暗灰黄	外:ナデ・櫛描波状文、内:ナデ	
80	69	B区	E−10・12	須恵器	甕					60.0	良好	赤粒・黒粒	灰褐	外:ナデ、内:ナデ	
80	70	B区	G−11	須恵器	甕					134.4	良好	長・英・赤粒・黒粒	灰	外:ナデ・櫛描波状文、内:ナデ	
80	71	B区	B−5,E−11	須恵器	甕					109.3	良好	長・英・赤粒・黒粒	外:褐灰、内:灰黄	外:タタキメ、内:ナデ・指オサエ	
80	72	B区	D−3	須恵器	甕					56.4	良好	長・英・赤粒・黒粒	外:黄灰、内:灰黄	外:タタキメ、内:ナデ	
80	73	B区	F−12	須恵器	甕					35.4	良好	長・英・赤粒・黒粒	灰	外:タタキメ、内:タタキメ	
80	74	B区	H−16	須恵器	甕					57.6	良好	長・英・赤粒・黒粒	褐灰	外:タタキメ、内:タタキメ	
80	75	B区	E−10	須恵器	甕					51.8	良好	長・英・赤粒	外:黄灰、内:灰黄	外:タタキメ、内:ナデ	
80	76	B区	E−8	須恵器	甕					51.7	良好	長・英・赤粒	外:灰、内:暗灰黄	外:タタキメ、内:タタキメ	
80	77	B区	F−12	須恵器	甕					61.8	良好	長・英・赤粒・黒粒	外:灰赤、内:灰	外:タタキメ、内:ナデ	
80	78	B区	E−10	須恵器	甕					57.3	良好	長・英・赤粒・黒粒	灰黄	外:タタキメ、内:ナデ	
80	79	B区	F−8	須恵器	甕					176.8	良好	長・英・赤粒・黒粒	黄灰	外:タタキメ、内:ナデ	
80	80	B区	E−11	須恵器	甕					60.6	良好	英・赤粒・黒粒	灰白	外:タタキメ、内:ナデ	
80	81	B区	F−10	須恵器	壷					41.5	良好	英・赤粒・黒粒	黄灰	外:凸帯、内:ナデ・指オサエ	体部黄褐色の付着
80	82	B区	E−13	須恵器	壷			(8.0)		51.5	良好	長・英・赤粒・黒粒	灰	外:ナデ、内:ナデ、底:ナデ・工具痕	
80	83	B区	遺構外	須恵器	壷			(11.0)		54.1	良好	長・英・赤粒・黒粒	灰	外:ナデ、内:ナデ	
81	87	B区	H−13	灰釉陶器	壷		(21.0)			102.7	良好	英・赤粒・黒粒	灰白	外:ロクロナデ、内:ロクロナデ	
81	88	B区	F−11・13	灰釉陶器	椀			(7.4)		51.7	良好	長・英・赤粒・黒粒	暗灰黄・灰オリーブ	外:ロクロナデ・高台部分回転ヘラケズリ、内:ロクロナデ・ヘラミガキ・施釉、底:回転ヘラケズリ	灰オリーブの釉薬がけ
81	89	B区	E−12	灰釉陶器	椀			(6.8)		70.9	良好	長・英・赤粒・黒粒	外:灰白、内:灰色の釉薬がけ	外:ロクロナデ・高台近く回転ヘラケズリ、内:ロクロナデ・ヘラミガキ・施釉ヘラミガキ・施釉、底:回転ヘラケズリ	灰色の釉薬がけ、小
81	90	B区	J−17	灰釉陶器	椀			(7.0)		99.0	良好	赤粒・黒粒	灰白	外:ロクロナデ、内:ロクロナデ、底:回転ヘラケズリ・ナデ	
85	1	B区	2号住	甲斐型	坏	4.2	11.2	3.9		97.0	良好	長・英・赤粒・黒粒	明赤褐	外:ロクロナデ・下部ヘラ削り・墨書、内:ロクロナデ・ヘラミガキ・暗文、底:回転糸切り後ヘラケズリ	完形
85	2	B区	2号住	甲斐型	坏	4.6	(12.0)	4.5		80.0	良好	赤粒・黒粒	鈍黄橙	外:ロクロナデ・下部ヘラケズリ)、内:ロクロナデ、底部:回転糸切り	一部明赤褐、ほぼ完形
85	3	B区	2号住	甲斐型	坏		(13.0)			14.3	良好	長・赤粒・黒粒	鈍赤褐	外:ロクロナデ・下部ヘラケズリ)、内:ロクロナデ	
85	4	B区	2号住	甲斐型	皿	2.3	(13.0)	4.9		79.6	良好	長・英・赤粒・黒粒	明赤褐	外:ロクロナデ・下部回転ヘラケズリ)、内:ロクロナデ・ヘラミガキ・暗文、底:回転ヘラケズリ	ほぼ完形
85	5	B区	2号住	甲斐型	皿	2.4	(12.8)	4.9		89.3	良好	長・英・赤粒・黒粒	鈍赤褐	外:ロクロナデ・下部回転ヘラケズリ)、内:ロクロナデ、ヘラミガキ・暗文、底:回転糸切りヘラケズリ	ほぼ完形
85	6	B区	2号住	甲斐型	皿	2.2	(13.0)	5.0		71.6	良好	赤粒・黒粒	赤褐	外:ロクロナデ・下部回転ヘラケズリ)、内:ロクロナデ・ヘラミガキ・暗文、底:回転ヘラケズリ	ほぼ完形
85	7	B区	2号住	甲斐型	皿	2.5	(13.2)	5.4		94.6	良好	長・英・赤粒・黒粒	鈍赤褐	外:ロクロナデ・下部回転ヘラケズリ)・墨書、内:ロクロナデ・ヘラミガキ・暗文、底:回転ヘラケズリ	ほぼ完形
85	8	B区	2号住	黒色土器	坏	4.2	11.1	5.8		110.8	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	橙	外:ロクロナデ、内:ロクロナデ・ヘラミガキ・黒色処理、底:回転糸切り後ヘラケズリ	完形
85	9	B区	2号住	黒色土器	坏	3.9	11.0	6.0		112.2	良好	長・英・赤粒・黒粒	鈍褐	外:ロクロナデ、内:ロクロナデ・ヘラミガキ・黒色処理、底:回転糸切り	完形
85	10	B区	2号住	黒色土器	坏	4.3	(13.0)	(7.0)		39.5	良好	長・英・赤粒・黒粒	明赤褐	外:ロクロナデ・墨書、内:ロクロナデ・ヘラミガキ・黒色処理、底:回転糸切り	
85	11	B区	2号住	黒色土器	鉢	7.3	17.6	6.3		367.6	良好	英・赤粒・黒粒	鈍褐、半分黒	外:ロクロナデ・下部回転ヘラケズリ)・刻書、内:ロクロナデ・ヘラミガキ・黒色処理、底:回転ヘラケズリ	ほぼ完形
85	12	B区	2号住	黒色土器	坏	3.9	(13.7)	6.3		113.1	良好	赤粒・黒粒	鈍黄褐、黒いすす付着	外:ロクロナデ、内:ロクロナデ・ヘラミガキ・黒色処理、底:回転糸切り	半分残存
85	13	B区	2号住	黒色土器	台付皿	2.4	12.9	7.1		115.7	良好	長・英・赤粒・黒粒	橙	外:ロクロナデ・墨書、内:ロクロナデ・ヘラミガキ・黒色処理、底:回転糸切り・高台部分内側回転ヘラケズリ・墨書	ほぼ完形
85	14	B区	2号住	甲斐型	甕	(13.1)	(13.3)	7.0		247.0	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	黒褐	外:タテハケメ、内:ヨコハケメ、底:木葉痕	
85	15	B区	2号住	甲斐型	甕	36.5	28.0	9.4		1257.6	良好	英・金雲・黒雲・黒粒	鈍赤褐	外:ナデ・ハケメ、内:ナデ・ハケメ、底:木葉痕	
87	1	B区	3号住	甲斐型	坏			4.6		39.2	良好	赤粒・黒粒	明赤褐	外:ロクロナデ・下部回転ヘラケズリ)、内:ロクロナデ・ヘラミガキ・暗文、底:回転糸切り後ヘラケズリ	
87	2	B区	3号住カマド	甲斐型	皿	2.4	13.8	5.0		123.4	良好	長・英・赤粒・黒粒	明赤褐・一部黒褐	外:ロクロナデ・下部回転ヘラケズリ)、内:ロクロナデ・ヘラミガキ・暗文、底:回転ヘラケズリ	完形
87	3	B区	3号住カマド	黒色土器	坏	4.3	12.5	5.6		135.3	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	外:鈍黄橙　内:明赤褐一部黒	外:ロクロナデ・墨書、内:ロクロナデ・ヘラミガキ、底:回転糸切り	ほぼ完形
87	4	B区	3号住	黒色土器	坏	4.4	12.6	5.6		128.8	良好	長・英・黒雲・黒粒	鈍黄橙	外:ロクロナデ、内:ロクロナデ・ヘラミガキ・黒色処理、底:回転糸切り	ほぼ完形
87	5	B区	3号住	甲斐型	坏					4.4	良好	赤粒・黒粒	明赤褐	外:ロクロナデ・ヘラ削り、内:ロクロナデ	
87	6	B区	3号住	甲斐型	甕		(32.0)			114.3	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	鈍赤褐	外:タテハケメ、内:ヨコハケメ	
87	7	B区	3号住	黒色土器	片口鉢	12.3	(23.1)	10.4		572.0	良好	長・英・赤粒・黒粒	鈍黄橙	外:ロクロナデ、内:ロクロナデ・ヘラミガキ・黒色処理、底:回転糸切り後一部ヘラケズリ	半分残存
87	8	B区	3号住カマド	甲斐型	甕			(9.0)		64.7	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	外:鈍赤褐　内:鈍褐	外:タテハケメ、内:ヨコハケメ、底:木葉痕	
87	9	B区	3号住	甲斐型	甕			(8.6)		88.8	良好	長・英・金雲・赤粒・黒粒	暗褐	外:タテハケメ、内:ヨコハケメ、底:木葉痕	
87	10	B区	3号住	甲斐型	甕			(7.7)		31.9	良好	長・英・金雲・黒雲・赤粒・黒粒	赤褐	外:タテハケメ、内:ヨコハケメ、底:木葉痕	
98	1	B区	ピット93	土師質	大甕			21.7		1609.0	良好		鈍褐		
98	2	B区	3号竪穴	フイゴ	羽口		7.5			67.9	良好	長・英・黒雲・赤粒・黒粒	外:鈍黄褐、内:橙		
98	3	B区	3号竪穴	フイゴ	羽口		6.9			44.9	良好	長・英・金雲・赤粒・黒粒	外:鈍褐、内:橙		
98	5	B区	G−11	青磁	皿		(12.0)			13.3	良好		灰白釉薬、緑灰(青磁釉)	外:ロクロナデ・釉薬がけ	・14ｃ前
98	6	B区	E−12	青磁	椀					16.3	良好		灰白(胎土)、灰オリーブの釉薬(文様?)	外:ロクロナデ、内:ロクロナデ	龍泉窯系、14ｃ前
98	7	B区	H−14	青磁	皿		(7.6)			20.4	良好		オリーブ黄	外:ロクロナデ・釉薬がけ(２種)、内:ロクロナデ・釉薬がけ・刻み模様	同安窯系、13ｃ後、
98	8	B区	E−11	白磁	皿					10.4	良好		釉薬・・明青灰	外:ロクロナデ・釉薬がけ暗青灰色の線、内:ロクロナデ、釉薬がけ	14ｃ前
98	9	B区	G−14	陶器	?		(19.0)			31.3	良好		鈍黄橙、釉薬・・黄褐	外:ロクロナデ・釉薬がけ、内:ロクロナデ・釉薬がけは口縁より2.7㎝まで濃く、その下は薄い	瀬戸
98	10	B区	H−16	磁器	皿?			(5.0)		5.9	良好		灰白	外:ロクロナデ・釉薬がけ、内:ロクロナデ・釉薬がけ	
98	11	B区	I−19	白磁	皿					28.7	良好		釉薬・・明青灰	外:ロクロナデ・釉薬がけ暗青灰色の線、内:ロクロナデ、釉薬がけ、底:高台内施釉	
98	12	B区	G−13	磁器	台?			(7.0)		24.2	良好		外:黒、内:黄灰	外:ロクロナデ・釉薬がけ、内:ロクロナデ・無釉	
98	13	B区	I−20	陶器	椀			(5.4)		46.8	良好		淺黄	外:ロクロナデ・釉薬がけ、内:ロクロナデ・釉薬がけ、底:ロクロナデ・釉薬がけ	
98	14	B区	B−5,E−11	陶器	椀(丸形)			5.6		75.8	良好		灰黄、釉薬・・オリーブ褐	外:ロクロナデ・釉薬がけ、内:ロクロナデ・釉薬がけ、底:高台無釉薬	
99	1	B区	1号溝	陶器	急須				7.9	223.0	良好		青灰色	全面釉がけ	

第６表　石器観察表

図版番号	図	調査区	出土位置	器　種	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	石　材	備　考
9	17	A区	遺構外	石鏃	2.4	1.9	0.5	1.2	黒曜石	
29	67	A区	６号住	打製石斧	18.4	9.3	3.1	684	ホルンフェルス	古墳時代?
29	68	A区	７号住	打製石斧	9.0	6.8	2.7	201	砂岩	古墳時代?
38	69	A区	８号住	横刃形石器	10.9	5.3	1.4	88	砂岩	古墳時代?
62	19	A区	14号住	磨製石斧	8.1	5.3	2.4	201	蛇紋岩	古墳時代
63	82	A区	13号住	石製品	3.6	2	0.5	5.9	蛇紋岩	装飾品
81	5	A区	遺構外	砥石	4.4	2.4	0.9	12.7	凝灰岩	平安時代
81	84	B区	C－3	石鏃	4.8	1.15	0.4	2.3	黒曜石	
81	85	B区	H－18	石鏃	1.8	1.45	0.4	0.7	黒曜石	
81	86	B区	遺構外	石鏃	2.0	1.15	0.3	0.4	黒曜石	
81	91	B区	S－10	横刃形石器	10.0	6.2	1.7	109.1	砂岩	
81	92	B区	I－22	打製石斧	9.9	5.2	2.0	132.2	ホルンフェルス	
81	93	B区	H－14	打製石斧	12.9	5.1	2.3	148	ホルンフェルス	
81	94	B区	G－10	打製石斧	15.1	6	2.6	306	ホルンフェルス	
81	95	B区	F－12	打製石斧	7.2	5.7	2.2	103.2	凝灰岩	
81	96	B区	F－10	打製石斧	6.5	5.6	2.4	76.3	安山岩	
81	97	B区	H－14	打製石斧	10.8	5.2	1.8	108.7	ホルンフェルス	
81	98	B区	O－10	打製石斧	15.1	8.1	3.7	634	砂岩	
81	99	B区	H－13	打製石斧	11.6	4.75	0.7	76.4	ホルンフェルス	
81	100	B区	F－14	打製石斧	8.2	4.2	1.9	80.5	ホルンフェルス	
82	101	B区	１号溝	打製石斧	15.1	7.9	2.5	321	凝灰岩	
82	102	B区	F－11	打製石斧	9.8	8	1.5	161.2	緑色片岩	
82	103	B区	J－19	打製石斧	11.8	5.2	1.4	107.3	ホルンフェルス	
82	104	B区	M－23	打製石斧	12.4	3.8	2.0	92.4	ホルンフェルス	
82	105	B区	H－13	打製石斧	11.8	8.1	2.1	225	ホルンフェルス	
82	106	B区	１号方竪	削器	7.7	7.6	2.0	114.8	凝灰岩	
82	107	B区	F－11	打製石斧	13.9	8.2	1.3	150.7	ホルンフェルス	
82	108	B区	G－10	凹石	10.2	6.4	4.7	356	安山岩	
82	109	B区	K－20	凹石	12.5	5.7	5.4	477	安山岩	
82	110	B区	D－9	磨石	9.9	6.5	4.2	440	安山岩	
83	111	B区	E－5	磨石	9.7	6.5	6.3	697	安山岩	
83	112	B区	D－5	磨石	8.7	7.4	7.2	573	安山岩	
83	113	B区	E－8	磨石	11.2	5.6	4.1	345	安山岩	
83	114	B区	I－20	剥片	2.8	2.2	0.8	5.1	水晶	
83	115	B区	J－21	磨製石鏃	(2.45)	(2.0)	0.3	(1.7)	粘板岩	弥生時代
83	116	B区	I－21	磨製石鏃	(2.75)	(1.95)	0.2	(1.5)	粘板岩	弥生時代
83	117	B区	J－19	砥石	4.1	4.4	0.6	16.4	粘板岩	平安時代
83	118	B区	E－8	砥石	4.5	2.9	2.1	42.6	凝灰岩	平安時代
83	119	B区	D－5	砥石	6.3	4	2.4	93.8	凝灰岩	平安時代
83	120	B区	E－13	砥石	4.8	3.9	0.7	15.5	粘板岩	平安時代
83	121	B区	J－20	砥石	5.7	3.3	2.2	52.6	凝灰岩	平安時代
83	122	B区	E－5	砥石	8.8	4.7	3.0	142.8	砂岩	平安時代
83	123	B区	F－14	砥石	4.0	3.1	0.7	9.7	凝灰岩	平安時代
83	124	B区	L－23	砥石	4.3	2.4	2.4	40.4	凝灰岩	平安時代
83	125	B区	E－12	砥石	4.7	2.2	1.7	19.3	凝灰岩	平安時代
83	126	B区	遺構外	砥石	5.4	2.7	1.4	30.1	凝灰岩	平安時代
98	4	B区	３号竪穴	石臼					安山岩	

第７表　古銭一覧表

図版	番号	出土位置	銭貨名	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	材質	時代	初鋳年
98	15	１号方竪	皇宋通寶	2.45	2.45	0.11	2.2	銅	北宋	1038
98	16	２号方竪	元祐通寶	2.4	2.4	0.12	2.5	銅	北宋	1086
98	17	２号方竪	○祐通寶	2.4	2.4	0.1	2.2	銅		
98	18	ピット124	熙寧元寶	2.5	2.5	0.1	3.1	銅	北宋	1071
98	19	E－11	元祐通寶	2.4	2.4	0.12	2.5	銅	北宋	1086
98	20	遺構外	元豊通寶	2.5	2.5	0.1	2.8	銅	北宋	1078
98	21	J－24	元豊通寶	2.4	2.4	0.1	2.5	銅	北宋	1078
98	22	J－24	景祐通寶	2.4	2.5	0.1	2.4	銅	北宋	1034
98	23	L－23	開元通寶	2.35	2.35	0.12	3.4	銅	唐	621
98	24	J－18	元豊通寶	2.5	2.5	0.11	3	銅	北宋	1078
98	25	N－23	寛永通寶	2.4	2.4	0.1	2.2	銅	江戸	1636
98	26	L－23	天聖元寶	2.4	2.4	0.1	2.6	銅	北宋	1023
98	27	J－24	元祐通寶	2.3	2.35	0.14	3	銅	北宋	1086
98	28	J－25	政和通寶	2.5	2.45	0.12	3.3	銅	北宋	1111
98	29	C－2	熙寧元寶	2.35	2.35	0.1	2.3	銅	北宋	1071
98	30	J－24	天聖元寶	2.5	2.5	0.12	2.8	銅	北宋	1023

第８表　主要遺構別出土遺物内訳表

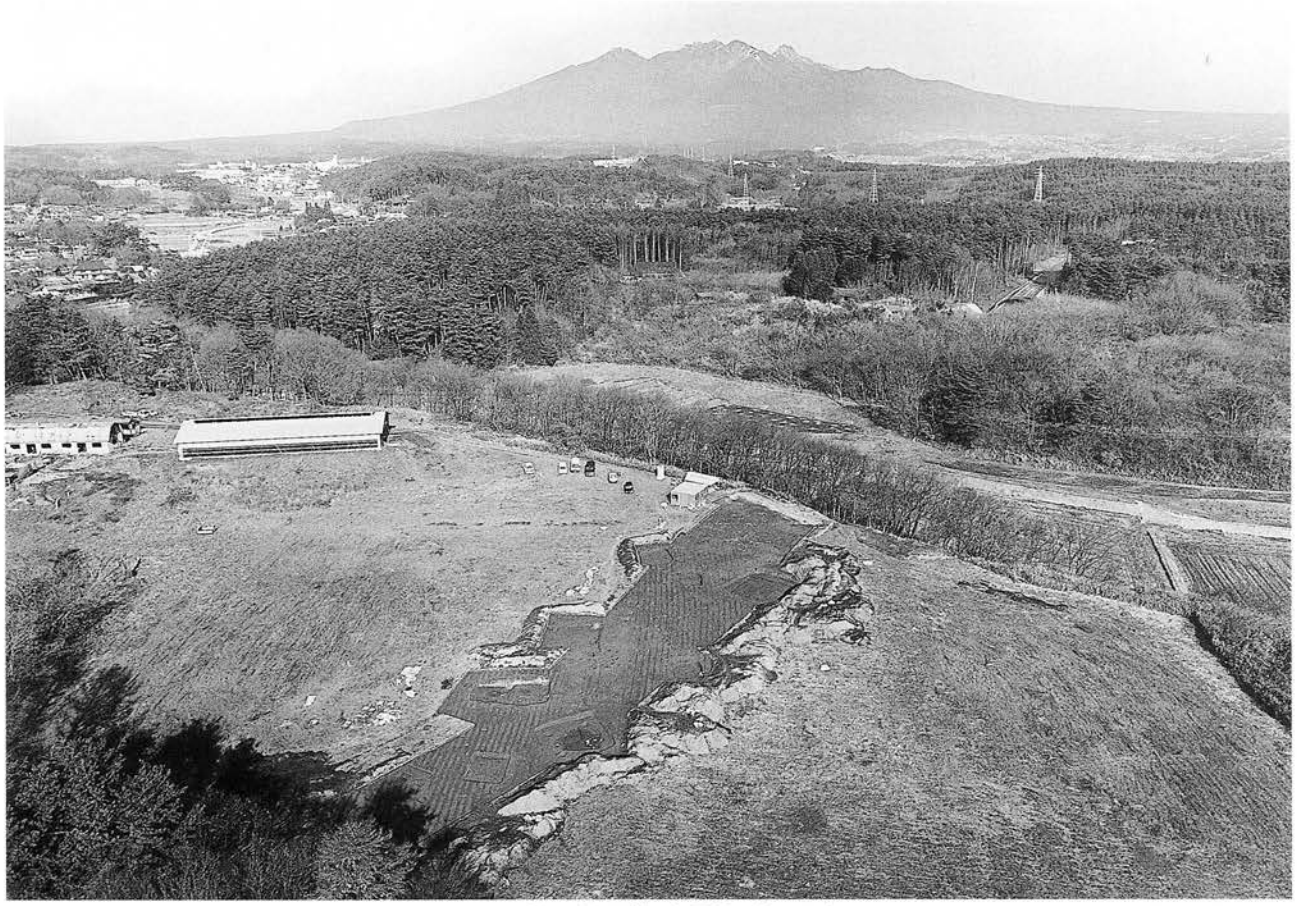
遺構名		縄文	古墳										平安																												中世			時期不明	土錘
			土師器									須恵器	甲斐型				土師器								黒色土器					須恵器				灰釉陶器					土師質土器			陶磁器		
			S字甕	甕	壺	小壺	高坏	器台	鉢	碗	不明	甑	坏	内黒坏	甕	皿	坏	甕	皿	短頸壺	蓋	羽釜	鉢	不明	坏	台付坏	皿	鉢	不明	坏	甕	壺	不明	碗	皿	甕	壺	不明	内耳	不明	不明		
A区　1号住	個数	10	115	7	4		2	13			14														12																	54	
	重量(g)	101	387	37	103		28	91			32														29																	66	
A区　2号住	個数		102	8	22	1	6	4	1	2	62				1																												
	重量(g)		795	51	996	55	69	267	4	5	154				18																												
A区　3号住	個数	1	98		3		3	20	4	1	75			1																							1						
	重量(g)	31	906		79		31	212	168	5	115			1																							44						
A区　4号住	個数	10	23	12	15		13	7	2	2	13														1																	12	
	重量(g)	118	108	167	486		265	42	241	13	69														2																	50	
A区　5号住	個数	16	50	11	44		14	6	2		52		33		279		48	18			1			7	92													5				243	
	重量(g)	150	150	99	154		146	35	21		258		79		1504		131	114			10			23	470													38				547	
A区　6・7号住	個数	83	586	285	293	4	438	9	69	6	658		28		133	7		10			1	1	1	1	78	1					13		1					1				79	1
	重量(g)	743	2438	4106	2862	144	6572	102	460	111	2876		52		563	54		76			8	13	78	3	297	13					1090		1					1				153	9
A区　8号住	個数	25	54	6	5		7	1			58		30	1	242	2	29	56		1		8	1		149	1	3			1			1					8				245	
	重量(g)	281	152	73	56		108	14			646		58	35	4505	49	94	1311		854		657	118		785	35	94			4			6					43				771	
A区　9号住	個数	1	9	44	13		27	1	16	9	141	1	8		6						1				7																	50	
	重量(g)	27	21	1199	911		137	3	314	801	462	5	8		20						6				17																	160	
A区　10号住	個数	13	32	72	59	23	61	6	14	10	199		361		230	20	44	63			7			6	196								7	2				41	4			320	
	重量(g)	124	93	827	712	171	1004	40	111	83	1557		1303		1715	578	151	1712			136			47	996								85	197				456	42			1061	
A区　近代建物	個数	4	13	22	13		25	1		1	86		15		36		6							4	13	1							7									142	
	重量(g)	35	36	213	178		238	8		3	306		31		191		11							8	45	5							80									285	
A区　12号住	個数	11	14	174	201	1	130	2	3	16	261	1	486	11	570	45	27	26	6					21	243	4		1		11	7		7		2	3		19				130	2
	重量(g)	130	37	2151	1413	55	1073	11	62	82	774	9	1696	292	5207	495	156	221	62					80	887	48		5		72	155		39		100	41		453				254	19
A区　13号住	個数	6	19	192	92		59	9	1	24	228		149		511	4	15	2						18	40					8	2		2					8				37	
	重量(g)	68	27	1850	823		823	41	17	111	738		475		3140	52	47	11						90	207					68	21		9					121				117	
A区　14号住	個数		8	26	12	5	32		4	2	28		4		33																											6	
	重量(g)		15	438	205	217	1868		239	37	191		5		138																											42	
A区　15号住	個数	4	25	30	13	5	16	5	5	2	71		40		27	1	9								22								3					1				71	
	重量(g)	16	294	447	63	114	158	77	36	9	447		263		92	1	14								54								28					42				213	
A区　16号住	個数		2	67	14	1	42		5	3	140				5		3				3				2													3				28	
	重量(g)		7.7	2557	125	18	1387		40	83	539				16		9				11				4													15				94	
A区　1号竪穴	個数		1					1			1																															2	
	重量(g)		3					32			11																															4	
A区　1号溝	個数		34		8		7				51		30		55	5	10	1						3	57						1	3	1									34	
	重量(g)		118		84		141				166		93		189	32	24	4						34	132						20	55	6									40	
A区　2号溝	個数	1	1								3				3										2																		
	重量(g)	14	2								5				5										4																		

遺構名		縄文	古墳									須恵器	平安																										中世			時期不明	土錘
			土師器										甲斐型				土師器								黒色土器					須恵器				灰釉陶器					土師器質土器			陶磁器		
			S字甕	甕	壺	小壺	高坏	器台	鉢	碗	不明	甑	坏	内黒坏	甕	皿	坏	甕	皿	短頸壺	蓋	羽釜	鉢	不明	坏	台付坏	皿	鉢	不明	坏	甕	壺	不明	碗	皿	甕	壺	不明	内耳	不明	不明		
B区　1号方竪	個数										3						20	29						11	19		1		5	4	2		1			1			2	31	7	2	
	重量(g)										13						78	115						16	60		1		18	21	28		2			17			33	230	78	3	
B区　2号住	個数												21		35	4									6	1		2													2		
	重量(g)												196		379	338									761	116		86													3		
B区　3号住	個数	2											29		90	1									19			1		1											6	4	
	重量(g)	40											398		823	123									265			572		9											14	9	

第９表　墨書土器一覧表

図版	番号	調査区	遺構名	釈　文	種　別	種　別	器　種	記銘部位	方向	時　期	出土位置
45	1	A区	5号住	□	墨書	甲斐型	坏？	体外			
45	2	A区	5号住	南	墨書	甲斐型	坏	体外	倒位	X	住居南東部下層
48	3	A区	8号住	□	墨書	甲斐型	坏	体外			住居中央中層
48	4	A区	8号住	□	墨書	甲斐型	？	底外			住居南東部下層
48	7	A区	8号住	□	墨書	黒色土器	坏	体外			住居北西部上層
52	1	A区	10号住	千	墨書	甲斐型	坏（内黒）	体外・底外	正位		住居東部壁際
52	2	A区	10号住	千	墨書	甲斐型	坏	体外・底外	正位	XI～XII	住居カマド周辺
52	3	A区	10号住	千	墨書	甲斐型	坏	体外・底外	正位		住居カマド周辺
52	4	A区	10号住	千	墨書	甲斐型	坏	体外	正位	XI～XII	住居貯蔵穴
52	5	A区	10号住	千	墨書	甲斐型	坏	底外		XI～XII	住居貯蔵穴
52	6	A区	10号住	千ヵ	墨書	甲斐型	坏	底外		XI～XII	
52	7	A区	10号住	千	墨書	甲斐型	坏	底外		XI～XII	住居貯蔵穴
52	11	A区	10号住	□	墨書	甲斐型	坏	体外			
52	12	A区	10号住	千	墨書	甲斐型	坏	体外			
52	13	A区	10号住	千	墨書	甲斐型	坏	体外	正位	XI～XII	住居貯蔵穴
52	14	A区	10号住	□	墨書	甲斐型	坏ｏｒⅢ	体外	正位		
52	15	A区	10号住	□	墨書	甲斐型	坏	体外			
52	16	A区	10号住	千ヵ	墨書	甲斐型	坏	体外			
52	17	A区	10号住	□	墨書	甲斐型	坏	体外			
52	18	A区	10号住	千	墨書	甲斐型	坏	体外		XI～XII	
52	19	A区	10号住	□	墨書	甲斐型	坏	体外	正位		
52	20	A区	10号住	□	墨書	甲斐型	坏ｏｒⅢ	体外			
52	21	A区	10号住	□	墨書	甲斐型	坏ｏｒⅢ	底外			住居カマド内
52	22	A区	10号住	千	墨書	甲斐型	坏	底外			住居カマド内
52	24	A区	10号住	□	墨書	甲斐型	坏（内黒）	体外			
52	28	A区	10号住	千	墨書	甲斐型	Ⅲ	体外・底外	正位	XI～XII	
52	29	A区	10号住	千	墨書	甲斐型	Ⅲ	体外	正位	XI～XII	住居カマド内
52	30	A区	10号住	千	墨書	甲斐型	Ⅲ	体外	正位		住居貯蔵穴
53	32	A区	10号住	奉・etc	墨書	甲斐型	Ⅲ	体外	正位	XI～XII	住居貯蔵穴
53	34	A区	10号住	千ヵ	墨書	甲斐型	Ⅲ	体外			
53	35	A区	10号住	□	墨書	甲斐型	Ⅲ	体外			
53	36	A区	10号住	□	墨書	甲斐型	Ⅲ	底外			
53	37	A区	10号住	千ヵ	墨書	甲斐型	Ⅲ	体外・底外		XI～XII	住居カマド周辺
53	38	A区	10号住	良ヵ	墨書	甲斐型	Ⅲ	体外			
53	39	A区	10号住	千	墨書	甲斐型	Ⅲｏｒ坏	底外			
53	40	A区	10号住	千	墨書	土師器	Ⅲｏｒ坏	底外		XI～XII	
60	1	A区	12号住	□	墨書	甲斐型	坏	体外			住居南部
60	2	A区	12号住	良ヵ	墨書	甲斐型	坏	体外	正位	XI～XII	住居南東部下層
60	3	A区	12号住	良	墨書	甲斐型	坏	体外	正位	XI～XII	住居中央部中央
60	4	A区	12号住	千	墨書	甲斐型	坏	体外	正位	XI～XII	住居南東部下層
60	5	A区	12号住	上ヵ	墨書	甲斐型	坏	体外	倒位		住居南西部中層
60	11	A区	12号住	□	墨書	甲斐型	坏	体外			住居南東部下層
60	12	A区	12号住	良ヵ	墨書	甲斐型	坏	体外		XI～XII	
60	13	A区	12号住	□	墨書	甲斐型	坏	体外			
60	14	A区	12号住	良ヵ	墨書	甲斐型	坏	体外		XI～XII	
60	15	A区	12号住	良ヵ	墨書	甲斐型	坏	体外			
60	16	A区	12号住	□	墨書	甲斐型	坏	体外	正位		
60	17	A区	12号住	□	刻書	甲斐型	坏	体外			
60	18	A区	12号住	良	墨書	甲斐型	坏	体外		XI～XII	
60	19	A区	12号住	良ヵ	墨書	甲斐型	坏	体外			
60	20	A区	12号住	□	墨書	甲斐型	坏	体外			
60	21	A区	12号住	良	墨書	甲斐型	坏	体外	正位	XI～XII	住居南東部中層
60	22	A区	12号住	良ヵ	墨書	甲斐型	坏	体外			住居南東部下層
60	34	A区	12号住	千ヵ	墨書	黒色土器	坏	体外			
60	35	A区	12号住	□	墨書	黒色土器	坏	体外		XI～XII	
60	36	A区	12号住	□	刻書	黒色土器	坏	体外			
61	39	A区	12号住	□	刻書	甲斐型	Ⅲ	体内		XI～XII	住居中央部上層
61	40	A区	12号住	良	墨書	甲斐型	Ⅲ	体外	正位	XI～XII	住居北東部下層
61	41	A区	12号住	□	刻書	甲斐型	Ⅲ	体外			住居南部中央下層
61	43	A区	12号住	□	刻書	甲斐型	Ⅲ	底外			住居中央中層
61	44	A区	12号住	□	刻書	甲斐型	Ⅲ	体外			住居北東部上層
61	45	A区	12号住	千	墨書	甲斐型	Ⅲ	体外	正位		住居西部中央下層
61	46	A区	12号住	□	刻書	甲斐型	Ⅲ	体内			住居南東部下層
61	48	A区	12号住	□	墨書	甲斐型	Ⅲ	体外			住居北東部上層
61	49	A区	12号住	□	刻書？	甲斐型	Ⅲ	体外			住居北東部下層
61	51	A区	12号住	□	墨書	甲斐型	Ⅲ？	体外			
63	85	A区	13号住	□	墨書	甲斐型	坏	体外			住居南東部中層
63	87	A区	13号住	□	墨書・刻書	甲斐型	Ⅲ	体内		X	住居南東部下層
85	1	B区	2号住	福ヵ	墨書	甲斐型	坏	体外		X	住居東部中層
85	7	B区	2号住	十八ヵ	墨書	甲斐型	Ⅲ	体外	正位		住居東部
85	10	B区	2号住	十八	墨書	黒色土器	坏	体外	正位		住居南東壁際
85	11	B区	2号住	□	刻書？	黒色土器	鉢	体外			住居東部下層
85	13	B区	2号住	味ヵ	墨書	黒色土器	台坏Ⅲ	底外			住居北部上層
87	3	B区	3号住	□	墨書	黒色土器	坏	体外		X	住居東部
87	5	B区	3号住	□	墨書	甲斐型	坏	体外			住居中央部
80	61	B区	H－13	□	墨書	甲斐型	Ⅲ	体外・底外		XI～XII	
80	62	B区	H－11	□	墨書	甲斐型	坏	底外			
80	63	B区	E－12	千ヵ	墨書	甲斐型	坏	体外	正位		
80	64	B区	H－11	□	墨書	黒色土器	坏	体外			
80	65	B区	F－13	千ヵ	墨書	甲斐型	坏	底外			
80	66	B区	F－10	千ヵ・□	墨書	甲斐型	Ⅲ	体外・底外	正位		
80	67	B区	H－19	□	墨書	甲斐型	坏	体外			

図　　版



A区（第１次調査）全景①（南から）

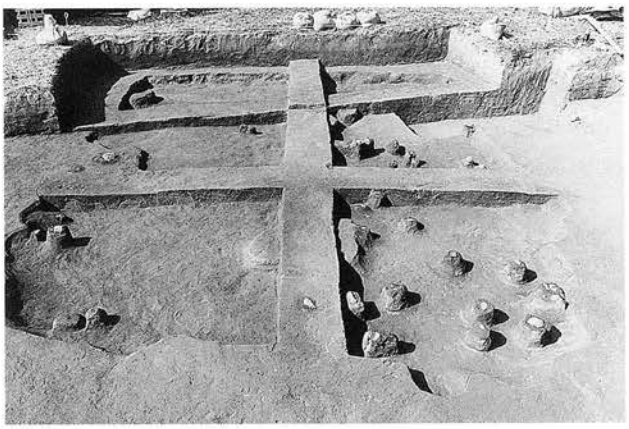
A区（第１次調査）全景②（東から）

図版 2

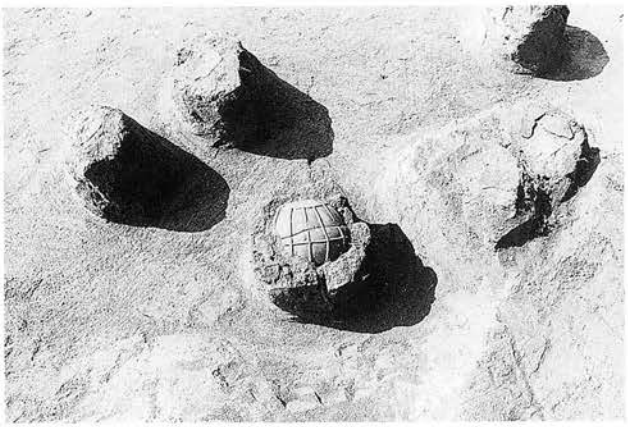
A区（第１次調査）全景③（真上から）

A区１号住居跡①（東から）

A区１号住居跡②（北東から）



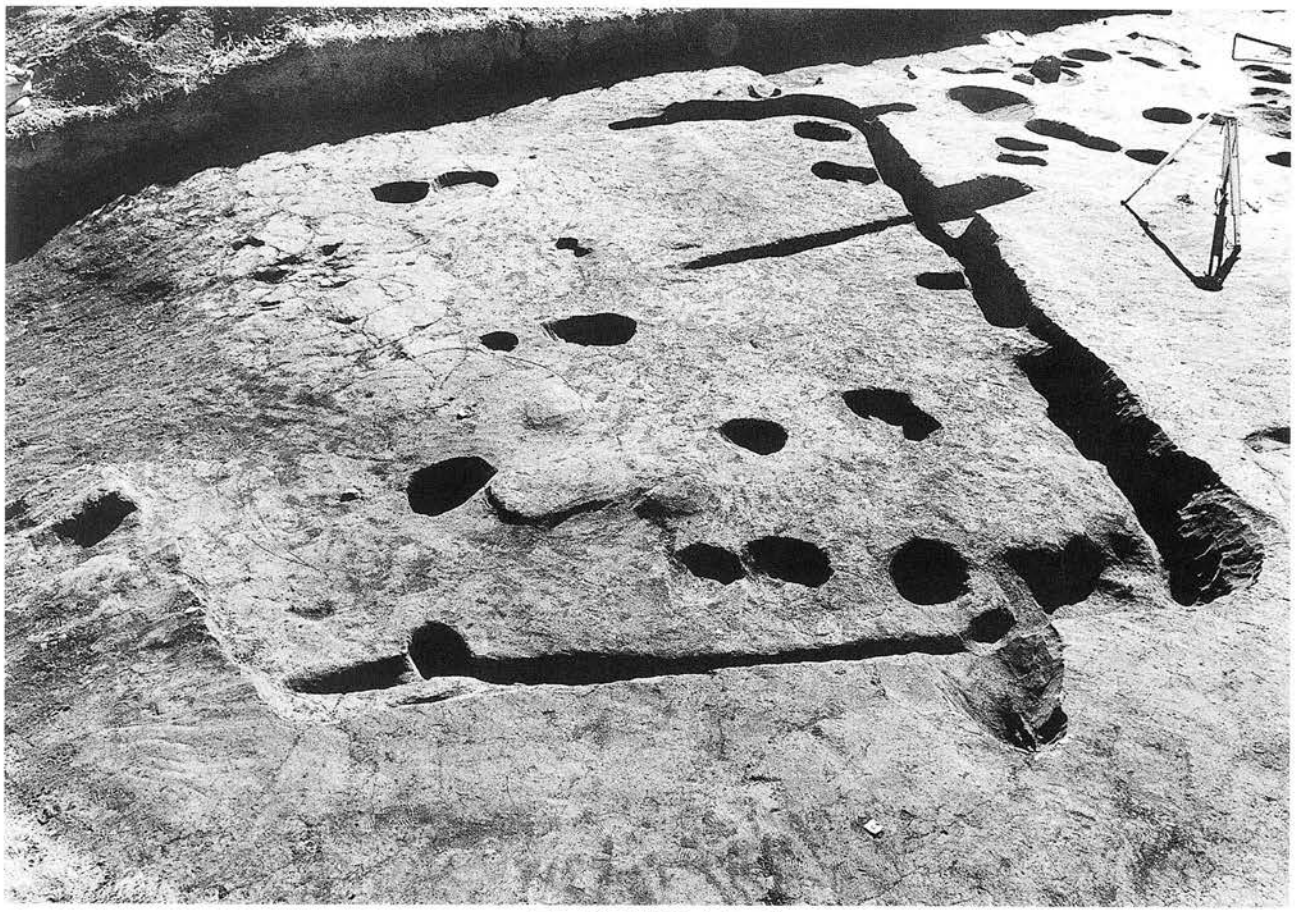
A区１号住居跡遺物出土状況①



A区１号住居跡遺物出土状況②

A区作業風景

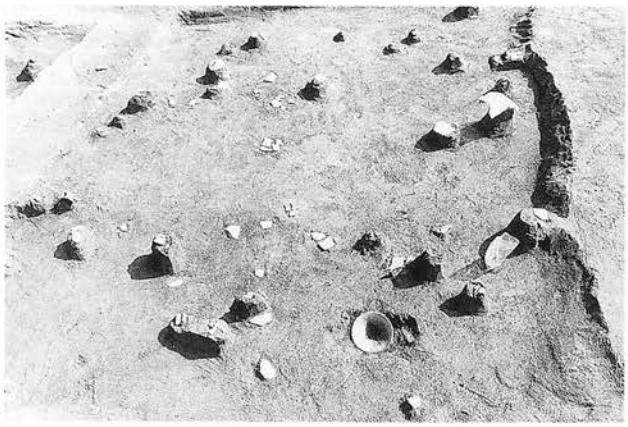
図版 4



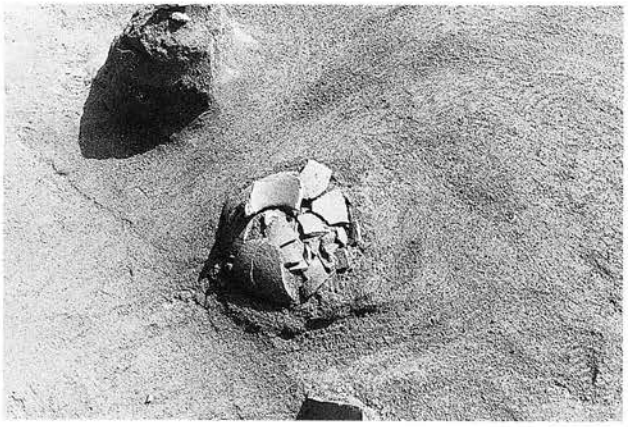
A区２号住居跡①（西から）

A区２号住居跡②（南から）

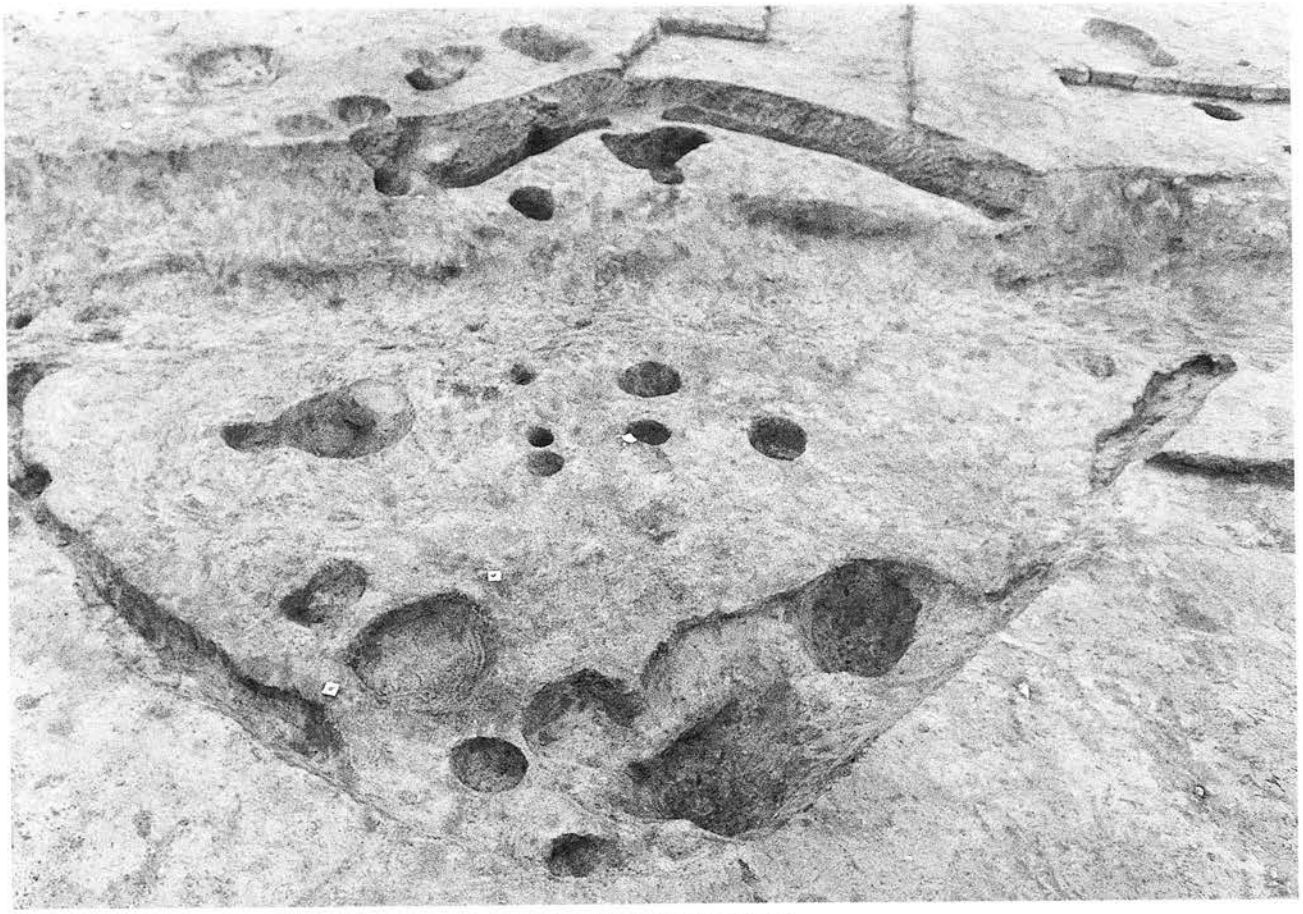
A区２号住居跡遺物出土状況①



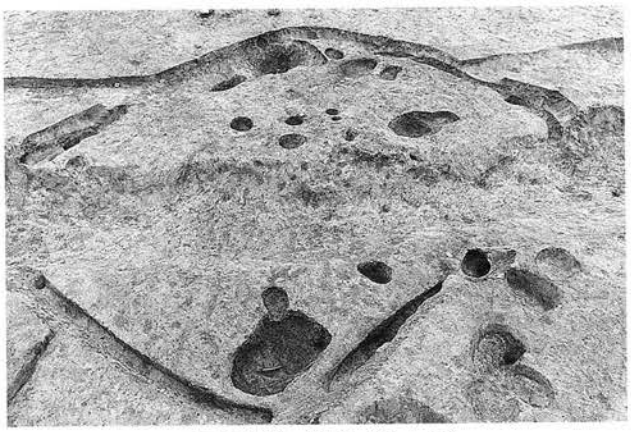
A区２号住居跡遺物出土状況②



A区２号住居跡遺物出土状況③

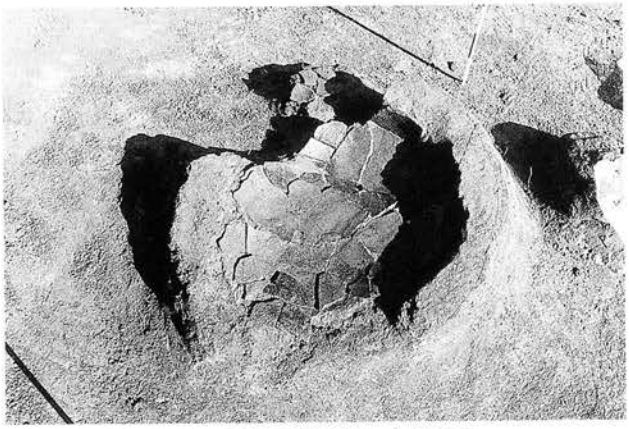


A区 3 号住居跡①（南から）

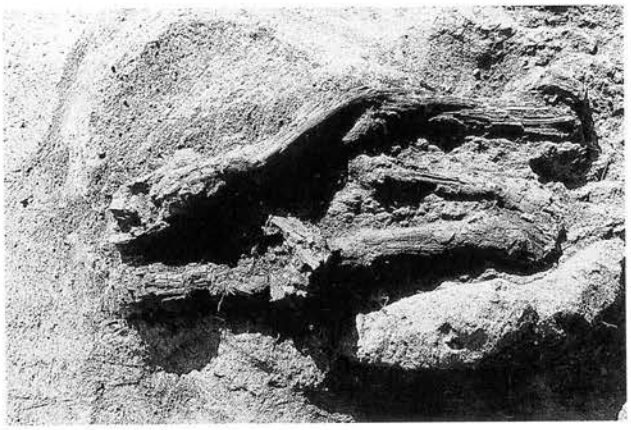


A区 3 号住居跡②（北から）

A区 3 号住居跡遺物出土状況①



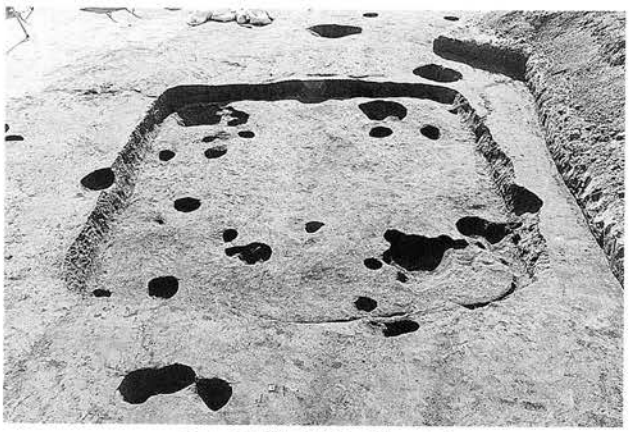
A区 3 号住居跡遺物出土状況②



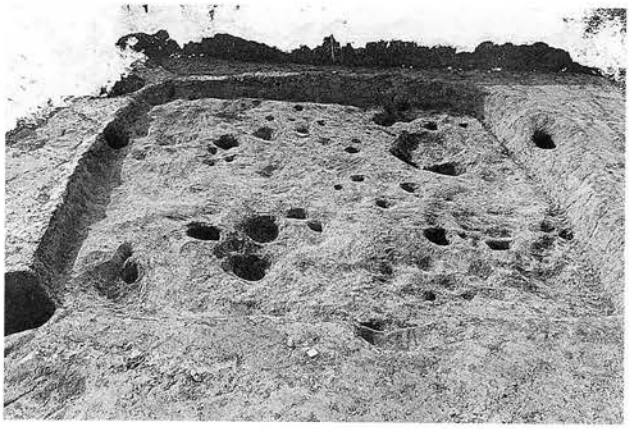
A区 3 号住居跡炭化物出土状況

図版 6

A区 4 号住居跡①（東から）



A区 4 号住居跡②（北から）

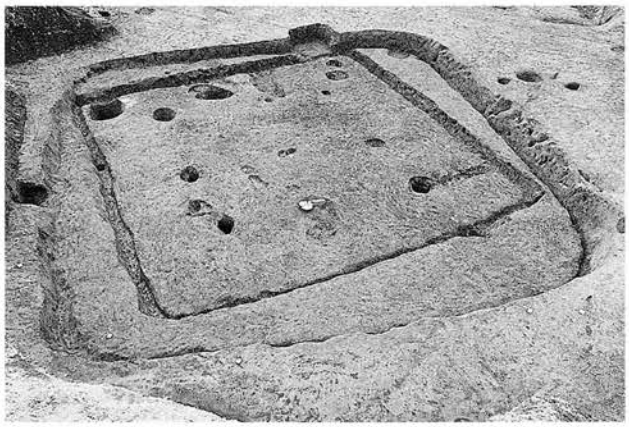


A区 4 号住居跡完堀状況

A区 4 号住居跡遺物出土状況

A区作業風景

A区６・７号住居跡①（真上から）

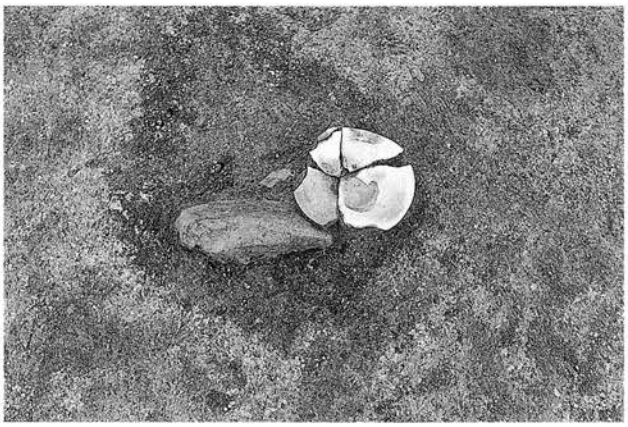


A区６・７号住居跡②（北から）

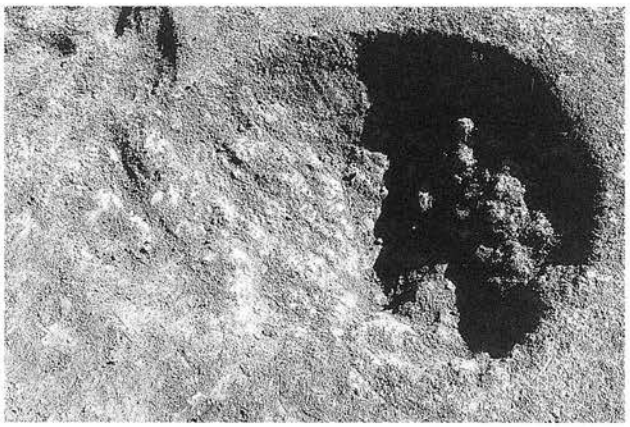
A区６・７号住居跡③（南東から）

図版 8

A区6・7号住居跡完堀状況（北から）

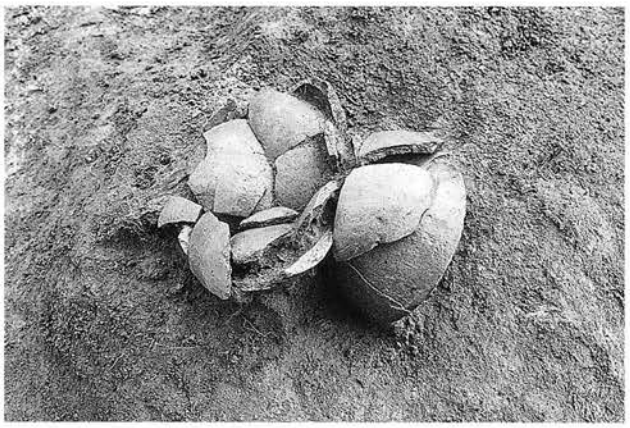


A区6号住居跡地床炉



A区6号住居跡地床炉完堀状況

A区6号住居跡甕出土状況

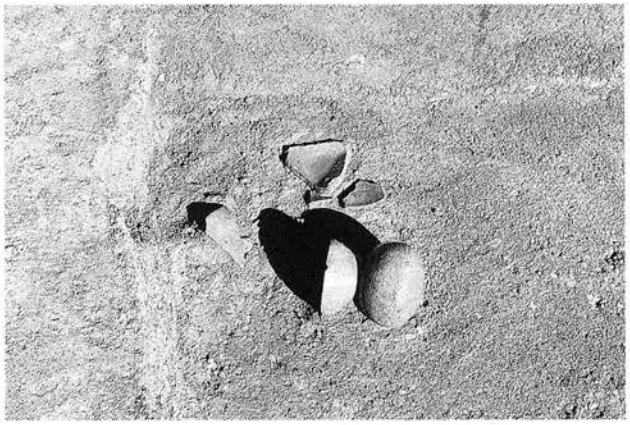


A区6号住居跡壷出土状況

A区 6 号住居跡高坏出土状況①

A区 6 号住居跡高坏出土状況②

A区 6 号住居跡高坏出土状況③

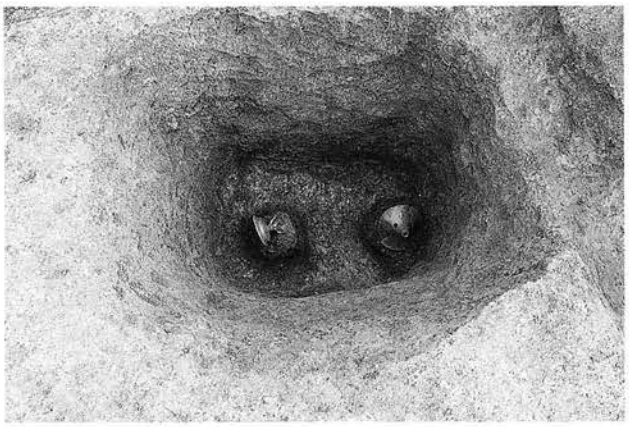


A区 6 号住居跡小型丸底壷出土状況①

A区 6 号住居跡小型丸底壷出土状況②

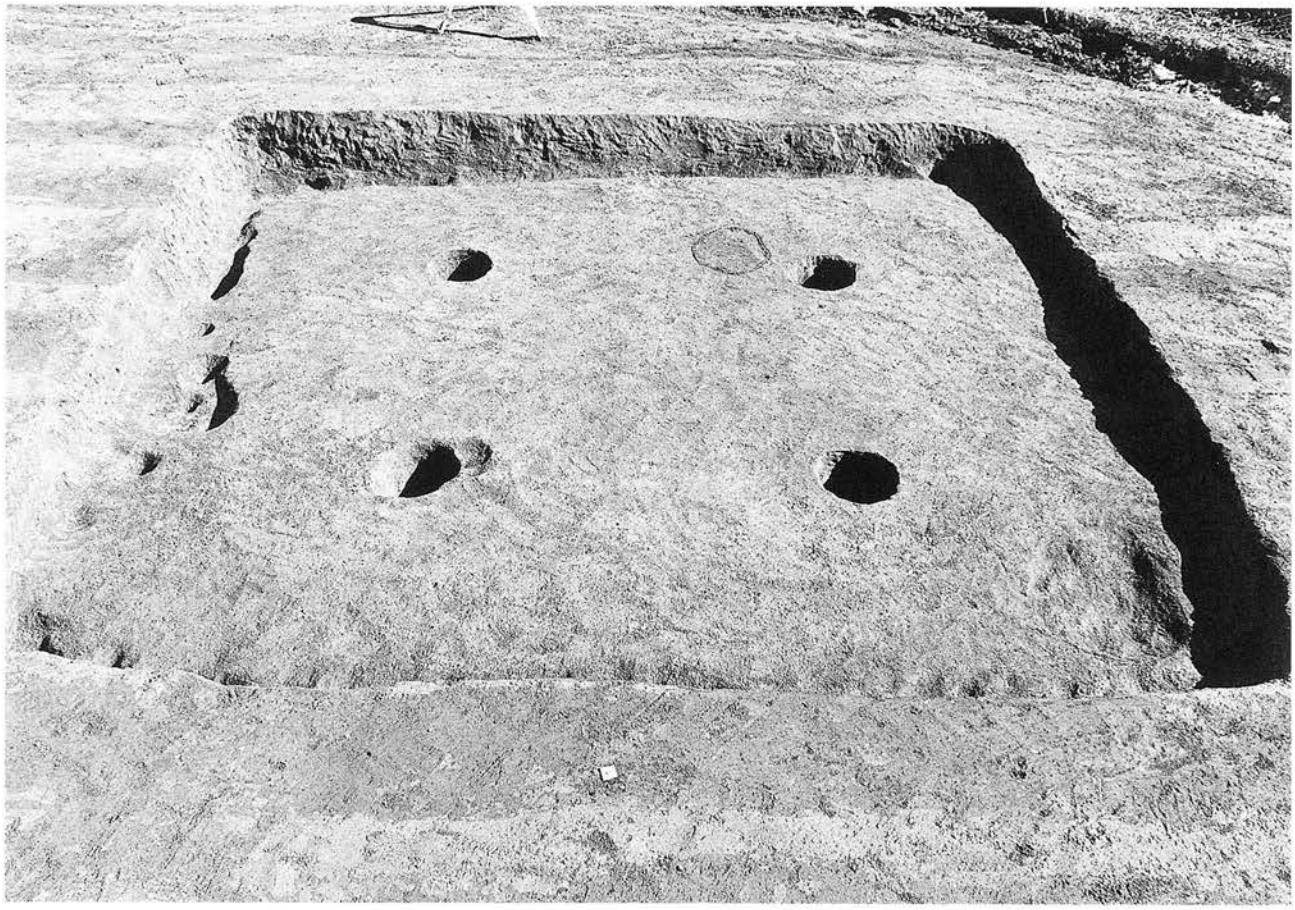
A区 6 号住居跡小型丸底壷出土状況③

A区 7 号住居跡 S 字甕出土状況



A区 7 号住居跡ピット 3 器台出土状況

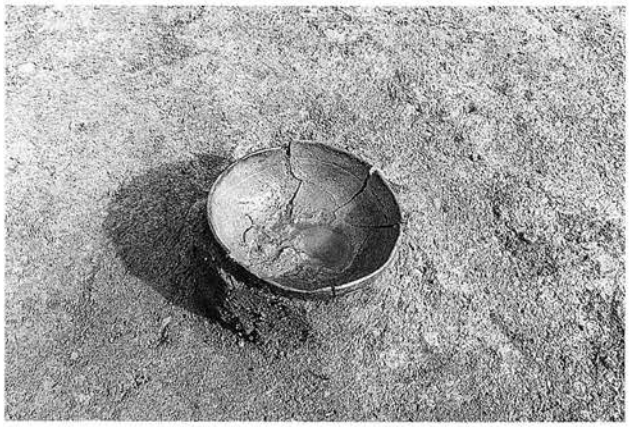
図版10



A区９号住居跡（西から）

A区９号住居跡遺物出土状況

A区９号住居跡壷出土状況



A区９号住居跡埦出土状況①

A区９号住居跡埦出土状況②

A区14・15号住居跡①（東から）

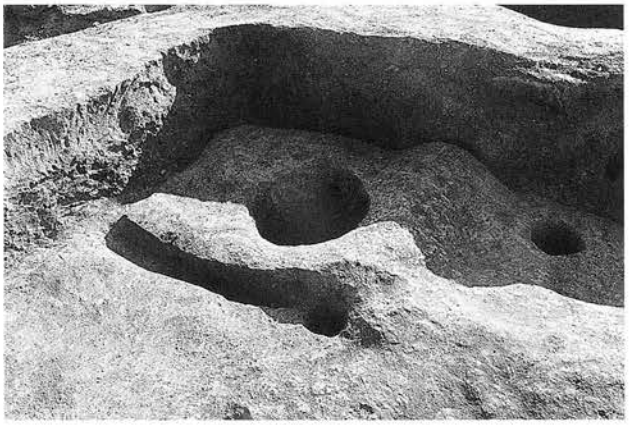
A区14・15号住居跡②（南から）

A区14・15号住居跡③（北から）

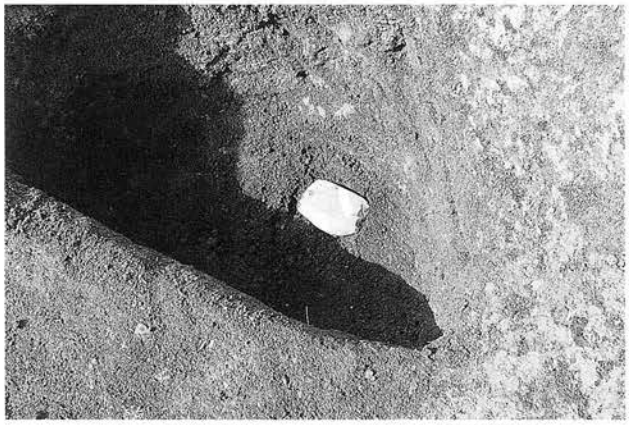
A区14号住居跡炭化物出土状況①

A区14号住居跡炭化物出土状況②

図版12



A区14号住居跡ピット2

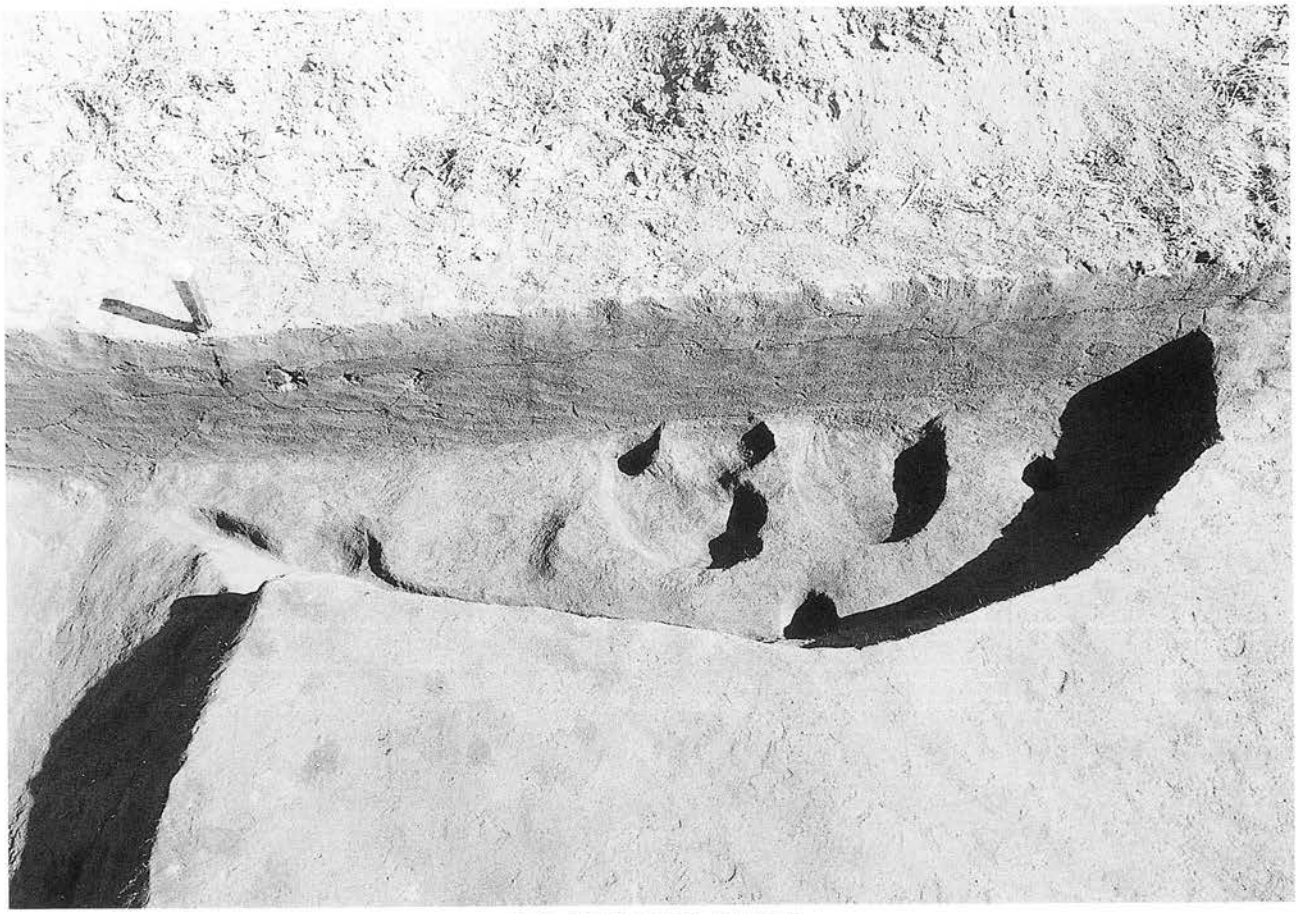


A区14号住居跡ピット2磨製石斧出土状況

A区16号住居跡①（東から）

A区16号住居跡②（南から）

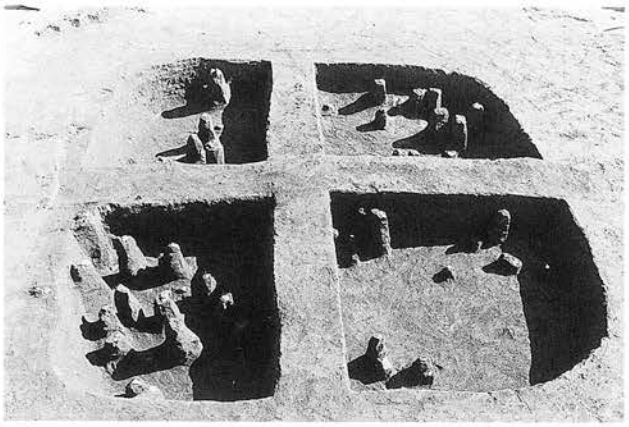
A区16号住居跡地床炉



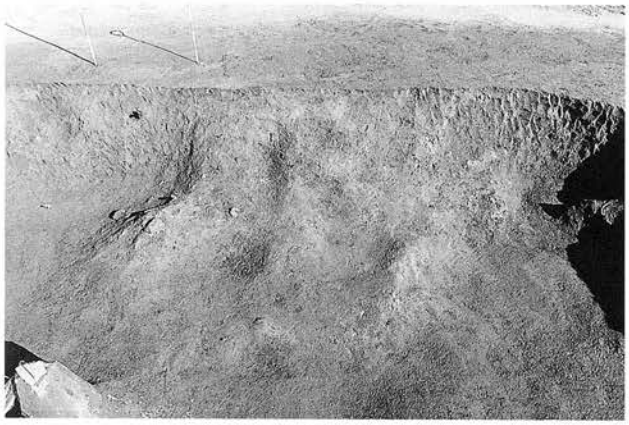
A区１号竪穴状遺構（西から）

A区５号住居跡（西から）

図版14



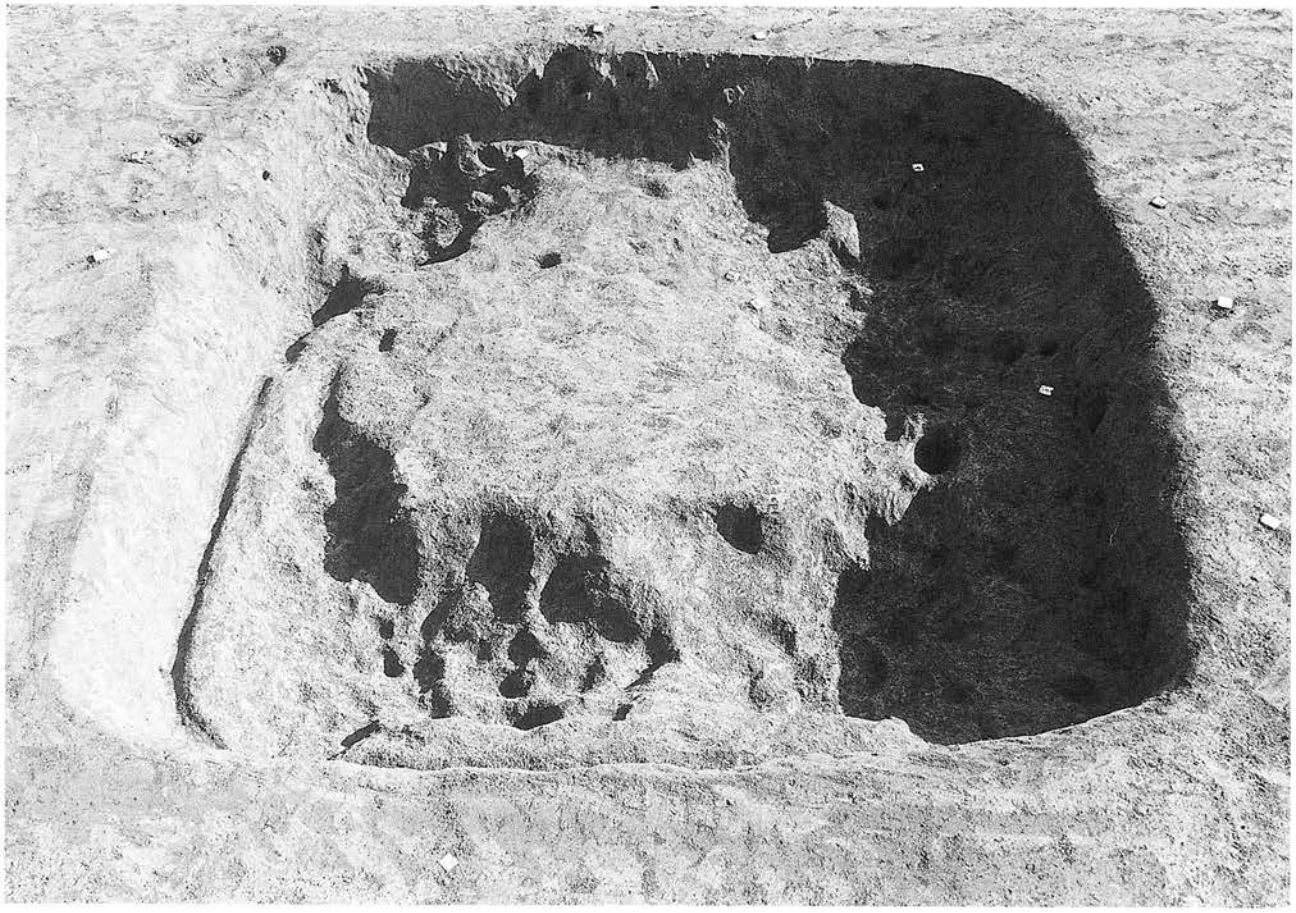
A区５号住居跡遺物出土状況



A区５号住居跡カマド①

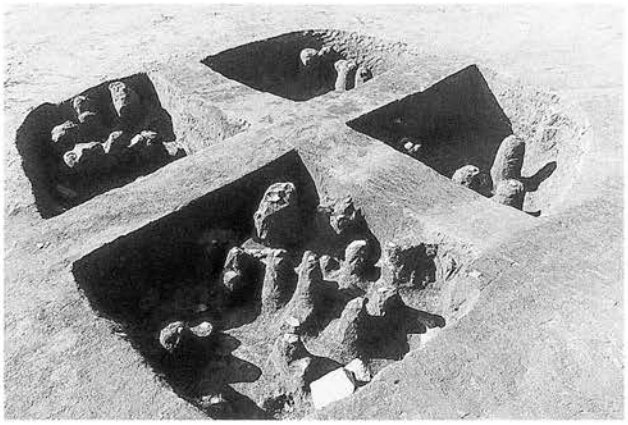
A区５号住居跡カマド遺物出土状況

A区５号住居跡カマド②

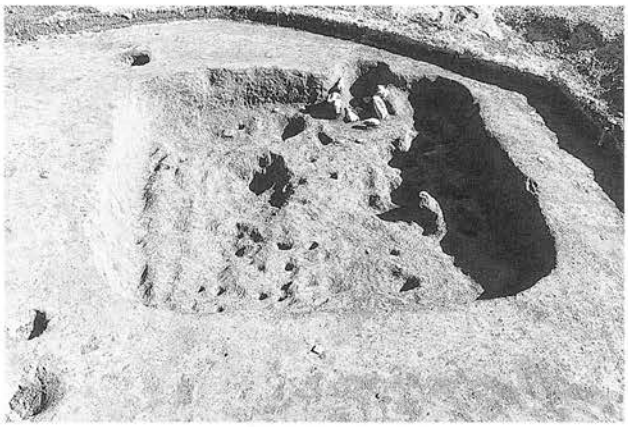


A区５号住居跡完堀状況（西から）

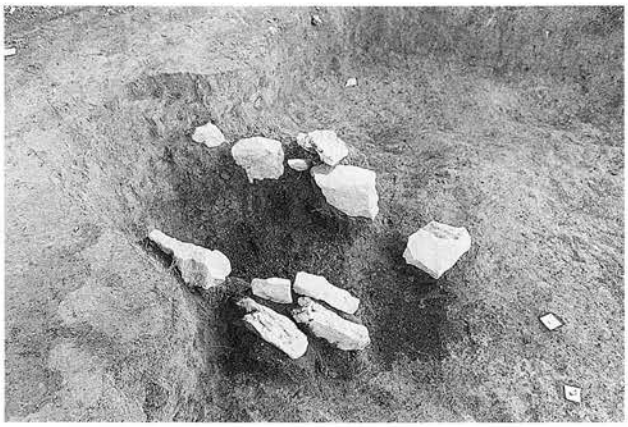
A区８号住居跡



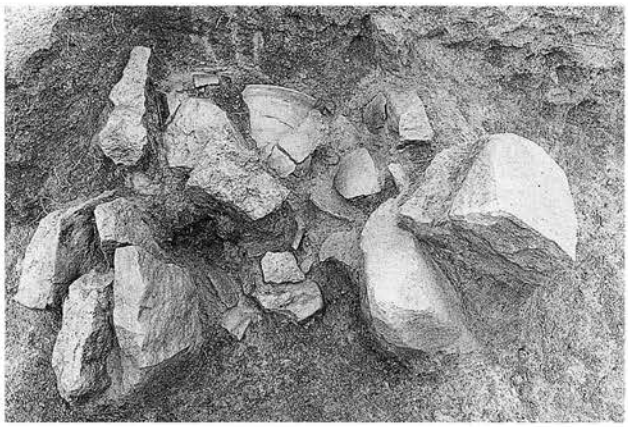
A区８号住居跡遺物出土状況



A区８号住居跡完堀状況

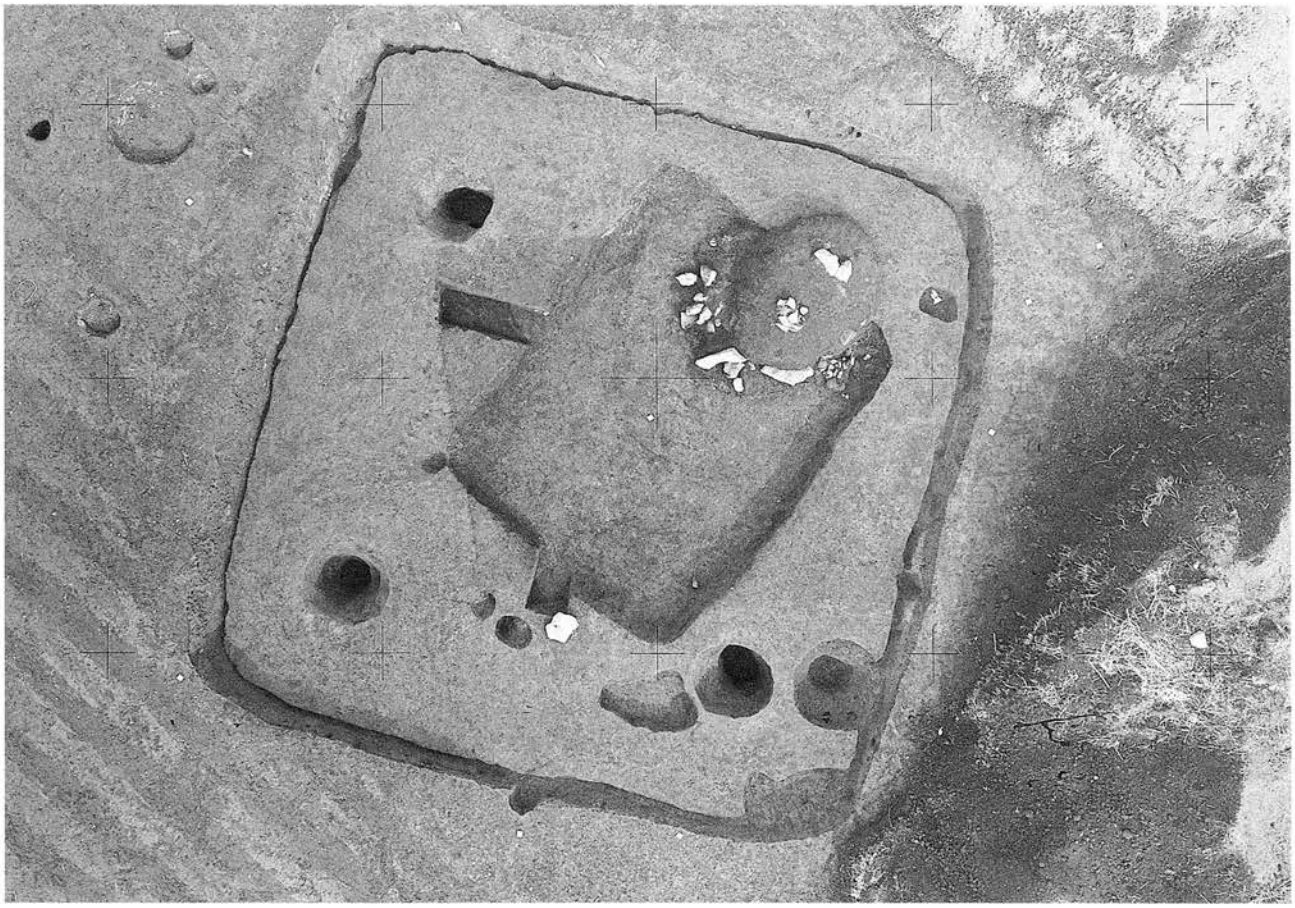


A区８号住居跡カマド



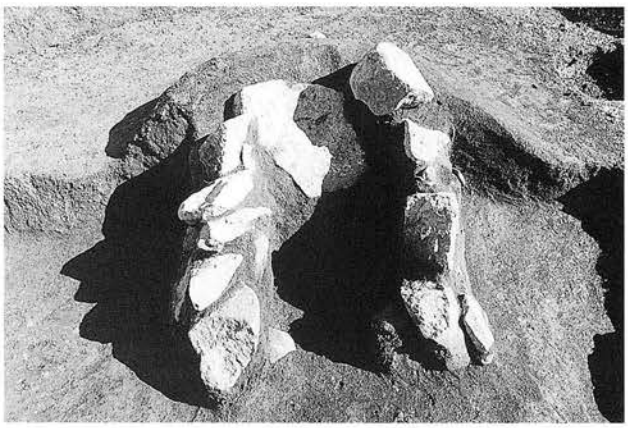
A区８号住居跡カマド遺物出土状況

図版16

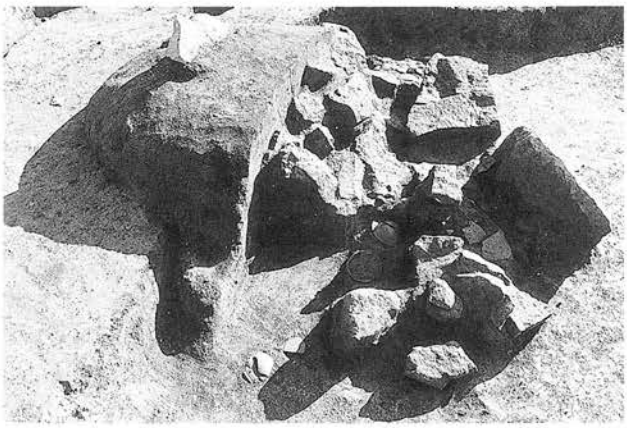


A区10・15号住居跡（真上から）

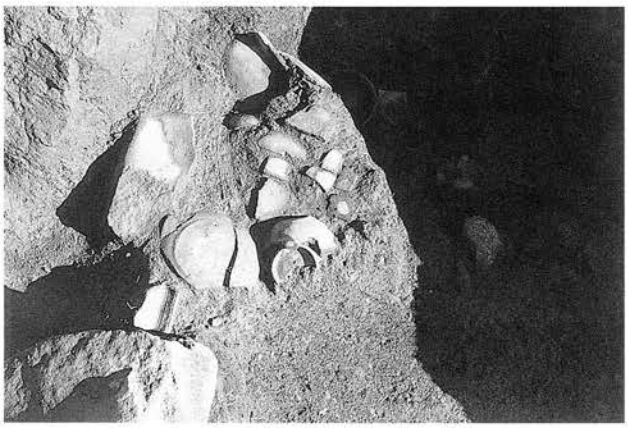
A区10号住居跡（西から）



A区10号住居跡カマド

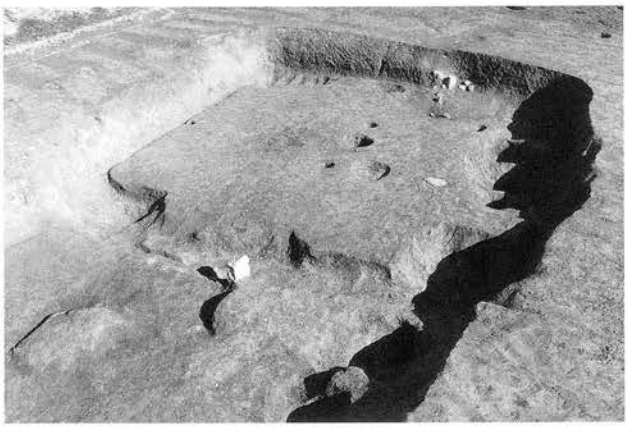


A区10号住居跡カマド遺物出土状況①

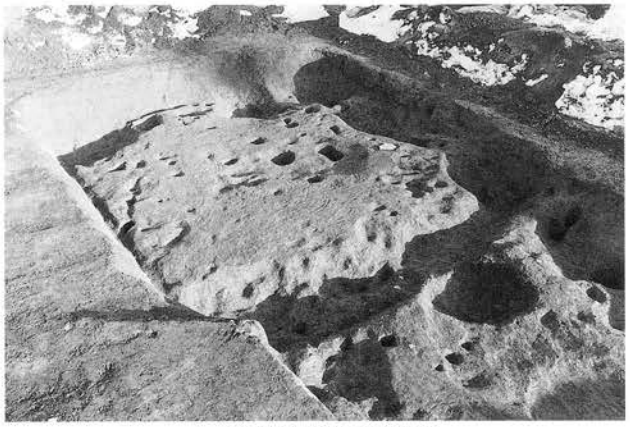


A区10号住居跡カマド遺物出土状況②

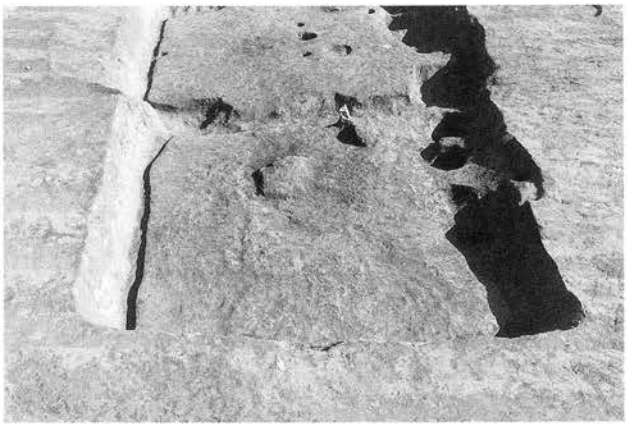
A区12・13号住居跡（東から）



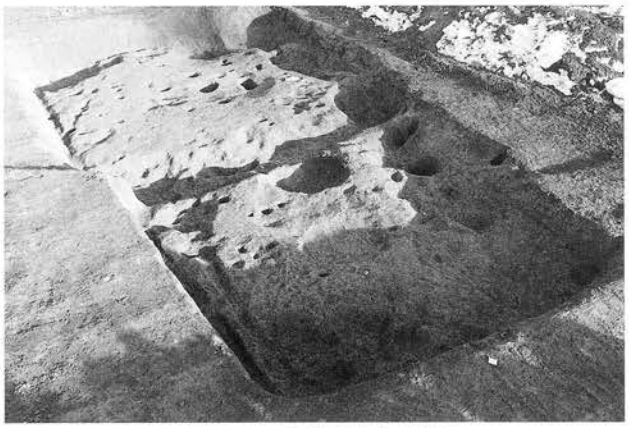
A区12号住居跡



A区12号住居跡完堀状況

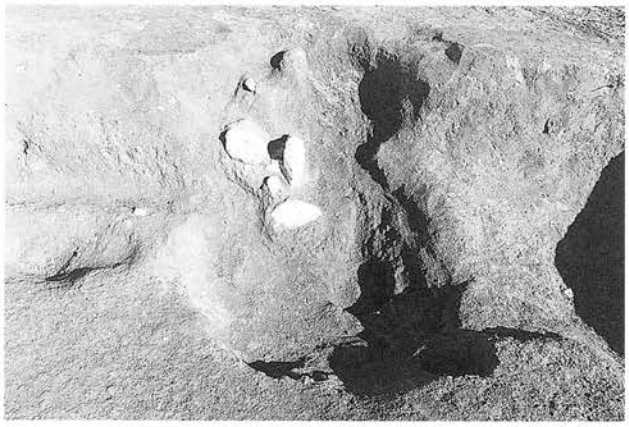


A区13号住居跡



A区12・13号住居跡完堀状況

図版18

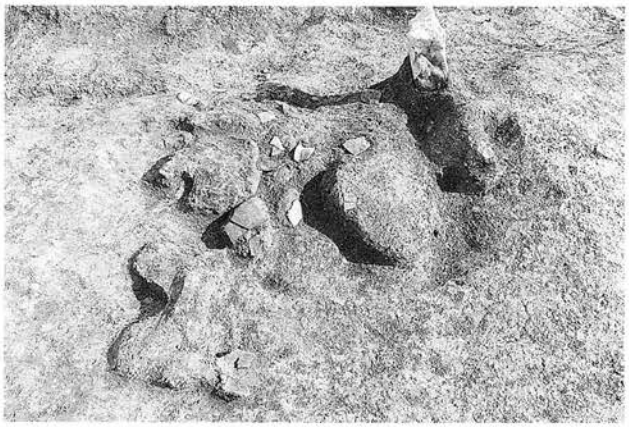


A区12号住居跡カマド

A区12号住居跡カマド完堀状況

A区13号住居跡カマド

A区13号住居跡カマド遺物出土状況①

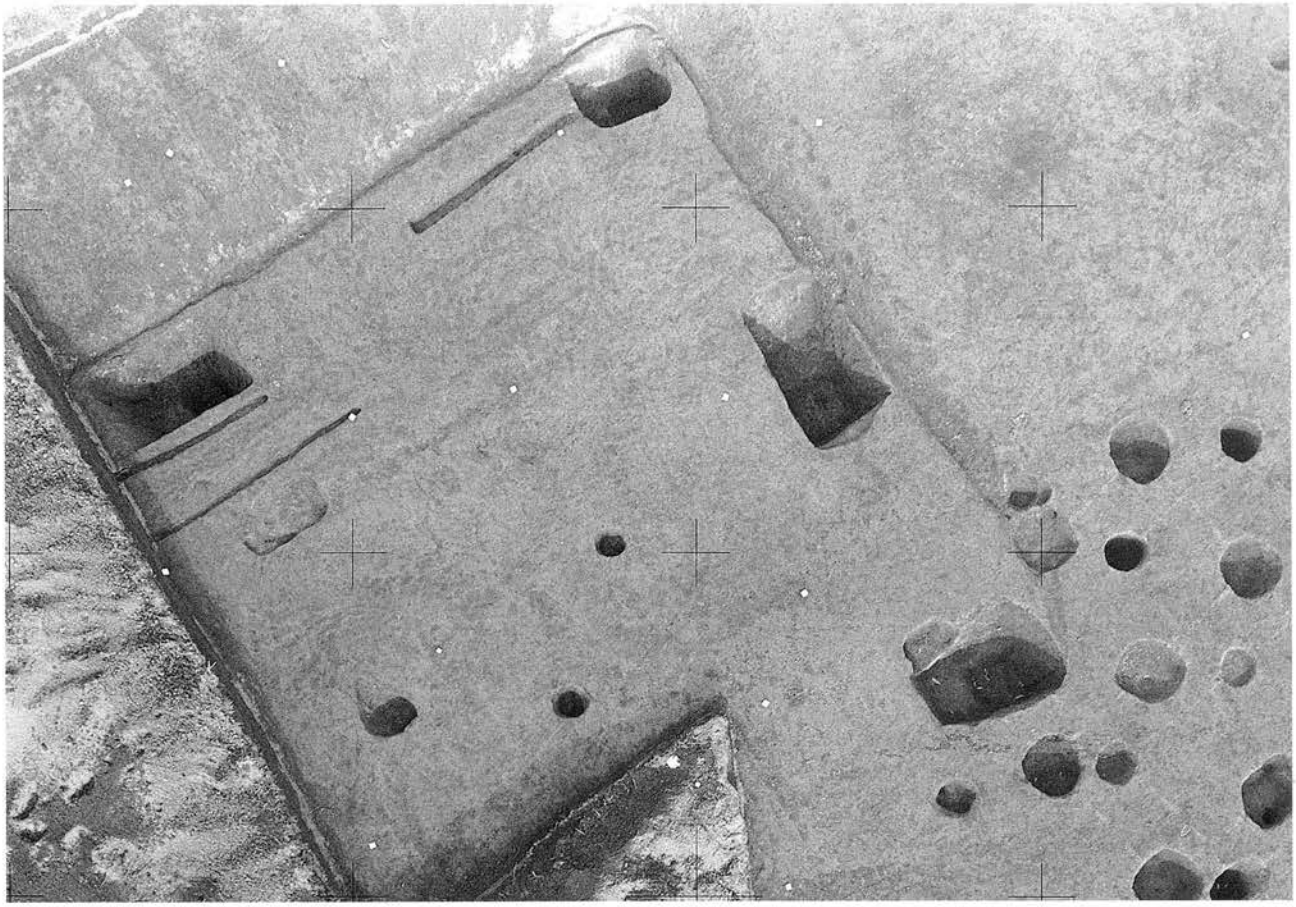


A区13号住居跡カマド遺物出土状況②

A区12号住居跡遺物出土状況①

A区12号住居跡遺物出土状況②

A区12号住居跡遺物出土状況③

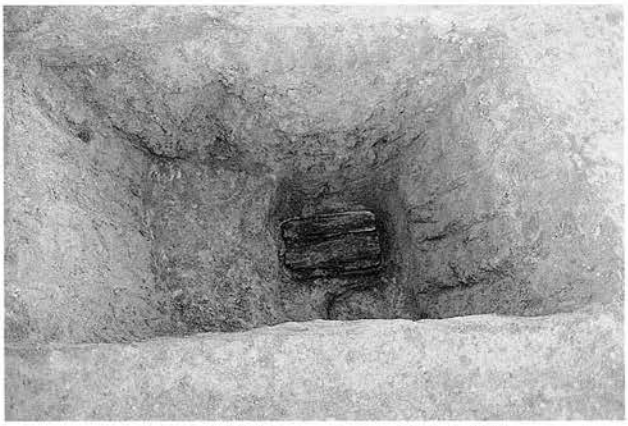


A区近代建物跡①（真上から）

A区近代建物跡②（西から）

A区近代建物跡③（南東から）

A区近代建物跡遺物出土状況

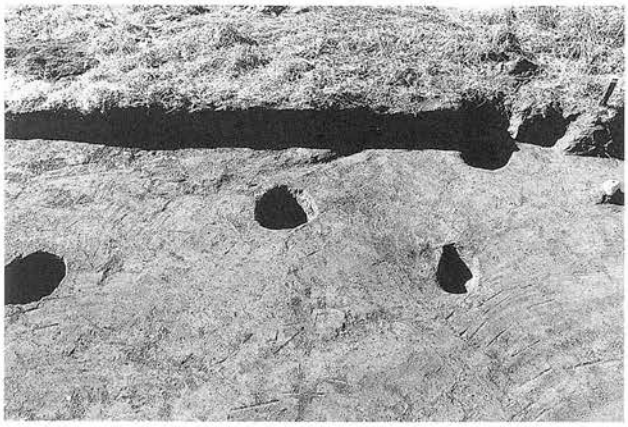


A区近代建物跡ピット3底板出土状況

図版20

A区１・２号溝①（東から）

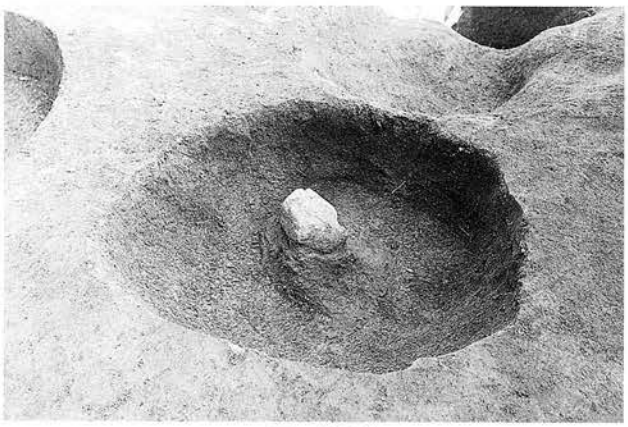
A区１・２号溝②（西から）



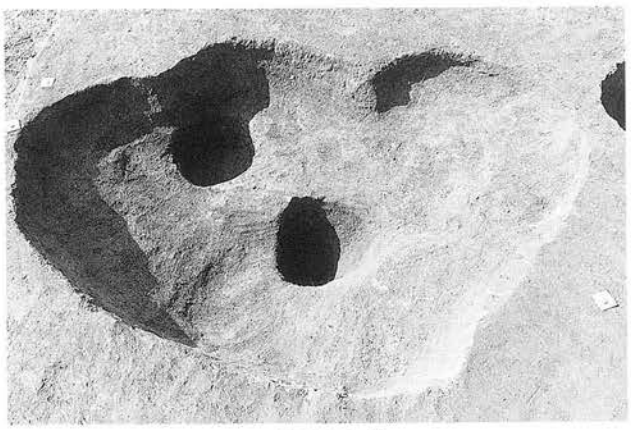
A区１号堀立柱建物跡

A区２・３号堀立柱建物跡

A区１・２・３・４・５号土坑

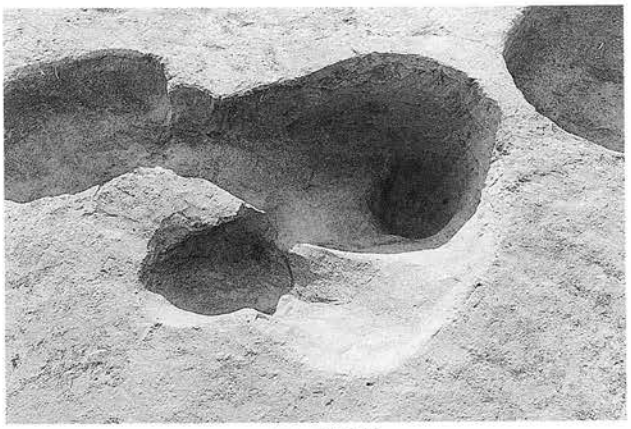


A区６号土坑

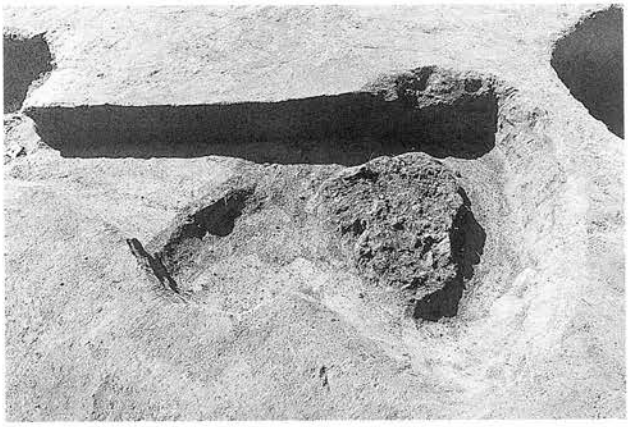


A区７号土坑

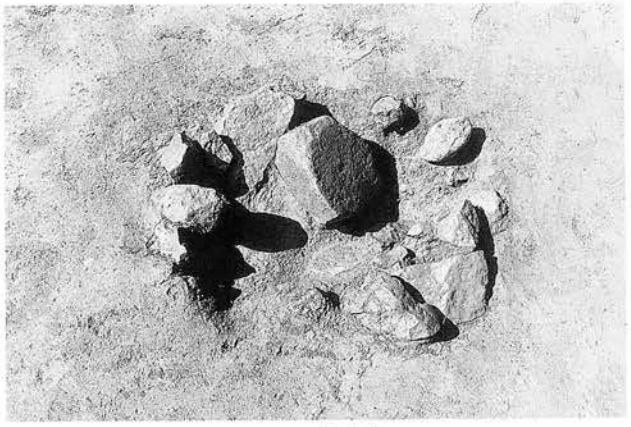
A区８・９号土坑



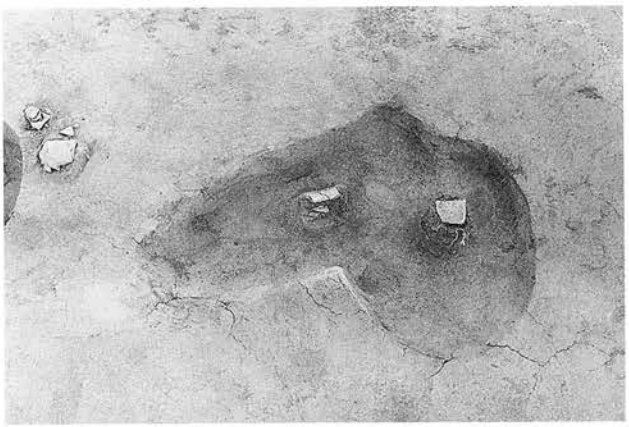
A区10号土坑



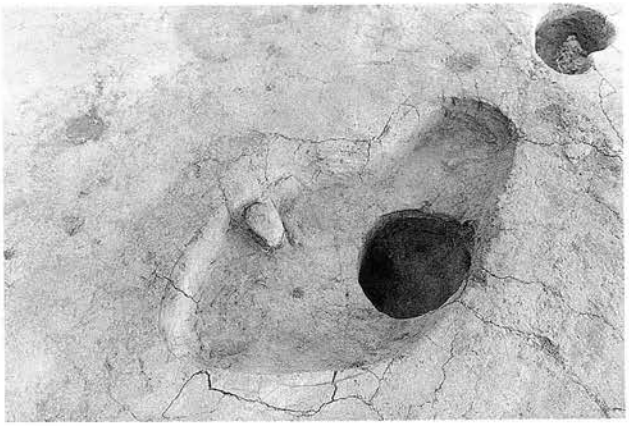
A区10号土坑炭化物出土状況



A区11号土坑



A区12号土坑



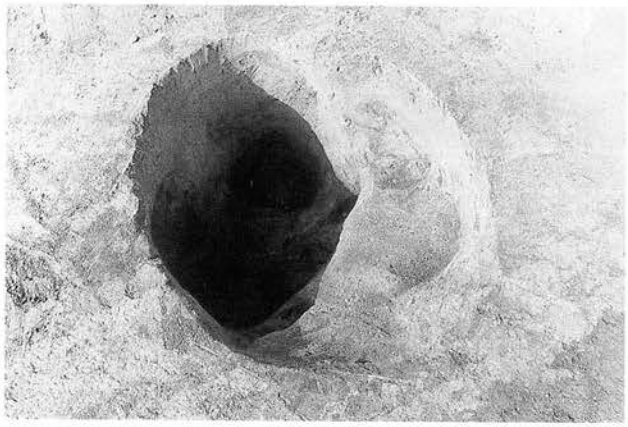
A区13号土坑

A区15・16号土坑

図版22

A区29号土坑

A区33号土坑

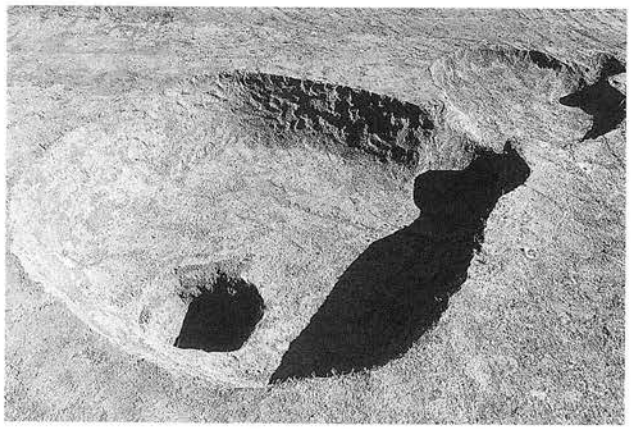


A区34号土坑

A区35号土坑①

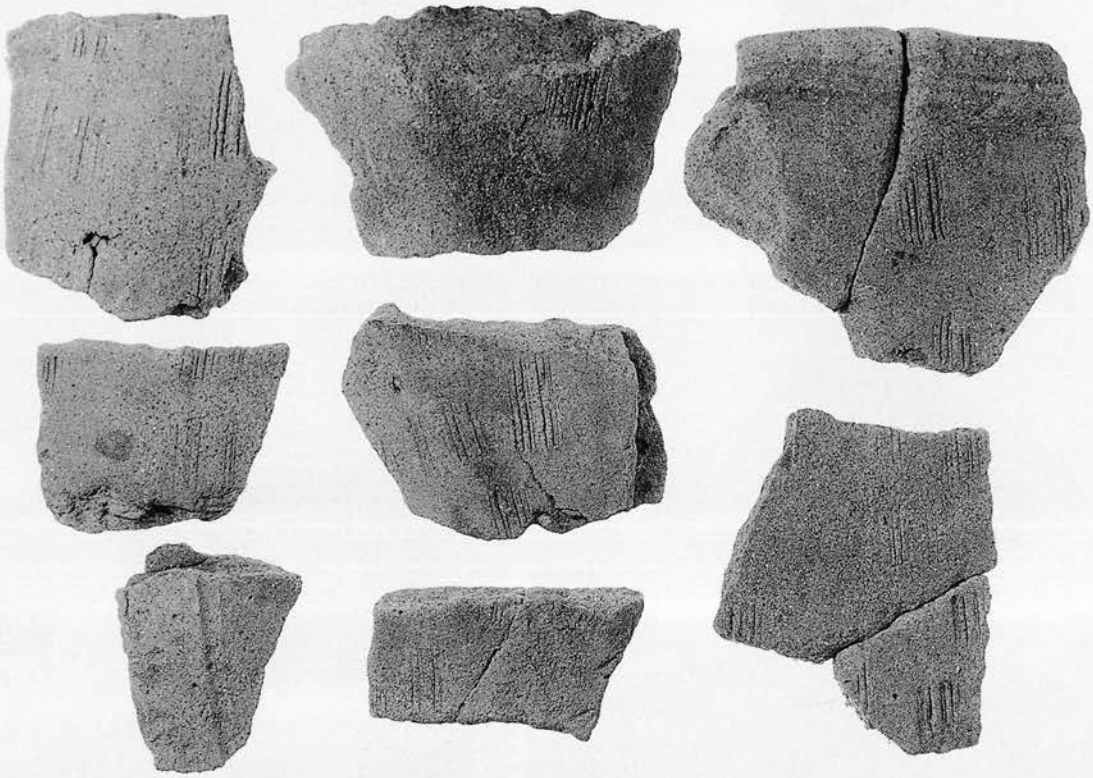
A区35号土坑②

A区35号土坑遺物出土状況

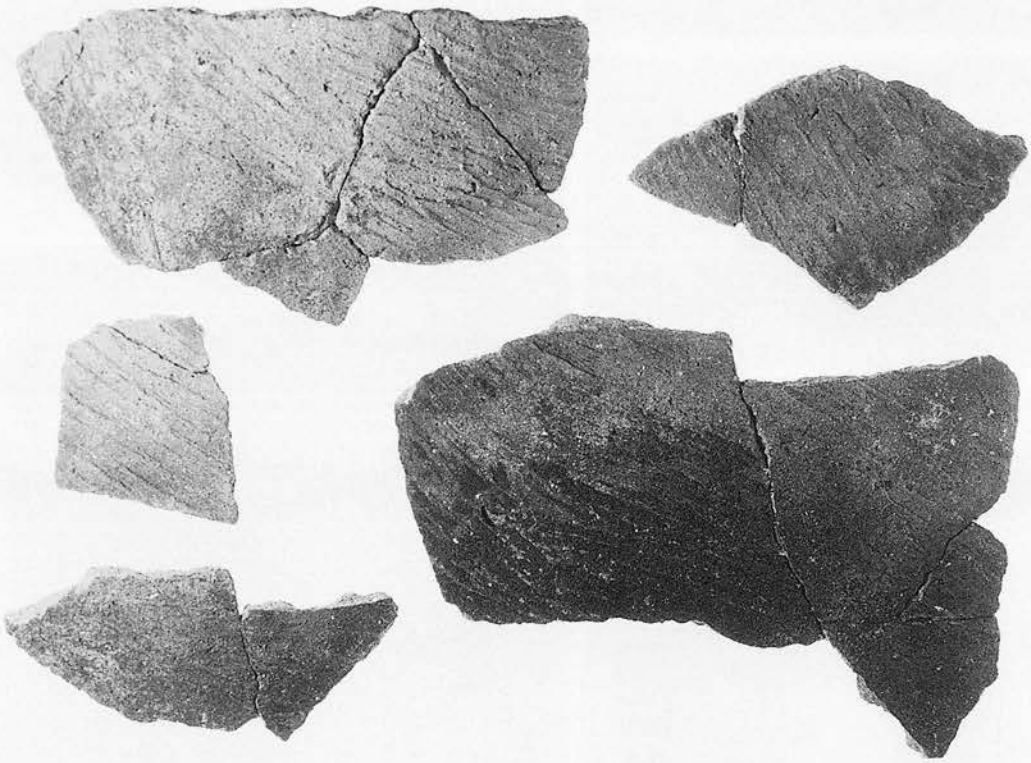


A区36・37号土坑

A区38号土坑

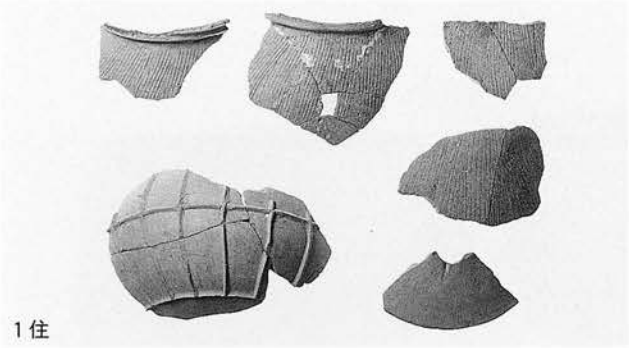


縄文土器



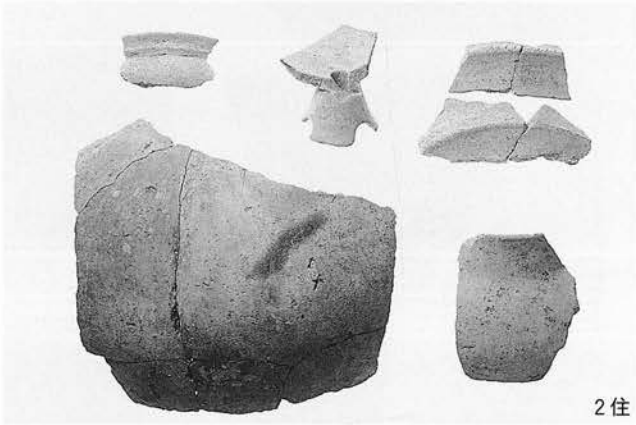
35号土坑出土弥生土器

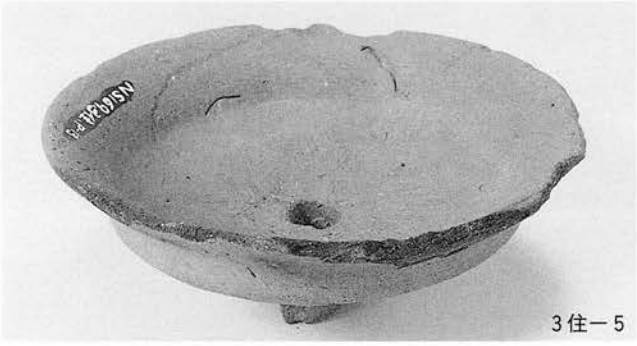
A区出土土器①

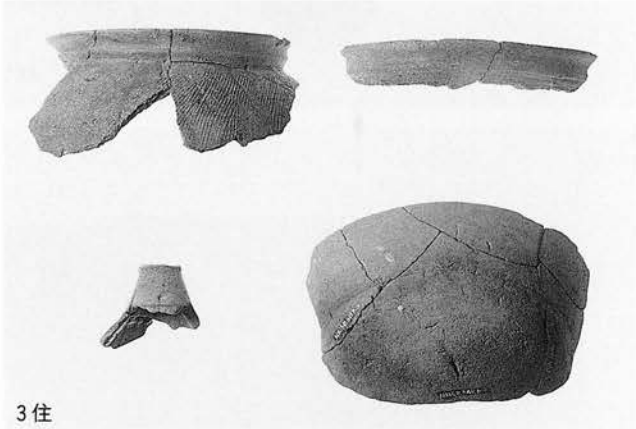

1住

2住－3

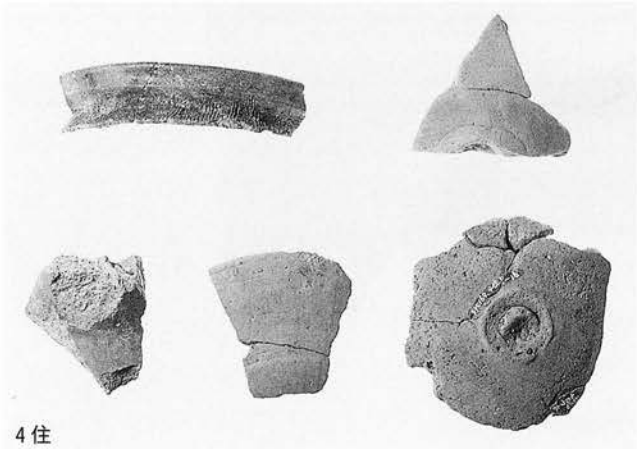
2住－15


2住


3住－5

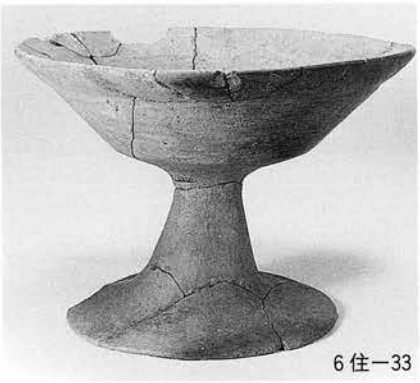

3住

4住－2


4住

4住－7

A区出土土器②


6住−33

6住−34

6住−35

6住−49

6住−50

6住−57

6住−51

6住−26

6住−28

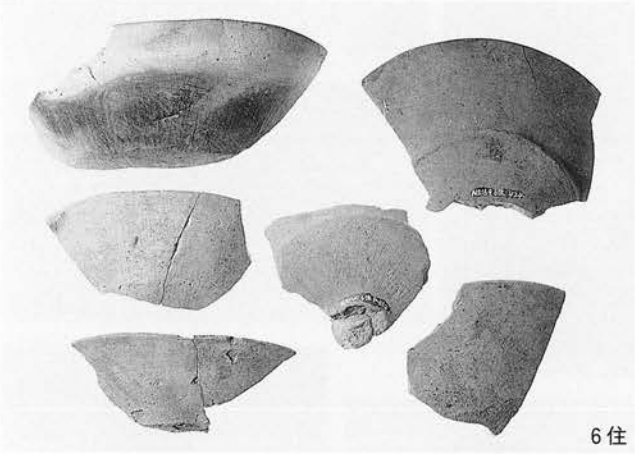
6住−23

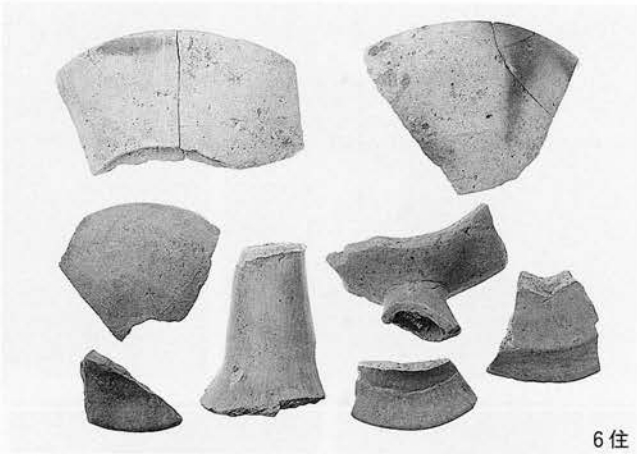
6住−24

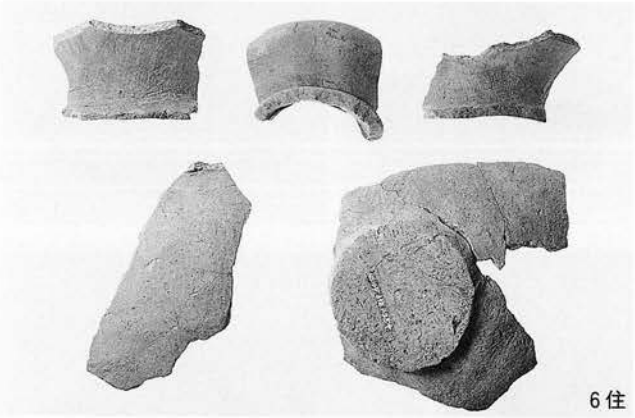
6住−25

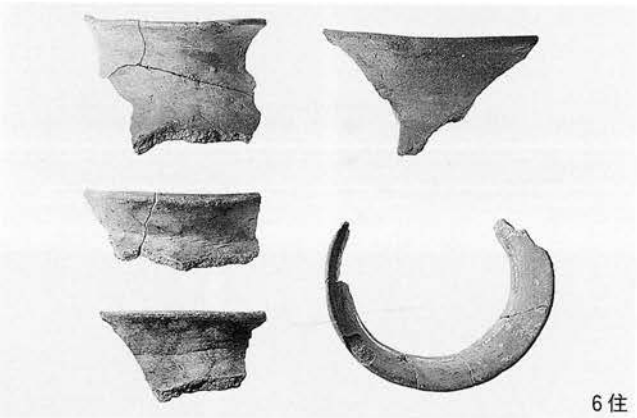
6住

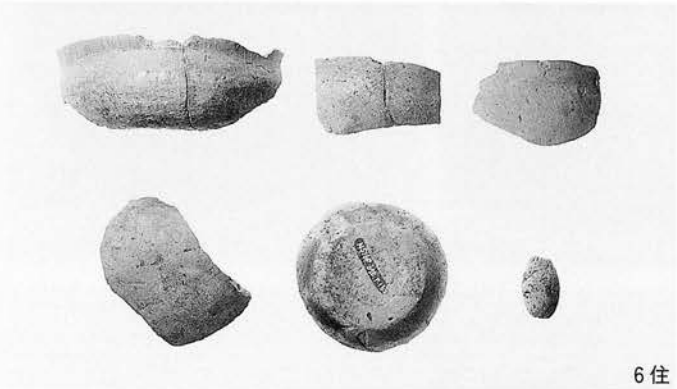
A区出土土器③

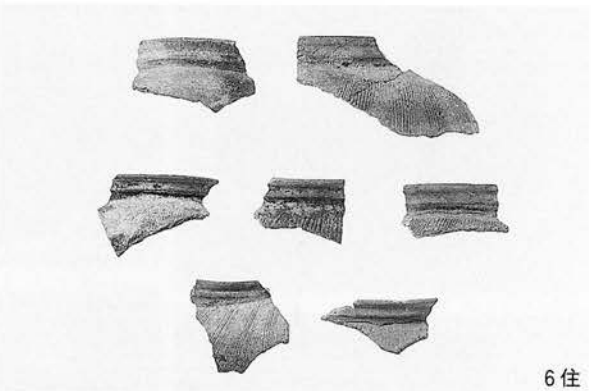


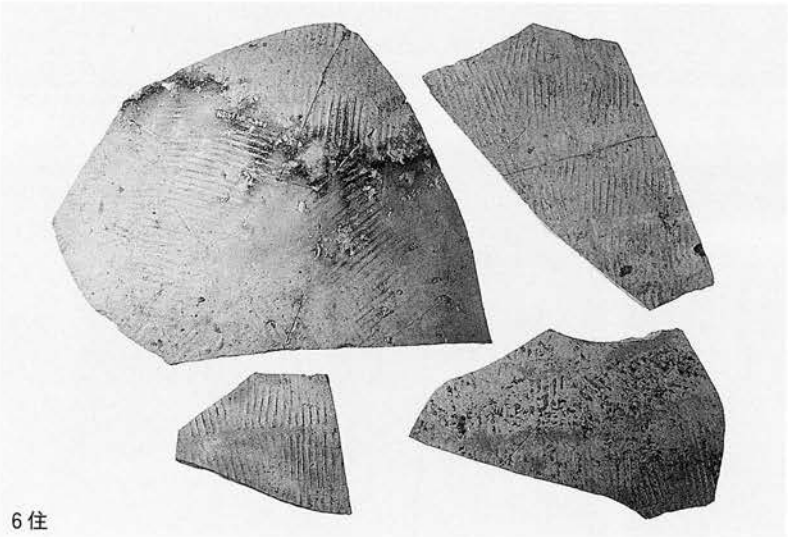






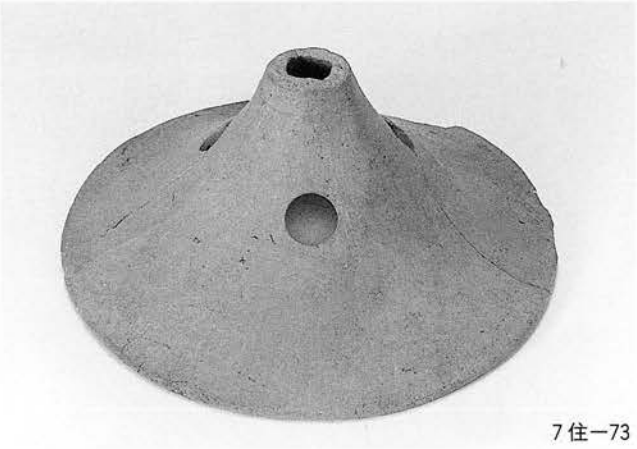






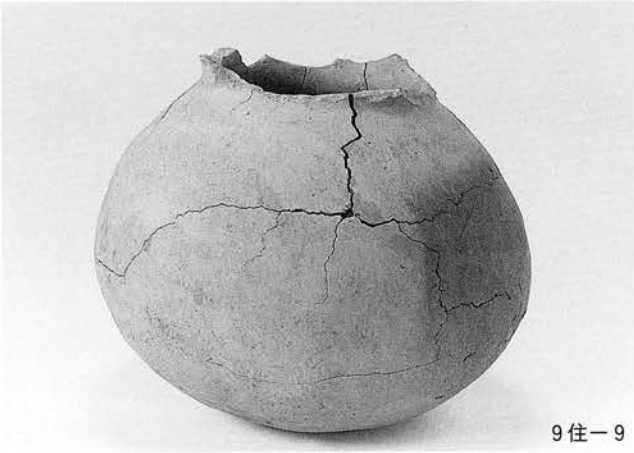
A区出土土器④

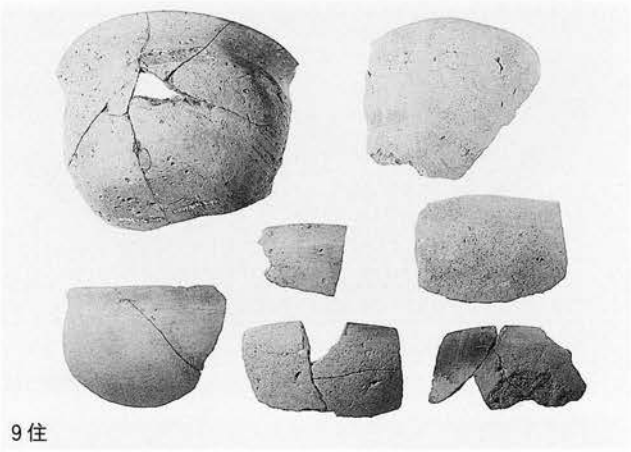
7住ー71

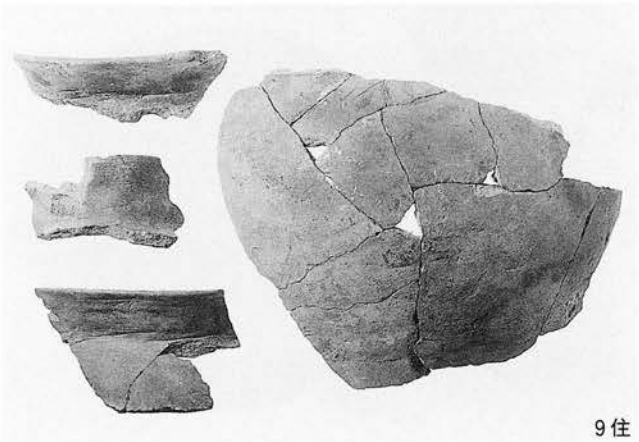

7住ー73

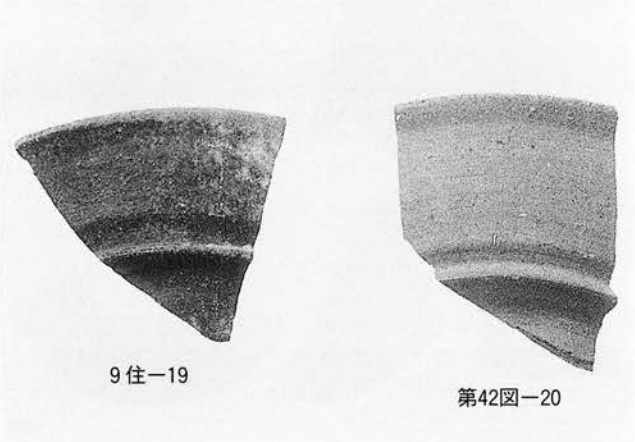
9住ー10

9住ー11


9住ー9

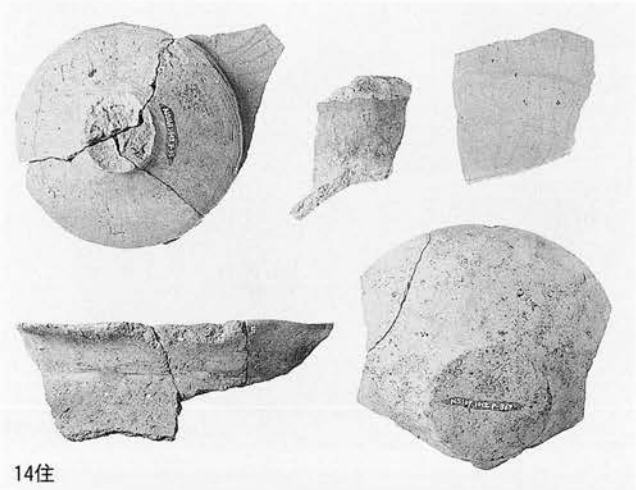

9住


9住

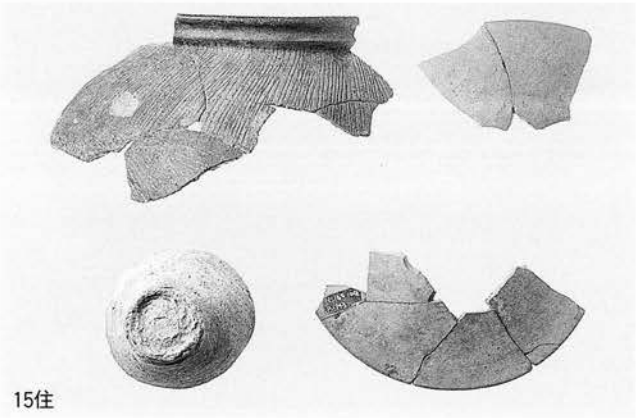

9住ー19

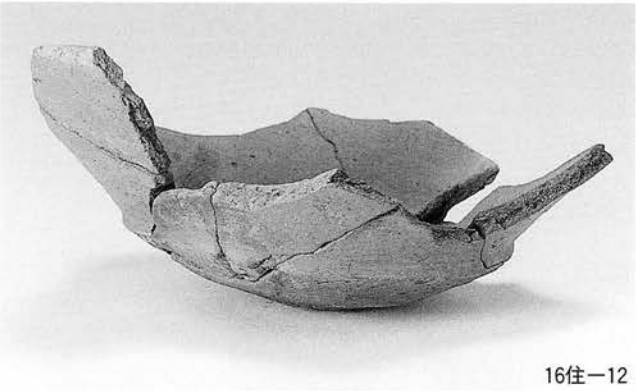
第42図ー20

A区出土土器⑤

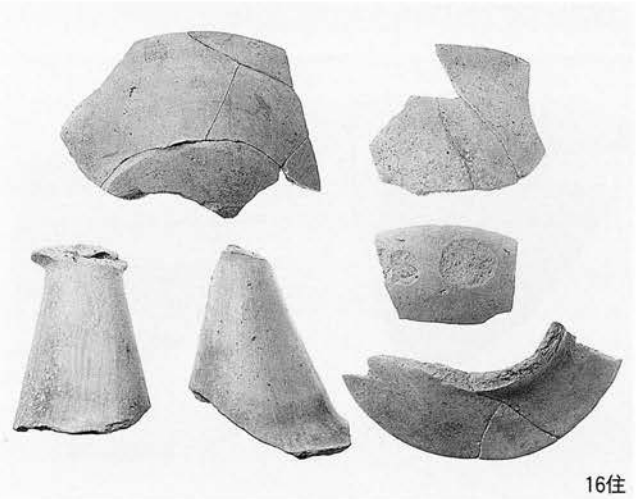

14住

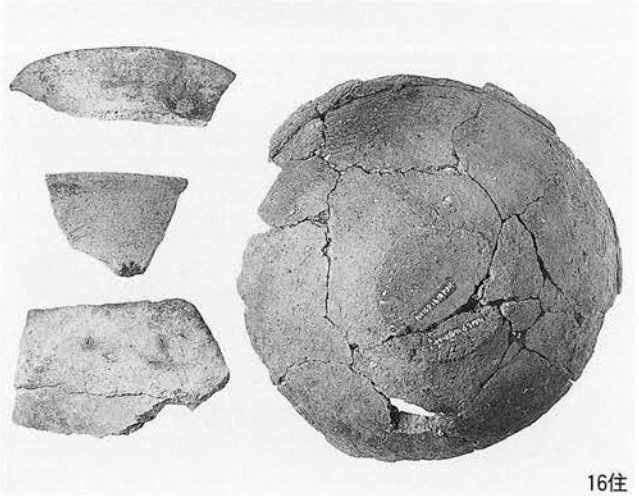
14住


15住


16住ー12

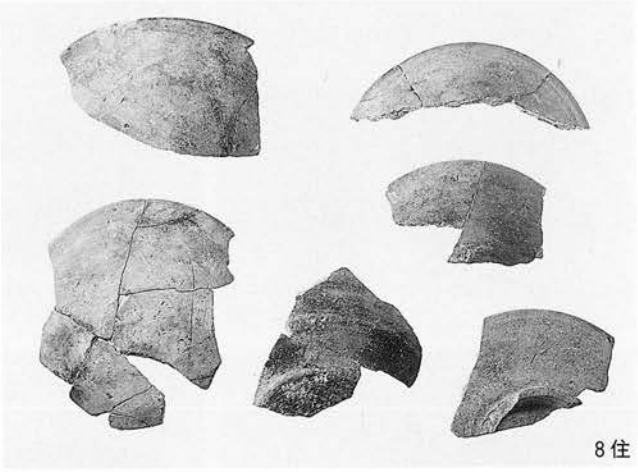
16住ー11

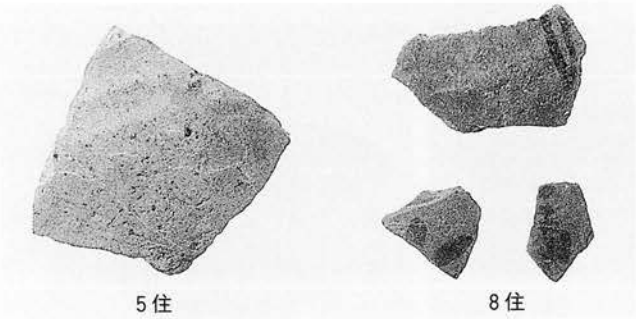

16住

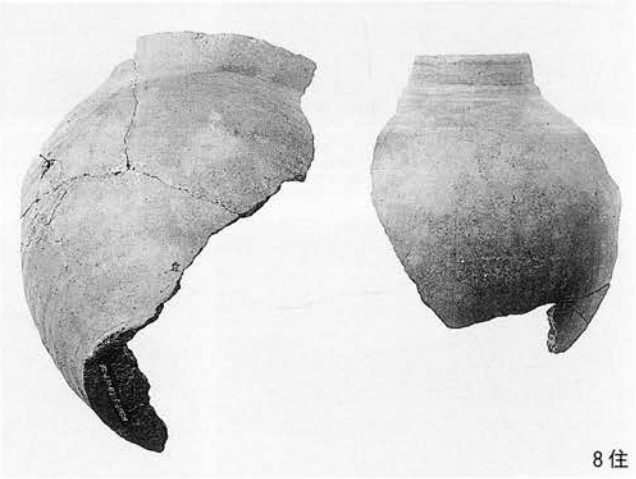

16住

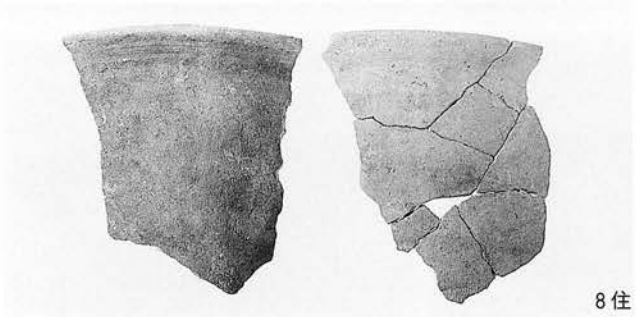
A区出土土器⑥

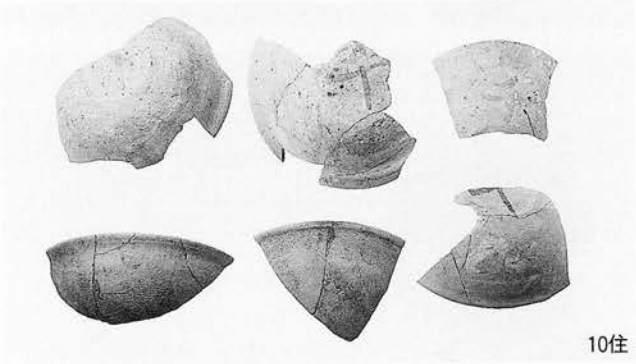
5住ー2


8住

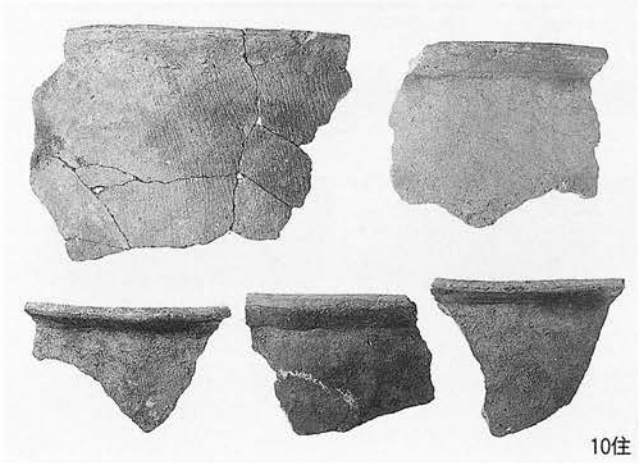

5住　8住

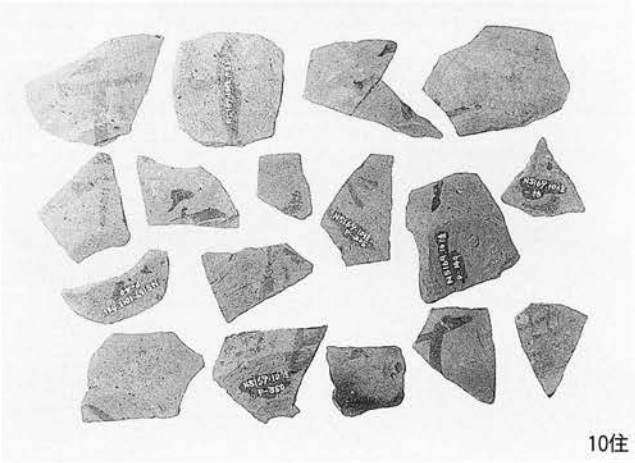

8住


8住


10住

10住


10住


10住

A区出土土器⑦

図版30

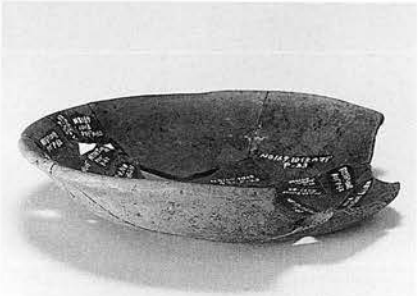
10住ー22

10住ー1

10住ー3

10住ー2

10住ー30


10住ー29

10住ー33

10住ー31

10住ー25

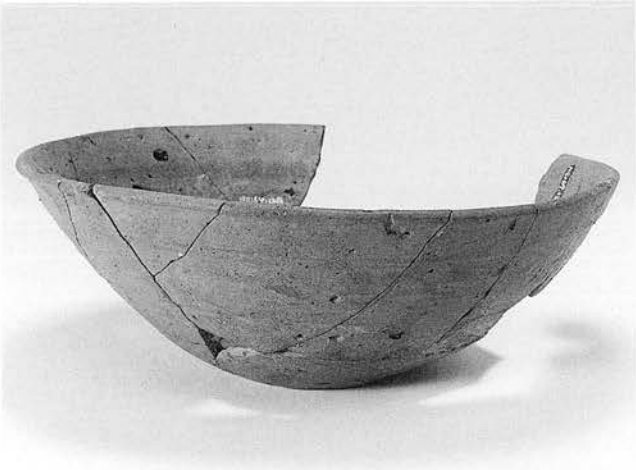
10住

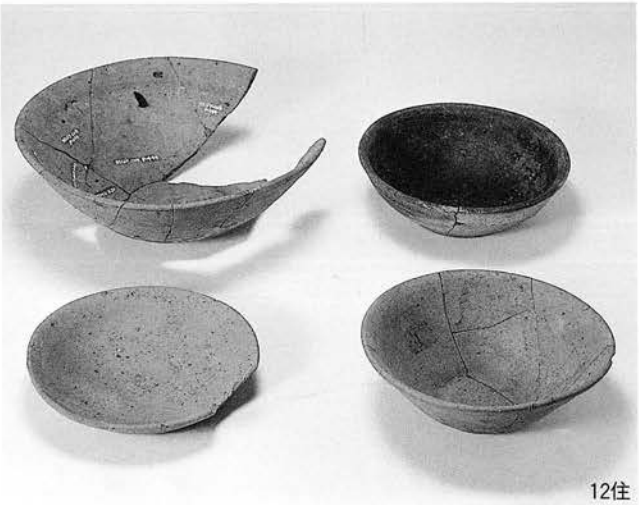
A区出土土器⑧

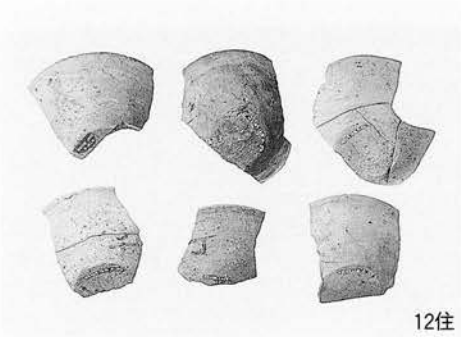
12住－2

12住－42

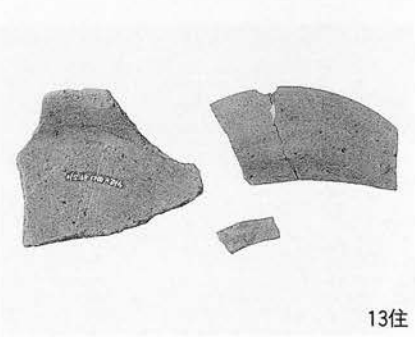
12住－33

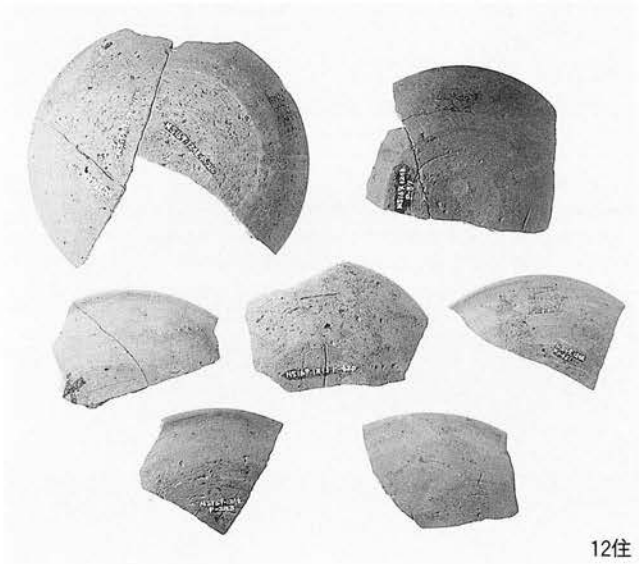

12住－1

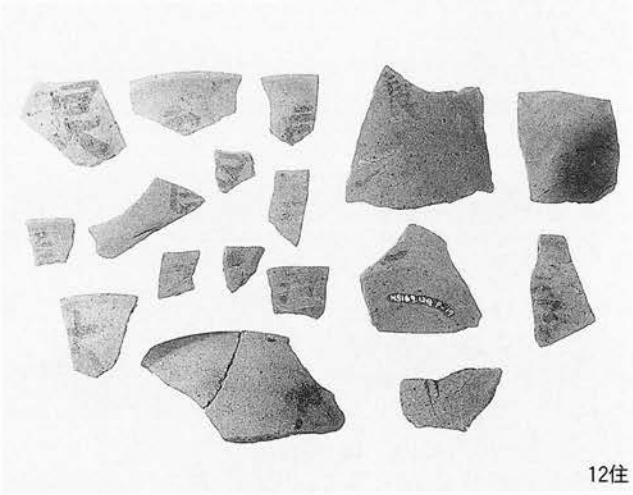

12住


12住

12住


13住


12住


12住

A区出土土器⑨・土製品・石製品

B区（第２次調査）東半分全景①（西から）

B区（第２次調査）西半分全景①（西から）

B区（第２次調査）西半分全景②（北から）

B区近景①（北西から）

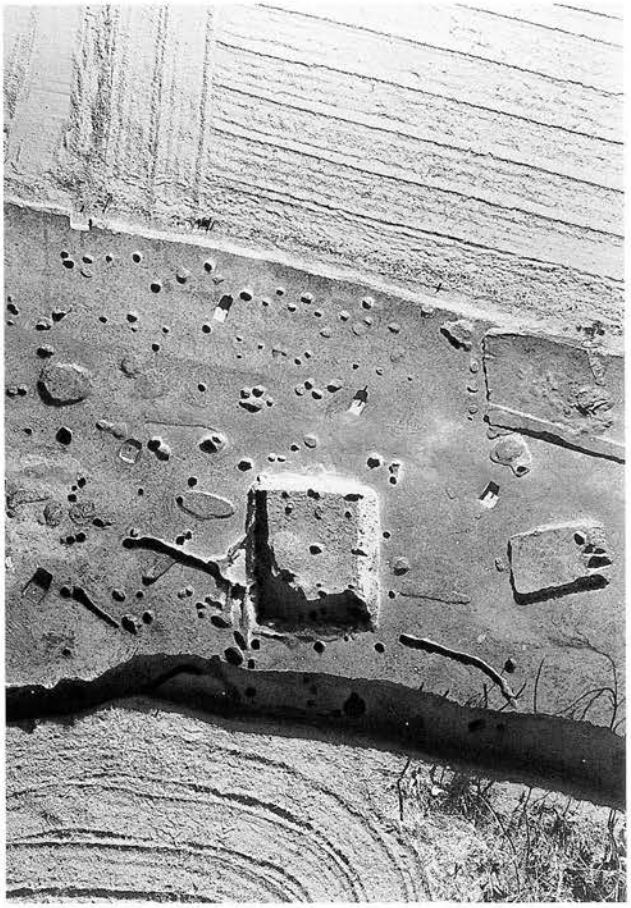
B区近景②（南東から）

B区（第２次調査）東半分全景②（真上から）

B区（第２次調査）西半分全景③（真上から）

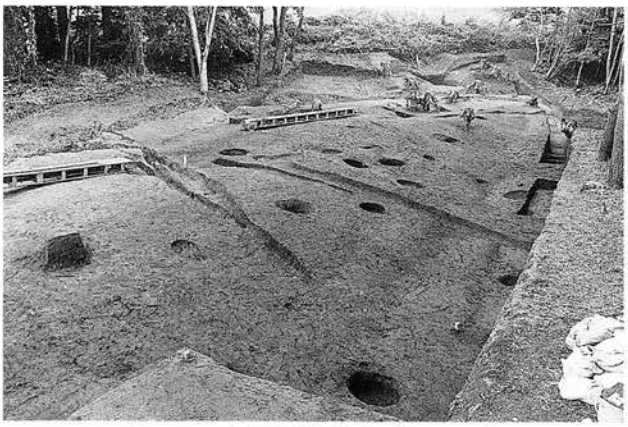
B区（第２次調査）西半分全景④（東から）

B区近景③（真上から）



B区近景④（真上から）

図版36



B区近景⑤（西から）

B区近景⑥（西から）

B区近景⑦（東から）

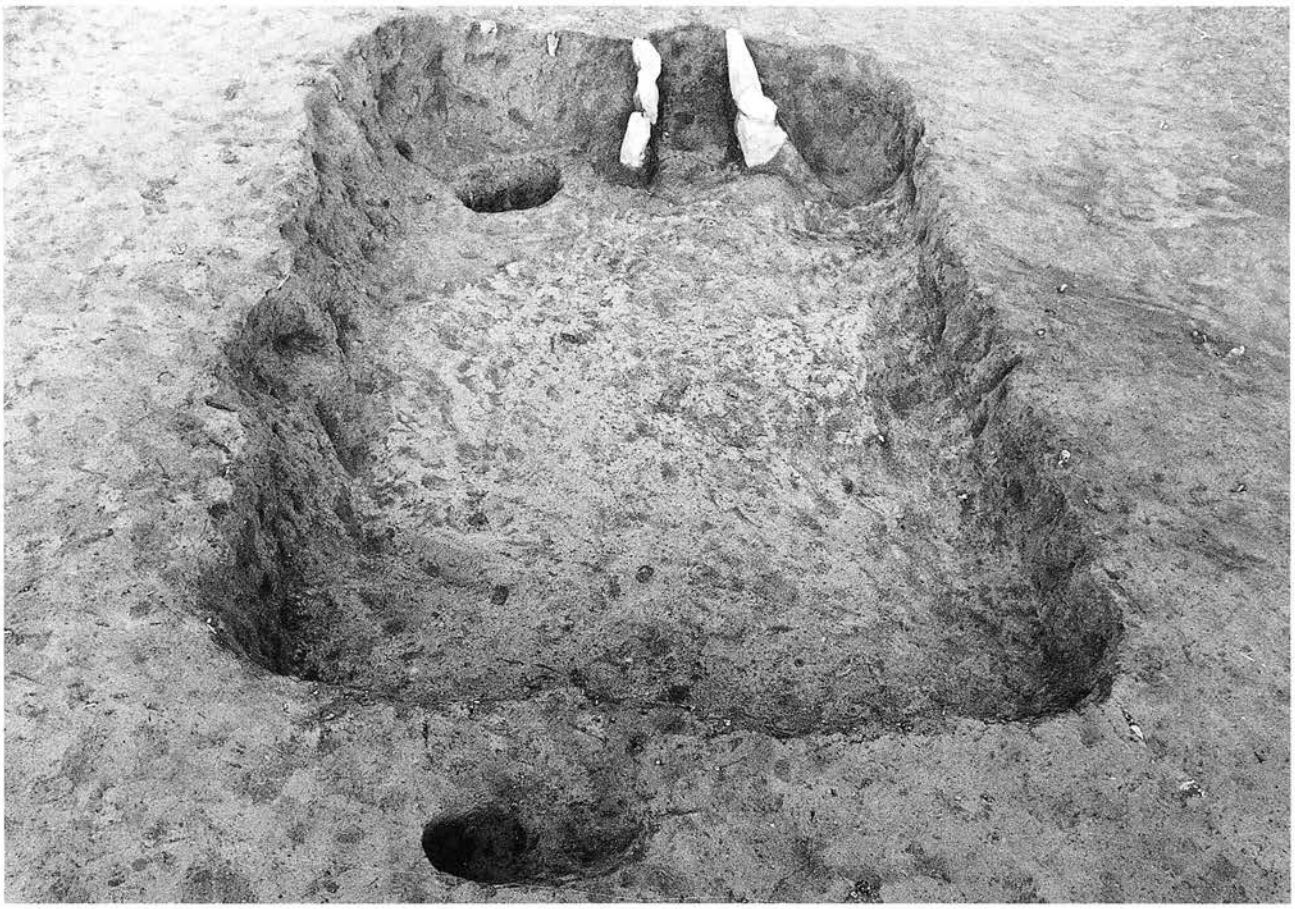
B区近景⑧（東から）

B区近景⑨（東から）

B区近景⑩（北から）

B区近景⑪（西から）

B区近景⑫（東から）



B区２号住居跡（西から）

B区２号住居跡カマド

B区２号住居跡遺物出土状況①

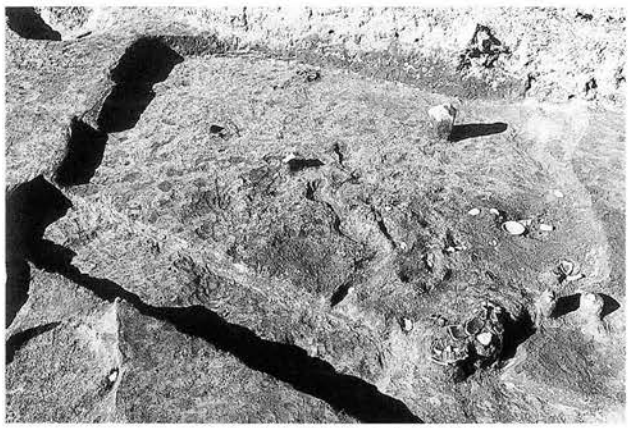
B区２号住居跡遺物出土状況②

B区２号住居跡遺物出土状況③

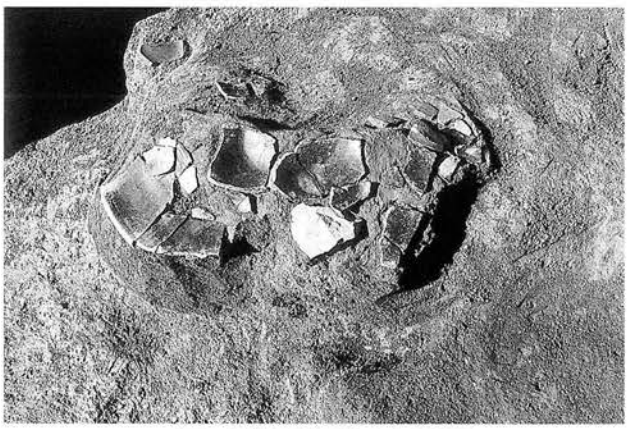
B区３号住居跡（東から）

B区３号住居跡カマド

B区３号住居跡カマド遺物出土状況

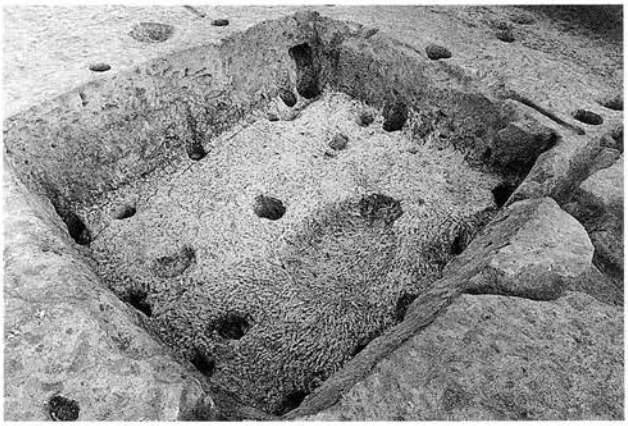


B区３号住居跡遺物出土状況①

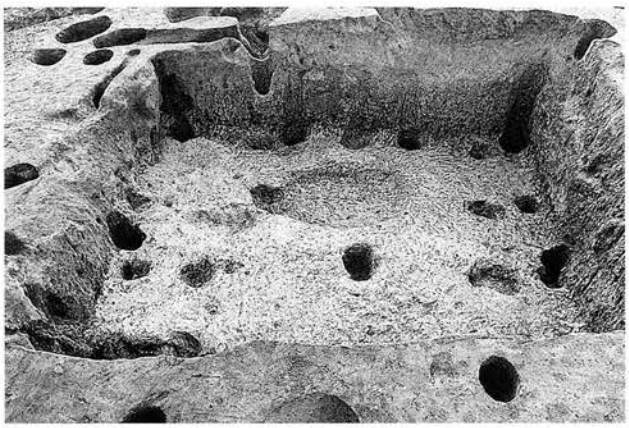


B区３号住居跡遺物出土状況②

B区１号方形竪穴状遺構①（南から）

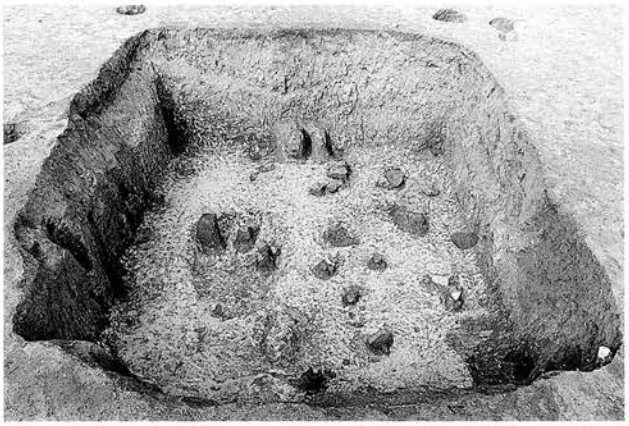


B区１号方形竪穴状遺構②（北西から）

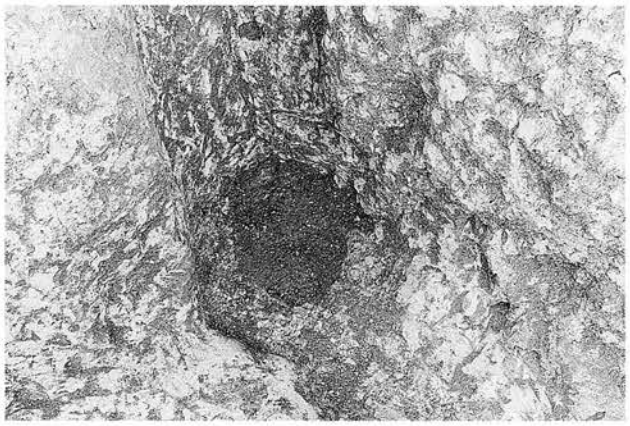


B区１号方形竪穴状遺構③（東から）

B区１号方形竪穴状遺構④（北から）



B区１号方形竪穴状遺構遺物出土状況



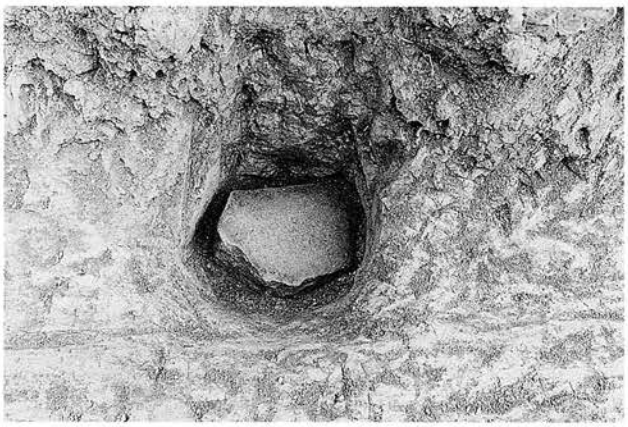
B区１号方形竪穴ピット１

B区１号方形竪穴ピット３

B区１号方形竪穴ピット４

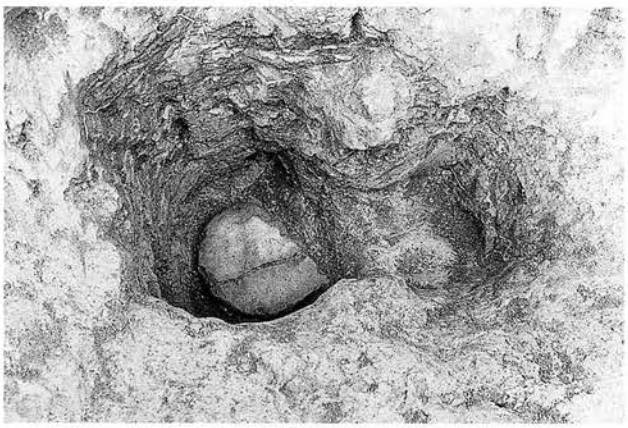
B区１号方形竪穴ピット５

B区１号方形竪穴ピット７・８



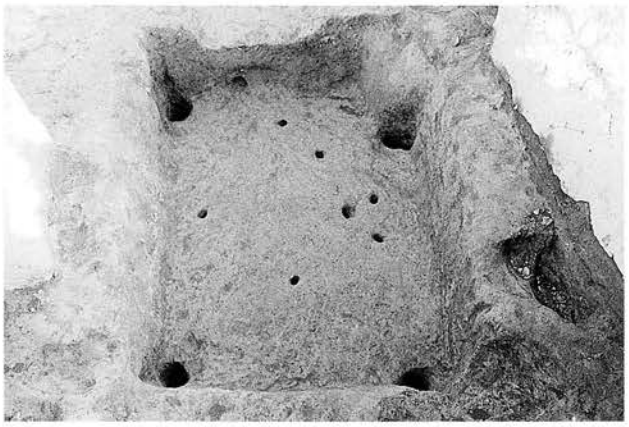
B区１号方形竪穴ピット９

B区１号方形竪穴ピット10



B区１号方形竪穴ピット11

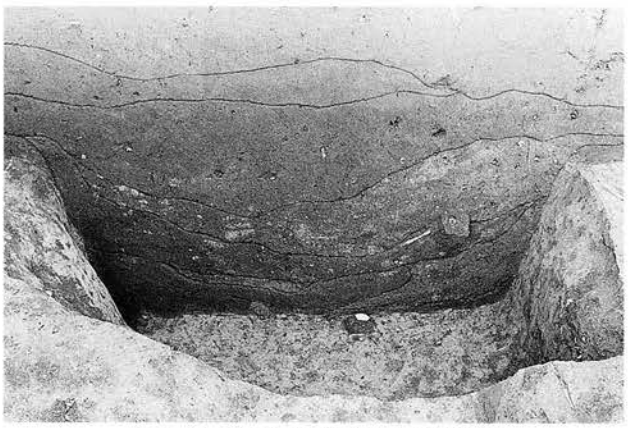
B区２号方形竪穴状遺構①（東から）



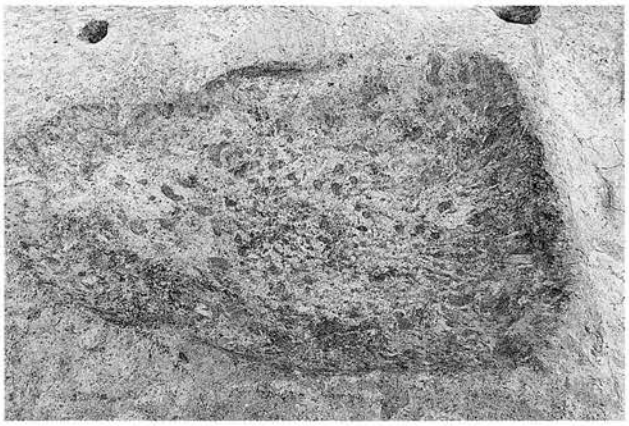
B区２号方形竪穴状遺構②（北から）

B区２号方形竪穴状遺構遺物出土状況①

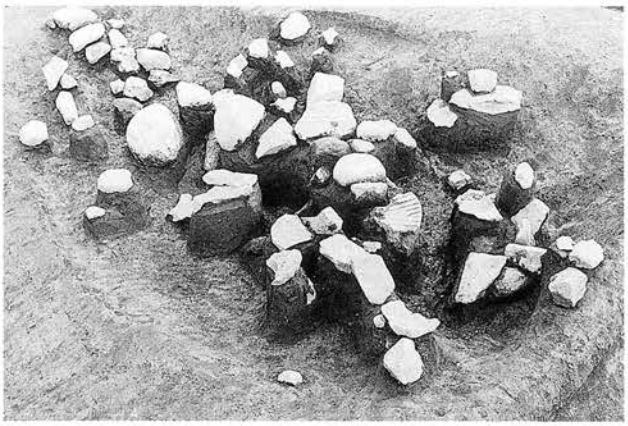
B区２号方形竪穴状遺構遺物出土状況②



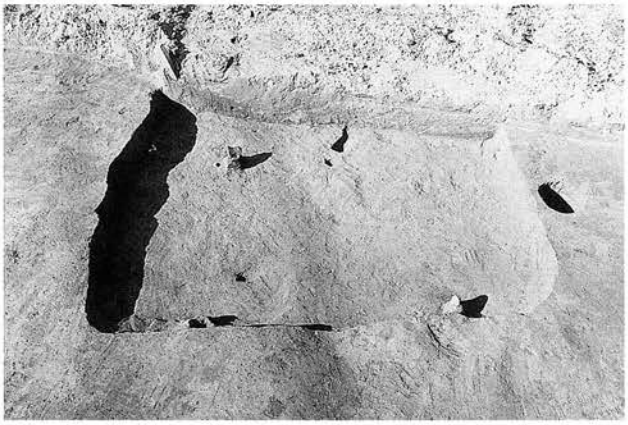
B区２号方形竪穴状遺構土層推積状況



B区３号竪穴状遺構



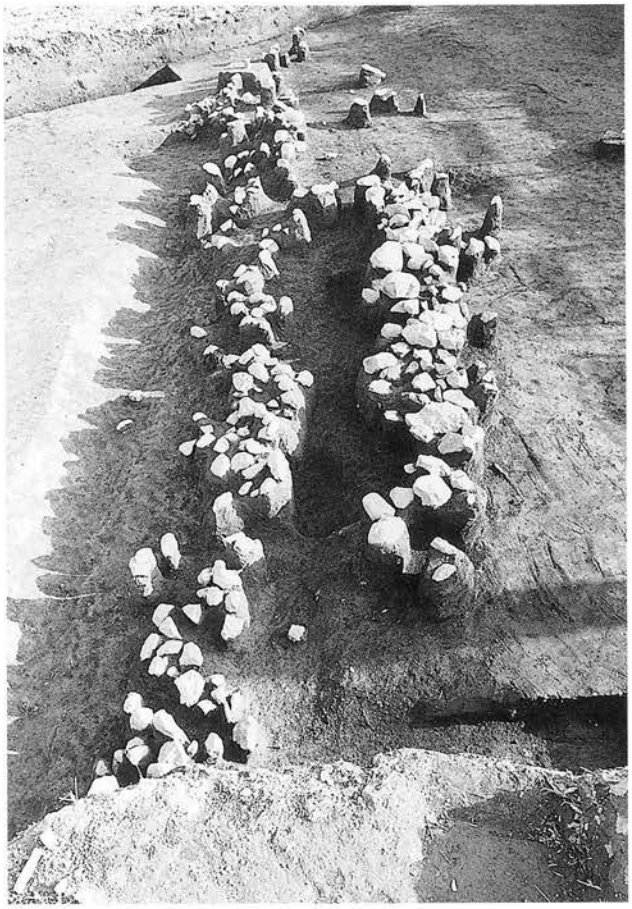
B区３号竪穴状遺構遺物出土状況



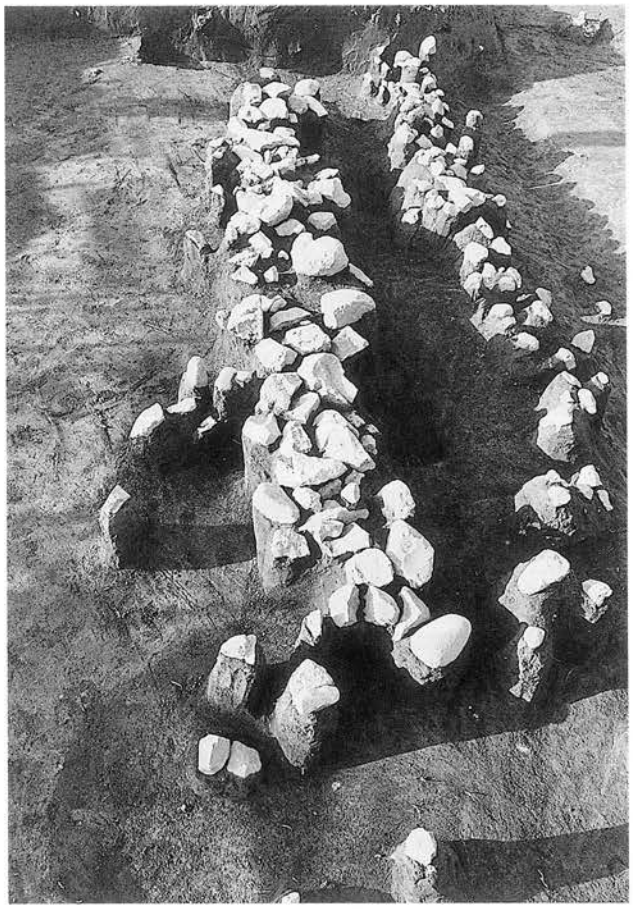
B区５号竪穴状遺構

B区４号竪穴状遺構遺物出土状況①

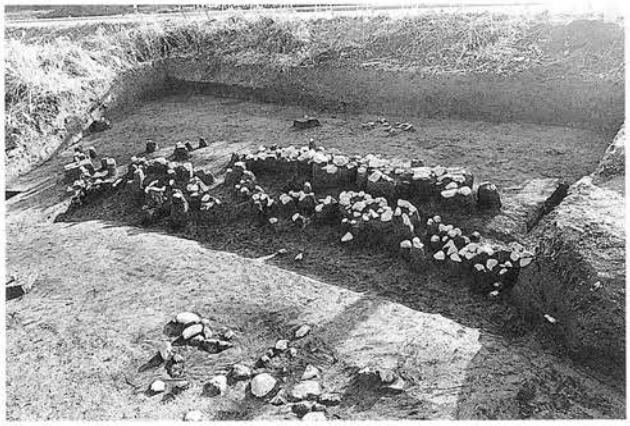
B区４号竪穴状遺構・64号土坑遺物出土状況②



B区１・２号列石①（北から）



B区１・２号列石②（南から）



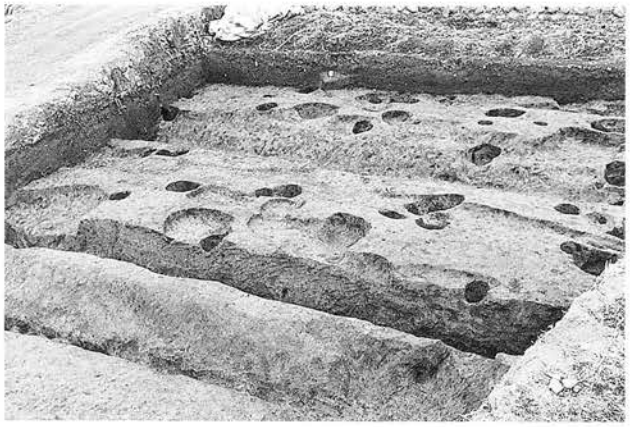
B区１・２号列石③（北東から）

B区１・２号列石④（北から）

B区１・２号列石⑤（南東から）

B区１・２号列石⑥（南から）

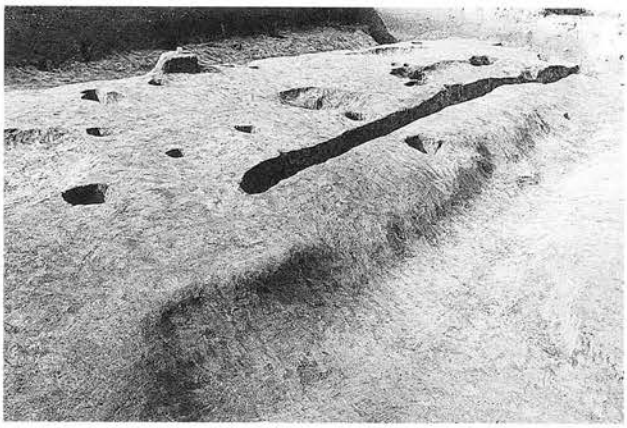
図版44



B区西端近景①（北東から）

B区西端近景②（北から）

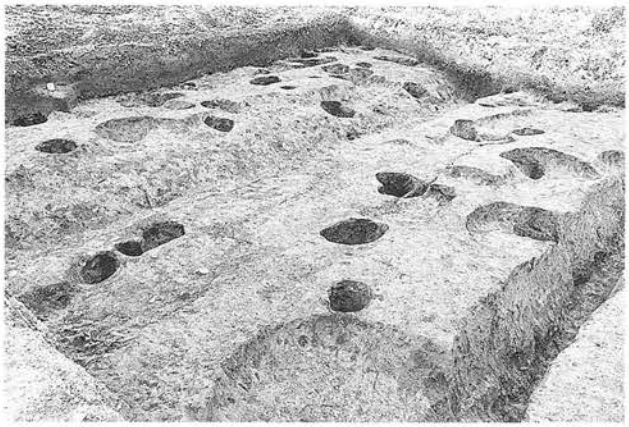
B区西端近景③（北から）



B区西端近景④（南東から）

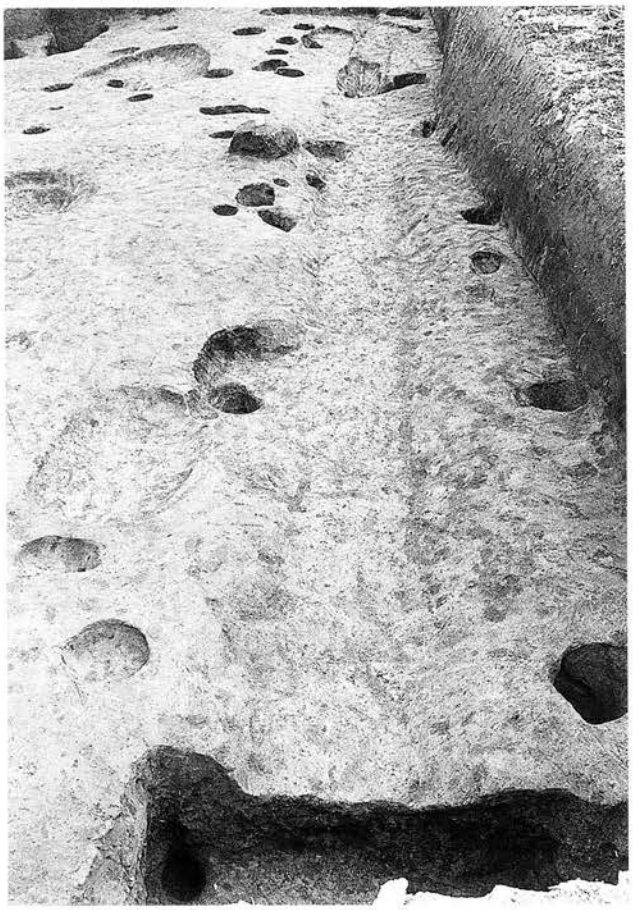
B区西端近景⑤（北西から）

B区西端近景⑥（南西から）



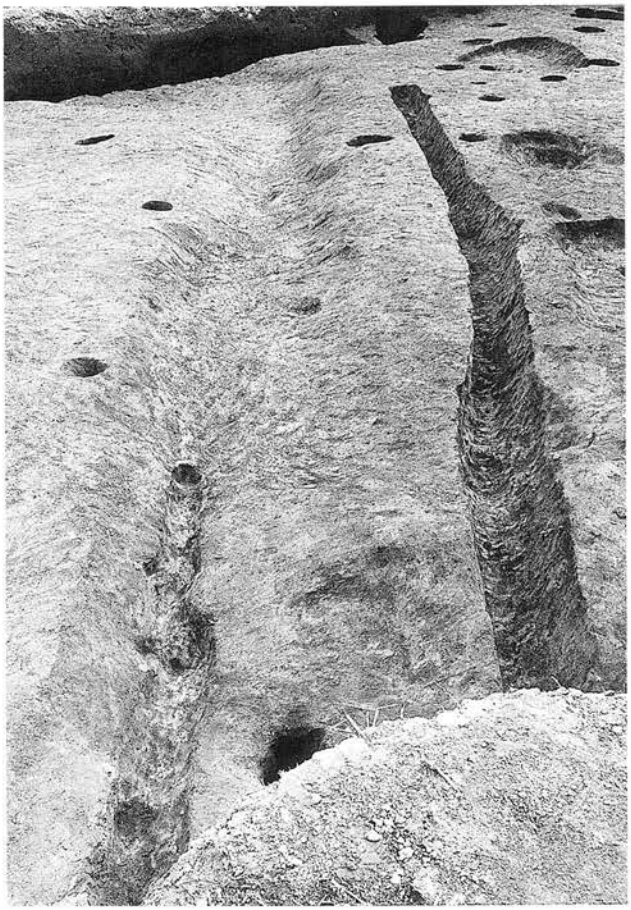
B区西端近景⑦（南東から）

B区西端近景⑧（北から）



B区８号溝①（北から）

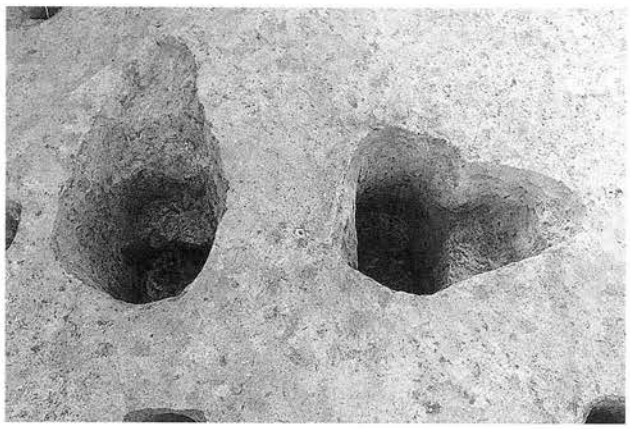
B区８号溝②（南から）



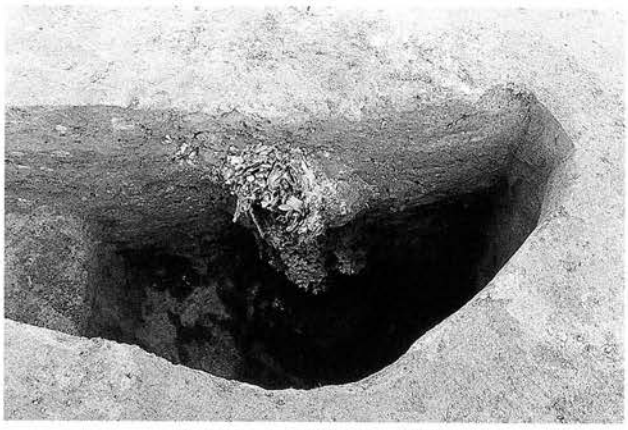
B区10(左)・11(右)号溝①（北から）

B区10(右)・11(左)号溝②（南から）

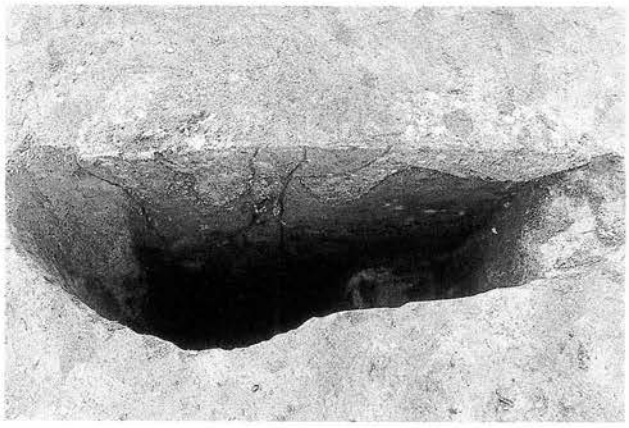
図版46



B区ピット107(左)・108(右)

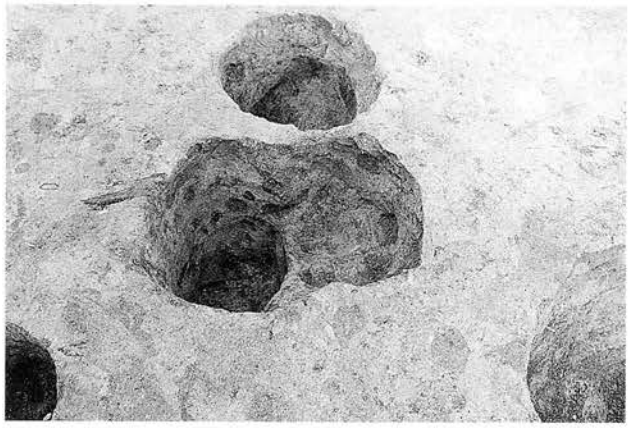


B区ピット107土層推積状況



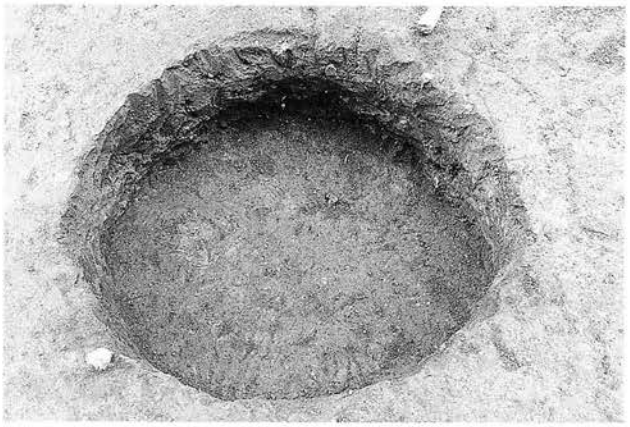
B区ピット108土層推積状況

B区ピット93遺物出土状況



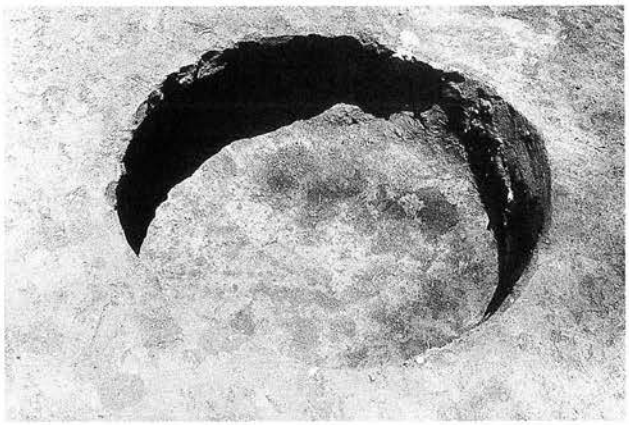
B区ピット96

B区ピット104(右)・105(左)



B区3号土坑

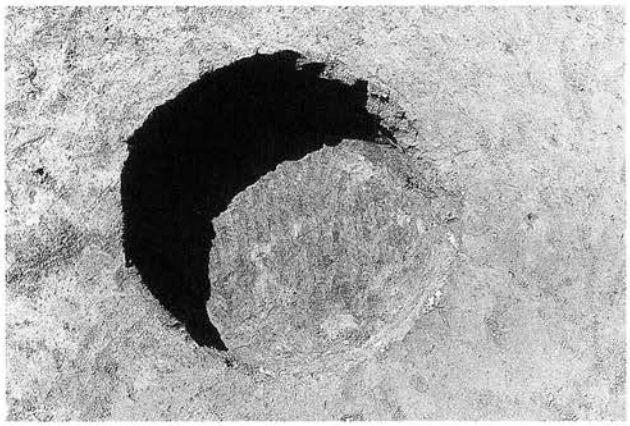
B区4号土坑



B区５号土坑

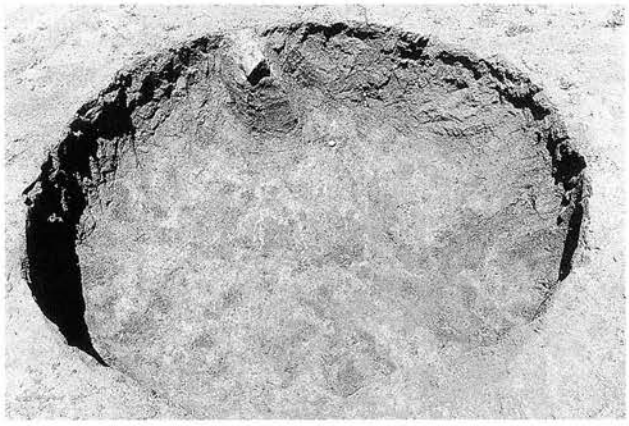
B区６号土坑

B区７号土坑



B区８号土坑

B区９号土坑



B区12号土坑

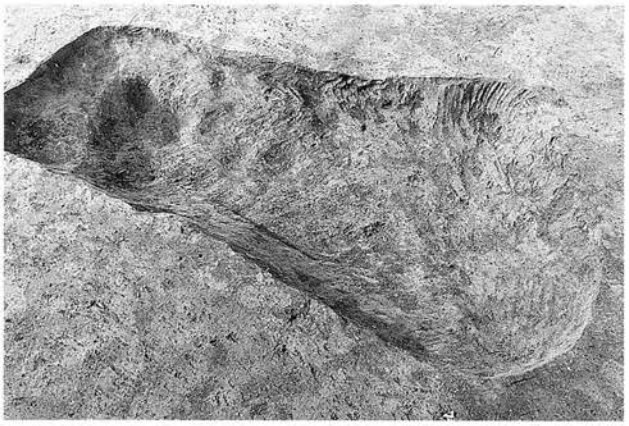
B区13号土坑

B区14号土坑ピット11

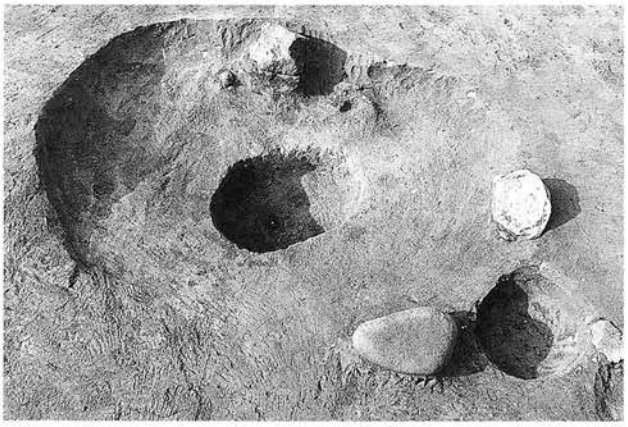
B区15号土坑(左)、ピット12(右)

B区58号土坑

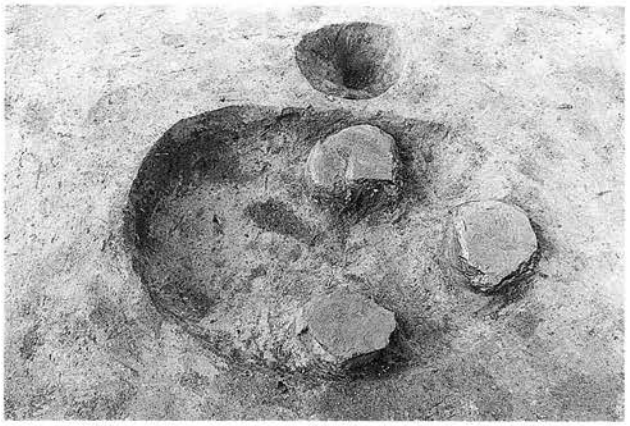
B区60号土坑



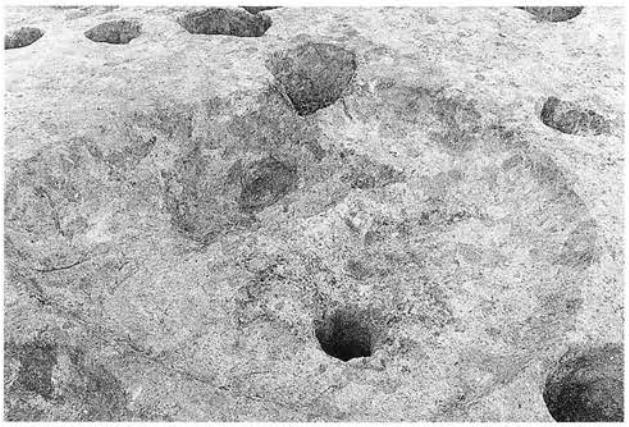
B区61号土坑



B区62号土坑

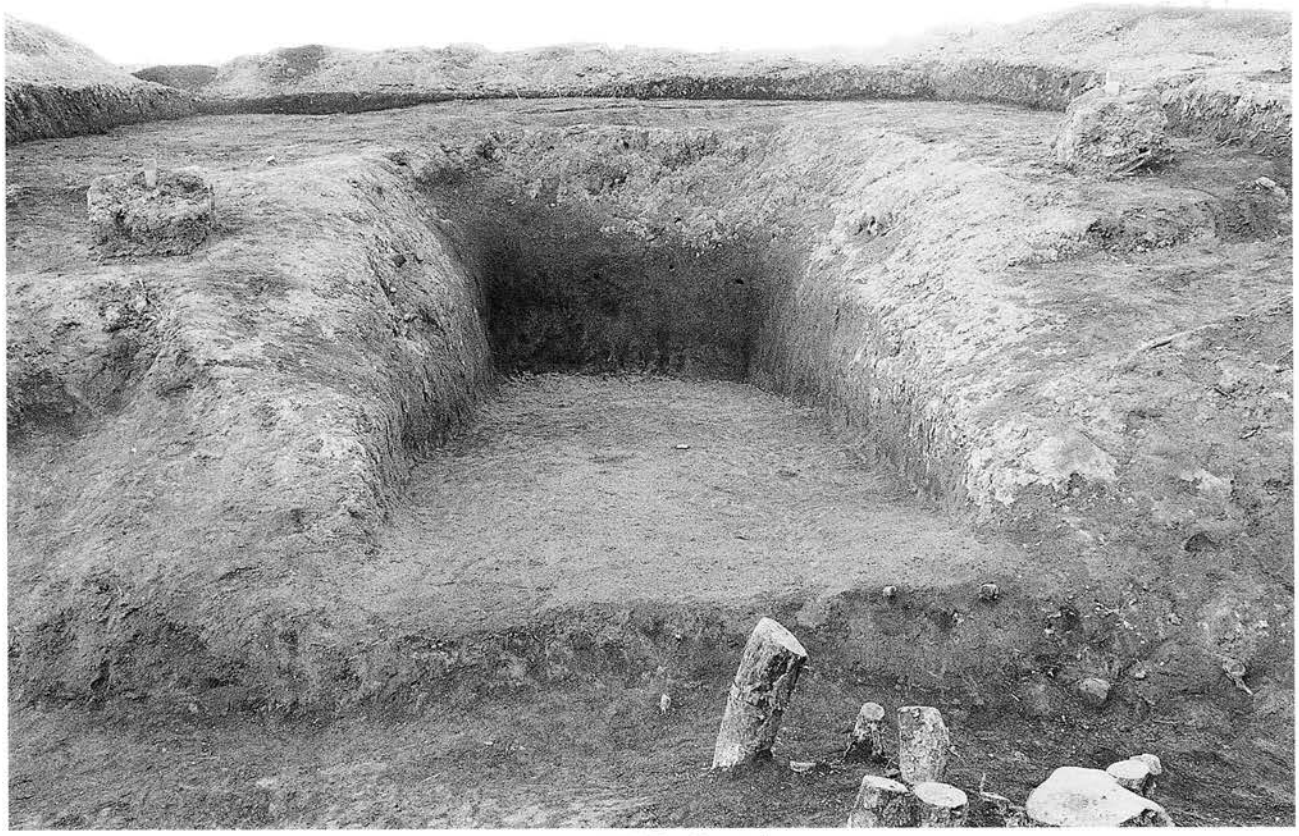


B区63号土坑



B区65号土坑

B区66号土坑



B区１号溝①（南から）

B区１号溝②（南東から）

B区１号溝遺物出土状況①

B区１号溝遺物出土状況②

B区１号溝遺物出土状況③

図版50

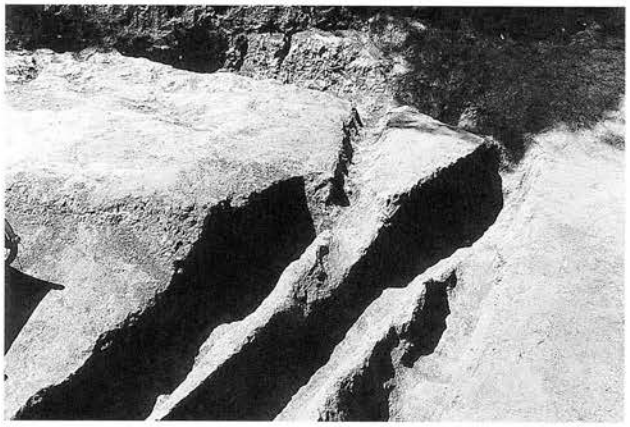
B区２・３号溝①（北西から）

B区２・３号溝②（南東から）

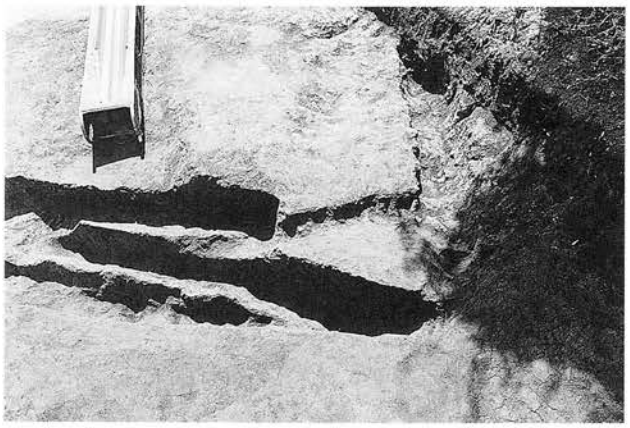
B区４号溝

B区５号溝

B区６号溝①



B区６号溝②

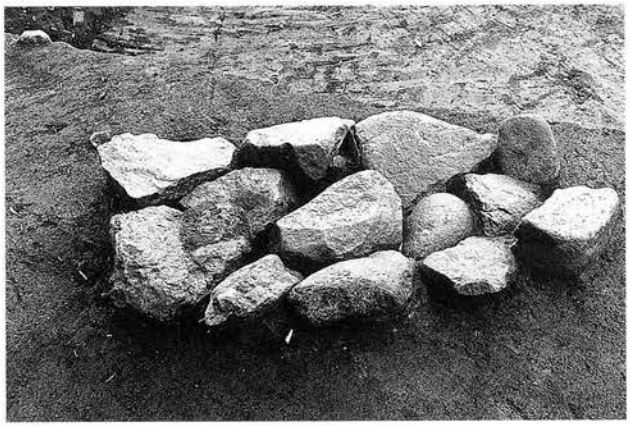


B区６号溝③

B区７号溝

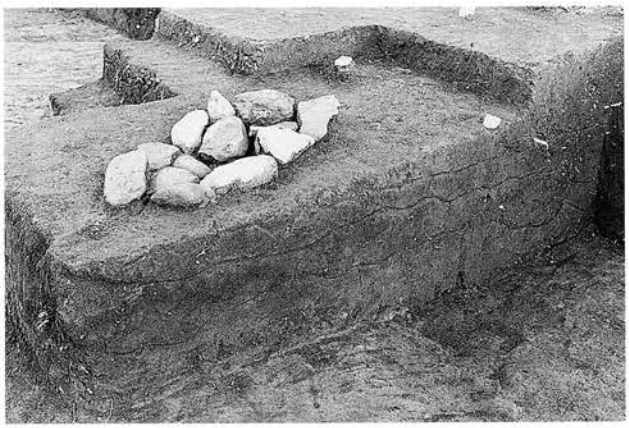
B区１号組石遺構①

B区１号組石遺構②

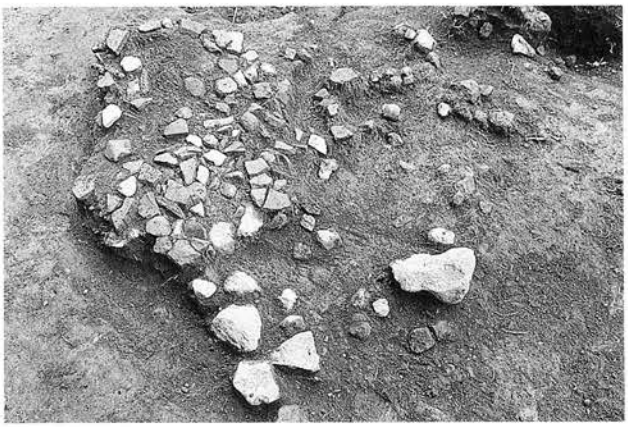


B区２号組石遺構①

B区２号組石遺構②

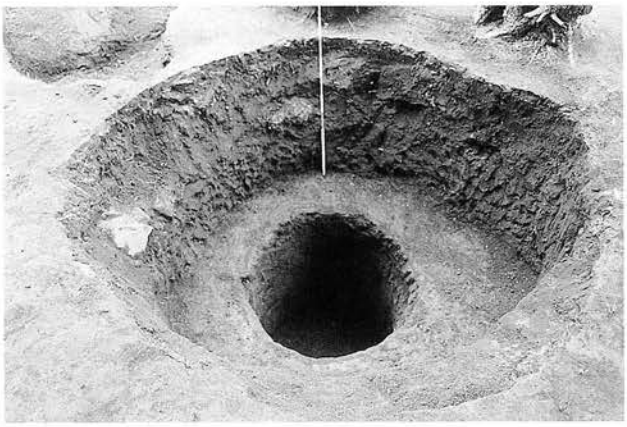


B区２号組石遺構③



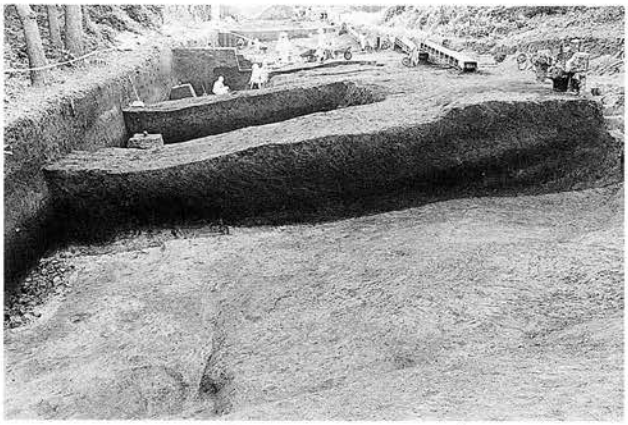
B区井戸遺物出土状況

B区井戸①



B区井戸②

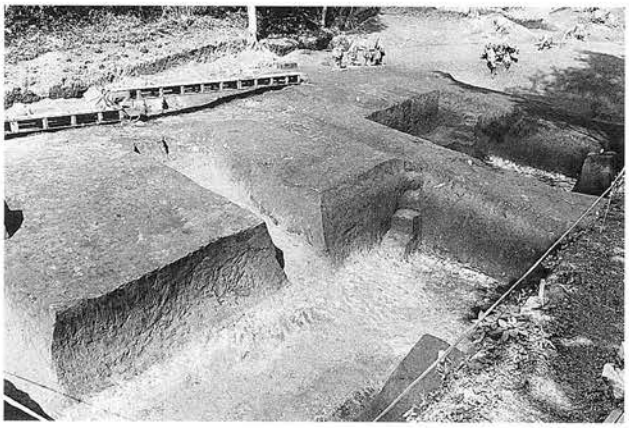
図版52



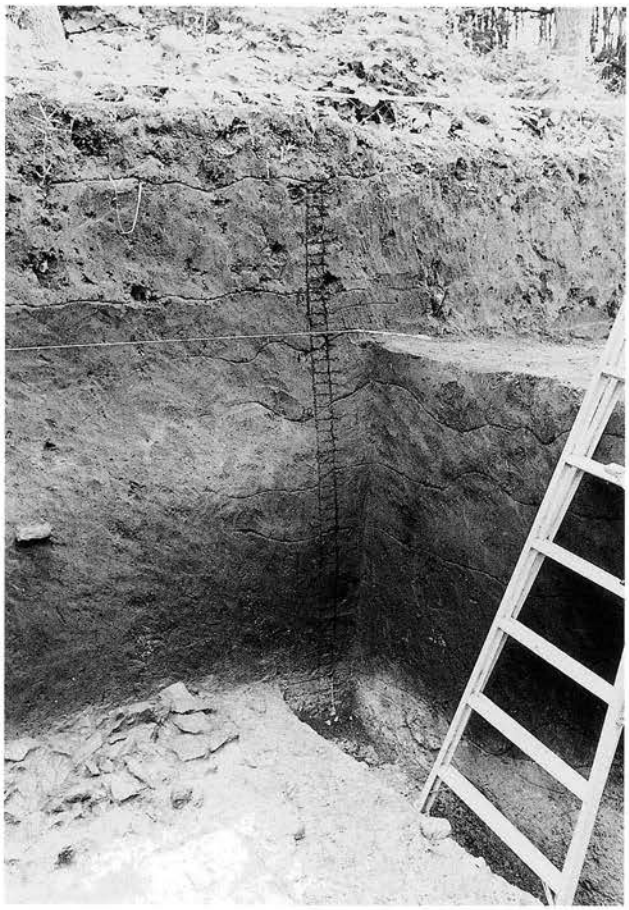
B区調査区セクションA－A′

B区調査区セクションB－B′

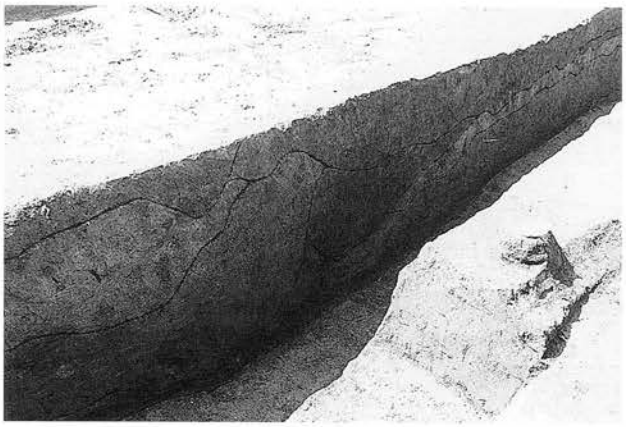
B区東端近景①



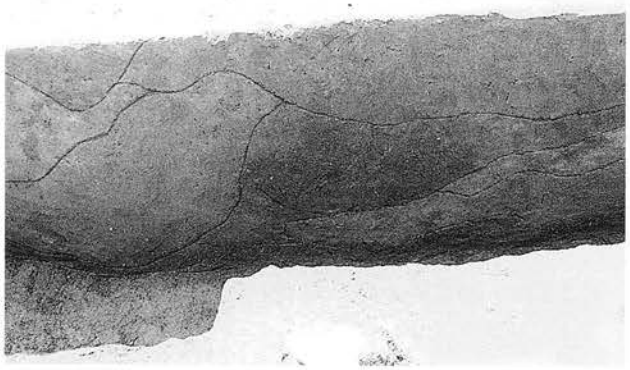
B区東端近景②



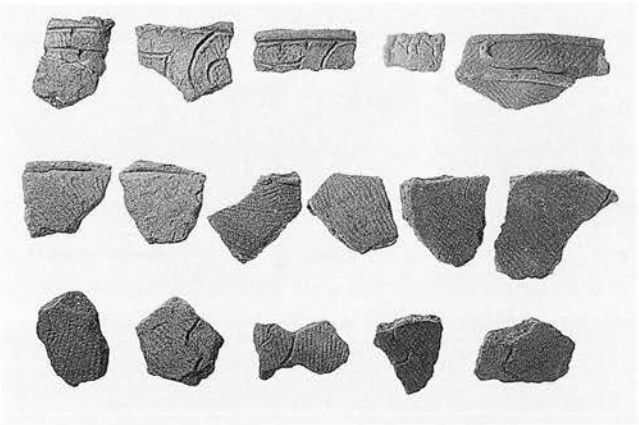
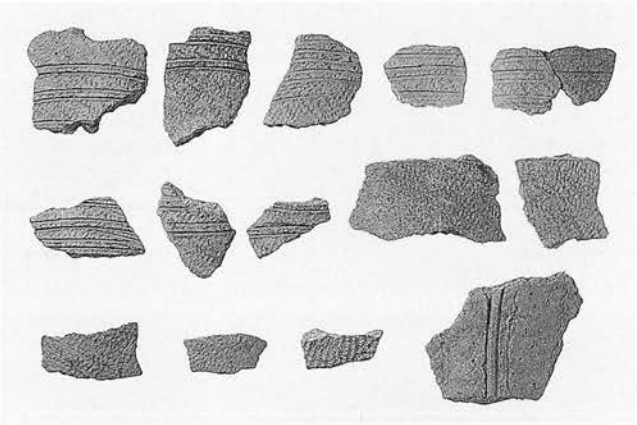
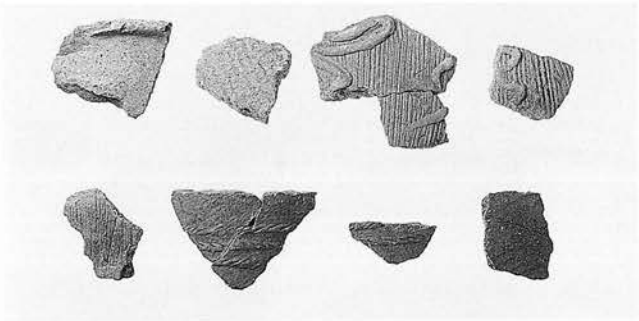
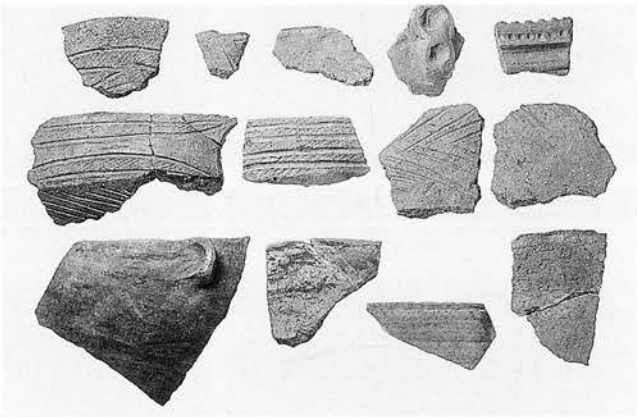
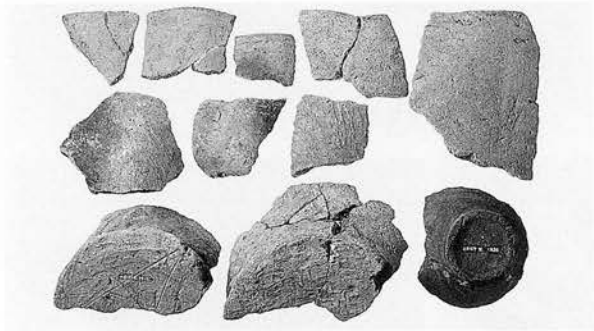
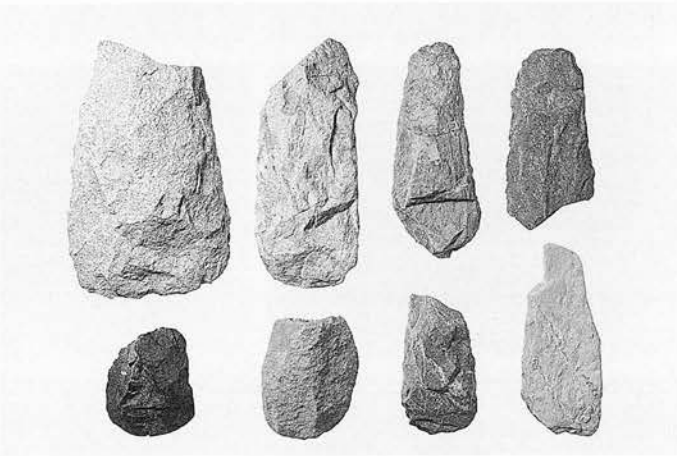
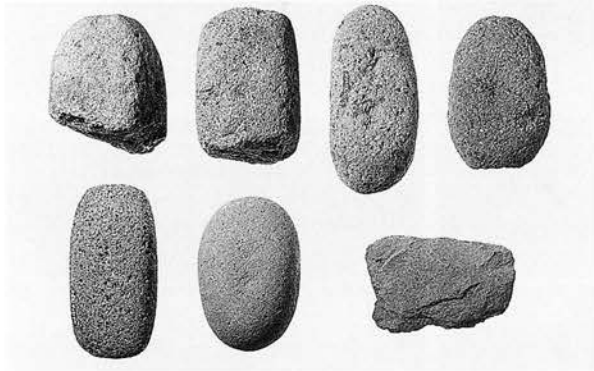
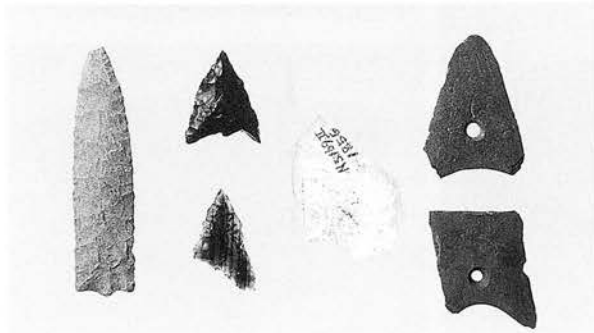
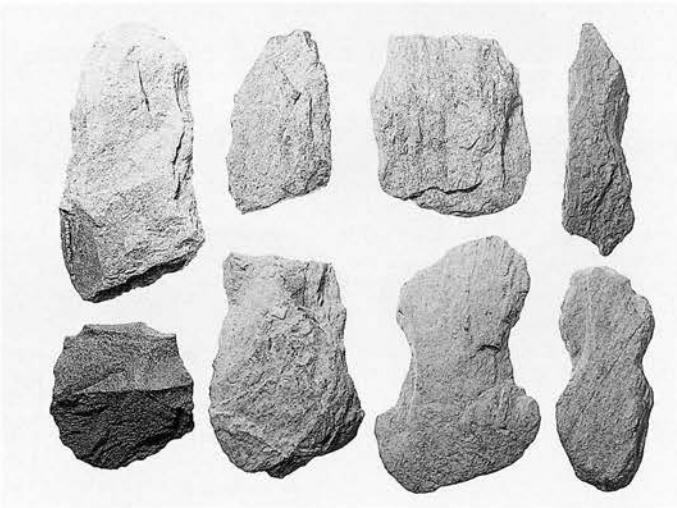
B区土層推積状況



B区断層跡①（E－E′）



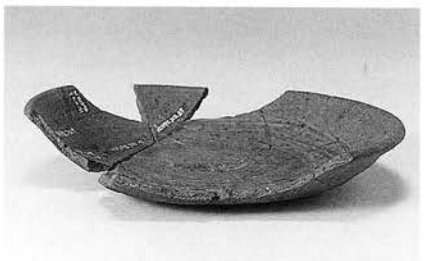
B区断層跡②（E－E′）

B区出土土器①・石器①

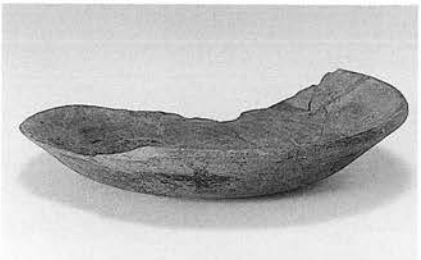
2住－2

2住－4


2住－5

2住－6

2住出土土師器


2住－7

2住－11

2住－12

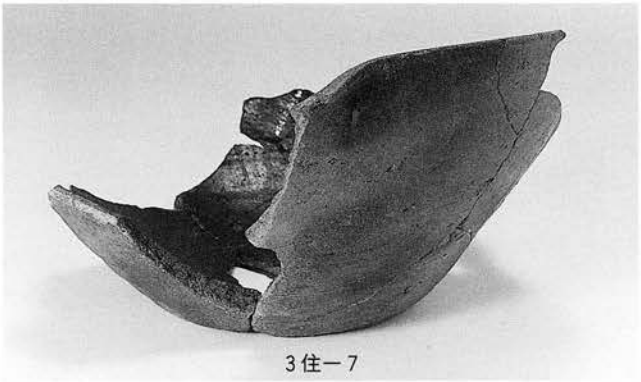
2住－13

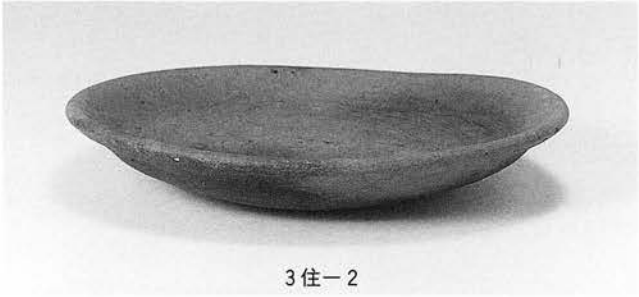
2住出土黒色土器

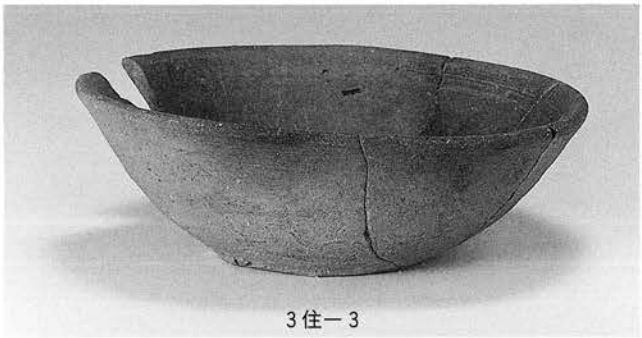
2住－8

2住－9

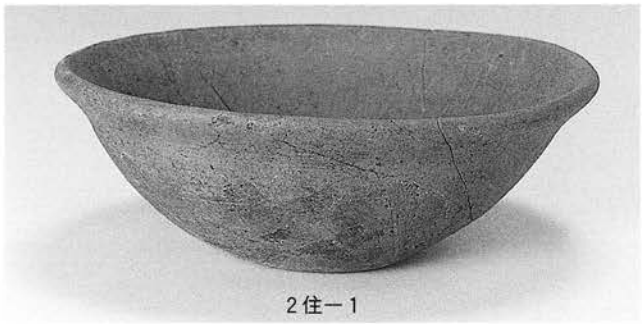
B区出土土器②


3住－7

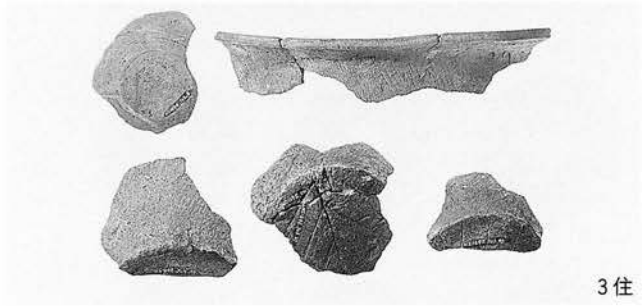

3住－2

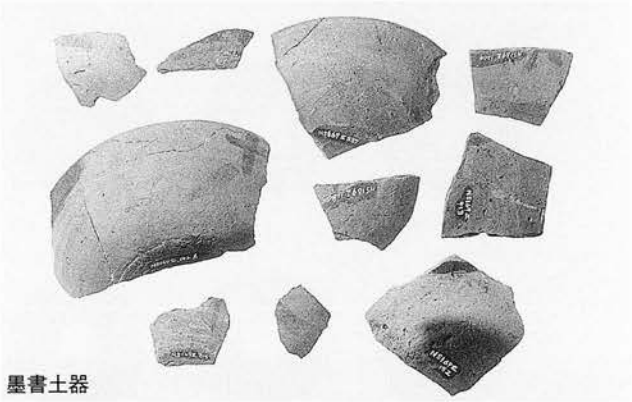

3住－3

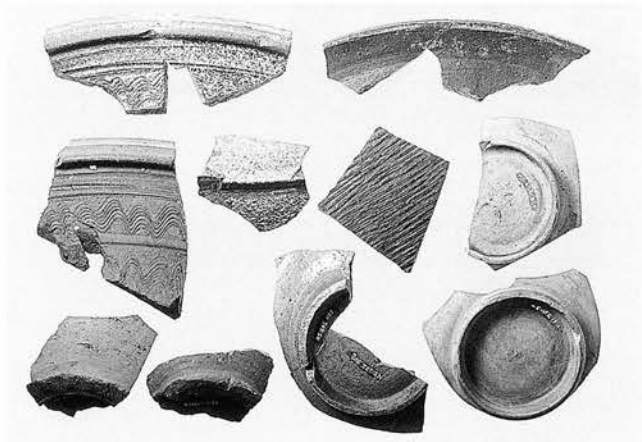
3住－4

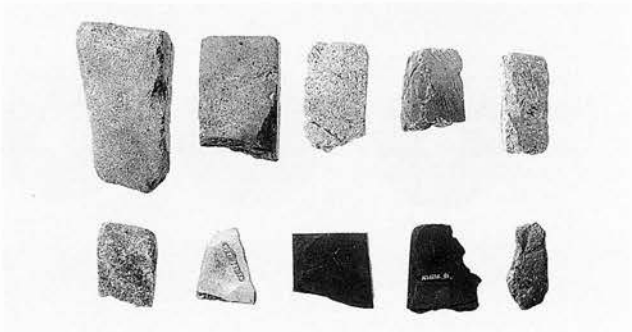

2住－1

3住他出土土器

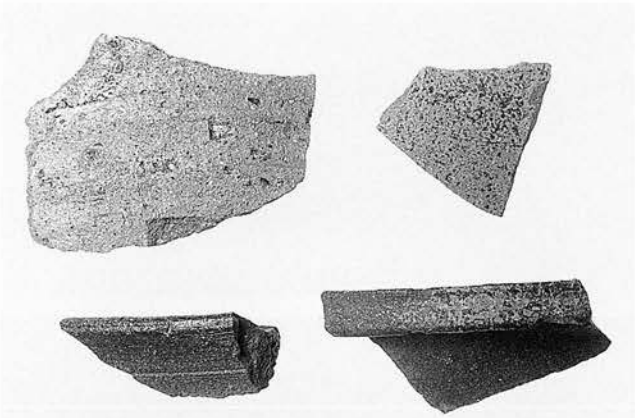

3住


墨書土器

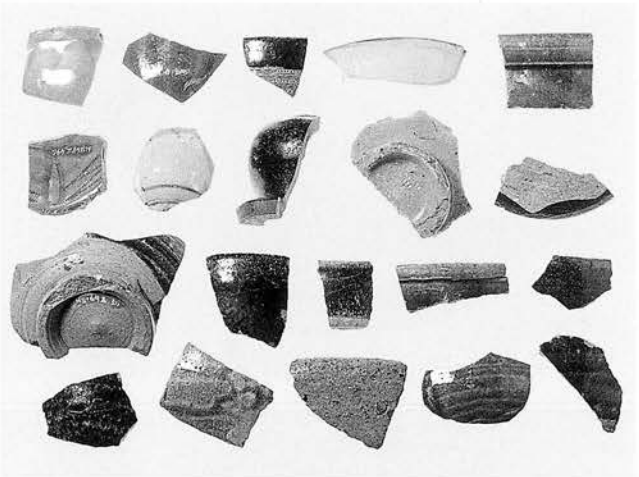


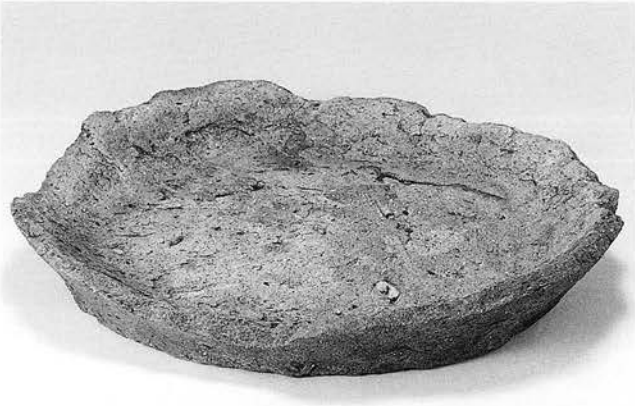


B区出土土器③・石器②



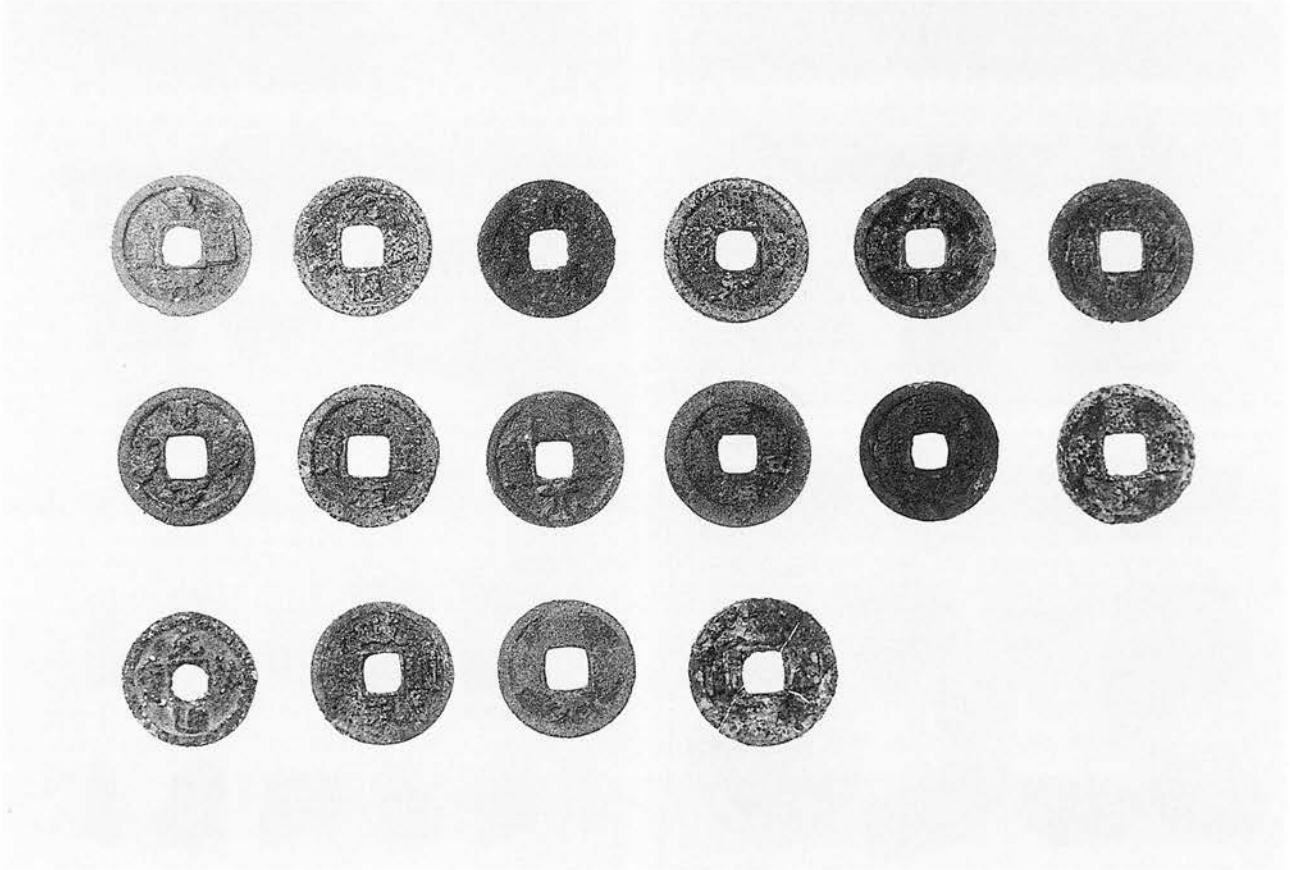
1号方形竪穴状遺構





第98図－1

1号溝－1



B区出土土器④・古銭

報告書抄録

フリガナ	リュウカクニシイセキ
書名	龍角西遺跡
副題	県営広域営農団地農道整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査
シリーズ	長坂町埋蔵文化財発掘調査報告書第21集
著者名	村松佳幸
編集・発行機関	長坂町教育委員会
住所・電話	〒408－0021　山梨県北巨摩郡長坂町長坂上条2575－19 TEL 0551－32－2111㈹
印刷所	鬼灯書籍株式会社 〒381－0012　長野県長野市柳原2133－5
発行日	2001年3月31日
遺跡所在地	山梨県北巨摩郡長坂町長坂下条字龍角
遺跡番号	長坂町　No.169
1／25,000地図名 位置・標高	若神子 北緯35°48′25″　東経138°22′56″　標高654～664m
調査原因	県営広域営農団地農道整備事業
調査期間	A区（第1次）　1997年10月15日～1998年2月5日 B区（第2次）　1998年5月13日～1999年3月11日
調査面積	3,657㎡（A区：1,830㎡、B区：1,827㎡）
主な時代	A区　縄文・弥生・古墳・平安・近代 B区　縄文・弥生・平安・中世・近世・近代
主な遺構	A区　縄文時代（土坑5基）、弥生時代（土坑1基） 古墳時代（前期の竪穴住居跡6軒、竪穴状遺構1基、中期の竪穴住居跡4軒） 平安時代（竪穴住居跡5軒、掘立柱建物跡3棟） 近代（建物跡1棟） その他（溝2条、土坑126基、ピット236基） B区　平安時代（竪穴住居跡2軒） 中世（方形竪穴状遺構2基） その他（竪穴状遺構3基、溝11条、土坑126基、ピット393基、組石遺構2基、井戸1基、列石2列、断層跡1ヶ所）
主な遺物	A区　縄文時代（土器、石器）、弥生時代（土器） 古墳時代（土師器、須恵器、石器、石製品） 平安時代（土師器、黒色土器、須恵器、灰釉陶器、砥石、土錘） 近代（陶器、釘） B区　縄文時代（土器、石器）、弥生時代（磨製石鏃） 古墳時代（土師器） 平安時代（土師器、黒色土器、須恵器、灰釉陶器、砥石） 中世（土師質土器、陶器、貿易陶磁、石臼、古銭）近世（陶磁器） 近代（磁器、ガラス瓶）

長坂町埋蔵文化財発掘調査報告書　第21集

龍角西遺跡

2001年３月25日　印刷
2001年３月31日　発行

編集・発行　長坂町教育委員会
〒408－0021　山梨県北巨摩郡長坂町長坂上条2575－19
TEL　0551－32－2111㈹
印　　刷　鬼灯書籍株式会社
〒381－0012　長野県長野市柳原2133－5
TEL　026－244－0235㈹